

1. はじめに

近年、国内外において高潮災害が頻発するとともに、大規模津波災害の発生が予想されている。たとえば、平成 11 年の台風 18 号接近時には、八代海沿岸や周防灘沿岸で高潮による浸水が発生し、熊本県不知火町松合地区では 12 名が亡くなられた。平成 16 年の台風 16 号および 18 号の接近時には、瀬戸内海沿岸の広範囲で高潮による浸水が発生し、高松市で 2 名、倉敷市で 1 名が亡くなられた。また、同年の台風 23 号の接近時には、高知県菜生海岸で、高波により海岸堤防の波返工の破損および浸水が発生し、海岸背後で 3 名が亡くなり、4 名が負傷した。国外では、平成 17 年にはハリケーン・カトリーナによりアメリカ南部で、平成 19 年にはサイクロン・シドルによりバングラデシュで、平成 20 年にはサイクロン・ナルギスによりミャンマーで、数千人以上の犠牲者を出す高潮災害が発生している。津波に関しては、平成 5 年の北海道南西沖地震以降、国内では大きな災害は発生していないが、東海・東南海・南海地震等による大規模な津波災害を中央防災会議は想定している。しかし、高潮や津波の発生が予想されて避難勧告等が発令されても、避難しない住民が多いのが現状である。

津波からの避難に関しては、片田ら(2005)は、平成 15 年の宮城県沖地震における宮城県気仙沼市民の避難行動に強い正常化の偏見が作用していることを確認するとともに、避難の意思決定における避難情報や津波警報への過度の依存、危険性の楽観視、過去の経験による津波イメージの固定化を指摘している。また、平成 15 年の十勝沖地震では、大きな揺れを感じた直後に、避難しなければ自分の身に危険を及ぼすとはっきり認識できた人が迅速に避難したと報告されている(吉井ら, 2004)。

高潮からの避難に関しては、平成 16 年の台風 16 号での高潮では、香川県高松市民の多くは、高潮が起こるかもしれないと思い始めていたが、自分に被害が生じるという考えに繋がらず、対応行動が後手に回ったと指摘されている(高松工業高等専門学校建設環境工学科地域防災研究グループ, 2005)。

正常化の偏見については、田中(2007)は、その説明力は限定的であり、それに帰する前に、避難を抑制する要因を精査しておく必要があることを指摘している。また、矢守(2009)は、正常化の偏見と映る心の働きは、多くの場合、ふるまいに先行して心の働きがあるはずだという「こころの前提」、防災情報に基づいて危険評価がなされるという「危険評価の前提」、危険評価に関わる専門家、自治体職員、住民等の「役割分担の前提」に立って、事態を回顧的に sense-making (意味づけ) することによって得られることを指摘している。これらのことから、正常化の偏見だけでなく、避難行動に関わるさまざまな要因を解明する必要があると考えられる。

災害を発生させる大きな高潮・津波は発生間隔が比較的長く、一生に一度経験するかどうかの頻度である場合があることから、過去の災害教訓の伝承と予想される災害像の周知が防災上重要である。また、避難においては住民同士の声掛けや要援護者の支援が、被災時には復旧・復興に向けた地域の取り組みが必要である。これらは、住民間のつながりと防災活動への参加意欲がないと容易に実現しないものであり、ソーシャルキャピタルを蓄積することが求められるものである。ソーシャルキャピタルとは、「信頼」、「規範」、「ネットワーク」といった社会組織の特徴であり、人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めるものとされている。ソーシャルキャピタルについては、内閣府による全国調査が行われ、防災との関わりについても指摘されている(立木, 2007; 矢守, 2008)。

高潮や津波からの適切な避難を促すためには、住民の避難行動に関係する要因をふまえて施策を進めなければならない。避難促進施策にはハザードマップの配布、講演会、避難訓練などさまざまな形態があるが、本調査ではワークショップに注目した。ワークショップは参加体験型のグループ学習であり、「参加」、「体験」、「グループ」という 3 つの特徴を有している(中野, 2001)。また、住民等の協働による地域づくり等、公共事業における住民参加の一形態として各地で実施されている(社団法人全日本

建設技術協会，2006）。防災面においても，ワークショップを通じて津波避難計画を立案した事例（安倍ら，2005）などがあり，検討すべき課題の探索を目的とした「課題探索型地域防災ワークショップ」の手法も整理されている（牛山ら，2009）。

ワークショップは，その特徴から，ハザードマップの単なる配布などに見られる行政から住民への一方のコミュニケーションと比べて，知識の習得や意識の向上において効果が高いと考えられる。ただし，住民の被災経験や意識などは地域によって異なることから，対象住民の避難意思決定に関わる要因をふまえてワークショップの内容を検討する必要がある。また，そのような検討に基づいて企画されたワークショップであっても，その効果を随時測定し，その結果に応じて内容を変更していく必要がある。しかし，避難意思決定要因を把握した上でワークショップが行われた事例は限られており，ワークショップの効果測定事例（熊谷ら，2008 など）も少ない。

本調査では，高潮・津波に関して，住民の避難意思決定に関わる要因を解明し（2章），その要因に対応する避難促進施策を試行してその効果を確認し（3章），避難促進施策の効果的な進め方を提案する（4章）。避難意思決定要因については，高潮・津波のため避難勧告が発令された地域を対象とした質問紙調査により明らかにする。その結果をふまえて，避難促進施策の一つとしてワークショップを実施し，その効果を分析した上で，効果的な進め方について検討する。

参考文献

- 安倍 祥・神尾 久・今村文彦：ワークショップ手法による沿岸地域の津波避難計画立案の提案と展開，
海岸工学論文集，第 52 巻，pp.1271-1275, 2005.
- 牛山素行・岩館 晋・太田好乃：課題探索型地域防災ワークショップの試行，自然災害科学，Vol.28, No.2,
pp.113-124, 2009.
- 片田敏孝・児玉 真・桑沢敬行・越村俊一：住民の避難行動にみる津波防災の現状と課題 —2003 年
宮城県沖の地震・気仙沼市民意識調査結果から—，土木学会論文集，No.789/II-71, pp.93-104, 2005.
- 熊谷兼太郎・小田勝也・片田敏孝・本間基寛：津波リスクコミュニケーションの効果の測定方法及び測定事例，土木計画学研究・講演集，Vol.38, No.121, 2008.
- 社団法人全日本建設技術協会：ワークショップ実例集 —協働によるこれからの地域づくり—，250p.,
2006.
- 高松工業高等専門学校建設環境工学科地域防災研究グループ：平成 16 年 8 月台風 16 号接近による高松
での高潮災害に関する実態調査報告書，31p., 2005.
- 立木茂雄：ソーシャルキャピタルと地域づくり，都市政策，第 127 号，pp.4-19, 2007.
- 田中 淳：災害情報と行動，災害社会学入門，弘文堂，pp.102-107, 2007.
- 内閣府国民生活局：平成 14 年度内閣府委託調査「ソーシャルキャピタル：豊かな人間関係と市民活動
の好循環を求めて」，http://www.npo-homepage.go.jp/data/report9_1.html., 2003.
- 中野民夫：ワークショップ —新しい学びと創造の場—，岩波新書，223p., 2001
- 矢守克也：社会心理学から見た防災ソーシャルキャピタル，土木計画学シンポジウムテキスト「土木計
画におけるソーシャルキャピタル リスクマネジメントの観点から」，pp.27-32, 2008.
- 矢守克也：防災人間科学，東京大学出版会，284p., 2009.
- 吉井博明・田中 淳・中村 功・中森広道・三上俊治：住民に対する津波避難アンケート調査，2003 年
（平成 15 年）十勝沖地震に関する緊急調査研究報告書（平田直編），21p., 2004.

2. 避難意思決定要因に関する調査

2.1 調査方法

2.1.1 概要

平成 18 年 11 月 15 日、千島列島沖で発生した地震に関して、津波警報が北海道オホーツク沿岸と太平洋沿岸東部を対象に発表され、対象沿岸の全市町村が避難指示・勧告を発令した。一方、平成 19 年 8 月 2 日、台風 5 号接近に伴い高潮警報が山口県などを対象に発表され、沿岸の一部市町村が避難勧告を発令した。しかし、避難勧告に応じて避難所に避難した人は少数であった。

これら 2 つの避難勧告発令時における住民の避難意思決定要因を明らかにするため、その仮説を質問紙調査等により検証した。調査対象は、津波に関しては北海道釧路市、高潮に関しては山口県宇部市および山陽小野田市の避難勧告対象地域である。

本調査の特徴は以下の点である。

- ・避難意思決定要因の仮説を立て、その仮説を検証する観点で質問紙を設計する。
- ・質問紙調査の回答世帯の位置を GIS に入力し、回答世帯の標高や海岸線からの距離を客観的に計測する。
- ・避難の有無を分ける要因については、質問紙における回答の集計だけでなく、共分散構造分析による仮説の検証を通じて明らかにする。



図-2.1 調査対象市の位置

2.1.2 調査対象

(1) 釧路市

釧路市（93,100 世帯，189,213 人）では，太平洋に面しており，主な河川として，釧路川，新釧路川，阿寒川，音別川が流れている．大正 9 年に発生した釧路川の洪水により中心市街地が浸水したことを契機に，その放水路として新釧路川が掘削されている．平成 17 年 11 月に旧釧路市，音別町，阿寒町が合併し，現在の釧路市となっている．

浜中町などで大きな津波災害が発生した昭和 27 年 3 月 4 日の十勝沖地震では，釧路では津波高は約 0.9m で，地震による被害が大きかった．また，昭和 35 年 5 月 24 日のチリ地震でも被害がなかった．平成 5 年 1 月 15 日の釧路沖地震は震度 6 程度で，地震動による被害が大きかった．平成 15 年 9 月 26 日の十勝沖地震は揺れが大きく，193 人が自主避難した．地震の他，釧路川沿いの旭町では，近年の低気圧によりたびたび越波が生じている．

このように津波被害の経験がほとんどないものの，500 年間隔の大津波による被害が予想されている．このため，道の津波浸水想定に基づいた新しいハザードマップを平成 19 年度に配布している．このほか，釧路市連合防災推進協議会（自主防災組織の連合体）が津波避難に関する意識調査や災害図上訓練を独自に行うなど自主防災活動が活発な一方，町内会加入率の低下や中心市街地の空洞化による防災の担い手の減少という問題を抱えている．

平成 18 年 11 月 15 日 20 時 15 分に発生した千島列島沖地震では，津波警報の発令と同時刻（20 時 29 分）に，避難勧告が 2,561 世帯（4,675 人）に発令された．津波の第一波は 21 時 43 分に 0.2m の高さで来襲した．津波警報が津波注意報に切り替えられた 23 時 30 分に，避難勧告は解除された．なお，平成 19 年 1 月 13 日にも千島列島沖で地震が発生し，津波警報および避難勧告が発表・発令されたが，津波は 11 月の地震よりさらに小さかった．

なお，平成 18 年 11 月と平成 19 年 1 月の地震時の避難行動について釧路市連合防災推進協議会が行った調査の結果を分析したところ，避難勧告の発令を知っていたもののテレビで様子を見ていた人がほとんどだったこと，防災行政無線や広報車で避難勧告を知った人が多い地区では避難した人の割合が高かったこと，講習会等への参加経験や津波ハザードマップの保有と避難した人の割合との間に相関がなかったことがわかった．

(2) 宇部市

宇部市（71,288 世帯，178,955 人）は周防灘に面しており，これまでたびたび高潮被害を受けてきた．昭和 17 年の周防灘台風では，宇部市で 297 人が亡くなった．また，平成 11 年の台風 18 号では，死者はなかったものの，宇部市で 840 棟の家屋被害があった．

平成 19 年 8 月 2 日に，台風 5 号の接近に伴い，下関地方気象台は周防灘沿岸に高潮警報を 15 時 28 分に発表した．宇部市は，16 時 30 分に 2,069 世帯（5,168 人）を対象に避難勧告を発令し，広報車，防災メール，電話連絡などにより避難を呼びかけた．その結果，指定の避難所には 229 人が避難した．台風は 3 日 1 時頃に宇部市付近に上陸し，同日 2 時 23 分に高潮警報は高潮注意報に切り替えられ，同日 5 時 39 分に高潮注意報は解除された．これに合わせて，避難勧告も同日 5 時 39 分に解除された．この台風により，床下浸水 8 棟（東岐波丸尾 4 棟，西岐波床波 4 棟）の被害があった．

図-2.2 のように，避難勧告が発令された 16 時 30 分時点では，風は 10m/s を超えていたものの，雨は降っていなかった．台風接近時刻よりかなり前に，避難勧告が発令されていたことがわかる．

なお、避難勧告は平成 18 年の台風 13 号（対象：2,310 世帯，5,900 人）と平成 17 年の台風 14 号（対象：2,290 世帯，5,850 人）でも発令され、それぞれ 479 人，463 人が避難している。また、平成 17 年の台風 14 号では、西岐波校区の沢波川周辺で 4 棟が床下浸水となり、約 2,500 戸が停電となった。平成 18 年の台風 13 号でも、36,209 戸が停電となった。

平成 11 年の高潮以降、自主防災組織の設立に努めた結果、自主防災組織の組織率は平成 13 年の 0.8% から平成 19 年には 59.6% まで上昇した。また、避難所と浸水実績を示した「宇部市防災マップ」が平成 17 年に作成されているほか、NPO 法人「防災ネットワークうべ」による自主防災研修、携帯メール（1,300 人が登録）や FAX（約 140 人が登録）による防災情報の配信、周防灘台風の来襲日に合わせた防災訓練などが実施されている。防災以外の面においては、「宇部方式」と呼ばれる煤塵対策の合意形成（「産・官・学・民」による相互信頼と連帯の精神）を特筆できる。

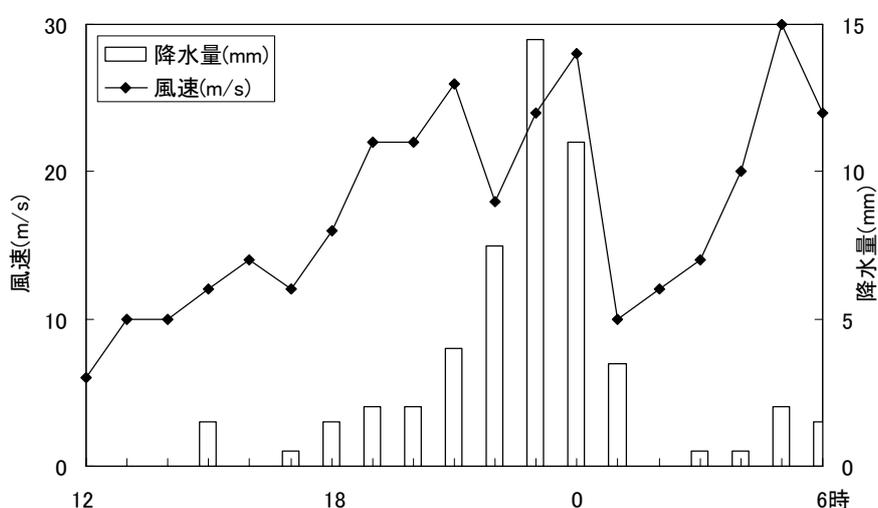


図-2.2 宇部の降水量と風速（8月2～3日）

(3) 山陽小野田市

山陽小野田市は宇部市の西に位置し、平成 17 年 3 月 22 日に小野田市と山陽町が合併して誕生した。合併時の世帯数は 27,213 世帯（68,286 人）であった。宇部市と同じく周防灘に面しており、昭和 17 年の周防灘台風では旧小野田市で 141 人が亡くなり、平成 11 年の台風 18 号では旧山陽町埴生地区で 555 棟の家屋被害があった。

平成 19 年の台風 5 号の接近時には、山陽小野田市は 17 時 30 分に 1,053 世帯（2,520 人）を対象に避難勧告を発令し、広報車、有線放送（旧山陽町）、FM きらら（コミュニティ FM）などを通じて避難を呼びかけた。その結果、指定の避難所には 165 人が避難した。避難勧告が解除されたのは 3 日 8 時 30 分である。なお、宇部市と同様に、避難勧告は平成 18 年の台風 13 号（対象：2,492 人）と平成 17 年の台風 14 号（対象：1,552 人）でも発令されており、それぞれ 298 人，339 人が避難している。

宇部市と同じく、平成 11 年の高潮を受け、高潮ハザードマップの作成などに近年取り組んでいる。想定浸水区域を示した「高潮避難地図」は、平成 16 年以降順次整備され、対象地区の全戸に配布されている。

2.1.3 調査方法の詳細

(1) 調査対象地域

調査対象地域は、以下の通りである。その位置を図-2.3～4に、町名を表-2.1に示す。

釧路市：平成18年千島列島沖地震の際の避難勧告対象地区

旧釧路市 釧路市津波ハザードマップに図示された「3m未満の高さの津波が発生した場合の避難対象区域」

旧音別町 JR根室本線より海側の地域

宇部市：平成19年台風5号に対する避難勧告対象地区（平成2年以降に浸水した地域）

山陽小野田市：平成19年台風5号に対する避難勧告対象地区（埴生、津布田、梶、浜の各地区）

なお、次節では、各地区の略称を次のように定義して使用している。

釧路市；釧路川左岸（橋南地区等）、釧路川右岸（橋北地区等）、音別（音別地区）

宇部市；原（原地区）、東岐波（東岐波地区）、西岐波他（西岐波・常盤・恩田・岬地区）

山陽小野田市；埴生（埴生地区）、津布田（津布田地区）、梶（梶地区）、浜（浜地区）



図-2.3 釧路市内の調査対象地域

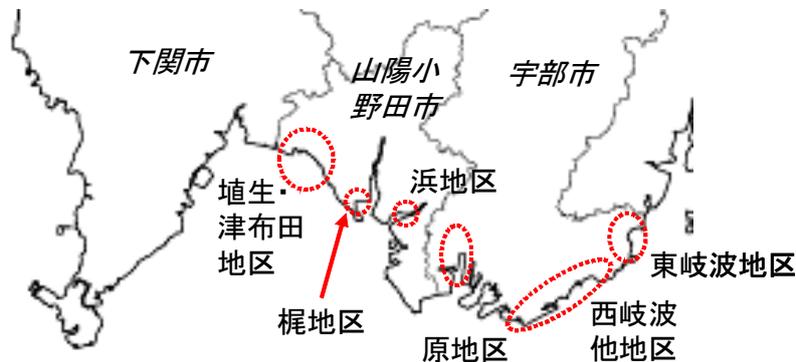


図-2.4 宇部市・山陽小野田市の調査対象地域

表-2.1 調査対象地区

	本調査での 地区区分	各市での 地区区分	該当町丁・字
釧路市	釧路川左岸	(旧釧路市域) 橋南地区	知人町1～3番, 7番の一部, 港町全域, 入舟全域, 千代ノ浦1・2番の一部, 大町1丁目の一部及び2～ 8丁目, 大川町1・3・4・7番の一部及び5・6番, 城山1丁目1・2・4番及び3・10番の一部, 材木町 1番の一部, 南大通1～5丁目の一部, 春採1丁目1 番・2丁目1番の一部, 興津3丁目の一部, 益浦3・ 4丁目の一部, 桂恋の一部, 弁天ヶ浜の一部, 紫雲台 の一部, 三津浦の一部
	釧路川右岸	(旧釧路市域) 橋北地区	浜町1・4・5番の一部及び2・3番, 海運1～3丁 目, 仲浜町1番の一部, 南浜町1～5及び7番並びに 6・8～10番の一部, 浪花町4～6丁目及び7・8丁 目の一部, 幸町3～6丁目, 錦町全域, 黒金町6～13 丁目の一部, 北大通1～13丁目, 末広町全域, 栄町全 域, 川北町全域, 旭町全域
		(旧釧路市域) 鉄西地区	西港1～3丁目の一部, 星が浦南4～6丁目の一部, 大楽毛の一部
	音別地区	旧音別町域	海光1～3丁目, 風連1丁目
宇部市	原地区	原校区	(下記字の一部) 中野開作, 妻崎開作, 東須恵
	西岐波・常 盤・恩田・岬 地区	西岐波・常 盤・恩田・岬 校区	(下記字の一部) 沖宇部, 八王子町, 草江3, 4丁目, 則貞6丁目, 末 広町, 松山町5丁目, 五十目山町, 恩田町5丁目, 西 岐波, 床波1・2・5・6丁目, 亀浦4丁目
	東岐波地区	東岐波校区	(下記字の一部) 東岐波, 岐波, 岐波浦, 丸尾, 黒岬
山陽 小野田市	埴生地区	(同左)	(下記字の一部) 西糸根, 西浜崎, 中浜崎, 東浜崎, 本町裏, 本町表, 下市, 中市, みゆき, 上中, 上市, 前場団地
	津布田地区	(同左)	(下記字の一部) 中塚, 森本, 宮ノ台団地
	梶地区	(同左)	梶下の一部
	浜地区	(同左)	浜の一部



写真 2.1 釧路市（釧路川左岸）



写真 2.2 釧路市（音別地区）



写真 2.3 宇部市（西岐波他地区）



写真 2.4 宇部市（東岐波）



写真 2.5 山陽小野田市（梶地区）

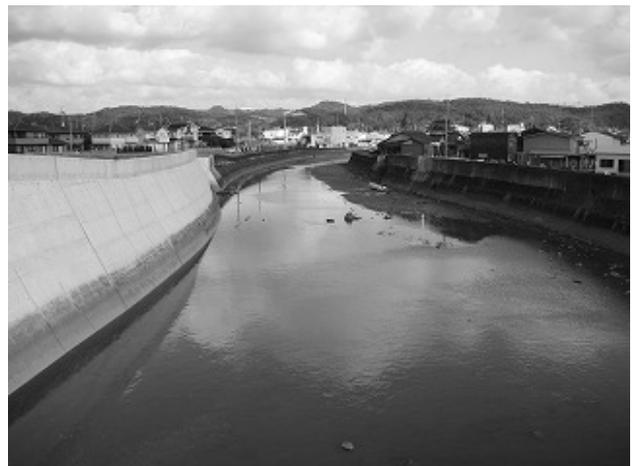


写真 2.6 山陽小野田市（埴生地区）

(2) 調査対象世帯の抽出

調査対象世帯の抽出は以下のような手順で行った。

- 1) 避難勧告対象地区の各町丁目について、標高帯、想定浸水深（釧路市のみ：1m 未満，1m 以上），住宅形態（戸建て，集合住宅）の属性毎に，世帯数を算定する。標高帯については，釧路市では2段階（2m 未満，2m 以上），宇部市と山陽小野田市では5段階（0～2m，2～4m，4～6m，6～8m，8m 以上）とした。
- 2) 配布対象候補を各市 800 世帯（山陽小野田市のみ 768 世帯）とし，各町丁目の属性毎の世帯数に応じて，配布対象候補世帯数を配分する。
- 3) 配分された配布対象候補数をもとに，各町丁目の属性毎に，配布対象候補世帯を無作為に抽出する。配布対象世帯について，手渡しにより 500 戸，投函により 150 戸配布することを目途とした。また，回答された調査票は，送料着払いの郵送で回収した。各市における調査票の配布・回収状況を表-2.2 に示す。回収率は，釧路市と山陽小野田市が 46%，宇部市が 61%である。

表-2.2 調査票の配布・回収状況

項目	釧路市	宇部市	山陽小野田市
手渡し	557	551	527
投函	93	99	123
配布数	650	650	650
回収数	302	398	298

(3) 質問紙の内容

質問紙の設計に先立ち，図-2.5 のように，避難行動の仮説を立てた。仮説では，Fishbein and Aijen(1975)や Tatsuki ら(2004)を参考にして避難行動と避難意図を分け，それらに関わる要因（共分散構造分析における潜在変数）の因果関係を仮定した。また，図-2.6～7 のように，それらの要因に関わる項目（共分散構造分析における観測変数）を，質問紙調査等で測定することを念頭に設定した。

質問紙調査では，同居人数，避難困難者および自動車運転者の有無，家屋形式と階数，地震動または風・雨の恐さ，浸水および危険性の予想，警報・避難勧告の認知，避難の意思・準備・行動，避難呼びかけ合いの有無，災害および避難の経験，防災訓練への参加状況，ハザードマップ，避難所，浸水想定区域の認知，既往災害および災害伝承の認知，永住希望，ソーシャルキャピタル（他人への信頼感，近所つき合い，地域の地縁活動，個人の活動）などについて回答を得た。ソーシャルキャピタルについては，内閣府による調査を参考に質問紙を設計した。

質問紙は，釧路市では平成 19 年 12 月 15～17 日，宇部市では同月 15～19 日，山陽小野田市では同月 15～18 日に配布した。

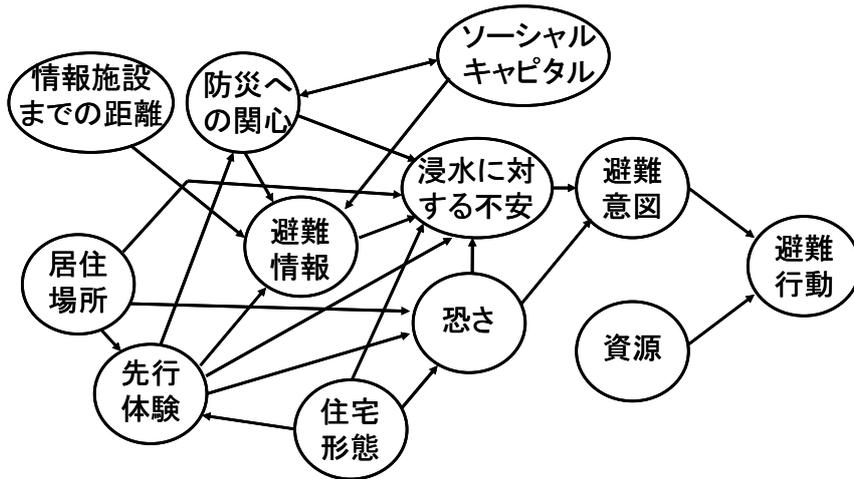


図 2.5 避難行動の仮説

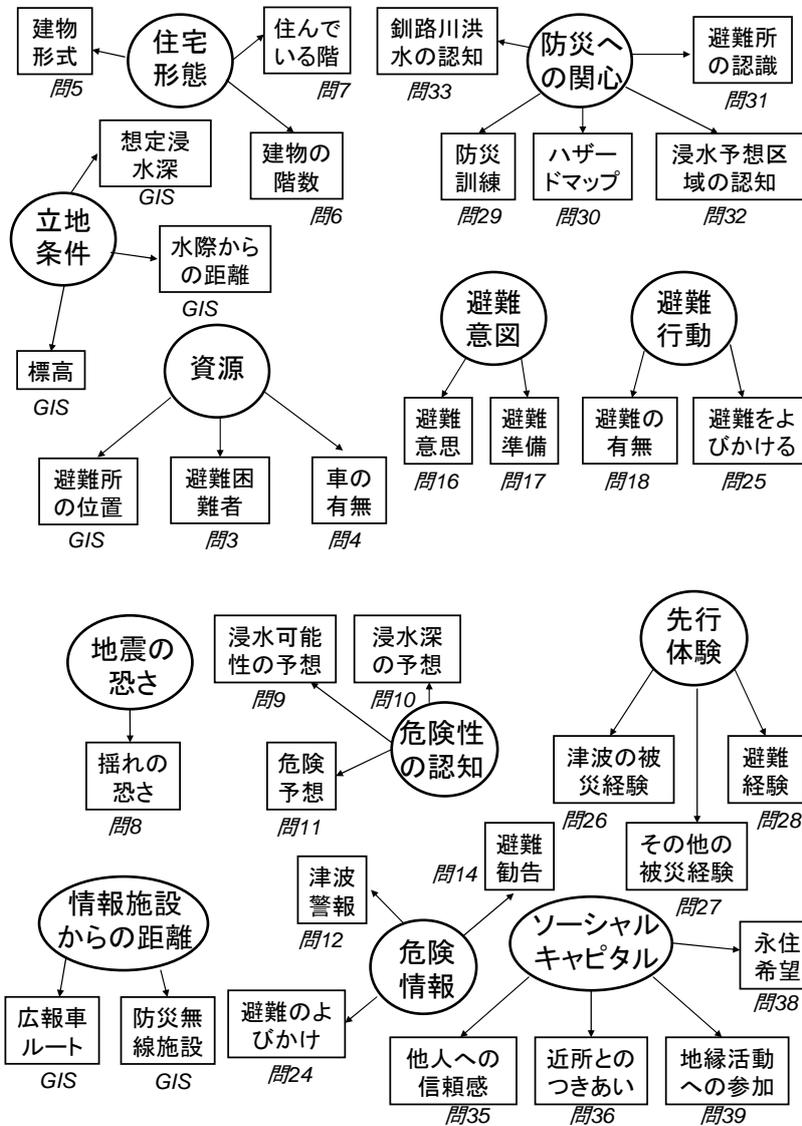


図 2.6 避難行動に関わる要因の観測変数 (釧路市)

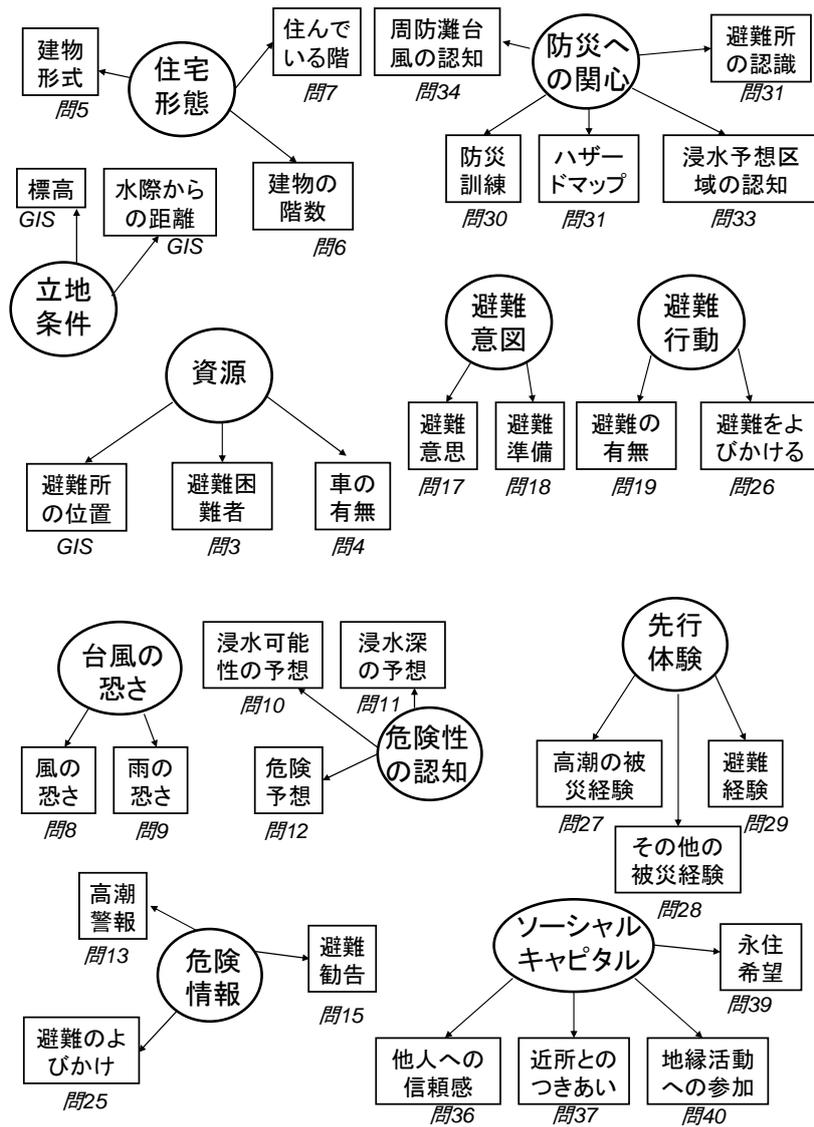


図 2.7 避難行動に関わる要因の観測変数 (宇部市・山陽小野田市)

(4) 位置情報の測定

回収された質問紙から回答者の住所を読み取り、表-2.3のように、地理情報システムを活用して回答者の標高や海岸線からの距離などを測定した。釧路市と宇部市では、河川からの浸水が想定されるため、最寄りの河川あるいは海岸線からの距離を「水際からの距離」として測定した。

表-2.3 位置情報の測定方法

地理情報	釧路市	宇部市	山陽小野田市
標高	<ul style="list-style-type: none"> レーザー測量データにより算出 レーザー測量対象外の地区については、1/2,500地形図等高線より補間算出 現地にて宅盤の盛土等によるかさ上げ、逆に掘り下げが確認された場合、現地調査員により50cm単位で目測し補正。 	<ul style="list-style-type: none"> 12.5mメッシュ標高データにより算出 現地にて宅盤の盛土等によるかさ上げ、逆に掘り下げが確認された場合、現地調査員により50cm単位で目測し補正 	<ul style="list-style-type: none"> 1/2,500地形図等高線より補間算出 現地にて宅盤の盛土等によるかさ上げ、逆に掘り下げが確認された場合、現地調査員により50cm単位で目測し補正
最大浸水深	<ul style="list-style-type: none"> 500年間隔地震時計算値（「構造物あり」ケース） 	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象エリアは「平成2年以降に浸水した地区」という定義のみで、最大浸水深に関するデータなし 	<ul style="list-style-type: none"> 最大浸水深に関するデータなし（調査対象：避難対象となっている字名）
海岸線からの距離	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線までの距離を計測 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線までの距離を計測 ※東岐波校区の養殖場は海抜い 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線までの距離を計測 ※但し有帆川の県道より下流は海抜い ※但し厚狭川の道路橋より下流は海抜い
水際からの距離	<ul style="list-style-type: none"> 主な河川を描画し、高潮・津波の流入経路となる河川を特定し、そこからの距離を計測 <対象とした河川> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路川 ・新釧路川 ・阿寒川 ・音別川 	<ul style="list-style-type: none"> 主な河川を描画し、高潮・津波の流入経路となる河川を特定し、そこからの距離を計測 <対象とした河川> <ul style="list-style-type: none"> ・厚東川 	<ul style="list-style-type: none"> 主な河川を描画し、高潮・津波の流入経路となる河川を特定し、そこからの距離を計測 <対象とした河川> <ul style="list-style-type: none"> …なし ※但し有帆川の県道より下流は海抜い ※但し厚狭川の道路橋より下流は海抜い
避難場所までの距離	<ul style="list-style-type: none"> 「500年間隔地震津波ハザードマップ」（市作成）における一時避難場所までの直線距離を計測 	<ul style="list-style-type: none"> 「宇部市防災マップ」（市作成）に記載された避難場所までの距離を計測 	<ul style="list-style-type: none"> 「高潮避難地図」（市作成）に記載された避難場所までの距離を計測
防災無線施設からの距離	<ul style="list-style-type: none"> 500年間隔地震津波ハザードマップに記載された防災無線施設までの距離を計測。音別地区については別途施設位置図を入手し、距離を計測 	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線（拡声器）はないため算出しない ※伝達手段としてコミュニティFMあり。防災メール・FAXあり 	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線（拡声器）はないため算出しない ※伝達手段として有線放送、FMきらら、自治会長への電話等
広報車ルートからの距離	<ul style="list-style-type: none"> 広報車ルート図からルートまでの直線距離を計測（市作成地図を受領） 	<ul style="list-style-type: none"> 校区ごとに巡回車がまわるがルートは不明のため算出しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 巡回車はあるがルートは不明のため算出しない。

2.2 集計結果

2.2.1 概要

市全体および地区別に、標高・海岸線からの距離など回答者の位置情報と質問紙回答の集計を行った。
また、ソーシャルキャピタルに関する全国調査事例である平成14年度の内閣府調査と比較するため、その回答者の属性などについても合わせて整理した。

2.2.2 回答者の属性

(1)性別

○釧路市

「男性」が46.2%、「女性」が53.2%とやや女性の割合が高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別ともに市計と同様に「女性」が55.5%、50.6%、60.0%と高い。地区間で大きな相違はない。

○宇部市

「男性」が52.5%、「女性」が47.2%とやや男性の割合がやや高い。

地区別では、原、西岐波他ともに市計と同様に「男性」が57.7%、51.0%と「男性」がやや高い。東岐波は、男女半々となっている。地区間で大きな相違はない。

○山陽小野田市

「男性」が52.0%、「女性」が46.6%とやや男性の割合がやや高い。

地区別では、埴生、津布田、梶ともに市計と同様に「男性」が51.7%、55.1%、54.2%と男性の割合がやや高い。浜は、「女性」が51.2%と女性がやや高い。

○内閣府調査との比較

平成14年度内閣府調査結果では、女性の割合がやや多いが、男女が約半数を占めている。今回の調査対象3市もほぼ半々となっており、内閣府調査との大きな相違はない。

釧路市

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 男	55	78	6	139	43.0	49.4	40.0	46.2
2 女	71	80	9	160	55.5	50.6	60.0	53.2
※ 無回答	2	0	0	2	1.6	0.0	0.0	0.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

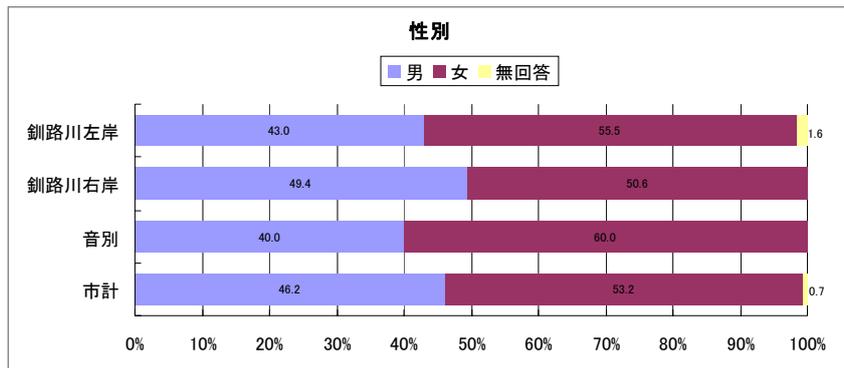
宇部市

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 男	60	42	105	209	57.7	50.0	51.0	52.5
2 女	44	42	100	188	42.3	50.0	48.5	47.2
※ 無回答	0	0	1	1	0.0	0.0	0.5	0.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

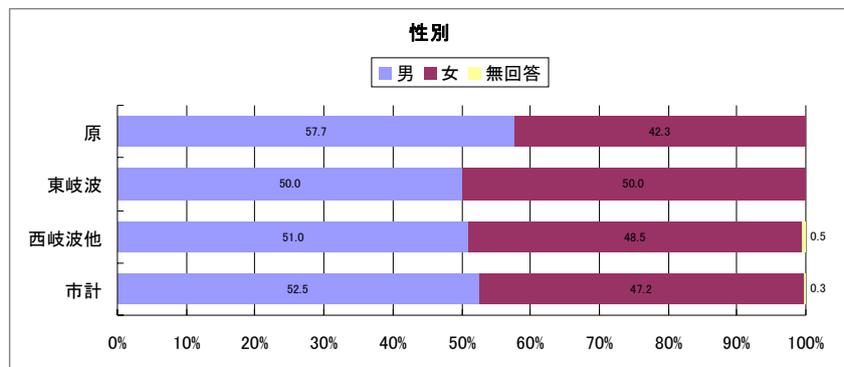
山陽小野田市

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 男	92	27	13	20	155	51.7	55.1	54.2	48.8	52.0
2 女	85	20	10	21	139	47.8	40.8	41.7	51.2	46.6
※ 無回答	1	2	1	0	4	0.6	4.1	4.2	0.0	1.3
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

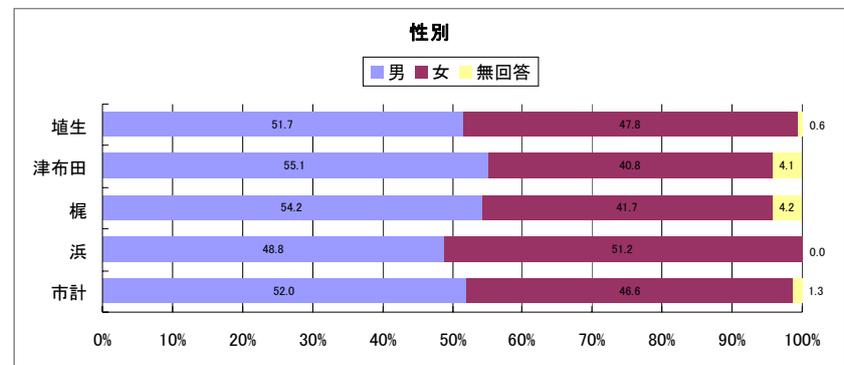
釧路市



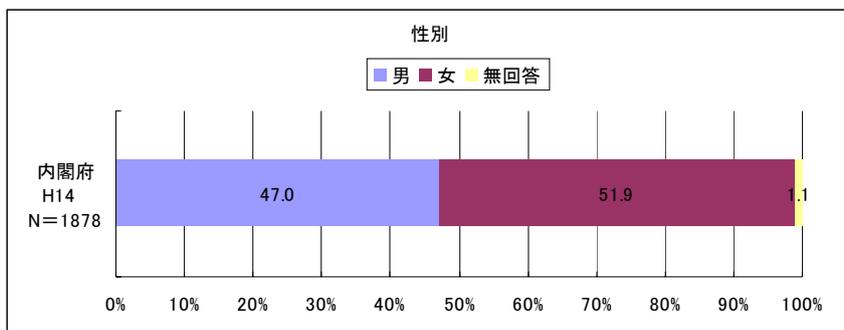
宇部市



山陽小野田市



内閣府調査



(2) 世帯人員

○釧路市

「2人」が34.9%と最も割合が高く、次いで「1人」が31.2%と高い。

地区別では、釧路川右岸は、市計と同様に「2人」が38.3%最も割合が高い。釧路川左岸は、「1人」が34.8%と最も高い。音別は、「2人」と「3人」が33.3%と最も割合が高い。地区間で大きな相違はない。

○宇部市

「2人」が40.5%と最も割合が高く、次いで「3人」が23.1%と高い。

地区別では、原、東岐波、西岐波他ともに市計と同様に「2人」が39.4%、33.3%、43.7%と最も高く、地区間で大きな相違はない。

○山陽小野田市

「2人」が43.3%と最も割合が高く、次いで「3人」が17.4%と高い。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜ともに市計と同様に「2人」が48.9%、34.7%、37.5%、31.7%と最も高く、地区間で大きな相違はない。

○内閣府調査との比較

平成14年度内閣府調査結果では、世帯人員は「4人」と「3人」で約半数を占めている。今回の調査では、同居していない家族を除いた人数を計測しているため、内閣府調査の世帯人員より少ない人数となったと考えられる。

釧路市

問2 世帯人員

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 1人	35	55	4	94	27.3	34.8	26.7	31.2
2 2人	49	51	5	105	38.3	32.3	33.3	34.9
3 3人	19	32	5	56	14.8	20.3	33.3	18.6
4 4人	17	11	1	29	13.3	7.0	6.7	9.6
5 5人	4	5	0	9	3.1	3.2	0.0	3.0
6 6人以上	2	4	0	6	1.6	2.5	0.0	2.0
※ 無回答	2	0	0	2	1.6	0.0	0.0	0.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問2 世帯人員

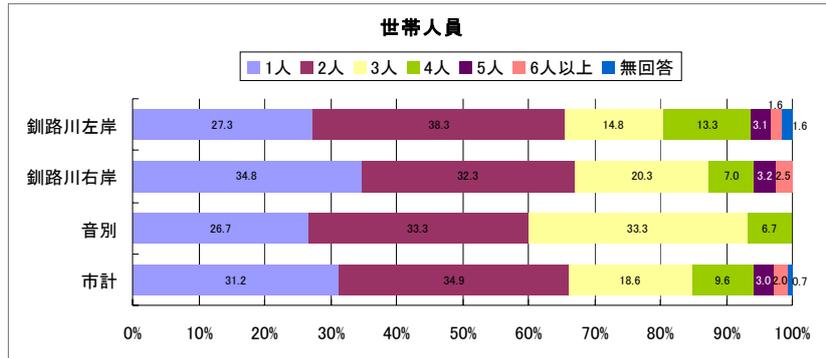
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 1人	13	10	26	49	12.5	11.9	12.6	12.3
2 2人	41	28	90	161	39.4	33.3	43.7	40.5
3 3人	21	23	46	92	20.2	27.4	22.3	23.1
4 4人	16	8	26	50	15.4	9.5	12.6	12.6
5 5人	7	10	8	25	6.7	11.9	3.9	6.3
6 6人以上	5	5	10	20	4.8	6.0	4.9	5.0
※ 無回答	1	0	0	1	1.0	0.0	0.0	0.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

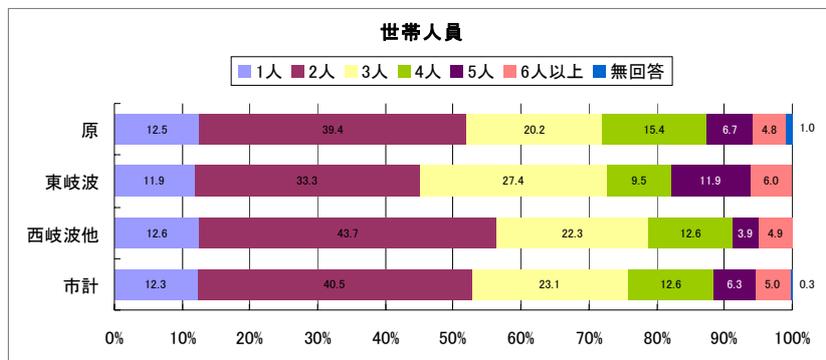
問2 世帯人員

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 1人	26	5	3	6	41	14.6	10.2	12.5	14.6	13.8
2 2人	87	17	9	13	129	48.9	34.7	37.5	31.7	43.3
3 3人	26	13	7	5	52	14.6	26.5	29.2	12.2	17.4
4 4人	16	9	4	10	39	9.0	18.4	16.7	24.4	13.1
5 5人	11	1	0	4	17	6.2	2.0	0.0	9.8	5.7
6 6人以上	10	4	1	1	16	5.6	8.2	4.2	2.4	5.4
※ 無回答	2	0	0	2	4	1.1	0.0	0.0	4.9	1.3
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

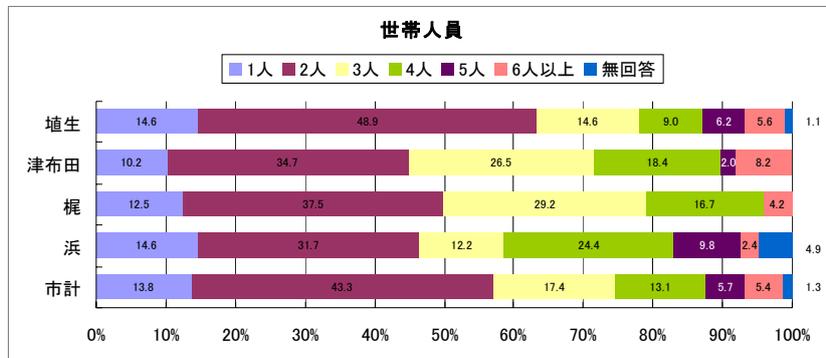
釧路市



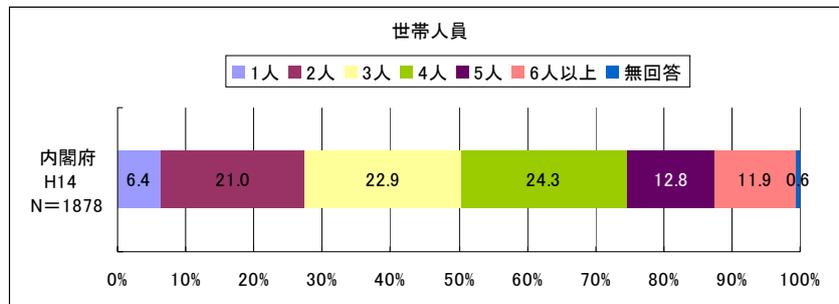
宇部市



山陽小野田市



内閣府調査



(3)同居者の中で歩いて避難することが難しい人の数

○釧路市

歩いて避難することが難しい同居者がいる割合は、市計で18.2%である。

○宇部市

歩いて避難することが難しい同居者がいる割合は、市計で19.1%である。

○山陽小野田市

歩いて避難することが難しい同居者がいる割合は、市計で23.8%である。

その割合は、埴生で比較的高く、梶、浜で比較的低い。

釧路市

問3 徒歩避難困難者数

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
0人	90	124	11	225	70.3	78.5	73.3	74.8
1人	24	23	4	51	18.8	14.6	26.7	16.9
2人	4	0	0	4	3.1	0.0	0.0	1.3
3人	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
4人	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
5人	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
6人以上	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※無回答	10	11	0	21	7.8	7.0	0.0	7.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問3 徒歩避難困難者数

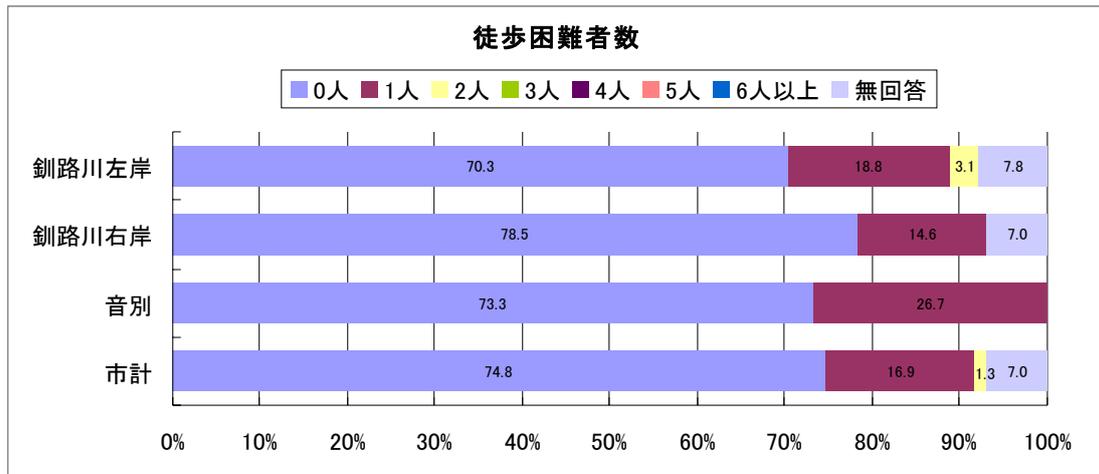
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
0人	77	64	166	309	74.0	76.2	80.6	77.6
1人	20	17	31	70	19.2	20.2	15.0	17.6
2人	3	1	2	6	2.9	1.2	1.0	1.5
3人	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
4人	0	0	1	1	0.0	0.0	0.5	0.3
5人	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
6人以上	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※無回答	4	2	6	12	3.8	2.4	2.9	3.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

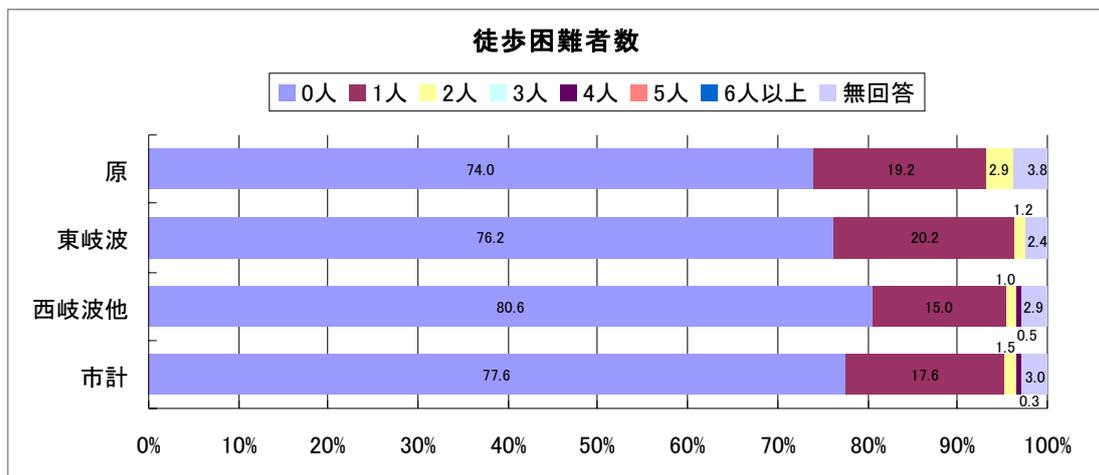
問3 徒歩避難困難者数

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
0人	137	35	12	24	210	77.0	71.4	50.0	58.5	70.5
1人	29	13	7	10	62	16.3	26.5	29.2	24.4	20.8
2人	0	0	0	3	3	0.0	0.0	0.0	7.3	1.0
3人	1	0	1	3	5	0.6	0.0	4.2	7.3	1.7
4人	1	0	0	0	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3
5人	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6人以上	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※無回答	10	1	4	1	17	5.6	2.0	16.7	2.4	5.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

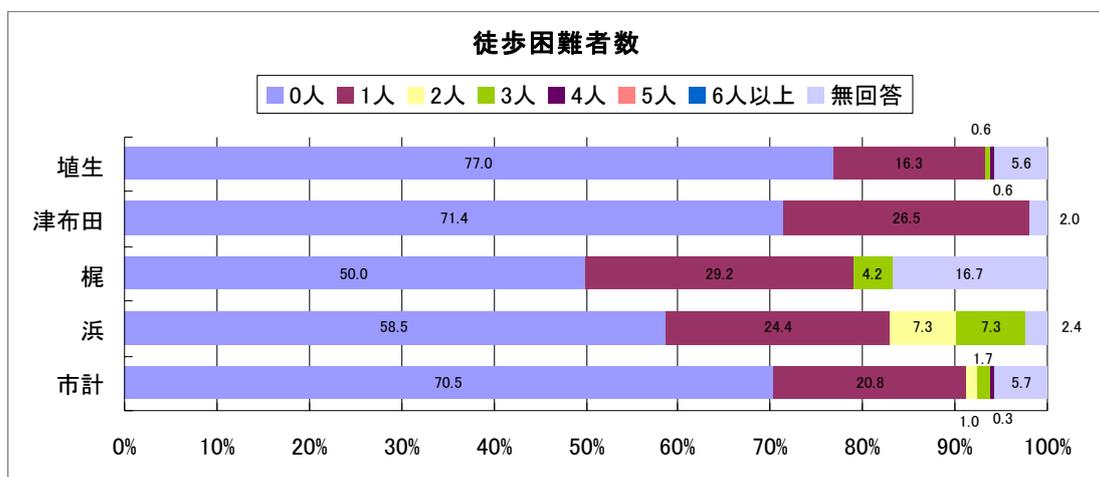
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(4)同居者の中で車をふだん運転する人の数

○釧路市

車をふだん運転する人が同居者の中にいない割合は、市計で21.6%である。

○宇部市

車をふだん運転する人が同居者の中にいない割合は、市計で14.3%であり、地区間で大きな相違はない。

○山陽小野田市

車をふだん運転する人が同居者の中にいない割合は、市計で17.4%である。

その割合は、埴生と梶で比較的高い。

釧路市

問4 運転者数

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
0人	24	35	6	65	18.8	22.2	40.0	21.6
1人	50	68	6	124	39.1	43.0	40.0	41.2
2人	34	38	3	75	26.6	24.1	20.0	24.9
3人	11	6	0	17	8.6	3.8	0.0	5.6
4人	1	4	0	5	0.8	2.5	0.0	1.7
5人	1	1	0	2	0.8	0.6	0.0	0.7
6人以上	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※ 無回答	7	6	0	13	5.5	3.8	0.0	4.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問4 運転者数

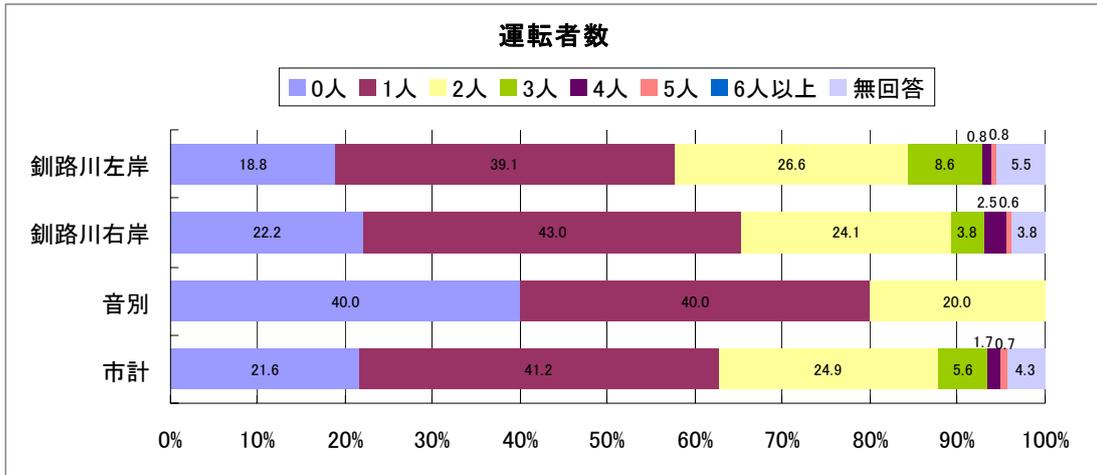
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
0人	13	15	28	57	12.5	17.9	13.6	14.3
1人	34	22	66	123	32.7	26.2	32.0	30.9
2人	40	31	80	153	38.5	36.9	38.8	38.4
3人	13	11	17	41	12.5	13.1	8.3	10.3
4人	3	4	9	16	2.9	4.8	4.4	4.0
5人	0	1	2	3	0.0	1.2	1.0	0.8
6人以上	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※ 無回答	1	0	4	5	1.0	0.0	1.9	1.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

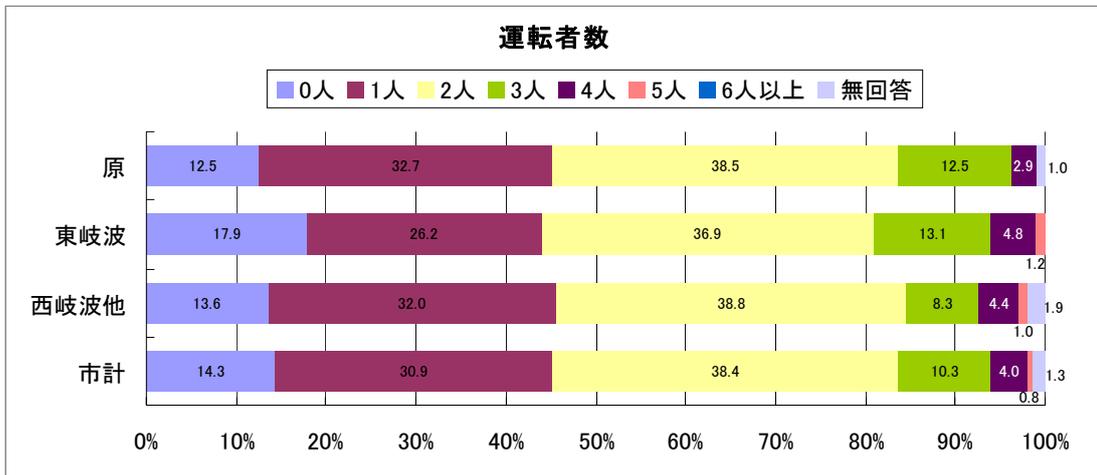
問4 運転者数

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
0人	37	1	2	10	52	20.8	2.0	8.3	24.4	17.4
1人	67	14	12	9	104	37.6	28.6	50.0	22.0	34.9
2人	49	26	3	15	94	27.5	53.1	12.5	36.6	31.5
3人	14	2	5	4	26	7.9	4.1	20.8	9.8	8.7
4人	7	6	0	2	15	3.9	12.2	0.0	4.9	5.0
5人	0	0	1	0	1	0.0	0.0	4.2	0.0	0.3
6人以上	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※ 無回答	4	0	1	1	6	2.2	0.0	4.2	2.4	2.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

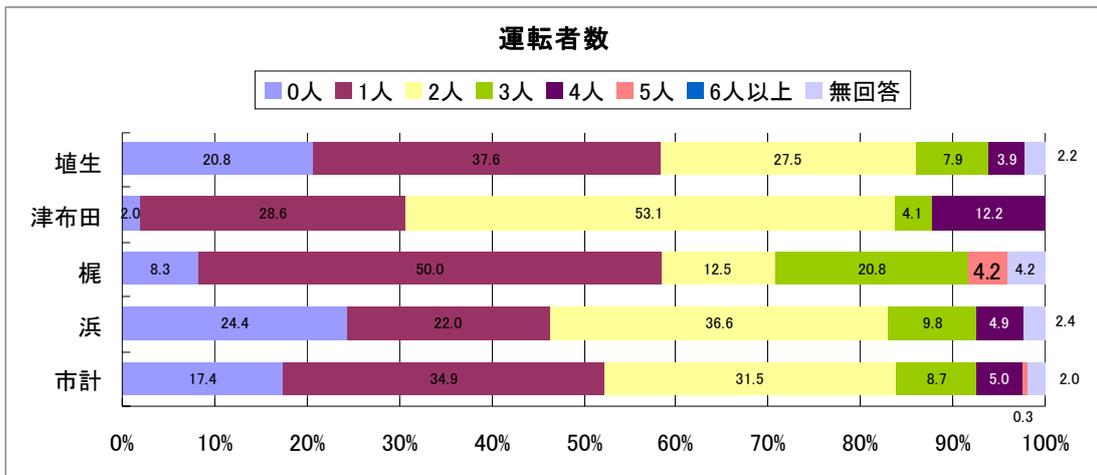
鉏路市



宇部市



山陽小野田市



(5)住宅形態

○釧路市

市計では、一戸建てが 57.8%，集合住宅が 42.2%を占めている。

○宇部市

市計では一戸建てが 95.2%を占めており、地区間での差も小さい。

○山陽小野田市

市計では一戸建てが 94.6%を占めており、地区間での差も小さい。

○内閣府調査との比較

平成 14 年度内閣府調査結果では、「持ち家（一戸建て）」が約 7 割を占めている。「一戸建て」は、釧路市は内閣府調査より 10%程度低いが、宇部市と山陽小野田市は内閣府調査より 20%程度高い。

釧路市

問5 住宅形態

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 一戸建て	79	90	5	174	61.7	57.0	33.3	57.8
2 集合住宅	49	68	10	127	38.3	43.0	66.7	42.2
※ 無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問5 住宅形態

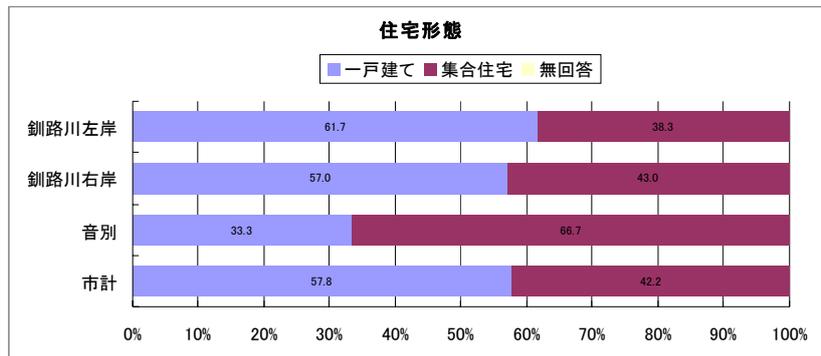
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 一戸建て	98	83	194	379	94.2	98.8	94.2	95.2
2 集合住宅	5	1	12	18	4.8	1.2	5.8	4.5
※ 無回答	1	0	0	1	1.0	0.0	0.0	0.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

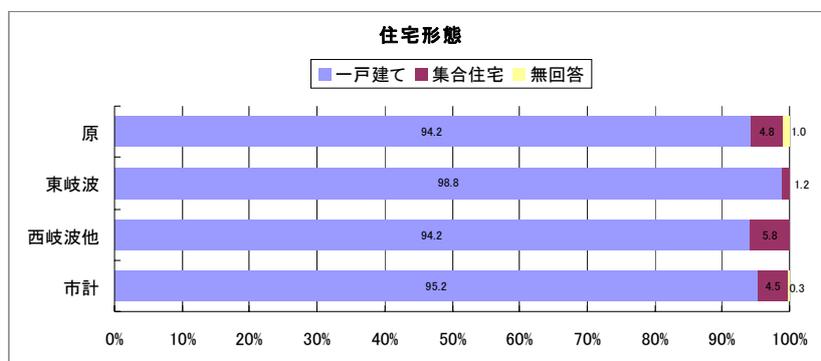
問5 住宅形態

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 一戸建て	163	49	24	41	282	91.6	100.0	100.0	100.0	94.6
2 集合住宅	14	0	0	0	15	7.9	0.0	0.0	0.0	5.0
※ 無回答	1	0	0	0	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

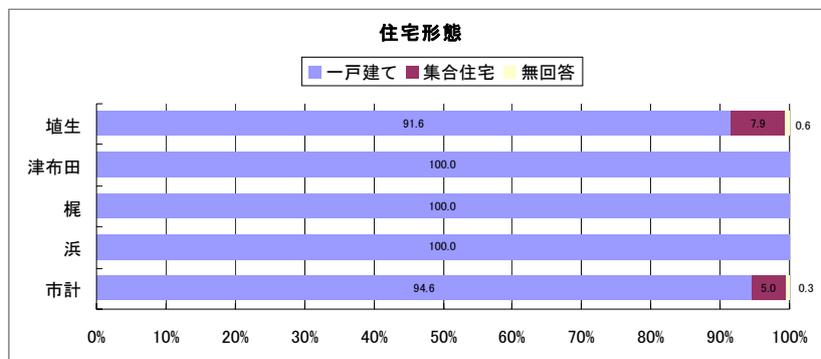
釧路市



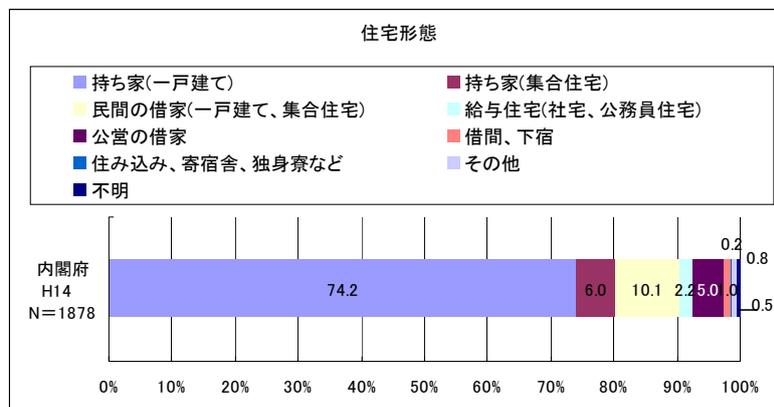
宇部市



山陽小野田市



内閣府



(6) 建物の階数

○釧路市

「2階建て」が65.4%と最も割合が高く、次いで、「4階建て以上」が24.9%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸は、市計と同様に「2階建て」が67.2%、65.8%と最も割合が高い。音別は、「平屋」が53.3%と最も高く、地区により住宅形態は異なっている。

○宇部市

「2階建て」が69.6%と最も割合が高く、次いで、「平屋」が29.4%と高い。

地区別では、原、東岐波、西岐波他ともに市計と同様に「2階建て」が63.5%、71.4%、71.8%と最も高く、地区間で大きな相違はない。

○山陽小野田市

「2階建て」が75.5%と最も割合が高く、次いで、「平屋」が21.1%と高い。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「2階建て」が80.9%、75.5%、66.7%、58.5%と最も割合が高く、地区間で大きな相違はない。

釧路市

問6 建物の階数

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 平屋	3	4	8	15	2.3	2.5	53.3	5.0
2 2階建て	86	104	7	197	67.2	65.8	46.7	65.4
3 3階建て	3	10	0	13	2.3	6.3	0.0	4.3
4 4階建て以上	35	40	0	75	27.3	25.3	0.0	24.9
※ 無回答	1	0	0	1	0.8	0.0	0.0	0.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問6 建物の階数

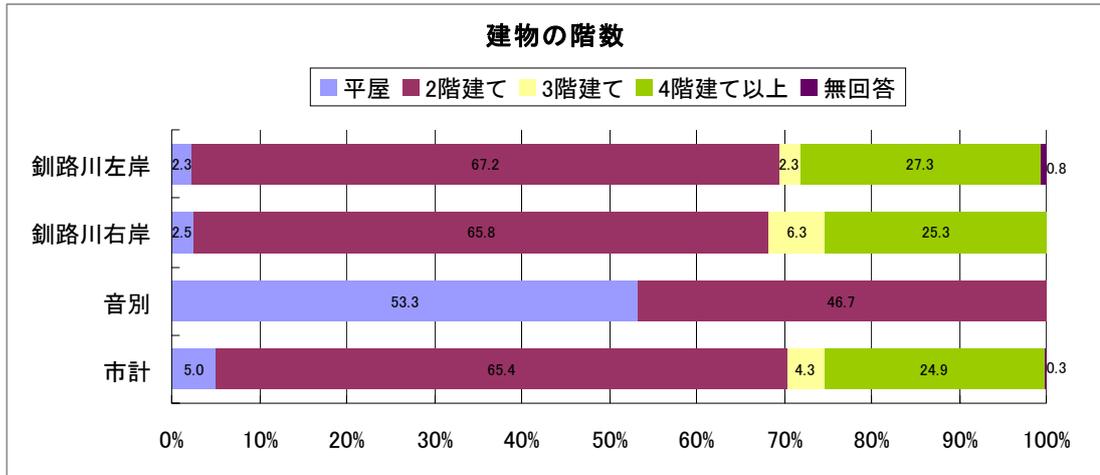
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 平屋	37	24	55	117	35.6	28.6	26.7	29.4
2 2階建て	66	60	148	277	63.5	71.4	71.8	69.6
3 3階建て	0	0	1	1	0.0	0.0	0.5	0.3
4 4階建て以上	0	0	2	2	0.0	0.0	1.0	0.5
※ 無回答	1	0	0	1	1.0	0.0	0.0	0.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

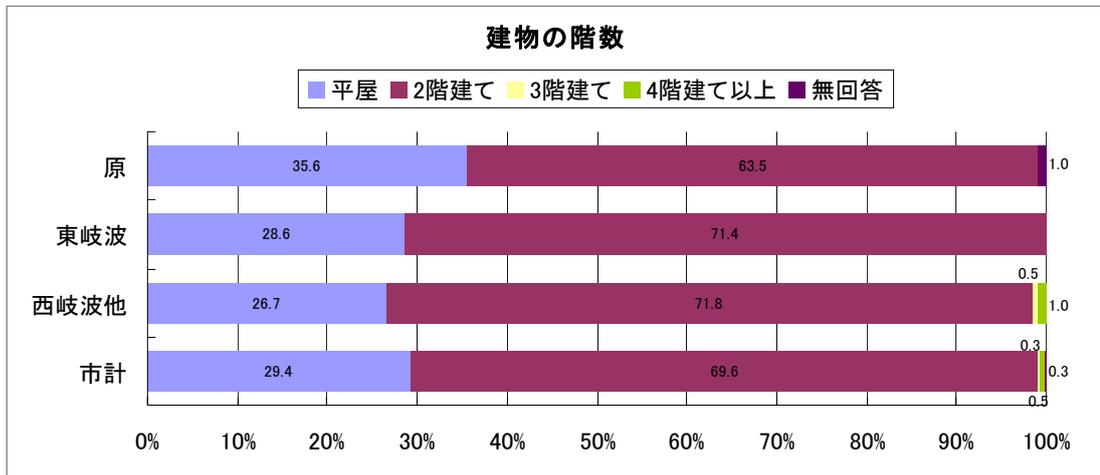
問6 建物の階数

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 平屋	28	11	6	17	63	15.7	22.4	25.0	41.5	21.1
2 2階建て	144	37	16	24	225	80.9	75.5	66.7	58.5	75.5
3 3階建て	3	0	0	0	3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.0
4 4階建て以上	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※ 無回答	3	1	2	0	7	1.7	2.0	8.3	0.0	2.3
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

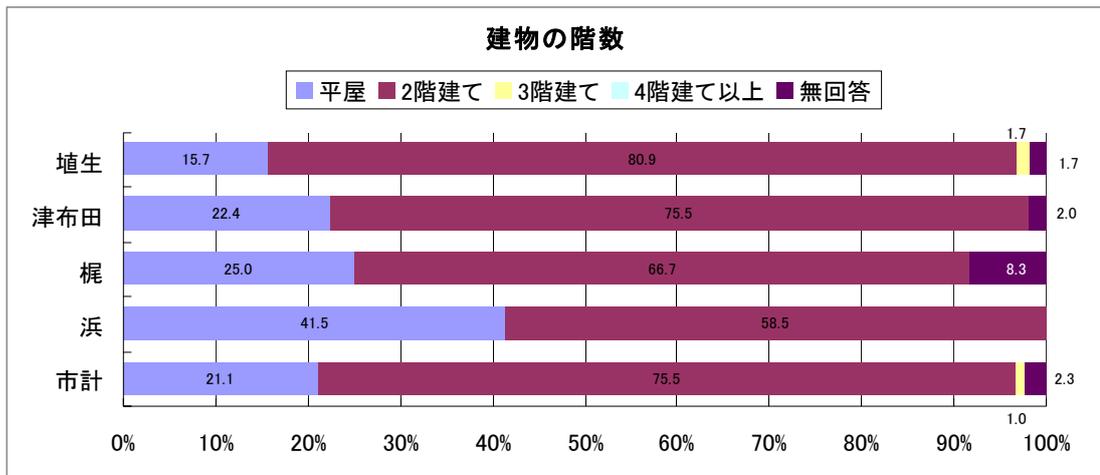
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(7) 1日の中で最も長く過ごしている階

○釧路市

「1階」が56.5%と最も割合が高く、次いで、「2階」が20.9%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「1階」が60.9%、50.6%、80.0%と最も割合が高い。

○宇部市

「1階」が89.4%と最も割合が高く、次いで、「2階」が8.8%と高い。

地区別では、原、東岐波、西岐波他ともに市計と同様に「1階」が91.3%、92.9%、87.4%と最も高く、地区間で大きな相違はない。

○山陽小野田市

「1階」が89.3%と最も割合が高く、次いで、「2階」が9.1%と高い。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「1階」が87.6%、98.0%、95.7%、85.0%と最も割合が高く、地区間で大きな相違はない。

釧路市

問7 住んでいる階

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1階	78	80	12	170	60.9	50.6	80.0	56.5
2階	21	41	1	63	16.4	25.9	6.7	20.9
3階	6	8	0	14	4.7	5.1	0.0	4.7
4階	6	10	0	16	4.7	6.3	0.0	5.3
5階	13	15	0	28	10.2	9.5	0.0	9.3
6階以上	3	4	0	7	2.3	2.5	0.0	2.3
※ 無回答	1	0	2	3	0.8	0.0	13.3	1.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問7 住んでいる階

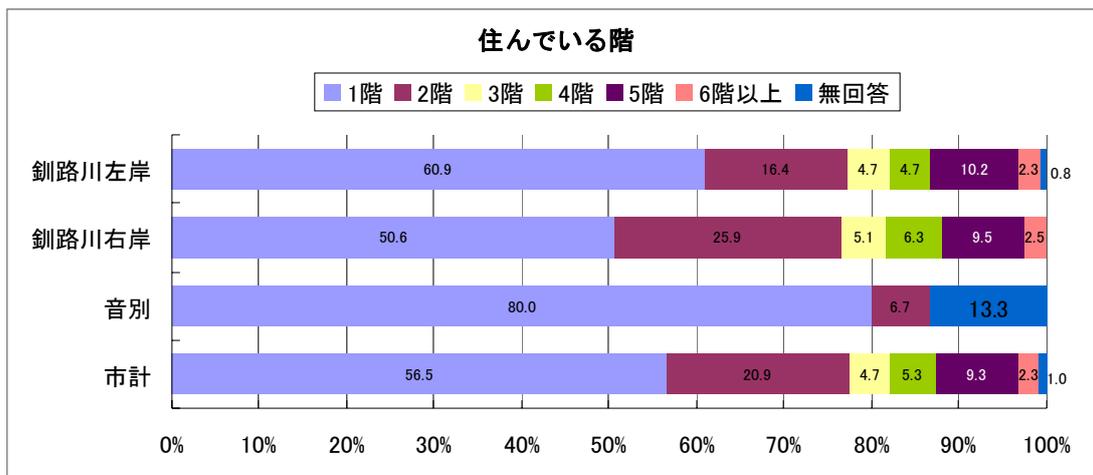
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1階	95	78	180	356	91.3	92.9	87.4	89.4
2階	8	6	20	35	7.7	7.1	9.7	8.8
3階	0	0	3	3	0.0	0.0	1.5	0.8
4階	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
5階	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
6階以上	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※ 無回答	1	0	3	4	1.0	0.0	1.5	1.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

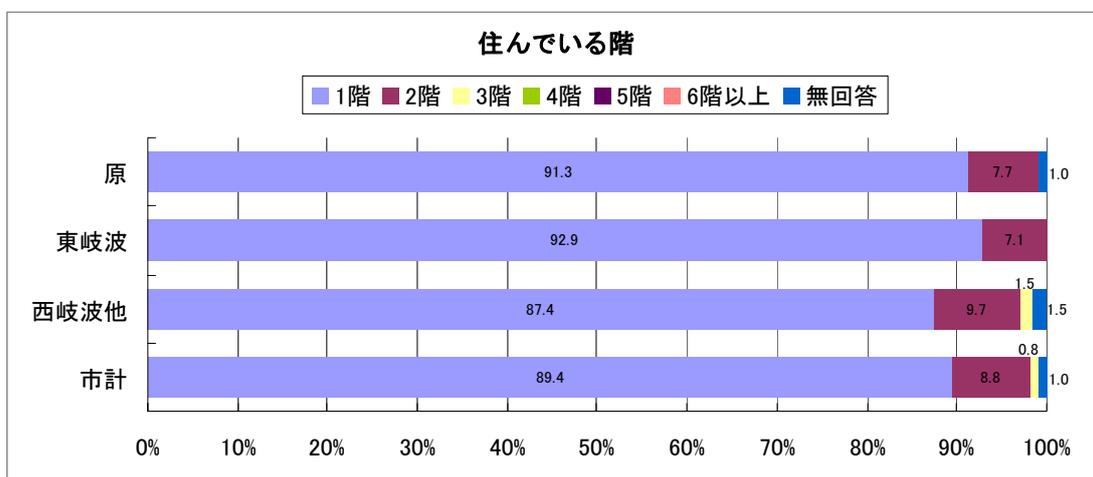
問7 住んでいる階

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1階	156	48	22	34	266	87.6	98.0	95.7	85.0	89.3
2階	19	1	1	6	27	10.7	2.0	4.3	15.0	9.1
3階	1	0	0	0	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3
4階	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5階	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6階以上	1	0	0	0	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3
※ 無回答	1	0	0	0	3	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0
N=298 総計	178	49	23	40	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

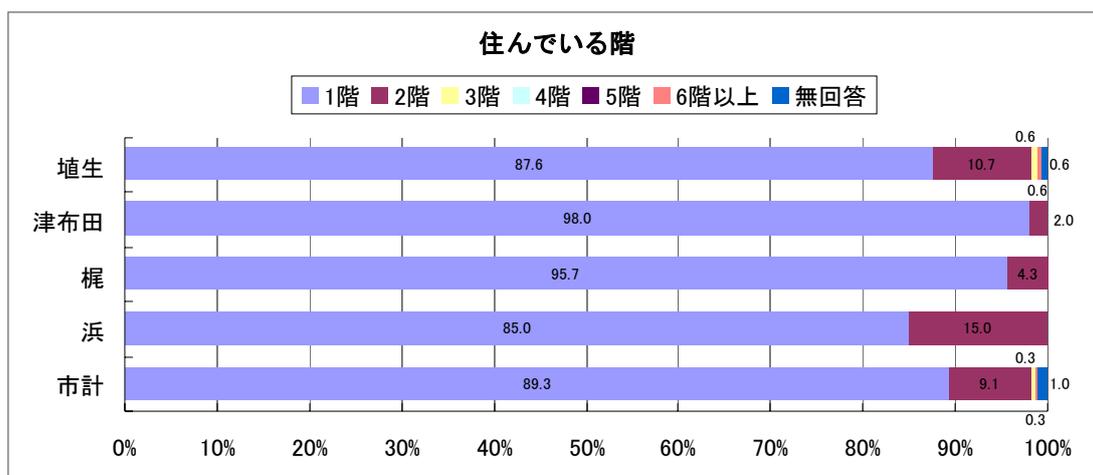
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.3 回答者の位置情報

(1) 標高

○釧路市

「0.5～1.0m 未満」が60.5%と最も割合が高く、次いで、「1.0～2.0m 未満」が29.2%と高い。

地区別では、釧路川左岸、釧路川右岸ともに市計と同様に「0.5～1.0m 未満」が57.8%、68.4%と最も割合が高く、次いで、「1.0～2.0m 未満」が高い。音別は、「4.0～5.0m 未満」が73.3%と最も割合が高く、次いで、「2.0～3.0m 未満」が20.0%と高く、他2地区と標高の特性が異なっている。

○宇部市

「3.0～4.0m 未満」が23.9%と最も割合が高く、次いで、「4.0～5.0m 未満」が16.8%と高い。

地区別では、東岐波、西岐波他ともに市計と同様に「3.0～4.0m 未満」が39.3%、25.7%と最も割合が高く、次いで、「4.0～5.0m 未満」が高い。原は、「0.5～1.0m 未満」が31.7%と最も割合が高く、次いで、「0～0.5m 未満」が25.0%と高く、他2地区と標高の特性が異なっている。

○山陽小野田市

「3.0～4.0m 未満」が41.9%と最も割合が高く、次いで、「2.0～3.0m 未満」が22.5%と高い。

地区別では、埴生、梶ともに市計と同様に「3.0～4.0m 未満」が48.9%、45.8%と最も割合が高く、次いで、「2.0～3.0m 未満」が高い。津布田は、「3.0～4.0m 未満」と「10.0m～」が38.8%、36.7%と割合が高い。浜は、「1.0～2.0m 未満」と「2.0～3.0m 未満」が24.4%と高い。地区により標高の特性が異なっている。

釧路市

計測 標高(盛土を含む)

(m)	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 0～0.5未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 0.5～1.0未満	1	4	0	5	0.8	2.5	0.0	1.7
3 1.0～2.0未満	74	108	0	182	57.8	68.4	0.0	60.5
4 2.0～3.0未満	45	42	1	88	35.2	26.6	6.7	29.2
5 3.0～4.0未満	6	4	3	13	4.7	2.5	20.0	4.3
6 4.0～5.0未満	1	0	0	1	0.8	0.0	0.0	0.3
7 5.0～7.0未満	1	0	11	12	0.8	0.0	73.3	4.0
8 7.0～10.0未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 10.0～	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

計測 標高(盛土を含む)

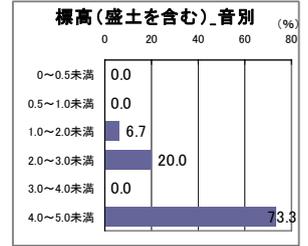
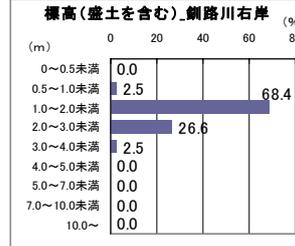
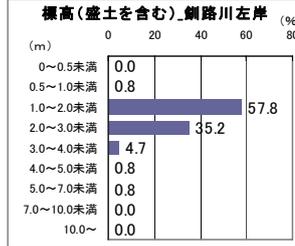
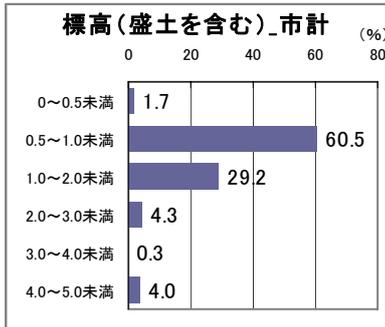
(m)	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 0～0.5未満	26	0	0	26	25.0	0.0	0.0	6.5
2 0.5～1.0未満	33	0	0	33	31.7	0.0	0.0	8.3
3 1.0～2.0未満	14	1	14	29	13.5	1.2	6.8	7.3
4 2.0～3.0未満	13	10	35	58	12.5	11.9	17.0	14.6
5 3.0～4.0未満	9	33	53	95	8.7	39.3	25.7	23.9
6 4.0～5.0未満	6	16	45	67	5.8	19.0	21.8	16.8
7 5.0～7.0未満	3	15	45	63	2.9	17.9	21.8	15.8
8 7.0～10.0未満	0	6	13	19	0.0	7.1	6.3	4.8
9 10.0～	0	3	1	4	0.0	3.6	0.5	1.0
不明	0	0	0	4	0.0	0.0	0.0	1.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

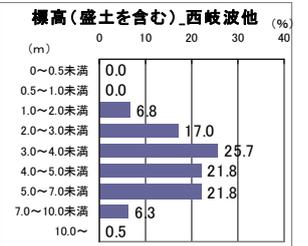
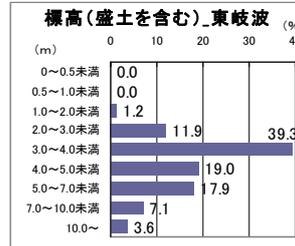
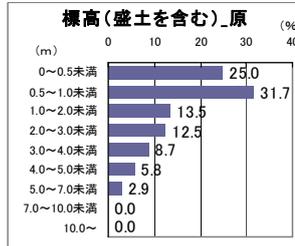
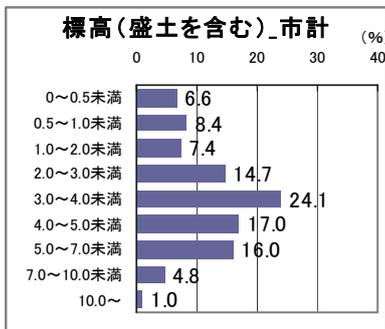
計測 標高(盛土を含む)

(m)	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 0～0.5未満	0	0	0	1	1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.3
2 0.5～1.0未満	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 1.0～2.0未満	0	0	0	10	10	0.0	0.0	0.0	24.4	3.4
4 2.0～3.0未満	49	0	8	10	67	27.5	0.0	33.3	24.4	22.5
5 3.0～4.0未満	87	19	11	7	124	48.9	38.8	45.8	17.1	41.6
6 4.0～5.0未満	26	2	5	9	42	14.6	4.1	20.8	22.0	14.1
7 5.0～7.0未満	11	6	0	4	21	6.2	12.2	0.0	9.8	7.0
8 7.0～10.0未満	4	4	0	0	8	2.2	8.2	0.0	0.0	2.7
9 10.0～	1	18	0	0	19	0.6	36.7	0.0	0.0	6.4
不明	0	0	0	0	6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

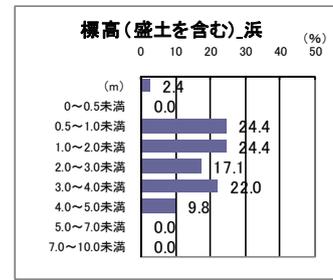
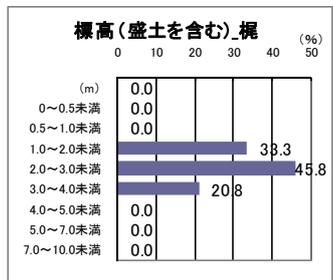
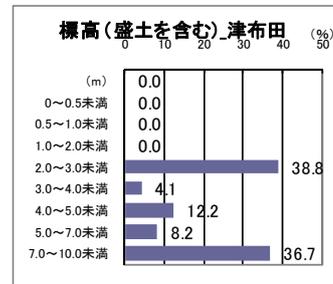
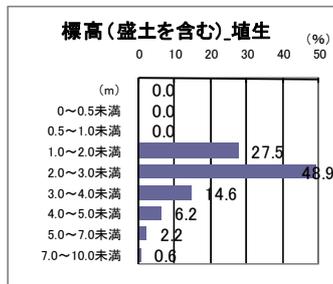
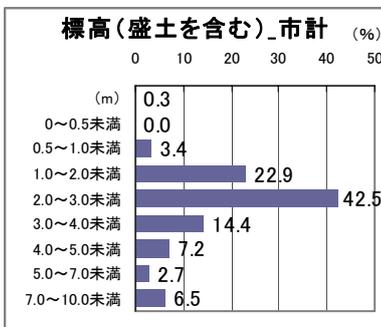
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 海岸線からの距離

○釧路市

「1000～2000m 未満」が 48.2%と最も割合が高く、次いで、「300～500m 未満」が 14.0%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸ともに市計と同様に「1000～2000m 未満」が 27.3%、69.6%と最も割合が高く、次いで、「300～500m 未満」が高い。音別は、「200～300m 未満」と「300～500m 未満」が 33.3%と高く、他 2 地区と特性が異なっている。

○宇部市

「0～100m 未満」と「2000～3000m 未満」が 14.8%と最も割合が高い。

地区別では、原は、「2000～3000m 未満」が 56.7%と最も割合が高い。東岐波は、「0～100m 未満」が 47.6%と最も割合が高い。西岐波他は、「200～300m 未満」が 23.3%と最も割合が高い。地区により海岸線からの距離の特性が異なっている。

○山陽小野田市

「100～200m 未満」が 37.2%と最も割合が高く、次いで「0～100m 未満」が 29.9%と高い。

地区別では、埴生、津布田、梶は、市計と同様に「100～200m 未満」が 43.3%、44.9%、50.0%と最も割合が高く、次いで、「0～100m 未満」が高い。浜は、「1000～2000m 未満」が 85.4%と最も割合が高く、他 3 地区と特性が異なっている。

釧路市

計測 海岸線からの距離

(m)	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 0～100未満	2	2	2	6	1.6	1.3	13.3	2.0
2 100～200未満	12	5	3	20	9.4	3.2	20.0	6.6
3 200～300未満	14	12	5	31	10.9	7.6	33.3	10.3
4 300～500未満	28	9	5	42	21.9	5.7	33.3	14.0
5 500～700未満	20	3	0	23	15.6	1.9	0.0	7.6
6 700～1000未満	17	17	0	34	13.3	10.8	0.0	11.3
7 1000～2000未満	35	110	0	145	27.3	69.6	0.0	48.2
8 2000～3000未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 3000～	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

計測 海岸線からの距離

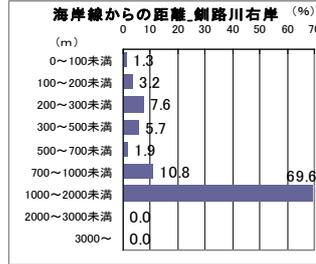
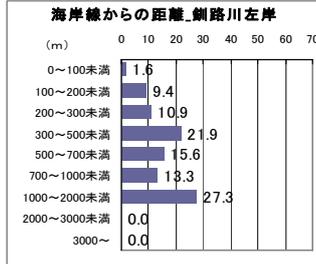
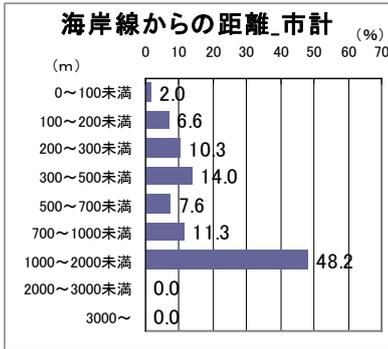
(m)	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 0～100未満	0	40	19	59	0.0	47.6	9.2	14.8
2 100～200未満	0	15	15	30	0.0	17.9	7.3	7.5
3 200～300未満	0	17	28	45	0.0	20.2	13.6	11.3
4 300～500未満	0	9	48	57	0.0	10.7	23.3	14.3
5 500～700未満	0	3	27	30	0.0	3.6	13.1	7.5
6 700～1000未満	0	0	36	36	0.0	0.0	17.5	9.0
7 1000～2000未満	6	0	33	39	5.8	0.0	16.0	9.8
8 2000～3000未満	59	0	0	59	56.7	0.0	0.0	14.8
9 3000～	39	0	0	39	37.5	0.0	0.0	9.8
不明	0	0	0	4	0.0	0.0	0.0	1.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

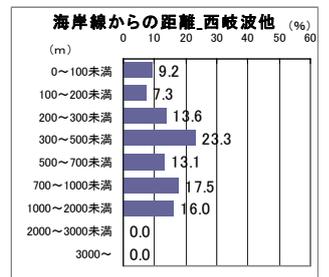
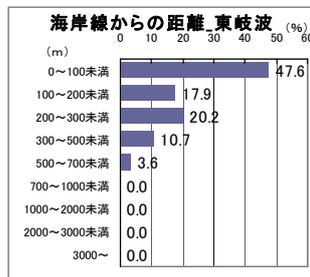
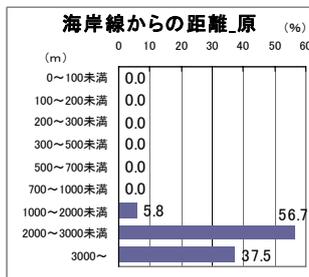
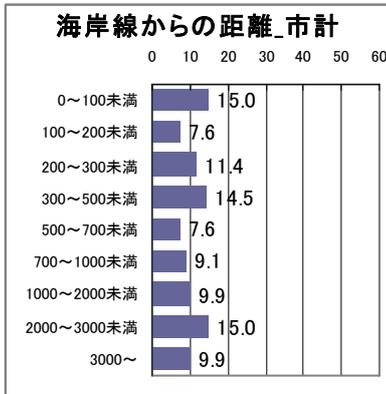
計測 海岸線からの距離

(m)	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 0～100未満	67	10	12	0	89	37.6	20.4	50.0	0.0	29.9
2 100～200未満	77	22	12	0	111	43.3	44.9	50.0	0.0	37.2
3 200～300未満	28	11	0	0	39	15.7	22.4	0.0	0.0	13.1
4 300～500未満	1	6	0	0	7	0.6	12.2	0.0	0.0	2.3
5 500～700未満	3	0	0	0	3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.0
6 700～1000未満	2	0	0	6	8	1.1	0.0	0.0	14.6	2.7
7 1000～2000未満	0	0	0	35	35	0.0	0.0	0.0	85.4	11.7
不明	0	0	0	0	6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

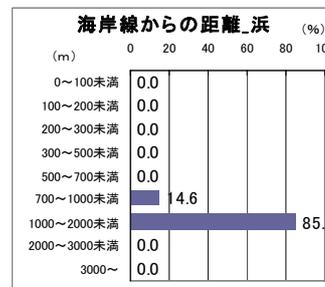
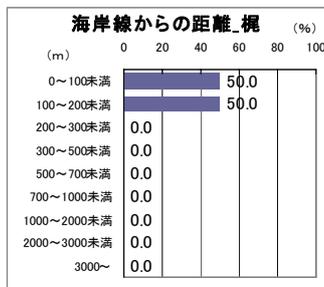
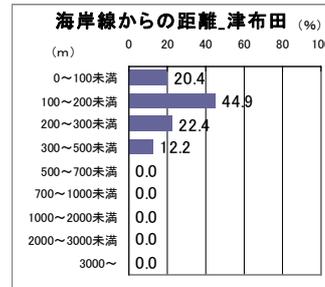
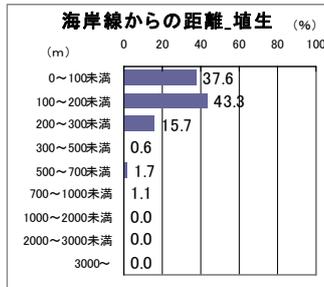
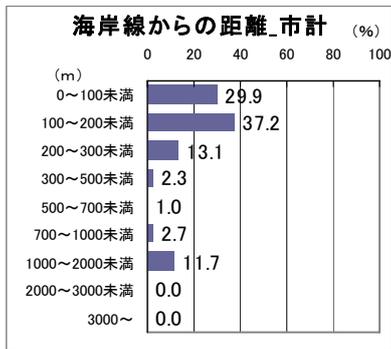
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(3) 水際からの距離

○釧路市

「100～200m 未満」が 33.6%と最も割合が高く、次いで、「200～300m 未満」が 28.2%と高い。

地区別では、釧路川右岸は、「100～200m 未満」が 46.1%と最も割合が高い。釧路川左岸は、「200～300m 未満」が 26.6%と最も割合が高い。音別は、「200～300m 未満」と「300～500m 未満」が 33.3%と高く、地区により特性が異なっている。

○宇部市

「500～700m 未満」が 17.8%と最も割合が高く、次いで、「300～500m 未満」が 16.1%と高い。

地区別では、原は、「500～700m 未満」が 39.4%と最も割合が高い。東岐波は、「0～100m 未満」が 47.6%と最も割合が高い。西岐波他は、「300～500m 未満」が 23.3%と最も割合が高い。地区により水際線からの距離の特性が異なっている。

○山陽小野田市（対象河川がないため、海岸線からの距離と同様）

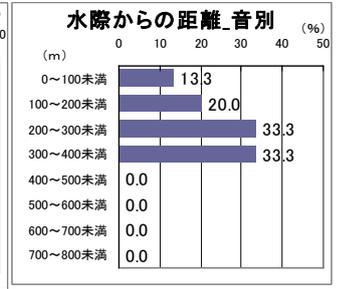
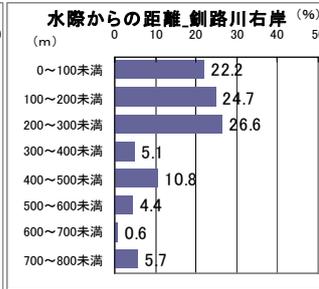
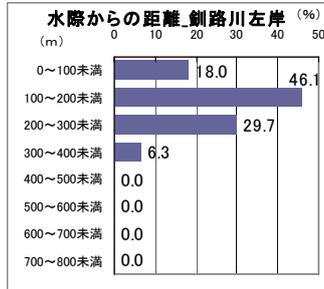
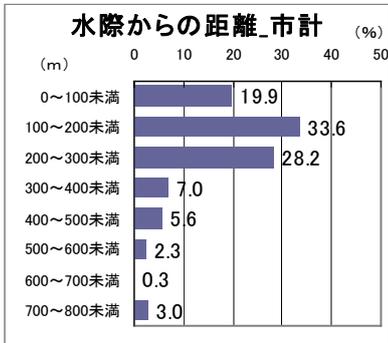
釧路市

(m)	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 0～100未満	23	35	2	60	18.0	22.2	13.3	19.9
2 100～200未満	59	39	3	101	46.1	24.7	20.0	33.6
3 200～300未満	38	42	5	85	29.7	26.6	33.3	28.2
4 300～400未満	8	8	5	21	6.3	5.1	33.3	7.0
5 400～500未満	0	17	0	17	0.0	10.8	0.0	5.6
6 500～600未満	0	7	0	7	0.0	4.4	0.0	2.3
7 600～700未満	0	1	0	1	0.0	0.6	0.0	0.3
8 700～800未満	0	9	0	9	0.0	5.7	0.0	3.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

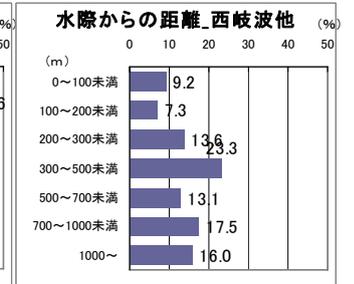
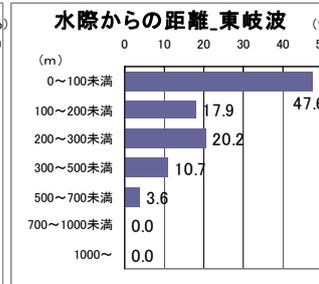
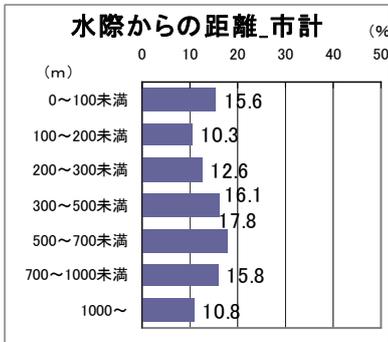
宇部市

(m)	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 0～100未満	3	40	19	62	2.9	47.6	9.2	15.6
2 100～200未満	11	15	15	41	10.6	17.9	7.3	10.3
3 200～300未満	5	17	28	50	4.8	20.2	13.6	12.6
4 300～500未満	7	9	48	64	6.7	10.7	23.3	16.1
5 500～700未満	41	3	27	71	39.4	3.6	13.1	17.8
6 700～1000未満	27	0	36	63	26.0	0.0	17.5	15.8
7 1000～	10	0	33	43	9.6	0.0	16.0	10.8
不明	0	0	0	4	0.0	0.0	0.0	1.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

釧路市



宇部市



(4)避難場所までの距離

○釧路市

「200～300m 未満」が 25.2%と最も割合が高く、次いで、「100～200m 未満」が 24.9%と高い。

地区別では、釧路川右岸は、「300～400m 未満」が 32.0%と最も割合が高い。釧路川左岸は、「100～200m 未満」が 35.4%と最も割合が高い。音別は、「400～500m 未満」が 26.7%と高く、地区により特性が異なっている。

○宇部市

「500～700m 未満」が 18.3%と最も割合が高く、次いで、「400～500m 未満」が 16.6%と高い。

地区別では、原は、「400～500m 未満」が 26.0%と最も割合が高い。東岐波は、「100～200m 未満」と「500～600m 未満」が 17.6%と最も割合が高い。西岐波他は、「500～600m 未満」が 20.4%と最も割合が高い。

○山陽小野田市

「200～300m 未満」が 26.2%と最も割合が高く、次いで「300～400m 未満」が 23.8%と高い。

地区別では、埴生は、「200～300m 未満」が 36.0%と最も割合が高い。津布田は、「100～200m 未満」と「200～300m 未満」が 28.6%と最も割合が高い。梶は、「1100～1200m 未満」が 29.2%と最も割合が高い。浜は、「1000～1100m 未満」が 39.0%と最も割合が高い。梶と浜は 1000m 以上が多く、地区により特性が異なっている。

釧路市

計測 避難場所までの距離

(m)	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 0～100未満	12	30	0	42	9.4	19.0	0.0	14.0
2 100～200未満	18	56	1	75	14.1	35.4	6.7	24.9
3 200～300未満	37	36	3	76	28.9	22.8	20.0	25.2
4 300～400未満	41	30	1	72	32.0	19.0	6.7	23.9
5 400～500未満	12	2	4	18	9.4	1.3	26.7	6.0
6 500～600未満	2	0	1	3	1.6	0.0	6.7	1.0
7 600～700未満	4	0	1	5	3.1	0.0	6.7	1.7
8 700～800未満	0	2	2	4	0.0	1.3	13.3	1.3
9 800～900未満	0	2	2	4	0.0	1.3	13.3	1.3
10 900～1000未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
11 1000～1100未満	2	0	0	2	1.6	0.0	0.0	0.7
12 1100～1200未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

計測 避難場所までの距離

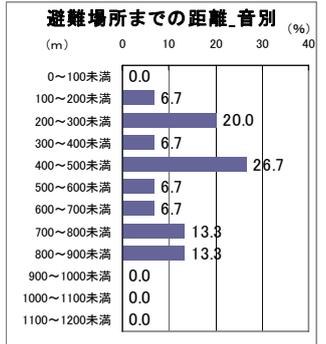
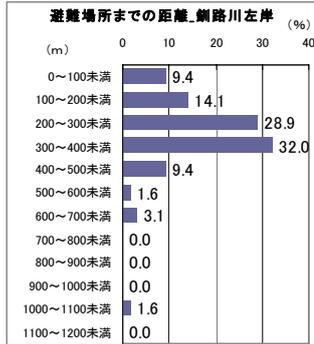
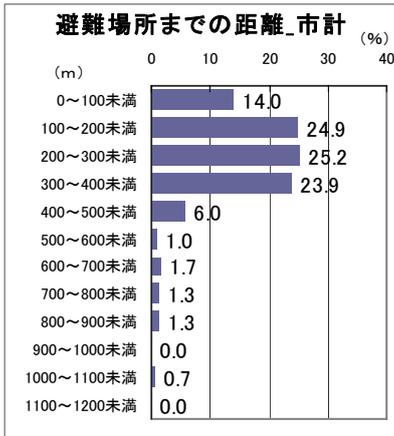
(m)	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 0～100未満	0	7	2	9	0.0	8.3	1.0	2.3
2 100～200未満	7	15	11	33	6.7	17.9	5.3	8.3
3 200～300未満	11	11	29	51	10.6	13.1	14.1	12.8
4 300～400未満	9	9	20	38	8.7	10.7	9.7	9.5
5 400～500未満	27	10	29	66	26.0	11.9	14.1	16.6
6 500～600未満	16	15	42	73	15.4	17.9	20.4	18.3
7 600～700未満	8	4	36	48	7.7	4.8	17.5	12.1
8 700～800未満	15	3	19	37	14.4	3.6	9.2	9.3
9 800～900未満	10	5	12	27	9.6	6.0	5.8	6.8
10 900～1000未満	1	5	6	12	1.0	6.0	2.9	3.0
11 1000～1100未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
12 1100～1200未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	0	0	0	4	0.0	0.0	0.0	1.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

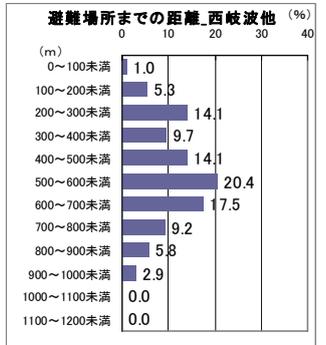
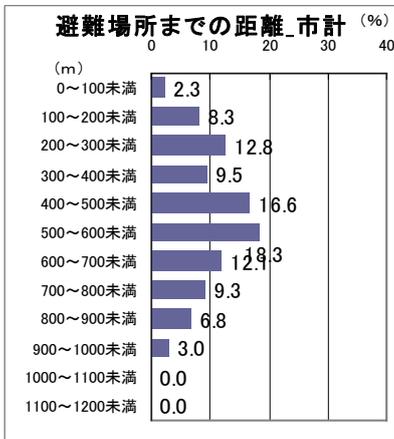
計測 避難場所までの距離

(m)	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 0～100未満	3	13	0	0	16	1.7	26.5	0.0	0.0	5.4
2 100～200未満	26	14	0	0	40	14.6	28.6	0.0	0.0	13.4
3 200～300未満	64	14	0	0	78	36.0	28.6	0.0	0.0	26.2
4 300～400未満	62	8	1	0	71	34.8	16.3	4.2	0.0	23.8
5 400～500未満	11	0	2	0	13	6.2	0.0	8.3	0.0	4.4
6 500～600未満	5	0	3	0	8	2.8	0.0	12.5	0.0	2.7
7 600～700未満	6	0	1	0	7	3.4	0.0	4.2	0.0	2.3
8 700～800未満	1	0	4	5	10	0.6	0.0	16.7	12.2	3.4
9 800～900未満	0	0	1	6	7	0.0	0.0	4.2	14.6	2.3
10 900～1000未満	0	0	1	12	13	0.0	0.0	4.2	29.3	4.4
11 1000～1100未満	0	0	4	16	20	0.0	0.0	16.7	39.0	6.7
12 1100～1200未満	0	0	7	2	9	0.0	0.0	29.2	4.9	3.0
不明	0	0	0	0	6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

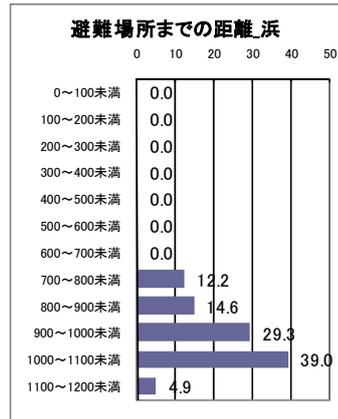
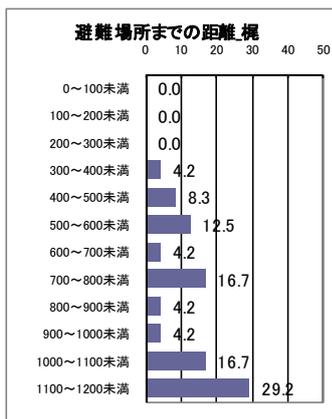
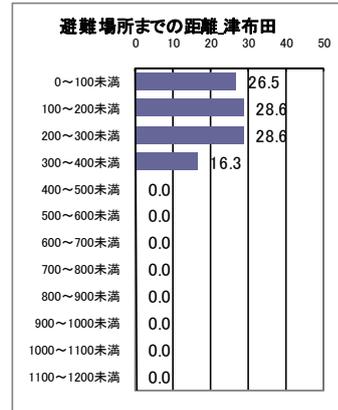
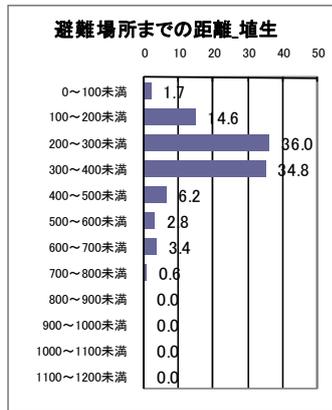
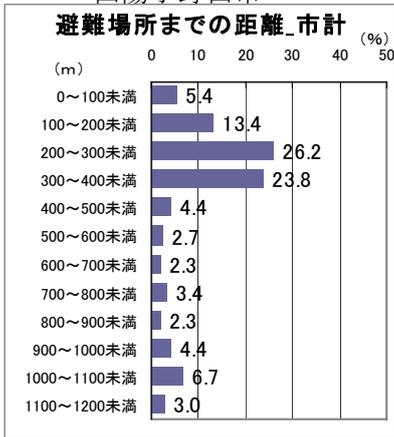
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(5) 想定浸水深

○ 釧路市

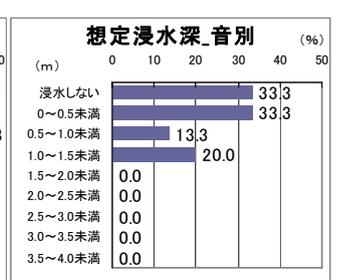
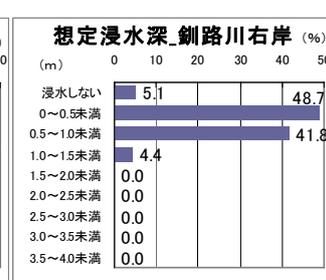
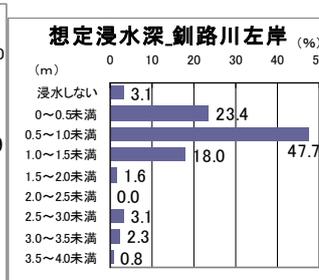
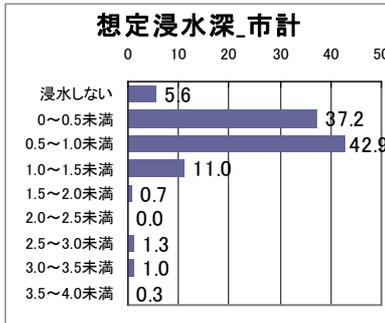
釧路市の 500 年間隔地震津波ハザードマップから読みとった想定浸水深は、「0.5～1.0m 未満」が 42.9%と最も割合が高く、次いで、「0～0.5m 未満」が 37.2%と高い。

地区別では、釧路川右岸は、「0.5～1.0m 未満」が 42.9%と最も割合が高い。釧路川左岸は、「0～0.5m 未満」が 48.7%と市計と同様に最も割合が高い。音別は、「浸水しない」と「0～0.5m 未満」が 33.3%と高い。地区により特性が異なっている。

計測 想定浸水深

釧路市

(m)	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
※ 浸水しない	4	8	5	17	3.1	5.1	33.3	5.6
1 0～0.5未満	30	77	5	112	23.4	48.7	33.3	37.2
2 0.5～1.0未満	61	66	2	129	47.7	41.8	13.3	42.9
3 1.0～1.5未満	23	7	3	33	18.0	4.4	20.0	11.0
4 1.5～2.0未満	2	0	0	2	1.6	0.0	0.0	0.7
5 2.0～2.5未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 2.5～3.0未満	4	0	0	4	3.1	0.0	0.0	1.3
7 3.0～3.5未満	3	0	0	3	2.3	0.0	0.0	1.0
8 3.5～4.0未満	1	0	0	1	0.8	0.0	0.0	0.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0



(6) 防災無線施設からの距離

○ 釧路市

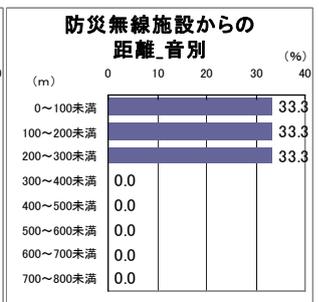
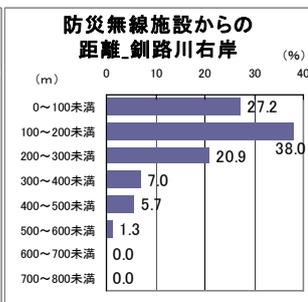
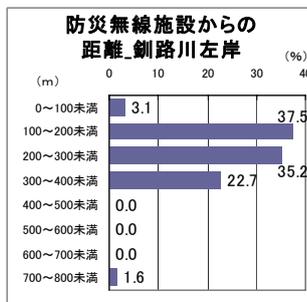
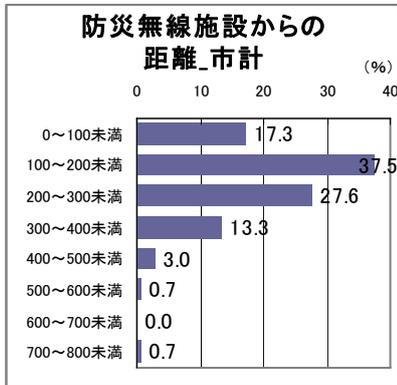
防災無線施設からの距離は、「100～200m 未満」が 37.5%と最も割合が高く、次いで、「0～100m 未満」が 27.6%と高い。

地区別では、釧路川右岸は、「100～200m 未満」が 37.5%と最も割合が高い。釧路川左岸は、「100～200m 未満」が 38.0%と最も割合が高い。音別は、「0～100m 未満」と「100～200m 未満」及び「200～300m 未満」が 33.3%と高い。地区により特性が異なっている。

計測 防災無線施設からの距離

釧路市

(m)	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 0～100未満	4	43	5	52	3.1	27.2	33.3	17.3
2 100～200未満	48	60	5	113	37.5	38.0	33.3	37.5
3 200～300未満	45	33	5	83	35.2	20.9	33.3	27.6
4 300～400未満	29	11	0	40	22.7	7.0	0.0	13.3
5 400～500未満	0	9	0	9	0.0	5.7	0.0	3.0
6 500～600未満	0	2	0	2	0.0	1.3	0.0	0.7
7 600～700未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 700～800未満	2	0	0	2	1.6	0.0	0.0	0.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0



(7) 広報車ルートからの距離

○ 釧路市

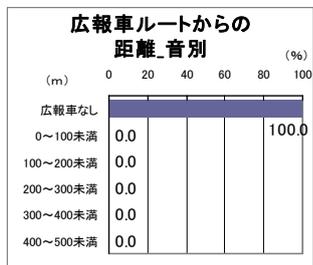
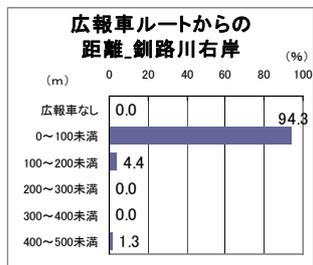
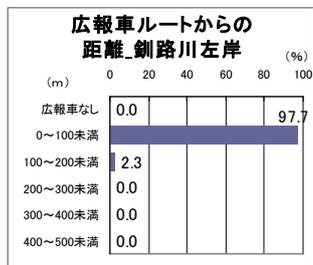
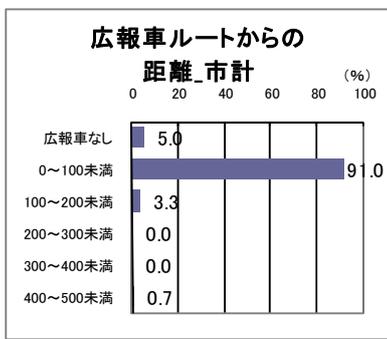
釧路市の広報車ルートからの距離は、「0～100m 未満」が 91.0%と最も割合が高い。

地区別では、釧路川右岸と釧路川左岸は、市計と同様に「100～200m 未満」が 97.7%と 94.3%と最も割合が高い。音別は、広報車ルートのデータがないため「広報車なし」がすべてとなっている。

釧路市

計測 広報車ルートからの距離

(m)	実数				構成比 (%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
※ 広報車なし	0	0	15	15	0.0	0.0	100.0	5.0
1 0～100未満	125	149	0	274	97.7	94.3	0.0	91.0
2 100～200未満	3	7	0	10	2.3	4.4	0.0	3.3
3 200～300未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 300～400未満	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 400～500未満	0	2	0	2	0.0	1.3	0.0	0.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0



2.2.4 質問紙調査の回答

2.2.4.1 揺れ・風雨の恐さ

(1) 揺れの恐さ

○ 釧路市

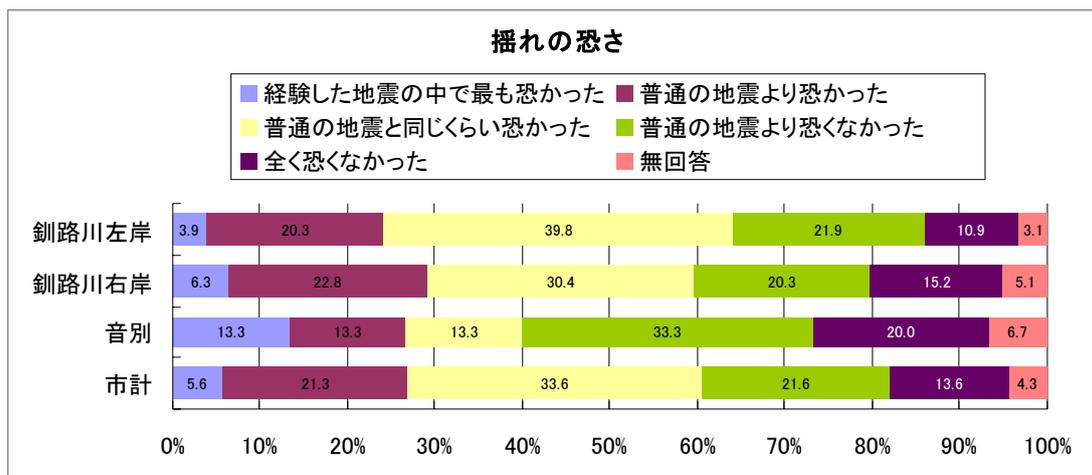
釧路市では、「普通の地震と同じくらい恐かった」が 33.6%と最も割合が高く、次いで、「普通の地震より恐くなかった」が 21.6%と高い。

地区別では、釧路川右岸と釧路川左岸は、市計と同様に「普通の地震と同じくらい恐かった」が 39.8%、30.4%と最も割合が高い。音別は、「普通の地震より恐くなかった」が 33.3%と最も割合が高く、地区により揺れの恐さが異なっている。

釧路市

問8 揺れの恐さ

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 経験した地震の中で最も恐かった	5	10	2	17	3.9	6.3	13.3	5.6
2 普通の地震より恐かった	26	36	2	64	20.3	22.8	13.3	21.3
3 普通の地震と同じくらい恐かった	51	48	2	101	39.8	30.4	13.3	33.6
4 普通の地震より恐くなかった	28	32	5	65	21.9	20.3	33.3	21.6
5 全く恐くなかった	14	24	3	41	10.9	15.2	20.0	13.6
※ 無回答	4	8	1	13	3.1	5.1	6.7	4.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0



(2) 風の恐さ

○宇部市

宇部市では、「普通の台風より恐くなかった」が 39.2%と最も割合が高く、次いで、「普通の台風と同じくらい恐かった」が 37.7%と高い。

地区別では、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「普通の台風より恐くなかった」が 42.9%、39.3%と最も割合が高い。原は、「普通の台風と同じくらい恐かった」が 37.5%と最も割合が高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「普通の台風と同じくらい恐かった」が 48.3%と最も割合が高く、次いで、「普通の台風より恐くなかった」が 25.2%と高い。

地区別では、埴生、津布田、浜は、市計と同様に「普通の台風と同じくらい恐かった」が 47.2%、53.1%、56.1%と最も割合が高い。梶は、「普通の台風より恐くなかった」が 50.0%と最も割合が高い。

宇部市

問8 風の恐さ

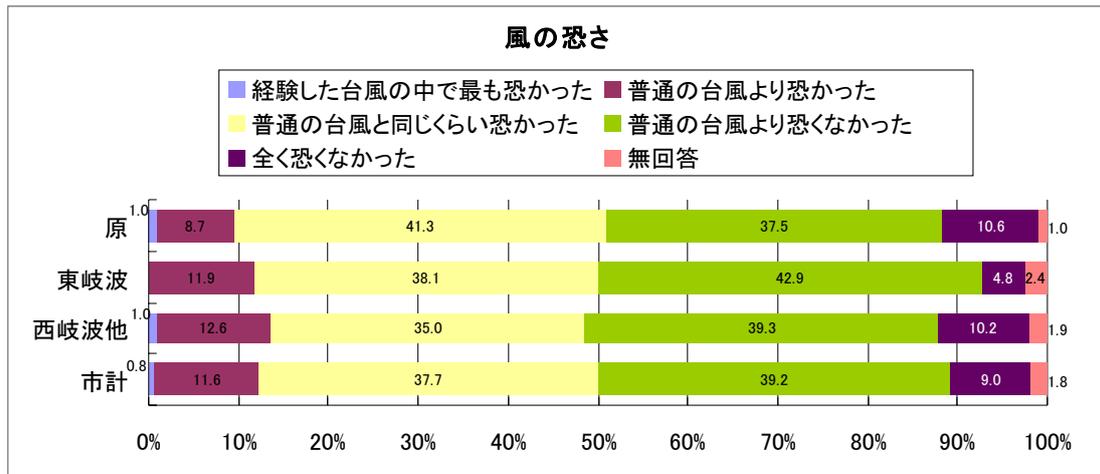
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 経験した台風の中で最も恐かった	1	0	2	3	1.0	0.0	1.0	0.8
2 普通の台風より恐かった	9	10	26	46	8.7	11.9	12.6	11.6
3 普通の台風と同じくらい恐かった	43	32	72	150	41.3	38.1	35.0	37.7
4 普通の台風より恐くなかった	39	36	81	156	37.5	42.9	39.3	39.2
5 全く恐くなかった	11	4	21	36	10.6	4.8	10.2	9.0
※ 無回答	1	2	4	7	1.0	2.4	1.9	1.8
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

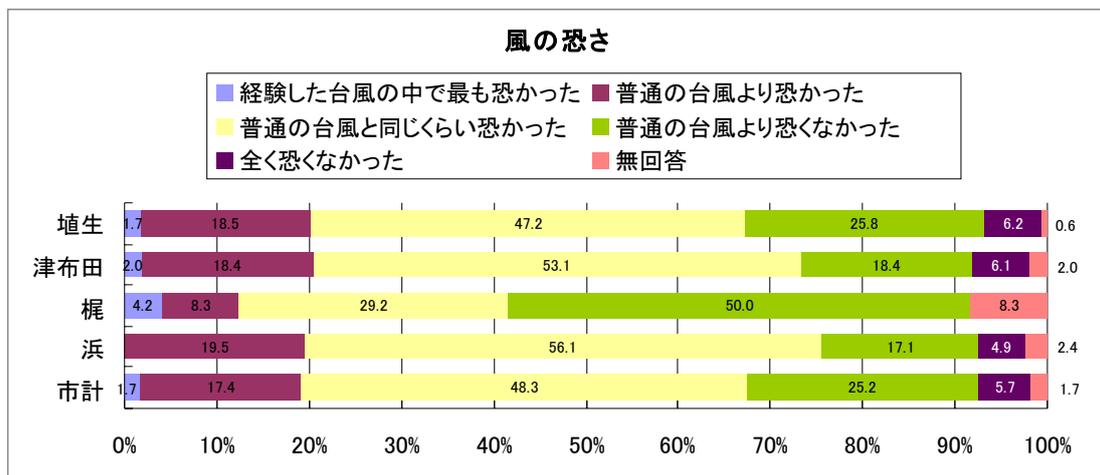
問8 風の恐さ

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 経験した台風の中で最も恐かった	3	1	1	0	5	1.7	2.0	4.2	0.0	1.7
2 普通の台風より恐かった	33	9	2	8	52	18.5	18.4	8.3	19.5	17.4
3 普通の台風と同じくらい恐かった	84	26	7	23	144	47.2	53.1	29.2	56.1	48.3
4 普通の台風より恐くなかった	46	9	12	7	75	25.8	18.4	50.0	17.1	25.2
5 全く恐くなかった	11	3	0	2	17	6.2	6.1	0.0	4.9	5.7
※ 無回答	1	1	2	1	5	0.6	2.0	8.3	2.4	1.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市



山陽小野田市



(3) 雨の恐さ

○宇部市

宇部市では、「普通の台風より恐くなかった」が 41.7%と最も割合が高く、次いで、「普通の台風と同じくらい恐かった」が 36.9%と高い。

地区別では、東岐波、岐波他は、市計と同様に「普通の台風より恐くなかった」が 47.6%、40.8%と最も割合が高い。原は、「普通の台風と同じくらい恐かった」と「普通の台風より恐くなかった」が 40.4%と最も割合が高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「普通の台風と同じくらい恐かった」が 47.7%と最も割合が高く、次いで、「普通の台風より恐くなかった」が 29.2%と高い。

地区別では、埴生、津布田、浜は、市計と同様に「普通の台風と同じくらい恐かった」が 46.1%、49.0%、56.1%と最も割合が高い。梶は、「普通の台風より恐くなかった」が 54.2%と最も割合が高い。

宇部市

問9 雨の恐さ

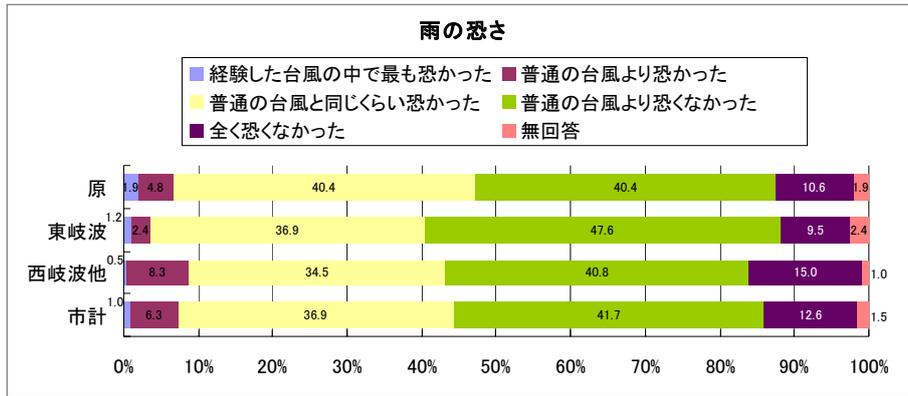
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 経験した台風の中で最も恐かった	2	1	1	4	1.9	1.2	0.5	1.0
2 普通の台風より恐かった	5	2	17	25	4.8	2.4	8.3	6.3
3 普通の台風と同じくらい恐かった	42	31	71	147	40.4	36.9	34.5	36.9
4 普通の台風より恐くなかった	42	40	84	166	40.4	47.6	40.8	41.7
5 全く恐くなかった	11	8	31	50	10.6	9.5	15.0	12.6
※ 無回答	2	2	2	6	1.9	2.4	1.0	1.5
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

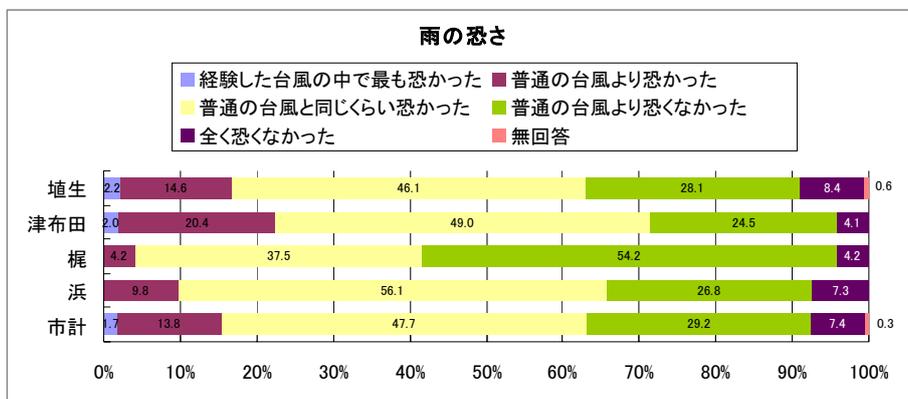
問9 雨の恐さ

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 経験した台風の中で最も恐かった	4	1	0	0	5	2.2	2.0	0.0	0.0	1.7
2 普通の台風より恐かった	26	10	1	4	41	14.6	20.4	4.2	9.8	13.8
3 普通の台風と同じくらい恐かった	82	24	9	23	142	46.1	49.0	37.5	56.1	47.7
4 普通の台風より恐くなかった	50	12	13	11	87	28.1	24.5	54.2	26.8	29.2
5 全く恐くなかった	15	2	1	3	22	8.4	4.1	4.2	7.3	7.4
※ 無回答	1	0	0	0	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市



山陽小野田市



2.2.4.2 浸水可能性や命の危険性の予想

(1) 浸水可能性の予想

○釧路市

釧路市では、「たぶん水に浸らない」が44.9%と最も割合が高く、次いで、「必ず水に浸らない」が28.2%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸は、市計と同様に「たぶん水に浸らない」が46.1%、46.8%と最も割合が高い。音別は、「どちらともいえない」と「必ず水に浸らない」が33.3%と最も割合が高い。

○宇部市

宇部市では、「たぶん水に浸らない」が49.5%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が23.4%と高い。

地区別では、原、東岐波、西岐波他ともに市計と同様に「たぶん水に浸らない」が55.8%、50.0%、46.1%と最も高く、地区間で大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「たぶん水に浸らない」が38.3%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が25.8%と高い。

地区別では、埴生、梶、浜は、市計と同様に「たぶん水に浸らない」が37.6%、37.5%、39.0%と最も割合が高い。津布田は、「たぶん水に浸らない」と「必ず水に浸らない」が38.8%と高い。

釧路市

問9 浸水可能性の予想

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 必ず水に浸かる	1	1	2	4	0.8	0.6	13.3	1.3
2 たぶん水に浸かる	5	5	0	10	3.9	3.2	0.0	3.3
3 どちらともいえない	24	27	5	56	18.8	17.1	33.3	18.6
4 たぶん水に浸からない	59	74	2	135	46.1	46.8	13.3	44.9
5 必ず水に浸からない	36	44	5	85	28.1	27.8	33.3	28.2
※ 無回答	3	7	1	11	2.3	4.4	6.7	3.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問10 浸水可能性の予想

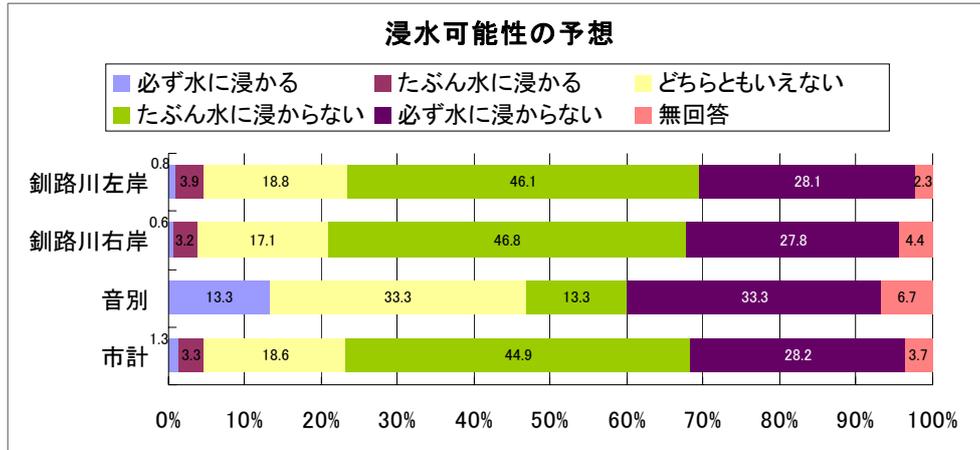
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 必ず水に浸かる	3	0	2	5	2.9	0.0	1.0	1.3
2 たぶん水に浸かる	6	6	19	32	5.8	7.1	9.2	8.0
3 どちらともいえない	25	17	50	93	24.0	20.2	24.3	23.4
4 たぶん水に浸からない	58	42	95	197	55.8	50.0	46.1	49.5
5 必ず水に浸からない	10	17	39	66	9.6	20.2	18.9	16.6
※ 無回答	2	2	1	5	1.9	2.4	0.5	1.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

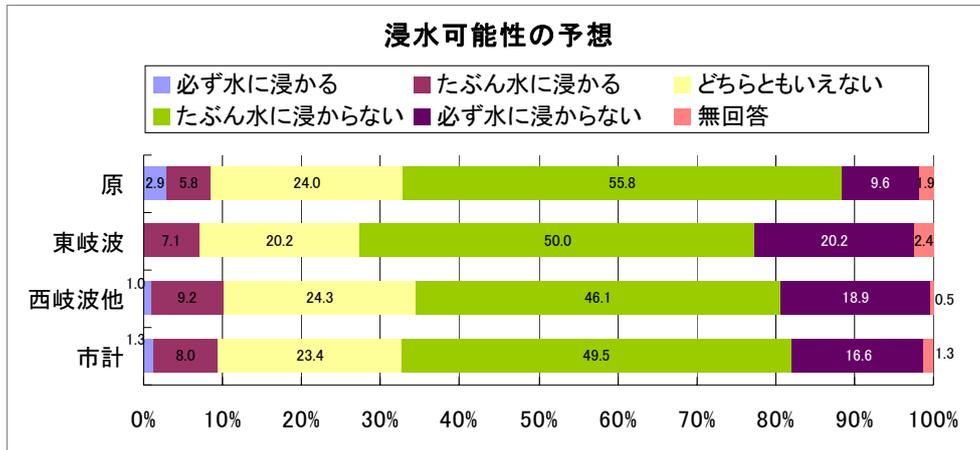
問10 浸水可能性の予想

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 必ず水に浸かる	8	0	4	0	13	4.5	0.0	16.7	0.0	4.4
2 たぶん水に浸かる	24	1	2	2	29	13.5	2.0	8.3	4.9	9.7
3 どちらともいえない	52	10	3	12	77	29.2	20.4	12.5	29.3	25.8
4 たぶん水に浸からない	67	19	9	16	114	37.6	38.8	37.5	39.0	38.3
5 必ず水に浸からない	26	19	5	10	62	14.6	38.8	20.8	24.4	20.8
※ 無回答	1	0	1	1	3	0.6	0.0	4.2	2.4	1.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

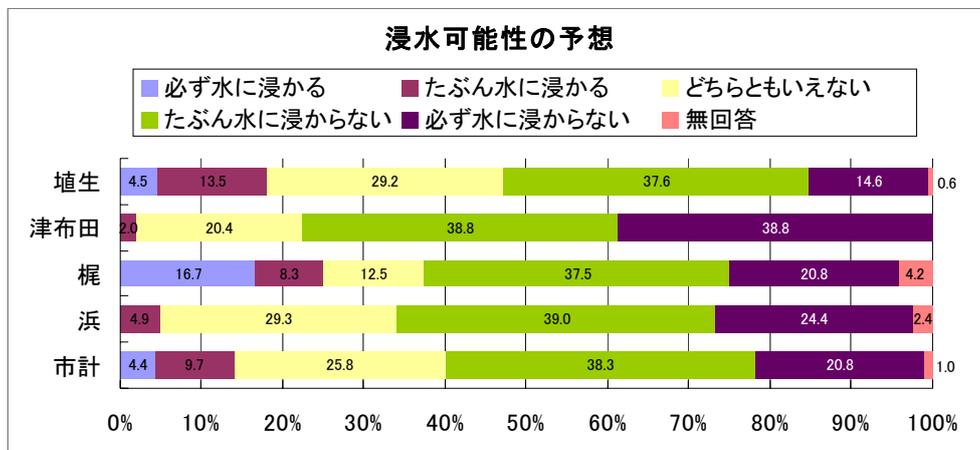
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 浸水深の予想

○釧路市

釧路市では、「水に浸るかもしれないと思う時はなかった」が 61.1%と最も割合が高く、次いで、「自宅の周りが水に浸るかもしれない」が 24.9%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「水に浸るかもしれないと思う時はなかった」が 60.9%、62.7%、46.7%と最も割合が高い。浸水深の予想は、地区間で大きな相違はない。

○宇部市

宇部市では、「水に浸るかもしれないと思う時はなかった」が 49.5%と最も割合が高く、次いで、「自宅の周りが水に浸るかもしれない」が 31.2%と高い。

地区別では、東岐波、西岐波他ともに市計と同様に「水に浸るかもしれないと思う時はなかった」が 54.8%、52.9%と最も高い。原は、「自宅の周りが水に浸るかもしれない」が 46.2%最も高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「水に浸るかもしれないと思う時はなかった」が 49.0%と最も割合が高く、次いで、「自宅の周りが水に浸るかもしれない」が 26.8%と高い。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「水に浸るかもしれないと思う時はなかった」が 43.3%、65.3%、37.5%、58.5%と最も割合が高い。

釧路市

問10 浸水深の予想

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 2階まで水に浸かるかも	1	0	2	3	0.8	0.0	13.3	1.0
2 床上まで水に浸かるかも	4	3	0	7	3.1	1.9	0.0	2.3
3 床下まで水に浸かるかも	6	10	0	16	4.7	6.3	0.0	5.3
4 自宅の周りが水に浸かるかも	34	38	3	75	26.6	24.1	20.0	24.9
5 水に浸かるかもと思う時はなかった	78	99	7	184	60.9	62.7	46.7	61.1
※ 無回答	5	8	3	16	3.9	5.1	20.0	5.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問11 浸水深の予想

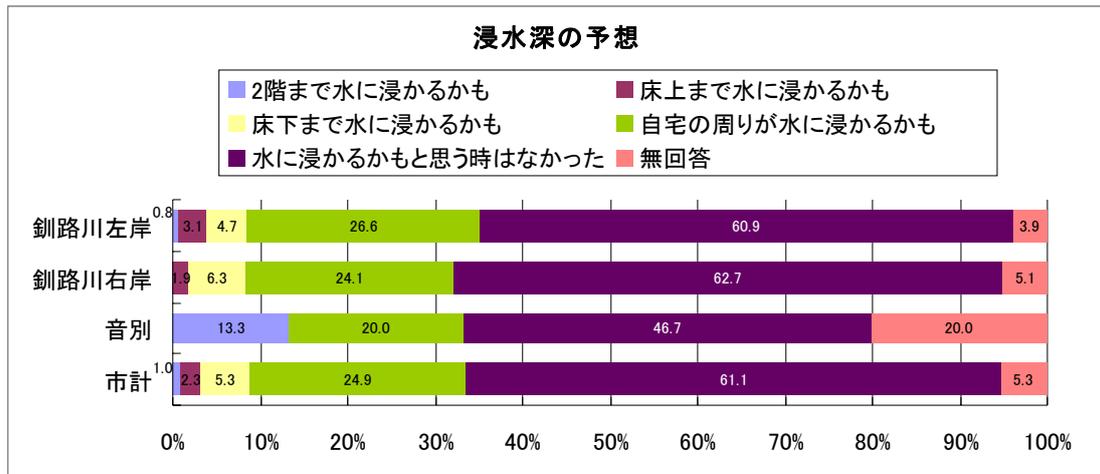
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 2階まで水に浸かるかも	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 床上まで水に浸かるかも	4	3	11	18	3.8	3.6	5.3	4.5
3 床下まで水に浸かるかも	9	5	34	51	8.7	6.0	16.5	12.8
4 自宅の周りが水に浸かるかも	48	28	48	124	46.2	33.3	23.3	31.2
5 水に浸かるかもと思う時はなかった	41	46	109	197	39.4	54.8	52.9	49.5
※ 無回答	2	2	4	8	1.9	2.4	1.9	2.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

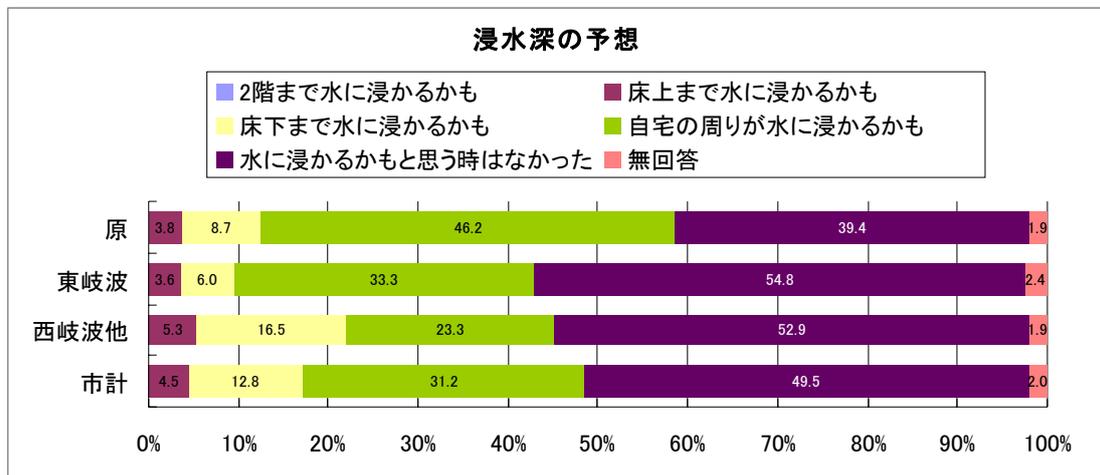
問11 浸水深の予想

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 2階まで水に浸かるかも	1	0	0	0	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3
2 床上まで水に浸かるかも	23	1	5	0	30	12.9	2.0	20.8	0.0	10.1
3 床下まで水に浸かるかも	22	2	4	5	33	12.4	4.1	16.7	12.2	11.1
4 自宅の周りが水に浸かるかも	51	13	6	9	80	28.7	26.5	25.0	22.0	26.8
5 水に浸かるかもと思う時はなかった	77	32	9	24	146	43.3	65.3	37.5	58.5	49.0
※ 無回答	4	1	0	3	8	2.2	2.0	0.0	7.3	2.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

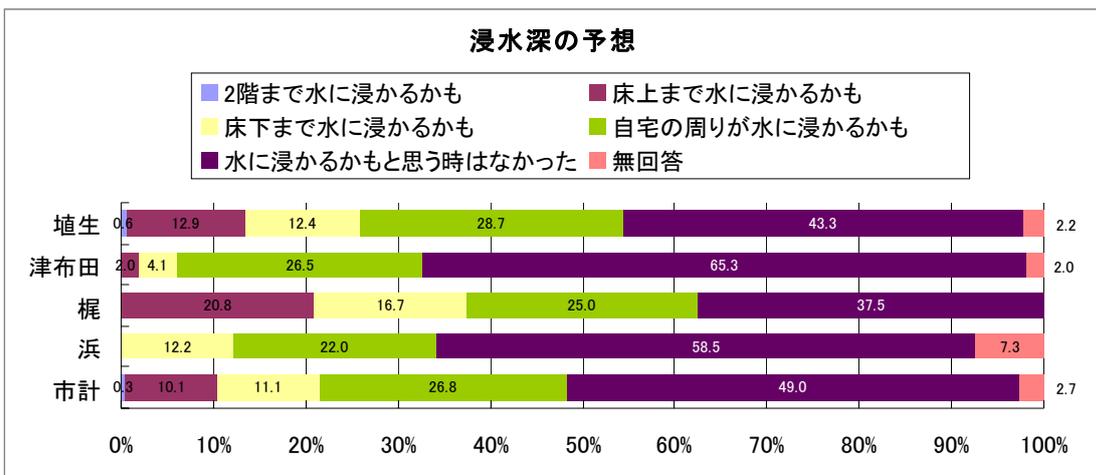
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(3) 命の危険性の予想

○釧路市

釧路市では、「避難しなくてもたぶん大丈夫」が 48.2%と最も割合が高く、次いで、「避難しなくても絶対大丈夫」が 23.9%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「避難しなくてもたぶん大丈夫」が 50.0%、48.1%、33.3%と最も割合が高い。

○宇部市

宇部市では、「避難しなくてもたぶん大丈夫」が 57.0%と最も割合が高く、次いで、「避難しなくても絶対大丈夫」が 25.4%と高い。

地区別では、原、東岐波、西岐波他ともに市計と同様に「避難しなくてもたぶん大丈夫」が 64.4%、56.0%、53.9%と最も高い。地区間で危険予想に大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「避難しなくてもたぶん大丈夫」が 56.7%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が 19.1%と高い。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「避難しなくてもたぶん大丈夫」が 51.7%、67.3%、50.0%、70.7%と最も割合が高い。地区間で危険予想に大きな相違はない。

釧路市

問11 危険予想

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 避難しないと絶対助からない	0	0	1	1	0.0	0.0	6.7	0.3
2 避難しないと助からないかも	9	6	1	16	7.0	3.8	6.7	5.3
3 どちらともいえない	27	26	4	57	21.1	16.5	26.7	18.9
4 避難しなくてもたぶん大丈夫	64	76	5	145	50.0	48.1	33.3	48.2
5 避難しなくても絶対大丈夫	25	46	1	72	19.5	29.1	6.7	23.9
※ 無回答	3	4	3	10	2.3	2.5	20.0	3.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問12 危険予想

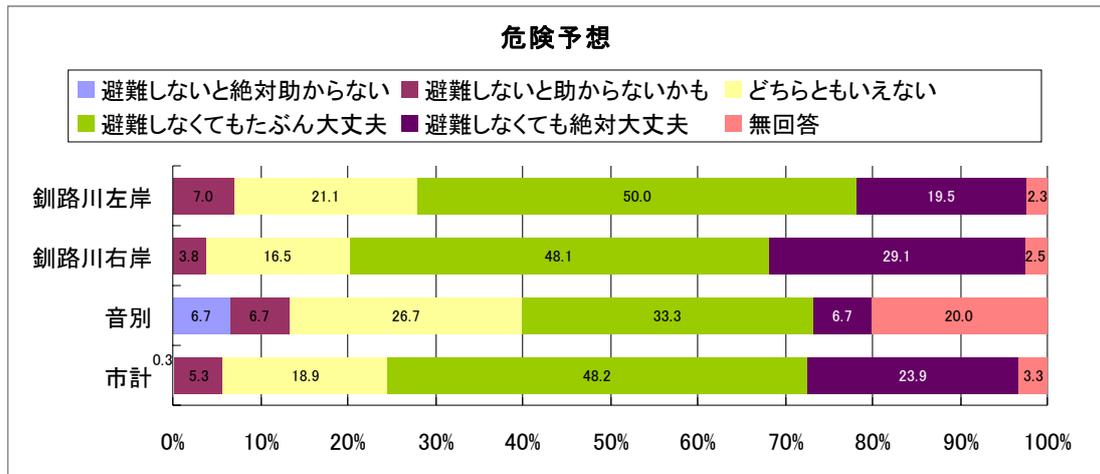
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 避難しないと絶対助からない	0	0	1	1	0.0	0.0	0.5	0.3
2 避難しないと助からないかも	2	2	1	5	1.9	2.4	0.5	1.3
3 どちらともいえない	13	12	33	59	12.5	14.3	16.0	14.8
4 避難しなくてもたぶん大丈夫	67	47	111	227	64.4	56.0	53.9	57.0
5 避難しなくても絶対大丈夫	21	21	58	101	20.2	25.0	28.2	25.4
※ 無回答	1	2	2	5	1.0	2.4	1.0	1.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

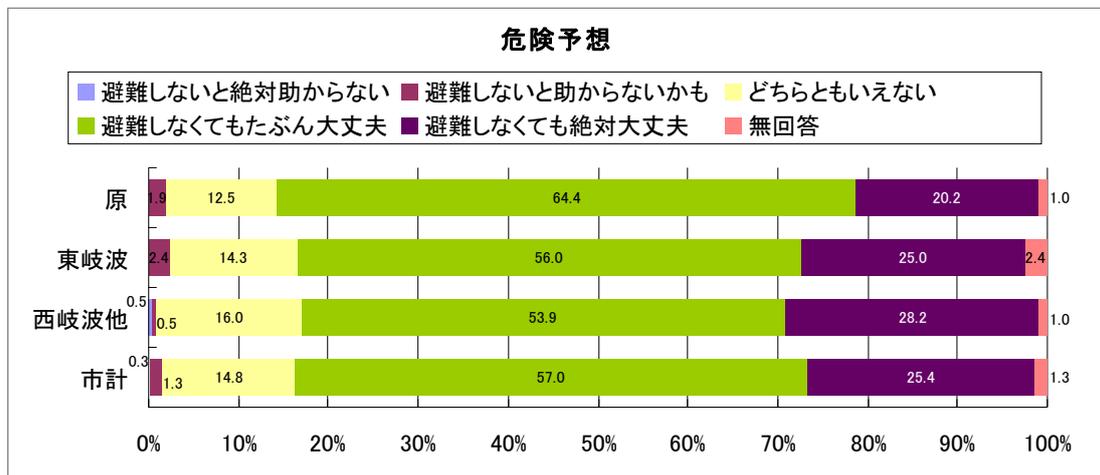
問12 危険予想

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 避難しないと絶対助からない	3	0	1	0	4	1.7	0.0	4.2	0.0	1.3
2 避難しないと助からないかも	10	0	1	1	12	5.6	0.0	4.2	2.4	4.0
3 どちらともいえない	38	6	6	5	57	21.3	12.2	25.0	12.2	19.1
4 避難しなくてもたぶん大丈夫	92	33	12	29	169	51.7	67.3	50.0	70.7	56.7
5 避難しなくても絶対大丈夫	34	9	4	5	53	19.1	18.4	16.7	12.2	17.8
※ 無回答	1	1	0	1	3	0.6	2.0	0.0	2.4	1.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

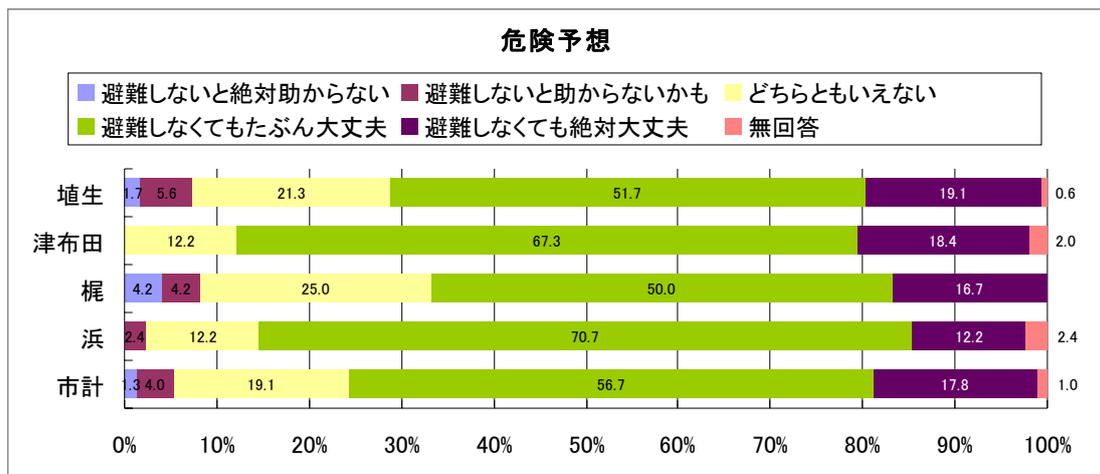
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.4.3 警報・避難勧告の認知

(1) 津波警報・高潮警報の認知

○釧路市

釧路市では、津波警報の発表を「知っていた」人が72.4%を占めた。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸は、市計と同様に「知っていた」が76.6%、71.5%と高かった。音別では、「知っていた」と「知らなかった」が46.7%と二分されている。

○宇部市

宇部市では、高潮警報の発表を「知っていた」人が65.8%を占めた。

地区別では、「知っていた」人の割合は東岐波が最も高かった。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、高潮警報の発表を「知っていた」人が71.1%を占めた。

地区間の違いは比較的小さく、いずれの地区でも「知っていた」人が2/3以上を占めた。

釧路市

問12 津波警報認知

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 知らなかった	27	38	7	72	21.1	24.1	46.7	23.9
2 知っていた	98	113	7	218	76.6	71.5	46.7	72.4
※ 無回答	3	7	1	11	2.3	4.4	6.7	3.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問13 高潮警報認知

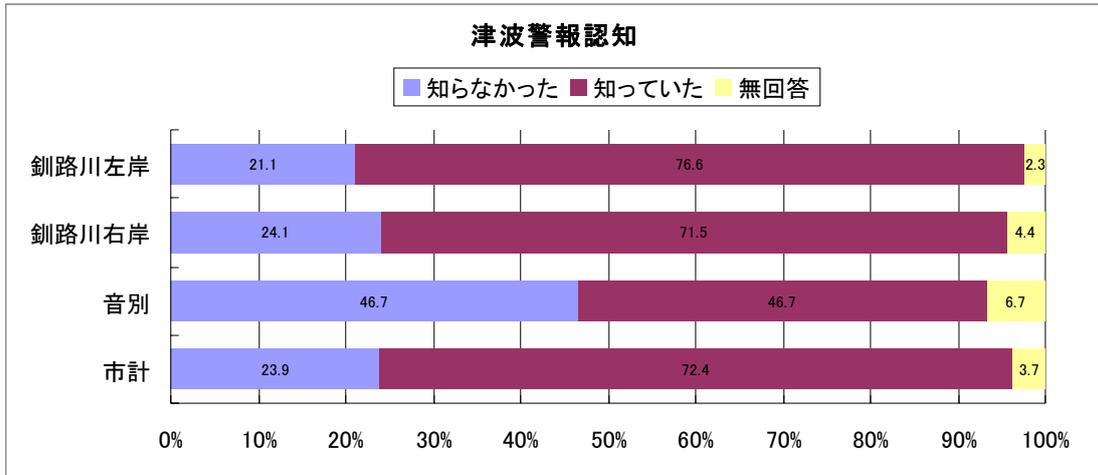
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 知らなかった	37	17	69	125	35.6	20.2	33.5	31.4
2 知っていた	65	64	131	262	62.5	76.2	63.6	65.8
※ 無回答	2	3	6	11	1.9	3.6	2.9	2.8
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

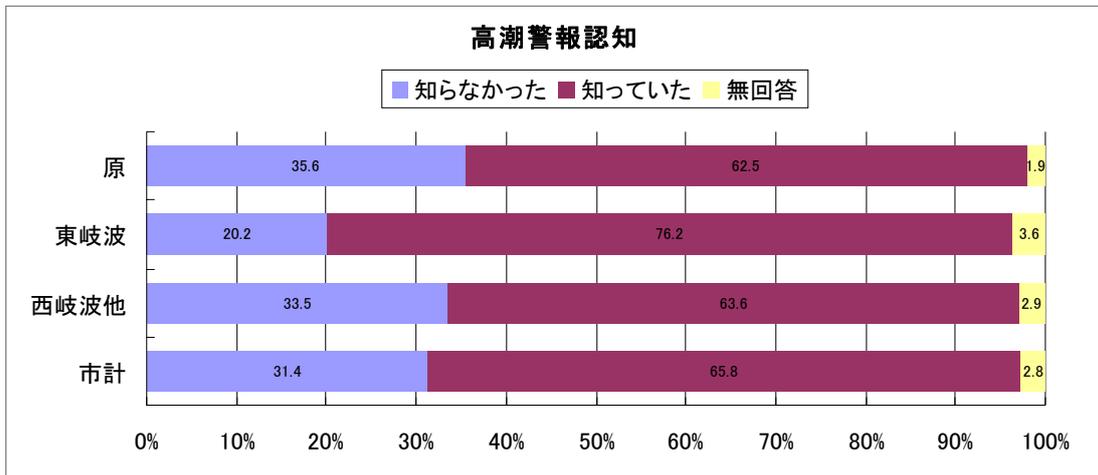
問13 高潮警報認知

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 知らなかった	47	12	5	11	77	26.4	24.5	20.8	26.8	25.8
2 知っていた	126	36	19	28	212	70.8	73.5	79.2	68.3	71.1
※ 無回答	5	1	0	2	9	2.8	2.0	0.0	4.9	3.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

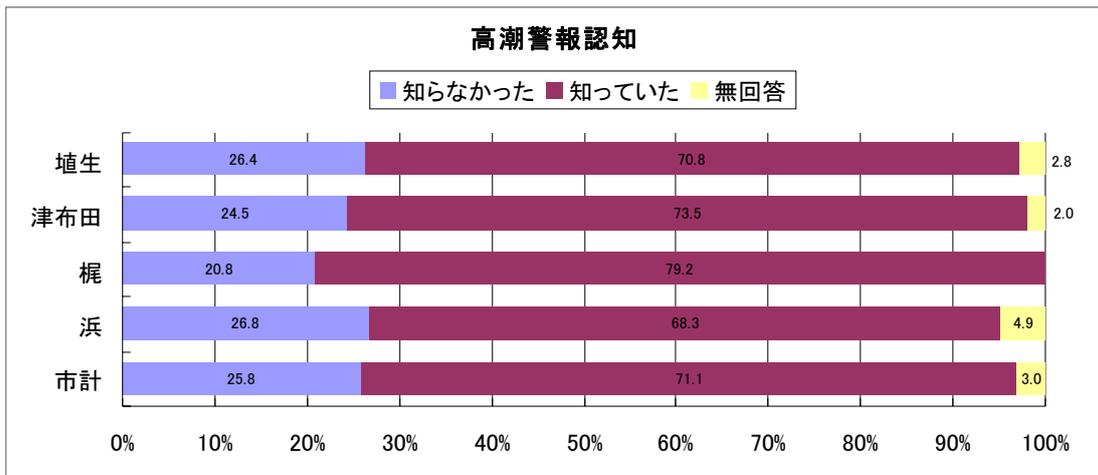
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 津波警報・高潮警報の認知手段

○釧路市

釧路市では、「テレビ」が 85.3%と最も割合が高く、次いで、「広報車・消防車」が 46.8%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「テレビ」が 85.7%、85.8%、71.4%と最も割合が高い。地区間で津波警報認知手段に大きな相違はない。

○宇部市

宇部市では、「広報車・消防車」が 57.3%と最も割合が高く、次いで、「テレビ」が 52.7%と高い。

地区別では、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「広報車・消防車」が 64.1%、59.5%と最も高い。原は、「テレビ」が 61.5%と最も高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「テレビ」が 60.8%と最も割合が高く、次いで、「広報車・消防車」が 58.9%と高い。

地区別では、津布田、浜は、市計と同様に「テレビ」が 66.7%、71.4%と最も割合が高い。埴生、梶は、「広報車・消防車」が 62.7%、78.9%と最も割合が高い。

釧路市

問13 津波警報認知手段

(問12で「知っていた」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 テレビ	84	97	5	186	85.7	85.8	71.4	85.3
2 ラジオ	14	11	1	26	14.3	9.7	14.3	11.9
3 近所の人	6	4	0	10	6.1	3.5	0.0	4.6
4 広報車・消防車	46	53	3	102	46.9	46.9	42.9	46.8
5 屋外拡声器	14	17	0	31	14.3	15.0	0.0	14.2
6 有線放送	0	0	1	1	0.0	0.0	14.3	0.5
7 インターネット	1	1	0	2	1.0	0.9	0.0	0.9
8 携帯電話のメールサービス	0	1	0	1	0.0	0.9	0.0	0.5
9 その他	5	1	2	8	5.1	0.9	28.6	3.7
N=218 総計	170	185	12	367	173.5	163.7	171.4	168.3
無回答	1	1	0	2	1.0	0.9	0.0	0.9

問13.津波警報認知手段(その他の内容)

<釧路市釧路川左岸地区>

サイレン
肉親
防災無線、警報
地震の揺れが大きいと必ず避難する
知人からのメール

問13.津波警報認知手段(その他の内容)

<釧路市釧路川右岸地区>

市役所が近くなのでサイレンが聞こえた。

問13.津波警報認知手段(その他の内容)

<釧路市音別地区>

子供
オフトーク通信

宇部市

問14 高潮警報認知手段
(問13で「知っていた」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 テレビ	40	33	64	138	61.5	51.6	48.9	52.7
2 ラジオ	7	10	18	35	10.8	15.6	13.7	13.4
3 近所の人	11	6	16	33	16.9	9.4	12.2	12.6
4 広報車・消防車	30	41	78	151	46.2	64.1	59.5	57.6
5 防災情報ファックス	1	0	2	4	1.5	0.0	1.5	1.5
6 有線放送	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 インターネット	1	5	2	8	1.5	7.8	1.5	3.1
8 宇部市の防災メール	1	3	7	11	1.5	4.7	5.3	4.2
9 その他	3	2	8	13	4.6	3.1	6.1	5.0
N=262 総計	94	100	195	393	144.6	156.3	148.9	150.0
無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0

問14.高潮警報認知手段(その他の内容)

<宇部市原地区>

自治会の班長より電話がありました
民生委員さん
自治会の連絡網

問14.高潮警報認知手段(その他の内容)

<宇部市東岐波地区>

班長
民生委員の方より

問14.高潮警報認知手段(その他の内容)

<宇部市西岐波他地区>

自治会長
自治会長さんから電話
電話
自治会よりTEL
自治会からの連絡
町内会からの連絡
友人の連絡。TEL
ケイタイ

山陽小野田市

問14 高潮警報認知手段
(問13で「知っていた」と回答した方、複数回答)

	実数					構成比(%)				
	植生	津布田	根	浜	市計	植生	津布田	根	浜	市計
1 テレビ	72	24	11	20	129	57.1	66.7	57.9	71.4	60.8
2 ラジオ	10	5	3	2	20	7.9	13.9	15.8	7.1	9.4
3 近所の人	25	6	2	1	35	19.8	16.7	10.5	3.6	16.5
4 広報車・消防車	79	17	15	12	125	62.7	47.2	78.9	42.9	59.0
5 屋外拡声器	5	0	2	1	8	4.0	0.0	10.5	3.6	3.8
6 有線放送	13	6	2	0	21	10.3	16.7	10.5	0.0	9.9
7 インターネット	1	0	0	1	2	0.8	0.0	0.0	3.6	0.9
8 携帯電話のメールサービス	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 その他	10	3	0	1	14	7.9	8.3	0.0	3.6	6.6
N=212 総計	215	61	35	38	354	170.6	169.4	184.2	135.7	167.0
無回答	1	0	0	0	1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.5

問14.高潮警報認知手段(その他の内容)

<山陽小野田市植生地区>

自治会長が直接伝えてまわるので
娘からの連絡
職業が電気工事業の為この手の情報は容易に入手できる
自治会より連絡
自治会を通じて

問14.高潮警報認知手段(その他の内容)

<山陽小野田市津布田地区>

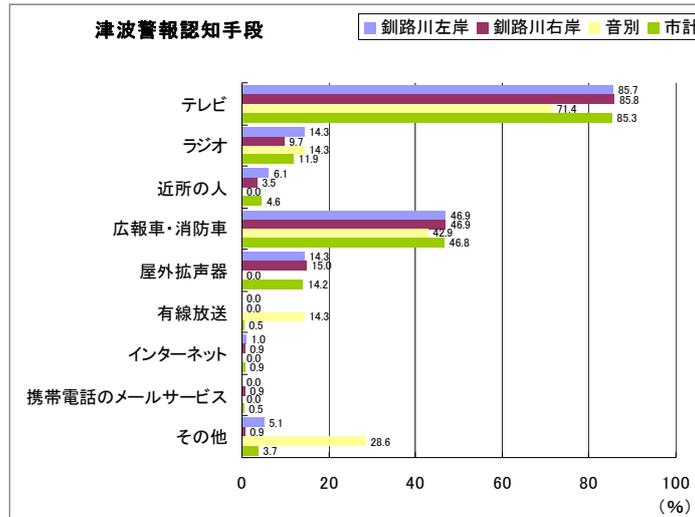
姉妹達からの携帯電話
市からの連絡を受け、自治会長から班長を通じ各家庭へ
自治体からの連絡

問14.高潮警報認知手段(その他の内容)

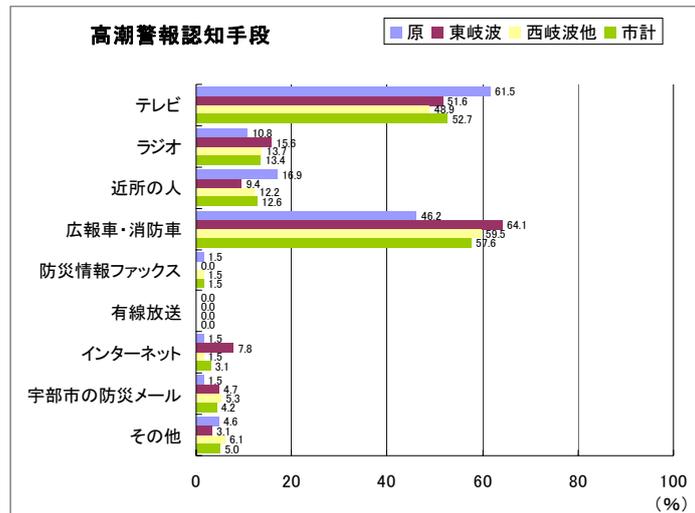
<山陽小野田市浜地区>

知人より連絡TEL

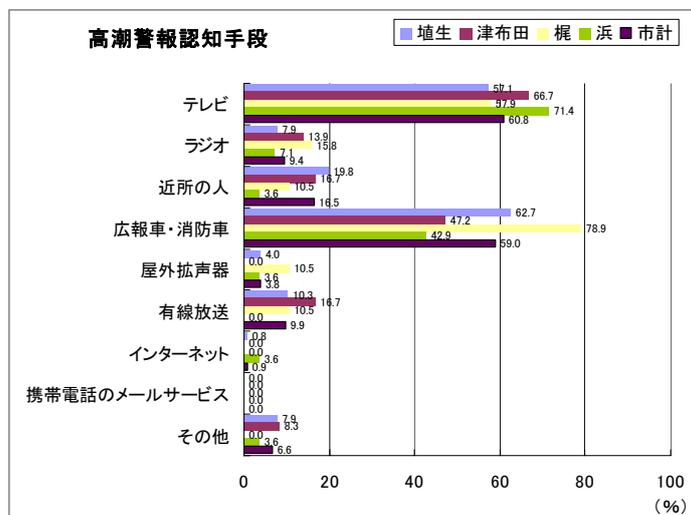
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(3) 避難勧告の認知

○釧路市

釧路市では、「知っていた」人が 65.8%を占めた。

地区別では、「知っていた」人の割合は釧路川左岸が最も高い。音別は、「知っていた」と「知らなかった」が 40.0%と約 4 割ずつとなっている。

○宇部市

宇部市では、「知っていた」人が 65.3%を占めた。

地区別では、「知っていた」人の割合は東岐波が最も高いが、地区間で大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「知っていた」人が 66.1%を占めた。

地区別では、「知っていた」人の割合は埴生が最も高い。

釧路市

問14 避難勧告認知

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 知らなかった	30	44	6	80	23.4	27.8	40.0	26.6
2 知っていた	91	101	6	198	71.1	63.9	40.0	65.8
※ 無回答	7	13	3	23	5.5	8.2	20.0	7.6
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問15 避難勧告認知

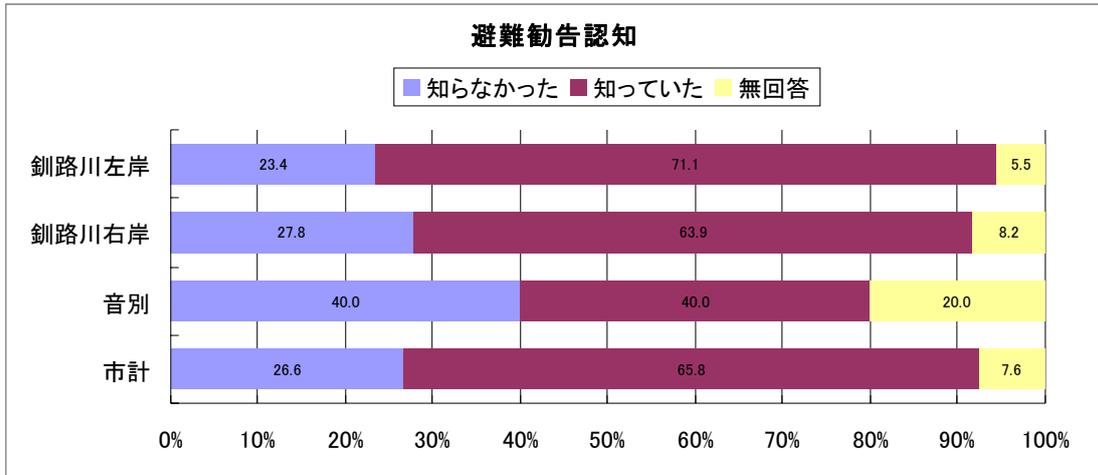
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 知らなかった	32	22	67	122	30.8	26.2	32.5	30.7
2 知っていた	66	58	133	260	63.5	69.0	64.6	65.3
※ 無回答	6	4	6	16	5.8	4.8	2.9	4.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

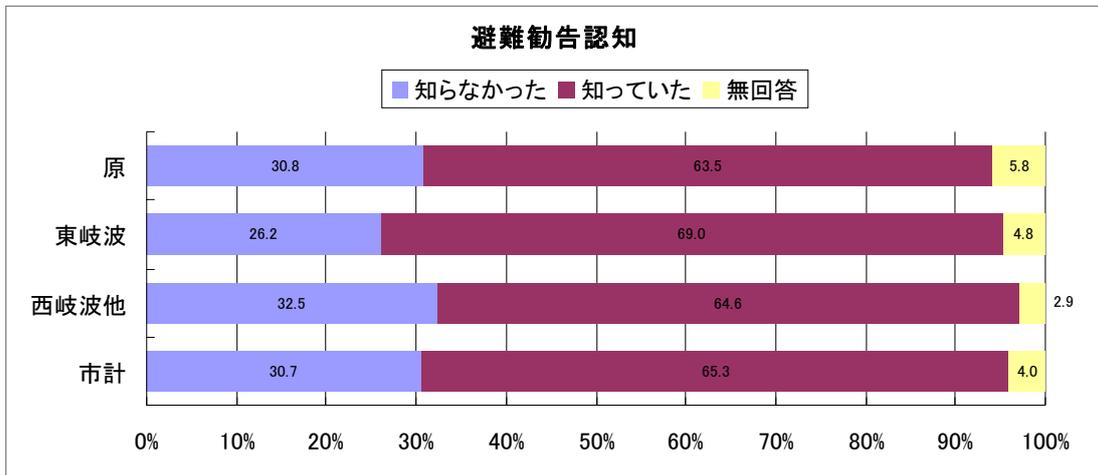
問15 避難勧告認知

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 知らなかった	40	16	5	10	73	22.5	32.7	20.8	24.4	24.5
2 知っていた	123	29	15	27	197	69.1	59.2	62.5	65.9	66.1
※ 無回答	15	4	4	4	28	8.4	8.2	16.7	9.8	9.4
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

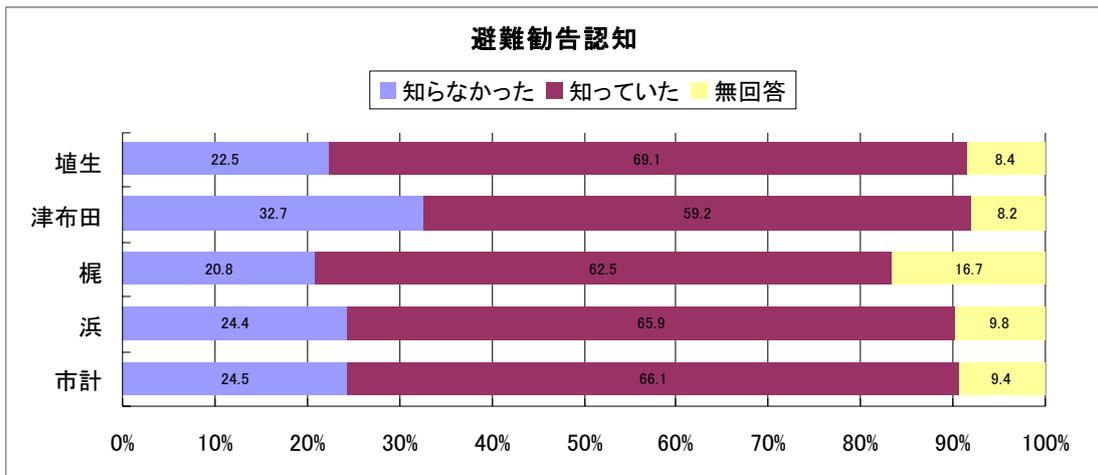
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(4)避難勧告の認知手段

○釧路市

釧路市では、「テレビ」が82.8%と最も割合が高く、次いで、「広報車・消防車」が56.1%と高い。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「テレビ」が83.5%、81.2%、100.0%と最も割合が高い。地区間で避難勧告認知手段に大きな相違はない。

○宇部市

宇部市では、「広報車・消防車」が63.8%と最も割合が高く、次いで、「テレビ」が42.4%と高い。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「広報車・消防車」が53.0%、74.1%、64.7%と最も高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「広報車・消防車」が67.5%と最も割合が高く、次いで、「テレビ」が46.9%と高い。

地区別では、埴生、津布田、梶は、市計と同様に「広報車・消防車」が70.7%、62.1%、86.7%と最も割合が高い。浜は、「テレビ」が55.6%と最も割合が高い。

釧路市

問15 避難勧告認知手段
(問14で「知っていた」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 テレビ	76	82	6	164	83.5	81.2	100.0	82.8
2 ラジオ	9	9	1	19	9.9	8.9	16.7	9.6
3 近所の人	6	5	0	11	6.6	5.0	0.0	5.6
4 広報車・消防車	50	59	2	111	54.9	58.4	33.3	56.1
5 屋外拡声器	17	20	0	37	18.7	19.8	0.0	18.7
6 有線放送	0	1	1	2	0.0	1.0	16.7	1.0
7 インターネット	1	2	0	3	1.1	2.0	0.0	1.5
8 携帯電話のメールサービス	1	1	0	2	1.1	1.0	0.0	1.0
9 その他	2	2	1	5	2.2	2.0	16.7	2.5
N=198 総計	162	181	11	354	178.0	179.2	183.3	178.8
無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0

問15.避難勧告認知手段(その他の内容)

<釧路市釧路川右岸地区>

電話にて

問15.避難勧告認知手段(その他の内容)

<釧路市音別地区>

オフトーク通信

宇部市

問16 避難勧告認知手段

(問15で「知っていた」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 テレビ	29	26	54	110	43.9	44.8	40.6	42.3
2 ラジオ	6	8	13	27	9.1	13.8	9.8	10.4
3 近所の人	15	6	25	46	22.7	10.3	18.8	17.7
4 広報車・消防車	35	43	86	167	53.0	74.1	64.7	64.2
5 宇部市の防災情報ファックス	3	0	1	4	4.5	0.0	0.8	1.5
6 有線放送	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 インターネット	0	4	2	6	0.0	6.9	1.5	2.3
8 宇部市の防災メール	2	3	6	11	3.0	5.2	4.5	4.2
9 その他	6	2	16	24	9.1	3.4	12.0	9.2
N=260 総計	96	92	203	395	145.5	158.6	152.6	151.9
無回答	0	0	1	1	0.0	0.0	0.8	0.4

問16.避難勧告認知手段(その他の内容)

<宇部市原地区>

自治会の役員の方から
班長よりTELあり
民●●会長より
自治会長
町内会の担当者
自治会の連絡網

問16.避難勧告認知手段(その他の内容)

<宇部市東岐波地区>

消防署員の勧告
班長

問16.避難勧告認知手段(その他の内容)

<宇部市西岐波他地区>

自治会からの連絡
自治会
自治会長
地区防災組織情報網
自治会長さんから電話
電話
班長が町内会長の指示と家に連絡してきた。
自治会長より
自治会
災害対策本部から地域の自主防災会を通じて、自治会の災害連絡網による電話連絡で知った。
自治会からの連絡
自治会連合会連絡要綱
自治会を通じて各家庭に連絡がありました。
東京の知人からのメールで知った
ケイタイ

山陽小野田市

問16 避難勧告認知手段

(問15で「知っていた」と回答した方、複数回答)

	実数					構成比(%)				
	西部	中西部	中東部	東部	市計	西部	中西部	中東部	東部	市計
1 テレビ	53	14	9	15	91	43.1	48.3	60.0	55.6	46.9
2 ラジオ	11	3	3	2	19	8.9	10.3	20.0	7.4	9.8
3 近所の人	28	8	4	2	42	22.8	27.6	26.7	7.4	21.6
4 広報車・消防車	87	18	13	13	131	70.7	62.1	86.7	48.1	67.5
5 宇部市の防災情報ファックス	8	0	1	1	10	6.5	0.0	6.7	3.7	5.2
6 有線放送	14	4	3	0	21	11.4	13.8	20.0	0.0	10.8
7 インターネット	1	0	0	0	1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.5
8 携帯電話のメールサービス	1	0	0	0	1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.5
9 その他	11	7	0	1	19	8.9	24.1	0.0	3.7	9.8
N=194 総計	214	54	33	34	335	174.0	186.2	220.0	125.9	172.7
無回答	1	0	0	0	1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.5

問16.避難勧告認知手段(その他の内容)

<山陽小野田市埴生地区>

自治会長により
市からの通報(自治会長をしているので)
家の二階より海を見て、波の高さ等
電力会社や市の公報車による
自治会長より班員に知らせよう指示あり
自治会より連絡あり

問16.避難勧告認知手段(その他の内容)

<山陽小野田市津布田地区>

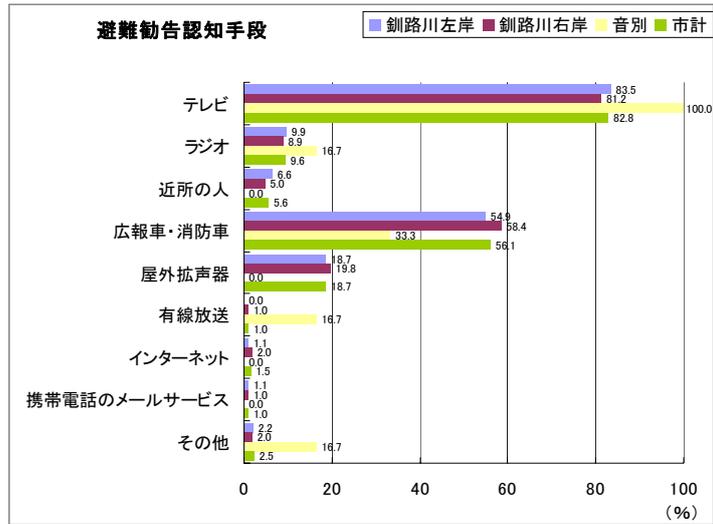
姉妹達からの携帯電話
電話がかかってきた
市役所から電話連絡あり
電話
市→自治会長→班長を通じ各家庭
自治会の会長より知らせあり
自治会長

問16.避難勧告認知手段(その他の内容)

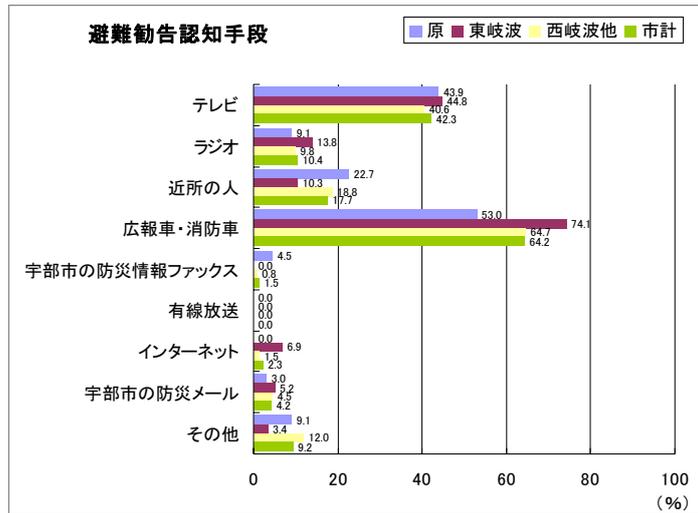
<山陽小野田市浜地区>

近所ではない親類から避難勧告が出るとTELがあった

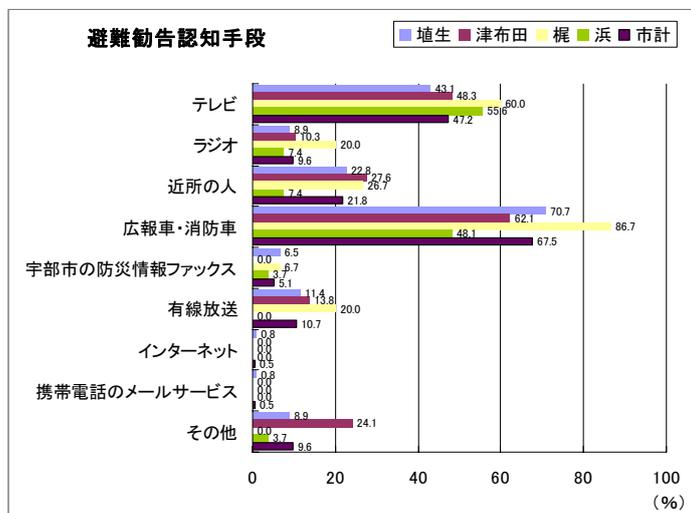
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.4.4 避難の意思と準備

(1) 避難意思

○釧路市

釧路市では、「避難しなくてもいい」が31.6%と最も割合が高く、次いで、「避難した方がいい」が21.9%と高い。

地区別に見ると、「避難しなければいけない」と「避難した方がいい」を合わせた割合は、釧路川左岸の方が釧路川右岸より高い。この両者を合わせた割合は、音別では60%を占めた。

○宇部市

宇部市では、「避難しなくてもいい」が43.0%と最も割合が高く、次いで、「避難する必要はない」が19.6%と高い。

地区間の違いは小さいが、「避難しなければいけない」と「避難した方がいい」を合わせた割合は、東岐波が他地区より若干高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「避難しなくてもいい」が33.9%と最も割合が高く、次いで、「避難した方がいい」と「どちらでもない」が17.8%と高い。

地区に見るとは、「避難しなければいけない」と「避難した方がいい」を合わせた割合は、梶と埴生で高く、津布田では0%であった。

釧路市

問16 避難意思

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 避難しなければいけない	12	12	5	29	9.4	7.6	33.3	9.6
2 避難した方がいい	39	23	4	66	30.5	14.6	26.7	21.9
3 どちらともいえない	15	24	2	41	11.7	15.2	13.3	13.6
4 避難しなくてもいい	39	56	0	95	30.5	35.4	0.0	31.6
5 避難する必要はない	9	28	2	39	7.0	17.7	13.3	13.0
※ 無回答	14	15	2	31	10.9	9.5	13.3	10.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問17 避難意思

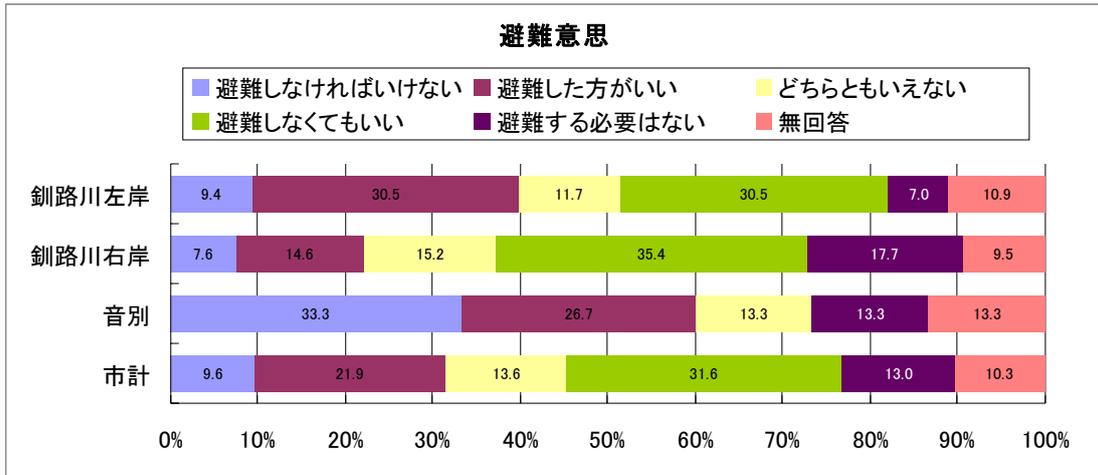
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 避難しなければいけない	2	2	7	11	1.9	2.4	3.4	2.8
2 避難した方がいい	10	10	18	39	9.6	11.9	8.7	9.8
3 どちらともいえない	23	14	33	70	22.1	16.7	16.0	17.6
4 避難しなくてもいい	42	32	94	171	40.4	38.1	45.6	43.0
5 避難する必要はない	18	16	44	78	17.3	19.0	21.4	19.6
※ 無回答	9	10	10	29	8.7	11.9	4.9	7.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

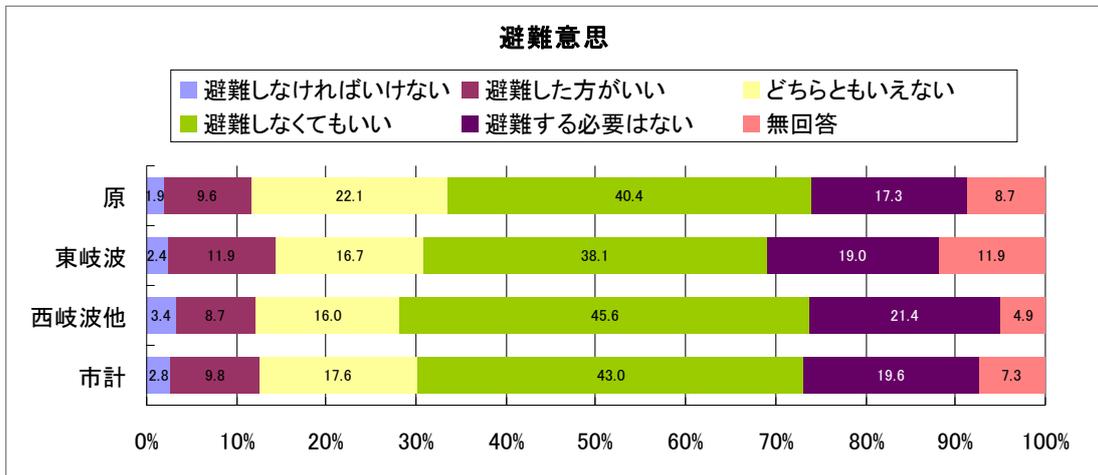
問17 避難意思

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 避難しなければいけない	8	0	3	0	12	4.5	0.0	12.5	0.0	4.0
2 避難した方がいい	41	0	5	6	53	23.0	0.0	20.8	14.6	17.8
3 どちらともいえない	26	9	6	12	53	14.6	18.4	25.0	29.3	17.8
4 避難しなくてもいい	60	19	7	12	101	33.7	38.8	29.2	29.3	33.9
5 避難する必要はない	20	13	3	7	44	11.2	26.5	12.5	17.1	14.8
※ 無回答	23	8	0	4	35	12.9	16.3	0.0	9.8	11.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

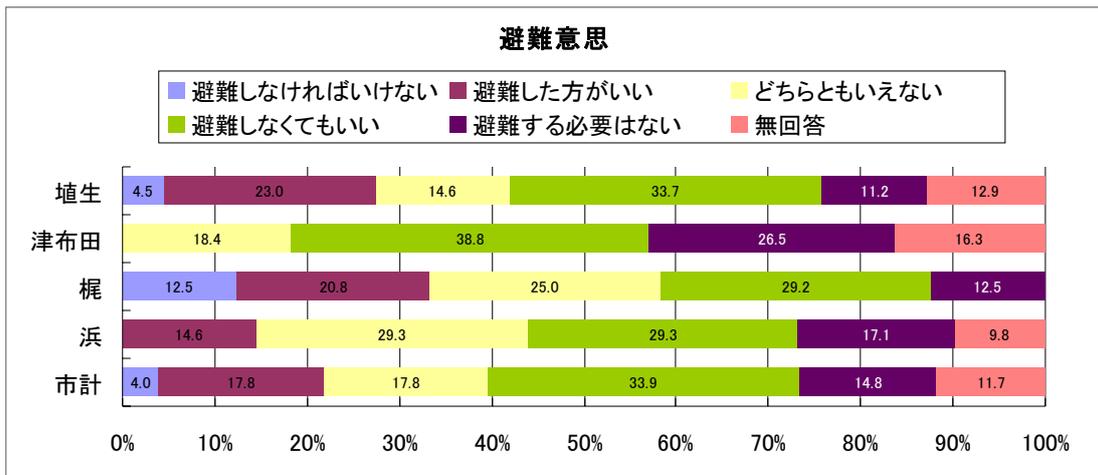
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 避難準備

○釧路市

釧路市では、「避難の準備をしなかった」が 50.8%と最も割合が高く、次いで、「避難場所がどこか確認したが持出す荷物の整理はせず」が 26.9%と高い。

地区別に見ると、釧路川左岸で避難場所を確認した人の割合が比較的高かった。

○宇部市

宇部市では、「避難の準備をしなかった」が 60.8%と最も割合が高く、次いで、「避難場所がどこか確認したが持出す荷物の整理はせず」が 21.4%と高い。

地区間の違いは小さかった。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「避難の準備をしなかった」が 46.0%と最も割合が高く、次いで、「避難場所がどこか確認し、持出す荷物の整理をした」が 29.9%と高い。

地区別では、避難場所を確認したり荷物を整理した人の割合は、埴生と梶で比較的高く、津布田と、浜で比較的低い。

釧路市

問17 避難準備

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 避難場所確認、荷物を整理	26	19	5	50	20.3	12.0	33.3	16.6
2 避難場所確認、荷物の整理はせず	46	33	2	81	35.9	20.9	13.3	26.9
3 避難の準備をしなかった	48	99	6	153	37.5	62.7	40.0	50.8
※ 無回答	8	7	2	17	6.3	4.4	13.3	5.6
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問18 避難準備

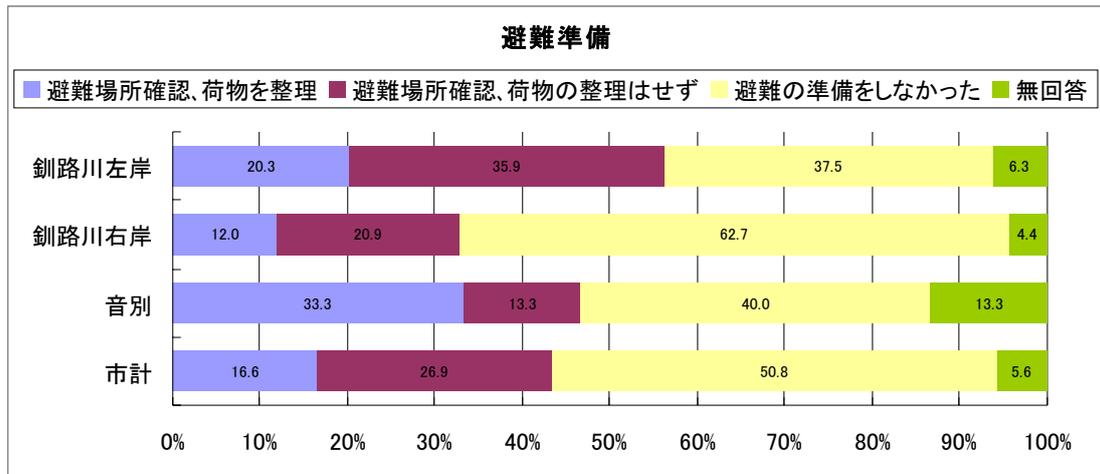
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 避難場所確認、荷物を整理	14	14	30	59	13.5	16.7	14.6	14.8
2 避難場所確認、荷物の整理はせず	26	16	42	85	25.0	19.0	20.4	21.4
3 避難の準備をしなかった	61	49	130	242	58.7	58.3	63.1	60.8
※ 無回答	3	5	4	12	2.9	6.0	1.9	3.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

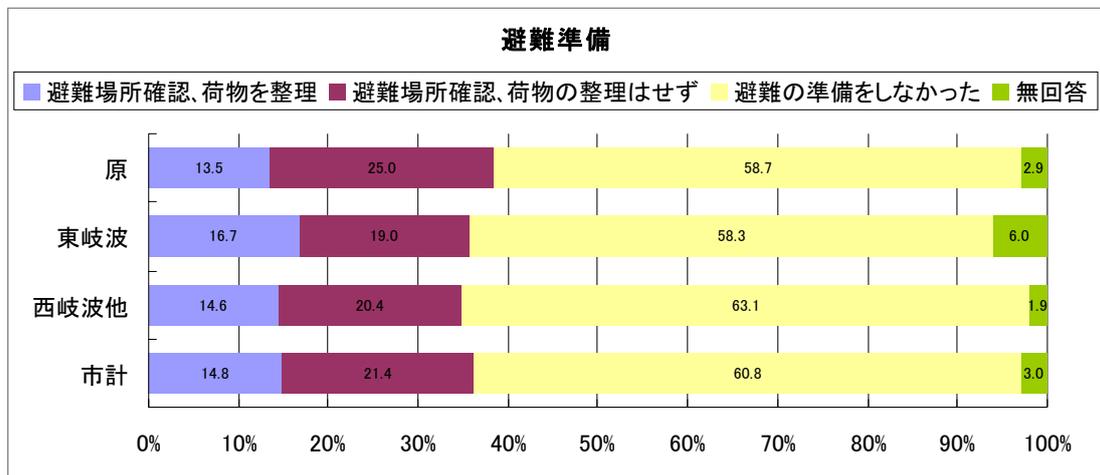
問18 避難準備

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 避難場所確認、荷物を整理	66	7	8	6	89	37.1	14.3	33.3	14.6	29.9
2 避難場所確認、荷物の整理はせず	34	14	5	12	65	19.1	28.6	20.8	29.3	21.8
3 避難の準備をしなかった	75	27	10	21	137	42.1	55.1	41.7	51.2	46.0
※ 無回答	3	1	1	2	7	1.7	2.0	4.2	4.9	2.3
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

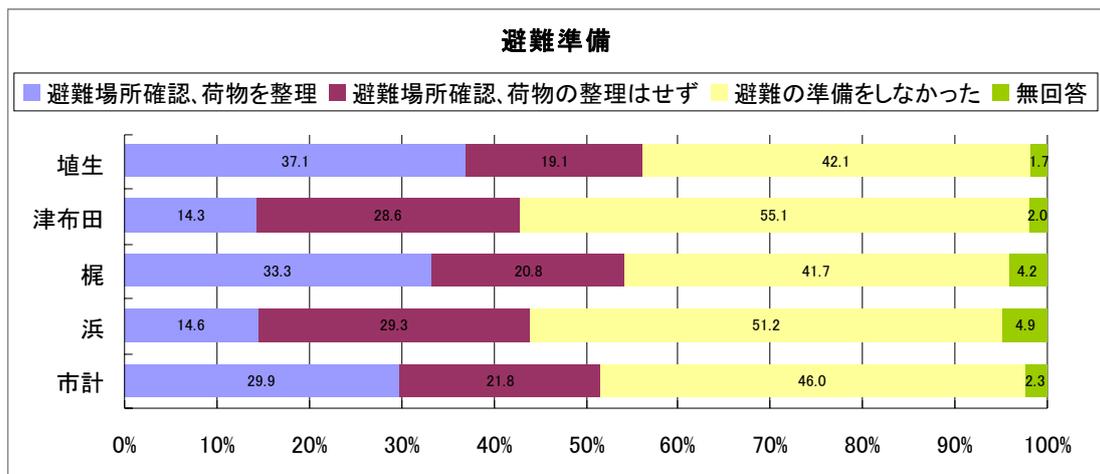
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.4.5 避難行動

(1) 避難の有無

○釧路市

釧路市では、「避難しなかった」人が 67.8%を占めている。

地区別では、釧路川右岸で「避難しなかった」人の割合が高い。

○宇部市

宇部市では、「避難しなかった」人が 90.5%を占めている。

地区別では、東岐波で「避難した人」が比較的多い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「避難しなかった」人が 79.9%を占めている。

地区別では、埴生と梶で、「避難した」人の割合が比較的高い。

釧路市

問18 避難の有無

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 避難しなかった	70	126	8	204	54.7	79.7	53.3	67.8
2 避難した	53	27	6	86	41.4	17.1	40.0	28.6
※ 無回答	5	5	1	11	3.9	3.2	6.7	3.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問19 避難の有無

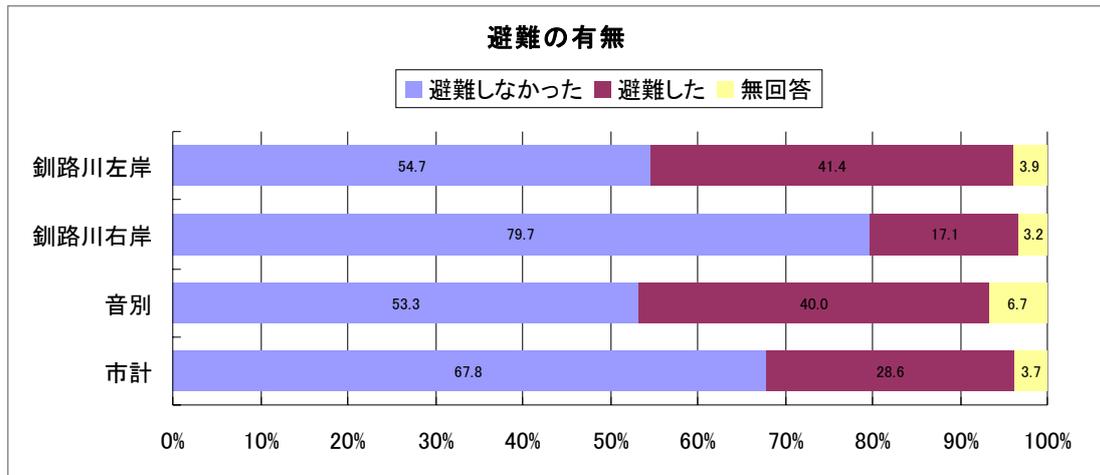
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 避難しなかった	98	71	187	360	94.2	84.5	90.8	90.5
2 避難した	6	11	19	36	5.8	13.1	9.2	9.0
※ 無回答	0	2	0	2	0.0	2.4	0.0	0.5
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

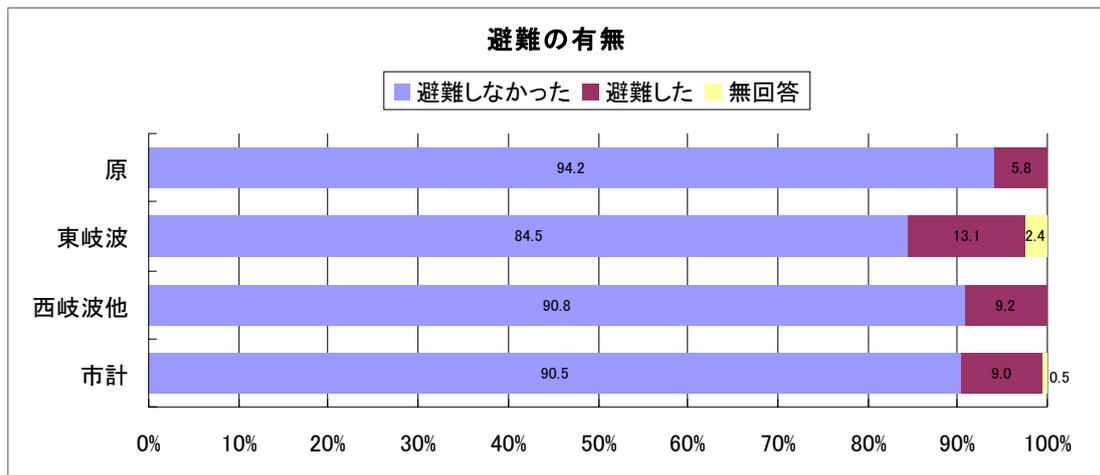
問19 避難の有無

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 避難しなかった	133	47	17	36	238	74.7	95.9	70.8	87.8	79.9
2 避難した	44	1	7	3	56	24.7	2.0	29.2	7.3	18.8
※ 無回答	1	1	0	2	4	0.6	2.0	0.0	4.9	1.3
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

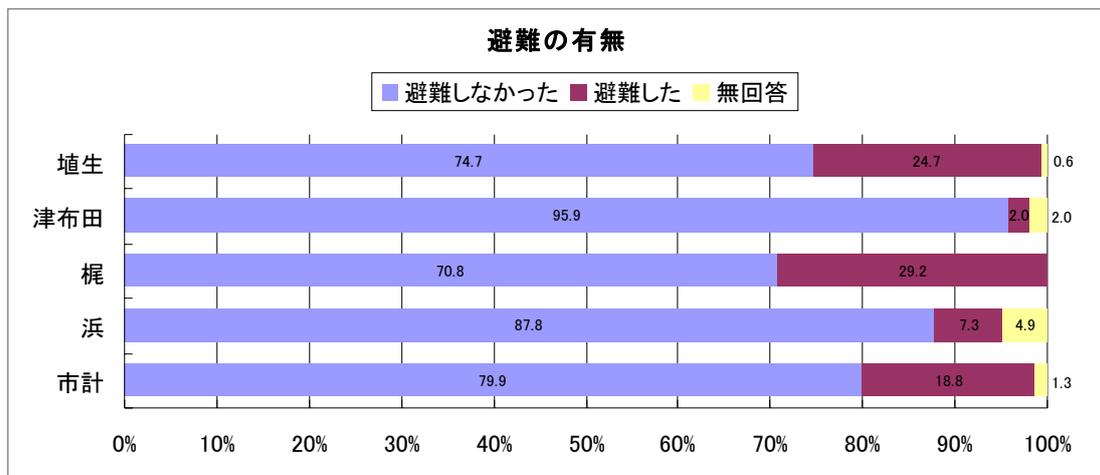
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 避難した場所

○釧路市

釧路市の避難した場所は、74 件回答があり、主な回答には「親族・友人宅」と「学校」があげられている。全体の約 7 割は避難所以外をあげている。

地区別では、親族・友人以外の具体的な避難場所に、釧路川右岸は、「東栄小学校」「日進小学校」「米町公園」、釧路川左岸は、「旭小学校」、音別は、「音別街文化会館」があげられている。

○宇部市

宇部市の避難した場所は、32 件回答があり、主な回答には「親族・友人宅」があげられている。全体の約 7 割は避難所以外をあげている。

地区別では、親族・友人以外の具体的な避難場所に、原は、「原小学校」、東岐波は、「東岐波公民館」や「丸尾自治会館」、西岐波他は、「西岐波公民館」があげられている。

○山陽小野田市

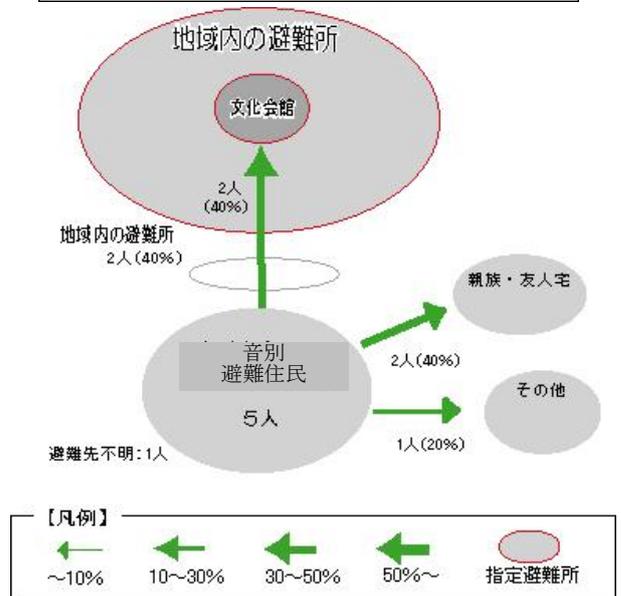
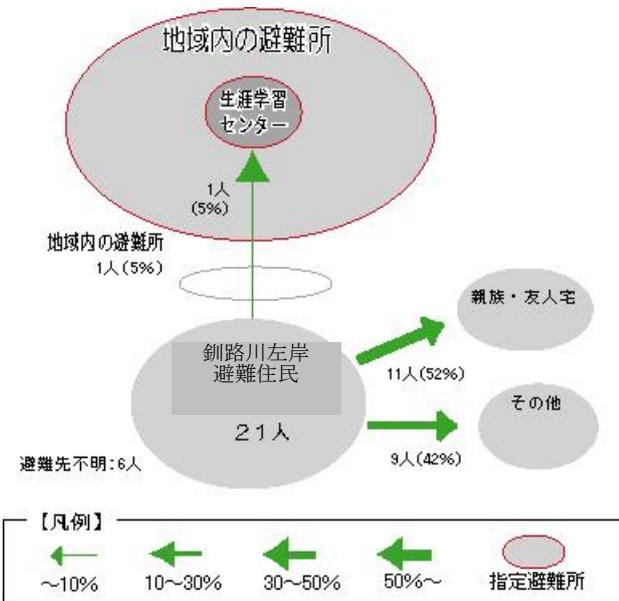
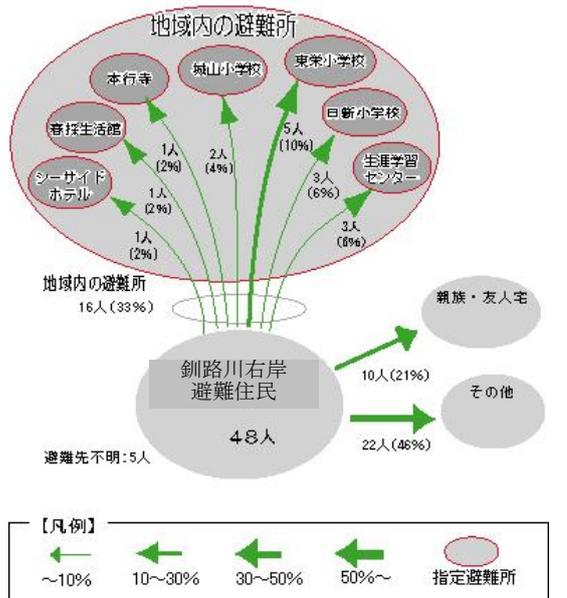
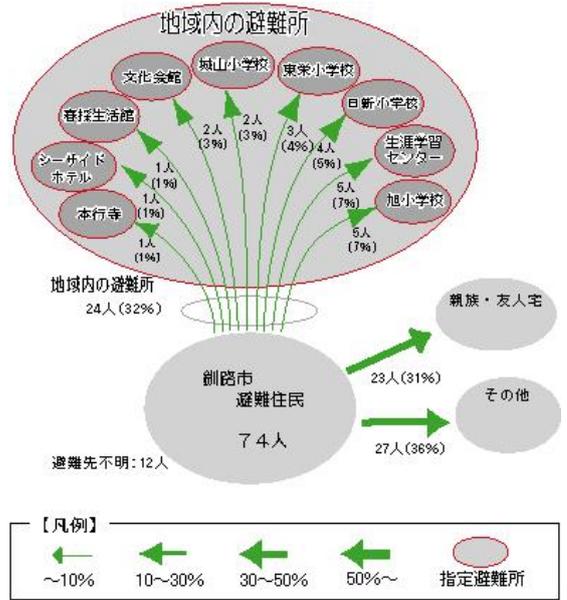
山陽小野田市の避難した 54 件回答があり、主な回答には「親族・友人宅」があげられている。全体の約 6 割は避難所以外をあげている。

地区別では、親族・友人以外の具体的な避難場所に、埴生は「埴生中学校」と「埴生公民館」、浜は「高泊小学校」があげられている。

問20.避難した場所

＜釧路市＞

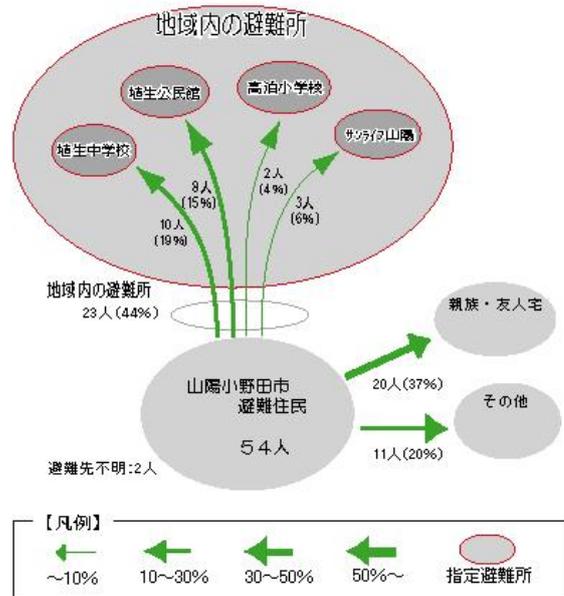
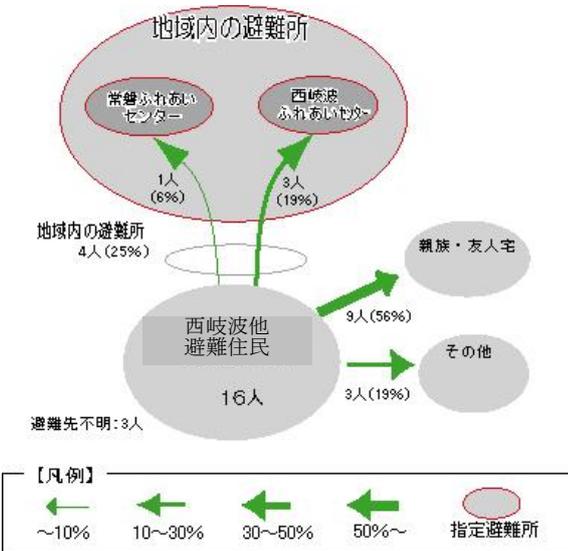
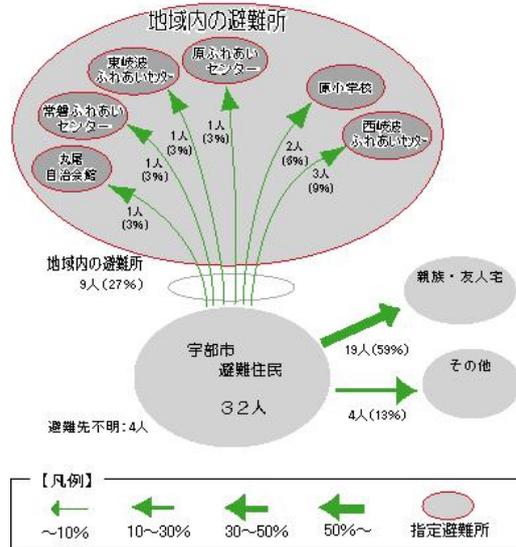
避難場所	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
学校	5	15		20
城山小学校		2		2
東栄小学校		4		4
釧路市立東栄小学校駐車場(グラウンド)		1		1
日進小学校		3		3
日進小学校横道路		1		1
旭小学校	4			4
小学校前車の中		1		1
小学校		3		3
近くの学校へ	1			1
公園		6		6
米町公園		3		3
米町公園高台		1		1
米町公園と実家		1		1
公園の駐車場		1		1
公的施設等	4	5	2	11
釧路支庁、災害応対(業務のため)	1	1		2
釧路市生涯学習センター		1		1
生涯学習センター駐車場		1		1
まなぼつと	1			1
まなぼつと駐車場	1	1		2
春採生活館		1		1
釧路市役所～家の近所	1			1
釧路市音別町文化会館			1	1
文化会館			1	1
民間施設・駐車場等		3		3
シーサイドホテル		1		1
弊舞町の大型駐車場(高台)本行寺駐車場		1		1
親族・友人宅	11	10	2	23
高い家のある親せき宅		1		1
知人宅		1	1	2
実家		1		1
子供の家		1	1	2
春採の実家		1		1
春採の娘宅		1		1
白樺台の親族宅		1		1
釧路市内高台にある親族宅		1		1
高台の知人宅		1		1
米町の親族宅		1		1
釧路市富士見町の親族宅	1			1
春採の親族宅	2			2
春採町知人宅	1			1
友達の家2階	1			1
美原の実家	1			1
緑ヶ丘の親族宅	1			1
光陽町親族宅	1			1
釧路市寿町の実家(目の前に避難場所である中央小学校がある為)	1			1
武佐の親類宅	1			1
緑ヶ岡親族宅	1			1
その他	1	9	1	11
高台		2		2
会社		1		1
会社(高台)		1		1
車に乗って高台の方で何時間も避難していた	1			1
附近の坂道	1			1
浦見町(支庁の近く)	1			1
雨大		1		1
山		1	1	2
釧路湿原展望台	1			1
合計	21	48	5	74



問21.避難した場所

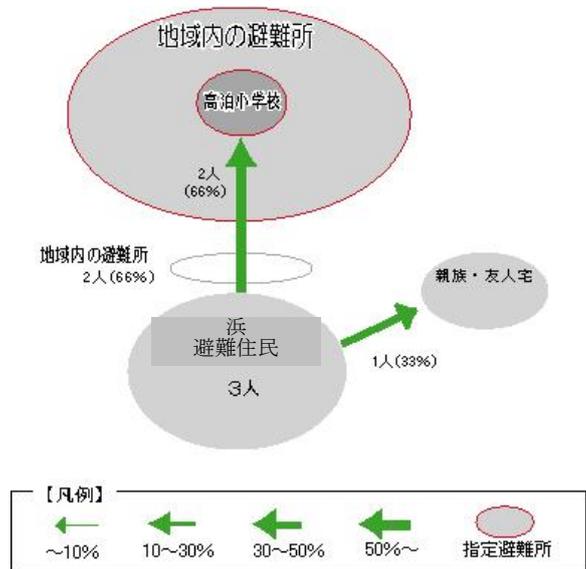
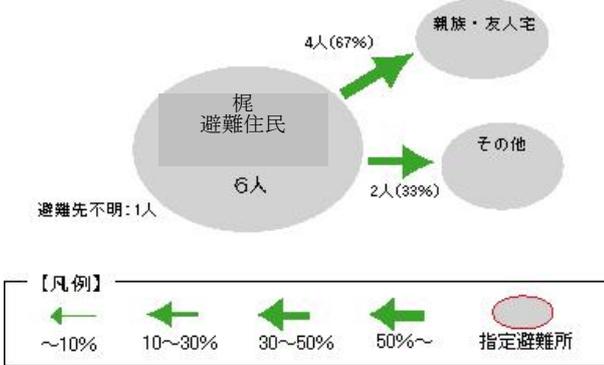
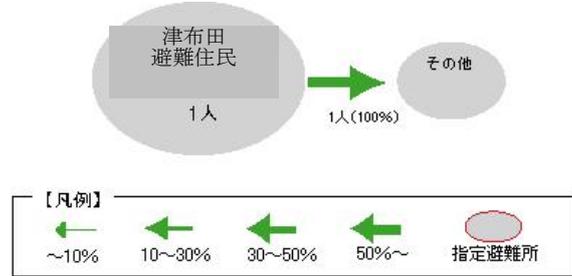
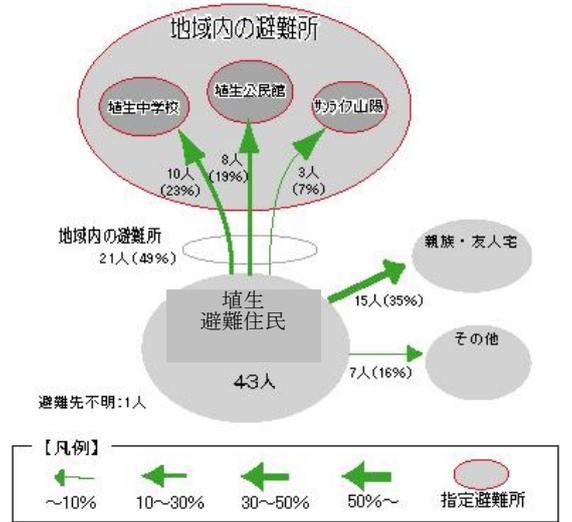
<宇都市>

避難場所	原	東岐波	西岐波他	市計
学校	2			2
原小学校	2			2
公民館	1	2	2	5
原公民館	1			1
東岐波公民館		1		1
丸尾自治会館		1		1
西岐波公民館			2	2
ふれあいセンター等			4	4
常盤コミュニティー(ふれあいセンター)			1	1
ときわ			1	1
西岐波ふれあいセンター			1	1
コミュニセンタ			1	1
親族・友人宅	2	8	9	19
山陽小野田市娘宅	1		1	1
山陽小野田市の実家親族宅	1		1	2
東岐波長者の親族宅		1		1
長女の家(防府市)		1		1
子供の所.萩市		1		1
夫の実家.犬がいるので公民館、小学校は無理		1		1
親族宅		1	1	2
南小羽山の親族方		1		1
実家		1		1
知人宅		1		1
萩原の子供の家			1	1
昭和町の親族宅			1	1
娘の家・車で10分位			1	1
萩原の次男の家			1	1
姉の家			1	1
西岐波今村 次男宅			1	1
その他	1		1	2
東須恵(第一原)	1			1
自営業で別の場所に事務所があるのでそちらの方へ家族で避難した。(熊野)			1	1
合計	6	10	16	32



問21.避難した場所
 <山陽小野田市>

避難場所	埴生	津布田	梶	浜	不明	市計
学校	11		1	2		14
埴生中学校	10					10
中学校	1					1
中学校の体育館			1			1
高泊小学校				2		2
公民館	9					9
埴生公民館	8					8
公民館	1					1
サンライフ山陽	3					3
サンライフ山陽・長生園	1					1
サンライフ山陽	2					2
親族・友人宅	15		4	1		20
小野田市郡(子供の家)	1					1
日の出町の親族宅	1					1
厚狭の水害の心配のない親戚宅	1					1
同町の親族宅	1					1
山陽小野田市埴生の実家	1					1
近所の高台に住む実弟宅へ	1					1
同一敷地内の息子の家	1					1
豊浦郡殿敷西市、子供の所	1					1
山陽小野田市の親族宅付近	1		1			2
埴生市内の親族方	1					1
山陽小野田市内の友人宅	1					1
友人の家	1					1
北九州の娘の宅	1					1
長男の所 山陽町の親族宅	1					1
子供宅	1					1
山陽小野田市の娘宅			1			1
山陽小野田市の兄妹の宅			1			1
親戚			1			1
梶山西の親族宅				1		1
その他	5	1	1		1	8
山陽小野田	2					2
山陽	1					1
近所の高い所にある南国食堂	1					1
近所の小高い所	1					1
山口に行った			1			1
近くの民生委員宅			1			1
ビジネスホテル					1	1
合計	43	1	6	3	1	54



(3)避難開始時間

○釧路市

釧路市の避難した回答者の避難開始時間は、地震直後の「午後 8 時 15 分頃」が 7.0%，津波警報の発表直後の「午後 8 時 30 分頃」が 38.4%，避難勧告の発令直後の「午後 8 時 45 分頃」が 32.6%などとなっている。避難した人の 3/4 以上が、避難勧告の発令直後までに避難している。

地区別に見ると、釧路川右岸の方が釧路川左岸より、避難開始時間が早い傾向が認められる。

○宇部市

宇部市の避難した回答者の避難開始時間は、避難勧告発令から 30 分後の「午後 5 時頃」が 30.6%と最も割合が高く、風雨が強くなる午後 7 時頃までに 3/4 以上の人が避難している。

地区間の違いは明瞭ではない。

○山陽小野田市

山陽小野田市の避難した回答者の避難開始時間は、避難勧告発令の 30 分前である「午後 5 時頃」が 35.7%と最も割合が高く、風雨が強くなる午後 7 時頃までに 3/4 以上の人が避難している。

地区別に見ると、梶と浜で避難勧告発令以前に避難した人の割合が高い。

釧路市

問19 避難開始時間(問18で「避難した」と回答した方)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 11月15日の午後8時15分頃	4	2	0	6	7.5	7.4	0.0	7.0
2 11月15日の午後8時30分頃	18	11	4	33	34.0	40.7	66.7	38.4
3 11月15日の午後8時45分頃	18	9	1	28	34.0	33.3	16.7	32.6
4 11月15日の午後9時頃	7	1	1	9	13.2	3.7	16.7	10.5
5 11月15日の午後9時30分頃	0	2	0	2	0.0	7.4	0.0	2.3
6 11月15日の午後10時頃	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 11月15日の午後10時以降	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※無回答	6	2	0	8	11.3	7.4	0.0	9.3
N=86 総計	53	27	6	86	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問20 避難開始時間(問19で「避難した」と回答した方)

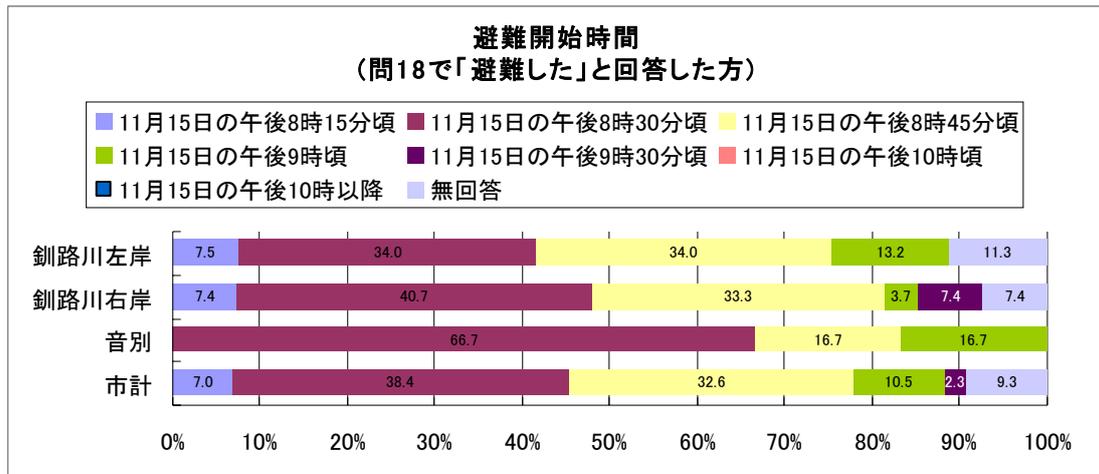
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 8月2日の午後5時頃	2	4	5	11	33.3	36.4	26.3	30.6
2 8月2日の午後6時頃	1	2	6	9	16.7	18.2	31.6	25.0
3 8月2日の午後7時頃	1	2	5	8	16.7	18.2	26.3	22.2
4 8月2日の午後8時頃	2	0	1	3	33.3	0.0	5.3	8.3
5 8月2日の午後9時頃	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 8月2日の午後10時頃	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 8月2日の午後11時頃	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※無回答	0	3	2	5	0.0	27.3	10.5	13.9
N=36 総計	6	11	19	36	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

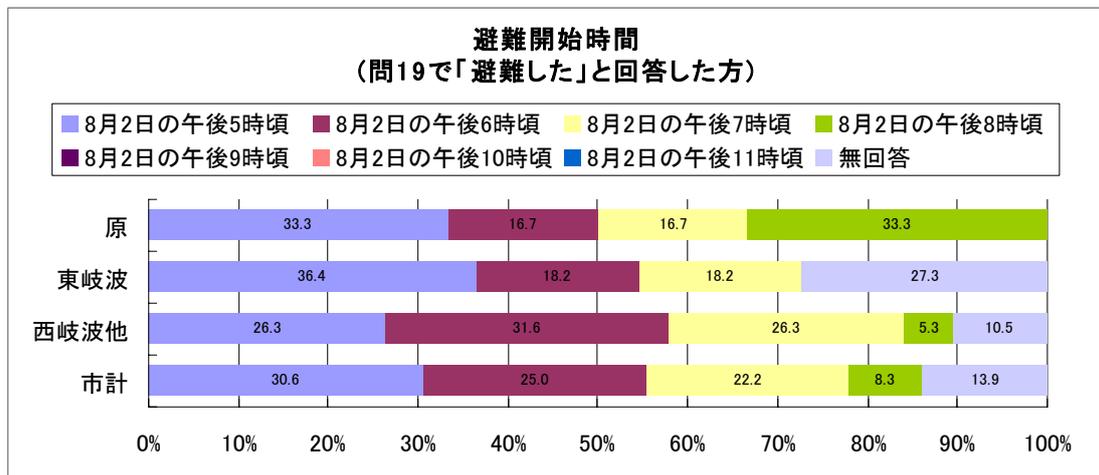
問20 避難開始時間(問19で「避難した」と回答した方)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 8月2日の午後5時頃	12	0	5	2	20	27.3	0.0	71.4	66.7	35.7
2 8月2日の午後6時頃	14	0	0	0	14	31.8	0.0	0.0	0.0	25.0
3 8月2日の午後7時頃	8	0	1	1	10	18.2	0.0	14.3	33.3	17.9
4 8月2日の午後8時頃	2	0	0	0	2	4.5	0.0	0.0	0.0	3.6
5 8月2日の午後9時頃	1	0	0	0	1	2.3	0.0	0.0	0.0	1.8
6 8月2日の午後10時頃	3	0	0	0	3	6.8	0.0	0.0	0.0	5.4
7 8月2日の午後11時頃	0	1	0	0	1	0.0	100.0	0.0	0.0	1.8
※無回答	4	0	1	0	5	9.1	0.0	14.3	0.0	8.9
N=56 総計	44	1	7	3	56	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

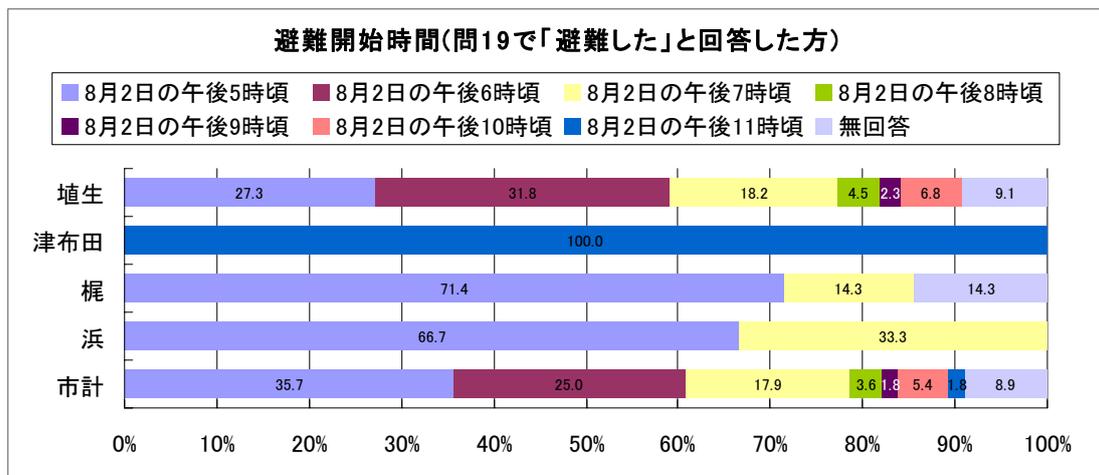
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(4) 避難交通手段

○釧路市

釧路市では、「自動車」が67.4%と最も割合が高く、次いで、「徒歩」が24.4%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「自動車」が66.0%、70.4%、66.7%と最も割合が高い。地区による大きな相違はない。

○宇部市

宇部市では、「自動車」が83.3%と最も割合が高く、次いで、「徒歩」が8.3%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「自動車」が100.0%、81.8%、78.9%と最も割合が高い。地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「自動車」が66.1%と最も割合が高く、次いで、「徒歩」が21.4%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「自動車」が63.6%、100.0%、71.4%、100.0%と最も割合が高い。地区による大きな相違はない。

釧路市

問21 避難交通手段(問18で「避難した」と回答した方)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 徒歩	14	7	0	21	26.4	25.9	0.0	24.4
2 自転車	2	0	2	4	3.8	0.0	33.3	4.7
3 バイク・オートバイ	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 自動車	35	19	4	58	66.0	70.4	66.7	67.4
5 バス・電車	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
0 その他	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 無回答	2	1	0	3	3.8	3.7	0.0	3.5
N=86 総計	53	27	6	86	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問22 避難交通手段(問19で「避難した」と回答した方)

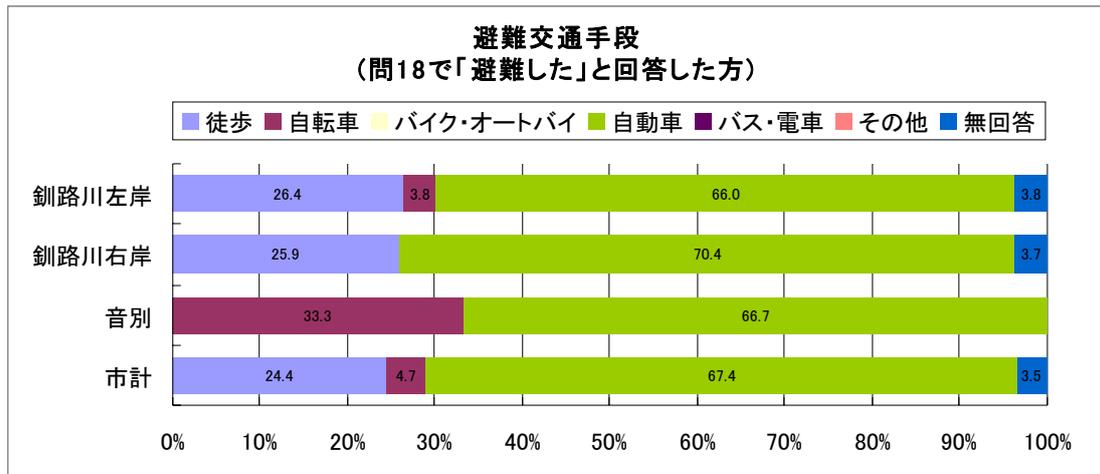
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 徒歩	0	1	2	3	0.0	9.1	10.5	8.3
2 自転車	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 バイク・オートバイ	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 自動車	6	9	15	30	100.0	81.8	78.9	83.3
5 バス・電車	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 その他	0	0	1	1	0.0	0.0	5.3	2.8
※ 無回答	0	1	1	2	0.0	9.1	5.3	5.6
N=36 総計	6	11	19	36	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

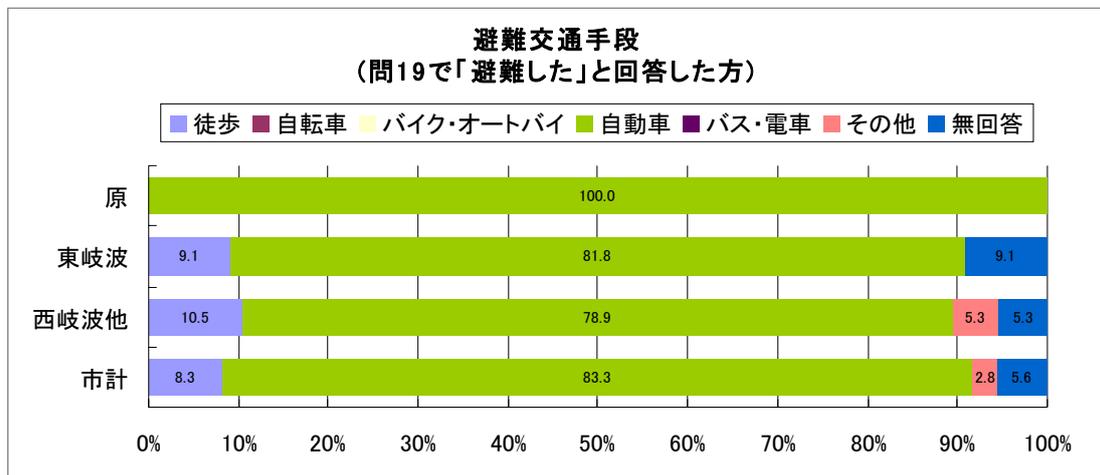
問22 避難交通手段(問19で「避難した」と回答した方)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 徒歩	11	0	1	0	12	25.0	0.0	14.3	0.0	21.4
2 自転車	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 バイク・オートバイ	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 自動車	28	1	5	3	37	63.6	100.0	71.4	100.0	66.1
5 バス・電車	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 その他	4	0	1	0	6	9.1	0.0	14.3	0.0	10.7
※ 無回答	1	0	0	0	1	2.3	0.0	0.0	0.0	1.8
N=56 総計	44	1	7	3	56	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

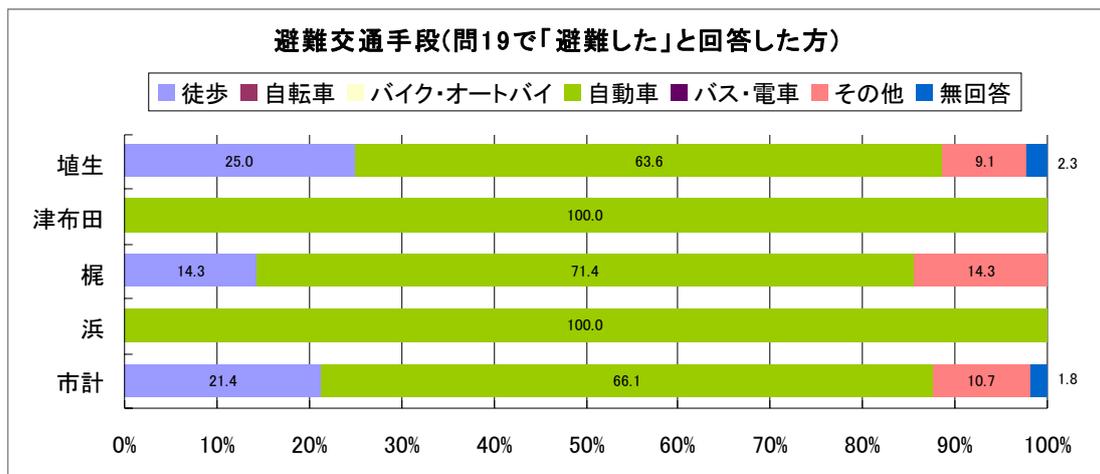
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.4.6 避難のきっかけ・避難しない理由

(1) 避難のきっかけ

○釧路市

釧路市では、「津波警報が発表されたことを知った」が46.5%と最も割合が高く、次いで、「避難勧告が発令されたことを知った」が44.2%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸は、市計と同様に「津波警報が発表されたことを知った」が47.2%、40.7%と最も割合が高い。また、釧路川右岸では「市役所・消防の人から避難を呼びかけられた」が、釧路川左岸では「テレビ・ラジオで避難を呼びかけていたこと」が比較的多い。

○宇部市

宇部市では、「市役所・消防の人から避難を呼びかけられた」が30.6%と最も割合が高く、次いで、「避難勧告が発表されたことを知った」が27.8%となっている。

地区別では、原は、市計と同様に「市役所・消防の人から避難を呼びかけられた」が66.7%と最も割合が高い。東岐波は、「風が強くなってきた」が27.3%と最も割合が高い。西岐波他は、「避難勧告が発令されたことを知った」が36.8%と最も高い。地区により避難のきっかけは、異なっている。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「避難勧告が発表されたことを知った」が53.6%と最も割合が高く、次いで、「風が強くなってきた」が35.7%となっている。

地区別では、埴生は、市計と同様に「避難勧告が発表されたことを知った」が59.1%と最も割合が高い。津布田は、「津波警報が発表されたことを知った」が100.0%、梶は、「避難勧告が発令されたことを知った」と「市役所・消防の人から避難を呼びかけられた」が28.6%と高い。浜は、「避難勧告が発令されたことを知った」と「風が強くなってきた」が66.7%と高い。地区により避難のきっかけは、異なっている。

釧路市

問22 避難のきっかけ
(問18で「避難した」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 津波警報発表を知った	25	11	4	40	47.2	40.7	66.7	46.5
2 避難勧告発令を知った	24	10	4	38	45.3	37.0	66.7	44.2
3 近所からの避難の呼びかけ	8	3	0	11	15.1	11.1	0.0	12.8
4 市役所・消防からの避難呼びかけ	12	8	0	20	22.6	29.6	0.0	23.3
5 テレビやラジオでの避難呼びかけ	17	6	2	25	32.1	22.2	33.3	29.1
6 地震の揺れが大きかった	4	1	0	5	7.5	3.7	0.0	5.8
7 深夜になった	0	0	1	1	0.0	0.0	16.7	1.2
8 その他	4	3	0	7	7.5	11.1	0.0	8.1
N=86 総計	94	42	11	147	177.4	155.6	183.3	170.9
無回答	2	1	0	3	3.8	3.7	0.0	3.5

問22.避難のきっかけ(その他の内容)

<釧路市釧路川左岸地区>

つくば市の知人より電話があり、テレビをつけて知りました
家族など心配かけるので
実家からTELがきた

問22.避難のきっかけ(その他の内容)

<釧路市釧路川右岸地区>

別に住んでる家族から避難しようと言われた
子供が怖がって避難したがった

宇部市

問23 避難のきっかけ
(問19で「避難した」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	原	東東岐波	西岐波他	市計	原	東東岐波	西岐波他	市計
1 高潮警報発表を知った	2	2	4	8	33.3	18.2	21.1	22.2
2 避難勧告発令を知った	1	2	7	10	16.7	18.2	36.8	27.8
3 近所から避難を呼びかけられた	0	0	2	2	0.0	0.0	10.5	5.6
4 市役所・消防からの避難呼びかけ	4	2	5	11	66.7	18.2	26.3	30.6
5 テレビやラジオでの避難呼びかけ	0	1	0	1	0.0	9.1	0.0	2.8
6 風が強くなってきた	1	3	6	10	16.7	27.3	31.6	27.8
7 雨が強くなってきた	1	1	2	4	16.7	9.1	10.5	11.1
8 外が暗くなってきた	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 その他	0	4	0	4	0.0	36.4	0.0	11.1
N=36 総計	9	15	26	50	150.0	136.4	136.8	138.9
無回答	0	1	2	3	0.0	9.1	10.5	8.3

問23.避難のきっかけ(その他の内容)

<宇部市東岐波地区>

民生委員の方から電話がありました
敷地内に住む長男家族が嫁の実家へ避難したため、娘が迎えに来てくれたので早くに避難した
高潮の可能性が予測された
子供が小さいので避難しておいた方がいいと思った
平成11年の台風でこわさを知っているため、台風ときくとすぐに避難と思う

山陽小野田市

問23 避難のきっかけ
(問19で「避難した」と回答した方、複数回答)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 高潮警報発表を知った	12	1	1	0	14	27.3	100.0	14.3	0.0	25.0
2 避難勧告発令を知った	26	0	2	2	30	59.1	0.0	28.6	66.7	53.6
3 近所から避難を呼びかけられた	6	0	0	0	6	13.6	0.0	0.0	0.0	10.7
4 市役所・消防からの避難呼びかけ	13	0	2	1	16	29.5	0.0	28.6	33.3	28.6
5 テレビやラジオでの避難呼びかけ	7	0	1	1	9	15.9	0.0	14.3	33.3	16.1
6 風が強くなってきた	16	0	1	2	20	36.4	0.0	14.3	66.7	35.7
7 雨が強くなってきた	11	0	0	1	12	25.0	0.0	0.0	33.3	21.4
8 外が暗くなってきた	2	0	0	0	2	4.5	0.0	0.0	0.0	3.6
9 その他	4	0	2	0	6	9.1	0.0	28.6	0.0	10.7
N=56 総計	97	1	9	7	115	220.5	100.0	128.6	233.3	205.4
無回答	1	0	0	0	1	2.3	0.0	0.0	0.0	1.8

問23.避難のきっかけ(その他の内容)

<山陽小野田市埴生地区>

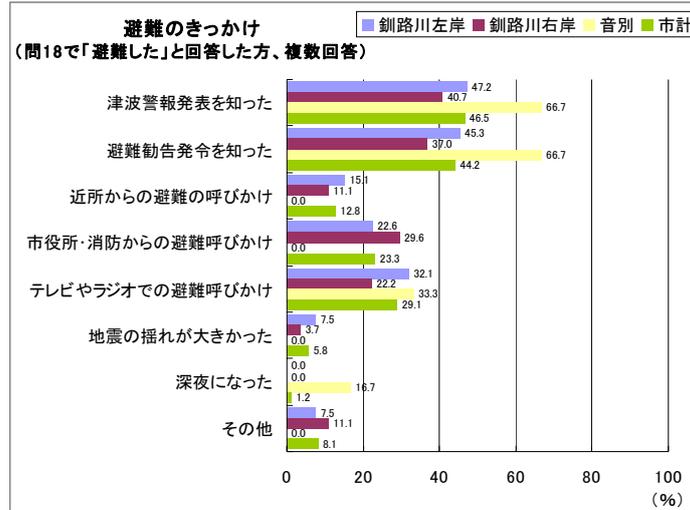
同居している義母が風雨をおそれ体育館内では全く外部の音が聞こえないため安心して早めに避難する
実家からTELがあった
平成11年の台風の時高潮により被害を受けたので
毎回避難しているから

問23.避難のきっかけ(その他の内容)

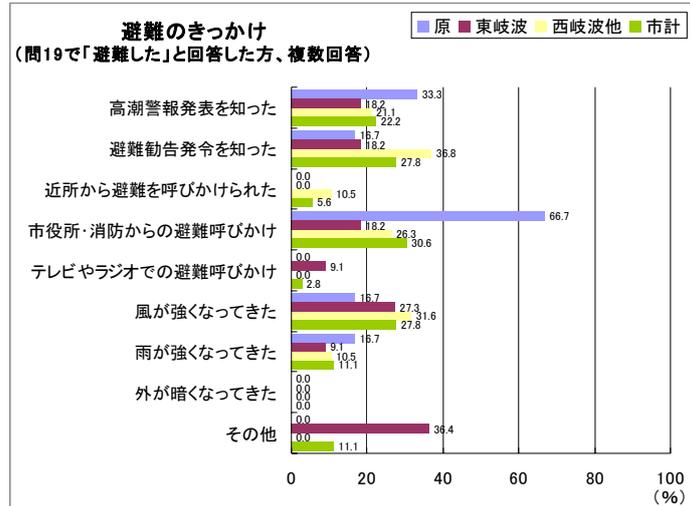
<山陽小野田市梶地区>

いつも台風接近の場合、避難ができるようしており、民生委員さんからTELがあったり、自分で相談しに行ったりしている
--

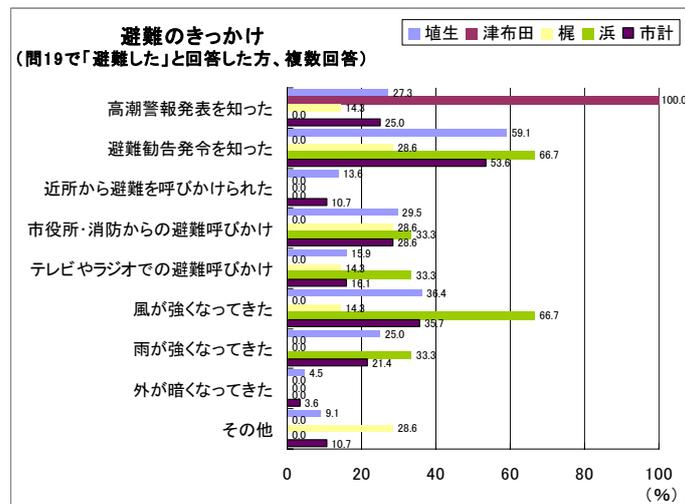
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 避難しない理由

○釧路市

釧路市では、「大きな津波にならないと思った」が 61.8%と最も割合が高く、次いで、「テレビで様子を見ていた」が 57.8%となっている。

地区別では、釧路川右岸は、「テレビで様子を見ていた」が 65.7%と最も割合が高い。釧路川左岸は、市計と同様に「大きな津波にならないと思った」が 65.9%と最も割合が高い。音別は、「近所の人が誰も避難していなかった」が 37.5%と最も割合が高い。地区により避難しない理由は、異なっている。

○宇部市

宇部市では、「高潮にはならないと思った」が 54.2%と最も割合が高く、次いで、「テレビで様子を見ていた」が 42.7%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「高潮にはならないと思った」が 49.0%、46.5%、59.9%と最も割合が高い。地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「高潮にはならないと思った」が 52.4%と最も割合が高く、次いで、「テレビで様子を見ていた」が 37.3%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「高潮にはならないと思った」が 52.6%、44.7%、52.9%、61.1%と最も割合が高い。地区により避難しない理由は、やや異なっている。

釧路市

問23 避難しない理由(問18で「避難しなかった」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 大きな津波にはならないと思った	41	83	2	126	58.6	65.9	25.0	61.8
2 自力での避難が無理だった	1	4	1	6	1.4	3.2	12.5	2.9
3 近所が誰も避難していなかった	23	31	3	57	32.9	24.6	37.5	27.9
4 避難する場所がわからなかった	2	13	0	15	2.9	10.3	0.0	7.4
5 テレビで様子を見ていた	46	71	1	118	65.7	56.3	12.5	57.8
6 車などの避難する足がなかった	2	3	0	5	2.9	2.4	0.0	2.5
7 体が不自由な家族がいる	2	6	0	8	2.9	4.8	0.0	3.9
8 避難するのは危険だと思った	1	0	1	2	1.4	0.0	12.5	1.0
9 その他	12	10	1	23	17.1	7.9	12.5	11.3
N=204 総計	130	221	9	360	185.7	175.4	112.5	176.5
無回答	2	7	2	11	2.9	5.6	25.0	5.4

問23. 避難しなかった理由(その他の内容)
 <釧路市釧路川左岸地区>

避難先で何時間も過ごすのが大変だから
7階建マンションの7階に住居、ここまで水が来ないと思った。
多少高い位置にあるため
小さい子供を連れて出るのが大変だった。
7階に住んでいるので外に出たら危ないと思ったので。
自宅がマンション4階なので、ここまで水が来るとは思えないし避難のため下に降りる方が危険だと思った。
27年十勝沖、35年チリ地震の時あの大津波が防波堤で見事に防げたから。
仕事中であり職場内の勤務であった為
向かいのホテルが避難場所自分の住居が10Fなので。
今までより津波が来ると感じる地震ではなかった。
家族の者が避難しないと自分が1人避難することもないと考えた為、自分だけ生き延びても仕方ないと思った。
S27年3月十勝沖経験から
方がいらのときは2階に行く

問23. 避難しなかった理由(その他の内容)
 <釧路市釧路川右岸地区>

仕事があったから
勤務中だったから
千島列島沖地震しなかった
海岸から離れた実家にいた。(自宅にいなかった)
仕事中だったので
釧路に当時いなかった
避難する必要があると思った。(マンション7階まで波が至らず。又、建物の崩壊に至らないと思った。)
内地に行っていた
不在
自宅が鉄筋3Fである。避難所が極めて近いため

問23. 避難しなかった理由(その他の内容)
 <釧路市音別地区>

職務として対策本部に向いた

宇部市

問24 避難しない理由(問19で「避難しなかった」と回答した方、複数回答)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 高潮にはならないと思った	48	33	112	194	49.0	46.5	59.9	53.9
2 自力での避難が無理だった	2	1	7	11	2.0	1.4	3.7	3.1
3 近所が誰も避難していなかった	30	17	58	106	30.6	23.9	31.0	29.4
4 避難する場所がわからなかった	4	1	6	11	4.1	1.4	3.2	3.1
5 テレビで様子を見ていた	45	26	81	153	45.9	36.6	43.3	42.5
6 車などの避難する足がなかった	3	1	9	13	3.1	1.4	4.8	3.6
7 体が不自由な家族がいる	5	2	6	13	5.1	2.8	3.2	3.6
8 風雨の中の避難は危険だと思った	8	17	32	57	8.2	23.9	17.1	15.8
9 その他	15	13	21	50	15.3	18.3	11.2	13.9
N=360 総計	160	111	332	608	163.3	156.3	177.5	168.9
無回答	6	1	3	10	6.1	1.4	1.6	2.8

問24.避難しなかった理由(その他の内容)

<宇部市原地区>

大雨での浸水はないと思ったから
民生委員をしているので市から情報が入ってきますので、又虚弱高齢者身体障害者の方には現在状態を伝えております、いつでも行動できるように家で待機しております。又手伝いしてもらえう方をお願いしております。
区域が違うため関係なかった
ペット(鳥2羽・猫1匹)を置いて避難するには相当のかくごがいる。ペットを家に置いて避難できない。
あふない時避難の体力があるから
避難することは無。17年の水害の時新聞作方面へ流れている
自宅にいなかった
雨風が今までより大したことがないような気がした為
避難場所まで距離が長い
体が不自由な者と知的障害者がいるのでふつうの避難先では困難
必要がないと思ったから
近所の方と話し合い、もっと強くなったらと呼びかけあっていました。
近所の人で目が不自由な人がいるため夜はむずかしい。
別にいいと思ったから

問24.避難しなかった理由(その他の内容)

<宇部市東岐波地区>

避難場所より自宅の方が安全・過去(10年位前)の状況を近所の方より聞いていたので大丈夫と考えていた・過去(同下)の災害時と状況が変わっているのに被害地域というだけで避難勧告が頻発しているのを不審に思っているから
家が高台にあるため
職場に行っていた。職場の方が海岸の近くで様子が分かる。
今まで高潮の被害に遭わなかったから。周辺より高い場所に居るから。
避難場所は自宅より海に近く、しかも低いところにあるためより危険と思う。
風なんか吹いていない。普通に外で仕事した。
家が高台にあるため避難の必要ない
石垣の上であって大丈夫と思いました。
高所のため
自宅は地域で一番高いところにあるので、高潮で浸水の危険性は全くない場所にあるから(今までもこれかも)
長年の経験で
満潮時の潮位を確認しながら自宅にいた
避難すると不自由。場所も狭い。

問24.避難しなかった理由(その他の内容)

<宇部市西岐波他地区>

実家の方に帰っていたので
動物が二匹いるのでおいては行けない
毎回避難するが何もいから今回は様子を見た。
今までの経験で床下浸水程度と思った。
満潮時間に塩が来た近く迄行くも前回より遠かったので
2階にいれば安全と思った。
自宅近くの用水路が工事されて以降、浸水の被害がないから。
台風が満潮時と少しずれたから
商売をしているので水が来た時に、次の日の納品の品物を安全に確保しなくては行けなかった。
平成11年台風18号による浸水被害の経験から家の減災を優先して対策を講じながら、命の危険を感じたら2階にあがってしのぐということである。ことに家内と話し合っている。
誰ではないが、避難する人が少なかったから
少し高台の為、高潮の危険は無いと思ってた。
今年の台風は例年に比べてかなり勢力が弱く感じられた
自動車ですぐで回っているが、皆戸を開けているので道の隣の人しか聞こえない。自治会→各班→そしておとなり・・・といった方が良いのでは
高潮なんて全然思いもつかなかった
海からはなれてますし、高潮の被害を知らないから
以前の台風の時海水で1階全滅状態になり困りましたが、その後防波堤等の補強工事されて今では海水が入ることはないと思います。
避難する必要はないと思ったから
もともと帰省する予定だったので不在中だった

問24.避難しなかった理由(その他の内容)

<宇部市地区不問>

ペットがいるから。2階もあるので。

山陽小野田市

問24 避難しない理由(問19で「避難しなかった」と回答した方、複数回答)

	実数					構成比(%)				
	西部	中西部	中東部	東部	市計	西部	中西部	中東部	東部	市計
1 高潮にはならないと思った	70	21	9	22	122	52.6	44.7	52.9	61.1	52.4
2 自力での避難が無理だった	4	0	0	1	5	3.0	0.0	0.0	2.8	2.1
3 近所の人が誰も避難していなかった	33	15	4	13	65	24.8	31.9	23.5	36.1	27.9
4 避難する場所がわからなかった	2	0	1	0	3	1.5	0.0	5.9	0.0	1.3
5 テレビで様子を見ていた	49	14	7	17	87	36.8	29.8	41.2	47.2	37.3
6 車などの避難する足がなかった	5	1	0	3	9	3.8	2.1	0.0	8.3	3.9
7 体が不自由な家族がいる	6	3	2	4	15	4.5	6.4	11.8	11.1	6.4
8 風雨の中を避難するのは危険と思った	32	9	4	9	54	24.1	19.1	23.5	25.0	23.2
9 その他	17	17	3	4	41	12.8	36.2	17.6	11.1	17.6
N=233 総計	218	80	30	73	401	163.9	170.2	176.5	202.8	172.1
無回答	3	1	0	1	5	2.3	2.1	0.0	2.8	2.1

問24 避難しなかった理由(その他の内容)

＜山陽小野田市植生地区＞

アパートにいる方が安全だと思ったから、外出するには外は雨風がひどかったため。
トイレ等の設備が不十分だから
暗い中の避難はかえって危険だと思った。
家に都合の悪い者がおりホテルでもと思いましたが、近所の方がこの度は台風がそれとも言われませんでしたので、主人が毎たび避難するのを嫌がり困ります。
高潮が来る状態が知りたかったから
水がこないから
台風時の雨の量や家より海状況が見えるので、様子を伺いながら
避難するところが遠いのでコイの前で前の台風の時も潮につかったけど自宅の2階に上ってフ
我が家は丘の上であり、海岸から600m離れている為
私の住んでいる所は高い場所なので
避難しなくても大丈夫だと思ったのと、避難したくないが本心
水が恐いから2階へ上がってれば大丈夫と思ったから
高潮なると思ったが我が家は大丈夫だと思った

問24 避難しなかった理由(その他の内容)

＜山陽小野田市津布田地区＞

高いところなので高潮より風の方を心配した
避難場所が自分の家より遠いため(高潮には十分気になり自分の目で見た)車で移動するにしても途中何があるか分かりません。老人二人なので困ります。
自分の家は大丈夫と思った
家族がバラバラになるのがよくないと思ったから
避難の必要を感じなかったから
家が高所にあるから
指定避難場所と安全性は同等だから
避難勧告がすぐに解除されたから
市役所より避難勧告の通知有り。ただちに自治会長として班長に通知をした。その後、海の状態を見に行った。波は過去の台風に比べて小波だった。しかし、満潮と重なったのか潮位は高かった。その後避難場所津布田小学校に行った。当自治会の方はおられなかった。しかし他の自治会の方が2名現在避難されていると市役所職員より聞いた。帰宅時間は21時だった。
避難場所が遠いと思った
高台のため必要ない
高い所に家があるから
高台に家があるのに、高潮の影響はないので
高潮になっても家には被害はないと思ったから

問24 避難しなかった理由(その他の内容)

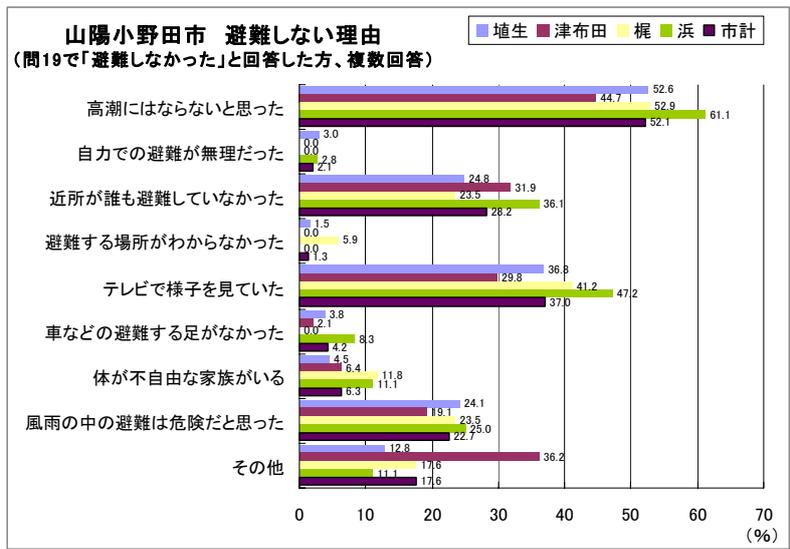
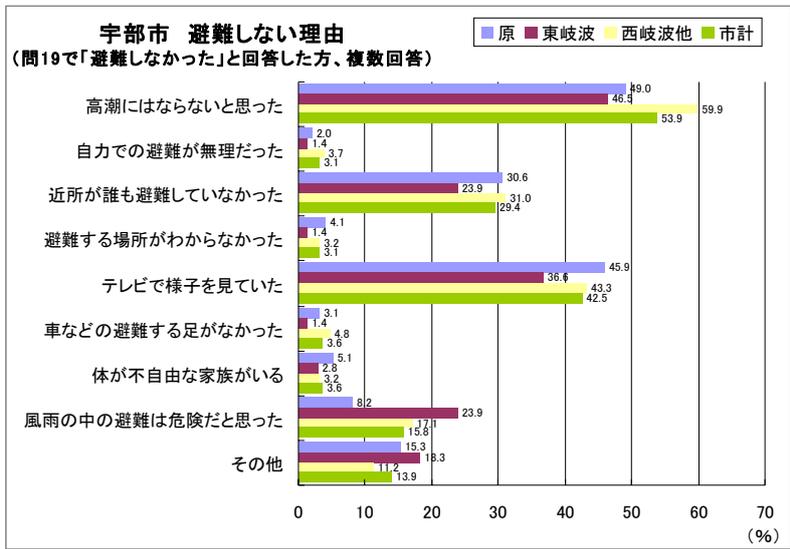
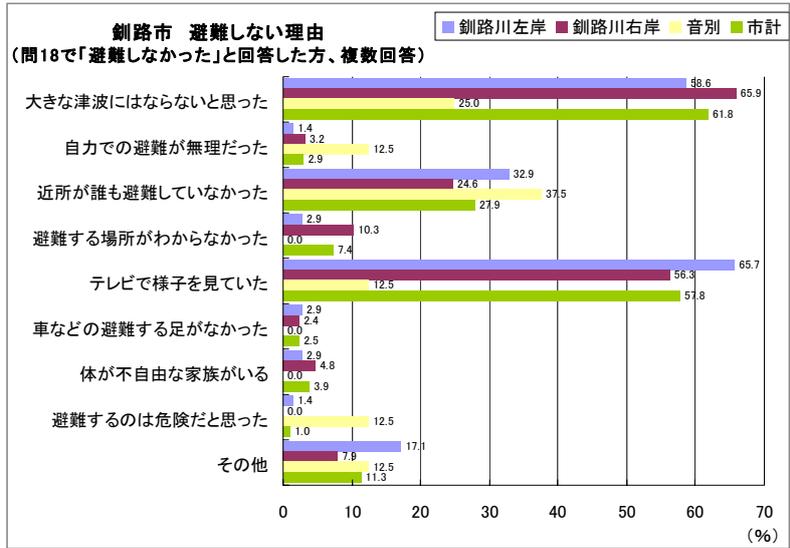
＜山陽小野田市梶地区＞

家は高い所にあるから
家が高い所にあるから
家が高台にあるので高潮が来ると思わなかったし、今までに来たことがないから

問24 避難しなかった理由(その他の内容)

＜山陽小野田市浜地区＞

市役所の呼びかけは大きい道は車が通るが我が家の前の道は通らないので呼びかけは聞こえなかった
勤務中・勤務先で安全対策ひなんして来る人の世話をしなくてはならなかった。
避難場所が遠いです
避難する場所が整備されていない。テレビ、ラジオなし。(板床の上では眠れない。情報等、家の方がとれる)



2.2.4.7 避難の呼びかけ合い

(1) 避難を呼びかけられたか？

○ 釧路市

釧路市では、「近所から避難を呼びかけられた」人が 9.6%を占めている。

地区別に見ると、釧路川右岸で「近所から避難を呼びかけられなかった」人が比較的多い。

○ 宇部市

宇部市では、「近所から避難を呼びかけられた」が 16.6%を占めている。

地区間の相違は大きくないが、東岐波で「近所から避難を呼びかけられた」が 21.4%と比較的高い。

○ 山陽小野田市

山陽小野田市では、「近所から避難を呼びかけられた」が 24.2%を占めている。

地区別では、埴生で「近所から避難を呼びかけられた」人の割合が高い。

釧路市

問24 避難を呼びかけられたか

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 近所から避難を呼びかけられた	16	10	3	29	12.5	6.3	20.0	9.6
2 近所から避難を呼びかけられず	73	108	8	189	57.0	68.4	53.3	62.8
※ 無回答	39	40	4	83	30.5	25.3	26.7	27.6
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問25 避難を呼びかけられたか

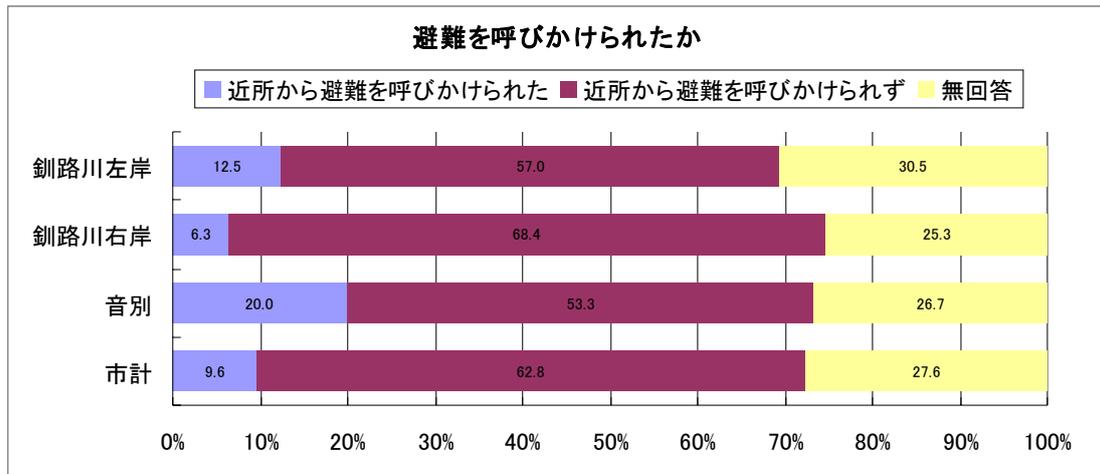
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 近所から避難を呼びかけられた	16	18	32	66	15.4	21.4	15.5	16.6
2 近所から避難を呼びかけられず	58	43	122	227	55.8	51.2	59.2	57.0
※ 無回答	30	23	52	105	28.8	27.4	25.2	26.4
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

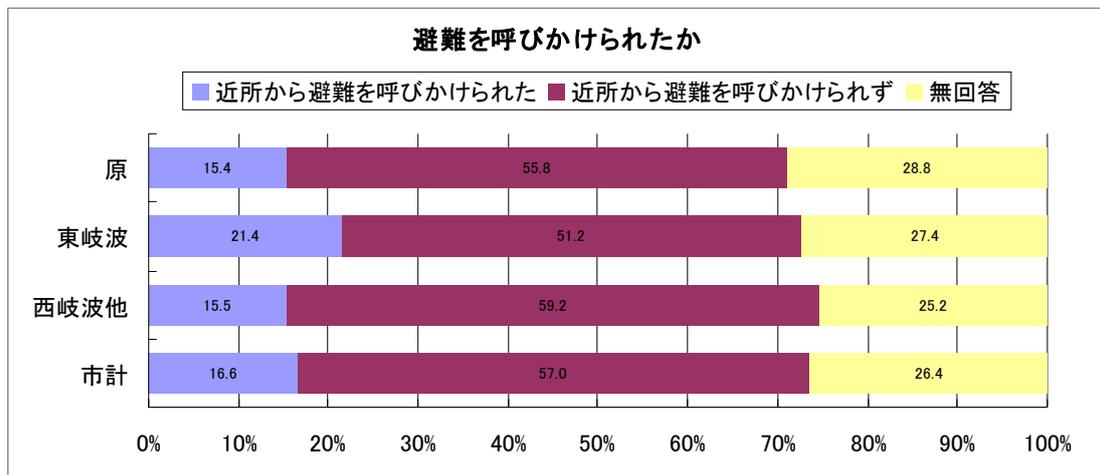
問25 避難を呼びかけられたか

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 近所の人から避難を呼びかけられた	58	5	4	4	72	32.6	10.2	16.7	9.8	24.2
2 近所の人から避難を呼びかけられなかった	76	25	13	23	140	42.7	51.0	54.2	56.1	47.0
※ 無回答	44	19	7	14	86	24.7	38.8	29.2	34.1	28.9
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

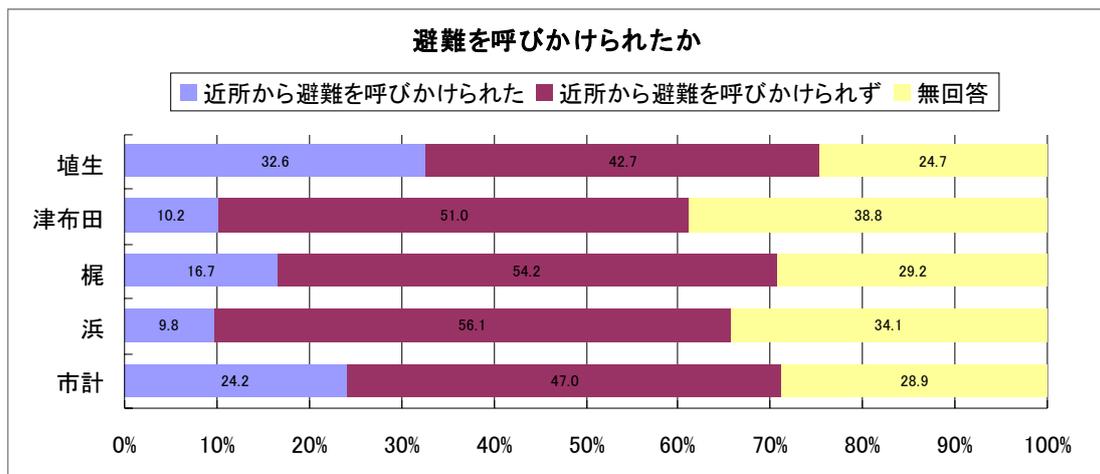
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 避難を呼びかけたかどうか？

○釧路市

釧路市では、「近所の人に避難を呼びかけた」が 10.0%を占めている。

地区別では、釧路川右岸より釧路川左岸の方が、「近所の人に避難を呼びかけた」人の割合が若干高い。

○宇部市

宇部市では、「近所の人に避難を呼びかけた」が 12.8%を占めている。釧路市とは異なり、前述の「近所から避難を呼びかけられた」人の割合より小さくなっている。

地区間の差異は小さい。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「近所の人に避難を呼びかけた」が 20.5%を占めている。

地区別では、埴生で「近所から避難を呼びかけた」が 28.7%と高くなっている。

釧路市

問25 避難を呼びかけたか

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 避難を呼びかけた	15	11	4	30	11.7	7.0	26.7	10.0
2 避難を呼びかけなかった	99	132	7	238	77.3	83.5	46.7	79.1
※ 無回答	14	15	4	33	10.9	9.5	26.7	11.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問26 避難を呼びかけたか

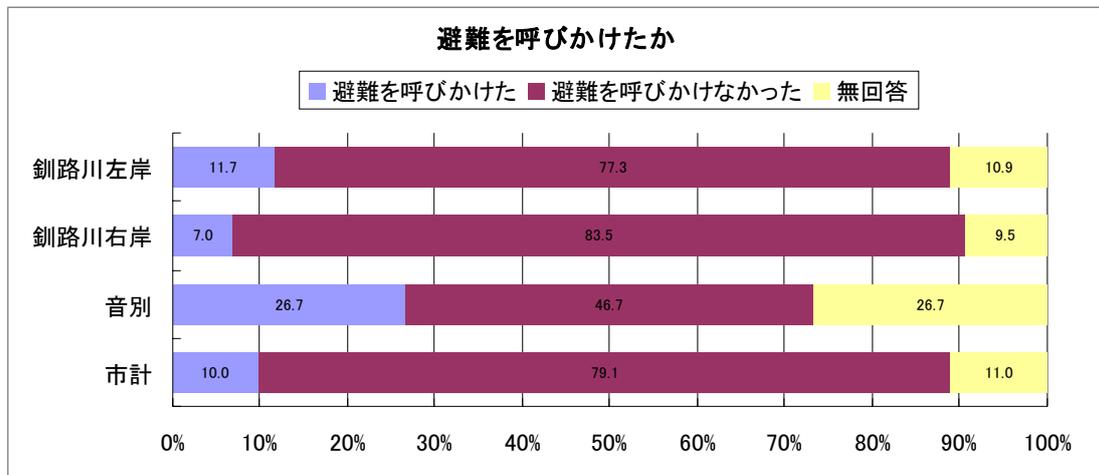
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 避難を呼びかけた	16	12	23	51	15.4	14.3	11.2	12.8
2 避難を呼びかけなかった	80	64	175	323	76.9	76.2	85.0	81.2
※ 無回答	8	8	8	24	7.7	9.5	3.9	6.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

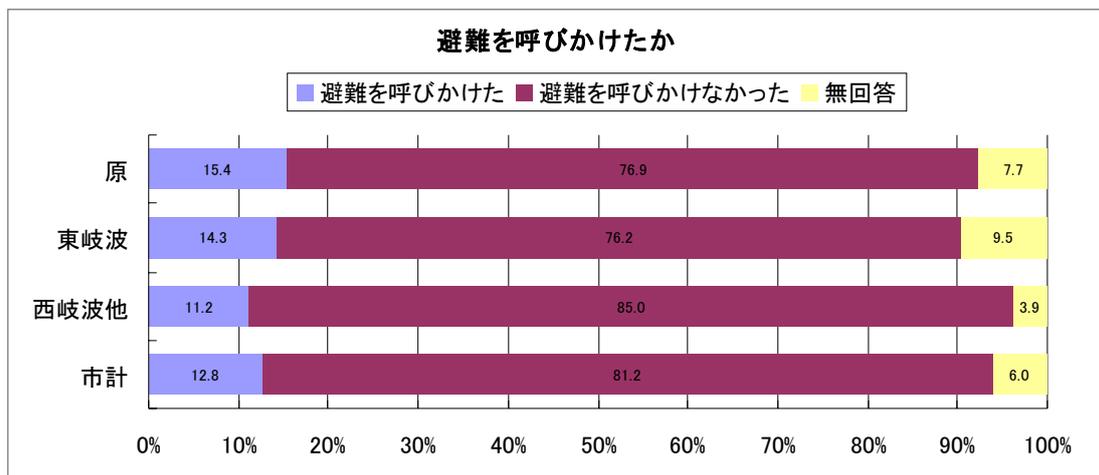
問26 避難を呼びかけたか

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 近所の人に避難を呼びかけた	51	4	3	2	61	28.7	8.2	12.5	4.9	20.5
2 近所の人に避難を呼びかけなかった	119	42	18	36	219	66.9	85.7	75.0	87.8	73.5
※ 無回答	8	3	3	3	18	4.5	6.1	12.5	7.3	6.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

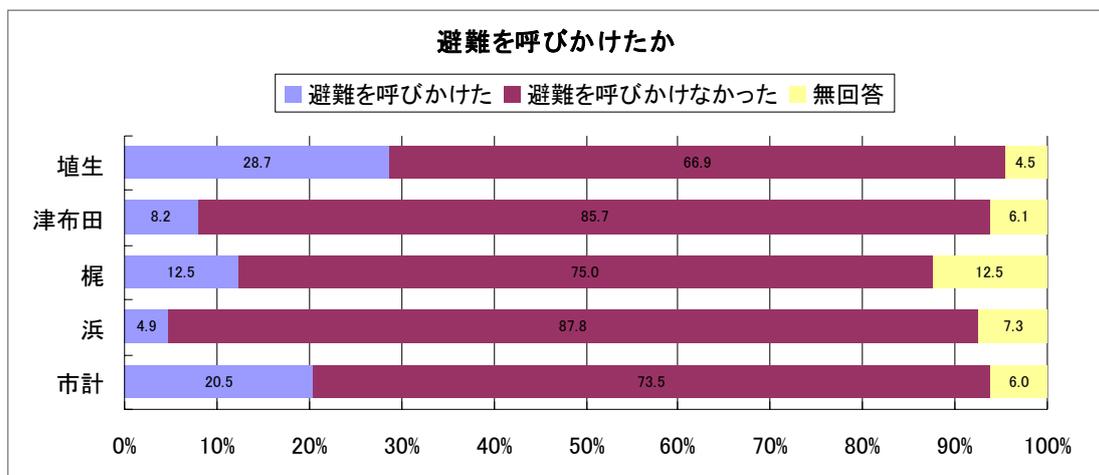
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.4.8 被災経験・避難経験

(1) 津波・高潮の被災経験

○釧路市

釧路市では、「津波の被害を受けたことがない」が74.1%と最も割合が高く、次いで、「昭和27年の十勝沖地震の津波で被害を受けた」が5.3%、「昭和35年のチリ地震の津波で被害を受けた」が5.0%となっている。

地区間で大きな違いはないが、釧路川右岸で「昭和27年の十勝沖地震の津波で被害を受けた」人の割合が若干高い。

○宇部市

宇部市では、「平成11年の台風18号の高潮で被害を受けた」が41.1%と最も割合が高く、次いで、「高潮の被害を受けたことがない」が39.1%、「昭和17年の周防灘台風の高潮で被害を受けた」が15.3%となっている。

地区別では、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「平成11年の台風18号の高潮で被害を受けた」が51.2%、51.9%と最も割合が高い。原は、「高潮の被害を受けたことがない」が60.6%と高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「平成11年の台風18号の高潮で被害を受けた」が58.1%と最も割合が高く、次いで、「高潮の被害を受けたことがない」が30.9%、「昭和17年の周防灘台風の高潮で被害を受けた」が16.8%となっている。

地区別では、埴生、梶は、市計と同様に「平成11年の台風18号の高潮で被害を受けた」が72.5%、70.8%と最も割合が高い。津布田、浜は、「高潮の被害を受けたことがない」が69.4%、46.3%と高い。

釧路市

問26 津波被災経験(複数回答)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 津波の被害を受けたことはない	95	117	11	223	74.2	74.1	73.3	74.1
2 昭和27年の十勝沖地震	5	11	0	16	3.9	7.0	0.0	5.3
3 昭和35年のチリ地震	7	8	0	15	5.5	5.1	0.0	5.0
4 昭和43年の十勝沖地震	2	3	0	5	1.6	1.9	0.0	1.7
5 平成5年の釧路沖地震	4	4	1	9	3.1	2.5	6.7	3.0
6 平成6年の北海道東方沖地震	2	3	1	6	1.6	1.9	6.7	2.0
7 平成15年の十勝沖地震	4	3	1	8	3.1	1.9	6.7	2.7
8 上記以外の津波で被害	0	1	0	1	0.0	0.6	0.0	0.3
N=301 総計	119	150	14	283	93.0	94.9	93.3	94.0
無回答	16	21	3	40	12.5	13.3	20.0	13.3

問26-1 いつ頃の台風の高潮で被害を受けたか
(問26で「8」と回答した方)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
48 昭和48年	0	1	0	1	100.0	-	-	100.0
N=1 総計	0	1	0	1	100.0	-	-	100.0

宇部市

問27 高潮被災経験(複数回答)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 高潮の被害を受けたことはない	63	27	64	156	60.6	32.1	31.1	39.2
2 昭和17年の周防灘台風	14	13	33	61	13.5	15.5	16.0	15.3
3 平成11年の台風18号	12	43	107	164	11.5	51.2	51.9	41.2
4 平成17年の台風14号	1	9	7	17	1.0	10.7	3.4	4.3
5 平成18年の台風13号	0	7	4	11	0.0	8.3	1.9	2.8
6 上記以外の高潮で被害	6	5	10	21	5.8	6.0	4.9	5.3
N=398 総計	96	104	225	430	92.3	123.8	109.2	108.0
無回答	15	3	13	31	14.4	3.6	6.3	7.8

問27-1 いつ頃の台風の高潮で被害を受けたか(問27で「6」と回答した方)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
19 昭和19年	1	0	0	1	16.7	0.0	0.0	4.8
53 昭和53年	0	0	1	1	0.0	0.0	10.0	4.8
54 昭和54年	0	0	1	1	0.0	0.0	10.0	4.8
62 昭和62年	0	0	1	1	0.0	0.0	10.0	4.8
2 平成2年	0	1	0	1	0.0	20.0	0.0	4.8
3 平成3年	0	0	1	1	0.0	0.0	10.0	4.8
6 平成6年	0	0	1	1	0.0	0.0	10.0	4.8
7 平成7年	0	1	0	1	0.0	20.0	0.0	4.8
8 平成8年	1	0	0	1	16.7	0.0	0.0	4.8
9 平成9年	1	0	0	1	16.7	0.0	0.0	4.8
10 平成10年	0	1	2	3	0.0	20.0	20.0	14.3
11 平成11年	1	1	1	3	16.7	20.0	10.0	14.3
12 平成12年	0	0	1	1	0.0	0.0	10.0	4.8
13 平成13年	1	0	0	1	16.7	0.0	0.0	4.8
14 平成14年	0	1	0	1	0.0	20.0	0.0	4.8
無回答	1	0	1	2	16.7	0.0	10.0	9.5
N=21 総計	6	5	10	21	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

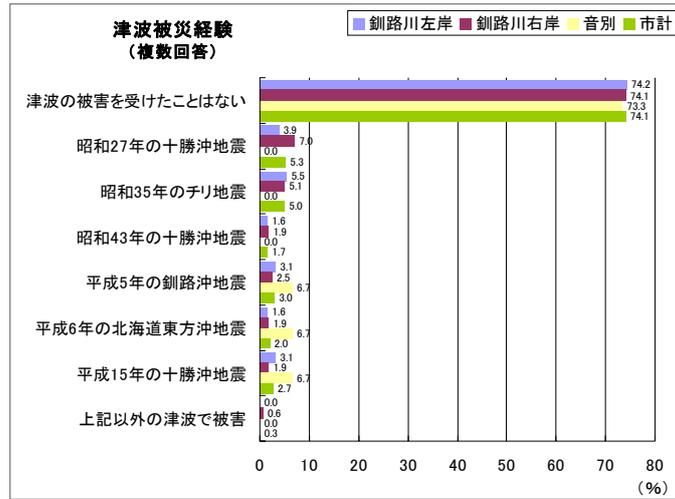
問27 高潮被災経験(複数回答)

	実数					構成比(%)				
	殖生	津布田	梶	浜	市計	殖生	津布田	梶	浜	市計
1 高潮の被害を受けたことはない	34	34	4	19	92	19.1	69.4	16.7	46.3	30.9
2 昭和17年の周防灘台風の高潮で被害を受けた	34	2	4	6	50	19.1	4.1	16.7	14.6	16.8
3 平成11年の台風18号の高潮で被害を受けた	129	9	17	15	173	72.5	18.4	70.8	36.6	58.1
4 平成17年の台風14号の高潮で被害を受けた	16	1	0	5	22	9.0	2.0	0.0	12.2	7.4
5 平成18年の台風13号の高潮で被害を受けた	4	1	0	1	6	2.2	2.0	0.0	2.4	2.0
6 上記以外の高潮で被害を受けた	5	1	1	8	15	2.8	2.0	4.2	19.5	5.0
N=298 総計	222	48	26	54	358	124.7	98.0	108.3	131.7	120.1
無回答	7	4	1	2	14	3.9	8.2	4.2	4.9	4.7

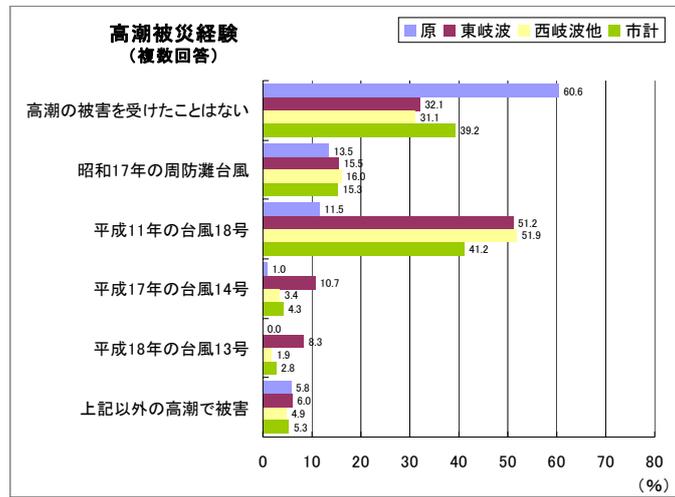
問27-1 いつ頃の台風の高潮で被害を受けたか(問27で「6」と回答した方)

	実数					構成比(%)				
	殖生	津布田	梶	浜	市計	殖生	津布田	梶	浜	市計
28 昭和28年	1	0	0	0	1	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
40 昭和40年	0	0	0	1	1	0.0	0.0	0.0	12.5	6.7
1 平成1年	1	0	0	0	1	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
3 平成3年	0	0	0	2	2	0.0	0.0	0.0	25.0	13.3
8 平成8年	0	0	1	0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	6.7
11 平成11年	1	0	0	0	1	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
12 平成12年	1	0	0	0	1	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
16 平成16年	1	0	0	0	1	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
17 平成17年	0	1	0	0	1	0.0	100.0	0.0	0.0	6.7
無回答	0	0	0	5	5	0.0	0.0	0.0	62.5	33.3
N=15 総計	5	1	1	8	15	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

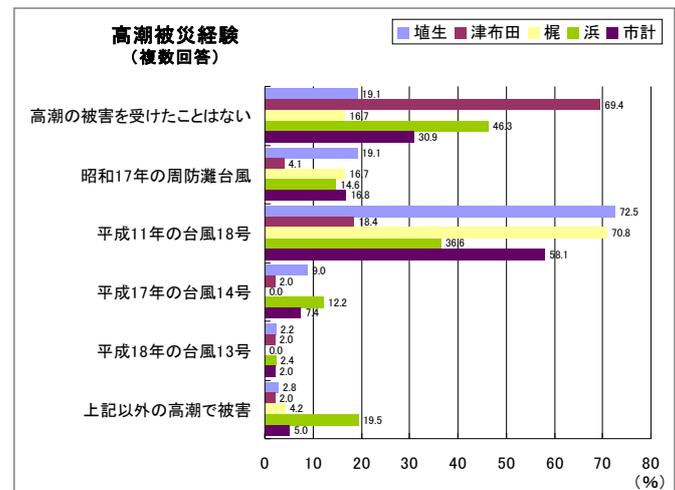
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 対象災害以外の被災経験

○釧路市

釧路市では、「津波以外の被害を受けたことがない」が 40.9%と最も割合が高く、次いで、「地震の揺れで被害を受けた」が 27.6%となっている。

地区別では、釧路川左岸で「津波以外の被害を受けたことがない」人の割合が、音別で「地震の揺れで被害を受けた」人の割合が比較的高い。

「大雨の浸水被害を受けた」年については、釧路川右岸と釧路川左岸より「昭和 20 年」、「平成 5 年」、「平成 13 年」が各 1～2 票あった。

「洪水による被害を受けた」年については、釧路川右岸と釧路川左岸より「昭和 37 年」、「昭和 56 年」、「平成 6 年」が各 1 票あった。

「山崩れによる被害を受けた」年については、釧路川左岸と音別地区より「昭和 39 年」、「平成 6 年」が各 1 票あった。

「地震による被害を受けた」年については、釧路沖地震が発生した「平成 5 年」が 22 票、十勝沖地震が発生した「平成 15 年」が 17 票、北海道東方沖地震が発生した「平成 6 年」が 16 票の回答があった。

「高潮による被害を受けた」年については、釧路川右岸と釧路川左岸より「昭和 48 年」、「平成 5 年」が各 1 票あった。

○宇部市

宇部市では、「高潮以外の被害を受けたことがない」が 53.3%と最も割合が高く、次いで、「大雨で浸水被害を受けた」が 15.7%、「川があふれて浸水被害を受けた」が 12.8%となっている。

地区別に見ると、原で「大雨で浸水被害を受けた」が、東岐波で「高潮以外の被害を受けたことがない」が比較的多い。

「大雨の浸水被害を受けた」年については、「平成 11 年」8 票などの回答があった。

「川があふれて浸水被害を受けた」年については、「平成 11 年」9 票などの回答があった。

「地震による被害を受けた」年については、「昭和 55 年」、「平成 4 年」、「平成 10 年」、「平成 12 年」が各 1 票の回答があった。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「高潮以外の被害を受けたことがない」が 59.7%と最も割合が高く、次いで、「大雨で浸水被害を受けた」が 6.4%となっている。

地区別に見ると、「川があふれて浸水被害を受けた」という回答は埴生のみであり、「山崩れによる被害を受けた」という回答は津布田で比較的多かった。

「大雨の浸水被害を受けた」年については、「平成 11 年」3 票、「昭和 43 年」と「平成 7 年」が 2 票などの回答があった。

「川があふれて浸水被害を受けた」年については、「平成 11 年」4 票などの回答があった。

鉏路市

問27 その他の被災経験(複数回答)

	実数				構成比(%)			
	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計
1 津波以外の被害を受けたことなし	60	60	3	123	46.9	38.0	20.0	40.9
2 大雨で浸水被害を受けた	4	2	0	6	3.1	1.3	0.0	2.0
3 川があふれて浸水被害を受けた	1	2	1	4	0.8	1.3	6.7	1.3
4 山崩れで被害を受けた	0	3	0	3	0.0	1.9	0.0	1.0
5 地震の揺れで被害を受けた	29	46	8	83	22.7	29.1	53.3	27.6
6 津波で被害を受けた	1	1	0	2	0.8	0.6	0.0	0.7
N=301 総計	95	114	12	221	74.2	72.2	80.0	73.4
無回答	36	49	3	88	28.1	31.0	20.0	29.2

問27-1 いつ頃(大雨)

	実数				構成比(%)			
	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計
20 昭和20年	1	0	0	1	25.0	0.0	-	16.7
5 平成5年	1	1	0	2	25.0	50.0	-	33.3
13 平成13年	1	0	0	1	25.0	0.0	-	16.7
無回答	1	1	0	2	25.0	50.0	-	33.3
N=6 総計	4	2	0	6	100.0	100.0	-	100.0

問27-2 いつ頃(氾濫)

	実数				構成比(%)			
	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計
37 昭和37年	0	1	0	1	0.0	50.0	0.0	25.0
56 昭和56年	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	25.0
無回答	0	1	1	2	0.0	50.0	100.0	50.0
N=4 総計	1	2	1	4	100.0	100.0	100.0	100.0

問27-3 いつ頃(山崩)

	実数				構成比(%)			
	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計
39 平成39年	0	1	0	1	-	33.3	-	33.3
無回答	0	2	0	2	-	66.7	-	66.7
N=3 総計	0	3	0	3	-	100.0	-	100.0

問27-4 いつ頃(地震)

	実数				構成比(%)			
	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計
27 昭和27年	2	2	0	4	6.9	4.3	0.0	4.8
35 昭和35年	1	0	0	1	3.4	0.0	0.0	1.2
2 平成2年	0	1	0	1	0.0	2.2	0.0	1.2
5 平成5年	9	12	1	22	31.0	26.1	12.5	26.5
6 平成6年	4	12	0	16	13.8	26.1	0.0	19.3
7 平成7年	0	1	0	1	0.0	2.2	0.0	1.2
8 平成8年	0	1	0	1	0.0	2.2	0.0	1.2
10 平成10年	0	1	0	1	0.0	2.2	0.0	1.2
14 平成14年	1	0	0	1	3.4	0.0	0.0	1.2
15 平成15年	6	7	4	17	20.7	15.2	50.0	20.5
16 平成16年	0	1	0	1	0.0	2.2	0.0	1.2
無回答	6	8	3	17	20.7	17.4	37.5	20.5
N=83 総計	29	46	8	83	100.0	100.0	100.0	100.0

問27-5 いつ頃(津波)

	実数				構成比(%)			
	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計	鉏路川左岸	鉏路川右岸	音別	市計
48 昭和48年	0	1	0	1	0.0	100.0	-	50.0
5 平成5年	1	0	0	1	100.0	0.0	-	50.0
無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	-	0.0
N=2 総計	1	1	0	2	100.0	100.0	-	100.0

宇部市

問28 その他の被災経験(複数回答)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 高潮以外の被害を受けたことなし	38	55	117	212	36.5	65.5	56.8	53.3
2 大雨で浸水被害を受けた	29	5	28	63	27.9	6.0	13.6	15.8
3 川があふれて浸水被害を受けた	16	6	28	51	15.4	7.1	13.6	12.8
4 山崩れで被害を受けた	0	1	0	1	0.0	1.2	0.0	0.3
5 地震の揺れで被害を受けた	3	1	0	4	2.9	1.2	0.0	1.0
6 津波で被害を受けた	0	1	1	2	0.0	1.2	0.5	0.5
N=398 総計	86	69	174	333	82.7	82.1	84.5	83.7
無回答	27	18	42	87	26.0	21.4	20.4	21.9

問28-1 いつ頃(大雨)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
25 昭和25年	1	0	0	1	3.4	0.0	0.0	1.6
30 昭和30年	2	0	1	3	6.9	0.0	3.6	4.8
35 昭和35年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	1.6
47 昭和47年	1	0	0	1	3.4	0.0	0.0	1.6
52 昭和52年	1	0	0	1	3.4	0.0	0.0	1.6
53 昭和53年	1	0	1	2	3.4	0.0	3.6	3.2
55 昭和55年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	1.6
63 昭和63年	1	0	0	1	3.4	0.0	0.0	1.6
2 平成2年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	1.6
4 平成4年	2	0	0	2	6.9	0.0	0.0	3.2
7 平成7年	0	1	3	4	0.0	20.0	10.7	6.3
8 平成8年	0	1	2	3	0.0	20.0	7.1	4.8
9 平成9年	3	0	0	3	10.3	0.0	0.0	4.8
10 平成10年	1	0	0	1	3.4	0.0	0.0	1.6
11 平成11年	2	1	5	8	6.9	20.0	17.9	12.7
14 平成14年	0	1	0	1	0.0	20.0	0.0	1.6
無回答	14	1	13	29	48.3	20.0	46.4	46.0
N=63 総計	29	5	28	63	100.0	100.0	100.0	100.0

問28-2 いつ頃(氾濫)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
S17 昭和17年	0	1	1	2	0.0	16.7	3.6	3.9
20 昭和20年	2	0	0	2	12.5	0.0	0.0	3.9
30 昭和30年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	2.0
43 昭和43年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	2.0
47 昭和47年	1	0	0	1	6.3	0.0	0.0	2.0
54 昭和54年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	2.0
55 昭和55年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	2.0
62 昭和62年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	2.0
3 平成3年	0	0	1	1	0.0	0.0	3.6	2.0
5 平成5年	2	0	1	3	12.5	0.0	3.6	5.9
7 平成7年	1	1	3	5	6.3	16.7	10.7	9.8
8 平成8年	1	0	1	2	6.3	0.0	3.6	3.9
10 平成10年	0	1	0	1	0.0	16.7	0.0	2.0
11 平成11年	1	1	7	9	6.3	16.7	25.0	17.6
13 平成13年	1	0	0	1	6.3	0.0	0.0	2.0
無回答	7	2	9	19	43.8	33.3	32.1	37.3
N=51 総計	16	6	28	51	100.0	100.0	100.0	100.0

問28-3 いつ頃(山崩)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
無回答	0	1	0	1	0.0	100.0	0.0	100.0
N=1 総計	0	1	0	1	0.0	100.0	0.0	100.0

問28-4 いつ頃(地震)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
55 昭和55年	1	0	0	1	33.3	0.0	0.0	25.0
4 平成4年	1	0	0	1	33.3	0.0	0.0	25.0
10 平成10年	1	0	0	1	33.3	0.0	0.0	25.0
12 平成12年	0	1	0	1	0.0	100.0	0.0	25.0
無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
N=4 総計	3	1	0	4	100.0	100.0	0.0	100.0

問28-5 いつ頃(津波)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
無回答	0	1	1	2	-	100.0	100.0	100.0
N=2 総計	0	1	1	2	-	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

問28 その他の被災経験(複数回答)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 高潮以外の被害を受けたことはない	113	28	14	22	178	63.5	57.1	58.3	53.7	59.7
2 大雨で浸水被害を受けた	11	2	2	3	19	6.2	4.1	8.3	7.3	6.4
3 川があふれて浸水被害を受けた	13	0	0	0	13	7.3	0.0	0.0	0.0	4.4
4 山崩れて被害を受けた	1	4	1	1	8	0.6	8.2	4.2	2.4	2.7
5 地震の揺れで被害を受けた	1	1	0	1	3	0.6	2.0	0.0	2.4	1.0
6 津波で被害を受けた	2	0	1	0	3	1.1	0.0	4.2	0.0	1.0
N=298 総計	141	35	18	27	224	79.2	71.4	75.0	65.9	75.2
無回答	45	14	6	14	79	25.3	28.6	25.0	34.1	26.5

問28-1 いつ頃(大雨)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
23 昭和23年	1	0	0	0	1	9.1	0.0	0.0	0.0	5.3
28 昭和28年	1	0	0	0	1	9.1	0.0	0.0	0.0	5.3
43 昭和43年	0	1	1	0	2	0.0	50.0	50.0	0.0	10.5
7 平成7年	0	0	0	2	2	0.0	0.0	0.0	66.7	10.5
11 平成11年	2	0	0	0	3	18.2	0.0	0.0	0.0	15.8
13 平成13年	0	1	0	0	1	0.0	50.0	0.0	0.0	5.3
14 平成14年	1	0	0	0	1	9.1	0.0	0.0	0.0	5.3
無回答	6	0	1	1	8	54.5	0.0	50.0	33.3	42.1
N=19 総計	11	2	2	3	19	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問28-2 いつ頃(氾濫)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
35 昭和35年	1	0	0	0	1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
11 平成11年	4	0	0	0	4	30.8	0.0	0.0	0.0	30.8
16 平成16年	1	0	0	0	1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
18 平成18年	1	0	0	0	1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
無回答	6	0	0	0	6	46.2	0.0	0.0	0.0	46.2
N=13 総計	13	0	0	0	13	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問28-3 いつ頃(山崩)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
S17 昭和17年	0	0	1	0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	12.5
27 昭和27年	0	1	0	0	1	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5
28 昭和28年	1	2	0	0	3	100.0	50.0	0.0	0.0	37.5
2 平成2年	0	0	0	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
13 平成13年	0	1	0	0	1	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5
無回答	0	0	0	1	1	0.0	0.0	0.0	100.0	12.5
N=8 総計	1	4	1	1	8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

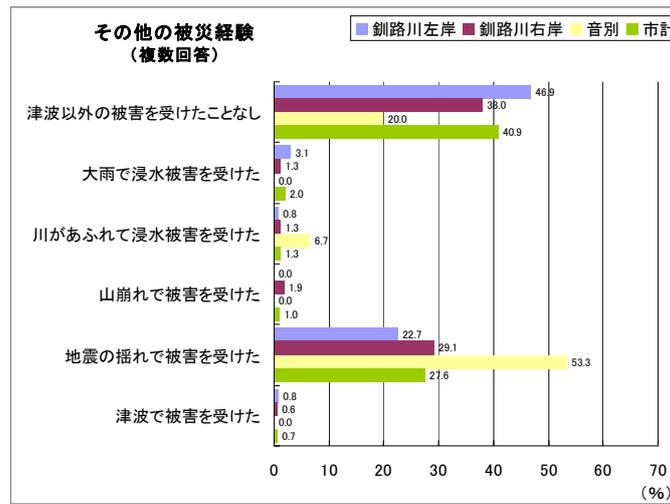
問28-4 いつ頃(地震)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
16 昭和16年	0	1	0	0	1	0.0	100.0	-	0.0	33.3
17 平成17年	1	0	0	0	1	100.0	0.0	-	0.0	33.3
0 無回答	0	0	0	1	1	0.0	0.0	-	100.0	33.3
N=3 総計	1	1	0	1	3	100.0	100.0	-	100.0	100.0

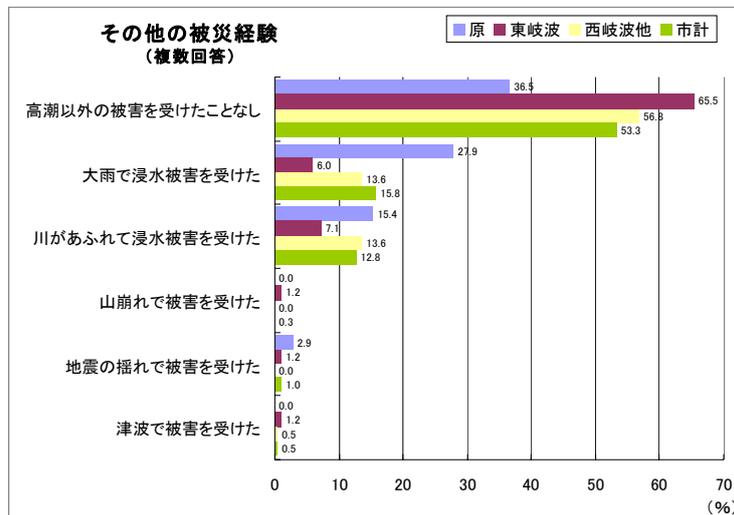
問28-5 いつ頃(津波)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
11 平成11年	0	0	1	0	1	0.0	-	100.0	-	33.3
無回答	2	0	0	0	2	100.0	-	0.0	-	66.7
N=3 総計	2	0	1	0	3	100.0	-	100.0	-	100.0

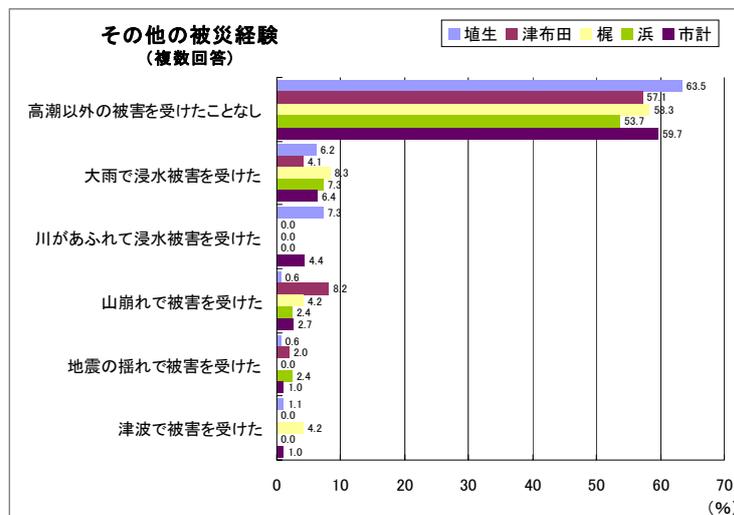
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(3) 津波・高潮の避難経験

○釧路市

釧路市では、「津波では避難したことがない」が 46.5%と最も割合が高く、次いで、「平成 6 年の北海道東方沖地震の津波で避難した」が 17.9%、「平成 15 年の十勝沖地震の津波で避難した」が 12.6%、「平成 5 年の釧路沖地震の津波で避難した」が 12.3%、「昭和 27 年の十勝沖地震の津波で避難した」が 11.0%となっている。

地区別では、釧路川右岸で「津波では避難したことがない」の割合が比較的高い。

○宇部市

宇部市では、「高潮では避難したことがない」が 68.1%と最も割合が高く、次いで、「平成 11 年の台風 18 号」が 9.8%となっている。

地区別では、東岐波において、平成 11 年の台風 18 号、平成 17 年の台風 14 号、平成 18 年の台風 13 号で避難した人の割合が比較的高い

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「高潮では避難したことがない」が 47.3%と最も割合が高く、次いで、「平成 11 年の台風 18 号の高潮で避難した」が 24.2%、「平成 18 年の台風 13 号の高潮で避難した」が 18.1%、「平成 17 年の台風 14 号の高潮で避難した」が 15.1%、「昭和 17 年の周防灘台風の高潮で避難した」が 13.4%となっている。

地区別では、津布田で「高潮では避難したことがない」が比較的高いほか、埴生で平成 11 年の台風 18 号、平成 17 年の台風 14 号、平成 18 年の台風 13 号で避難した人の割合が比較的高い。また、梶では、昭和 17 年の周防灘台風で避難した人の割合が比較的高い。

釧路市

問28 津波避難経験(複数回答)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 津波では避難したことはない	46	89	5	140	35.9	56.3	33.3	46.5
2 昭和27年の十勝沖地震	14	19	0	33	10.9	12.0	0.0	11.0
3 昭和35年のチリ地震	11	7	1	19	8.6	4.4	6.7	6.3
4 昭和43年の十勝沖地震	4	0	2	6	3.1	0.0	13.3	2.0
5 平成5年の十勝沖地震	22	11	4	37	17.2	7.0	26.7	12.3
6 平成6年の北海道東方沖地震	28	21	5	54	21.9	13.3	33.3	17.9
7 平成15年の十勝沖地震	21	11	6	38	16.4	7.0	40.0	12.6
8 上記以外の津波で避難した	6	3	1	10	4.7	1.9	6.7	3.3
N=301 総計	152	161	24	337	118.8	101.9	160.0	112.0
無回答	14	20	1	35	10.9	12.7	6.7	11.6

問28-1 いつ頃の地震か(問28で「8」と回答した方)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
0 昭和0年	0	0	1	1	0.0	0.0	100.0	10.0
18 昭和18年	6	0	0	6	100.0	0.0	0.0	60.0
5 昭和5年	0	1	0	1	0.0	33.3	0.0	10.0
0 無回答	0	2	0	2	0.0	66.7	0.0	20.0
N=10 総計	6	3	1	10	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問29 高潮避難経験(複数回答)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 高潮では避難したことはない	75	50	144	271	72.1	59.5	69.9	68.1
2 昭和17年の周防灘台風	9	5	16	30	8.7	6.0	7.8	7.5
3 平成11年の台風18号	3	14	21	39	2.9	16.7	10.2	9.8
4 平成17年の台風14号	3	13	14	30	2.9	15.5	6.8	7.5
5 平成18年の台風13号	2	9	11	22	1.9	10.7	5.3	5.5
6 上記以外の高潮で避難した	2	2	2	6	1.9	2.4	1.0	1.5
N=398 総計	94	93	208	398	90.4	110.7	101.0	100.0
無回答	13	7	22	42	12.5	8.3	10.7	10.6

問29-1 いつ頃の台風か(問29で「6」と回答した方)

	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
S17 昭和S17年	1	0	0	1	50.0	0.0	0.0	16.7
20 昭和20年	0	1	0	1	0.0	50.0	0.0	16.7
27 昭和27年	0	1	0	1	0.0	50.0	0.0	16.7
30 昭和30年	0	0	1	1	0.0	0.0	50.0	16.7
9 平成9年	1	0	0	1	50.0	0.0	0.0	16.7
16 平成16年	0	0	1	1	0.0	0.0	50.0	16.7
無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
N=6 総計	2	2	2	6	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

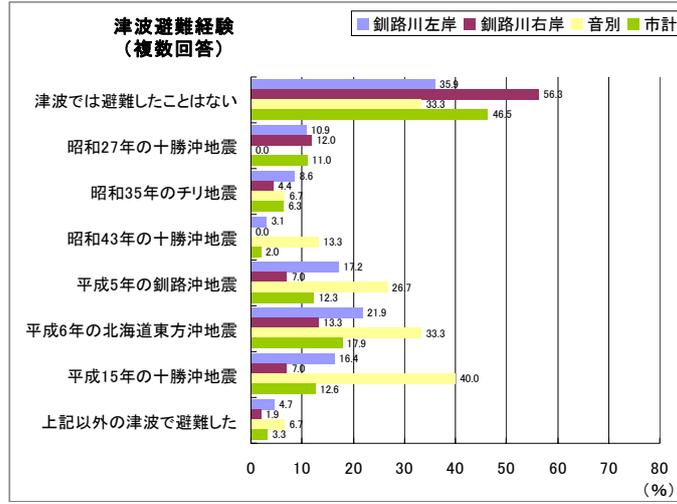
問29 高潮避難経験(複数回答)

	実数					構成比(%)				
	殖生	津布田	梶	浜	市計	殖生	津布田	梶	浜	市計
1 高潮では避難したことはない	78	36	7	18	141	43.8	73.5	29.2	43.9	47.3
2 昭和17年の周防灘台風	26	2	5	5	40	14.6	4.1	20.8	12.2	13.4
3 平成11年の台風18号	58	4	6	2	72	32.6	8.2	25.0	4.9	24.2
4 平成17年の台風14号	36	1	4	3	45	20.2	2.0	16.7	7.3	15.1
5 平成18年の台風13号	40	0	4	9	54	22.5	0.0	16.7	22.0	18.1
6 上記以外の高潮で避難した	3	0	2	1	6	1.7	0.0	8.3	2.4	2.0
N=298 総計	241	43	28	38	358	135.4	87.8	116.7	92.7	120.1
無回答	12	7	3	7	29	6.7	14.3	12.5	17.1	9.7

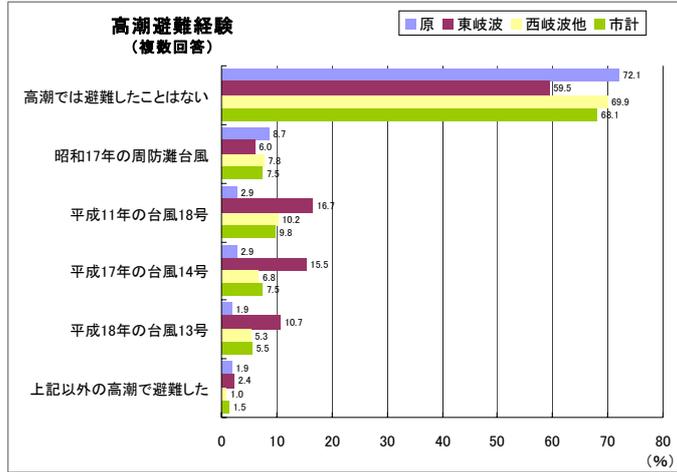
問29-1 いつ頃の台風か(問29で「6」と回答した方)

	実数					構成比(%)				
	殖生	津布田	梶	浜	市計	殖生	津布田	梶	浜	市計
28 昭和28年	1	0	0	0	1	33.3	-	0.0	0.0	16.7
45 昭和45年	0	0	0	1	1	0.0	-	0.0	100.0	16.7
15 平成15年	0	0	1	0	1	0.0	-	50.0	0.0	16.7
16 平成16年	1	0	0	0	1	33.3	-	0.0	0.0	16.7
無回答	1	0	1	0	2	33.3	-	50.0	0.0	33.3
N=6 総計	3	0	2	1	6	100.0	-	100.0	100.0	100.0

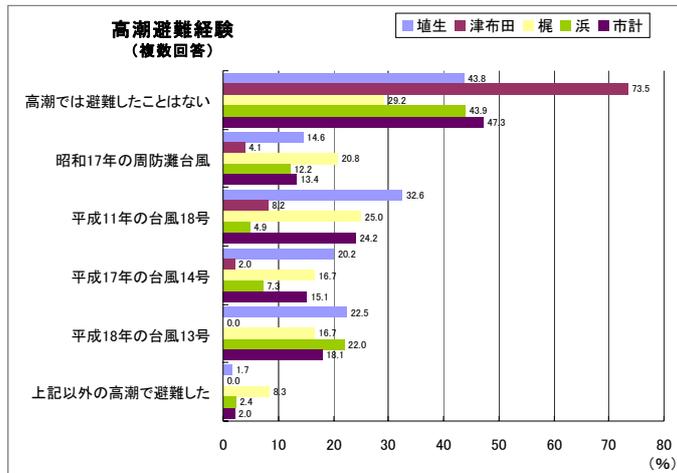
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.4.9 防災への関心

(1) 防災訓練の参加

○釧路市

釧路市では、「防災訓練に参加したことがない」が70.8%と最も割合が高く、次いで、「毎年防災訓練に参加」が8.6%となっている。

地区別では、釧路川右岸で「防災訓練に参加したことがない」人の割合が高い。

○宇部市

宇部市では、「防災訓練に参加したことがない」が76.9%を占めている。

地区間の違いは比較的小さい。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「防災訓練に参加したことがない」が71.8%と最も割合が高く、次いで、「10年以上前に参加して以来不参加」が7.7%となっている。

地区別に見ると、防災訓練に参加したことがある人の割合は大きな差異はない。

釧路市

問29 防災訓練参加

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 防災訓練に参加したことがない	85	121	7	213	66.4	76.6	46.7	70.8
2 10年以上前に参加して以来不参加	3	13	0	16	2.3	8.2	0.0	5.3
3 4～9年前に参加して以来不参加	11	4	1	16	8.6	2.5	6.7	5.3
4 2～3年前に参加して以来不参加	13	3	4	20	10.2	1.9	26.7	6.6
5 毎年防災訓練に参加	13	10	3	26	10.2	6.3	20.0	8.6
※ 無回答	3	7	0	10	2.3	4.4	0.0	3.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問30 防災訓練参加

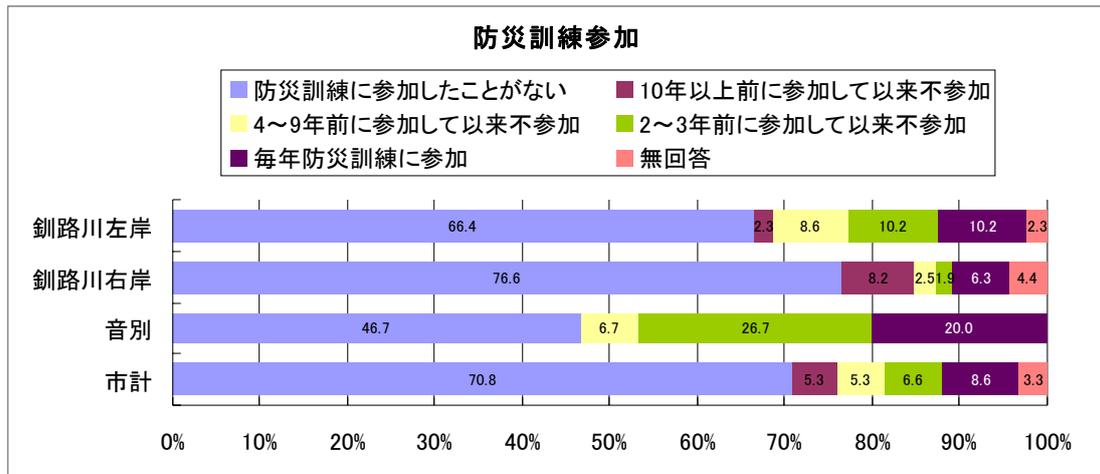
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 防災訓練に参加したことがない	75	68	161	306	72.1	81.0	78.2	76.9
2 10年以上前に参加して以来不参加	5	4	9	18	4.8	4.8	4.4	4.5
3 4～9年前に参加して以来不参加	4	3	11	18	3.8	3.6	5.3	4.5
4 2～3年前に参加して以来不参加	3	5	16	24	2.9	6.0	7.8	6.0
5 毎年防災訓練に参加	6	0	7	14	5.8	0.0	3.4	3.5
※ 無回答	11	4	2	18	10.6	4.8	1.0	4.5
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

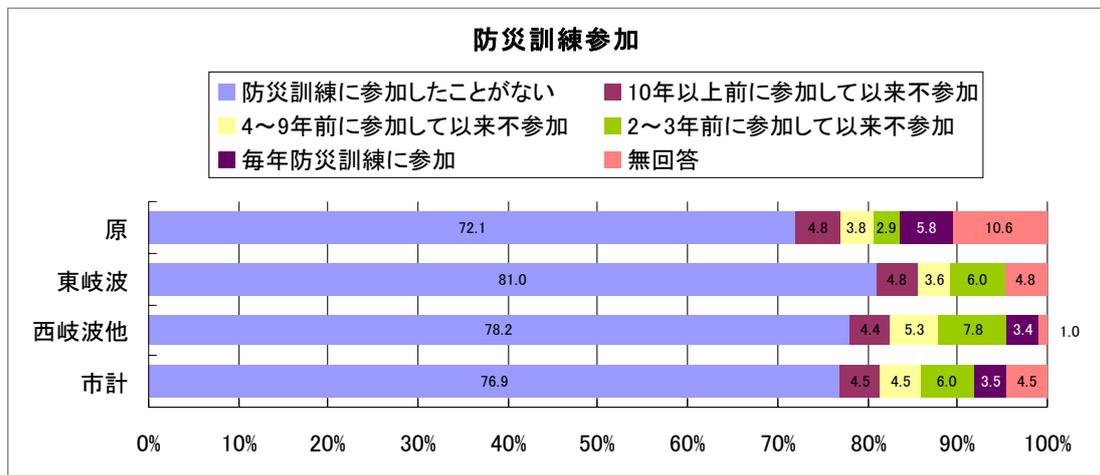
問30 防災訓練参加

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 防災訓練に参加したことがない	127	39	15	28	214	71.3	79.6	62.5	68.3	71.8
2 10年以上前に参加して以来不参加	14	3	3	3	23	7.9	6.1	12.5	7.3	7.7
3 4～9年前に参加して以来不参加	14	3	1	2	20	7.9	6.1	4.2	4.9	6.7
4 2～3年前に参加して以来不参加	5	2	0	3	10	2.8	4.1	0.0	7.3	3.4
5 毎年防災訓練に参加	3	0	0	0	3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.0
※ 無回答	15	2	5	5	28	8.4	4.1	20.8	12.2	9.4
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

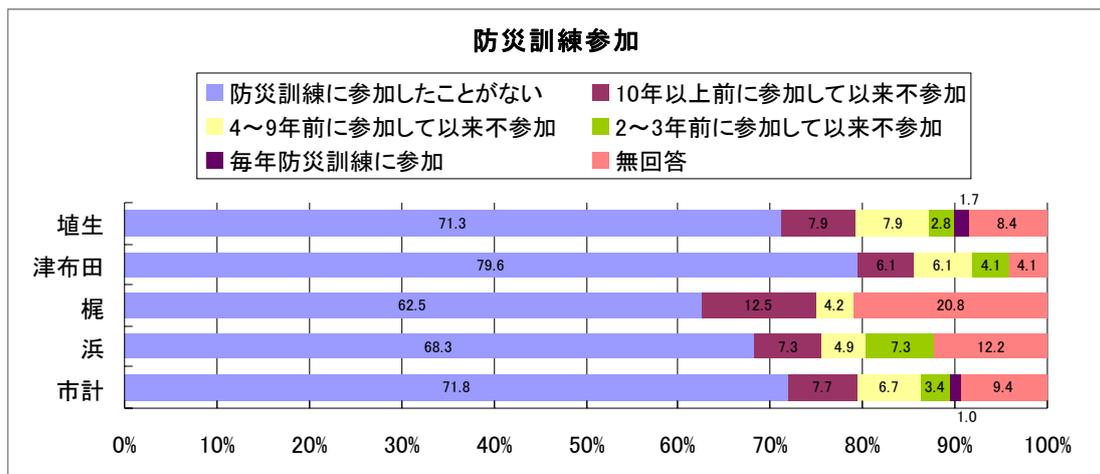
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2)ハザードマップの認知

○釧路市

釧路市の「くしろ安心マップ」については、「見たことがある」が75.4%を占めている。

地区別では、釧路川左岸で「見たことがある」人の割合が比較的高い。

○宇部市

宇部市の「防災マップ」については、「見たことがある」が56.5%を占めている。

地区別では、原で「見たことがある」人の割合が比較的高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市の「高潮避難地図」については、「見たことがある」が61.4%を占めている。

地区別では、「見たことがある」人の割合は、埴生で高く、梶で低い。「高潮避難地図」は、4地区のうち埴生と津布田が対象となっており、対象外の梶で見たことがない人が多いのは当然である。

釧路市

問30 ハザードマップ

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 見たことがある	104	115	8	227	81.3	72.8	53.3	75.4
2 見たことがない	20	35	7	62	15.6	22.2	46.7	20.6
※ 無回答	4	8	0	12	3.1	5.1	0.0	4.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問31 ハザードマップ

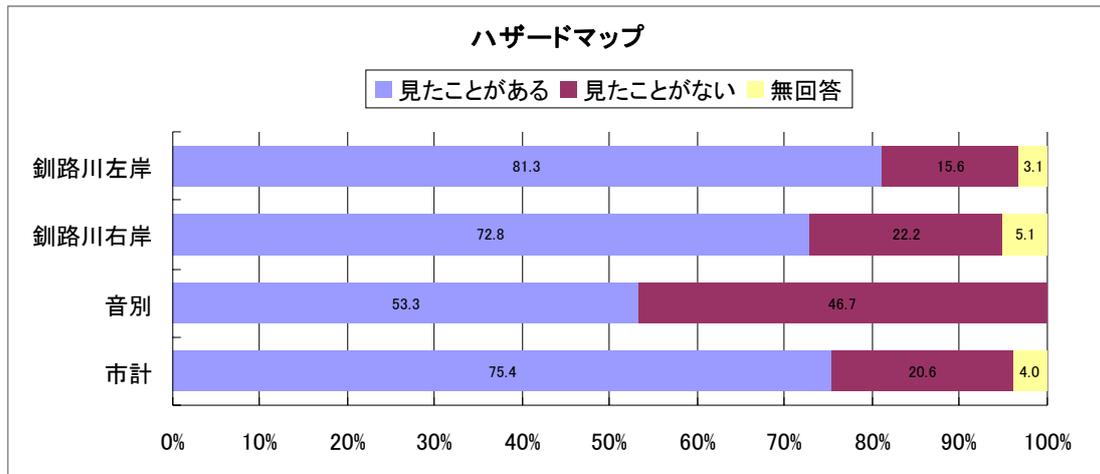
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 見たことがある	74	42	107	225	71.2	50.0	51.9	56.5
2 見たことがない	24	40	91	156	23.1	47.6	44.2	39.2
※ 無回答	6	2	8	17	5.8	2.4	3.9	4.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

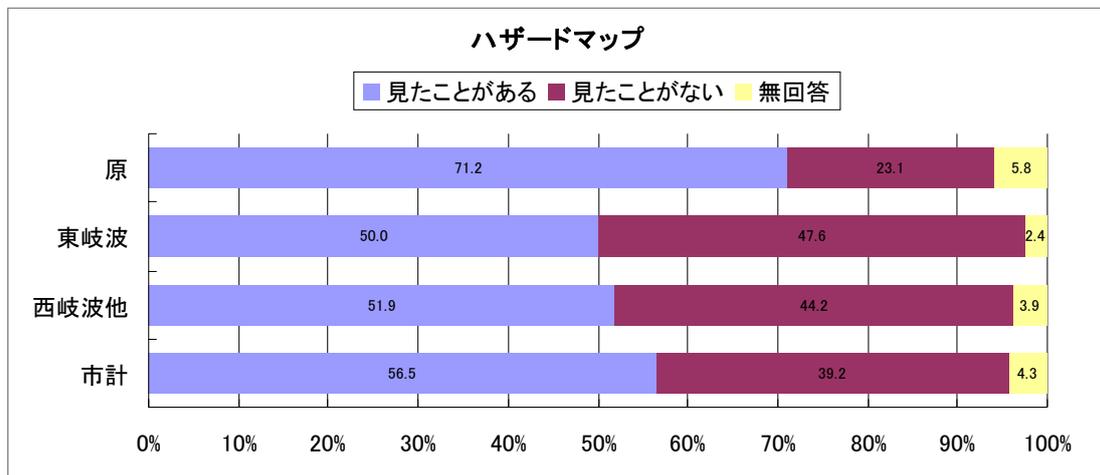
問31 ハザードマップ

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 見たことがある	137	19	3	22	183	77.0	38.8	12.5	53.7	61.4
2 見たことがない	35	27	18	15	98	19.7	55.1	75.0	36.6	32.9
※ 無回答	6	3	3	4	17	3.4	6.1	12.5	9.8	5.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

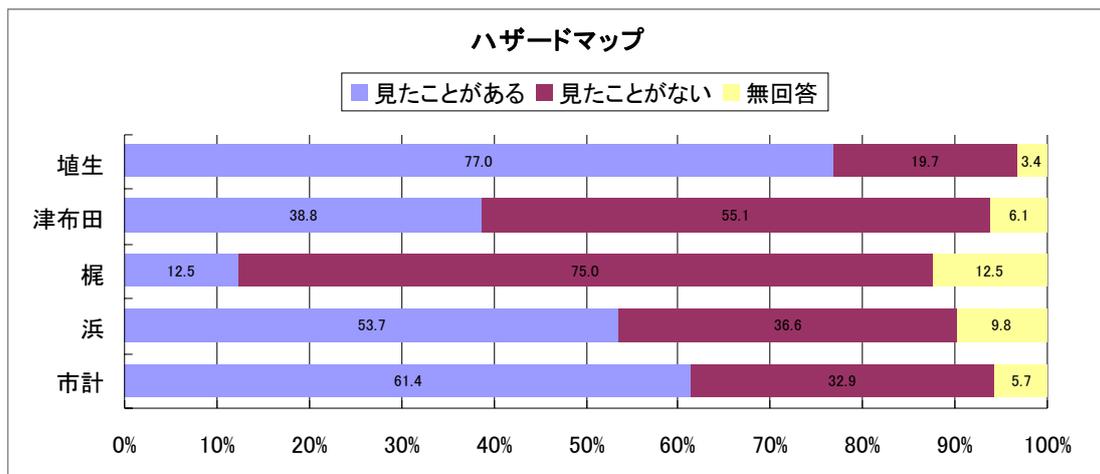
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(3) 避難場所の認知

○釧路市

釧路市については、「歩いていける距離にある」が 76.7%と最も割合が高く、次いで、「避難場所を知らない」が 12.6%となっている。

地区別では、「歩いていける距離にある」の割合は大きな相違はないが、「避難場所を知らない」の割合が釧路川右岸で比較的高い。

○宇部市

宇部市については、「歩いていける距離にある」が 71.1%と最も割合が高く、次いで、「歩いていけない距離にある」が 13.1%となっている。

地区別に見ると、東岐波において、「歩いていける距離にある」の割合が比較的高く、「避難場所を知らない」の割合が比較的小さい。

○山陽小野田市

山陽小野田市については、「歩いていける距離にある」が 73.8%と最も割合が高く、次いで、「歩いていけない距離にある」が 15.8%となっている。「避難場所を知らない」の割合は 3.4%と低い。

地区別では、「歩いていける距離にある」の割合は、埴生において比較的高く、梶と浜において比較的低い。

釧路市

問31 津波避難場所距離

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 歩いて行ける距離にある	99	121	11	231	77.3	76.6	73.3	76.7
2 歩いて行けない距離にある	9	4	3	16	7.0	2.5	20.0	5.3
3 避難場所を知らない	12	26	0	38	9.4	16.5	0.0	12.6
※ 無回答	8	7	1	16	6.3	4.4	6.7	5.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問32 高潮避難場所距離

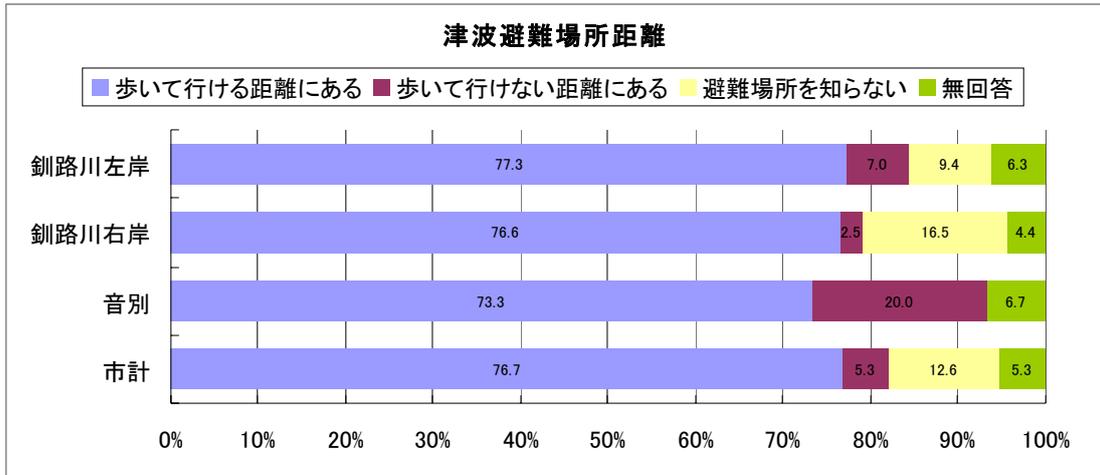
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 歩いて行ける距離にある	69	66	147	283	66.3	78.6	71.4	71.1
2 歩いて行けない距離にある	14	12	25	52	13.5	14.3	12.1	13.1
3 避難場所を知らない	14	5	27	47	13.5	6.0	13.1	11.8
※ 無回答	7	1	7	16	6.7	1.2	3.4	4.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

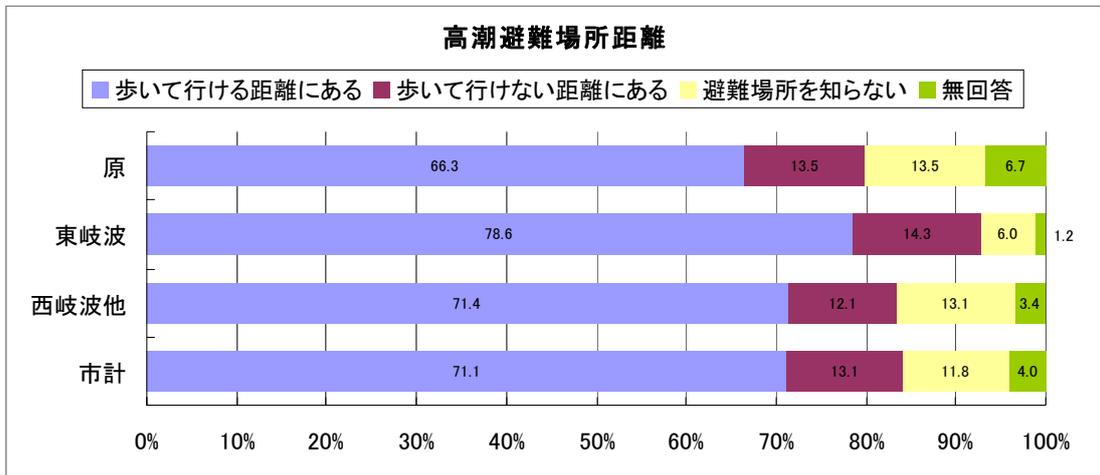
問32 高潮避難場所距離

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 歩いて行ける距離にある	158	36	10	14	220	88.8	73.5	41.7	34.1	73.8
2 歩いて行けない距離にある	9	6	10	19	47	5.1	12.2	41.7	46.3	15.8
3 避難場所を知らない	3	2	1	3	10	1.7	4.1	4.2	7.3	3.4
※ 無回答	8	5	3	5	21	4.5	10.2	12.5	12.2	7.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

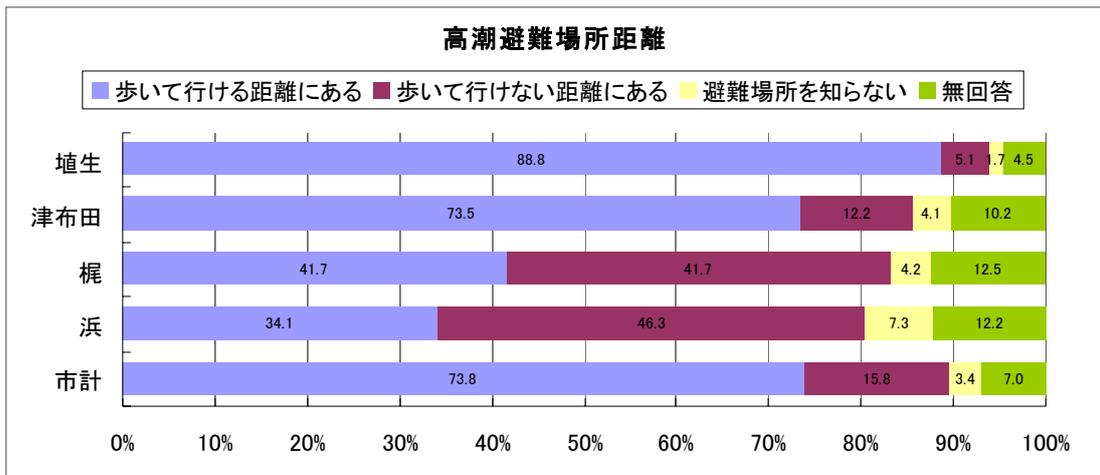
釧路市



宇部市



山陽小野田市



釧路市

歩いていける避難場所

避難場所	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別
学校	75	38	36	1
小学校	74	38	35	1
小学校	15	11	3	1
旭小学校	13		13	
旭小学校跡地	3		3	
旧旭小学校	5		5	
元、旭小学校	1		1	
旧釧路市立旭小学校	1		1	
東栄小学校	6	6		
旧東栄小学校	1	1		
寿小学校	1		1	
旧寿小学校	1		1	
元寿小学校	1		1	
城山小学校	6	6		
中央小学校	6		6	
日進小学校	14	14		
学校	1		1	
ホテル	23	13	10	0
ホテル	5	2	3	
東急イン	1		1	
東急インホテル	1		1	
シーサイドホテル	10	10		
釧路キャッスルホテル	1	1		
全日空ホテル	2		2	
プリンスホテル	1		1	
高層ホテル	1		1	
近所のホテル	1		1	
役所	21	0	21	0
合同庁舎	2		2	
市役所	14		14	
釧路市役所	4		4	
市役所本庁	1		1	
公園	15	11	4	0
公園	2	1	1	
米町公園	9	9		
栄町公園	2		2	
幸町公園	1		1	
鶴岱公園	1	1		
センター	8	1	7	0
総合福祉センター	4		4	
防災センター	2		2	
福祉センター	1		1	
生涯学習センター	1	1		
会館	5	0	4	1
旭会館	1		1	
福祉会館	2		2	
福祉総合会館	1		1	
文化会館	1			1
まなぼっと	4	4		
図書館	2	2		
教育大学	1	1		
中央消防署	1		1	
春採生活館	1	1		
社会福祉協議会	1		1	
下水道処理場	1			1
下水道センタ屋上	1			1
コア大空	1	1		
浄水場	1			1
仏舎利塔	1	1		
釧路	1	1		
支庁	1	1		
ビル5F	1		1	
アクアパール	1		1	
合計	166	75	86	5

歩いていけない避難場所

避難場所	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別
学校	2	2	0	0
小学校	2	2	0	0
小学校	0			
旭小学校	0			
旭小学校跡地	0			
旧旭小学校	0			
元、旭小学校	0			
旧釧路市立旭小学校	0			
寿小学校	0			
旧寿小学校	0			
元寿小学校	0			
中央小学校	0			
東栄小学校	1	1		
旧東栄小学校	1	1		
城山小学校	0			
日進小学校	0			
学校	0			
ホテル	1	1	0	0
ホテル	0			
東急イン	0			
東急インホテル	0			
全日空ホテル	0			
プリンスホテル	0			
高層ホテル	0			
近所のホテル	0			
シーサイドホテル	1	1		
釧路キャッスルホテル	0			
役所	1	0	1	0
合同庁舎	0			
市役所	1		1	
釧路市役所	0			
市役所本庁	0			
公園	1	1	0	0
公園	0			
米町公園	1	1		
鶴岱公園	0			
栄町公園	0			
幸町公園	0			
センター	0	0	0	0
総合福祉センター	0			
防災センター	0			
福祉センター	0			
生涯学習センター	0			
会館	0	0	0	0
旭会館	0			
福祉会館	0			
福祉総合会館	0			
文化会館	0			
中央消防署	0			
社会福祉協議会	0			
ビル5F	0			
アクアパール	0			
まなぼっと	0			
図書館	0			
教育大学	0			
春採生活館	1	1		
コア大空	0			
仏舎利塔	0			
釧路	0			
支庁	0			
下水道処理場	0			
下水道センタ屋上	0			
浄水場	0			
合計	6	5	1	0

宇部市

歩いていける避難場所

避難場所	市計	原	東岐波	西岐波他	不明
学校	75	39	3	33	0
中学校	7	2	0	5	0
中学校	5	2		3	
西岐波中学校	2			2	
小学校	65	37	2	26	0
小学校	23	7	1	15	
黒石小学校	12	12			
原小学校	15	15			
西岐波小学校	3			3	
東岐波小学校	1		1		
恩田小学校	3			3	
恩田小学校体育館	1			1	
常盤小学校	2			2	
黒岩小学校	1	1			
原小学校(高台)	1	1			
岬小学校	2			2	
小学校の体育	1	1			
学校	3		1	2	
ふれあいセンター	50	6	6	37	1
ふれあいセンター	20	3	2	15	
恩田ふれあいセンター	10			10	
恩田フレアイセンター	1			1	
恩田校区ふれあいセンター	1			1	
黒石ふれあいセンター	3	3			
岐波ふれあいセンター	1		1		
常盤ふれあいセンター	1			1	
西岐波ふれあいセンター	8			8	
東岐波ふれあいセンター	3		3		
市民ふれあいセンター	1			1	
岬ふれあいセンター	1			1	
市民センター	41	10	3	28	0
市民センター	19	3	3	13	
恩田市民センター	7			7	
黒岩市民センター	1	1			
校区市民センター	1			1	
市のセンター	1			1	
常盤市民センター	2			2	
ときわ市民センター	1			1	
西岐波市民センター	2			2	
原市民センター	6	6			
地区市民センター	1			1	
公民館	8	2	1	5	0
公民館	5	1	1	3	
原公民館	1	1			
地区の公民館	1			1	
常盤公民館	1			1	
会館	31	1	29	1	0
自治会館	16	1	15		
岐波自治会館	10		10		
丸尾自治会館	3		3		
岐波会館	1		1		
草江会館	1			1	
体育館	4	0	0	4	0
俵田体育館	3			3	
恩田体育館	1			1	
病院	4	1	1	2	0
病院	1			1	
山陽病院	1		1		
セントヒル病院厚南	1	1			
病院の屋上	1			1	
公園	4	2	0	2	0
公園	1	1			
運動公園	1			1	
黒石神社公園	1	1			
恩田運動公園	1			1	
公会堂	3	0	3	0	0
公会堂	1		1		
丸尾公会堂	2		2		
集会所	2	1	1	0	0
集会所	1	1			
丸尾集会所	1		1		
支所	2	0	0	2	0
西岐波支所	2			2	
寺	2			2	
地区内	1	1			
常盤コミュニティー	1			1	
宇部市	1	1			
べあれんと(うの島)	1		1		
子供の家	1			1	
兄の家	1	1			
合計	232	65	48	118	1

歩いていけない避難場所

避難場所	市計	原	東岐波	西岐波他	不明
学校	11	7	2	2	0
中学校	0			0	
中学校	0				
西岐波中学校	0				
小学校	10	7	1	2	0
小学校	3	2		1	
西岐波小学校	0				
恩田小学校	0				
常盤小学校	1			1	
岬小学校	0				
恩田小学校体育館	0				
黒石小学校	0				
原小学校	5	5			
黒岩小学校	0				
原小学校(高台)	0				
小学校の体育館	0				
東岐波小学校	1		1		
学校	1		1		
ふれあいセンター	7	0	2	5	0
ふれあいセンター	3		1	2	
恩田ふれあいセンター	2			2	
恩田フレアイセンター	0				
恩田校区ふれあいセン	1			1	
常盤ふれあいセンター	0				
西岐波ふれあいセンタ	0				
市民ふれあいセンター	0				
黒石ふれあいセンター	0				
原ふれあいセンター	0				
岐波ふれあいセンター	1		1		
東岐波ふれあいセンタ	0				
岬ふれあいセンター	0				
市民センター	7	2	2	3	0
市民センター	4	1	2	1	
恩田市民センター	1			1	
校区市民センター	0				
市のセンター	0				
常盤市民センター	1			1	
ときわ市民センター	0				
西岐波市民センター	0				
地区市民センター	0				
黒岩市民センター	0				
原市民センター	1	1			
公民館	0	0	0	0	0
公民館	0				
地区の公民館	0				
常盤公民館	0				
原公民館	0				
会館	1	0	1	0	0
草江会館	0				
自治会館	0				
岐波自治会館	1		1		
丸尾自治会館	0				
岐波会館	0				
体育館	0	0	0	0	0
俵田体育館	0				
恩田体育館	0				
病院	0	0	0	0	0
病院	0				
病院の屋上	0				
セントヒル病院厚南	0				
山陽病院	0				
公園	0	0	0	0	0
運動公園	0				
恩田運動公園	0				
黒石神社公園	0				
支所	0	0	0	0	0
西岐波支所	0				
集会所	0	0	0	0	0
集会所	0				
丸尾集会所	0				
公会堂	1	0	1	0	0
公会堂	0				
丸尾公会堂	1		1		
寺	0				
常盤コミュニティー	1			1	
子供の家	1			1	
地区内	0				
宇部市	1	1			
兄の家	0				
べあれんと(うの島)	1		1		
合計	31	10	9	12	0

山陽小野田市

歩いていける避難場所

避難場所	市計	殖生	津布田	梶	浜	不明
学校	111	70	14	5	19	3
中学校	70	62	2	5	0	1
中学校	30	26	2	1		1
殖生中学校	36	36				
厚陽中学校	4			4		
小学校	38	7	11	0	18	2
小学校	10	3	3		4	
殖生小学校	4	4				
高泊小学校	16				14	2
津布田小学校	8		8			
学校	3	1	1		1	
公民館	40	35	3	0	1	1
公民館	25	20	3		1	1
殖生公民館	15	15				
会館	7	1	3	1	1	1
自治会館	2				1	1
津布田会館	3		3			
殖生農協会館	1	1				
地区の会館	1			1		
寺	7	0	0	6	1	0
お寺	2			2		
西福寺	5			4	1	
公会堂	6	0	6	0	0	0
公会堂	3		3			
森本公会堂	1		1			
自治会の公会堂	1		1			
中塚公会堂	1		1			
支所	3	2	0	0	0	1
支所	2	1				1
殖生支所	1	1				
サンライフ山陽	3	3				
サンライフ陽水	1	1				
長生園	1	1				
子供の家	1	1				
役場	1	1				
実家	1	1				
合計	182	116	26	12	22	6

歩いていけない避難場所

避難場所	市計	原	東岐波	西岐波他	不明
学校	11	7	2	2	0
中学校	0			0	
中学校	0				
西岐波中学校	0				
小学校	10	7	1	2	0
小学校	3	2		1	
西岐波小学校	0				
恩田小学校	0				
常盤小学校	1			1	
岬小学校	0				
恩田小学校体育館	0				
黒石小学校	0				
原小学校	5	5			
黒岩小学校	0				
原小学校(高台)	0				
小学校の体育館	0				
東岐波小学校	1		1		
学校	1		1		
ふれあいセンター	7	0	2	5	0
ふれあいセンター	3		1	2	
恩田ふれあいセンター	2			2	
恩田フレイアイセンター	0				
恩田校区ふれあいセン	1			1	
常盤ふれあいセンター	0				
西岐波ふれあいセンタ	0				
市民ふれあいセンター	0				
黒石ふれあいセンター	0				
原ふれあいセンター	0				
岐波ふれあいセンター	1		1		
東岐波ふれあいセンタ	0				
岬ふれあいセンター	0				
市民センター	7	2	2	3	0
市民センター	4	1	2	1	
恩田市民センター	1			1	
校区市民センター	0				
市のセンター	0				
常盤市民センター	1			1	
ときわ市民センター	0				
西岐波市民センター	0				
地区市民センター	0				
黒岩市民センター	0				
原市民センター	1	1			
公民館	0	0	0	0	0
公民館	0				
地区の公民館	0				
常盤公民館	0				
原公民館	0				
会館	1	0	1	0	0
草江会館	0				
自治会館	0				
岐波自治会館	1		1		
丸尾自治会館	0				
岐波会館	0				
体育館	0	0	0	0	0
俵田体育館	0				
恩田体育館	0				
病院	0	0	0	0	0
病院	0				
病院の屋上	0				
セントヒル病院厚南	0				
山陽病院	0				
公園	0	0	0	0	0
運動公園	0				
恩田運動公園	0				
黒石神社公園	0				
支所	0	0	0	0	0
西岐波支所	0				
集会所	0	0	0	0	0
集会所	0				
丸尾集会所	0				
公会堂	1	0	1	0	0
公会堂	0				
丸尾公会堂	1		1		
寺	0				
常盤コミュニティー	1			1	
子供の家	1			1	
地区内	0				
宇部市	1	1			
兄の家	0				
べあれんと(うの島)	1		1		
合計	31	10	9	12	0

(4) 浸水想定区域の認知

○釧路市

釧路市については、「自宅が浸水想定区域の中にある」との回答が 77.1%と最も割合が高く、次いで、「自宅が浸水想定区域の中か外かわからない」が 13.6%となっている。

地区別では、釧路川左岸で「自宅が浸水想定区域の中にある」の割合が比較的高い。

○宇部市

宇部市では浸水想定区域は設定されていないが、「自宅が浸水想定区域の中にある」が 53.5%と最も割合が高く、次いで、「自宅が浸水想定区域の中か外かわからない」が 33.9%となっている。

地区別では、西岐波他で「自宅が浸水想定区域の中にある」の割合が比較的低い。

○山陽小野田市

山陽小野田市については、「自宅が浸水想定区域の中にある」が 60.7%と最も割合が高く、次いで、「自宅が浸水想定区域の中か外かわからない」が 23.5%となっている。

地区別では、「自宅が浸水想定区域の中にある」の割合が、埴生で比較的高く、津布田では比較的低い。梶と浜は、浸水想定区域が設定されていないが、半数程度が「自宅が浸水想定区域の中にある」と回答している。

釧路市

問33 浸水想定区域認知

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 自宅が浸水想定区域の中	109	114	9	232	85.2	72.2	60.0	77.1
2 自宅が浸水想定区域の外	1	9	2	12	0.8	5.7	13.3	4.0
3 自宅が区域の中か外かわからず	15	23	3	41	11.7	14.6	20.0	13.6
※ 無回答	3	12	1	16	2.3	7.6	6.7	5.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問33 浸水想定区域認知

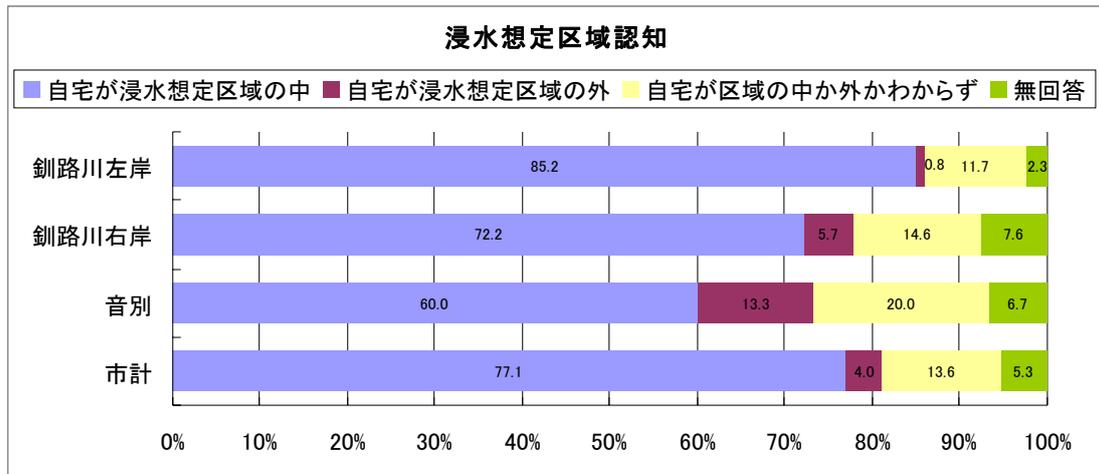
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 自宅が浸水想定区域の中	61	51	99	213	58.7	60.7	48.1	53.5
2 自宅が浸水想定区域の外	11	5	16	32	10.6	6.0	7.8	8.0
3 自宅が区域の中か外かわからず	24	25	85	135	23.1	29.8	41.3	33.9
※ 無回答	8	3	6	18	7.7	3.6	2.9	4.5
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

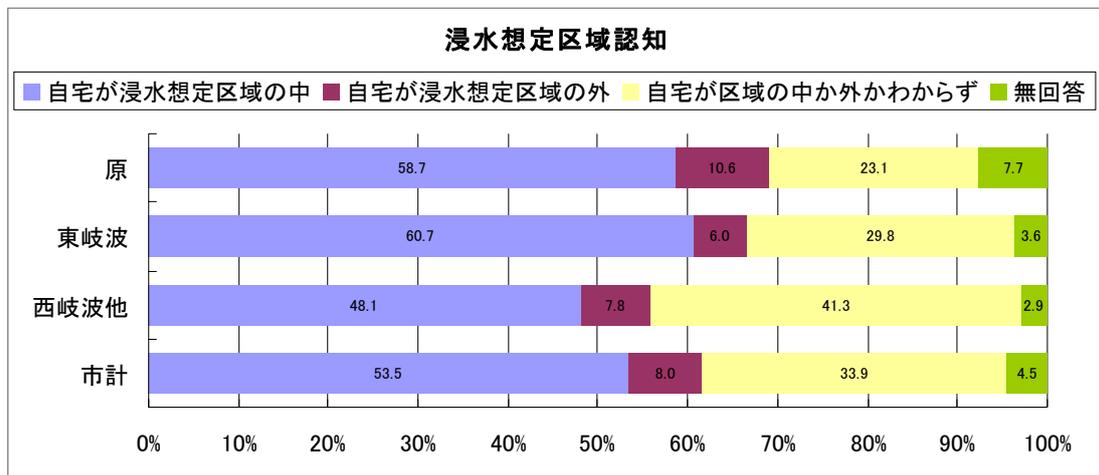
問33 浸水予想区域認知

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 自宅が浸水想定区域の中	130	14	13	19	181	73.0	28.6	54.2	46.3	60.7
2 自宅が浸水想定区域の外	14	11	0	4	29	7.9	22.4	0.0	9.8	9.7
3 自宅が浸水想定区域の中か外かわからず	28	18	9	14	70	15.7	36.7	37.5	34.1	23.5
※ 無回答	6	6	2	4	18	3.4	12.2	8.3	9.8	6.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

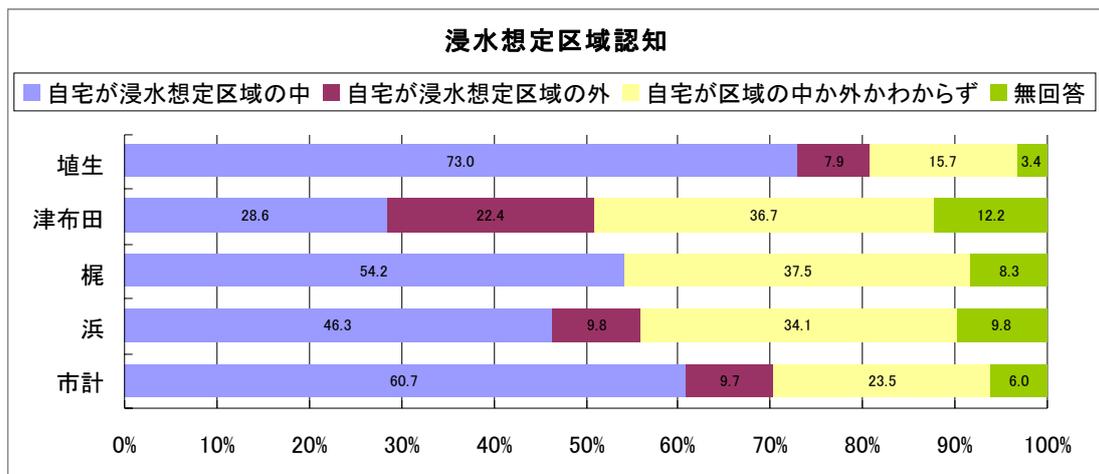
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(5) 既往災害の認知

○釧路市

釧路市の大正9年釧路川の洪水について、「聞いたことがない」が59.8%と最も割合が高く、次いで、「聞いたことがある」が34.6%となっている。

地区別では、釧路川右岸と釧路川左岸との間で大きな差異はないものの、釧路川から離れた音別では「聞いたことがない」の割合が高い。

○宇部市

昭和17年の周防灘台風について、「よく知っている」が41.2%と最も割合が高く、次いで、「聞いたことがある」が39.7%となっている。

地区間の差異は小さい。

○山陽小野田市

山陽小野田市の周防灘台風の認知は、「よく知っている」が51.0%と最も割合が高く、次いで、「聞いたことがある」が36.2%となっている。

地区別では、埴生で「よく知っている」の割合が高く、津布田で「聞いたことがない」の割合が高い。

釧路市

問34 釧路川洪水の認知

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 よく知っている	2	7	1	10	1.6	4.4	6.7	3.3
2 聞いたことがある	51	51	2	104	39.8	32.3	13.3	34.6
3 聞いたことがない	73	97	10	180	57.0	61.4	66.7	59.8
※ 無回答	2	3	2	7	1.6	1.9	13.3	2.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問34 周防灘台風の認知

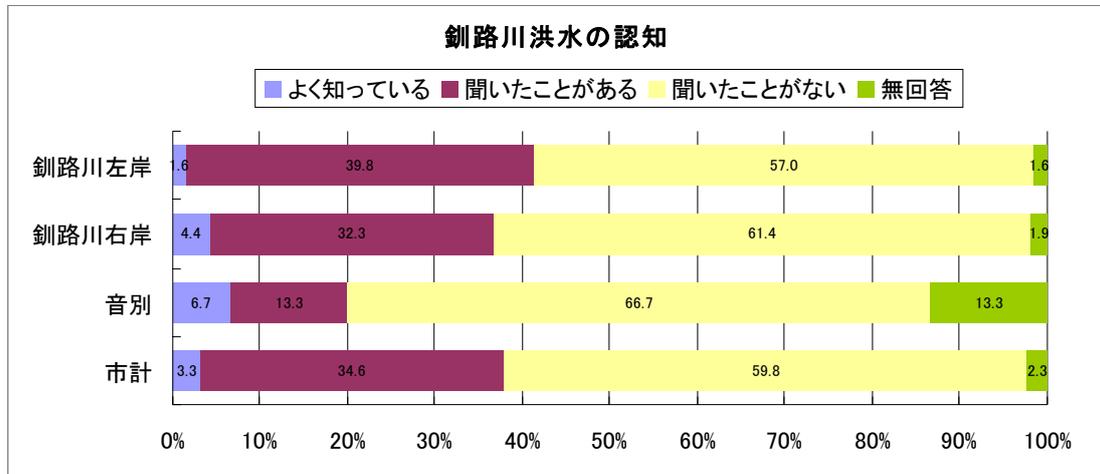
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 よく知っている	38	40	86	164	36.5	47.6	41.7	41.2
2 聞いたことがある	51	27	78	158	49.0	32.1	37.9	39.7
3 聞いたことがない	9	17	36	63	8.7	20.2	17.5	15.8
※ 無回答	6	0	6	13	5.8	0.0	2.9	3.3
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

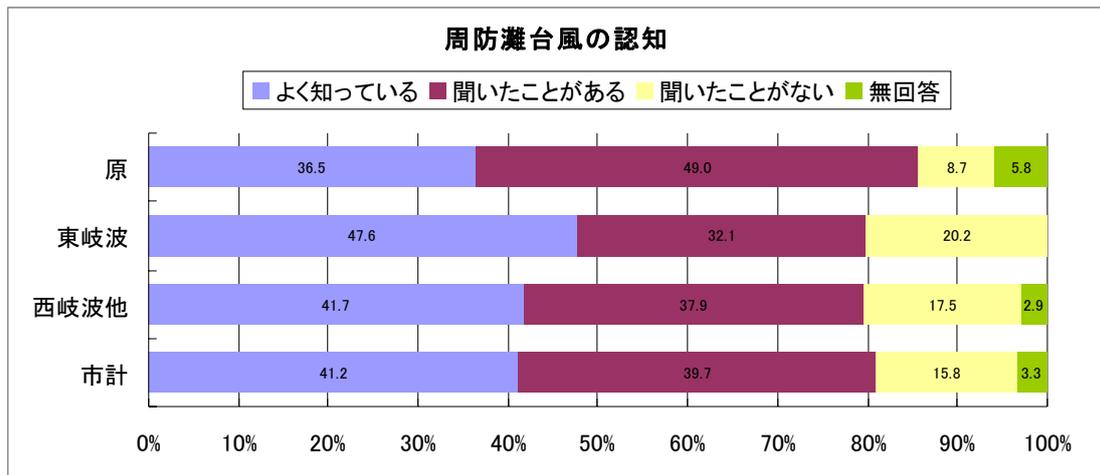
問34 周防灘台風の認知

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 よく知っている	99	22	9	19	152	55.6	44.9	37.5	46.3	51.0
2 聞いたことがある	62	14	12	17	108	34.8	28.6	50.0	41.5	36.2
3 聞いたことがない	10	12	2	1	25	5.6	24.5	8.3	2.4	8.4
※ 無回答	7	1	1	4	13	3.9	2.0	4.2	9.8	4.4
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

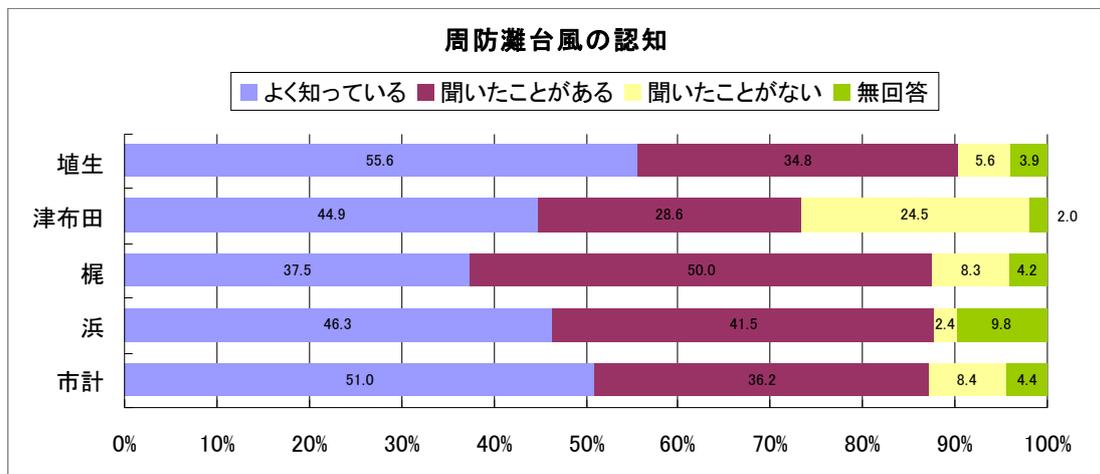
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.4.10 ソーシャルキャピタル

(1) 一般的な人への信頼

○釧路市

釧路市では、「信頼できる人の方が多い」が40.9%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が38.2%となっている。

地区間の差異は比較的小さい。

○宇部市

宇部市では、「信頼できる人の方が多い」が37.7%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が31.2%となっている。

地区別では、東岐波において、「ほとんどの人は信頼できる」、「信頼できる人の方が多い」の割合が比較的高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「信頼できる人の方が多い」が36.6%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が27.2%となっている。

地区間の差異は比較的小さい。

○内閣府調査との比較

平成14年度内閣府調査結果と比べ、本調査の対象3市は信頼感が高い地域と考えられる。

釧路市

問35 他人への信頼感

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 ほとんどの人は信頼できる	11	16	2	29	8.6	10.1	13.3	9.6
2 信頼できる人の方が多い	58	59	6	123	45.3	37.3	40.0	40.9
3 どちらともいえない	49	60	6	115	38.3	38.0	40.0	38.2
4 信頼できない人の方が多い	5	13	1	19	3.9	8.2	6.7	6.3
5 ほとんどの人は信頼できず	1	4	0	5	0.8	2.5	0.0	1.7
※ 無回答	4	6	0	10	3.1	3.8	0.0	3.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問36 他人への信頼感

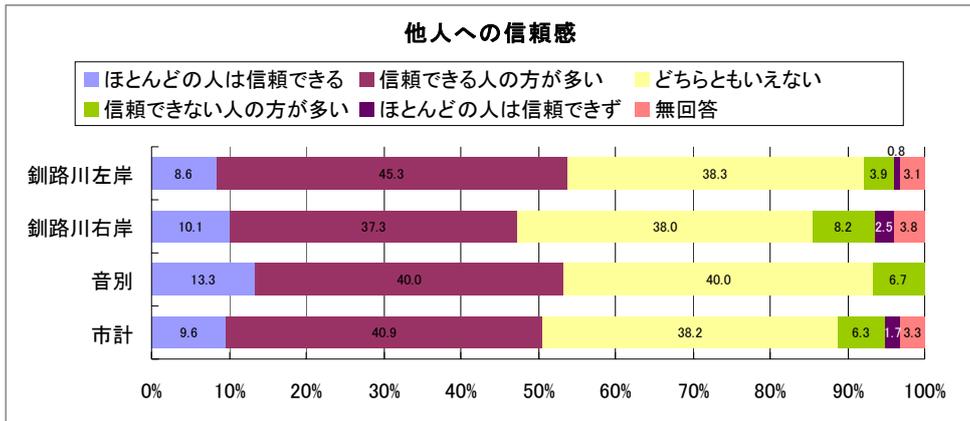
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 ほとんどの人は信頼できる	20	20	38	79	19.2	23.8	18.4	19.8
2 信頼できる人の方が多い	35	33	80	150	33.7	39.3	38.8	37.7
3 どちらともいえない	29	26	69	124	27.9	31.0	33.5	31.2
4 信頼できない人の方が多い	8	3	7	18	7.7	3.6	3.4	4.5
5 ほとんどの人は信頼できず	5	2	5	12	4.8	2.4	2.4	3.0
※ 無回答	7	0	7	15	6.7	0.0	3.4	3.8
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

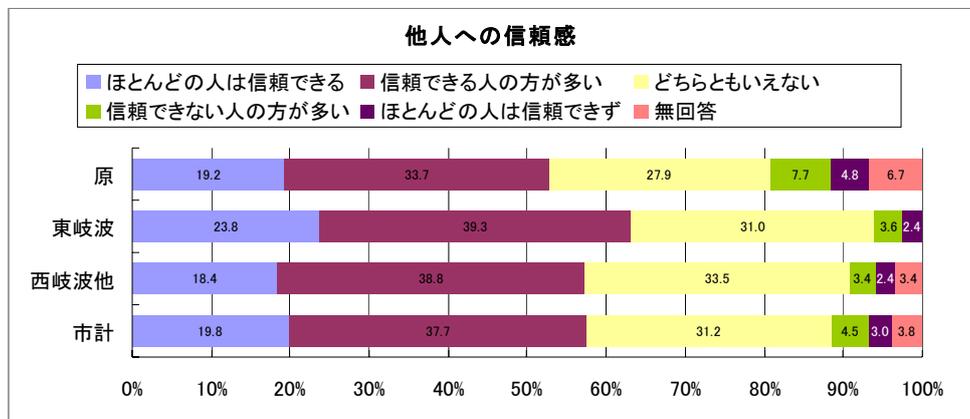
問36 他人への信頼感

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 ほとんどの人は信頼できる	41	9	6	7	63	23.0	18.4	25.0	17.1	21.1
2 信頼できる人の方が多い	67	17	8	15	109	37.6	34.7	33.3	36.6	36.6
3 どちらともいえない	44	17	6	11	81	24.7	34.7	25.0	26.8	27.2
4 信頼できない人の方が多い	15	5	2	2	24	8.4	10.2	8.3	4.9	8.1
5 ほとんどの人は信頼できず	2	0	0	2	5	1.1	0.0	0.0	4.9	1.7
※ 無回答	9	1	2	4	16	5.1	2.0	8.3	9.8	5.4
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

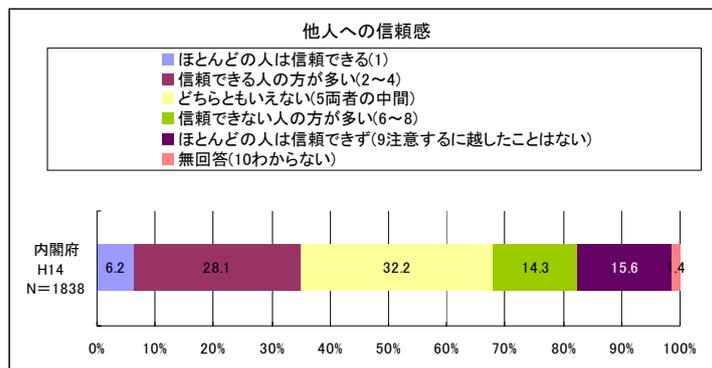
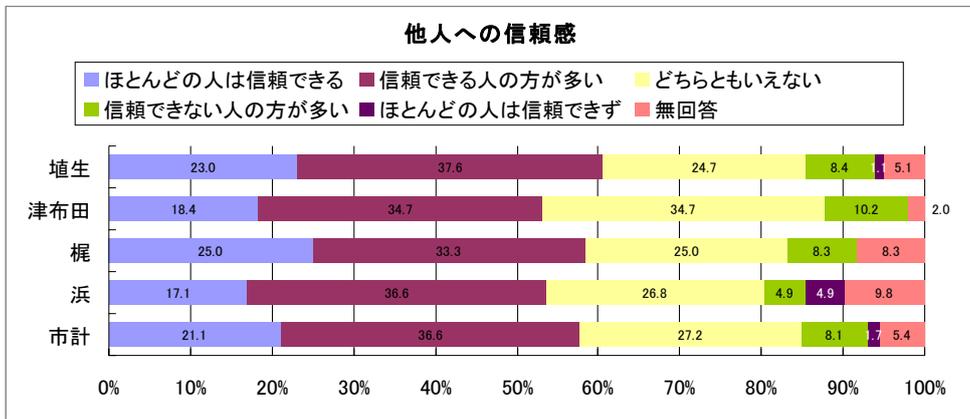
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(2) 近所つきあいの程度

○釧路市

釧路市では、「あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない」が 42.2%と最も割合が高く、次いで、「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」が 36.2%となっている。

地区別に見ると、「つきあいを全くしていない」の割合が釧路川右岸と音別で比較的高い。

○宇部市

宇部市では、「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」が 37.7%と最も割合が高く、次いで、「あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない」が 20.4%となっている。

地区間の差異は小さいが、東岐波でつきあいの程度が若干深い傾向が見られる。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」が 51.7%と最も割合が高く、次いで、「互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている」が 26.5%となっている。

地区別では、梶と埴生でつきあいの程度が深い傾向が認められる。

○内閣府調査との比較

平成 14 年度内閣府調査結果比べ、近所つきあいの程度は、釧路市で若干下回り、宇部市と山陽小野田市で同程度となっている。

釧路市

問36-1 近所とのつきあい

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 相談、日用品貸借等生活面で協力	19	17	5	41	14.8	10.8	33.3	13.6
2 日常的に立話程度のつきあい	49	55	5	109	38.3	34.8	33.3	36.2
3 あいさつ程度の最小限のつきあい	52	71	4	127	40.6	44.9	26.7	42.2
4 つきあいは全くしていない	5	11	1	17	3.9	7.0	6.7	5.6
※ 無回答	3	4	0	7	2.3	2.5	0.0	2.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問37-1 近所とのつきあい

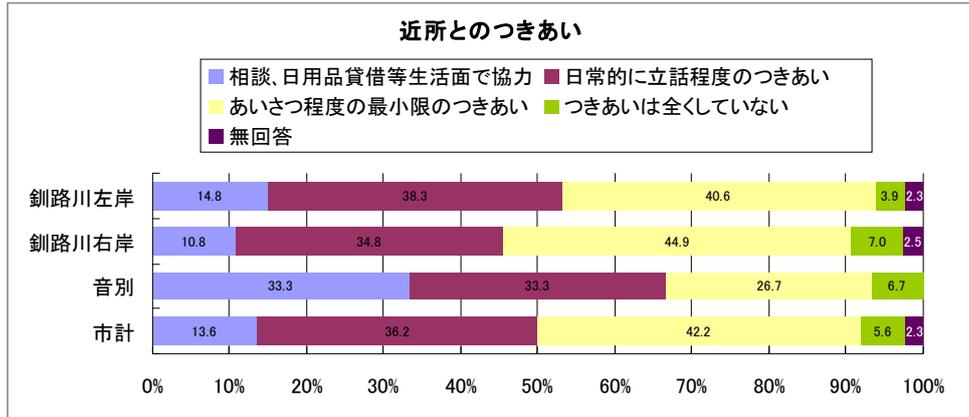
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 相談、日用品貸借等生活面で協力	18	15	31	64	17.3	17.9	15.0	16.1
2 日常的に立話程度のつきあい	59	53	128	241	56.7	63.1	62.1	60.6
3 あいさつ程度の最小限のつきあい	23	14	42	81	22.1	16.7	20.4	20.4
4 つきあいは全くしていない	0	1	1	2	0.0	1.2	0.5	0.5
※ 無回答	4	1	4	10	3.8	1.2	1.9	2.5
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

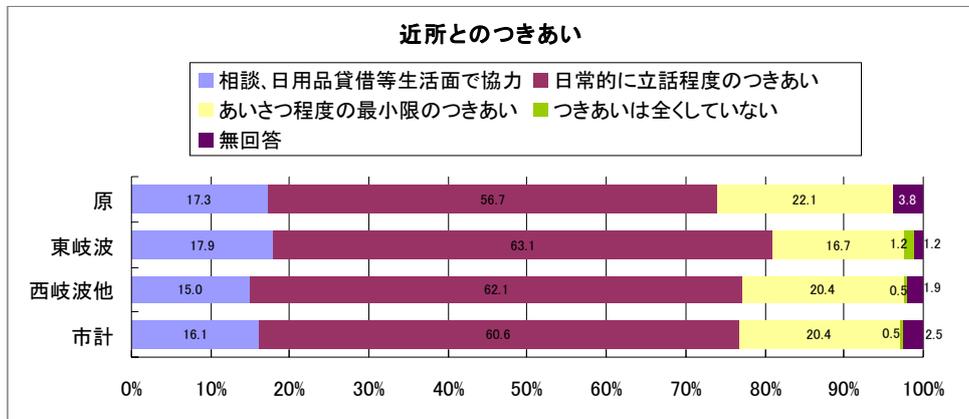
問37-1 近所とのつきあい

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 互いに相談、日用品の貸借をする等生活面で協力	53	6	8	11	79	29.8	12.2	33.3	26.8	26.5
2 日常的に立話程度のつきあい	95	26	14	16	154	53.4	53.1	58.3	39.0	51.7
3 あいさつ程度の最小限のつきあい	22	16	1	11	52	12.4	32.7	4.2	26.8	17.4
4 つきあいは全くしていない	2	0	0	0	2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.7
※ 無回答	6	1	1	3	11	3.4	2.0	4.2	7.3	3.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

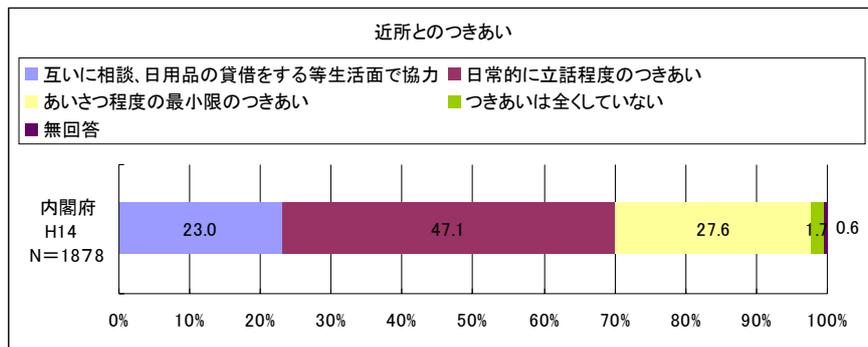
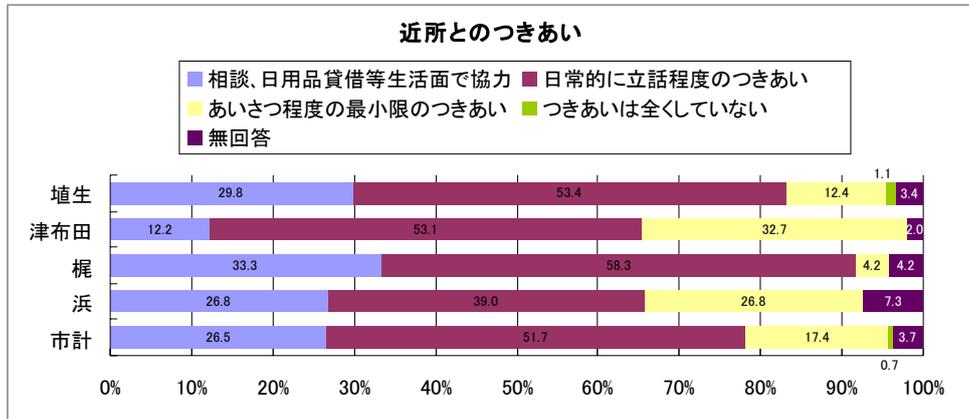
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(3) 近所づきあいの人数

○釧路市

釧路市では、「近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）」が44.9%と最も割合が高く、次いで、「ある程度の人との面識・交流がある（概ね5～19人）」が32.9%となっている。

地区別に見ると、音別で人数が多くなっている。

○宇部市

宇部市では、「ある程度の人との面識・交流がある（概ね5～19人）」が48.5%と最も割合が高く、次いで、「近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）」が25.1%となっている。

地区間の差異は比較的小さい。

○山陽小野田市

山陽小野田市の近所づきあい人数は、「ある程度の人との面識・交流がある（概ね5～19人）」が46.3%と最も割合が高く、次いで、「近所のかかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）」が32.2%となっている。

地区別に見ると、梶において人数が多い傾向が見られる。

○内閣府調査との比較

平成14年度内閣府調査結果と比較すると、近所づきあいの人数は、釧路市で下回り、宇部市と山陽小野田市で上回る。

釧路市

問36-2 近所づきあい人数

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 かなり多くの人と面識・交流	13	12	5	30	10.2	7.6	33.3	10.0
2 ある程度の人との面識・交流	41	53	5	99	32.0	33.5	33.3	32.9
3 ごく少数の人とだけと面識・交流	60	72	3	135	46.9	45.6	20.0	44.9
4 隣の人がだれかも知らない	10	15	1	26	7.8	9.5	6.7	8.6
※ 無回答	4	6	1	11	3.1	3.8	6.7	3.7
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問37-2 近所づきあい人数

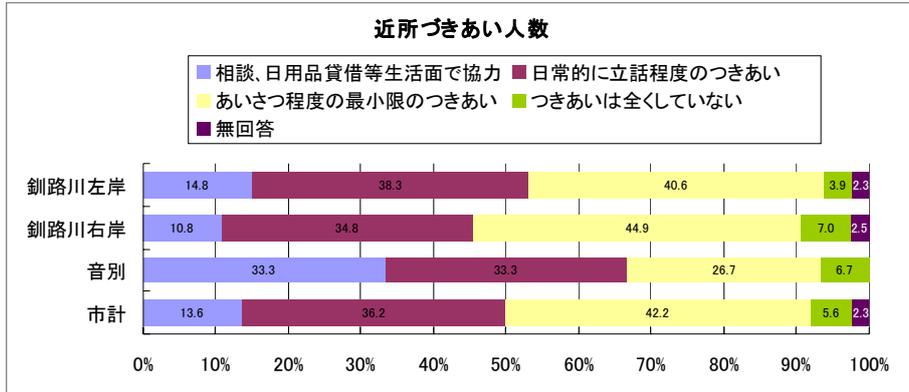
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 かなり多くの人と面識・交流	20	26	47	94	19.2	31.0	22.8	23.6
2 ある程度の人との面識・交流	52	34	106	193	50.0	40.5	51.5	48.5
3 ごく少数の人とだけと面識・交流	27	22	50	100	26.0	26.2	24.3	25.1
4 隣の人がだれかも知らない	0	1	0	1	0.0	1.2	0.0	0.3
※ 無回答	5	1	3	10	4.8	1.2	1.5	2.5
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

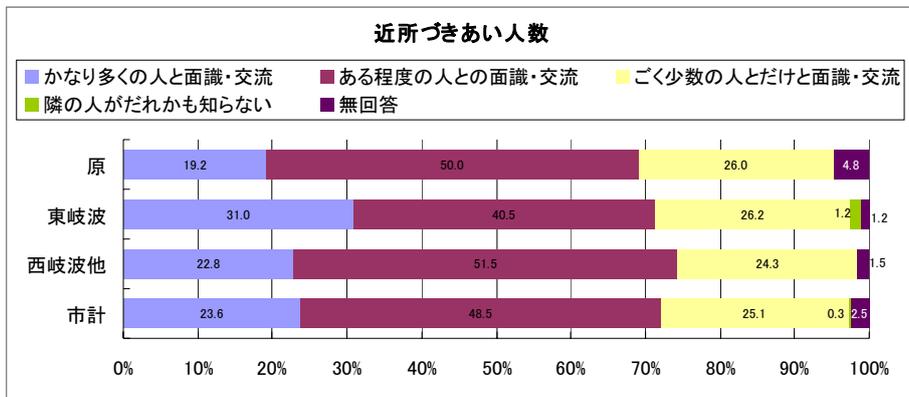
問37-2 近所づきあい人数

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 近所のかかなり多くの人と面識・交流	60	17	10	8	96	33.7	34.7	41.7	19.5	32.2
2 ある程度の人との面識・交流	81	20	12	23	138	45.5	40.8	50.0	56.1	46.3
3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流	24	11	0	7	45	13.5	22.4	0.0	17.1	15.1
4 隣の人がだれかも知らない	1	0	0	0	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3
※ 無回答	12	1	2	3	18	6.7	2.0	8.3	7.3	6.0
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

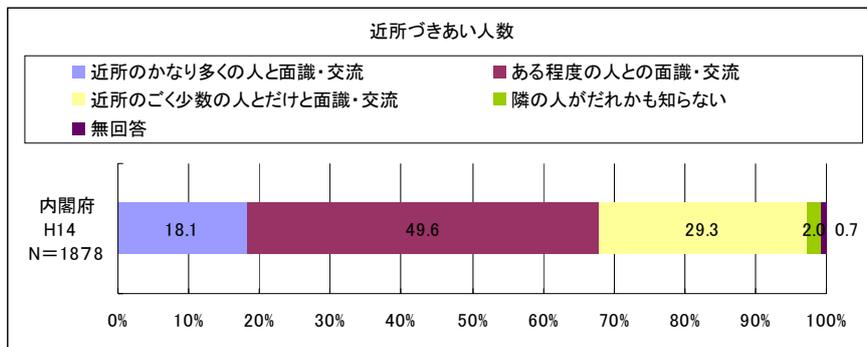
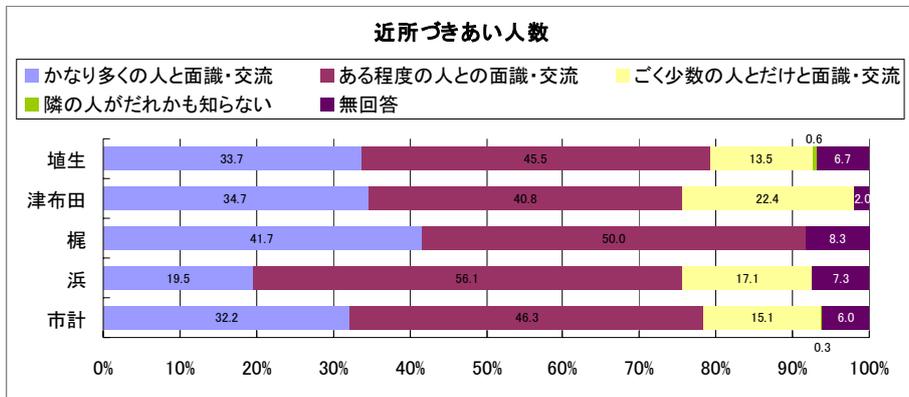
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(4) 地縁活動の認識

○釧路市

釧路市では、「ある程度は行われていると思う」が 53.8%と最も割合が高く、次いで、「ほとんど活動は行われていないと思う」が 15.6%となっている。「わからない」も 18.6%と高い。

地区別では、釧路川右岸において、「ほとんど活動は行われていないと思う」の割合が比較的高い

○宇部市

宇部市では、「ある程度は行われていると思う」が 68.1%と最も割合が高く、次いで、「非常に盛んに行われていると思う」が 12.6%となっている。

地区別では、東岐波において、「非常に盛んであると思う」の割合が高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「ある程度は行われていると思う」が 61.7%と最も割合が高く、次いで、「非常に盛んに行われていると思う」が 15.4%となっている。

地区別では、浜において、「非常に盛んに行われていると思う」の割合が高い

○内閣府調査との比較

平成 14 年度内閣府調査結果と比較すると、釧路市では「わからない」の割合が高く、山陽小野田市でも「非常に盛んであると思う」の割合が低い。

釧路市

問37 地縁活動への参加

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 非常に盛ん	11	3	0	14	8.6	1.9	0.0	4.7
2 ある程度は行われている	72	77	13	162	56.3	48.7	86.7	53.8
3 ほとんど活動は行われていない	14	32	1	47	10.9	20.3	6.7	15.6
4 そういった地縁団体は存在しない	6	9	0	15	4.7	5.7	0.0	5.0
5 わからない	23	33	0	56	18.0	20.9	0.0	18.6
※ 無回答	2	4	1	7	1.6	2.5	6.7	2.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問38 地縁活動への参加

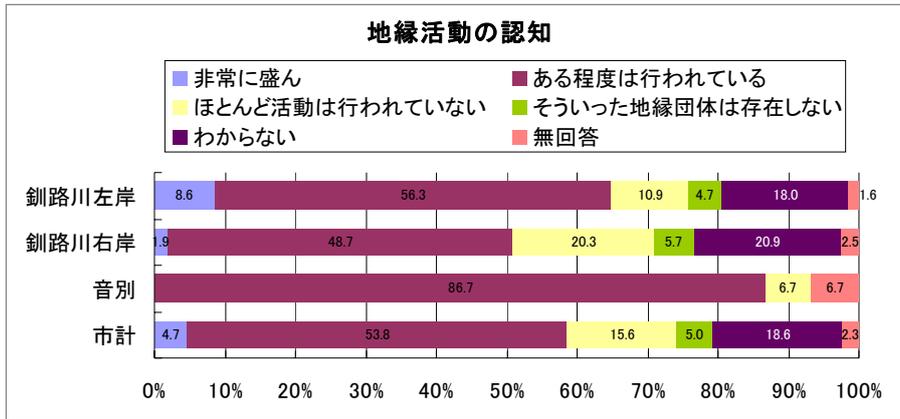
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 非常に盛ん	10	30	10	50	9.6	35.7	4.9	12.6
2 ある程度は行われている	70	48	150	271	67.3	57.1	72.8	68.1
3 ほとんど活動は行われていない	12	2	27	41	11.5	2.4	13.1	10.3
4 そういった地縁団体は存在しない	0	1	2	3	0.0	1.2	1.0	0.8
5 わからない	5	3	13	21	4.8	3.6	6.3	5.3
※ 無回答	7	0	4	12	6.7	0.0	1.9	3.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

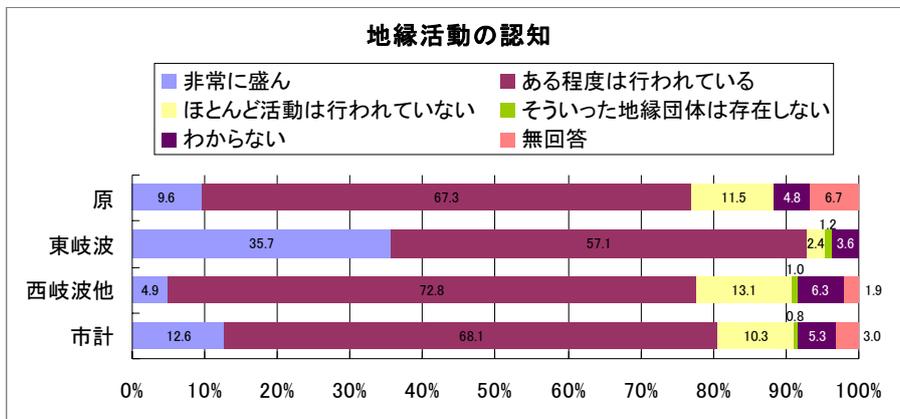
問38 地縁活動への参加

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 非常に盛ん	16	2	0	11	29	9.0	4.1	0.0	26.8	9.7
2 ある程度は行われている	112	32	14	20	184	62.9	65.3	58.3	48.8	61.7
3 ほとんど活動は行われていない	25	9	8	4	46	14.0	18.4	33.3	9.8	15.4
4 そういった地縁団体は存在しない	7	2	0	1	10	3.9	4.1	0.0	2.4	3.4
5 わからない	11	3	0	1	15	6.2	6.1	0.0	2.4	5.0
※ 無回答	7	1	2	4	14	3.9	2.0	8.3	9.8	4.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

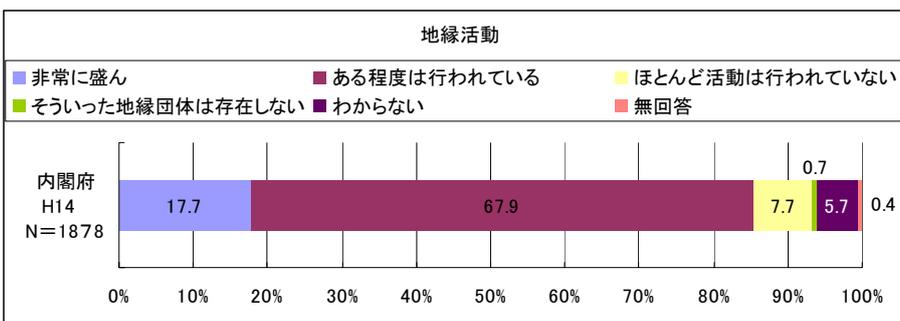
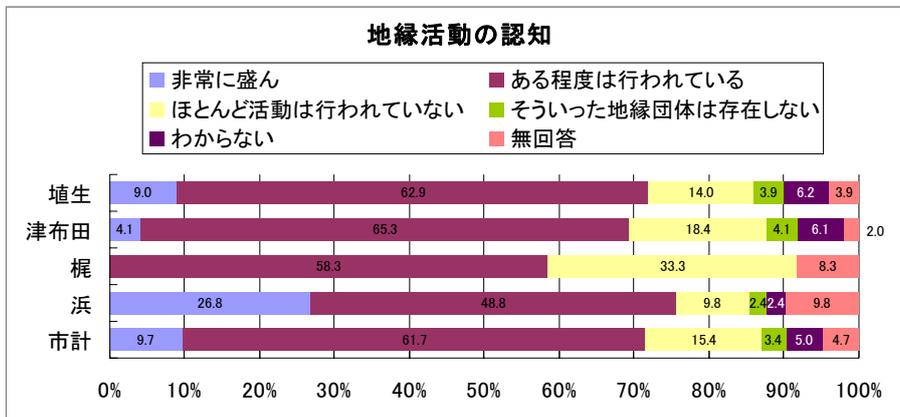
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(5) 永住意向

○釧路市

釧路市では、「永住したい」が 33.6%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が 25.2%となっている。

地区間の差異は比較的小さいが、釧路川右岸で永住意向が若干強い傾向がある。

○宇部市

宇部市では、「永住したい」が 44.5%と最も割合が高く、次いで、「どちらかといえば永住したい」が 20.4%となっている。

地区別に見ると、東岐波で永住意向が若干強い傾向がある。

○山陽小野田市

山陽小野田市の永住意向は、「永住したい」が 52.7%と最も割合が高く、次いで、「どちらともいえない」が 15.4%となっている。

地区間の差異は比較的小さい。

○内閣府調査との比較

平成 14 年度内閣府調査結果と比べると、永住意向は、釧路市でやや低く、宇部市と山陽小野田市で同程度である。

釧路市

問38 永住意向

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
1 永住したい	40	55	6	101	31.3	34.8	40.0	33.6
2 どちらかといえば永住したい	18	27	1	46	14.1	17.1	6.7	15.3
3 どちらともいえない	34	38	4	76	26.6	24.1	26.7	25.2
4 どちらかといえば永住したくない	11	11	2	24	8.6	7.0	13.3	8.0
5 永住したくない	23	24	1	48	18.0	15.2	6.7	15.9
※ 無回答	2	3	1	6	1.6	1.9	6.7	2.0
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問39 永住意向

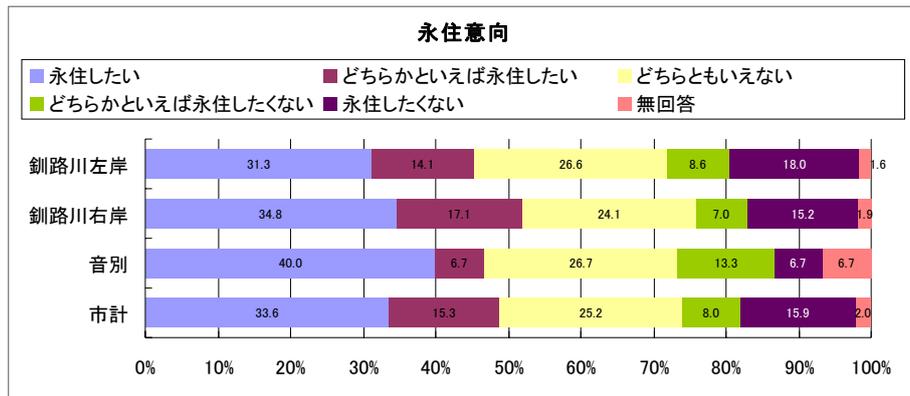
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
1 永住したい	36	45	96	177	34.6	53.6	46.6	44.5
2 どちらかといえば永住したい	24	20	36	81	23.1	23.8	17.5	20.4
3 どちらともいえない	21	10	47	80	20.2	11.9	22.8	20.1
4 どちらかといえば永住したくない	10	1	17	28	9.6	1.2	8.3	7.0
5 永住したくない	7	8	7	22	6.7	9.5	3.4	5.5
※ 無回答	6	0	3	10	5.8	0.0	1.5	2.5
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

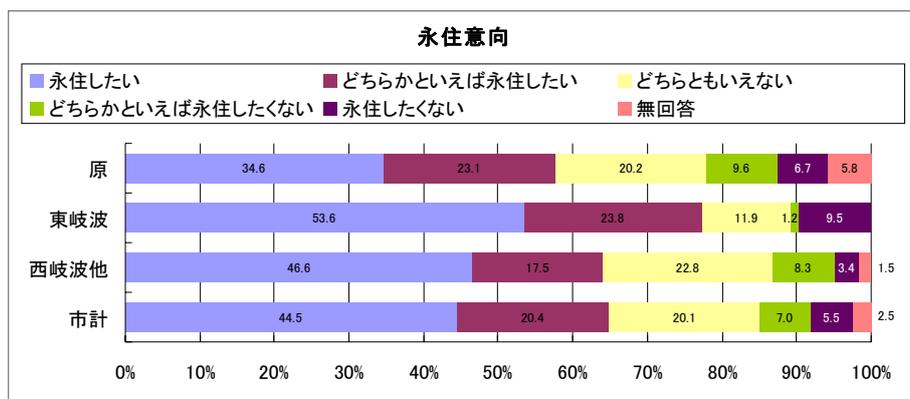
問39 永住意向

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
1 永住したい	97	25	10	21	157	54.5	51.0	41.7	51.2	52.7
2 どちらかといえば永住したい	21	7	6	4	38	11.8	14.3	25.0	9.8	12.8
3 どちらともいえない	24	9	4	7	46	13.5	18.4	16.7	17.1	15.4
4 どちらかといえば永住したくない	15	3	1	2	21	8.4	6.1	4.2	4.9	7.0
5 永住したくない	13	4	1	4	22	7.3	8.2	4.2	9.8	7.4
※ 無回答	8	1	2	3	14	4.5	2.0	8.3	7.3	4.7
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

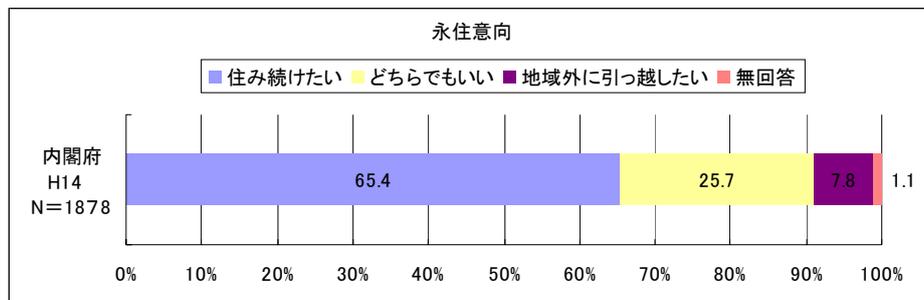
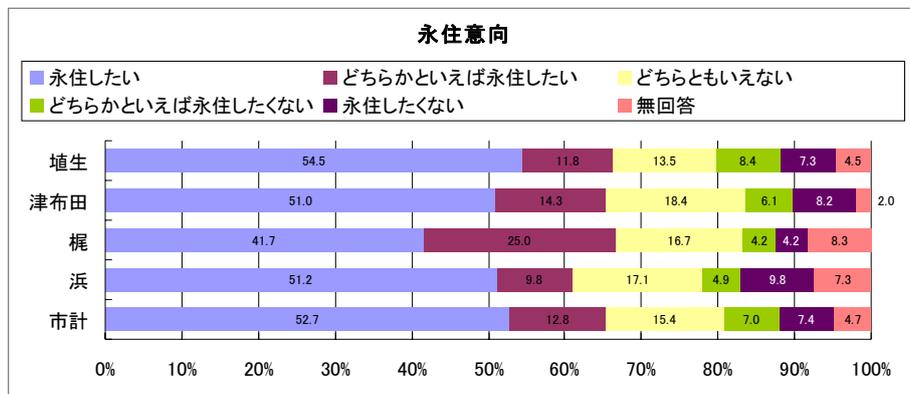
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(6) 地縁的な活動への参加状況

○釧路市

釧路市では、「活動していない」が 52.5%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が 24.6%となっている。

地区別に見ると、音別で参加している割合が高く、釧路川左岸と釧路川右岸の差異は小さい。

○宇部市

宇部市では、「年に数回程度」が 41.5%と最も割合が高く、次いで、「活動していない」が 29.6%となっている。

地区間の差異は小さい。

○山陽小野田市

山陽小野田市の地縁的な活動状況は、「年に数回程度」が 36.9%と最も割合が高く、次いで、「活動していない」が 29.2%となっている。

地区別に見ると、活動している人は津布田と浜で比較的多い。

釧路市

問39A 地縁的な活動(状況)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 活動していない	67	90	1	158	52.3	57.0	6.7	52.5
イ 年に数回程度	31	32	11	74	24.2	20.3	73.3	24.6
ウ 月に1日程度	11	10	0	21	8.6	6.3	0.0	7.0
エ 月に2~3日程度	3	2	0	5	2.3	1.3	0.0	1.7
オ 週に1日	1	2	0	3	0.8	1.3	0.0	1.0
カ 週2~3日	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
キ 週に4日以上	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
※ 無回答	15	22	3	40	11.7	13.9	20.0	13.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40A 地縁的な活動(状況)

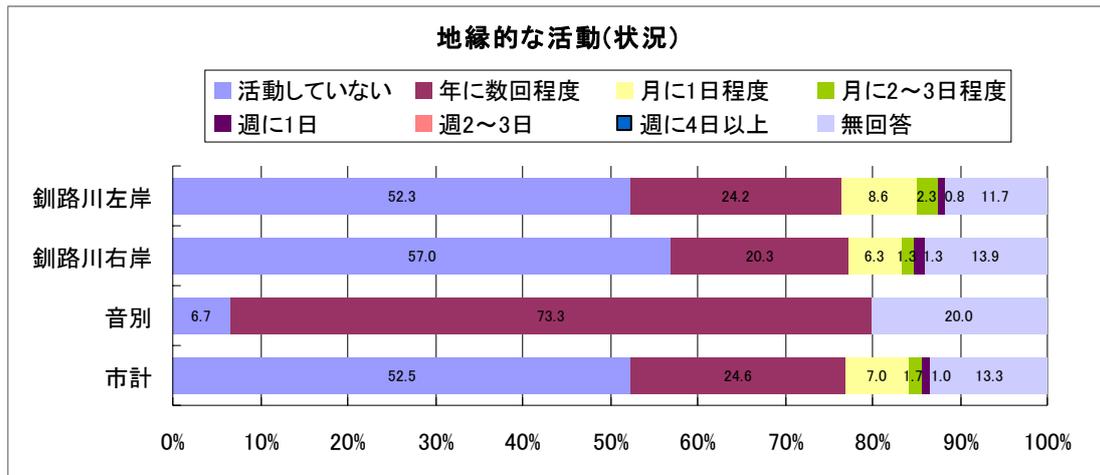
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 活動していない	30	24	64	118	28.8	28.6	31.1	29.6
イ 年に数回程度	40	37	87	165	38.5	44.0	42.2	41.5
ウ 月に1日程度	8	10	21	39	7.7	11.9	10.2	9.8
エ 月に2~3日程度	5	5	10	21	4.8	6.0	4.9	5.3
オ 週に1日	3	0	4	7	2.9	0.0	1.9	1.8
カ 週2~3日	2	0	4	7	1.9	0.0	1.9	1.8
キ 週に4日以上	4	0	1	5	3.8	0.0	0.5	1.3
※ 無回答	12	8	15	36	11.5	9.5	7.3	9.0
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

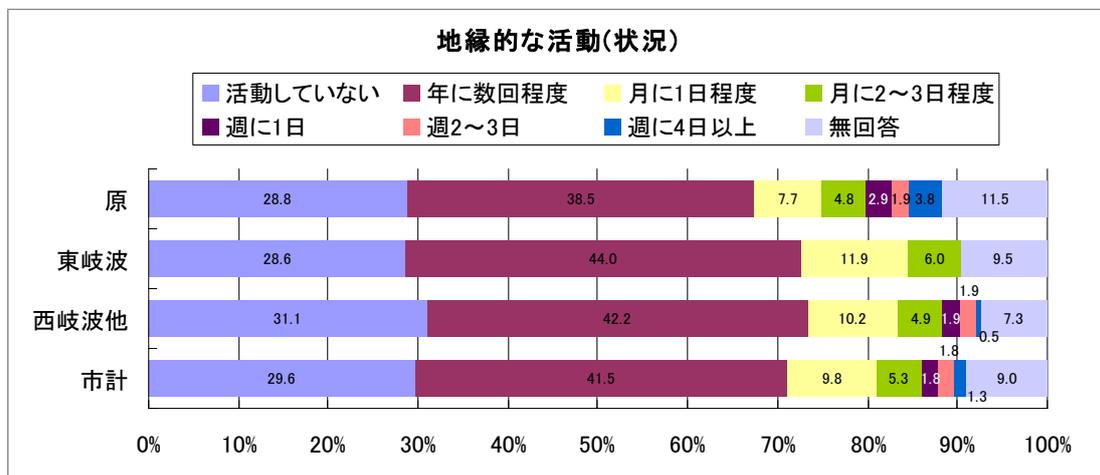
問40A 地縁的な活動(意向)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 積極的に参加したい	22	4	3	2	31	12.4	8.2	12.5	4.9	10.4
イ 現状維持したい	91	31	11	24	158	51.1	63.3	45.8	58.5	53.0
ウ 参加を控えたい	23	7	1	3	36	12.9	14.3	4.2	7.3	12.1
※ 無回答	42	7	9	12	73	23.6	14.3	37.5	29.3	24.5
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

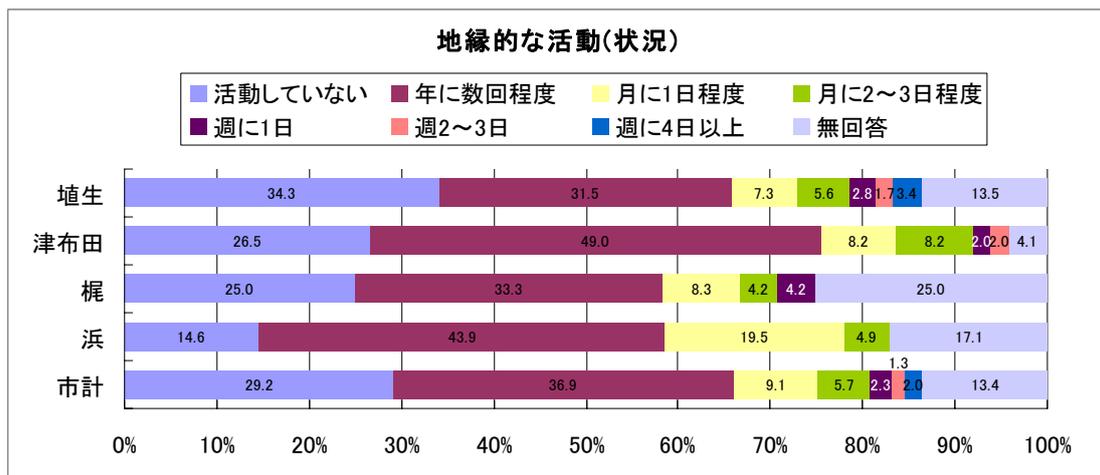
釧路市



宇部市



山陽小野田市



7) 地縁的な活動意向

○釧路市

釧路市の地縁的な活動意向は、「現状維持したい」が 45.8%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が 16.9%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「現状維持したい」が 48.4%、43.7%、46.7%と最も割合が高いが、地区により地縁的な活動意向はやや異なっている。

○宇部市

宇部市の地縁的な活動意向は、「現状維持したい」が 54.8%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が 14.6%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「現状維持したい」が 55.8%、63.1%、51.0%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市の地縁的な活動意向は、「現状維持したい」が 53.0%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が 12.1%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「現状維持したい」が 51.1%、63.3%、45.8%、58.5%と最も割合が高い。地区による大きな相違はない。

○内閣府調査との比較（5-1(6) 都市別各地域活動の活動意向を参照）

平成 14 年度内閣府調査では、「現状維持したい」が約 73%、「積極的に参加したい」が約 13%であった。各都市ともに、「現状維持したい」と「積極的に参加したい」の回答の割合が、内閣府調査より下回っている。

釧路市

問39A 地縁的な活動(意向)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 積極的に参加したい	17	13	2	32	13.3	8.2	13.3	10.6
イ 現状維持したい	62	69	7	138	48.4	43.7	46.7	45.8
ウ 参加を控えたい	23	27	1	51	18.0	17.1	6.7	16.9
※ 無回答	26	49	5	80	20.3	31.0	33.3	26.6
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40A 地縁的な活動(意向)

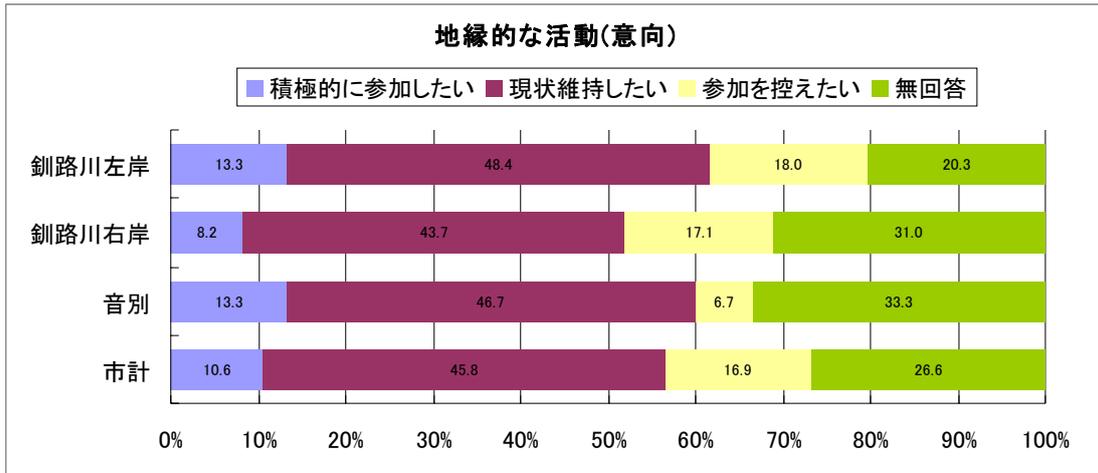
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 積極的に参加したい	7	7	20	35	6.7	8.3	9.7	8.8
イ 現状維持したい	58	53	105	218	55.8	63.1	51.0	54.8
ウ 参加を控えたい	16	12	30	58	15.4	14.3	14.6	14.6
※ 無回答	23	12	51	87	22.1	14.3	24.8	21.9
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

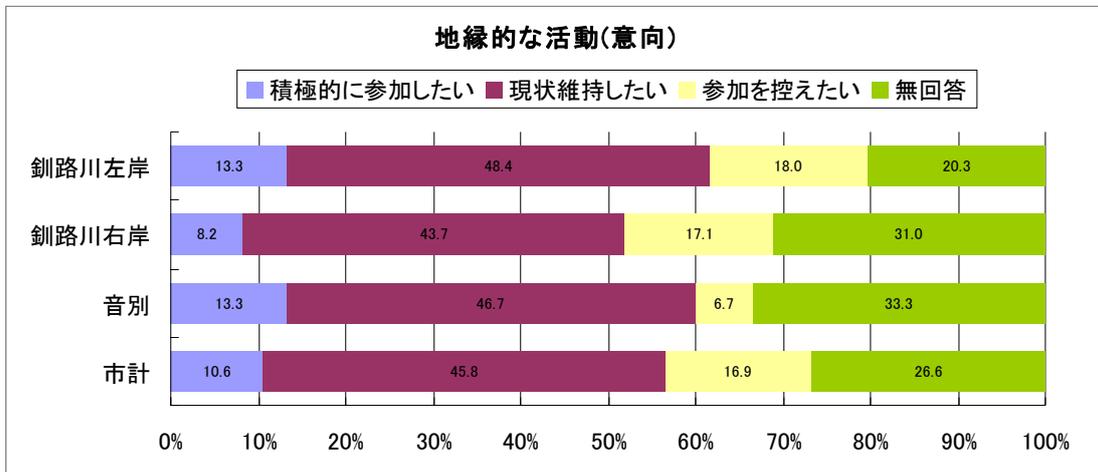
問40A 地縁的な活動(意向)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 積極的に参加したい	22	4	3	2	31	12.4	8.2	12.5	4.9	10.4
イ 現状維持したい	91	31	11	24	158	51.1	63.3	45.8	58.5	53.0
ウ 参加を控えたい	23	7	1	3	36	12.9	14.3	4.2	7.3	12.1
※ 無回答	42	7	9	12	73	23.6	14.3	37.5	29.3	24.5
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

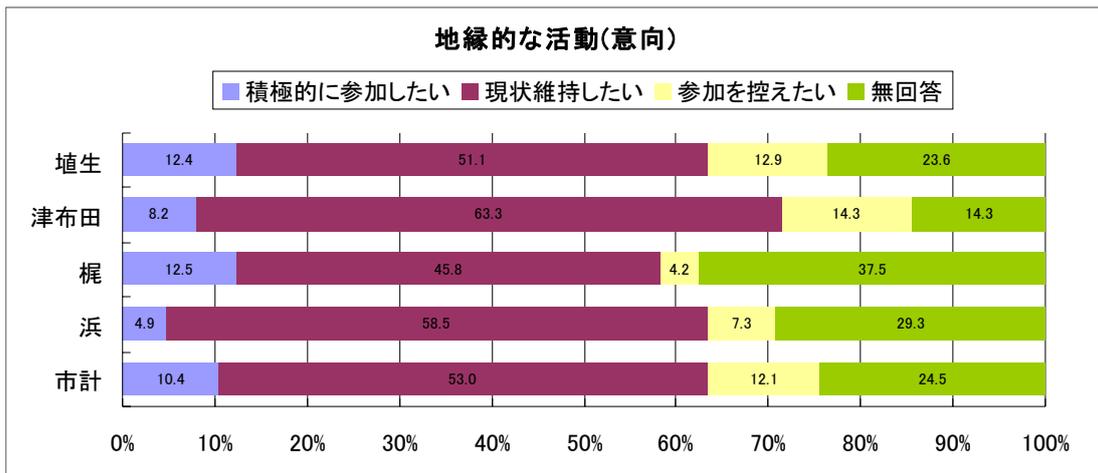
釧路市



宇部市



山陽小野田市



8) スポーツ・趣味・娯楽活動状況

○釧路市

釧路市のスポーツ・趣味・娯楽活動状況は、「活動していない」が51.8%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が7.6%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「活動していない」が53.1%、53.2%、26.7%と最も割合が高いが、地区によりスポーツ・趣味・娯楽活動状況は異なっている。

○宇部市

宇部市のスポーツ・趣味・娯楽活動状況は、「活動していない」が53.0%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が10.3%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「活動していない」が51.9%、44.0%、57.8%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市のスポーツ・趣味・娯楽活動状況は、「活動していない」が45.0%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が9.1%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「活動していない」が46.6%、59.2%、25.0%、31.7%と最も割合が高いが、地区によりスポーツ・趣味・娯楽活動状況は異なっている。

○内閣府調査との比較（5-1(6) 都市別各地域活動の活動状況と活動頻度を参照）

平成14年度内閣府調査結果は、「活動していない」が約68%である。各都市ともに「活動していない」への回答が内閣府より下回っている。活動頻度は「年に数回程度」が約14%である。各都市ともに「年に数回程度」への回答が内閣府より上回っている。

釧路市

問39B スポーツ・趣味・娯楽活動(状況)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 活動していない	68	84	4	156	53.1	53.2	26.7	51.8
イ 年に数回程度	10	10	3	23	7.8	6.3	20.0	7.6
ウ 月に1日程度	3	4	0	7	2.3	2.5	0.0	2.3
エ 月に2~3日程度	5	7	1	13	3.9	4.4	6.7	4.3
オ 週に1日	12	7	1	20	9.4	4.4	6.7	6.6
カ 週2~3日	8	10	2	20	6.3	6.3	13.3	6.6
キ 週に4日以上	2	7	0	9	1.6	4.4	0.0	3.0
※ 無回答	20	29	4	53	15.6	18.4	26.7	17.6
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40B スポーツ・趣味・娯楽活動(状況)

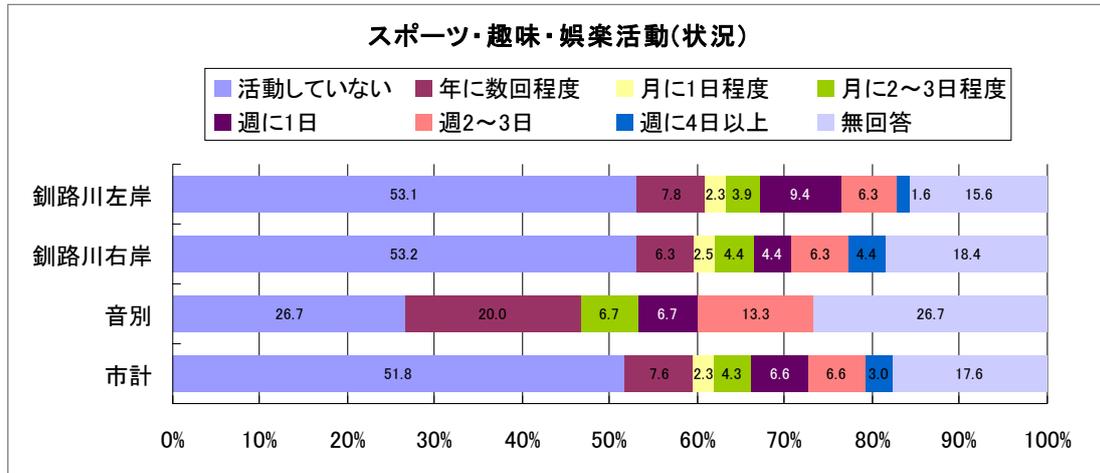
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 活動していない	54	37	119	211	51.9	44.0	57.8	53.0
イ 年に数回程度	11	13	16	41	10.6	15.5	7.8	10.3
ウ 月に1日程度	2	4	11	17	1.9	4.8	5.3	4.3
エ 月に2~3日程度	4	7	11	22	3.8	8.3	5.3	5.5
オ 週に1日	4	7	15	26	3.8	8.3	7.3	6.5
カ 週2~3日	3	4	6	13	2.9	4.8	2.9	3.3
キ 週に4日以上	6	2	1	9	5.8	2.4	0.5	2.3
※ 無回答	20	10	27	59	19.2	11.9	13.1	14.8
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

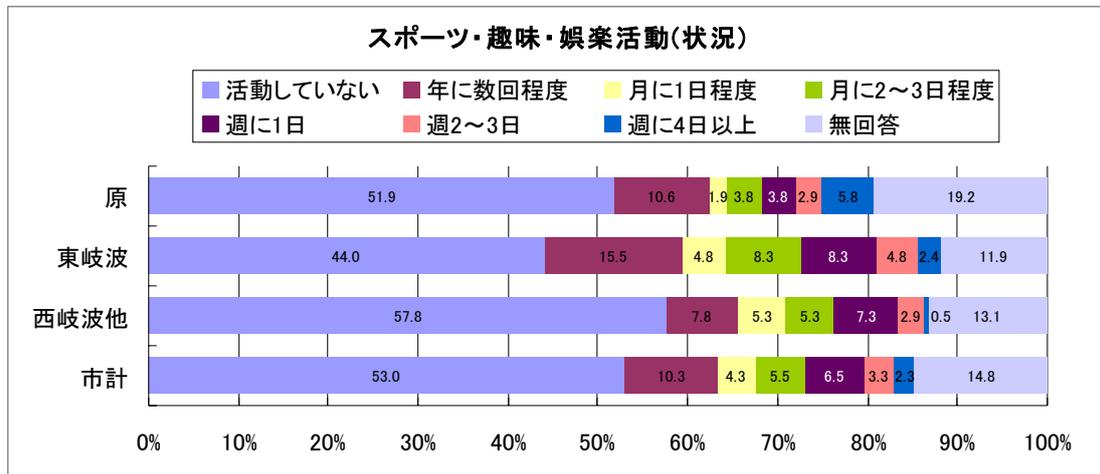
問40B スポーツ・趣味・娯楽活動(状況)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 活動していない	83	29	6	13	134	46.6	59.2	25.0	31.7	45.0
イ 年に数回程度	12	6	4	5	27	6.7	12.2	16.7	12.2	9.1
ウ 月に1日程度	6	5	1	5	18	3.4	10.2	4.2	12.2	6.0
エ 月に2~3日程度	11	4	3	3	21	6.2	8.2	12.5	7.3	7.0
オ 週に1日	8	0	0	2	10	4.5	0.0	0.0	4.9	3.4
カ 週2~3日	10	2	1	1	14	5.6	4.1	4.2	2.4	4.7
キ 週に4日以上	4	0	0	1	5	2.2	0.0	0.0	2.4	1.7
※ 無回答	44	3	9	11	69	24.7	6.1	37.5	26.8	23.2
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

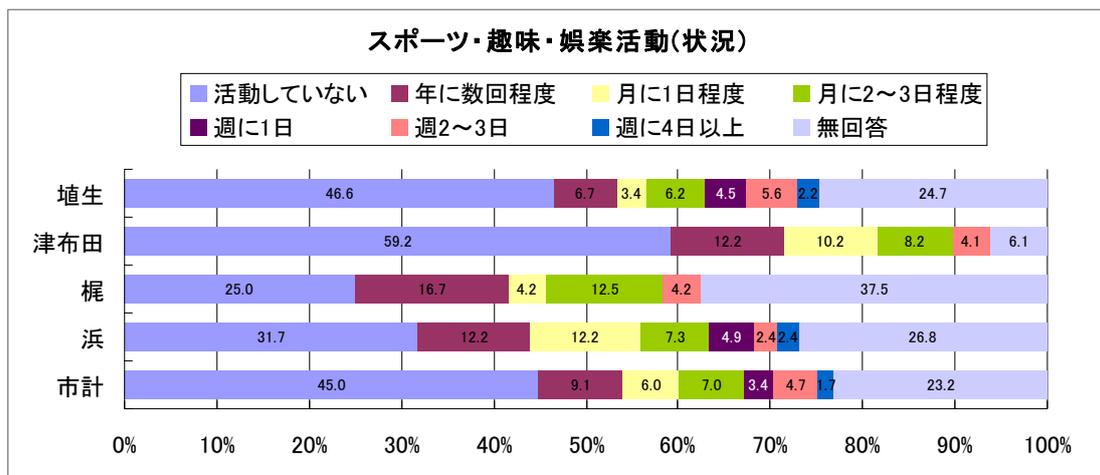
釧路市



宇部市



山陽小野田市



9) スポーツ・趣味・娯楽活動意向

○釧路市

釧路市のスポーツ・趣味・娯楽活動意向は、「現状維持したい」が39.2%と最も割合が高く、次いで、「積極的に参加したい」が17.3%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「現状維持したい」が39.1%、39.9%、33.3%と最も割合が高いが、地区によりスポーツ・趣味・娯楽活動意向はやや異なっている。

○宇部市

宇部市のスポーツ・趣味・娯楽活動意向は、「現状維持したい」が41.0%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が16.1%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「現状維持したい」が45.2%、45.2%、37.4%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市のスポーツ・趣味・娯楽活動意向は、「現状維持したい」が42.6%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が15.1%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「現状維持したい」が44.4%、46.9%、37.5%、36.6%と最も割合が高い。地区によりスポーツ・趣味・娯楽活動意向はやや異なっている。

○内閣府調査との比較（5-1(6) 都市別各地域活動の活動意向を参照）

平成14年度内閣府調査結果は、「現状維持したい」が約66%、「積極的に参加したい」が約27%である。各都市ともに「現状維持したい」と「積極的に参加したい」への回答が内閣府より下回っている。

釧路市

問39B スポーツ・趣味・娯楽活動(意向)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 積極的に参加したい	27	23	2	52	21.1	14.6	13.3	17.3
イ 現状維持したい	50	63	5	118	39.1	39.9	33.3	39.2
ウ 参加を控えたい	18	22	1	41	14.1	13.9	6.7	13.6
※ 無回答	33	50	7	90	25.8	31.6	46.7	29.9
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40B スポーツ・趣味・娯楽活動(意向)

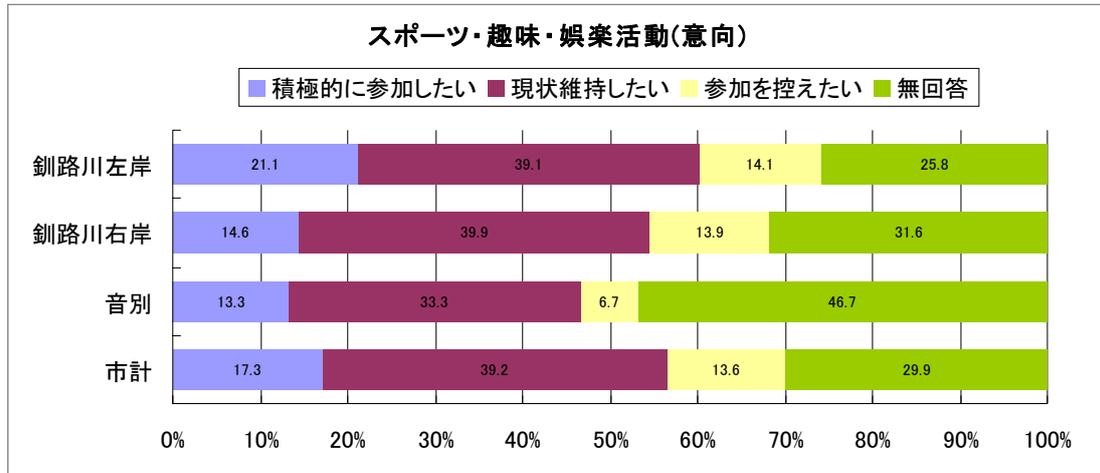
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 積極的に参加したい	14	15	31	61	13.5	17.9	15.0	15.3
イ 現状維持したい	47	38	77	163	45.2	45.2	37.4	41.0
ウ 参加を控えたい	14	14	35	64	13.5	16.7	17.0	16.1
※ 無回答	29	17	63	110	27.9	20.2	30.6	27.6
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

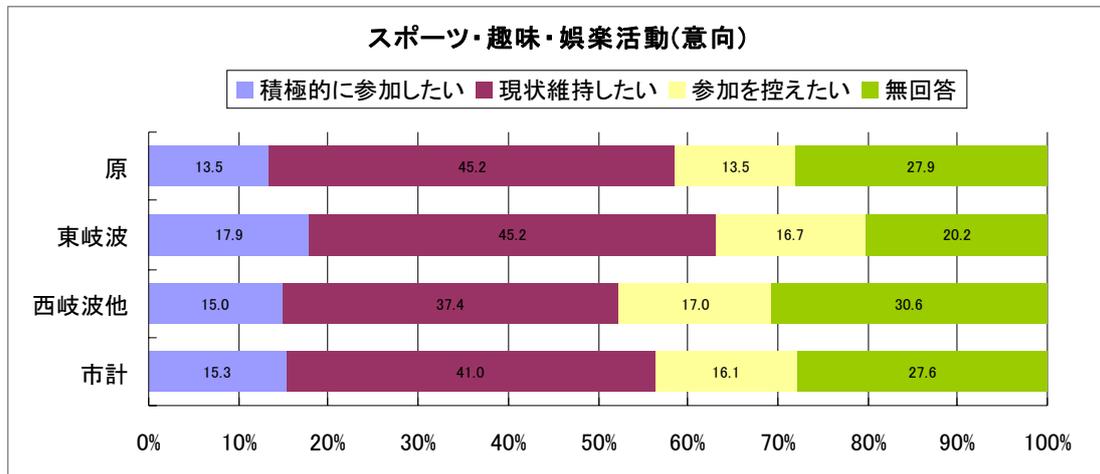
問40B スポーツ・趣味・娯楽活動(意向)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 積極的に参加したい	20	7	2	8	38	11.2	14.3	8.3	19.5	12.8
イ 現状維持したい	79	23	9	15	127	44.4	46.9	37.5	36.6	42.6
ウ 参加を控えたい	26	12	3	4	45	14.6	24.5	12.5	9.8	15.1
※ 無回答	53	7	10	14	88	29.8	14.3	41.7	34.1	29.5
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

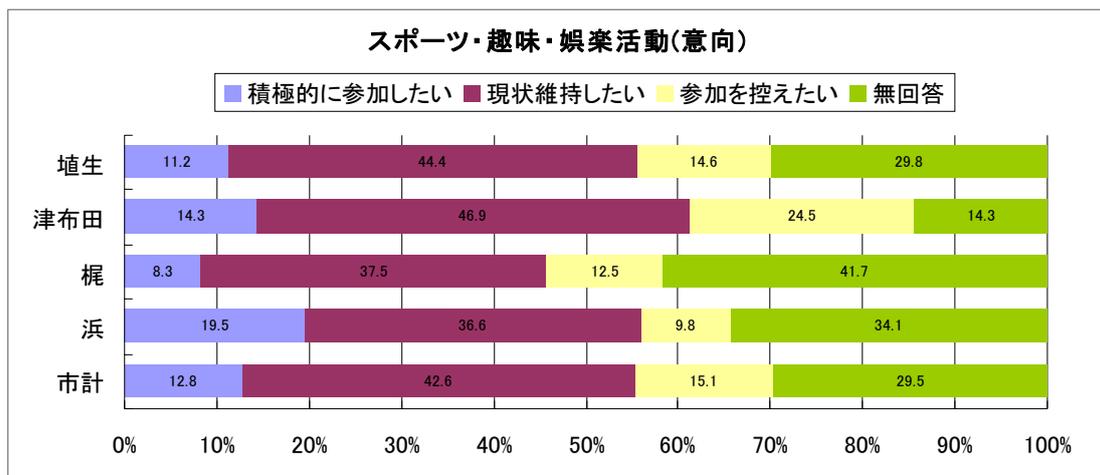
釧路市



宇部市



山陽小野田市



10) ボランティア・NPO・市民活動状況

○釧路市

釧路市のボランティア・NPO・市民活動状況は、「活動していない」が62.8%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が10.3%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「活動していない」が64.8%、63.9%、33.3%と最も割合が高いが、地区によりボランティア・NPO・市民活動状況は異なっている。

○宇部市

宇部市のボランティア・NPO・市民活動状況は、「活動していない」が61.1%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が14.3%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「活動していない」が53.8%、56.0%、67.5%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市のボランティア・NPO・市民活動状況は、「活動していない」が49.0%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が18.8%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「活動していない」が49.4%、63.3%、33.3%、43.9%と最も割合が高いが、地区によりボランティア・NPO・市民活動状況は異なっている。

○内閣府調査との比較（5-1(6) 都市別各地域活動の活動状況と活動頻度を参照）

平成14年度内閣府調査結果は、「活動していない」が約83%である。各都市ともに「活動していない」への回答が内閣府より下回っている。活動頻度は「年に数回程度」が約36%である。各都市ともに「年に数回程度」への回答が内閣府より上回っている。

釧路市

問39C ボランティア・NPO・市民活動(状況)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 活動していない	83	101	5	189	64.8	63.9	33.3	62.8
イ 年に数回程度	11	18	2	31	8.6	11.4	13.3	10.3
ウ 月に1日程度	6	2	2	10	4.7	1.3	13.3	3.3
エ 月に2～3日程度	3	3	1	7	2.3	1.9	6.7	2.3
オ 週に1日	0	3	0	3	0.0	1.9	0.0	1.0
カ 週2～3日	2	2	0	4	1.6	1.3	0.0	1.3
キ 週に4日以上	1	1	0	2	0.8	0.6	0.0	0.7
※ 無回答	22	28	5	55	17.2	17.7	33.3	18.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40C ボランティア・NPO・市民活動(状況)

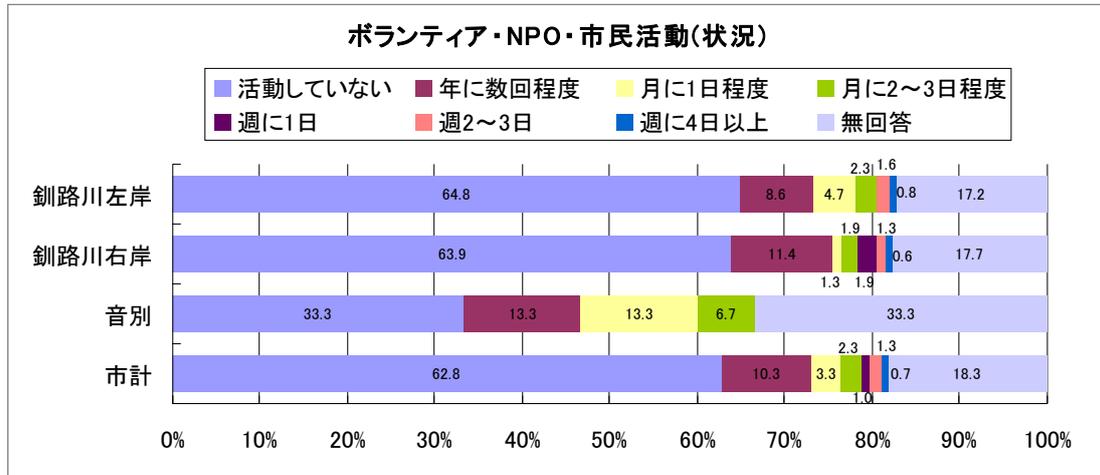
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 活動していない	56	47	139	243	53.8	56.0	67.5	61.1
イ 年に数回程度	14	18	25	57	13.5	21.4	12.1	14.3
ウ 月に1日程度	2	2	8	12	1.9	2.4	3.9	3.0
エ 月に2～3日程度	3	1	4	8	2.9	1.2	1.9	2.0
オ 週に1日	3	1	1	5	2.9	1.2	0.5	1.3
カ 週2～3日	1	0	1	2	1.0	0.0	0.5	0.5
キ 週に4日以上	1	2	1	5	1.0	2.4	0.5	1.3
※ 無回答	24	13	27	66	23.1	15.5	13.1	16.6
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

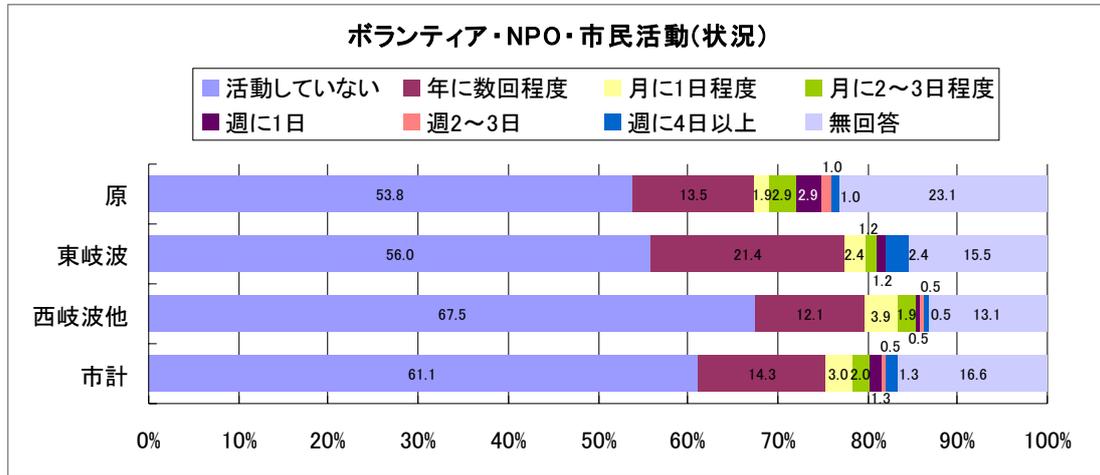
問40C ボランティア・NPO・市民活動(状況)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 活動していない	88	31	8	18	146	49.4	63.3	33.3	43.9	49.0
イ 年に数回程度	28	10	5	12	56	15.7	20.4	20.8	29.3	18.8
ウ 月に1日程度	9	0	2	2	14	5.1	0.0	8.3	4.9	4.7
エ 月に2～3日程度	3	2	2	0	7	1.7	4.1	8.3	0.0	2.3
オ 週に1日	2	0	0	0	2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.7
カ 週2～3日	2	2	0	0	4	1.1	4.1	0.0	0.0	1.3
キ 週に4日以上	3	0	0	0	3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.0
※ 無回答	43	4	7	9	66	24.2	8.2	29.2	22.0	22.1
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

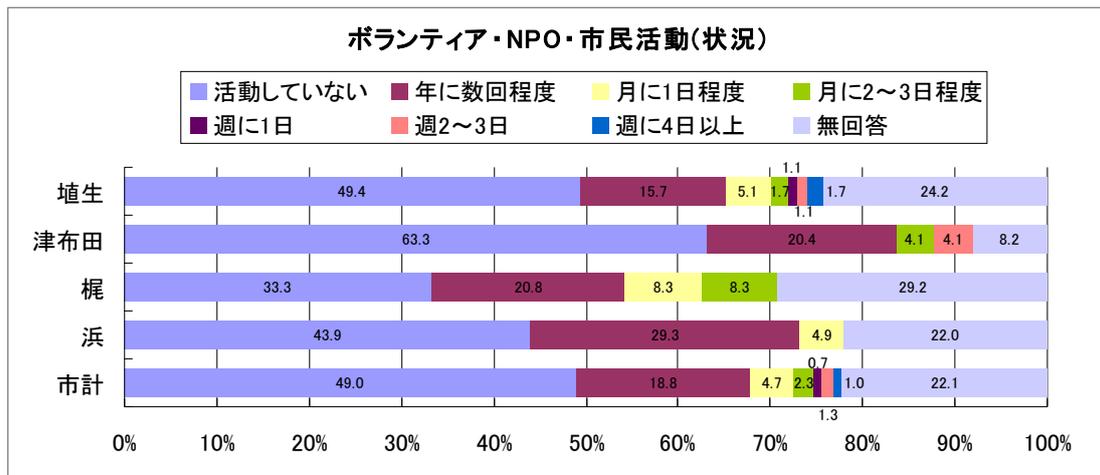
釧路市



宇部市



山陽小野田市



1 1) ボランティア・NPO・市民活動意向

○釧路市

釧路市のボランティア・NPO・市民活動意向は、「現状維持したい」が38.5%と最も割合が高く、次いで、「積極的に参加したい」が15.6%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「現状維持したい」が43.0%、34.8%、40.0%と最も割合が高いが、地区によりボランティア・NPO・市民活動意向はやや異なっている。

○宇部市

宇部市のボランティア・NPO・市民活動意向は、「現状維持したい」が38.4%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が18.6%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「現状維持したい」が40.4%、42.9%、36.4%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市のボランティア・NPO・市民活動意向は、「現状維持したい」が40.6%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が14.4%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「現状維持したい」が40.4%、49.0%、33.3%、39.0%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○内閣府調査との比較（5-1(6) 都市別各地域活動の活動意向を参照）

平成14年度内閣府調査結果は、「現状維持したい」が約63%、「積極的に参加したい」が約25%である。各都市ともに「現状維持したい」と「積極的に参加したい」への回答が内閣府より下回っている。

釧路市

問39C ボランティア・NPO・市民活動(意向)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 積極的に参加したい	20	26	1	47	15.6	16.5	6.7	15.6
イ 現状維持したい	55	55	6	116	43.0	34.8	40.0	38.5
ウ 参加を控えたい	18	26	1	45	14.1	16.5	6.7	15.0
※ 無回答	35	51	7	93	27.3	32.3	46.7	30.9
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40C ボランティア・NPO・市民活動(意向)

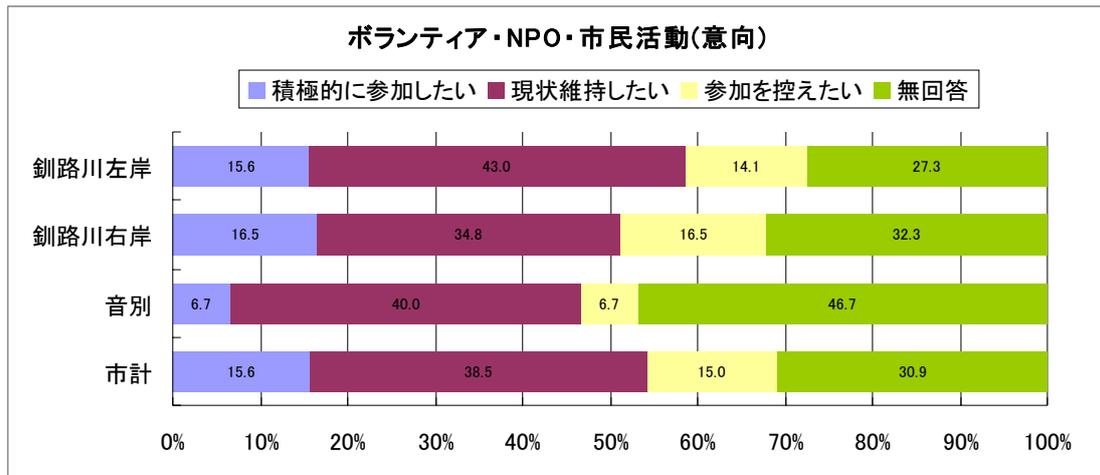
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 積極的に参加したい	13	12	26	52	12.5	14.3	12.6	13.1
イ 現状維持したい	42	36	75	153	40.4	42.9	36.4	38.4
ウ 参加を控えたい	17	17	38	74	16.3	20.2	18.4	18.6
※ 無回答	32	19	67	119	30.8	22.6	32.5	29.9
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

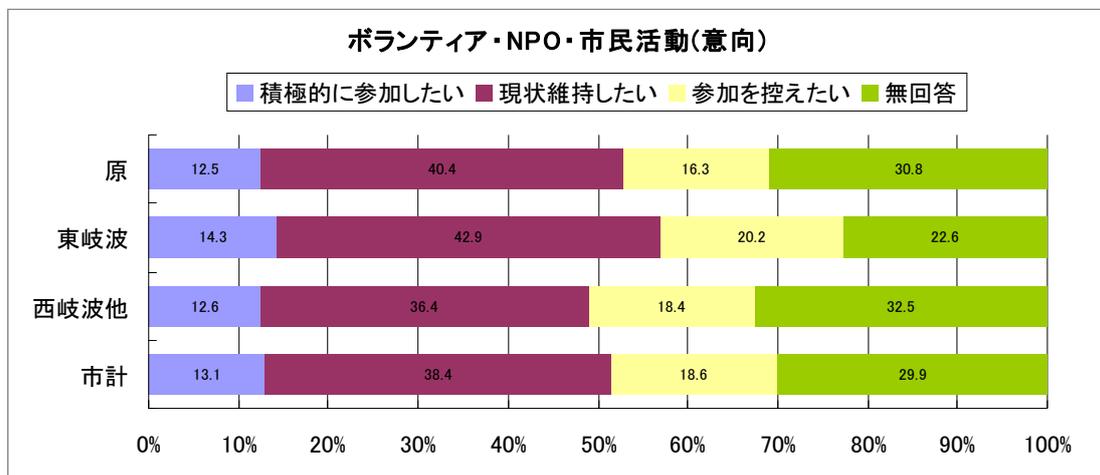
問40C ボランティア・NPO・市民活動(意向)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 積極的に参加したい	20	9	3	6	38	11.2	18.4	12.5	14.6	12.8
イ 現状維持したい	72	24	8	16	121	40.4	49.0	33.3	39.0	40.6
ウ 参加を控えたい	25	8	4	6	43	14.0	16.3	16.7	14.6	14.4
※ 無回答	61	8	9	13	96	34.3	16.3	37.5	31.7	32.2
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

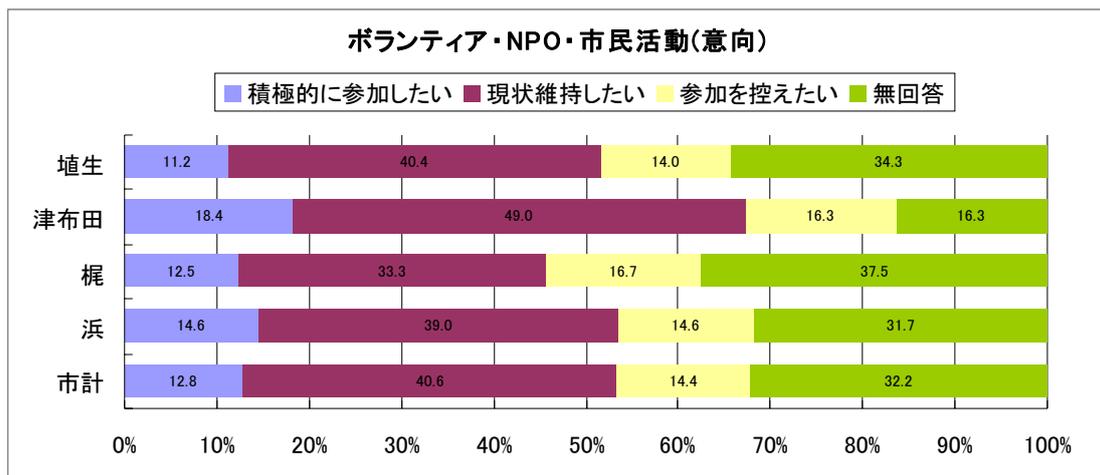
釧路市



宇部市



山陽小野田市



1 2) その他団体活動状況

○釧路市

釧路市のその他団体活動状況は、「活動していない」が 65.1%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が 8.3%となっている。

地区別では、釧路川右岸, 釧路川左岸, 音別は, 市計と同様に「活動していない」が 69.5%, 62.0%, 60.0%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○宇部市

宇部市のその他団体活動状況は、「活動していない」が 67.3%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が 7.5%となっている。

地区別では、東岐波, 西岐波他, 原は, 市計と同様に「活動していない」が 64.4%, 69.0%, 68.4%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市のその他団体活動状況は、「活動していない」が 57.0%と最も割合が高く、次いで、「年に数回程度」が 6.7%となっている。

地区別では、埴生, 津布田, 梶, 浜は, 市計と同様に「活動していない」が 54.5%, 77.6%, 45.8%, 56.1%と最も割合が高いが、地区によりその他団体活動状況は異なっている。

○内閣府調査との比較（5－1(6) 都市別各地域活動の活動状況と活動頻度を参照）

平成 14 年度内閣府調査結果は、「活動していない」が約 88%である。各都市ともに「活動していない」への回答が内閣府より下回っている。活動頻度は「年に数回程度」が約 25%である。各都市ともに「年に数回程度」への回答が内閣府より上回っている。

釧路市

問39D その他の団体活動(状況)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 活動していない	89	98	9	196	69.5	62.0	60.0	65.1
イ 年に数回程度	13	11	1	25	10.2	7.0	6.7	8.3
ウ 月に1日程度	1	7	0	8	0.8	4.4	0.0	2.7
エ 月に2～3日程度	3	5	0	8	2.3	3.2	0.0	2.7
オ 週に1日	0	3	0	3	0.0	1.9	0.0	1.0
カ 週2～3日	0	1	0	1	0.0	0.6	0.0	0.3
キ 週に4日以上	1	1	0	2	0.8	0.6	0.0	0.7
※ 無回答	21	32	5	58	16.4	20.3	33.3	19.3
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40D その他の団体活動(状況)

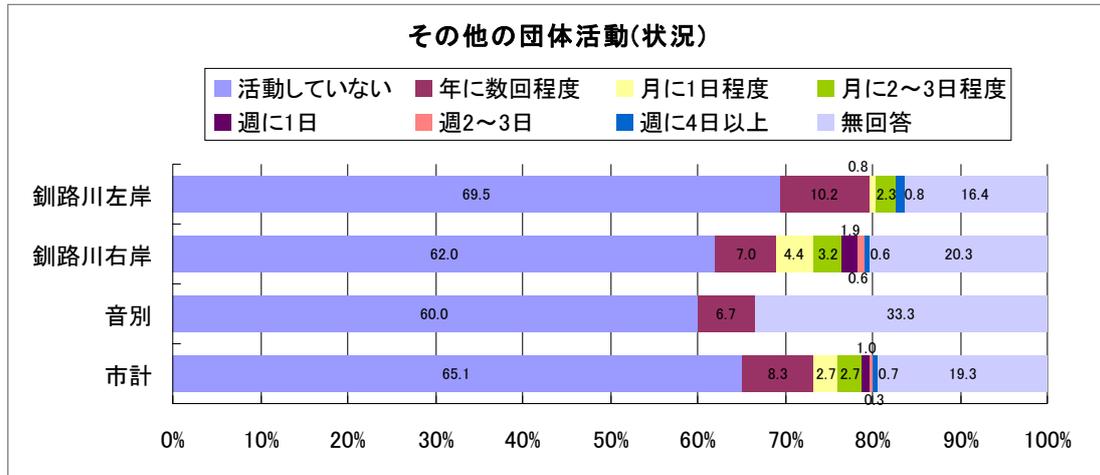
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 活動していない	67	58	141	268	64.4	69.0	68.4	67.3
イ 年に数回程度	5	10	15	30	4.8	11.9	7.3	7.5
ウ 月に1日程度	2	4	7	14	1.9	4.8	3.4	3.5
エ 月に2～3日程度	4	1	6	11	3.8	1.2	2.9	2.8
オ 週に1日	0	0	1	1	0.0	0.0	0.5	0.3
カ 週2～3日	1	0	2	3	1.0	0.0	1.0	0.8
キ 週に4日以上	1	0	4	5	1.0	0.0	1.9	1.3
※ 無回答	24	11	30	66	23.1	13.1	14.6	16.6
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

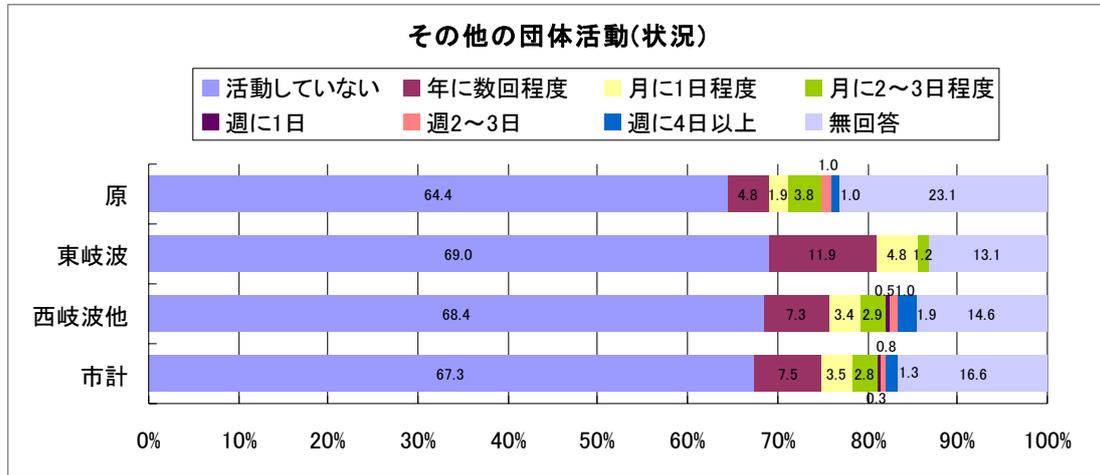
問40D その他の団体活動(状況)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 活動していない	97	38	11	23	170	54.5	77.6	45.8	56.1	57.0
イ 年に数回程度	11	3	2	4	20	6.2	6.1	8.3	9.8	6.7
ウ 月に1日程度	10	3	0	0	14	5.6	6.1	0.0	0.0	4.7
エ 月に2～3日程度	9	1	1	0	11	5.1	2.0	4.2	0.0	3.7
オ 週に1日	0	0	0	1	2	0.0	0.0	0.0	2.4	0.7
カ 週2～3日	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
キ 週に4日以上	4	0	0	0	4	2.2	0.0	0.0	0.0	1.3
※ 無回答	47	4	10	13	77	26.4	8.2	41.7	31.7	25.8
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

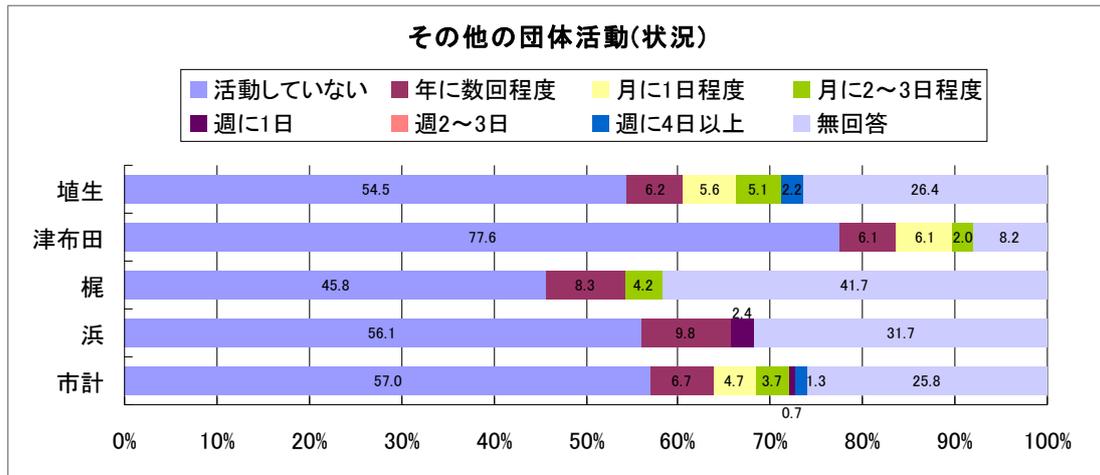
釧路市



宇部市



山陽小野田市



1.3) その他団体活動意向

○釧路市

釧路市のその他団体活動意向は、「現状維持したい」が 38.5%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が 25.9%となっている。

地区別では、釧路川右岸、釧路川左岸、音別は、市計と同様に「現状維持したい」が 42.24%、36.1%、33.3%と最も割合が高いが、地区によりその他団体活動意向は異なっている。

○宇部市

宇部市のその他団体活動意向は、「現状維持したい」が 37.2%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が 28.9%となっている。

地区別では、原、東岐波、西岐波他は、市計と同様に「現状維持したい」が 33.7%、47.6%、35.0%と最も割合が高く、地区による大きな相違はない。

○山陽小野田市

山陽小野田市のその他団体活動意向は、「現状維持したい」が 34.2%と最も割合が高く、次いで、「参加を控えたい」が 27.2%となっている。

地区別では、埴生、津布田、梶、浜は、市計と同様に「現状維持したい」が 37.1%、44.9%、20.8%、19.5%と最も割合が高く、地区によりその他団体活動意向は、異なっている。

○内閣府調査との比較（5-1(6) 都市別各地域活動の活動意向を参照）

平成 14 年度内閣府調査結果は、「現状維持したい」が約 61%、「積極的に参加したい」が約 28%である。各都市ともに「現状維持したい」と「積極的に参加したい」への回答が内閣府より下回っている。

釧路市

問39D その他の団体活動(意向)

	実数				構成比(%)			
	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計	釧路川左岸	釧路川右岸	音別	市計
ア 積極的に参加したい	4	8	1	13	3.1	5.1	6.7	4.3
イ 現状維持したい	54	57	5	116	42.2	36.1	33.3	38.5
ウ 参加を控えたい	34	43	1	78	26.6	27.2	6.7	25.9
※ 無回答	36	50	8	94	28.1	31.6	53.3	31.2
N=301 総計	128	158	15	301	100.0	100.0	100.0	100.0

宇部市

問40D その他の団体活動(意向)

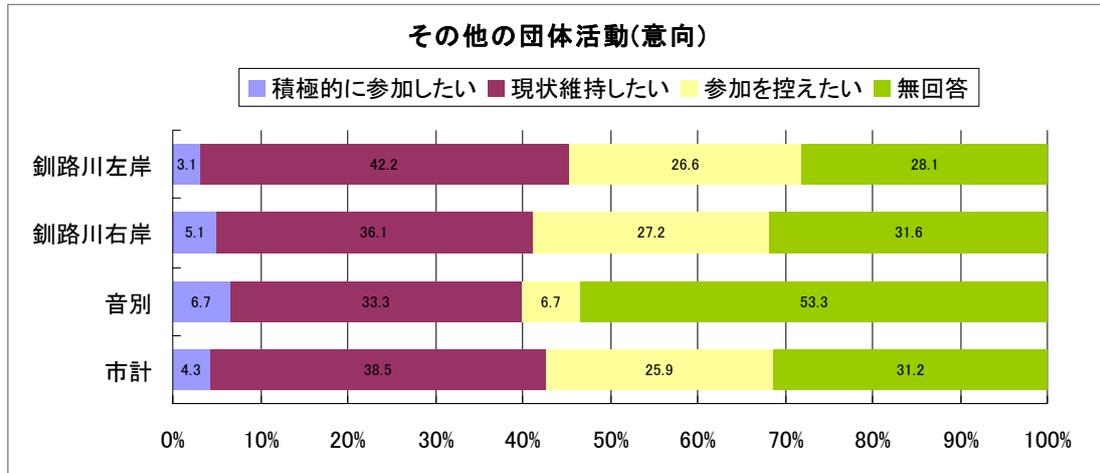
	実数				構成比(%)			
	原	東岐波	西岐波他	市計	原	東岐波	西岐波他	市計
ア 積極的に参加したい	6	2	5	13	5.8	2.4	2.4	3.3
イ 現状維持したい	35	40	72	148	33.7	47.6	35.0	37.2
ウ 参加を控えたい	30	24	59	115	28.8	28.6	28.6	28.9
※ 無回答	33	18	70	122	31.7	21.4	34.0	30.7
N=398 総計	104	84	206	398	100.0	100.0	100.0	100.0

山陽小野田市

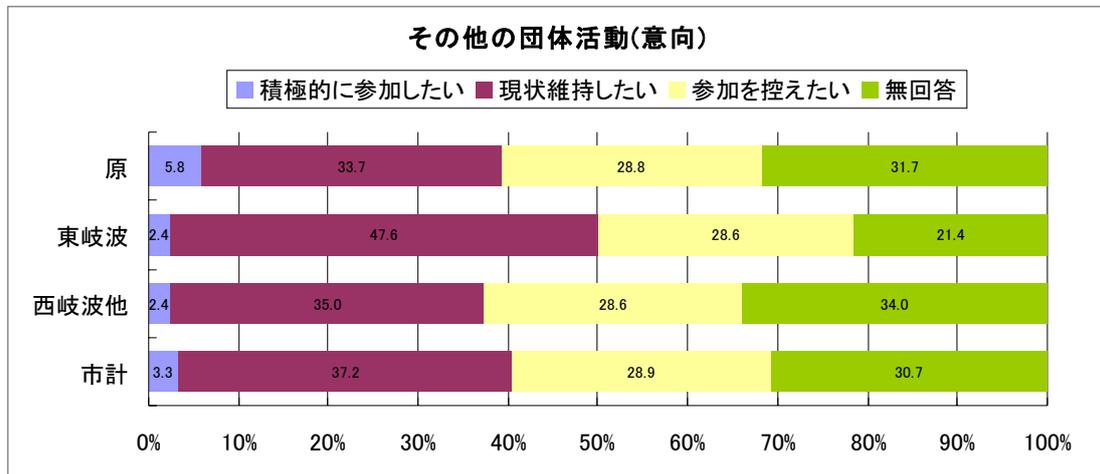
問40D その他の団体活動(意向)

	実数					構成比(%)				
	埴生	津布田	梶	浜	市計	埴生	津布田	梶	浜	市計
ア 積極的に参加したい	9	0	1	1	11	5.1	0.0	4.2	2.4	3.7
イ 現状維持したい	66	22	5	8	102	37.1	44.9	20.8	19.5	34.2
ウ 参加を控えたい	41	19	6	15	81	23.0	38.8	25.0	36.6	27.2
※ 無回答	62	8	12	17	104	34.8	16.3	50.0	41.5	34.9
N=298 総計	178	49	24	41	298	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

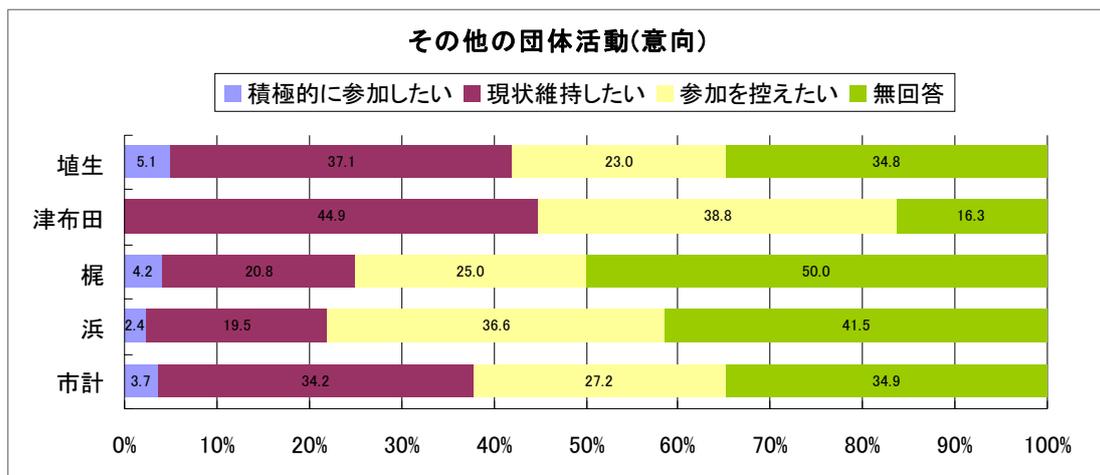
釧路市



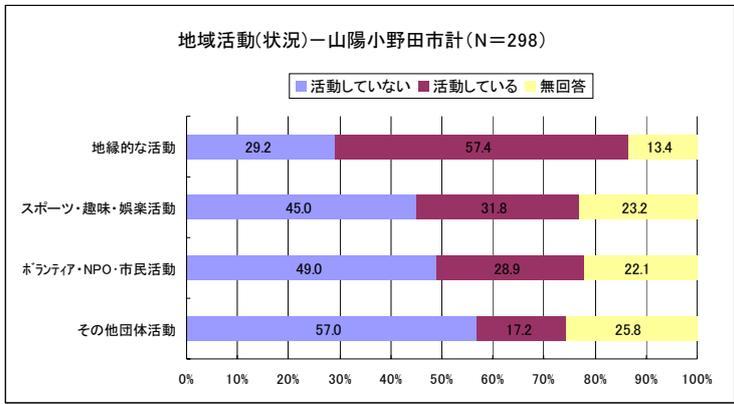
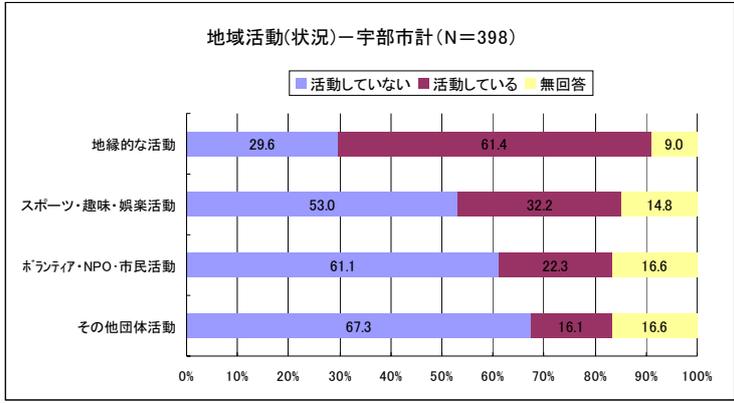
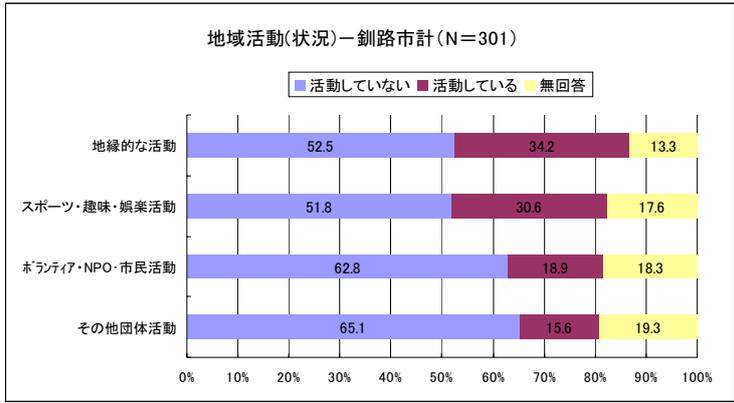
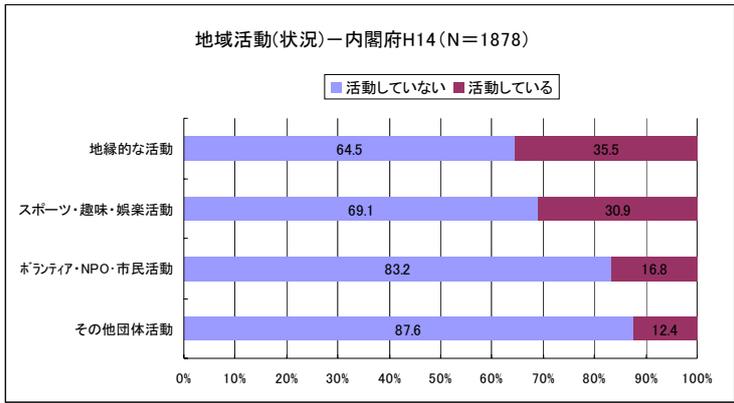
宇部市



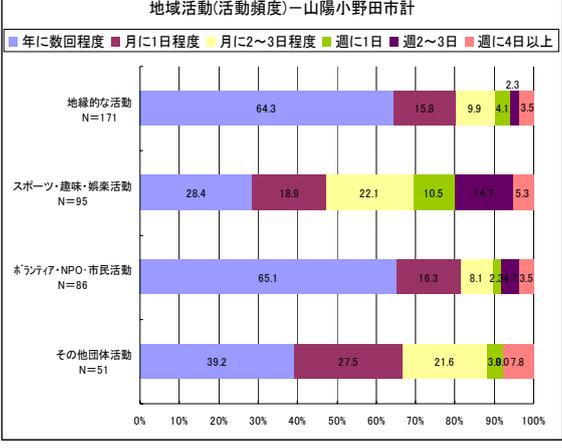
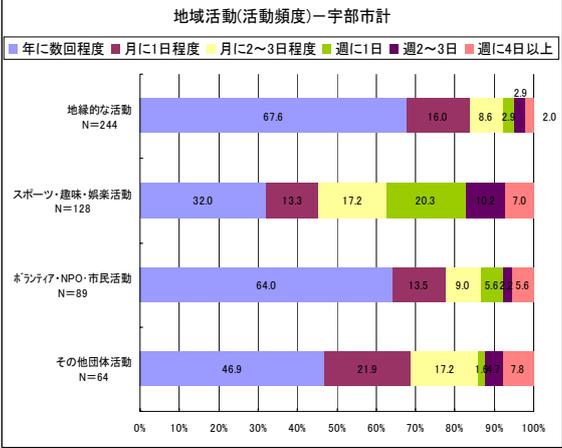
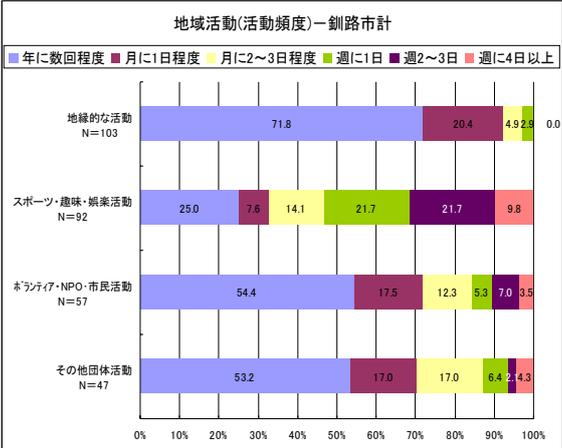
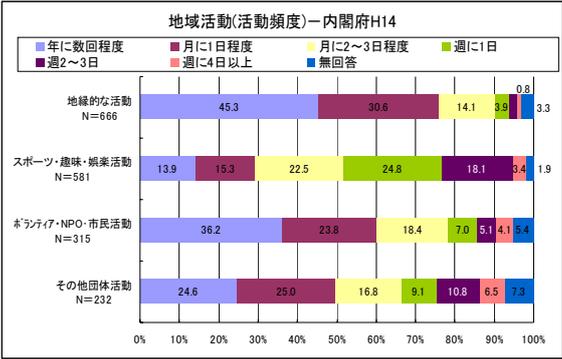
山陽小野田市



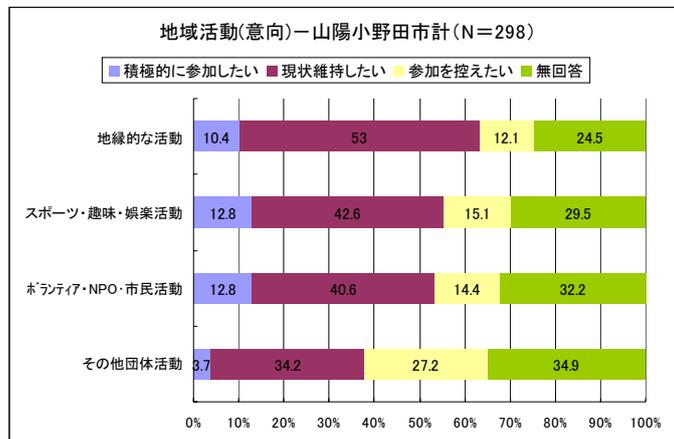
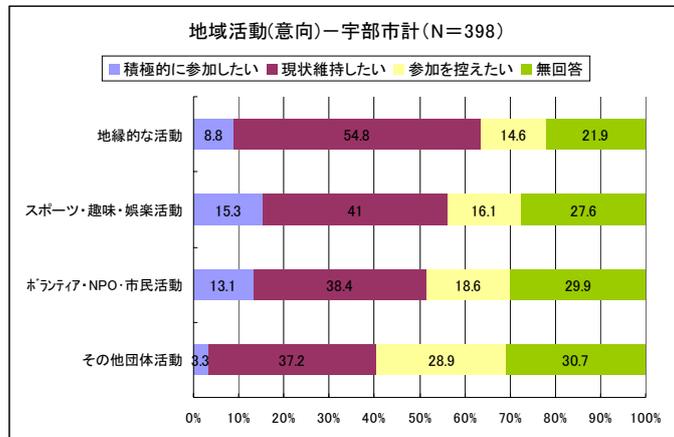
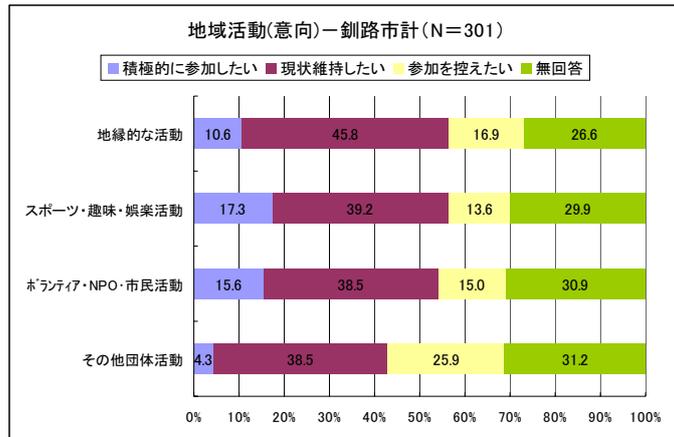
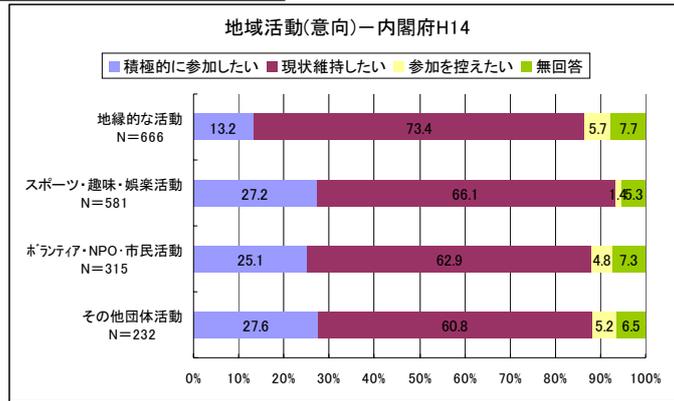
都市別 各地域活動の活動状況



都市別 各地域活動の活動頻度



都市別 各地域活動の活動意向



2.2.4.11 クロス集計

(1) 標高・海岸線からの距離等と避難行動

都市別に標高，浸水深，海岸線からの距離，水際からの距離，避難所までの距離，防災避難施設までの距離，広報車ルートからの距離と避難行動のクロス分析を行った。

1) 標高と避難行動

○釧路市

釧路市では，各標高レベルの回答者の避難行動の回答割合が全体と変わらず，標高と避難行動との間の関係がみられない。

○宇部市

宇部市では，標高 0～0.5m と 2.0～4.0m の回答者が避難した回答割合が約 11～15%と他の標高レベルより高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では，標高 2.0～7.0m の回答者において，標高が上がるに従い，避難した回答割合が約 30%から 5%に低下する状況がみられる。

釧路市

標高 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 0～0.5未満	0	0	0	0	-	-	-	-
2 0.5～1.0未満	4	1	0	5	80.0	20.0	0.0	100.0
3 1.0～2.0未満	125	52	5	182	68.7	28.6	2.7	100.0
4 2.0～3.0未満	61	22	5	88	69.3	25.0	5.7	100.0
5 3.0～4.0未満	6	6	1	13	46.2	46.2	7.7	100.0
6 4.0～5.0未満	0	1	0	1	0.0	100.0	0.0	100.0
7 5.0～7.0未満	8	4	0	12	66.7	33.3	0.0	100.0
8 7.0～10.0未満	0	0	0	0	-	-	-	-
9 10.0～	0	0	0	0	-	-	-	-
* 不明	0	0	0	0	-	-	-	-
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

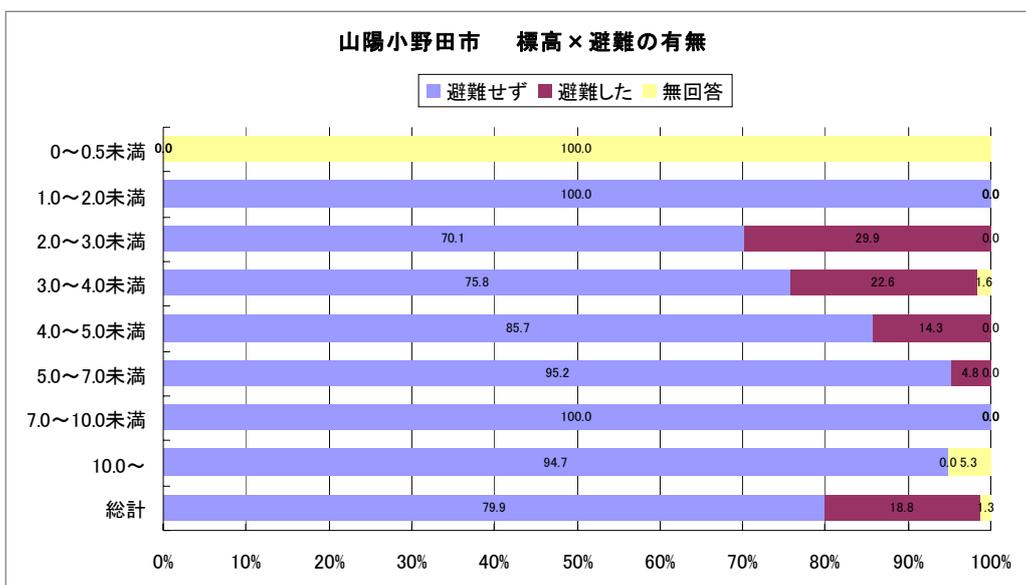
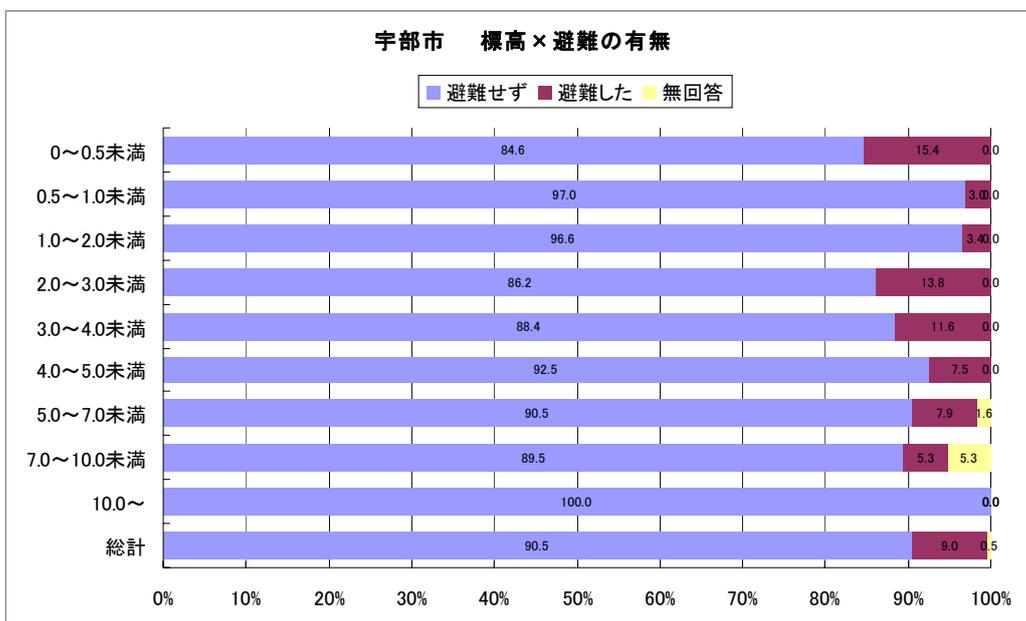
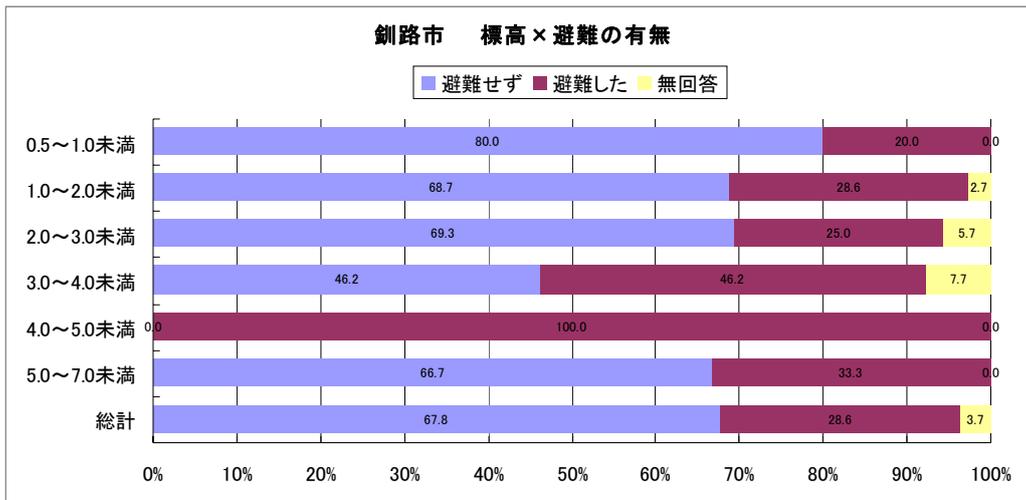
標高 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 0～0.5未満	22	4	0	26	84.6	15.4	0.0	100.0
2 0.5～1.0未満	32	1	0	33	97.0	3.0	0.0	100.0
3 1.0～2.0未満	28	1	0	29	96.6	3.4	0.0	100.0
4 2.0～3.0未満	50	8	0	58	86.2	13.8	0.0	100.0
5 3.0～4.0未満	84	11	0	95	88.4	11.6	0.0	100.0
6 4.0～5.0未満	62	5	0	67	92.5	7.5	0.0	100.0
7 5.0～7.0未満	57	5	1	63	90.5	7.9	1.6	100.0
8 7.0～10.0未満	17	1	1	19	89.5	5.3	5.3	100.0
9 10.0～	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
* 不明	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

標高 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 0～0.5未満	0	0	1	1	0.0	0.0	100.0	100.0
2 0.5～1.0未満	0	0	0	0	-	-	-	-
3 1.0～2.0未満	10	0	0	10	100.0	0.0	0.0	100.0
4 2.0～3.0未満	47	20	0	67	70.1	29.9	0.0	100.0
5 3.0～4.0未満	94	28	2	124	75.8	22.6	1.6	100.0
6 4.0～5.0未満	36	6	0	42	85.7	14.3	0.0	100.0
7 5.0～7.0未満	20	1	0	21	95.2	4.8	0.0	100.0
8 7.0～10.0未満	8	0	0	8	100.0	0.0	0.0	100.0
9 10.0～	18	0	1	19	94.7	0.0	5.3	100.0
* 不明	5	1	0	6	83.3	16.7	0.0	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0



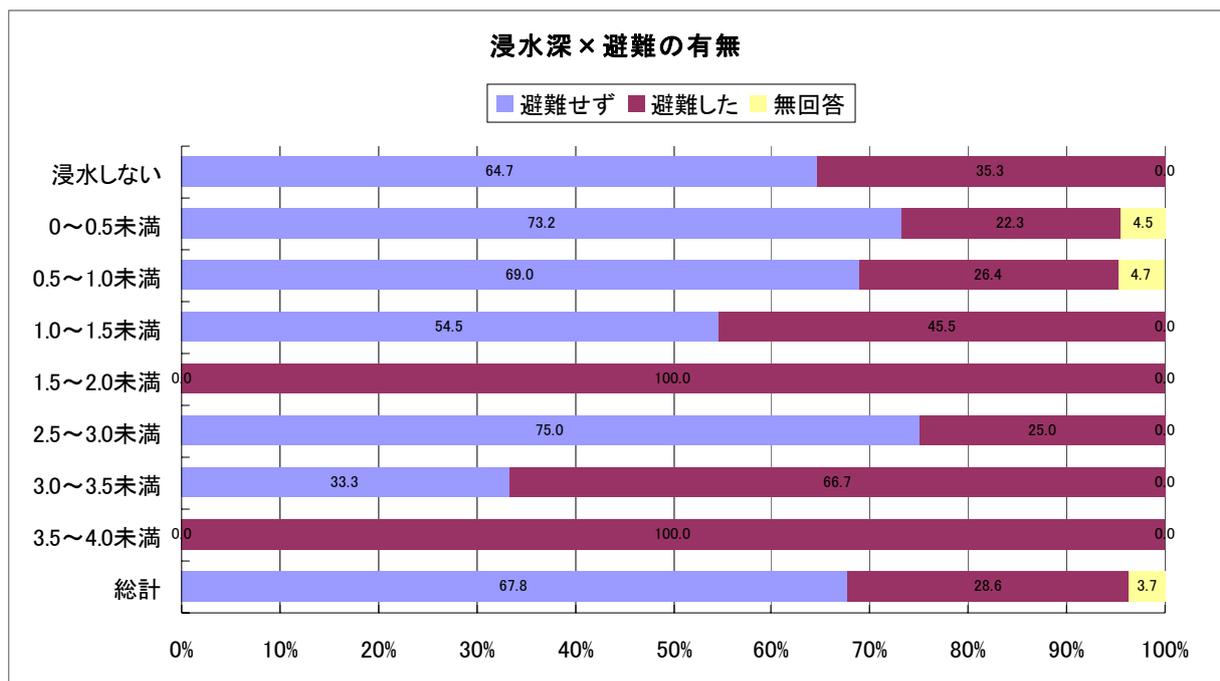
2) 浸水深と避難行動

○釧路市

浸水深が想定されている釧路市では、想定浸水深0～1.5mの回答者において、浸水深が上がるに従い、避難した割合が約22%から46%に増加する状況がみられる。

浸水深 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1 避難 せず	2 避難 した	* 無回 答	総計	1 避難 せず	2 避難 した	* 無回 答	総計
* 浸水しない	11	6	0	17	64.7	35.3	0.0	100.0
1 0～0.5	82	25	5	112	73.2	22.3	4.5	100.0
2 0.5～1.0	89	34	6	129	69.0	26.4	4.7	100.0
3 1.0～1.5	18	15	0	33	54.5	45.5	0.0	100.0
4 1.5～2.0	0	2	0	2	0.0	100.0	0.0	100.0
5 2.0～2.5	0	0	0	0	-	-	-	-
6 2.5～3.0	3	1	0	4	75.0	25.0	0.0	100.0
7 3.0～3.5	1	2	0	3	33.3	66.7	0.0	100.0
8 3.5～4.0	0	1	0	1	0.0	100.0	0.0	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0



3) 海岸線からの距離と避難行動

○釧路市

釧路市では、距離 0～2000m の回答者において、距離が長くなるに従い、避難した回答割合が約 50%から 21.4%に低下する状況がみられる。海岸線からの距離と千島列島沖地震の時の避難行動に関係がみられる。

○宇部市

宇部市では、距離 0～500m の回答者において、距離が長くなるに従い、避難した回答割合が約 19%から 11%に低下する状況がみられる。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、距離 0～300m の回答者において、距離が長くなるに従い、避難した回答割合が約 27%から 2.6%に低下する状況がみられる。

釧路市

海岸線からの距離 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 0～100未満	2	3	1	6	33.3	50.0	16.7	100.0
2 100～200未満	9	10	1	20	45.0	50.0	5.0	100.0
3 200～300未満	21	9	1	31	67.7	29.0	3.2	100.0
4 300～500未満	22	18	2	42	52.4	42.9	4.8	100.0
5 500～700未満	14	8	1	23	60.9	34.8	4.3	100.0
6 700～1000未満	27	7	0	34	79.4	20.6	0.0	100.0
7 1000～2000未満	109	31	5	145	75.2	21.4	3.4	100.0
* 不明	0	0	0	0	-	-	-	-
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

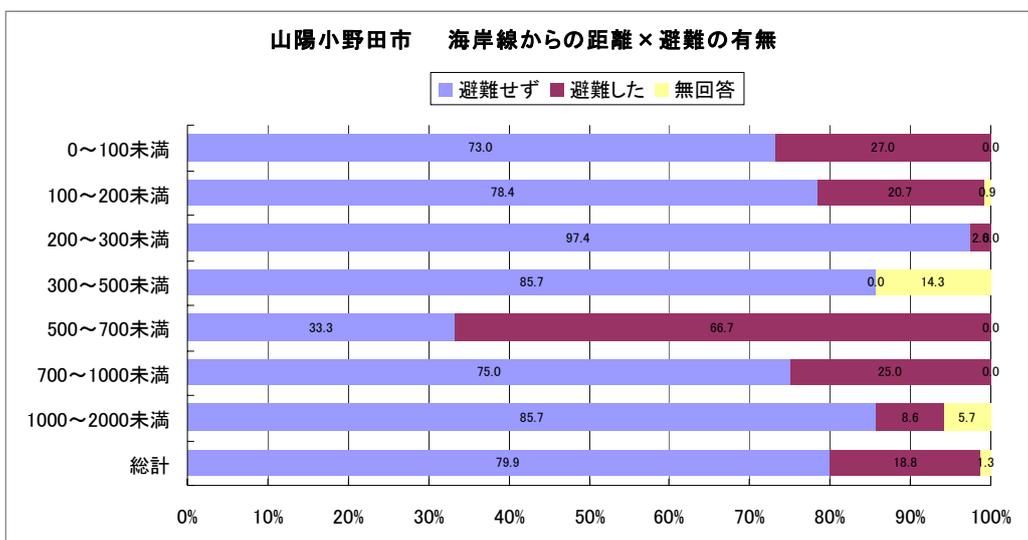
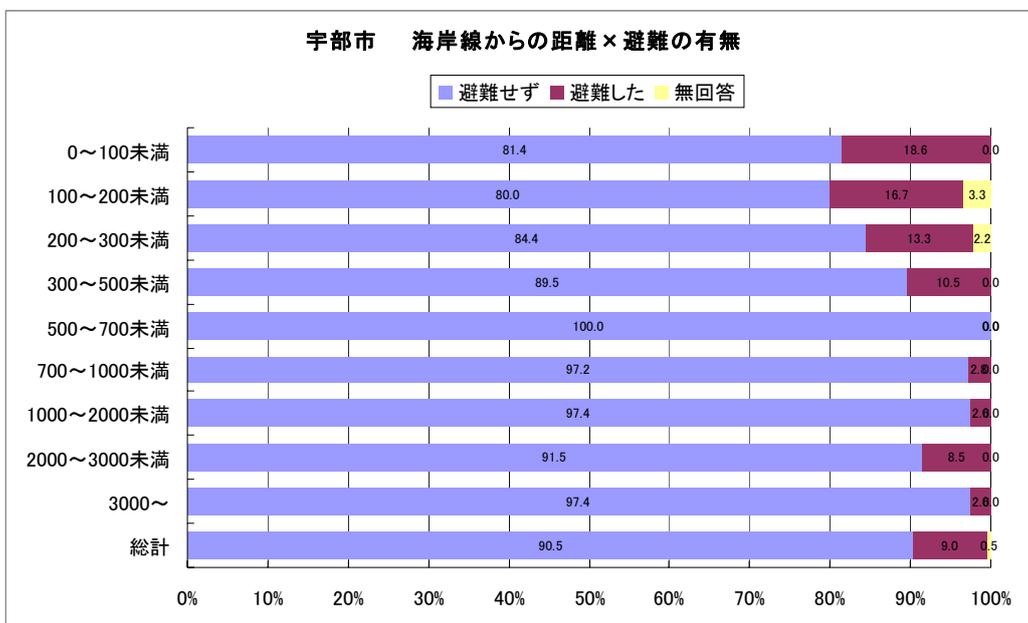
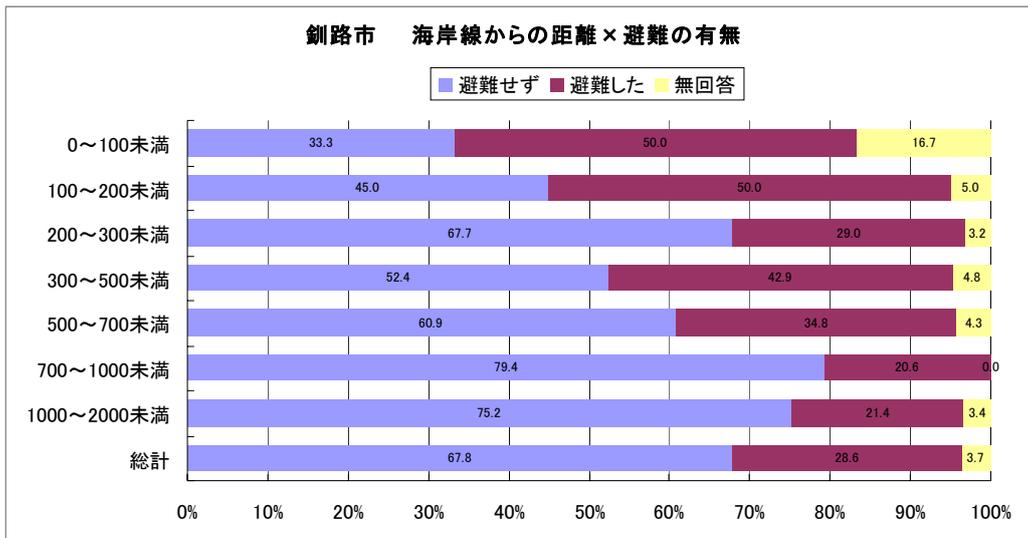
海岸線からの距離 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 0～100未満	48	11	0	59	81.4	18.6	0.0	100.0
2 100～200未満	24	5	1	30	80.0	16.7	3.3	100.0
3 200～300未満	38	6	1	45	84.4	13.3	2.2	100.0
4 300～500未満	51	6	0	57	89.5	10.5	0.0	100.0
5 500～700未満	30	0	0	30	100.0	0.0	0.0	100.0
6 700～1000未満	35	1	0	36	97.2	2.8	0.0	100.0
7 1000～2000未満	38	1	0	39	97.4	2.6	0.0	100.0
8 2000～3000未満	54	5	0	59	91.5	8.5	0.0	100.0
9 3000～	38	1	0	39	97.4	2.6	0.0	100.0
* 不明	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

海岸線からの距離 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 0～100未満	65	24	0	89	73.0	27.0	0.0	100.0
2 100～200未満	87	23	1	111	78.4	20.7	0.9	100.0
3 200～300未満	38	1	0	39	97.4	2.6	0.0	100.0
4 300～500未満	6	0	1	7	85.7	0.0	14.3	100.0
5 500～700未満	1	2	0	3	33.3	66.7	0.0	100.0
6 700～1000未満	6	2	0	8	75.0	25.0	0.0	100.0
7 1000～2000未満	30	3	2	35	85.7	8.6	5.7	100.0
* 不明	5	1	0	6	83.3	16.7	0.0	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0



4) 水際からの距離と避難行動

○釧路市

釧路市では、水際からの距離が100～500mの回答者において、距離が長くなるに従い、避難した割合が約40%から21%に低下する状況がみられる。

○宇部市

宇部市では、水際からの距離が0～1000mの回答者において、距離が長くなるに従い、避難した割合が約19%から2%に低下する状況がみられる。水際からの距離と千島列島沖地震の時の避難行動に関係がみられる。

○山陽小野田市

山陽小野田市については、河川からの流入を想定しなかったため、水際からの距離を測定していない。

釧路市

水際からの距離 × 問18.避難の有無

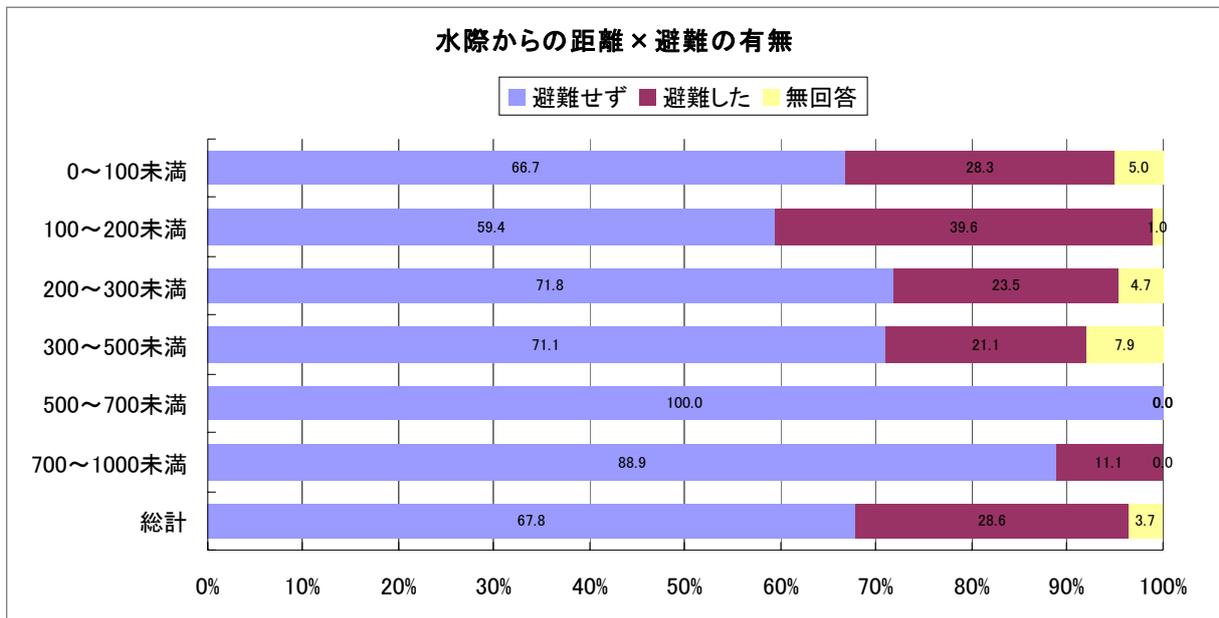
	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答		避難せず	避難した	無回答	
1 0～100未満	40	17	3	60	66.7	28.3	5.0	100.0
2 100～200未満	60	40	1	101	59.4	39.6	1.0	100.0
3 200～300未満	61	20	4	85	71.8	23.5	4.7	100.0
4 300～500未満	27	8	3	38	71.1	21.1	7.9	100.0
5 500～700未満	8	0	0	8	100.0	0.0	0.0	100.0
6 700～1000未満	8	1	0	9	88.9	11.1	0.0	100.0
7 1000～	0	0	0	0	-	-	-	-
* 不明	0	0	0	0	-	-	-	-
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

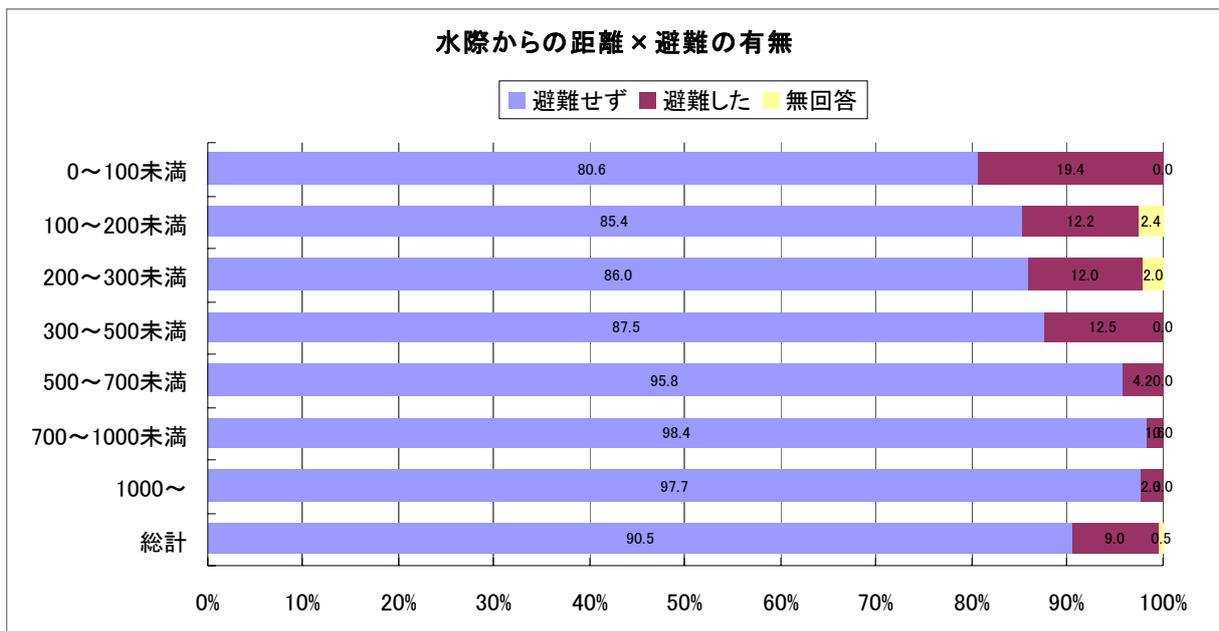
水際からの距離 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答		避難せず	避難した	無回答	
1 0～100未満	50	12	0	62	80.6	19.4	0.0	100.0
2 100～200未満	35	5	1	41	85.4	12.2	2.4	100.0
3 200～300未満	43	6	1	50	86.0	12.0	2.0	100.0
4 300～500未満	56	8	0	64	87.5	12.5	0.0	100.0
5 500～700未満	68	3	0	71	95.8	4.2	0.0	100.0
6 700～1000未満	62	1	0	63	98.4	1.6	0.0	100.0
7 1000～	42	1	0	43	97.7	2.3	0.0	100.0
* 不明	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

釧路市



宇部市



5) 避難所までの距離と避難行動

○釧路市

釧路市では、避難所までの距離が0～100mの回答者において、他の距離レベルより避難した割合が約12%と低い状況がみられる。

○宇部市

宇部市では、距離0～100mの回答者において、他の距離レベルより避難した割合が約22%と高い状況がみられる。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、距離と避難した割合との間に関係がみられない。

釧路市

避難所までの距離 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 0～100未満	34	5	3	42	81.0	11.9	7.1	100.0
2 100～200未満	50	24	1	75	66.7	32.0	1.3	100.0
3 200～300未満	53	21	2	76	69.7	27.6	2.6	100.0
4 300～400未満	49	20	3	72	68.1	27.8	4.2	100.0
5 400～500未満	9	8	1	18	50.0	44.4	5.6	100.0
6 500～600未満	2	1	0	3	66.7	33.3	0.0	100.0
7 600～700未満	2	3	0	5	40.0	60.0	0.0	100.0
8 700～800未満	1	3	0	4	25.0	75.0	0.0	100.0
9 800～900未満	3	0	1	4	75.0	0.0	25.0	100.0
10 900～1000未満	0	0	0	0	-	-	-	-
11 1000～1100未満	1	1	0	2	50.0	50.0	0.0	100.0
* 不明	0	0	0	0	-	-	-	-
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

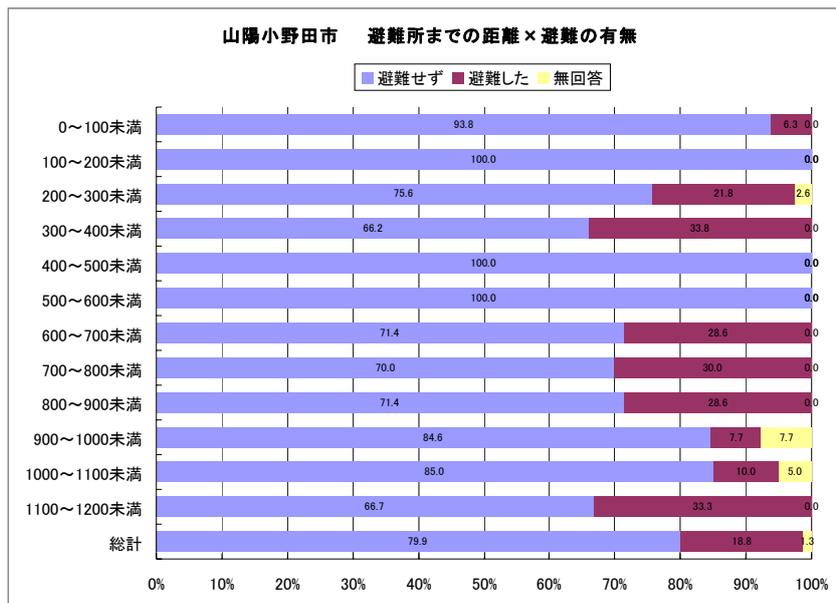
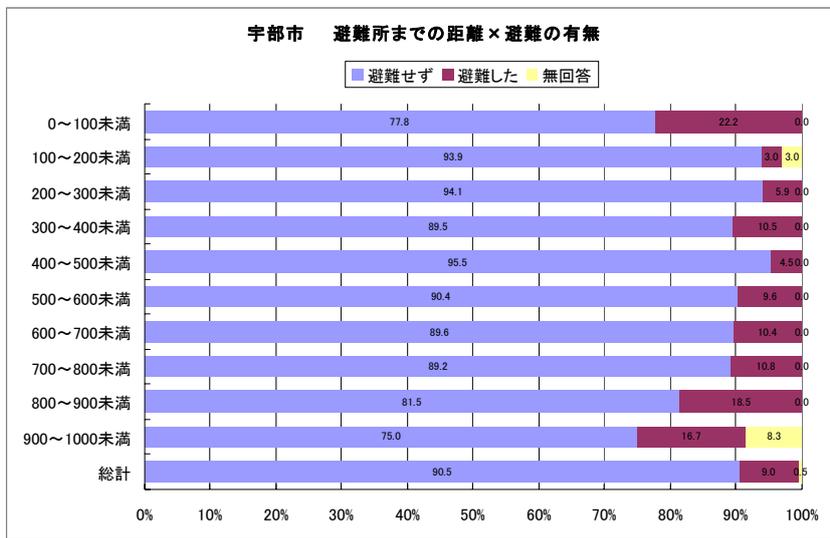
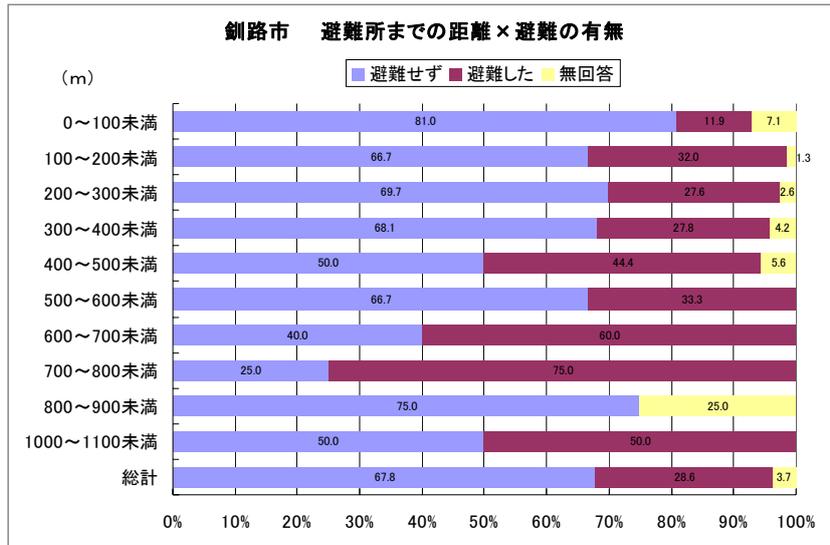
避難所までの距離 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 0～100未満	7	2	0	9	77.8	22.2	0.0	100.0
2 100～200未満	31	1	1	33	93.9	3.0	3.0	100.0
3 200～300未満	48	3	0	51	94.1	5.9	0.0	100.0
4 300～400未満	34	4	0	38	89.5	10.5	0.0	100.0
5 400～500未満	63	3	0	66	95.5	4.5	0.0	100.0
6 500～600未満	66	7	0	73	90.4	9.6	0.0	100.0
7 600～700未満	43	5	0	48	89.6	10.4	0.0	100.0
8 700～800未満	33	4	0	37	89.2	10.8	0.0	100.0
9 800～900未満	22	5	0	27	81.5	18.5	0.0	100.0
10 900～1000未満	9	2	1	12	75.0	16.7	8.3	100.0
* 不明	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

避難所までの距離 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 0～100未満	15	1	0	16	93.8	6.3	0.0	100.0
2 100～200未満	40	0	0	40	100.0	0.0	0.0	100.0
3 200～300未満	59	17	2	78	75.6	21.8	2.6	100.0
4 300～400未満	47	24	0	71	66.2	33.8	0.0	100.0
5 400～500未満	13	0	0	13	100.0	0.0	0.0	100.0
6 500～600未満	8	0	0	8	100.0	0.0	0.0	100.0
7 600～700未満	5	2	0	7	71.4	28.6	0.0	100.0
8 700～800未満	7	3	0	10	70.0	30.0	0.0	100.0
9 800～900未満	5	2	0	7	71.4	28.6	0.0	100.0
10 900～1000未満	11	1	1	13	84.6	7.7	7.7	100.0
11 1000～1100未満	17	2	1	20	85.0	10.0	5.0	100.0
12 1100～1200未満	6	3	0	9	66.7	33.3	0.0	100.0
* 不明	5	1	0	6	83.3	16.7	0.0	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0



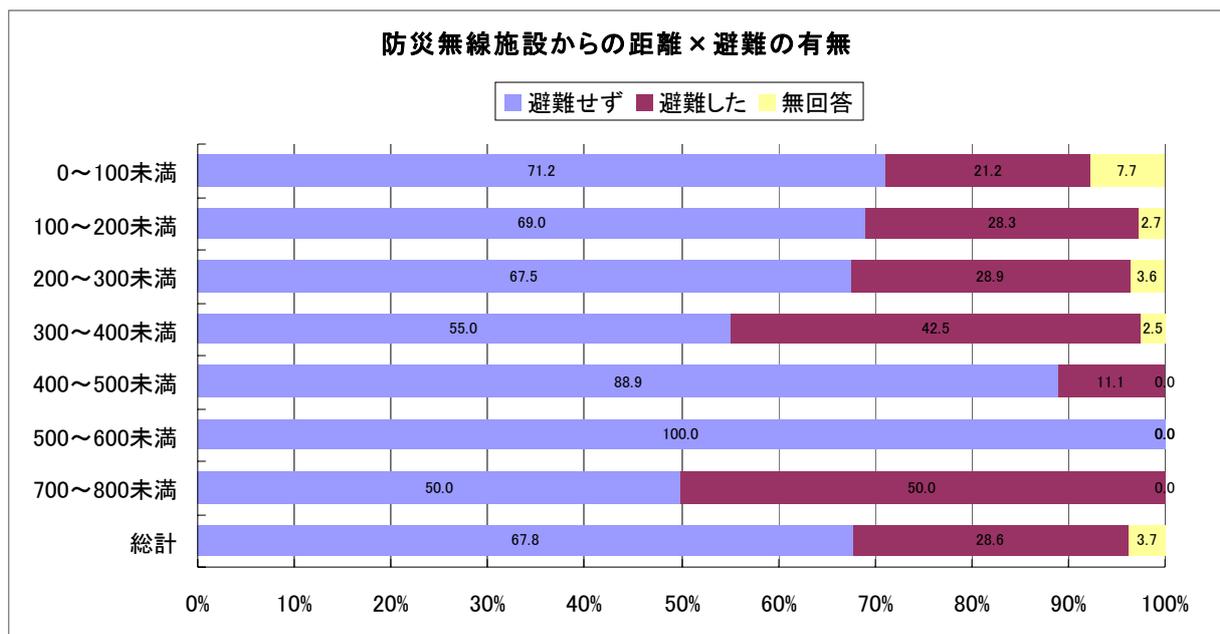
6) 防災無線施設までの距離と避難行動

○釧路市

釧路市では、距離 300～400m の回答者において、避難した割合が約 43%と最も高い状況がみられる。

防災無線施設からの距離 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1 避難 せず	2 避難 した	* 無回 答	総計	1 避難 せず	2 避難 した	* 無回 答	総計
1 0～100未満	37	11	4	52	71.2	21.2	7.7	100.0
2 100～200未満	78	32	3	113	69.0	28.3	2.7	100.0
3 200～300未満	56	24	3	83	67.5	28.9	3.6	100.0
4 300～400未満	22	17	1	40	55.0	42.5	2.5	100.0
5 400～500未満	8	1	0	9	88.9	11.1	0.0	100.0
6 500～600未満	2	0	0	2	100.0	0.0	0.0	100.0
7 600～700未満	0	0	0	0	-	-	-	-
8 700～800未満	1	1	0	2	50.0	50.0	0.0	100.0
* 不明	0	0	0	0	-	-	-	-
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0



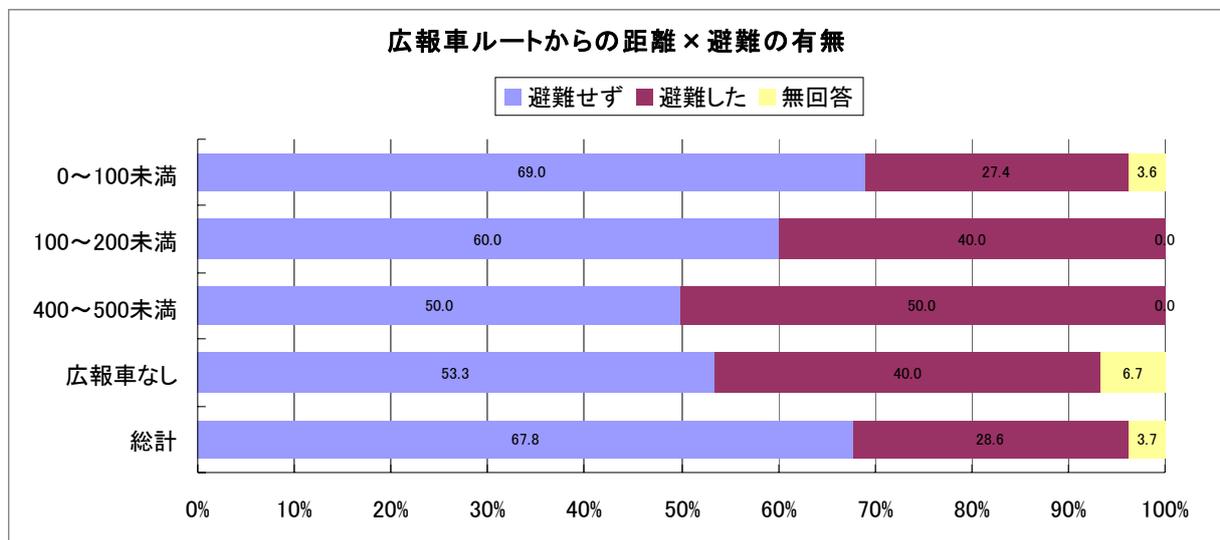
7) 広報車ルートからの距離と避難行動

○釧路市

釧路市では、広報車ルートからの距離と避難した割合との間に関係がみられない。

広報車ルートからの距離 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*		1	2	*	
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 0~100未満	189	75	10	274	69.0	27.4	3.6	100.0
2 100~200未満	6	4	0	10	60.0	40.0	0.0	100.0
3 200~300未満	0	0	0	0	-	-	-	-
4 300~400未満	0	0	0	0	-	-	-	-
5 400~500未満	1	1	0	2	50.0	50.0	0.0	100.0
* 広報車なし	8	6	1	15	53.3	40.0	6.7	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0



(2) 属性と浸水可能性の予想, 避難行動

1) 同居人数

○釧路市

釧路市の同居人数と浸水可能性の予想は, それらに関係がみられない.

同居人数と問 18 千島列島沖地震の時の避難行動は, 4 人以上において避難した回答割合が 30% を超えているなど, 3 人以下の回答者より避難した回答割合が高い.

○宇部市

宇部市の同居人数と浸水可能性の予想は, それらに関係がみられない.

同居人数と問 19 台風 5 号の接近中の避難行動は, それらに関係がみられない.

○山陽小野田市

山陽小野田市の同居人数と浸水可能性の予想は, それらに関係がみられない.

同居人数と問 19 台風 5 号の接近中の避難行動は, 1 人において避難した回答割合が約 27% と 2 人以上より高い.

釧路市

問2.同居人数 × 問9.浸水可能性の予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答		必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	
1 1人	2	3	19	40	26	4	94	2.1	3.2	20.2	42.6	27.7	4.3	100.0
2 2人	1	3	16	44	36	5	105	1.0	2.9	15.2	41.9	34.3	4.8	100.0
3 3人	1	1	12	28	12	2	56	1.8	1.8	21.4	50.0	21.4	3.6	100.0
4 4人	0	1	7	13	8	0	29	0.0	3.4	24.1	44.8	27.6	0.0	100.0
5 5人	0	2	0	6	1	0	9	0.0	22.2	0.0	66.7	11.1	0.0	100.0
6 6人以上	0	0	1	3	2	0	6	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	0.0	100.0
* 無回答	0	0	1	1	0	0	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
N=301 総計	4	10	56	135	85	11	301	1.3	3.3	18.6	44.9	28.2	3.7	100.0

問2.同居人数 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答		避難せず	避難した	無回答	
1 1人	64	26	4	94	68.1	27.7	4.3	100.0
2 2人	75	26	4	105	71.4	24.8	3.8	100.0
3 3人	38	16	2	56	67.9	28.6	3.6	100.0
4 4人	18	11	0	29	62.1	37.9	0.0	100.0
5 5人	6	3	0	9	66.7	33.3	0.0	100.0
6 6人以上	3	3	0	6	50.0	50.0	0.0	100.0
* 無回答	0	1	1	2	0.0	50.0	50.0	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問2.同居人数 × 問10.浸水可能性の予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答		必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	
1 1人	0	3	17	21	8	0	49	0.0	6.1	34.7	42.9	16.3	0.0	100.0
2 2人	4	12	39	77	26	3	161	2.5	7.5	24.2	47.8	16.1	1.9	100.0
3 3人	1	12	20	42	17	0	92	1.1	13.0	21.7	45.7	18.5	0.0	100.0
4 4人	0	1	10	32	6	1	50	0.0	2.0	20.0	64.0	12.0	2.0	100.0
5 5人	0	3	6	12	4	0	25	0.0	12.0	24.0	48.0	16.0	0.0	100.0
6 6人以上	0	1	1	13	4	1	20	0.0	5.0	5.0	65.0	20.0	5.0	100.0
* 無回答	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
N=398 総計	5	32	93	197	66	5	398	1.3	8.0	23.4	49.5	16.6	1.3	100.0

問2.同居人数 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答		避難せず	避難した	無回答	
1 1人	42	7	0	49	85.7	14.3	0.0	100.0
2 2人	147	12	2	161	91.3	7.5	1.2	100.0
3 3人	80	12	0	92	87.0	13.0	0.0	100.0
4 4人	48	2	0	50	96.0	4.0	0.0	100.0
5 5人	22	3	0	25	88.0	12.0	0.0	100.0
6 6人以上	20	0	0	20	100.0	0.0	0.0	100.0
* 無回答	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

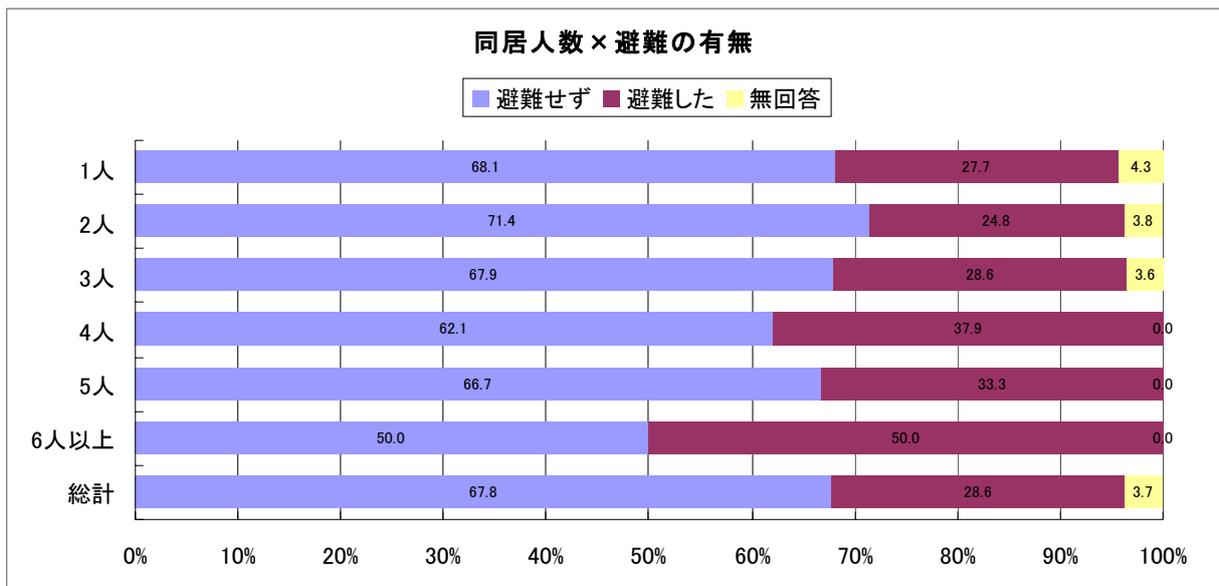
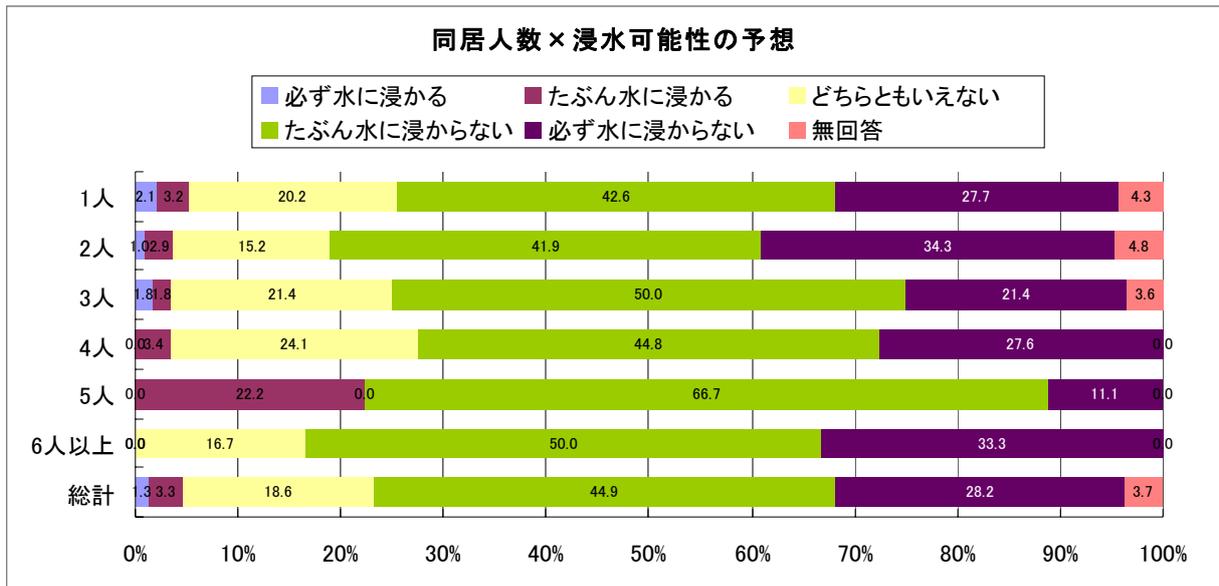
山陽小野田市

問2.同居人数 × 問10.浸水可能性の予想

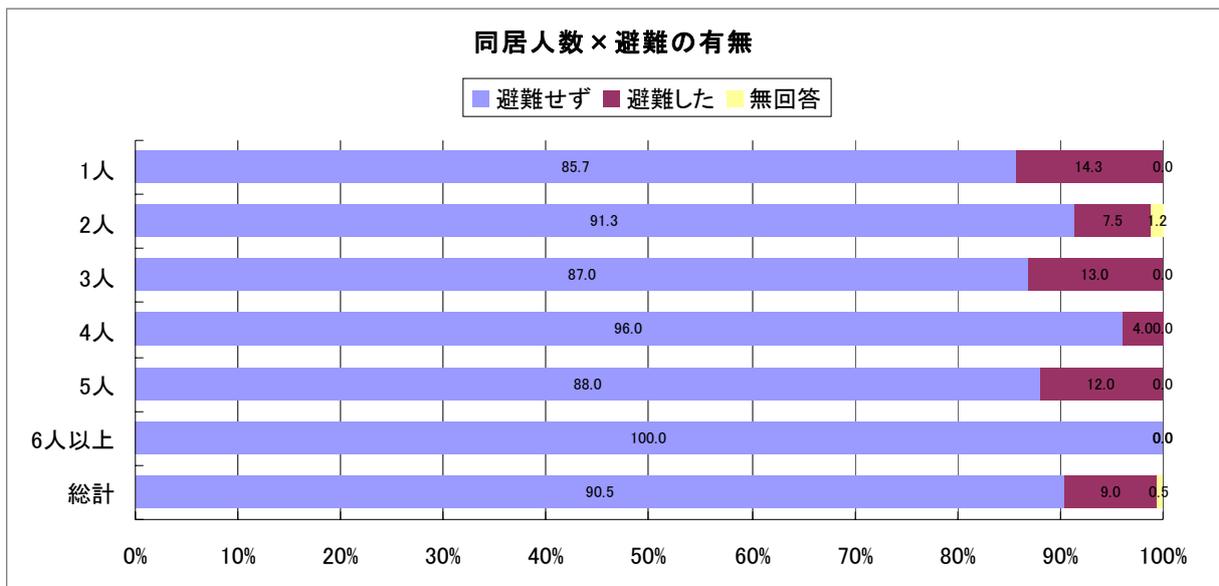
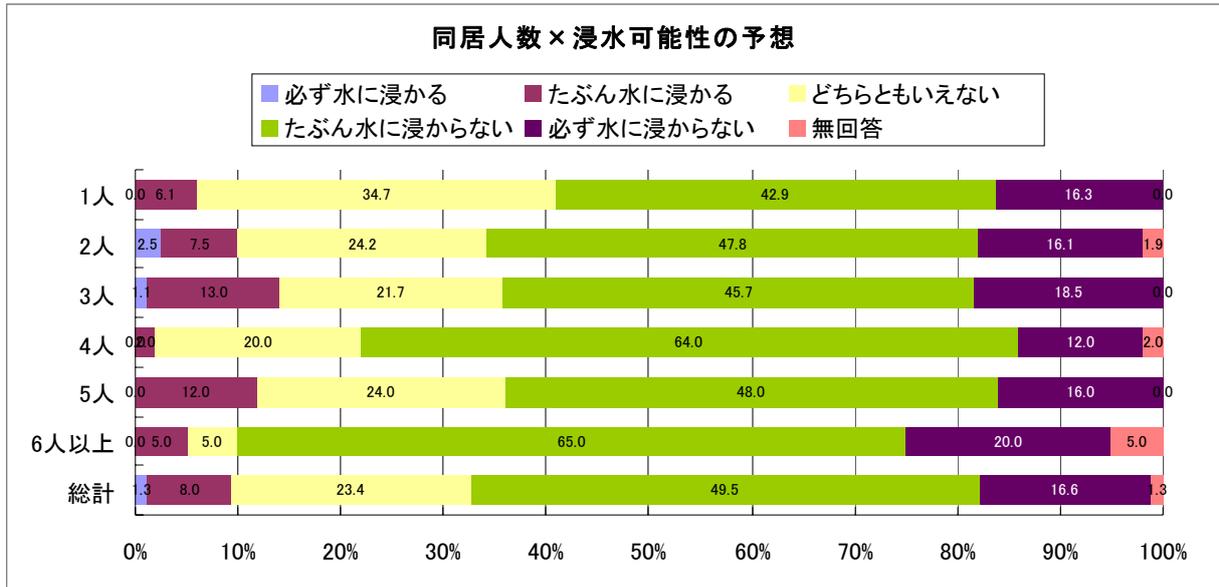
	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計
1 1人	2	4	14	12	8	1	41	4.9	9.8	34.1	29.3	19.5	2.4	100.0
2 2人	4	16	37	45	26	1	129	3.1	12.4	28.7	34.9	20.2	0.8	100.0
3 3人	7	1	9	25	10	0	52	13.5	1.9	17.3	48.1	19.2	0.0	100.0
4 4人	0	3	7	19	10	0	39	0.0	7.7	17.9	48.7	25.6	0.0	100.0
5 5人	0	2	3	6	5	1	17	0.0	11.8	17.6	35.3	29.4	5.9	100.0
6 6人以上	0	1	5	7	3	0	16	0.0	6.3	31.3	43.8	18.8	0.0	100.0
* 無回答	0	2	2	0	0	0	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
N=298 総計	13	29	77	114	62	3	298	4.4	9.7	25.8	38.3	20.8	1.0	100.0

問2.同居人数 × 問19.避難の有無

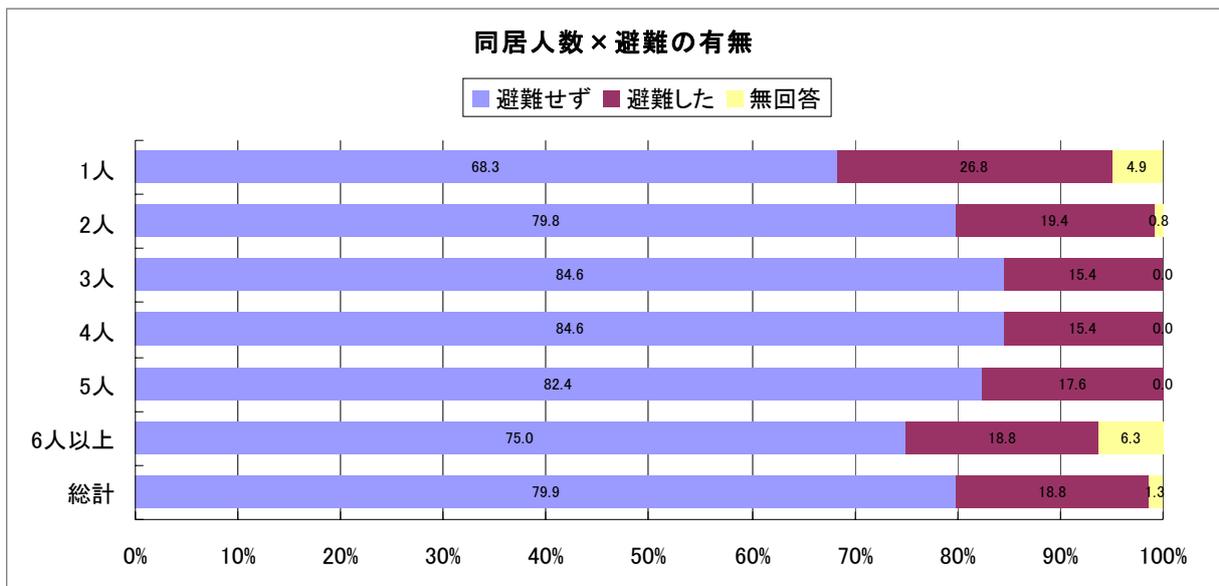
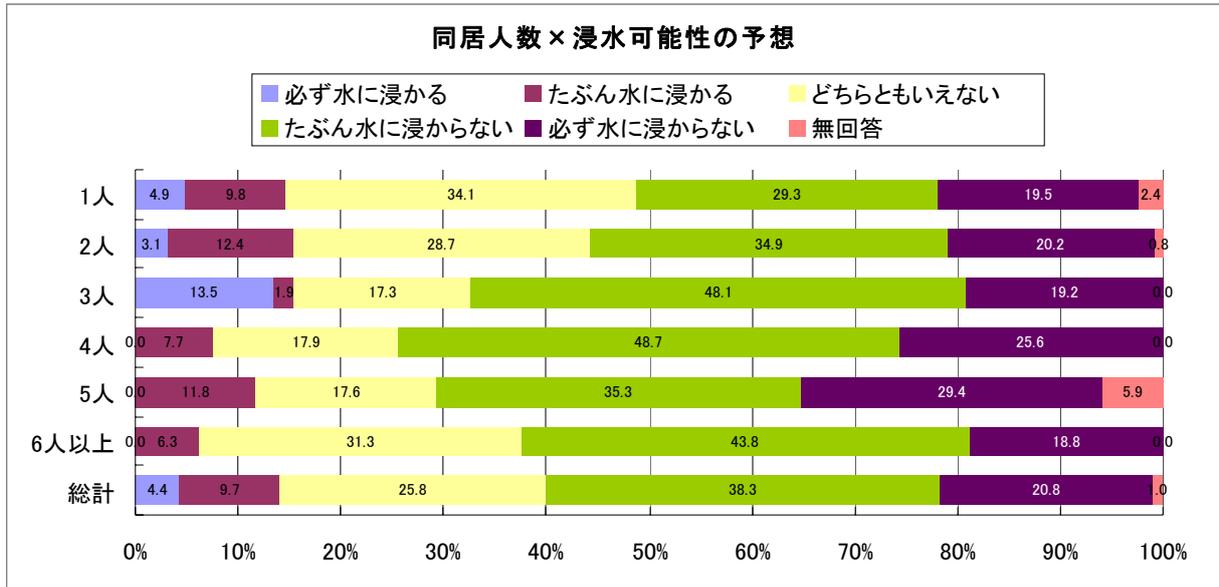
	実数				構成比(%)			
	1	2	*		1	2	*	
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 1人	28	11	2	41	68.3	26.8	4.9	100.0
2 2人	103	25	1	129	79.8	19.4	0.8	100.0
3 3人	44	8	0	52	84.6	15.4	0.0	100.0
4 4人	33	6	0	39	84.6	15.4	0.0	100.0
5 5人	14	3	0	17	82.4	17.6	0.0	100.0
6 6人以上	12	3	1	16	75.0	18.8	6.3	100.0
* 無回答	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0



宇部市



山陽小野田市



2) 徒歩避難困難者数

○鉏路市

鉏路市の徒歩避難困難者数と浸水可能性の予想は、それらに関係がみられない。

徒歩避難困難者数と問 18 千島列島沖地震の時の避難行動は、それらに関係がみられない。

○宇部市

宇部市の徒歩避難困難者数と浸水可能性の予想は、それらに関係がみられない。

徒歩避難困難者数と問 19 台風 5 号の接近中の避難行動は、それらに関係がみられない。

○山陽小野田市

山陽小野田市の徒歩避難困難者数と浸水可能性の予想は、それらに関係がみられない。

徒歩避難困難者数と問 19 台風 5 号の接近中の避難行動は、それらに関係がみられない。

鉏路市

問3.徒歩避難困難者数 × 問9.浸水可能性の予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答		必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	
0人	3	6	39	106	63	8	225	1.3	2.7	17.3	47.1	28.0	3.6	100.0
1人	1	2	10	22	14	2	51	2.0	3.9	19.6	43.1	27.5	3.9	100.0
2人	0	0	2	0	2	0	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0
3人	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
4人	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
5人	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
6人以上	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
* 無回答	0	2	5	7	6	1	21	0.0	9.5	23.8	33.3	28.6	4.8	100.0
N=301 総計	4	10	56	135	85	11	301	1.3	3.3	18.6	44.9	28.2	3.7	100.0

問3.徒歩避難困難者数 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答		避難せず	避難した	無回答	
0人	157	59	9	225	69.8	26.2	4.0	100.0
1人	33	17	1	51	64.7	33.3	2.0	100.0
2人	3	1	0	4	75.0	25.0	0.0	100.0
3人	0	0	0	0	-	-	-	-
4人	0	0	0	0	-	-	-	-
5人	0	0	0	0	-	-	-	-
6人以上	0	0	0	0	-	-	-	-
* 無回答	11	9	1	21	52.4	42.9	4.8	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問3.徒歩避難困難者数 × 問10.浸水可能性の予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計
0 0人	4	21	69	159	53	3	309	1.3	6.8	22.3	51.5	17.2	1.0	100.0
1 1人	1	9	17	29	12	2	70	1.4	12.9	24.3	41.4	17.1	2.9	100.0
2 2人	0	1	1	4	0	0	6	0.0	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	100.0
3 3人	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
4 4人	0	0	0	1	0	0	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
5 5人	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
6 6人以上	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
* 無回答	0	1	6	4	1	0	12	0.0	8.3	50.0	33.3	8.3	0.0	100.0
N=398 総計	5	32	93	197	66	5	398	1.3	8.0	23.4	49.5	16.6	1.3	100.0

問3.徒歩避難困難者数 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*		1	2	*	
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
0 0人	282	25	2	309	91.3	8.1	0.6	100.0
1 1人	63	7	0	70	90.0	10.0	0.0	100.0
2 2人	4	2	0	6	66.7	33.3	0.0	100.0
3 3人	0	0	0	0	-	-	-	-
4 4人	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
5 5人	0	0	0	0	-	-	-	-
6 6人以上	0	0	0	0	-	-	-	-
* 無回答	10	2	0	12	83.3	16.7	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

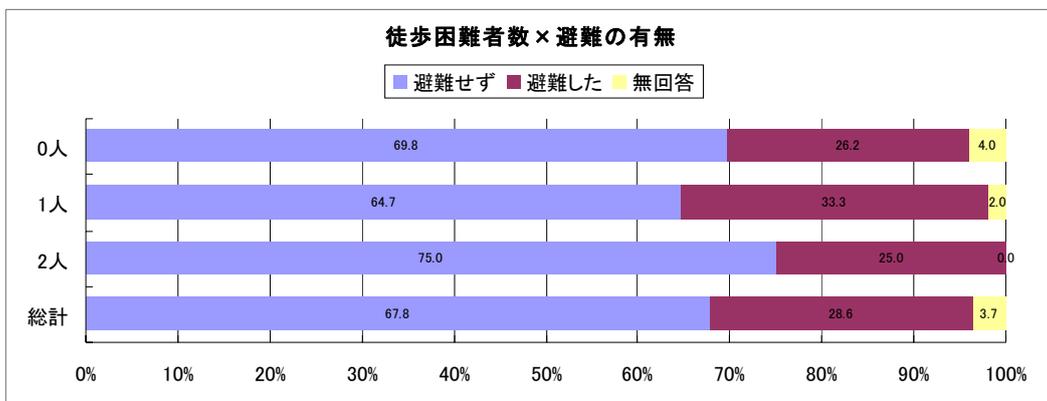
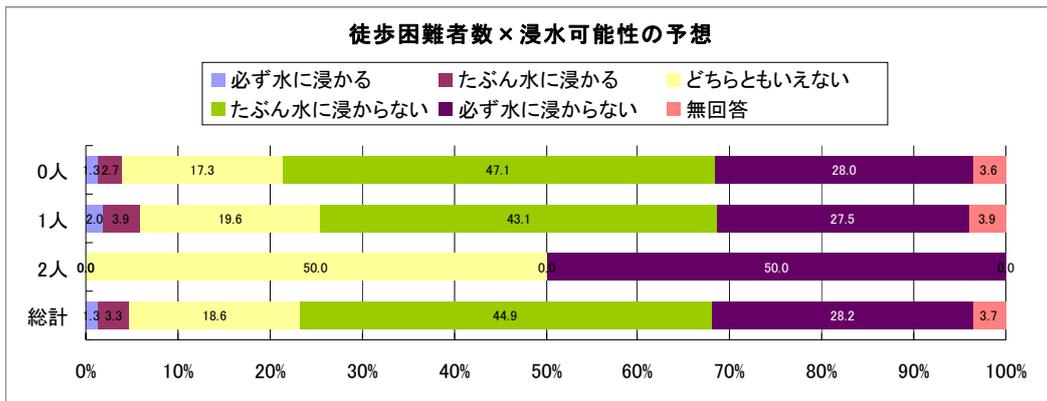
問3.徒歩避難困難者数 × 問10.浸水可能性の予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計
0 0人	9	22	52	77	49	1	210	4.3	10.5	24.8	36.7	23.3	0.5	100.0
1 1人	2	3	15	28	12	2	62	3.2	4.8	24.2	45.2	19.4	3.2	100.0
2 2人	0	0	2	0	1	0	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	100.0
3 3人	1	0	4	0	0	0	5	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4 4人	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5 5人	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
6 6人以上	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
* 無回答	1	4	3	9	0	0	17	5.9	23.5	17.6	52.9	0.0	0.0	100.0
N=298 総計	13	29	77	114	62	3	298	4.4	9.7	25.8	38.3	20.8	1.0	100.0

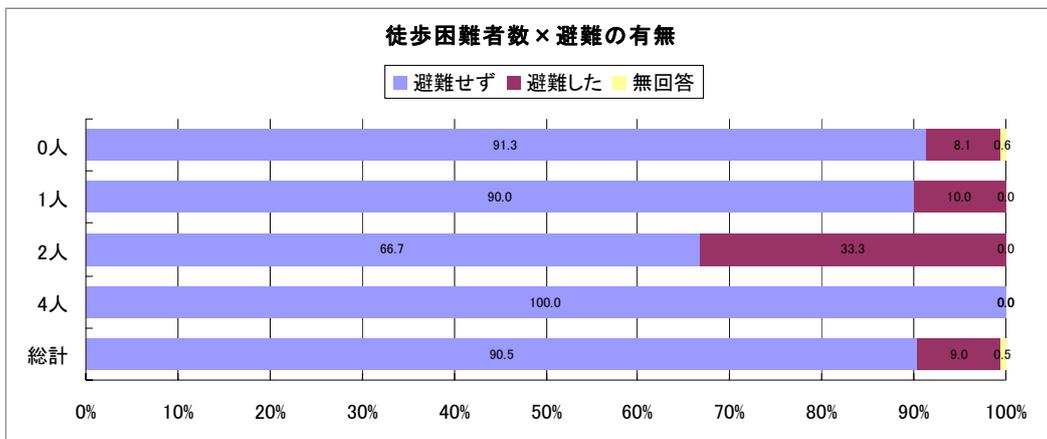
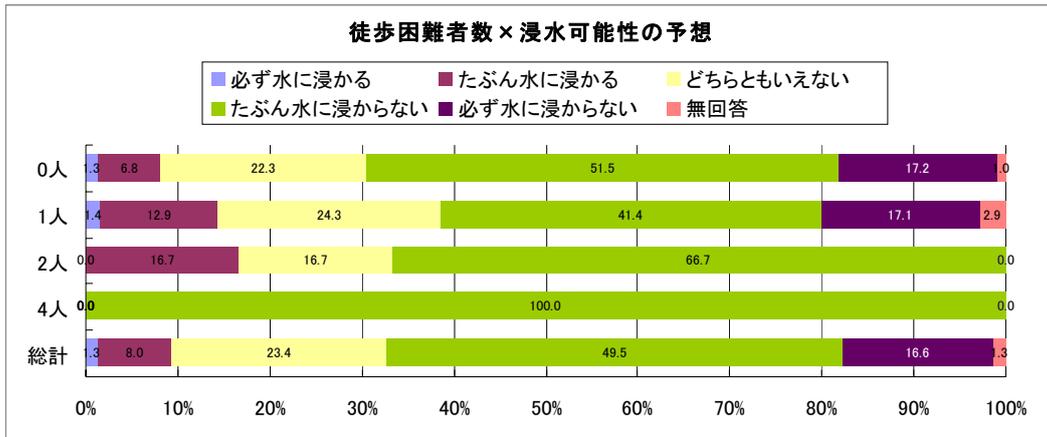
問3.徒歩避難困難者数 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*		1	2	*	
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
0 0人	166	43	1	210	79.0	20.5	0.5	100.0
1 1人	53	8	1	62	85.5	12.9	1.6	100.0
2 2人	2	0	1	3	66.7	0.0	33.3	100.0
3 3人	4	1	0	5	80.0	20.0	0.0	100.0
4 4人	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
5 5人	0	0	0	0	-	-	-	-
6 6人以上	0	0	0	0	-	-	-	-
* 無回答	12	4	1	17	70.6	23.5	5.9	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

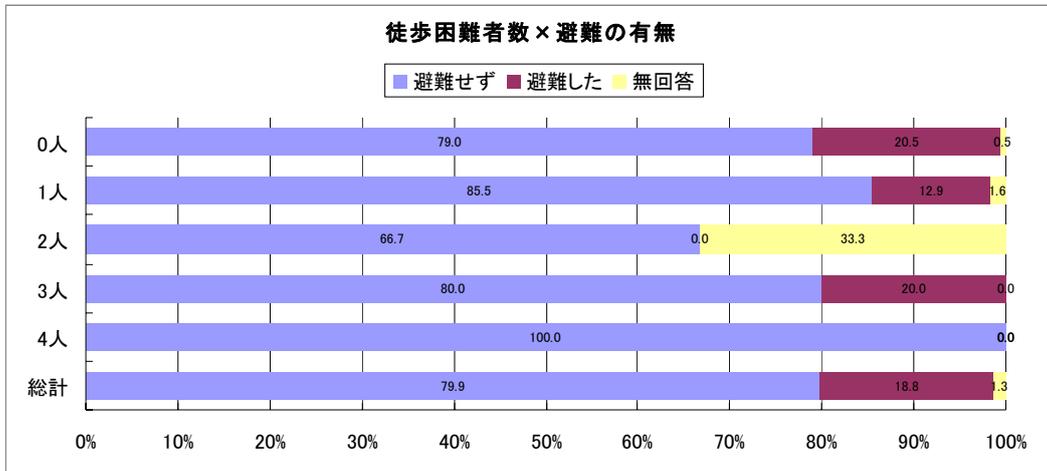
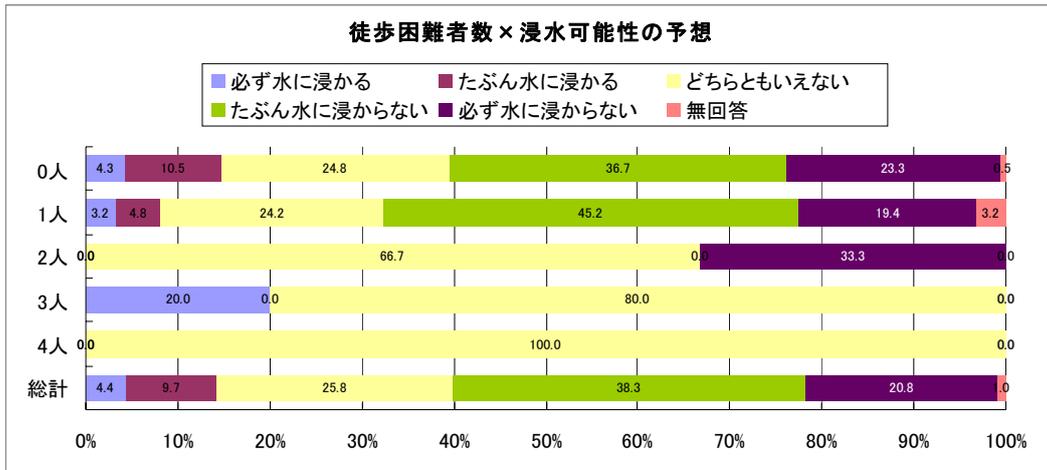
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(3) 住宅形態・階数と浸水可能性の予想，避難行動

1) 住宅形態

○釧路市

釧路市では，住宅形態と浸水可能性の予想との間に関係がみられない。

また，避難行動については，一戸建ての回答者において，集合住宅の回答者より避難した割合が高い。

○宇部市

宇部市でも，住宅形態と浸水可能性の予想との間に関係がみられない。

避難行動については，集合住宅の回答者において，一戸建ての回答者より避難した割合がやや高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では，集合住宅の回答者において，「必ず水に浸かる」と「たぶん水に浸かる」を合わせた割合が約33%と，一戸建ての回答者より高い。

避難行動については，集合住宅の回答者において，一戸建ての回答者より避難した割合が高い。

釧路市

問5.住宅形態 × 問9.浸水可能性の予想

	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	総計	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	総計
1 一戸建て	1	8	36	90	37	2	174	0.6	4.6	20.7	51.7	21.3	1.1	100.0
2 集合住宅	3	2	20	45	48	9	127	2.4	1.6	15.7	35.4	37.8	7.1	100.0
* 無回答	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
N=301 総計	4	10	56	135	85	11	301	1.3	3.3	18.6	44.9	28.2	3.7	100.0

問5.住宅形態 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答	総計	避難せず	避難した	無回答	総計
1 一戸建て	111	61	2	174	63.8	35.1	1.1	100.0
2 集合住宅	93	25	9	127	73.2	19.7	7.1	100.0
* 無回答	0	0	0	0	-	-	-	-
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問5.住宅形態 × 問10.浸水可能性の予想

	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	総計	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	総計
1 一戸建て	4	32	89	187	62	5	379	1.1	8.4	23.5	49.3	16.4	1.3	100.0
2 集合住宅	1	0	4	10	3	0	18	5.6	0.0	22.2	55.6	16.7	0.0	100.0
* 無回答	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
N=398 総計	5	32	93	197	66	5	398	1.3	8.0	23.4	49.5	16.6	1.3	100.0

問5.住宅形態 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答	総計	避難せず	避難した	無回答	総計
1 一戸建て	344	33	2	379	90.8	8.7	0.5	100.0
2 集合住宅	15	3	0	18	83.3	16.7	0.0	100.0
* 無回答	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

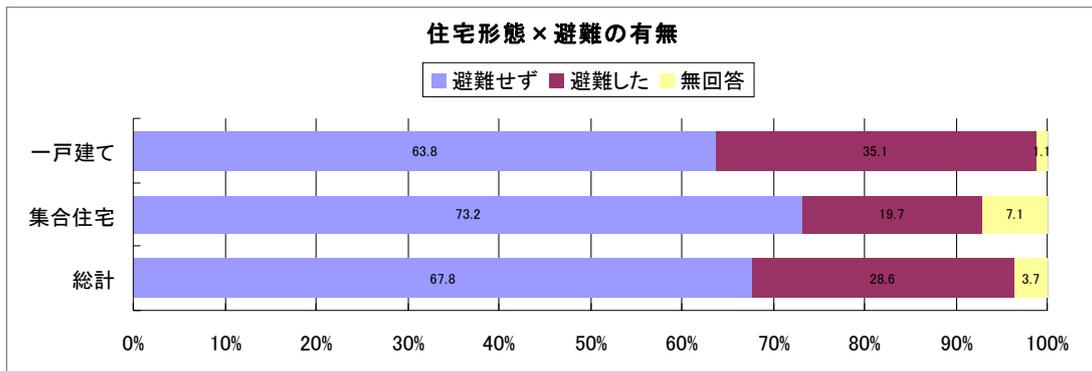
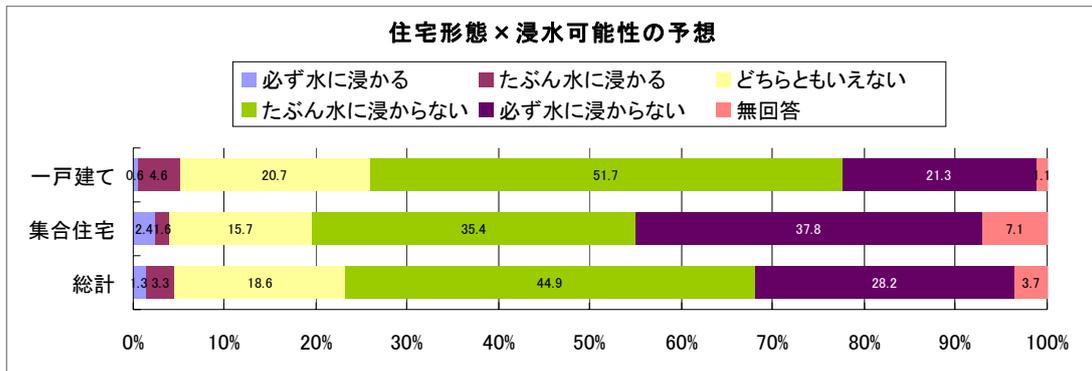
問5.住宅形態 × 問10.浸水可能性の予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答		必ず水に浸かる	たぶん水に浸かる	どちらともいえない	たぶん水に浸からない	必ず水に浸からない	無回答	
1 一戸建て	12	24	74	110	59	3	282	4.3	8.5	26.2	39.0	20.9	1.1	100.0
2 集合住宅	1	4	3	4	3	0	15	6.7	26.7	20.0	26.7	20.0	0.0	100.0
* 無回答	0	1	0	0	0	0	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
N=298 総計	13	29	77	114	62	3	298	4.4	9.7	25.8	38.3	20.8	1.0	100.0

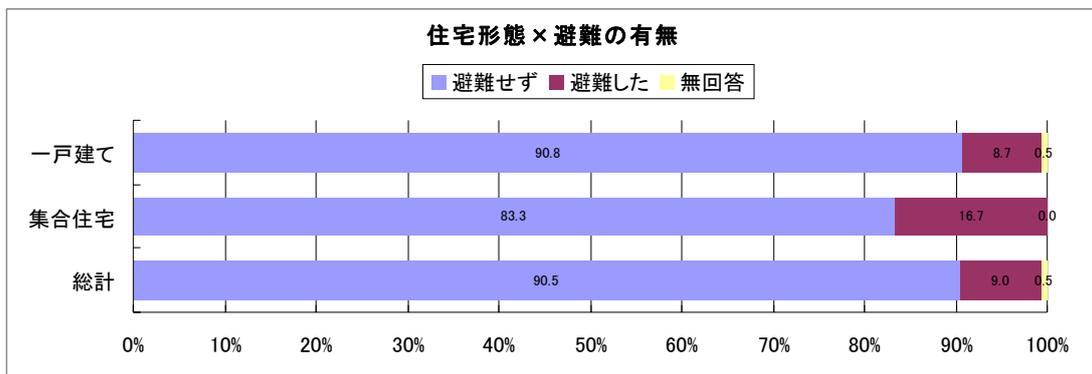
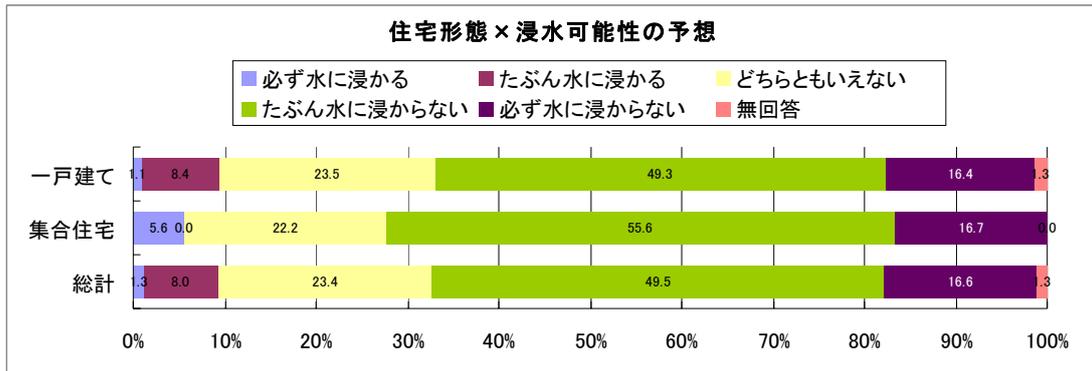
問5.住宅形態 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難せず	避難した	無回答		避難せず	避難した	無回答	
1 一戸建て	227	51	4	282	80.5	18.1	1.4	100.0
2 集合住宅	10	5	0	15	66.7	33.3	0.0	100.0
* 無回答	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

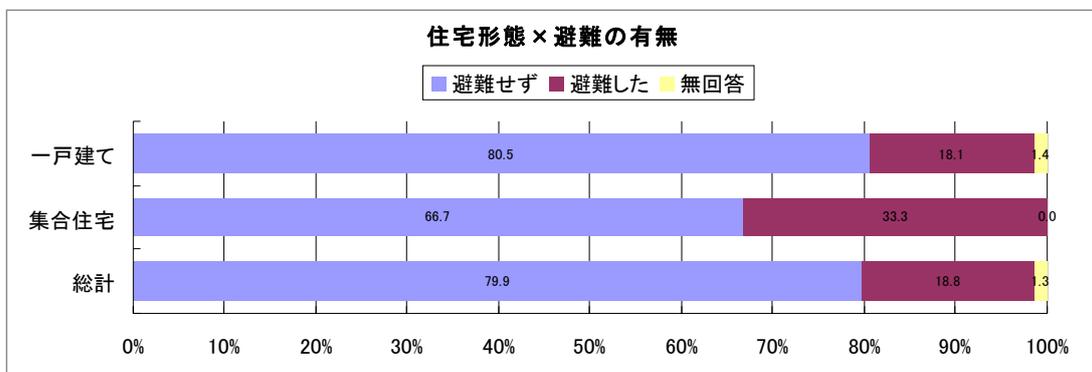
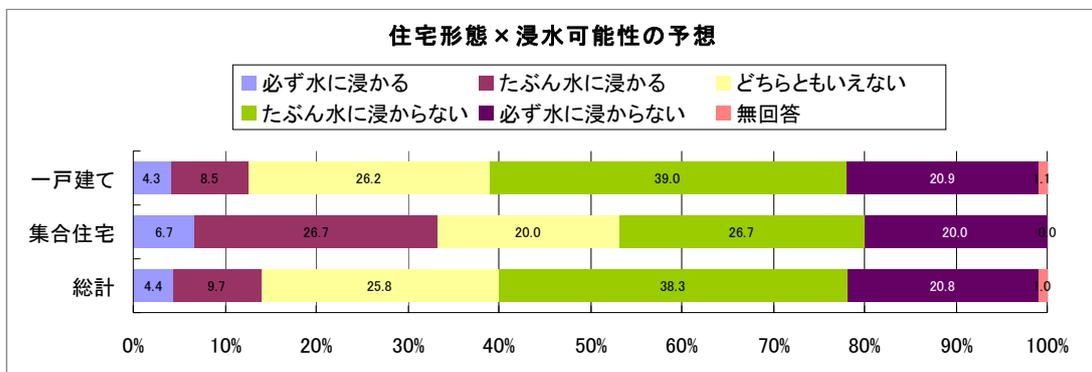
鉏路市



宇部市



山陽小野田市



2) 建物の階数

○釧路市

釧路市では、「必ず水に浸かる」と「たぶん水に浸かる」を合わせた割合は、平屋建ての回答者の方がその他建物階数の回答者より高い。

また、平屋建てと2階建ての回答者は、その他建物階数の回答者より、避難した割合が高い。

○宇部市

宇部市でも、「必ず水に浸かる」と「たぶん水に浸かる」を合わせた割合は、平屋建ての回答者の方がその他建物階数の回答者より高い。

また、平屋建ての回答者は、その他建物階数の回答者より、避難した割合が高い。

○山陽小野田市

山陽小野田市では、「必ず水に浸かる」と「たぶん水に浸かる」を合わせた割合は、平屋建てと2階建ての回答者において高い。

また、平屋建ての回答者は、その他建物階数の回答者より、避難した割合が高い。

釧路市

問6.建物の階数 × 問9.浸水可能性の予想

	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計
1 平屋(1階建て)	2	0	7	3	3	0	15	13.3	0.0	46.7	20.0	20.0	0.0	100.0
2 2階建て	2	9	34	102	44	6	197	1.0	4.6	17.3	51.8	22.3	3.0	100.0
3 3階建て	0	0	4	7	2	0	13	0.0	0.0	30.8	53.8	15.4	0.0	100.0
4 4階建て以上	0	1	11	22	36	5	75	0.0	1.3	14.7	29.3	48.0	6.7	100.0
* 無回答	0	0	0	1	0	0	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
N=301 総計	4	10	56	135	85	11	301	1.3	3.3	18.6	44.9	28.2	3.7	100.0

問6.建物の階数 × 問18.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 平屋(1階建て)	9	6	0	15	60.0	40.0	0.0	100.0
2 2階建て	122	70	5	197	61.9	35.5	2.5	100.0
3 3階建て	12	1	0	13	92.3	7.7	0.0	100.0
4 4階建て以上	61	9	5	75	81.3	12.0	6.7	100.0
* 無回答	0	0	1	1	0.0	0.0	100.0	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問6.建物の階数 × 問10.浸水可能性の予想

	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計
1 平屋(1階建て)	4	11	26	61	14	1	117	3.4	9.4	22.2	52.1	12.0	0.9	100.0
2 2階建て	1	20	67	135	50	4	277	0.4	7.2	24.2	48.7	18.1	1.4	100.0
3 3階建て	0	1	0	0	0	0	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4 4階建て以上	0	0	0	1	1	0	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
* 無回答	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
N=398 総計	5	32	93	197	66	5	398	1.3	8.0	23.4	49.5	16.6	1.3	100.0

問6.建物の階数 × 問19.避難の有無

	実数				構成比(%)			
	1	2	*	総計	1	2	*	総計
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 平屋(1階建て)	100	16	1	117	85.5	13.7	0.9	100.0
2 2階建て	257	19	1	277	92.8	6.9	0.4	100.0
3 3階建て	0	1	0	1	0.0	100.0	0.0	100.0
4 4階建て以上	2	0	0	2	100.0	0.0	0.0	100.0
* 無回答	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

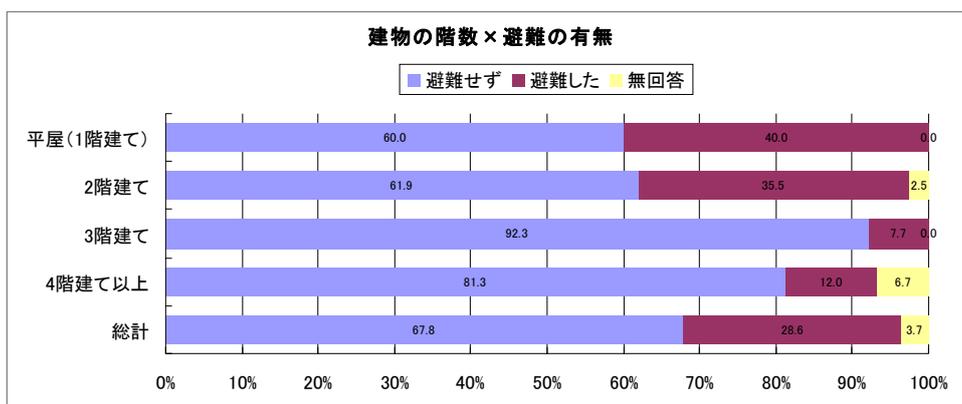
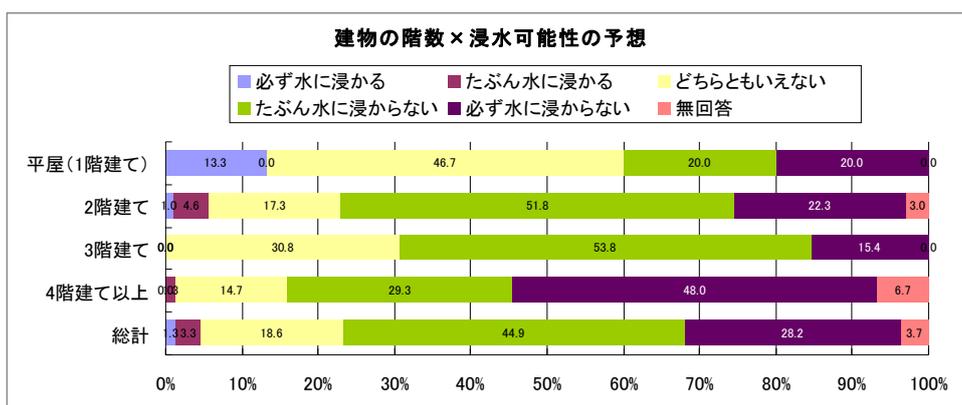
問6.建物の階数 × 問10.浸水可能性の予想

	1 2 3 4 5 *						1 2 3 4 5 *							
	実数						構成比(%)							
	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計	必ず 水に 浸かる	たぶん 水に 浸かる	どちら ともい えない	たぶん 水に 浸から ない	必ず 水に 浸から ない	無回 答	総計
1 平屋(1階建て)	4	4	16	21	17	1	63	6.3	6.3	25.4	33.3	27.0	1.6	100.0
2 2階建て	9	24	61	87	42	2	225	4.0	10.7	27.1	38.7	18.7	0.9	100.0
3 3階建て	0	0	0	1	2	0	3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0
4 4階建て以上	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
* 無回答	0	1	0	5	1	0	7	0.0	14.3	0.0	71.4	14.3	0.0	100.0
N=298 総計	13	29	77	114	62	3	298	4.4	9.7	25.8	38.3	20.8	1.0	100.0

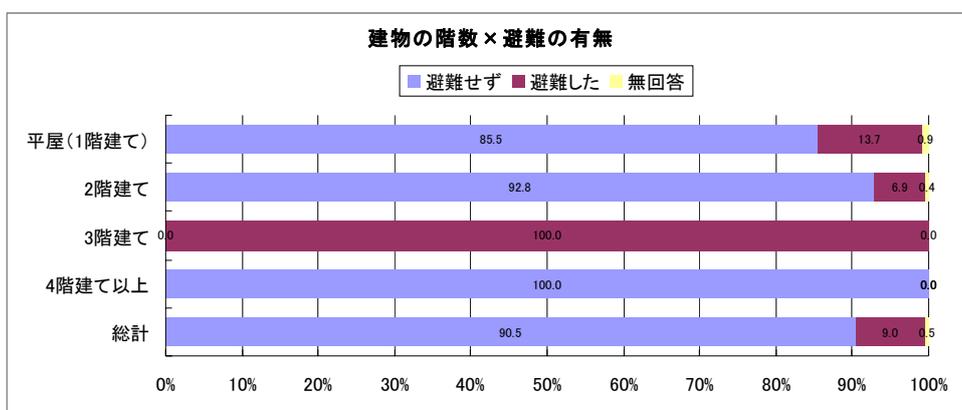
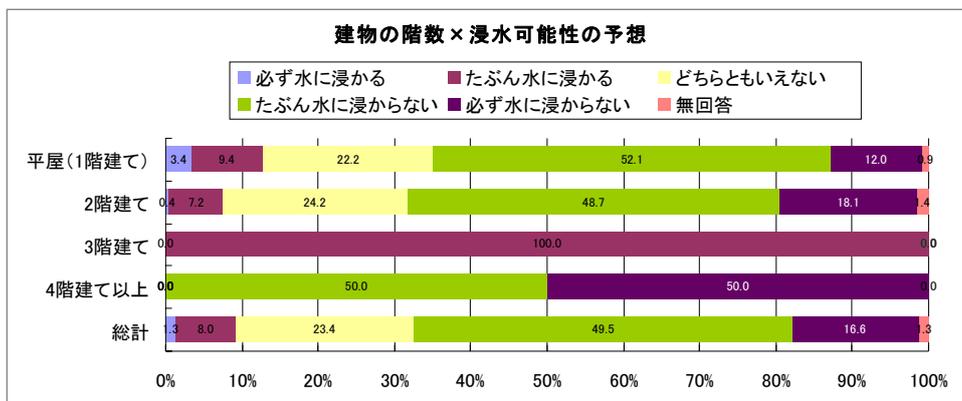
問6.建物の階数 × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 平屋(1階建て)	42	19	2	63	66.7	30.2	3.2	100.0
2 2階建て	186	37	2	225	82.7	16.4	0.9	100.0
3 3階建て	3	0	0	3	100.0	0.0	0.0	100.0
4 4階建て以上	0	0	0	0	-	-	-	-
* 無回答	7	0	0	7	100.0	0.0	0.0	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

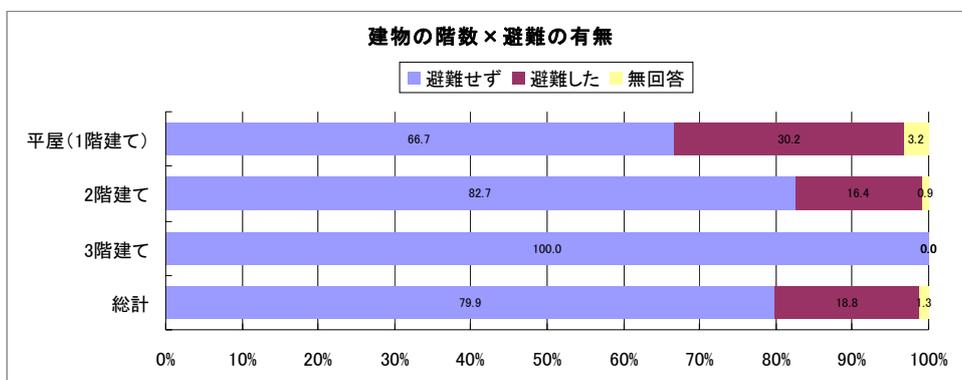
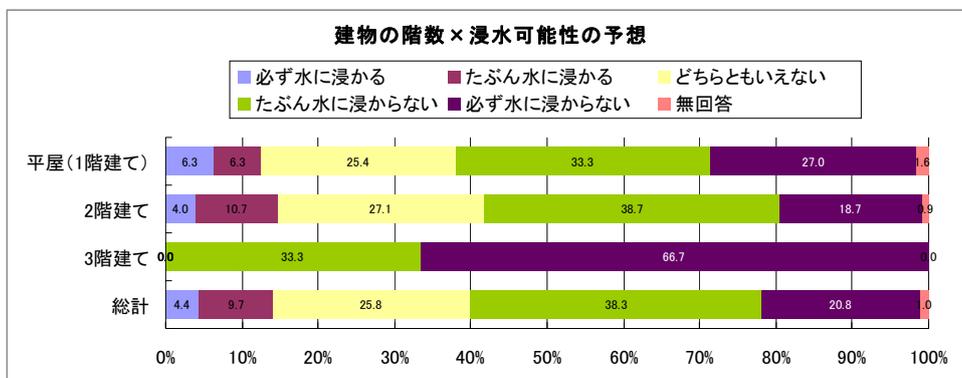
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(4) 浸水可能性の予想と避難行動

○釧路市

釧路市では、「たぶん水に浸かると思った」から「必ず水に浸からないと思った」と浸水可能性の予想が低くなるに従い、避難した割合が約90%から15%に低下する状況がみられる。

○宇部市

宇部市でも、全体として、浸水可能性の予想が低くなるに従い、避難した割合が低下する傾向がみられる。

○山陽小野田市

山陽小野田市でも、全体として、浸水可能性の予想が低くなるに従い、避難した割合が低下する傾向がみられる。

釧路市

問9.浸水可能性の予想 × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 必ず水に浸かる	3	1	0	4	75.0	25.0	0.0	100.0
2 たぶん水に浸かる	1	9	0	10	10.0	90.0	0.0	100.0
3 どちらともいえない	28	28	0	56	50.0	50.0	0.0	100.0
4 たぶん水に浸からない	97	35	3	135	71.9	25.9	2.2	100.0
5 必ず水に浸からない	71	13	1	85	83.5	15.3	1.2	100.0
* 無回答	4	0	7	11	36.4	0.0	63.6	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問10.浸水可能性の予想 × 問19.避難の有無

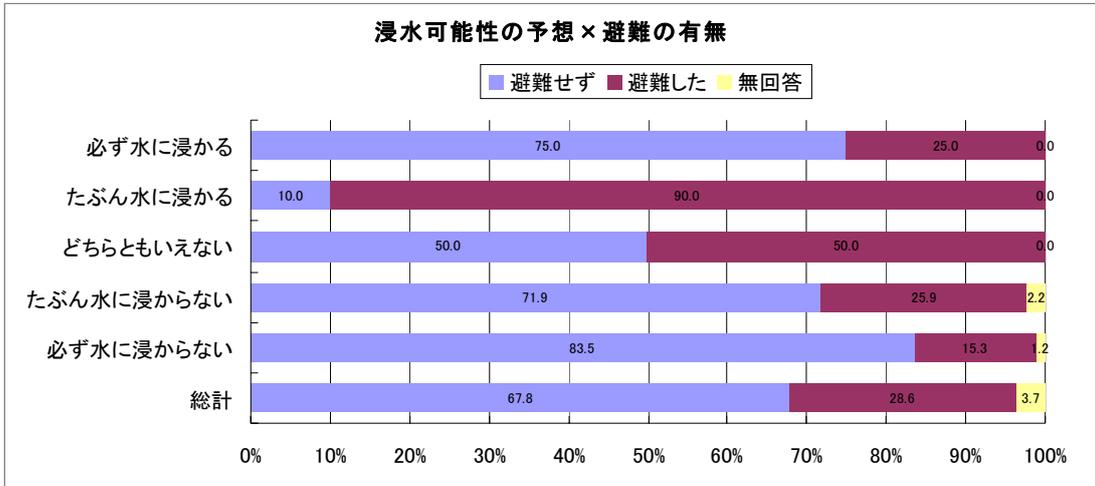
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 必ず水に浸かる	3	2	0	5	60.0	40.0	0.0	100.0
2 たぶん水に浸かる	28	4	0	32	87.5	12.5	0.0	100.0
3 どちらともいえない	76	17	0	93	81.7	18.3	0.0	100.0
4 たぶん水に浸からない	188	9	0	197	95.4	4.6	0.0	100.0
5 必ず水に浸からない	62	3	1	66	93.9	4.5	1.5	100.0
* 無回答	3	1	1	5	60.0	20.0	20.0	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

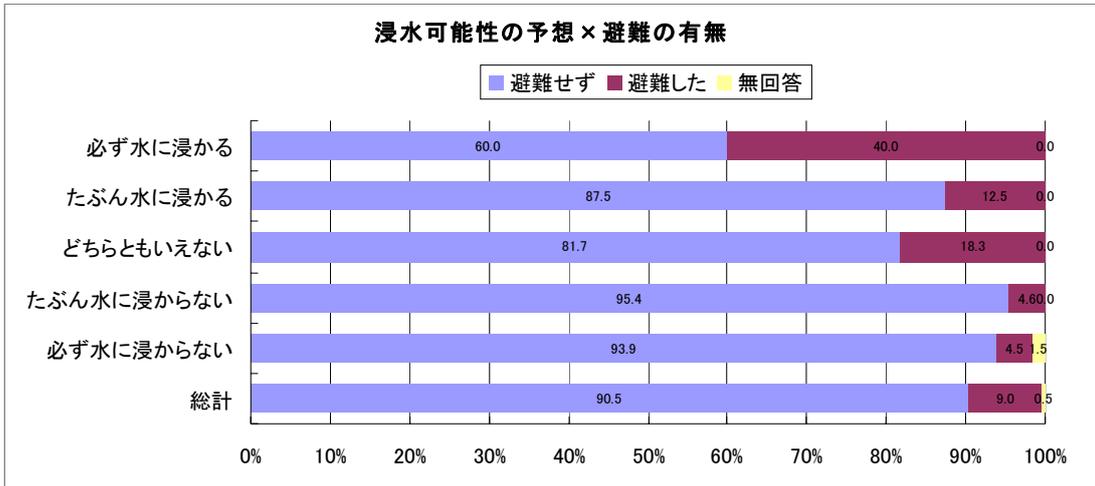
問10.浸水可能性の予想 × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 必ず水に浸かる	5	8	0	13	38.5	61.5	0.0	100.0
2 たぶん水に浸かる	16	13	0	29	55.2	44.8	0.0	100.0
3 どちらともいえない	56	19	2	77	72.7	24.7	2.6	100.0
4 たぶん水に浸からない	97	15	2	114	85.1	13.2	1.8	100.0
5 必ず水に浸からない	61	1	0	62	98.4	1.6	0.0	100.0
* 無回答	3	0	0	3	100.0	0.0	0.0	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

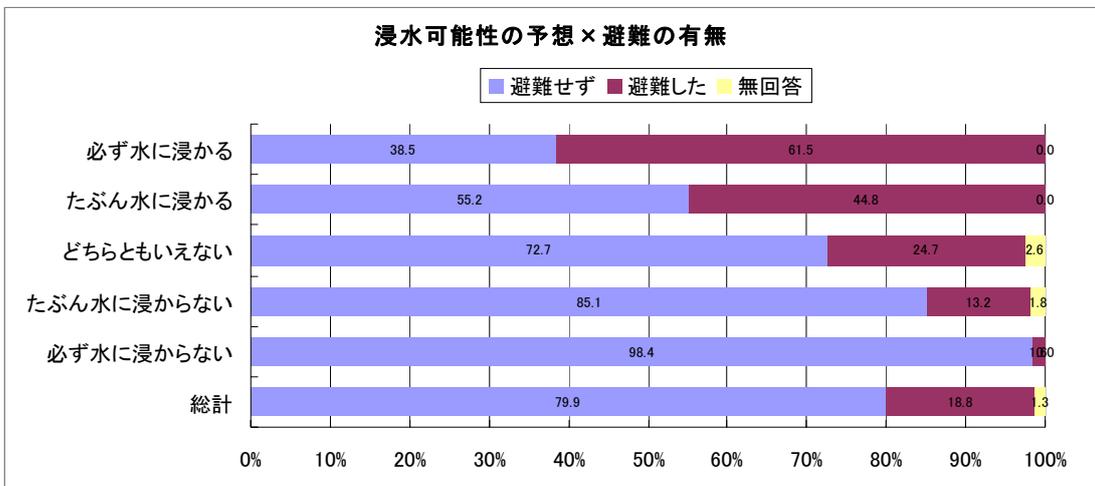
鉏路市



宇部市



山陽小野田市



(5) 被災経験, 防災訓練参加, 地縁的活動参加と避難行動

1) 被災経験

○釧路市

津波の被害を受けたことがない回答者の避難した割合は26%で, 被災経験のある回答者の割合(37%)より低い。津波被災経験と避難行動との間に関係がある可能性がある。

○宇部市

高潮の被害を受けたことがない回答者の避難した割合は6%で, 被災経験のある回答者の割合(12%)より低い。高潮被災経験と避難行動との間に関係がある可能性がある。

○山陽小野田市

高潮の被害を受けたことがない回答者の避難した割合は約4%, 被災経験のある回答者の回答割合(28%)より低い。宇部市と同様に, 高潮被災経験と避難行動との間に関係がある可能性がある。

釧路市

問26.津波被災経験(複数回答) × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 津波の被害を受けたことはない	160	57	6	223	71.7	25.6	2.7	100.0
2 津波の被害を受けたことがある	36	22	2	60	60.0	36.7	3.3	100.0
N=301 総計	196	79	8	283	69.3	27.9	2.8	100.0

宇部市

問27.高潮被災経験(複数回答) × 問19.避難の有無

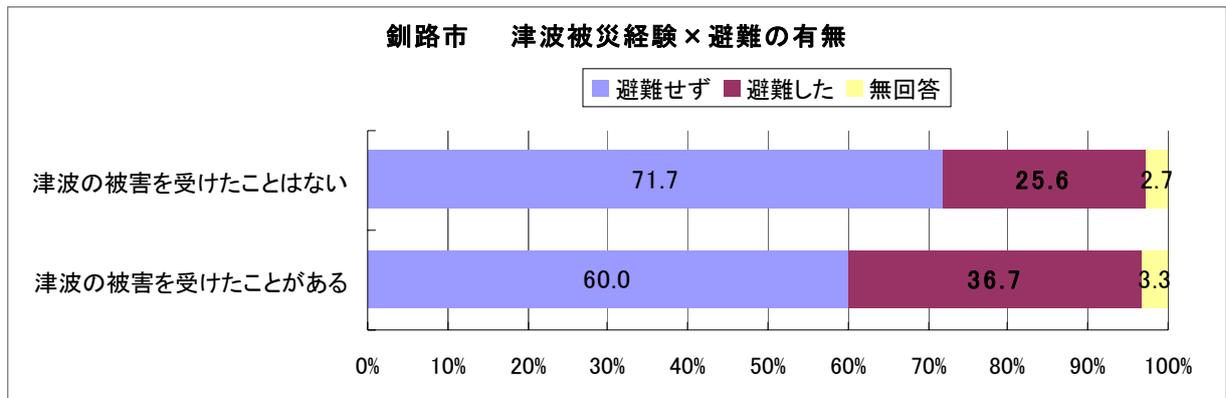
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 高潮の被害を受けたことはない	146	9	1	156	93.6	5.8	0.6	100.0
2 高潮の被害を受けたことがある	240	34	0	274	87.6	12.4	0.0	100.0
N=398 総計	386	43	1	430	90.4	9.3	0.3	100.0

山陽小野田市

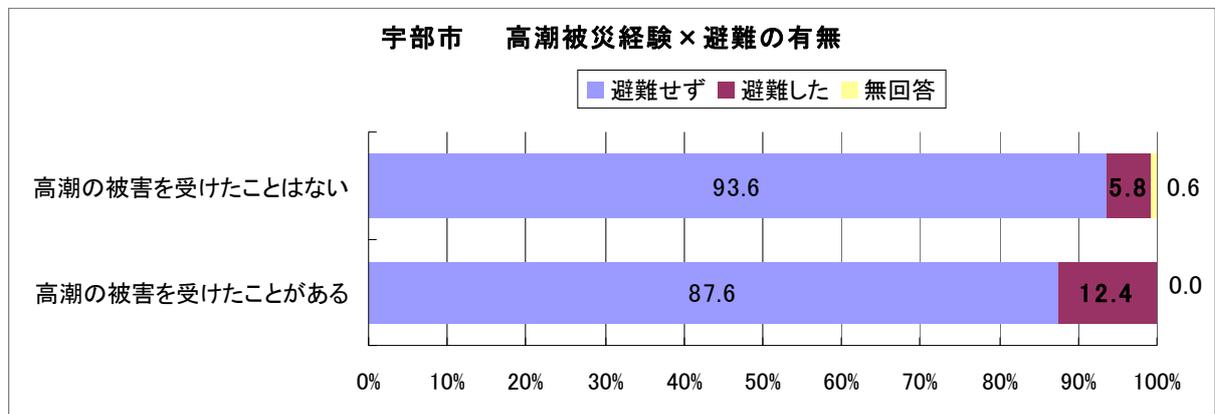
問27.高潮被災経験(複数回答) × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 高潮の被害を受けたことはない	88	4	0	92	95.7	4.3	0.0	100.0
2 高潮の被害を受けたことがある	188	75	2	265	70.9	28.3	0.8	100.0
N=298 総計	276	79	2	357	77.3	22.1	0.6	100.0

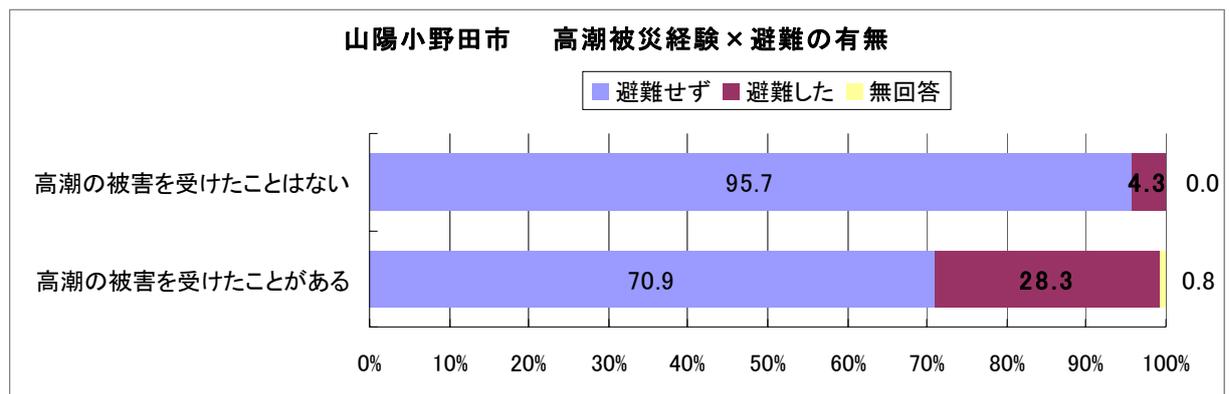
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2) 防災訓練参加

○釧路市

防災訓練に参加したことがない回答者の避難した割合は27%で、参加したことがある回答者の割合(32%)より若干低い。

○宇部市

防災訓練に参加したことがない回答者の避難した割合は、参加したことがある回答者の割合とほぼ同じであった。

○山陽小野田市

宇部市と同様に、防災訓練に参加したことがない回答者の避難した割合は、参加したことがある回答者の割合とほぼ同じであった。

釧路市

問29.防災訓練参加 × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 防災訓練に参加したことがない	148	58	7	213	69.5	27.2	3.3	100.0
2 防災訓練に参加したことがある	56	28	4	88	63.6	31.8	4.5	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問30.防災訓練参加 × 問19.避難の有無

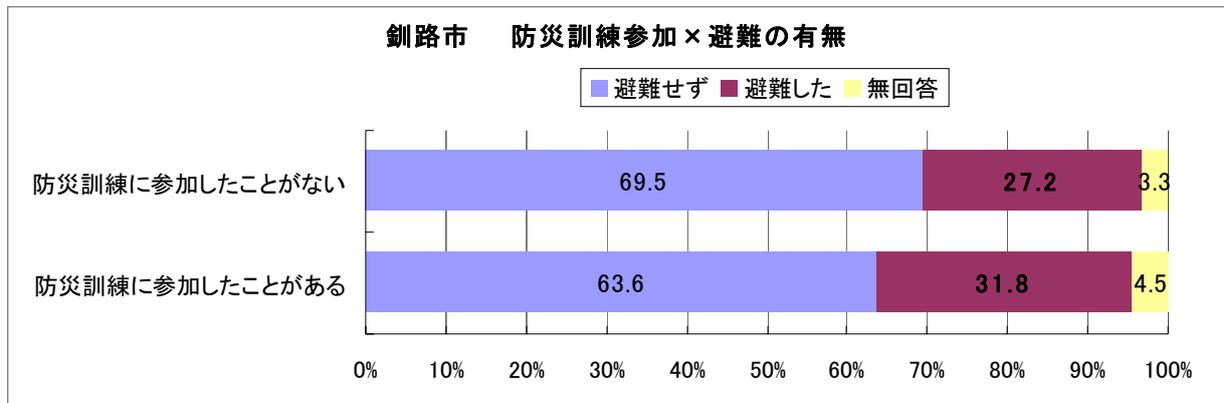
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 防災訓練に参加したことがない	277	28	1	306	90.5	9.2	0.3	100.0
2 防災訓練に参加したことがある	83	8	1	92	90.2	8.7	1.1	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

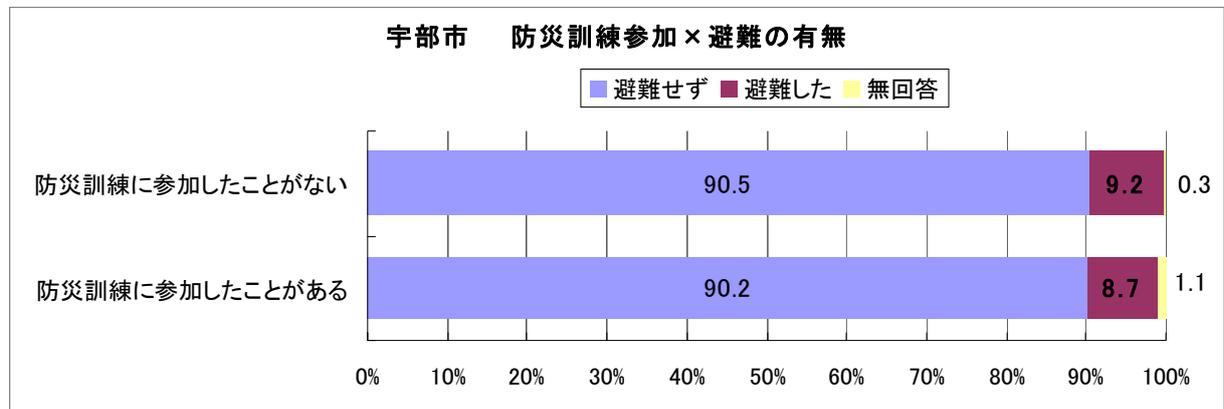
問30.防災訓練参加 × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 防災訓練に参加したことがない	172	41	1	214	80.4	19.2	0.5	100.0
2 防災訓練に参加したことがある	66	15	3	84	78.6	17.9	3.6	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

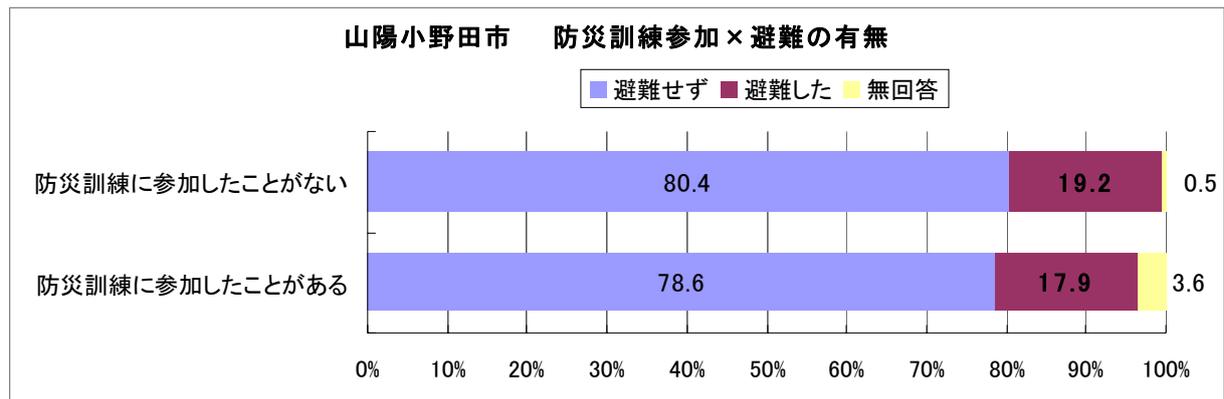
釧路市



宇部市



山陽小野田市



3) 地縁活動への参加

○釧路市

地縁活動に参加していない回答者の避難した割合は 23%で、参加している回答者の回答割合 (35%) より低い。地縁活動と避難行動との間に関係がある可能性がある。

○宇部市

釧路市とは異なり、地縁活動に参加していない回答者の避難した割合は 11%で、参加している回答者の回答割合より高い。

○山陽小野田市

宇部市と同様に、地縁活動に参加していない回答者の避難した割合は 24%で、参加している回答者の回答割合より高い。

釧路市

問39A.地縁活動(状況) × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比 (%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
ア 活動していない	116	36	6	158	73.4	22.8	3.8	100.0
イ 活動している	88	50	5	143	61.5	35.0	3.5	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

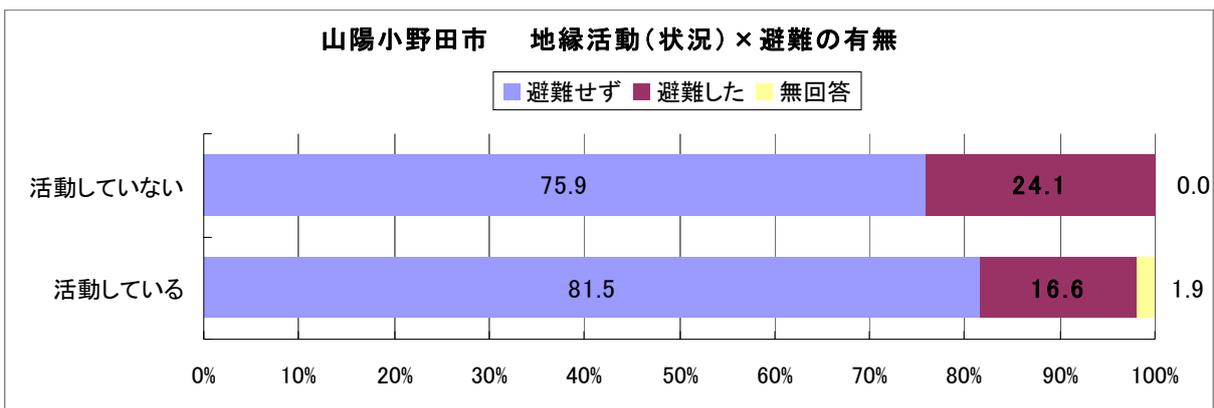
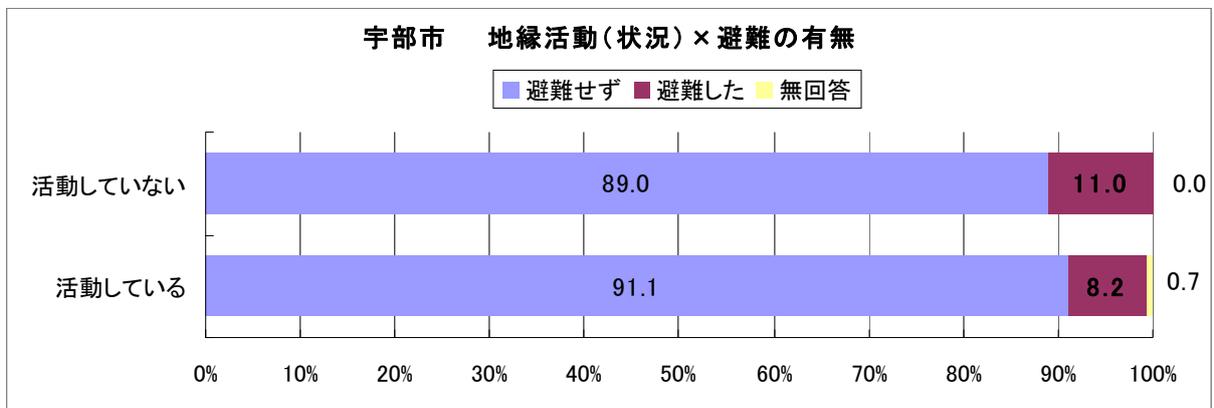
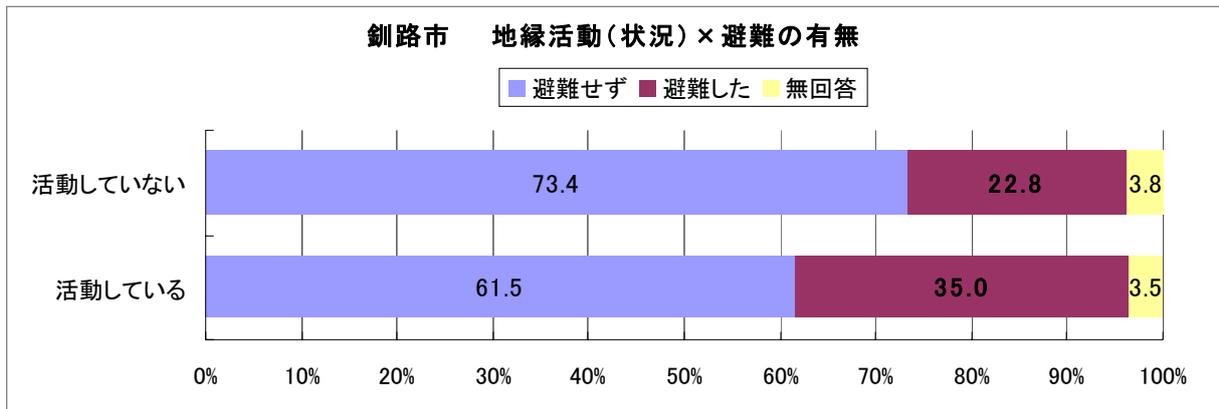
問40A.地縁活動(状況) × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比 (%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
ア 活動していない	105	13	0	118	89.0	11.0	0.0	100.0
イ 活動している	255	23	2	280	91.1	8.2	0.7	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

問40A.地縁活動(状況) × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比 (%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
ア 活動していない	66	21	0	87	75.9	24.1	0.0	100.0
イ 活動している	172	35	4	211	81.5	16.6	1.9	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0



(6) 避難意思と避難準備, 避難意思と避難行動, 避難準備と避難行動

1) 避難意思と避難準備

三市とも、避難しなければいけないという思いが強いほど、避難場所の確認や持ち出す荷物の整理などの避難準備を行っている傾向が認められる。

釧路市

問16.避難意思 × 問17.避難準備

	実数					構成比(%)				
	1	2	3	*	総計	1	2	3	*	総計
	避難場所確認、荷物を整理	避難場所確認、荷物の整理はせず	避難の準備をしなかった	無回答		避難場所確認、荷物を整理	避難場所確認、荷物の整理はせず	避難の準備をしなかった	無回答	
1 避難しなければいけない	15	8	5	1	29	51.7	27.6	17.2	3.4	100.0
2 避難した方がいい	25	30	9	2	66	37.9	45.5	13.6	3.0	100.0
3 どちらともいえない	5	12	24	0	41	12.2	29.3	58.5	0.0	100.0
4 避難しなくてもいい	2	23	69	1	95	2.1	24.2	72.6	1.1	100.0
5 避難する必要はない	0	0	39	0	39	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
* 無回答	3	8	7	13	31	9.7	25.8	22.6	41.9	100.0
N=301 総計	50	81	153	17	301	16.6	26.9	50.8	5.6	100.0

宇部市

問17.避難意思 × 問18.避難準備

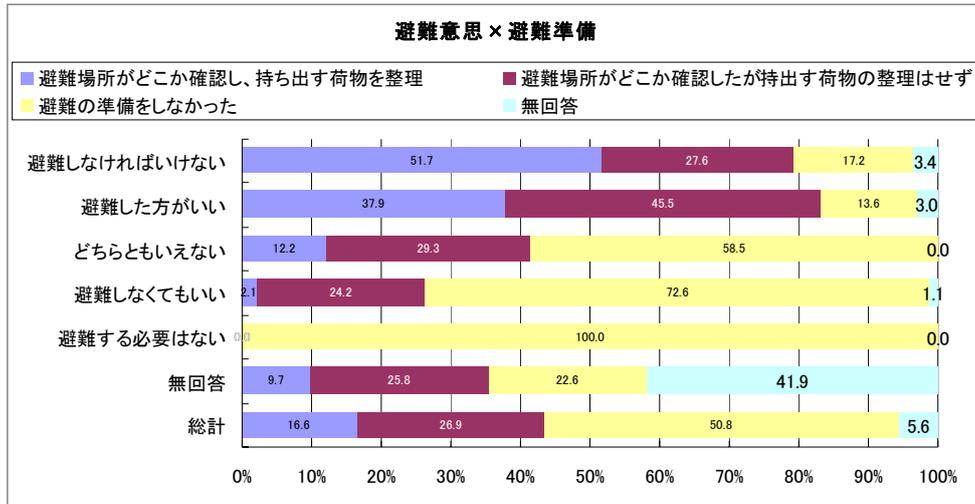
	実数					構成比(%)				
	1	2	3	*	総計	1	2	3	*	総計
	避難場所確認、荷物を整理	避難場所確認、荷物の整理はせず	避難の準備をしなかった	無回答		避難場所確認、荷物を整理	避難場所確認、荷物の整理はせず	避難の準備をしなかった	無回答	
1 避難しなければいけない	10	1	0	0	11	90.9	9.1	0.0	0.0	100.0
2 避難した方がいい	20	14	4	1	39	51.3	35.9	10.3	2.6	100.0
3 どちらともいえない	16	25	27	2	70	22.9	35.7	38.6	2.9	100.0
4 避難しなくてもいい	7	37	123	4	171	4.1	21.6	71.9	2.3	100.0
5 避難する必要はない	1	2	75	0	78	1.3	2.6	96.2	0.0	100.0
※ 無回答	5	6	13	5	29	17.2	20.7	44.8	17.2	100.0
N=298 総計	59	85	242	12	398	14.8	21.4	60.8	3.0	100.0

山陽小野田市

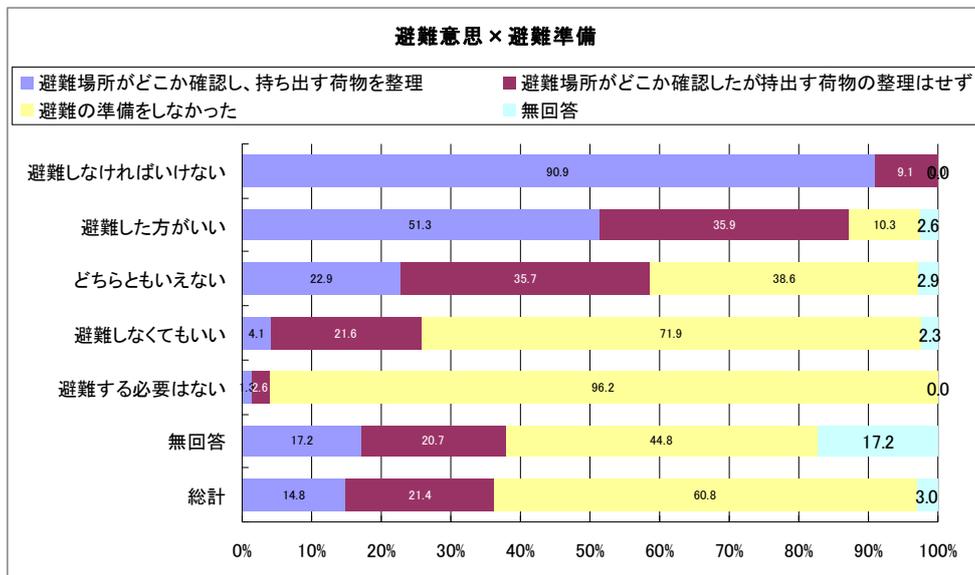
問17.避難意思 × 問18.避難準備

	実数					構成比(%)				
	1	2	3	*	総計	1	2	3	*	総計
	避難場所確認、荷物を整理	避難場所確認、荷物の整理はせず	避難の準備をしなかった	無回答		避難場所確認、荷物を整理	避難場所確認、荷物の整理はせず	避難の準備をしなかった	無回答	
1 避難しなければいけない	9	2	0	1	12	75.0	16.7	0.0	8.3	100.0
2 避難した方がいい	36	10	7	0	53	67.9	18.9	13.2	0.0	100.0
3 どちらともいえない	16	17	19	1	53	30.2	32.1	35.8	1.9	100.0
4 避難しなくてもいい	12	20	69	0	101	11.9	19.8	68.3	0.0	100.0
5 避難する必要はない	4	5	34	1	44	9.1	11.4	77.3	2.3	100.0
※ 無回答	12	11	8	4	35	34.3	31.4	22.9	11.4	100.0
N=298 総計	89	65	137	7	298	29.9	21.8	46.0	2.3	100.0

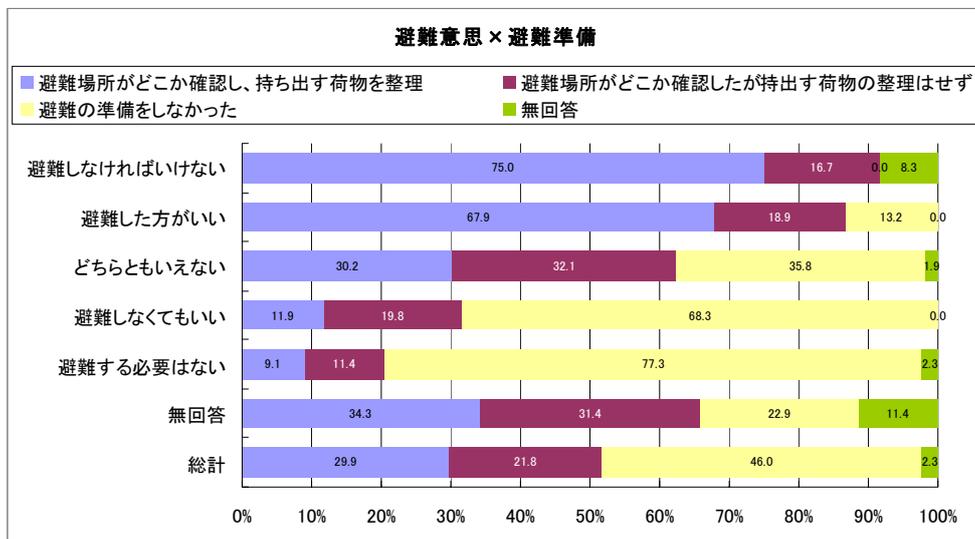
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2) 避難意思と避難の有無

三市とも、避難しなければいけないという思いが強い人ほど、避難した割合が高い傾向が認められる。

釧路市

問16.避難意思 × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 避難しなければいけない	9	20	0	29	31.0	69.0	0.0	100.0
2 避難した方がいい	17	49	0	66	25.8	74.2	0.0	100.0
3 どちらともいえない	35	5	1	41	85.4	12.2	2.4	100.0
4 避難しなくてもいい	88	7	0	95	92.6	7.4	0.0	100.0
5 避難する必要はない	38	0	1	39	97.4	0.0	2.6	100.0
* 無回答	17	5	9	31	54.8	16.1	29.0	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問17.避難意思 × 問19.避難の有無

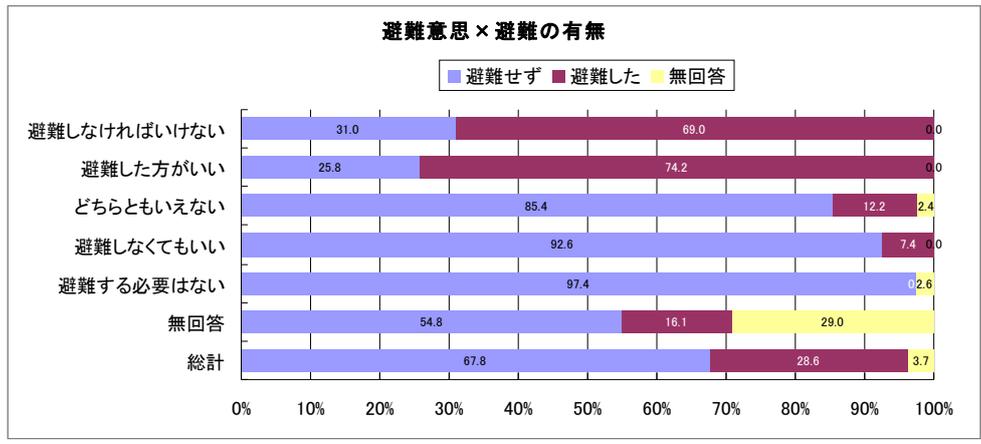
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 避難しなければいけない	2	9	0	11	18.2	81.8	0.0	100.0
2 避難した方がいい	16	23	0	39	41.0	59.0	0.0	100.0
3 どちらともいえない	69	1	0	70	98.6	1.4	0.0	100.0
4 避難しなくてもいい	168	2	1	171	98.2	1.2	0.6	100.0
5 避難する必要はない	78	0	0	78	100.0	0.0	0.0	100.0
※ 無回答	27	1	1	29	93.1	3.4	3.4	100.0
N=298 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

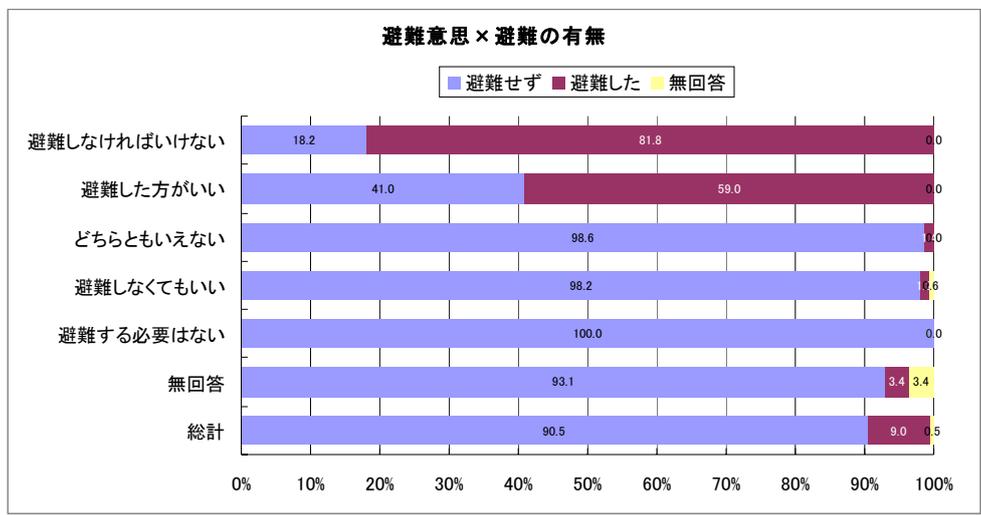
問17.避難意思 × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 避難しなければいけない	2	10	0	12	16.7	83.3	0.0	100.0
2 避難した方がいい	17	36	0	53	32.1	67.9	0.0	100.0
3 どちらともいえない	50	2	1	53	94.3	3.8	1.9	100.0
4 避難しなくてもいい	97	3	1	101	96.0	3.0	1.0	100.0
5 避難する必要はない	44	0	0	44	100.0	0.0	0.0	100.0
※ 無回答	28	5	2	35	80.0	14.3	5.7	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

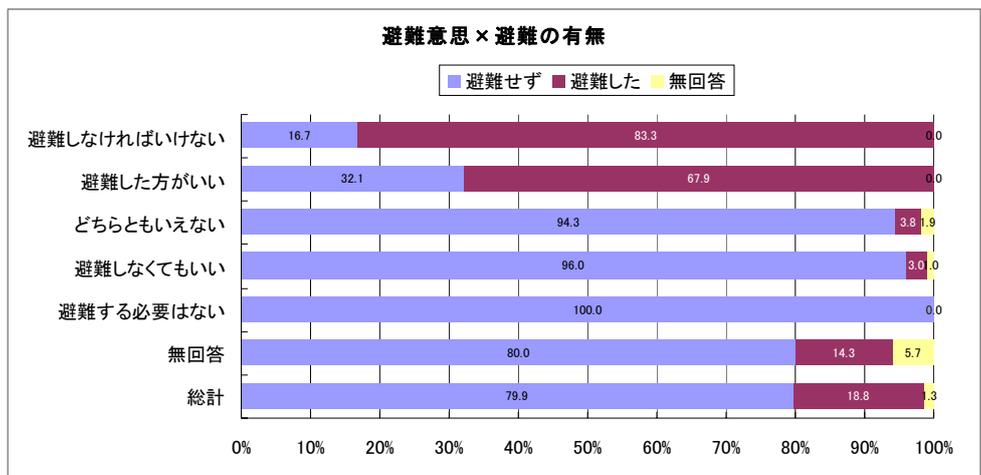
鉏路市



宇部市



山陽小野田市



3) 避難準備と避難の有無

三市とも、避難準備をした人ほど、避難した割合が高い傾向が認められる。

釧路市

問17.避難準備 × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 避難場所確認、持出す荷物を整理	18	32	0	50	36.0	64.0	0.0	100.0
2 避難場所確認、持出す荷物の整理はせず	41	40	0	81	50.6	49.4	0.0	100.0
3 避難の準備をしなかった	141	10	2	153	92.2	6.5	1.3	100.0
* 無回答	4	4	9	17	23.5	23.5	52.9	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問18.避難準備 × 問19.避難の有無

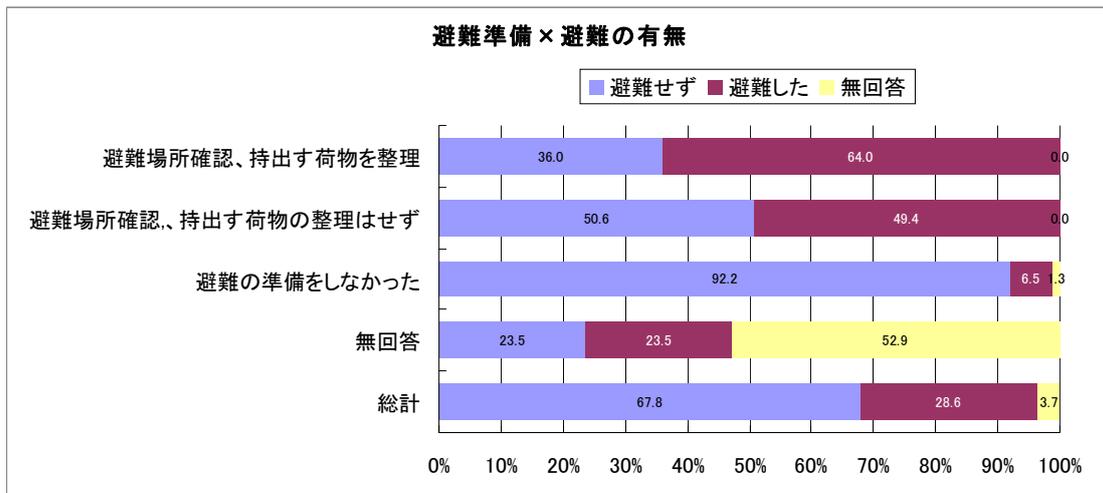
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 避難場所確認、荷物を整理	37	22	0	59	62.7	37.3	0.0	100.0
2 避難場所確認、荷物の整理はせず	77	8	0	85	90.6	9.4	0.0	100.0
3 避難の準備をしなかった	236	5	1	242	97.5	2.1	0.4	100.0
* 無回答	10	1	1	12	83.3	8.3	8.3	100.0
N=298 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

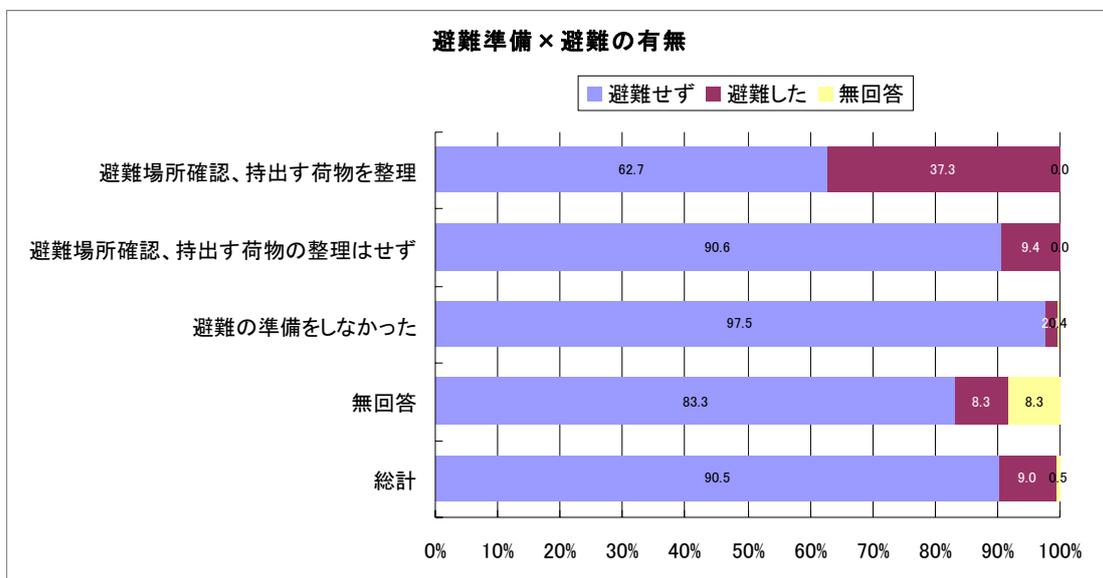
問18.避難準備 × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 避難場所確認、荷物を整理	48	41	0	89	53.9	46.1	0.0	100.0
2 避難場所確認、荷物の整理はせず	57	7	1	65	87.7	10.8	1.5	100.0
3 避難の準備をしなかった	129	7	1	137	94.2	5.1	0.7	100.0
* 無回答	4	1	2	7	57.1	14.3	28.6	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

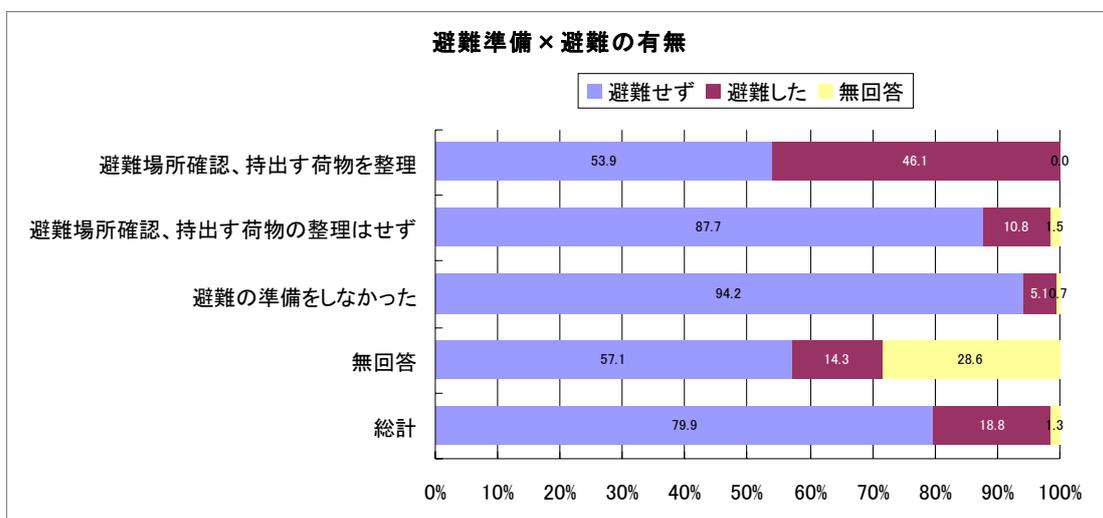
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(7) 避難所までの実測距離と距離感

ばらつきはあるものの、三市とも、避難所までの実測距離が長くなるほど、避難所が歩いて行ける距離にあるという回答の割合が低下する傾向が見られる。

釧路市

避難所までの距離 × 問31.津波避難場所距離

	実数				構成比(%)					
	1	2	3	*	1	2	3	*		
	歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答	歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答	総計	
1 0～100未満	33	1	5	3	42	78.6	2.4	11.9	7.1	100.0
2 100～200未満	60	2	10	3	75	80.0	2.7	13.3	4.0	100.0
3 200～300未満	59	5	10	2	76	77.6	6.6	13.2	2.6	100.0
4 300～400未満	56	2	10	4	72	77.8	2.8	13.9	5.6	100.0
5 400～500未満	12	3	0	3	18	66.7	16.7	0.0	16.7	100.0
6 500～600未満	0	1	2	0	3	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0
7 600～700未満	2	1	1	1	5	40.0	20.0	20.0	20.0	100.0
8 700～800未満	3	1	0	0	4	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0
9 800～900未満	4	0	0	0	4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
10 900～1000未満	0	0	0	0	2	—	—	—	—	—
11 1000～1100未満	2	0	0	0	2	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
N=301 総計	231	16	38	16	301	76.7	5.3	12.6	5.3	100.0

宇部市

避難場所までの距離 × 問32.高潮避難場所距離

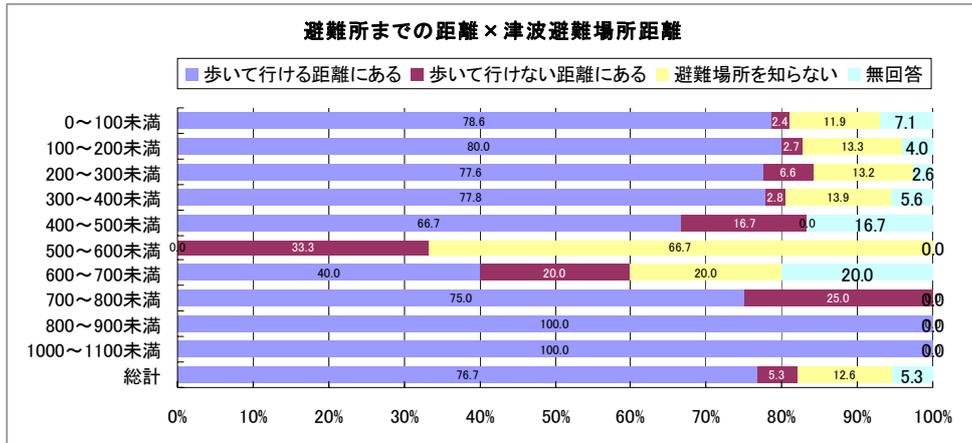
	実数				構成比(%)					
	1	2	3	*	1	2	3	*		
	歩いて行ける	歩いて行けない	場所を知らない	無回答	歩いて行ける	歩いて行けない	場所を知らない	無回答	総計	
1 0～100未満	7	0	2	0	9	77.8	0.0	22.2	0.0	100.0
2 100～200未満	30	1	1	1	33	90.9	3.0	3.0	3.0	100.0
3 200～300未満	46	0	4	1	51	90.2	0.0	7.8	2.0	100.0
4 300～400未満	33	1	3	1	38	86.8	2.6	7.9	2.6	100.0
5 400～500未満	43	6	12	5	66	65.2	9.1	18.2	7.6	100.0
6 500～600未満	49	12	9	3	73	67.1	16.4	12.3	4.1	100.0
7 600～700未満	32	8	7	1	48	66.7	16.7	14.6	2.1	100.0
8 700～800未満	16	15	5	1	37	43.2	40.5	13.5	2.7	100.0
9 800～900未満	18	5	3	1	27	66.7	18.5	11.1	3.7	100.0
10 900～1000未満	8	3	0	1	12	66.7	25.0	0.0	8.3	100.0
11 1000～1100未満	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
12 1100～1200未満	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
※ 不明	1	1	1	1	4	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0
N=298 総計	283	52	47	16	398	71.1	13.1	11.8	4.0	100.0

山陽小野田市

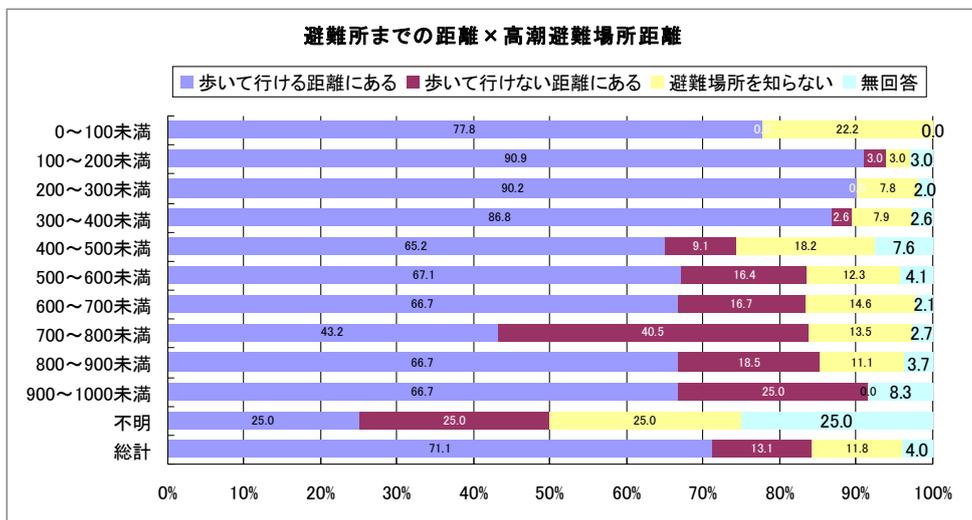
避難場所までの距離 × 問32.高潮避難場所距離

	実数				構成比(%)					
	1	2	3	*	1	2	3	*		
	歩いて行ける	歩いて行けない	場所を知らない	無回答	歩いて行ける	歩いて行けない	場所を知らない	無回答	総計	
1 0～100未満	9	4	1	2	16	56.3	25.0	6.3	12.5	100.0
2 100～200未満	35	1	1	3	40	87.5	2.5	2.5	7.5	100.0
3 200～300未満	70	2	2	4	78	89.7	2.6	2.6	5.1	100.0
4 300～400未満	62	5	1	3	71	87.3	7.0	1.4	4.2	100.0
5 400～500未満	12	1	0	0	13	92.3	7.7	0.0	0.0	100.0
6 500～600未満	6	1	0	1	8	75.0	12.5	0.0	12.5	100.0
7 600～700未満	5	1	0	1	7	71.4	14.3	0.0	14.3	100.0
8 700～800未満	7	2	1	0	10	70.0	20.0	10.0	0.0	100.0
9 800～900未満	2	3	0	2	7	28.6	42.9	0.0	28.6	100.0
10 900～1000未満	1	8	1	3	13	7.7	61.5	7.7	23.1	100.0
11 1000～1100未満	6	11	1	2	20	30.0	55.0	5.0	10.0	100.0
12 1100～1200未満	3	5	1	0	9	33.3	55.6	11.1	0.0	100.0
※ 不明	2	3	1	0	6	33.3	50.0	16.7	0.0	100.0
N=298 総計	220	47	10	21	298	73.8	15.8	3.4	7.0	100.0

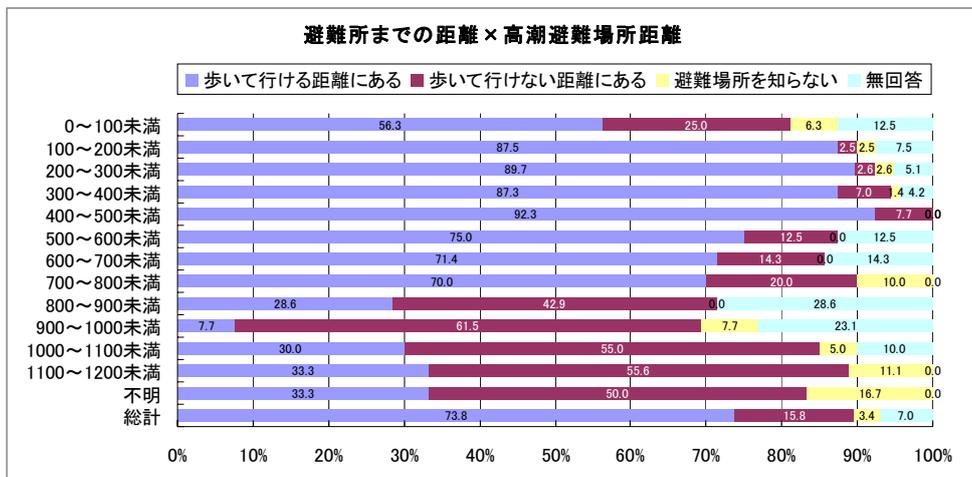
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(8) 警報・避難勧告・避難のよびかけと浸水可能性・危険性予想

1) 警報認知と浸水可能性の予想

○鉏路市

鉏路市では、津波警報の認知と浸水可能性予想との間に、明瞭な関係はみられなかった。

○宇部市

宇部市で、高潮警報を認知していた人の方が認知していなかった人より、「必ず水に浸かると思った」と「たぶん水に浸かると思った」を合わせた割合がやや高かった。

○山陽小野田市

宇部市と同様に、高潮警報を認知していた人の方が認知していなかった人より、「必ず水に浸かると思った」と「たぶん水に浸かると思った」を合わせた割合がやや高かった。

鉏路市

問12.津波警報認知 × 問9.浸水可能性の予想

	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 知らなかった	2	2	16	26	25	1	72	2.8	2.8	22.2	36.1	34.7	1.4	100.0
2 知っていた	2	8	40	107	59	2	218	0.9	3.7	18.3	49.1	27.1	0.9	100.0
※ 無回答	0	0	0	2	1	8	11	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	72.7	100.0
N=301 総計	4	10	56	135	85	11	301	1.3	3.3	18.6	44.9	28.2	3.7	100.0

宇部市

問13.高潮警報認知 × 問10.浸水可能性の予想

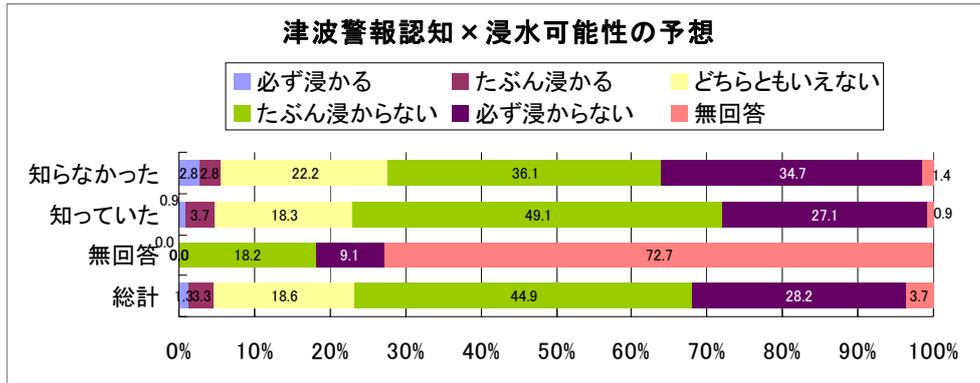
	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 知らなかった	2	8	26	62	27	0	125	1.6	6.4	20.8	49.6	21.6	0.0	100.0
2 知っていた	3	24	65	132	36	2	262	1.1	9.2	24.8	50.4	13.7	0.8	100.0
※ 無回答	0	0	2	3	3	3	11	0.0	0.0	18.2	27.3	27.3	27.3	100.0
N=398 総計	5	32	93	197	66	5	398	1.3	8.0	23.4	49.5	16.6	1.3	100.0

山陽小野田市

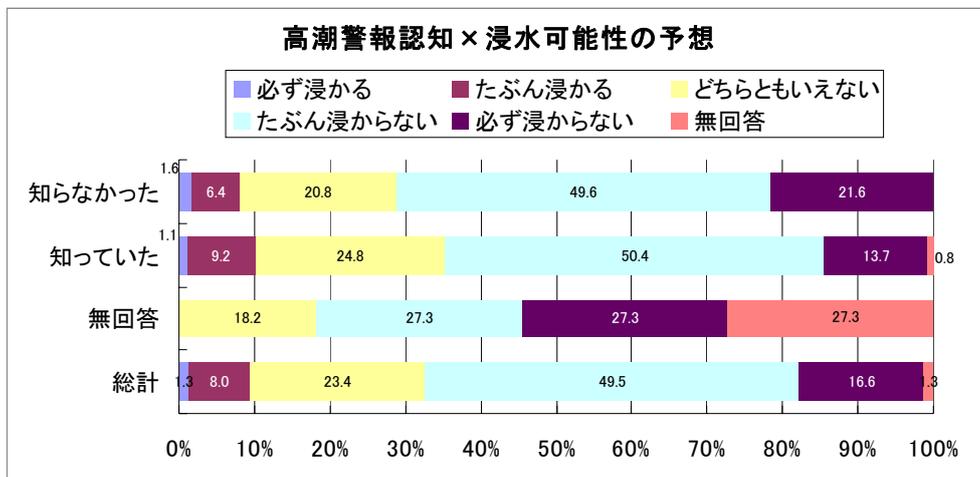
問13.高潮警報認知 × 問10.浸水可能性の予想

	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 知らなかった	3	4	25	24	21	0	77	3.9	5.2	32.5	31.2	27.3	0.0	100.0
2 知っていた	10	24	50	86	40	2	212	4.7	11.3	23.6	40.6	18.9	0.9	100.0
※ 無回答	0	1	2	4	1	1	9	0.0	11.1	22.2	44.4	11.1	11.1	100.0
N=298 総計	13	29	77	114	62	3	298	4.4	9.7	25.8	38.3	20.8	1.0	100.0

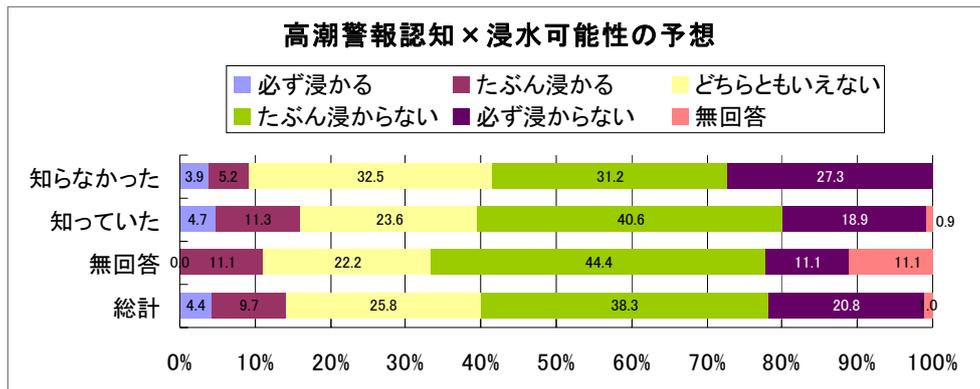
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2) 警報認知と危険の予想

○釧路市

津波警報の認知と危険性の予想との間には、明瞭な関係が認められなかった。

○宇部市

高潮警報を知っていた人の方が、「避難しなくても絶対大丈夫だと思った」と「避難しなくてもたぶん大丈夫だと思った」を合わせた割合が若干低かった。

○山陽小野田市

宇部市とは異なり、「避難しなくても絶対大丈夫だと思った」と「避難しなくてもたぶん大丈夫だと思った」を合わせた割合は、高潮警報を知っていた人と知らなかった人でほぼ同数であった。

釧路市

問12.津波警報認知 × 問11.危険予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	避難し ないと 絶対助 からない	避難し ないと 助から ないか も	どちらと もいえ ない	避難し なくても たぶん 大丈夫	避難し なくても 絶対大 丈夫	無回 答		避難し ないと 絶対助 からない	避難し ないと 助から ないか も	どちらと もいえ ない	避難し なくても たぶん 大丈夫	避難し なくても 絶対大 丈夫	無回 答	
1 知らなかった	1	4	17	32	17	1	72	1.4	5.6	23.6	44.4	23.6	1.4	100.0
2 知っていた	0	12	39	112	54	1	218	0.0	5.5	17.9	51.4	24.8	0.5	100.0
※ 無回答	0	0	1	1	1	8	11	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	72.7	100.0
N=301 総計	1	16	57	145	72	10	301	0.3	5.3	18.9	48.2	23.9	3.3	100.0

宇部市

問13.高潮警報認知 × 問12.危険予想

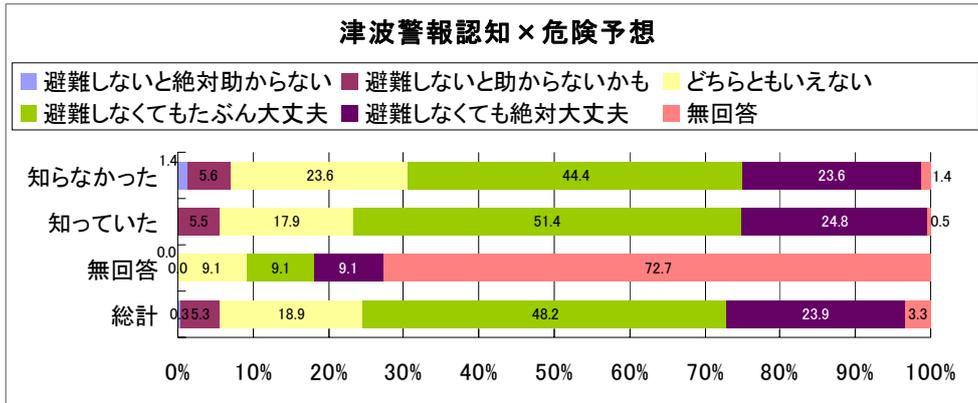
	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	避難し ないと 絶対助 からない	避難し ないと 助から ないか も	どちらと もいえ ない	避難し なくても たぶん 大丈夫	避難し なくても 絶対大 丈夫	無回 答		避難し ないと 絶対助 からない	避難し ないと 助から ないか も	どちらと もいえ ない	避難し なくても たぶん 大丈夫	避難し なくても 絶対大 丈夫	無回 答	
1 知らなかった	1	1	15	68	39	1	125	0.8	0.8	12.0	54.4	31.2	0.8	100.0
2 知っていた	0	4	43	154	61	0	262	0.0	1.5	16.4	58.8	23.3	0.0	100.0
※ 無回答	0	0	1	5	1	4	11	0.0	0.0	9.1	45.5	9.1	36.4	100.0
N=398 総計	1	5	59	227	101	5	398	0.3	1.3	14.8	57.0	25.4	1.3	100.0

山陽小野田市

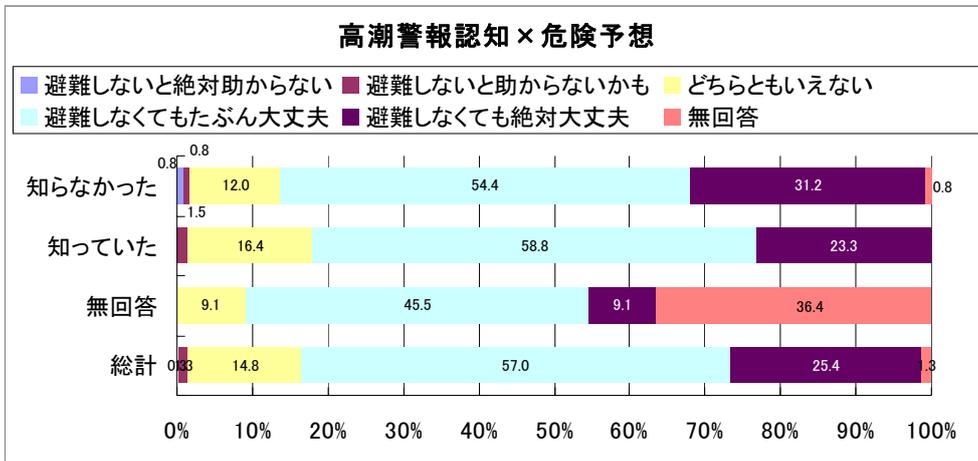
問13.高潮警報認知 × 問12.危険予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	避難し ないと 絶対助 からない	避難し ないと 助から ないか も	どちらと もいえ ない	避難し なくても たぶん 大丈夫	避難し なくても 絶対大 丈夫	無回 答		避難し ないと 絶対助 からない	避難し ないと 助から ないか も	どちらと もいえ ない	避難し なくても たぶん 大丈夫	避難し なくても 絶対大 丈夫	無回 答	
1 知らなかった	0	2	17	44	14	0	77	0.0	2.6	22.1	57.1	18.2	0.0	100.0
2 知っていた	4	10	38	121	37	2	212	1.9	4.7	17.9	57.1	17.5	0.9	100.0
※ 無回答	0	0	2	4	2	1	9	0.0	0.0	22.2	44.4	22.2	11.1	100.0
N=298 総計	4	12	57	169	53	3	298	1.3	4.0	19.1	56.7	17.8	1.0	100.0

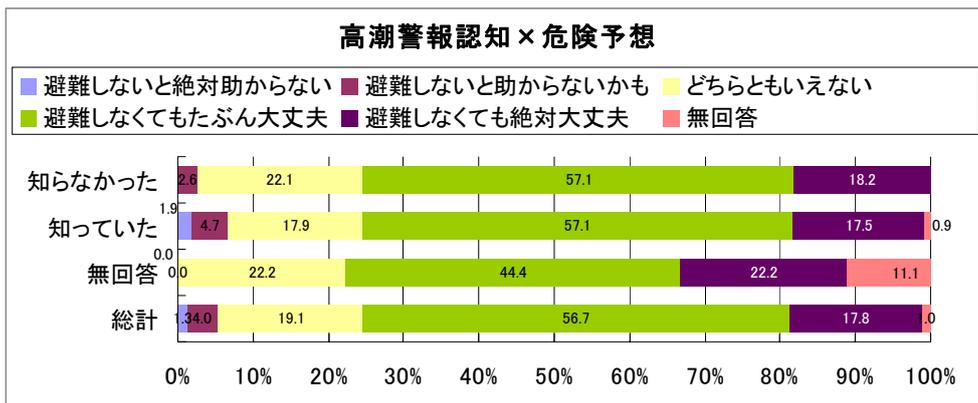
釧路市



宇部市



山陽小野田市



3) 避難勧告認知と浸水可能性の予想

三市とも、避難勧告の発令を知っていた人の方が、知らなかった人より、「必ず水に浸かるかと思った」と「たぶん水に浸かるかと思った」を合わせた割合が大きかった。

鉏路市

問14.避難勧告認知 × 問9.浸水可能性の予想

	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 知らなかった	0	2	18	28	31	1	80	0.0	2.5	22.5	35.0	38.8	1.3	100.0
2 知っていた	3	7	37	99	49	3	198	1.5	3.5	18.7	50.0	24.7	1.5	100.0
※ 無回答	1	1	1	8	5	7	23	4.3	4.3	4.3	34.8	21.7	30.4	100.0
N=301 総計	4	10	56	135	85	11	301	1.3	3.3	18.6	44.9	28.2	3.7	100.0

宇部市

問15.避難勧告認知 × 問10.浸水可能性の予想

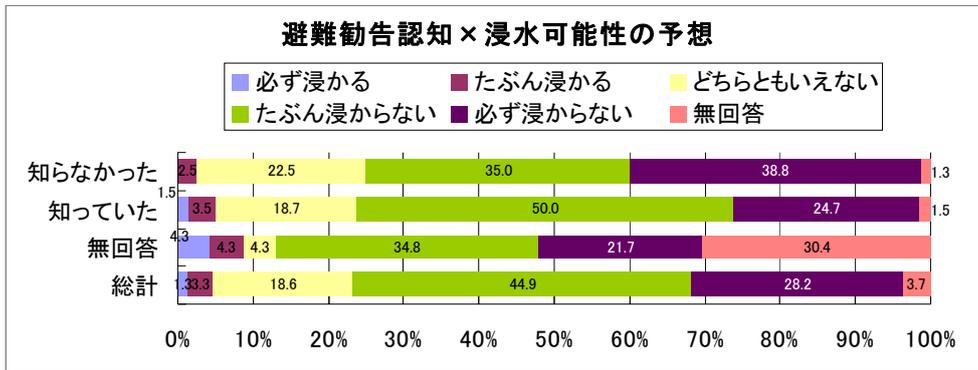
	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 知らなかった	2	7	19	65	29	0	122	1.6	5.7	15.6	53.3	23.8	0.0	100.0
2 知っていた	3	25	71	125	34	2	260	1.2	9.6	27.3	48.1	13.1	0.8	100.0
※ 無回答	0	0	3	7	3	3	16	0.0	0.0	18.8	43.8	18.8	18.8	100.0
N=398 総計	5	32	93	197	66	5	398	1.3	8.0	23.4	49.5	16.6	1.3	100.0

山陽小野田市

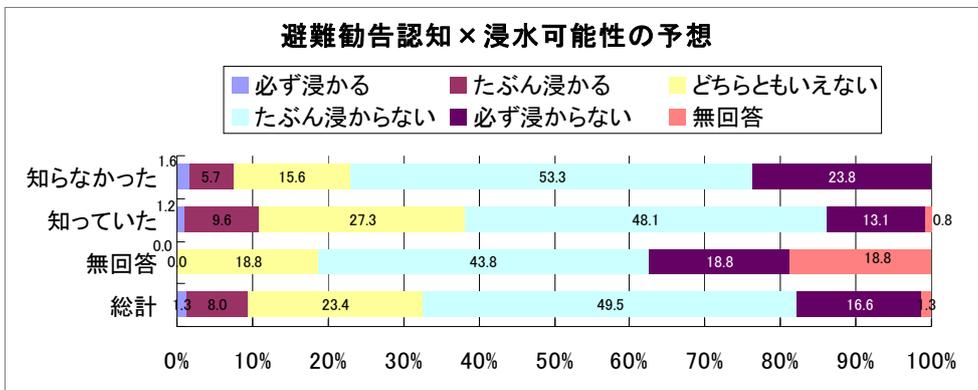
問15.避難勧告認知 × 問10.浸水可能性の予想

	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 知らなかった	1	4	23	25	20	0	73	1.4	5.5	31.5	34.2	27.4	0.0	100.0
2 知っていた	10	24	48	77	36	2	197	5.1	12.2	24.4	39.1	18.3	1.0	100.0
※ 無回答	2	1	6	12	6	1	28	7.1	3.6	21.4	42.9	21.4	3.6	100.0
N=298 総計	13	29	77	114	62	3	298	4.4	9.7	25.8	38.3	20.8	1.0	100.0

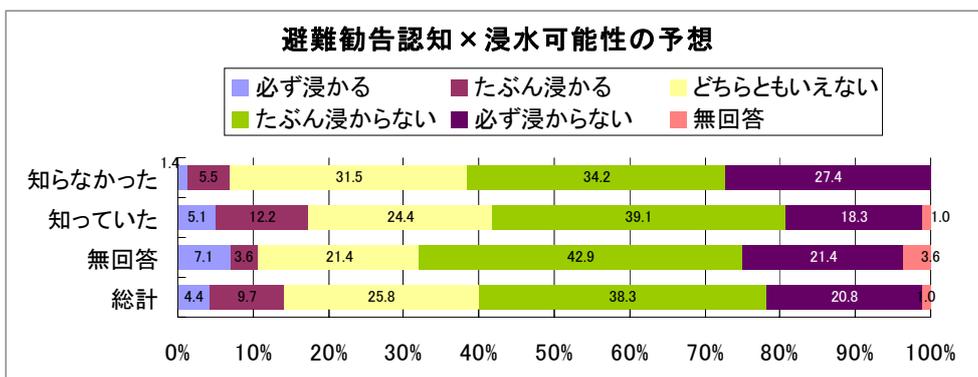
釧路市



宇部市



山陽小野田市



4) 避難勧告認知と危険の予想

三市とも、避難勧告の発令を知っていた人の方が、知らなかった人より、「避難しないと絶対に助からないと思った」と「避難しないと助からないかもしれないと思った」を合わせた割合が大きかった。

釧路市

問14.避難勧告認知 × 問11.危険予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計
1 知らなかった	0	3	19	37	20	1	80	0.0	3.8	23.8	46.3	25.0	1.3	100.0
2 知っていた	0	12	36	102	46	2	198	0.0	6.1	18.2	51.5	23.2	1.0	100.0
※ 無回答	1	1	2	6	6	7	23	4.3	4.3	8.7	26.1	26.1	30.4	100.0
N=301 総計	1	16	57	145	72	10	301	0.3	5.3	18.9	48.2	23.9	3.3	100.0

宇部市

問15.避難勧告認知 × 問12.危険予想

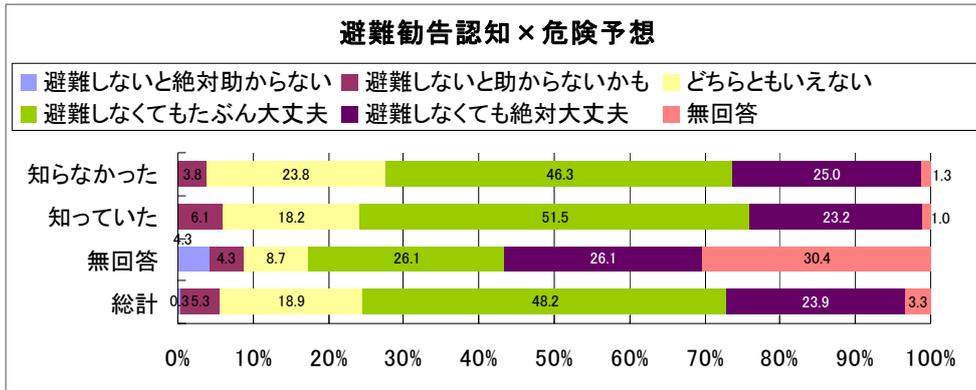
	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計
1 知らなかった	1	0	14	65	40	2	122	0.8	0.0	11.5	53.3	32.8	1.6	100.0
2 知っていた	0	5	44	153	58	0	260	0.0	1.9	16.9	58.8	22.3	0.0	100.0
※ 無回答	0	0	1	9	3	3	16	0.0	0.0	6.3	56.3	18.8	18.8	100.0
N=398 総計	1	5	59	227	101	5	398	0.3	1.3	14.8	57.0	25.4	1.3	100.0

山陽小野田市

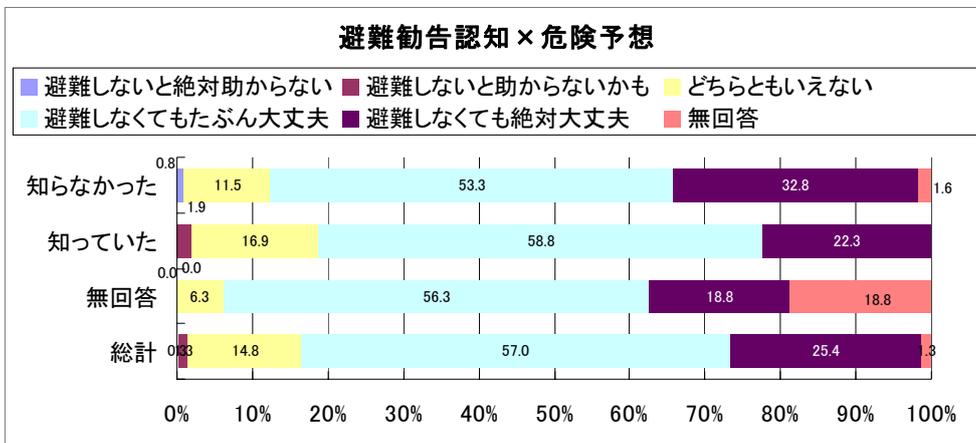
問15.避難勧告認知 × 問12.危険予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計
1 知らなかった	1	2	11	43	15	1	73	1.4	2.7	15.1	58.9	20.5	1.4	100.0
2 知っていた	3	8	40	110	34	2	197	1.5	4.1	20.3	55.8	17.3	1.0	100.0
※ 無回答	0	2	6	16	4	0	28	0.0	7.1	21.4	57.1	14.3	0.0	100.0
N=298 総計	4	12	57	169	53	3	298	1.3	4.0	19.1	56.7	17.8	1.0	100.0

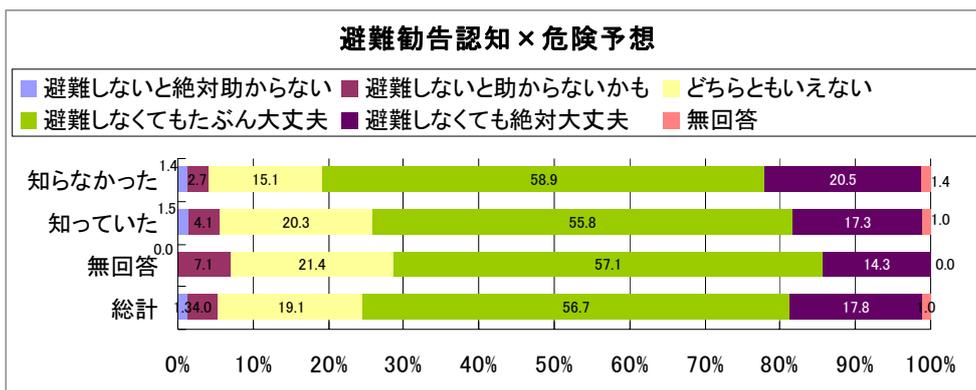
釧路市



宇部市



山陽小野田市



5) 避難のよびかけと浸水可能性の予想

三市とも、水に浸かると思った人の方が、近所の人に避難を呼びかけた割合が高い傾向が認められる。

鉏路市

問25.避難を呼びかけたか × 問9.浸水可能性の予想

	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 避難を呼びかけた	1	3	8	11	7	0	30	3.3	10.0	26.7	36.7	23.3	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	2	5	41	115	72	3	238	0.8	2.1	17.2	48.3	30.3	1.3	100.0
※ 無回答	1	2	7	9	6	8	33	3.0	6.1	21.2	27.3	18.2	24.2	100.0
N=301 総計	4	10	56	135	85	11	301	1.3	3.3	18.6	44.9	28.2	3.7	100.0

宇部市

問26.避難を呼びかけたか × 問10.浸水可能性の予想

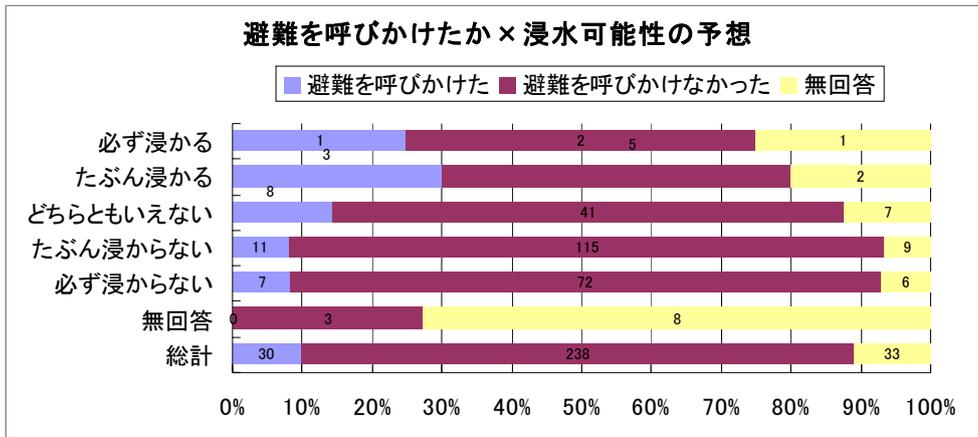
	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 避難を呼びかけた	1	6	18	22	4	0	51	2.0	11.8	35.3	43.1	7.8	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	4	23	70	165	58	3	323	1.2	7.1	21.7	51.1	18.0	0.9	100.0
※ 無回答	0	3	5	10	4	2	24	0.0	12.5	20.8	41.7	16.7	8.3	100.0
N=398 総計	5	32	93	197	66	5	398	1.3	8.0	23.4	49.5	16.6	1.3	100.0

山陽小野田市

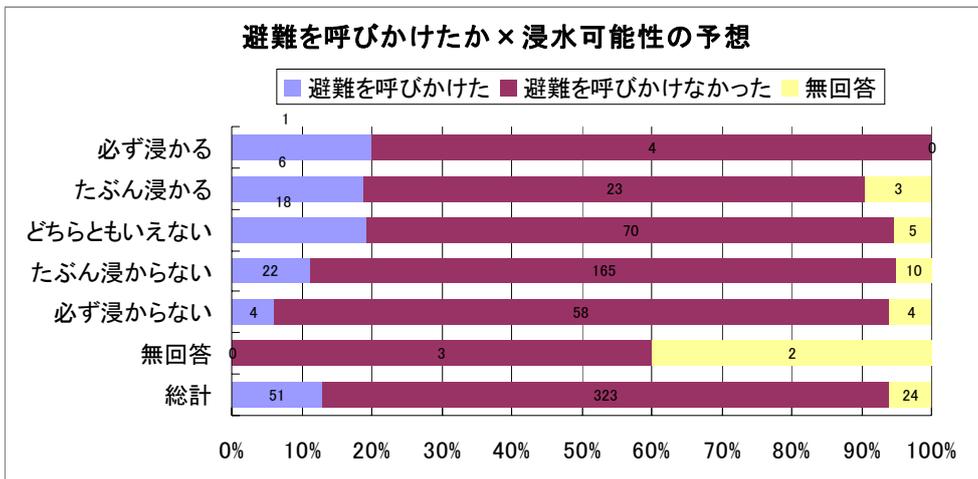
問26.避難を呼びかけたか × 問10.浸水可能性の予想

	1 2 3 4 5 *							1 2 3 4 5 *						
	実数							構成比(%)						
	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計	必ず浸かる	たぶん浸かる	どちらともいえない	たぶん浸からない	必ず浸からない	無回答	総計
1 避難を呼びかけた	7	10	19	20	5	0	61	11.5	16.4	31.1	32.8	8.2	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	4	18	53	88	54	2	219	1.8	8.2	24.2	40.2	24.7	0.9	100.0
※ 無回答	2	1	5	6	3	1	18	11.1	5.6	27.8	33.3	16.7	5.6	100.0
N=298 総計	13	29	77	114	62	3	298	4.4	9.7	25.8	38.3	20.8	1.0	100.0

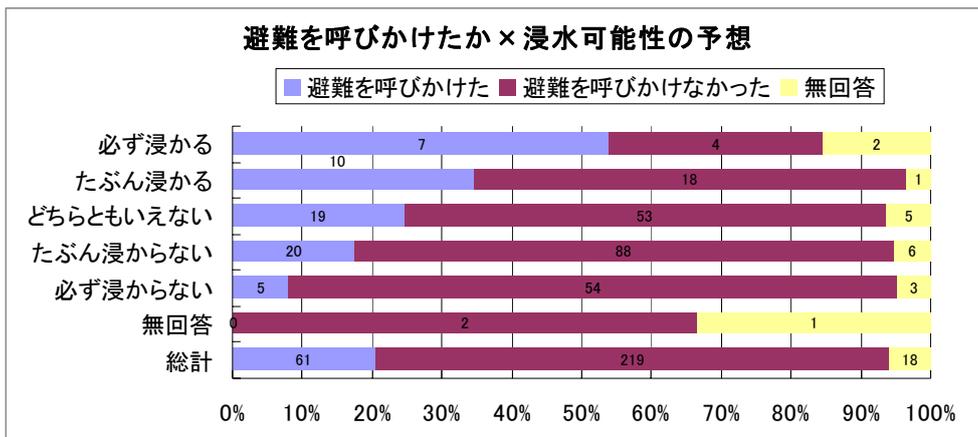
釧路市



宇部市



山陽小野田市



6) 避難のよびかけと危険の予想

三市とも、避難しないと助からないと思った人の方が、近所の人に避難を呼びかけた割合が高い傾向が認められる。

鉏路市

問25.避難を呼びかけたか × 問11.危険予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計
1 避難を呼びかけた	0	3	11	16	0	0	30	0.0	10.0	36.7	53.3	0.0	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	1	13	38	117	68	1	238	0.4	5.5	16.0	49.2	28.6	0.4	100.0
※ 無回答	0	0	8	12	4	9	33	0.0	0.0	24.2	36.4	12.1	27.3	100.0
N=301 総計	1	16	57	145	72	10	301	0.3	5.3	18.9	48.2	23.9	3.3	100.0

宇部市

問26.避難を呼びかけたか × 問12.危険予想

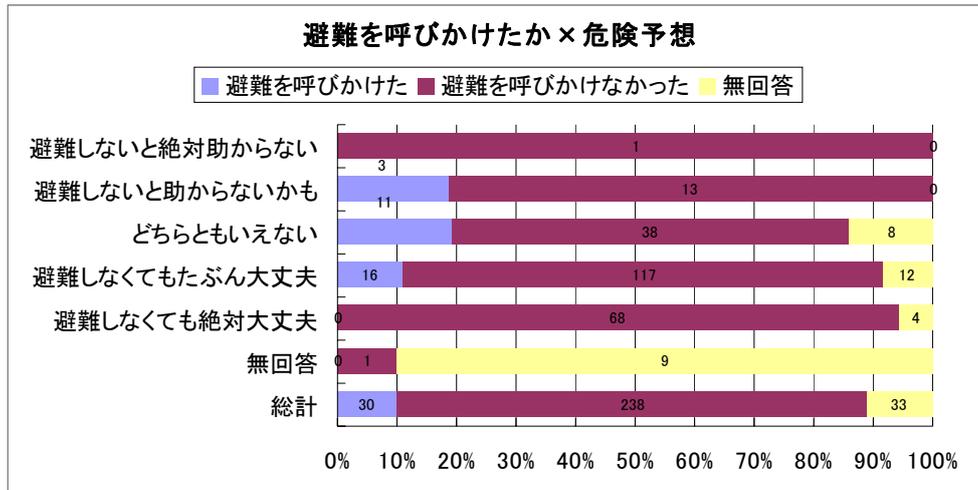
	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計
1 避難を呼びかけた	0	2	15	29	5	0	51	0.0	3.9	29.4	56.9	9.8	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	1	3	39	188	88	4	323	0.3	0.9	12.1	58.2	27.2	1.2	100.0
※ 無回答	0	0	5	10	8	1	24	0.0	0.0	20.8	41.7	33.3	4.2	100.0
N=398 総計	1	5	59	227	101	5	398	0.3	1.3	14.8	57.0	25.4	1.3	100.0

山陽小野田市

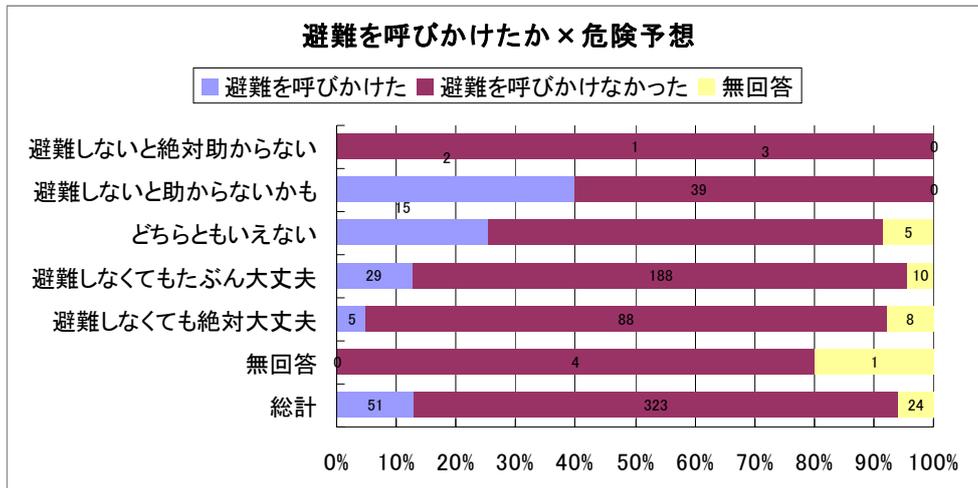
問26.避難を呼びかけたか × 問12.危険予想

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計	避難しないと絶対助からない	避難しないと助からないかも	どちらともいえない	避難しなくてもたぶん大丈夫	避難しなくても絶対大丈夫	無回答	総計
1 避難を呼びかけた	2	8	19	25	7	0	61	3.3	13.1	31.1	41.0	11.5	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	2	3	33	138	42	1	219	0.9	1.4	15.1	63.0	19.2	0.5	100.0
※ 無回答	0	1	5	6	4	2	18	0.0	5.6	27.8	33.3	22.2	11.1	100.0
N=298 総計	4	12	57	169	53	3	298	1.3	4.0	19.1	56.7	17.8	1.0	100.0

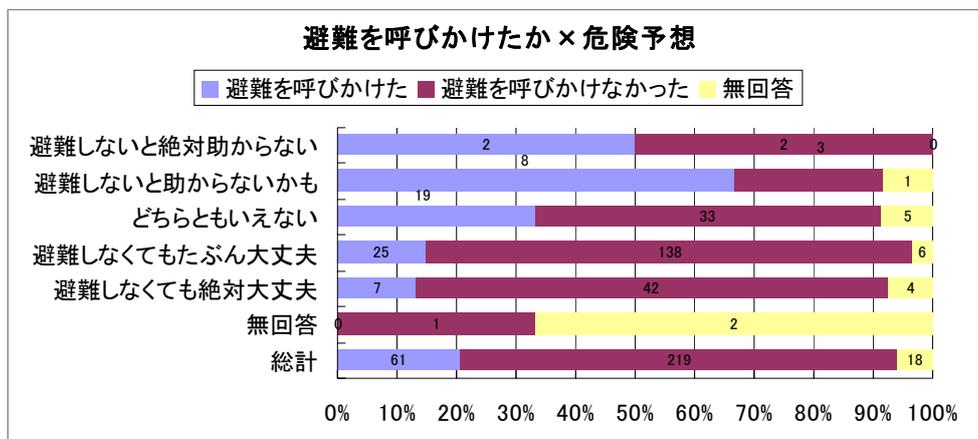
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(9) 警報・避難勧告・避難のよびかけと避難意思・避難行動

1) 警報認知と避難意思

三市とも、津波警報または高潮警報の発表を知っていた人の方が、知らなかった人より、「避難しなければいけないと思った」と「避難した方がいいと思った」を合わせた割合が高くなっている。

釧路市

問12.津波警報認知 × 問16.避難意思

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 知らなかった	9	7	14	27	14	1	72	12.5	9.7	19.4	37.5	19.4	1.4	100.0
2 知っていた	20	59	25	68	25	21	218	9.2	27.1	11.5	31.2	11.5	9.6	100.0
※ 無回答	0	0	2	0	0	9	11	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	81.8	100.0
N=301 総計	29	66	41	95	39	31	301	9.6	21.9	13.6	31.6	13.0	10.3	100.0

宇部市

問13.高潮警報認知 × 問17.避難意思

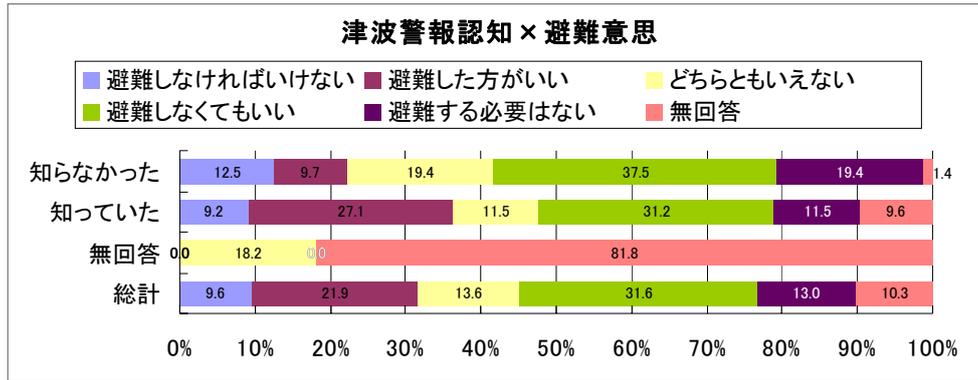
	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 知らなかった	2	9	18	59	34	3	125	1.6	7.2	14.4	47.2	27.2	2.4	100.0
2 知っていた	9	30	51	106	42	24	262	3.4	11.5	19.5	40.5	16.0	9.2	100.0
※ 無回答	0	0	1	6	2	2	11	0.0	0.0	9.1	54.5	18.2	18.2	100.0
N=398 総計	11	39	70	171	78	29	398	2.8	9.8	17.6	43.0	19.6	7.3	100.0

山陽小野田市

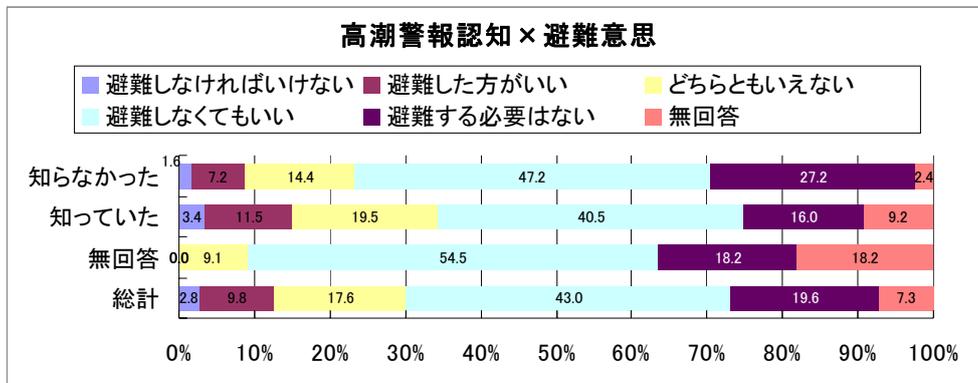
問13.高潮警報認知 × 問17.避難意思

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 知らなかった	2	12	17	31	13	2	77	2.6	15.6	22.1	40.3	16.9	2.6	100.0
2 知っていた	10	41	34	67	29	31	212	4.7	19.3	16.0	31.6	13.7	14.6	100.0
※ 無回答	0	0	2	3	2	2	9	0.0	0.0	22.2	33.3	22.2	22.2	100.0
N=298 総計	12	53	53	101	44	35	298	4.0	17.8	17.8	33.9	14.8	11.7	100.0

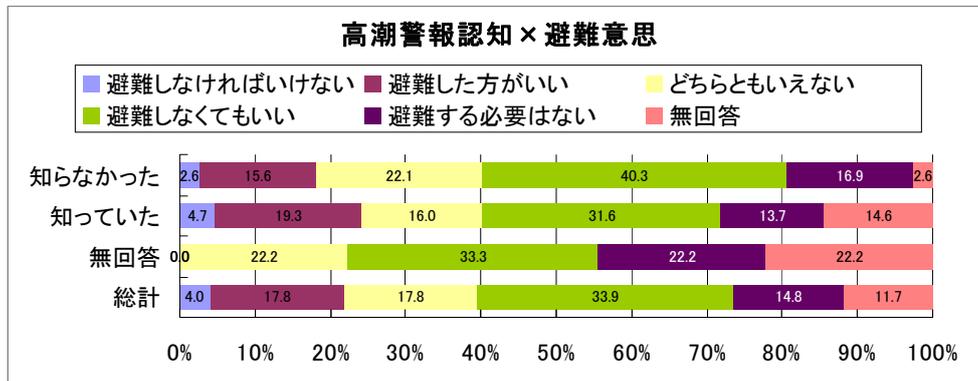
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2) 警報認知と避難の有無

三市とも、津波警報または高潮警報の発表を知っていた人の方が、知らなかった人より、避難した人の割合が高くなっている。

釧路市

問12.津波警報認知 × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 知らなかった	58	12	2	72	80.6	16.7	2.8	100.0
2 知っていた	142	74	2	218	65.1	33.9	0.9	100.0
※ 無回答	4	0	7	11	36.4	0.0	63.6	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問13.高潮警報認知 × 問19.避難の有無

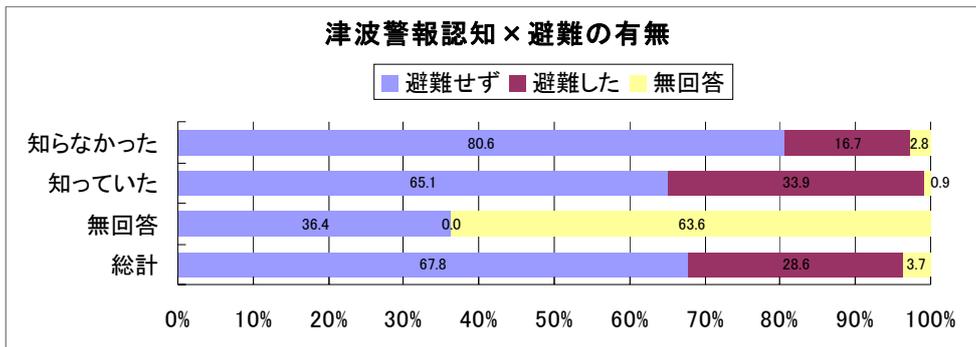
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 知らなかった	116	9	0	125	92.8	7.2	0.0	100.0
2 知っていた	236	26	0	262	90.1	9.9	0.0	100.0
※ 無回答	8	1	2	11	72.7	9.1	18.2	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

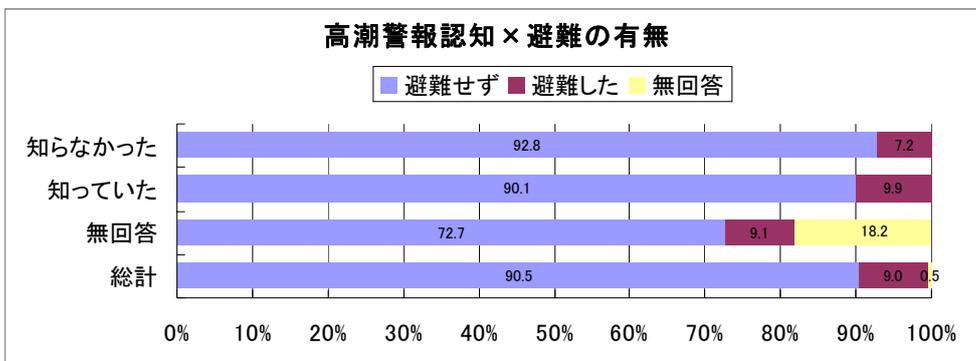
問13.高潮警報認知 × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 知らなかった	65	12	0	77	84.4	15.6	0.0	100.0
2 知っていた	166	44	2	212	78.3	20.8	0.9	100.0
※ 無回答	7	0	2	9	77.8	0.0	22.2	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

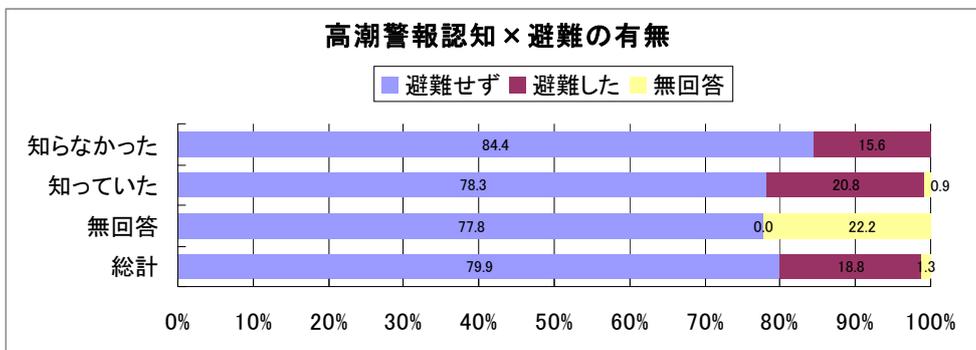
釧路市



宇部市



山陽小野田市



3) 避難勧告認知と避難意思

三市とも、避難勧告の発令を知っていた人の方が、知らなかった人より、「避難しなければいけないと思った」と「避難した方がいいと思った」を合わせた割合が高くなっている。

釧路市

問14.避難勧告認知 × 問16.避難意思

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 知らなかった	8	9	14	31	16	2	80	10.0	11.3	17.5	38.8	20.0	2.5	100.0
2 知っていた	19	56	25	60	21	17	198	9.6	28.3	12.6	30.3	10.6	8.6	100.0
※ 無回答	2	1	2	4	2	12	23	8.7	4.3	8.7	17.4	8.7	52.2	100.0
N=301 総計	29	66	41	95	39	31	301	9.6	21.9	13.6	31.6	13.0	10.3	100.0

宇部市

問15.避難勧告認知 × 問17.避難意思

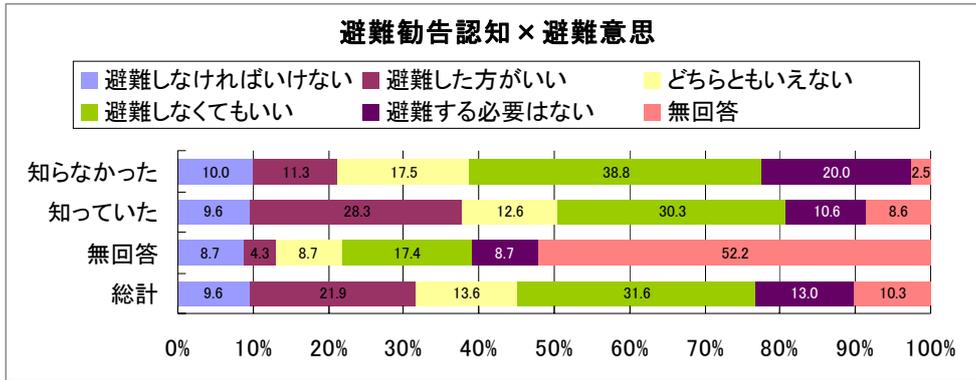
	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 知らなかった	1	8	19	57	37	0	122	0.8	6.6	15.6	46.7	30.3	0.0	100.0
2 知っていた	10	31	50	107	40	22	260	3.8	11.9	19.2	41.2	15.4	8.5	100.0
※ 無回答	0	0	1	7	1	7	16	0.0	0.0	6.3	43.8	6.3	43.8	100.0
N=398 総計	11	39	70	171	78	29	398	2.8	9.8	17.6	43.0	19.6	7.3	100.0

山陽小野田市

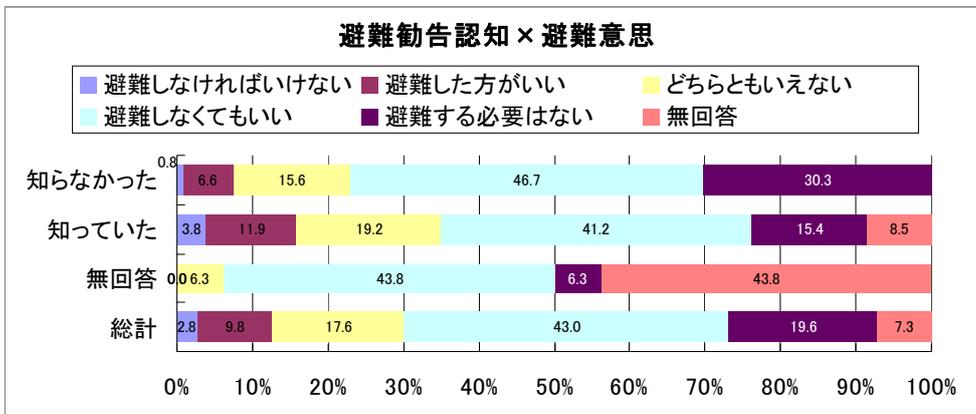
問15.避難勧告認知 × 問17.避難意思

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*		1	2	3	4	5	*	
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 知らなかった	2	8	15	31	12	5	73	2.7	11.0	20.5	42.5	16.4	6.8	100.0
2 知っていた	8	41	34	66	26	22	197	4.1	20.8	17.3	33.5	13.2	11.2	100.0
※ 無回答	2	4	4	4	6	8	28	7.1	14.3	14.3	14.3	21.4	28.6	100.0
N=298 総計	12	53	53	101	44	35	298	4.0	17.8	17.8	33.9	14.8	11.7	100.0

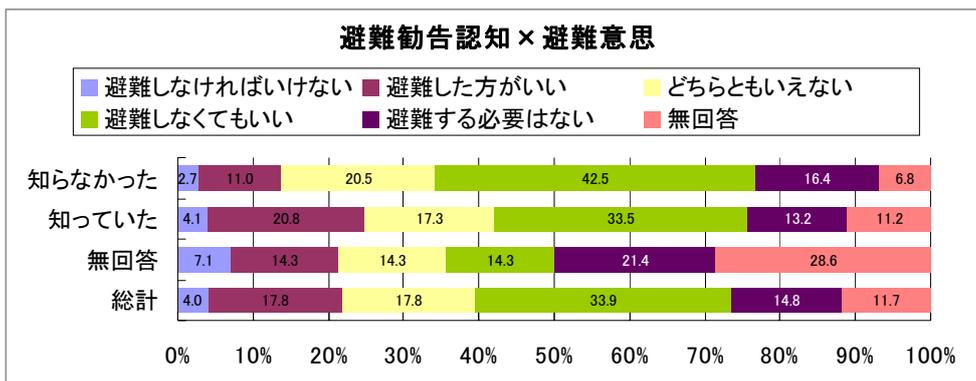
釧路市



宇部市



山陽小野田市



4) 避難勧告認知と避難の有無

三市とも、避難勧告の発令を知っていた人の方が、知らなかった人より、避難した人の割合が高くなっている。

鉏路市

問14.避難勧告認知 × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 知らなかった	64	15	1	80	80.0	18.8	1.3	100.0
2 知っていた	127	69	2	198	64.1	34.8	1.0	100.0
※ 無回答	13	2	8	23	56.5	8.7	34.8	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問15.避難勧告認知 × 問19.避難の有無

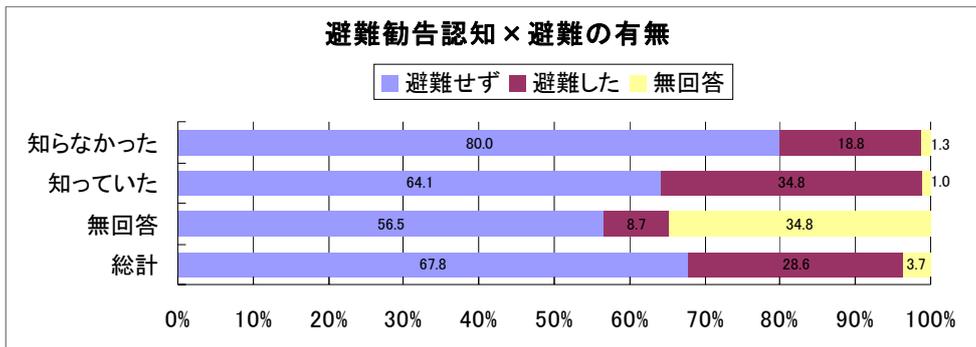
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 知らなかった	115	7	0	122	94.3	5.7	0.0	100.0
2 知っていた	232	28	0	260	89.2	10.8	0.0	100.0
※ 無回答	13	1	2	16	81.3	6.3	12.5	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

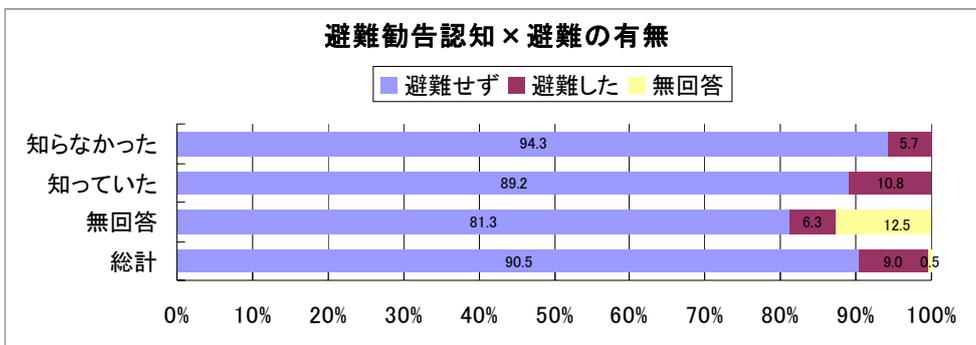
問15.避難勧告認知 × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 知らなかった	65	8	0	73	89.0	11.0	0.0	100.0
2 知っていた	150	44	3	197	76.1	22.3	1.5	100.0
※ 無回答	23	4	1	28	82.1	14.3	3.6	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

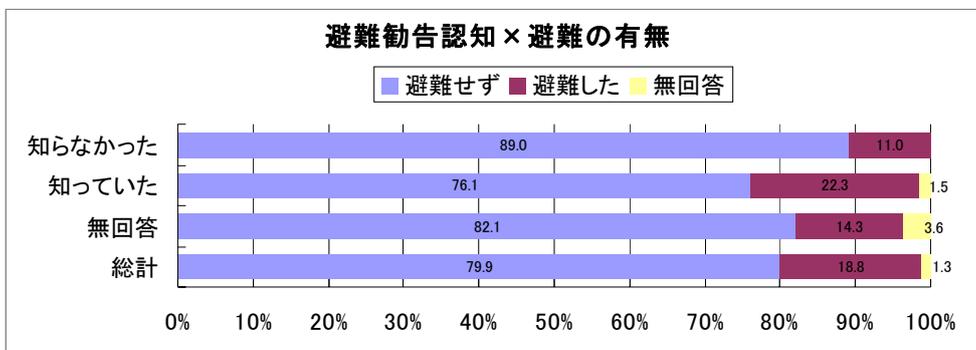
釧路市



宇部市



山陽小野田市



5) 避難のよびかけと避難意思

三市とも、「避難しなければいけないと思った」人や「避難した方がよいと思った」人の方が、近所の人に避難を呼びかけた割合が高かった。

鉏路市

問25.避難を呼びかけたか × 問16.避難意思

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	避難しなければいけない	避難した方がよい	どちらともいえない	避難しなくてもよい	避難する必要はない	無回答		避難しなければいけない	避難した方がよい	どちらともいえない	避難しなくてもよい	避難する必要はない	無回答	
1 避難を呼びかけた	7	15	1	2	0	5	30	23.3	50.0	3.3	6.7	0.0	16.7	100.0
2 避難を呼びかけなかった	17	42	37	90	37	15	238	7.1	17.6	15.5	37.8	15.5	6.3	100.0
※ 無回答	5	9	3	3	2	11	33	15.2	27.3	9.1	9.1	6.1	33.3	100.0
N=301 総計	29	66	41	95	39	31	301	9.6	21.9	13.6	31.6	13.0	10.3	100.0

宇部市

問26.避難を呼びかけたか × 問17.避難意思

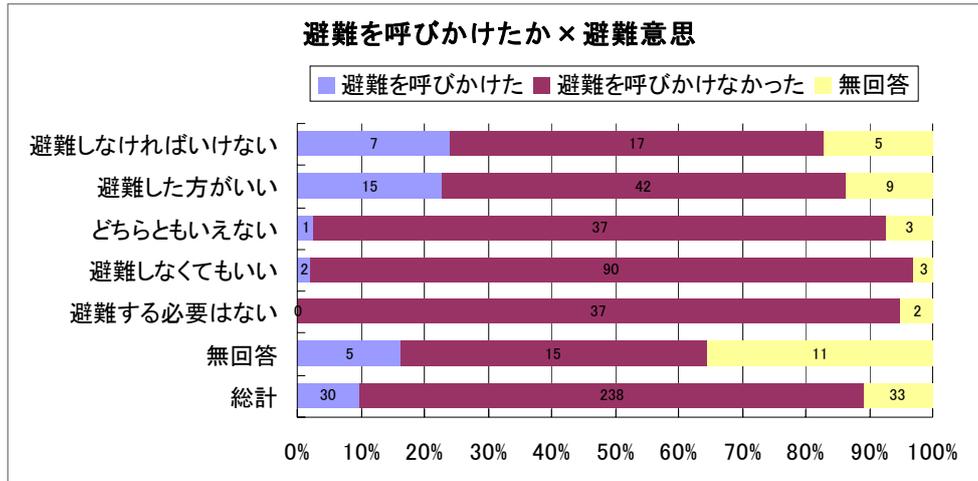
	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	避難しなければいけない	避難した方がよい	どちらともいえない	避難しなくてもよい	避難する必要はない	無回答		避難しなければいけない	避難した方がよい	どちらともいえない	避難しなくてもよい	避難する必要はない	無回答	
1 避難を呼びかけた	4	16	13	15	2	1	51	7.8	31.4	25.5	29.4	3.9	2.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	6	20	56	149	69	23	323	1.9	6.2	17.3	46.1	21.4	7.1	100.0
※ 無回答	1	3	1	7	7	5	24	4.2	12.5	4.2	29.2	29.2	20.8	100.0
N=398 総計	11	39	70	171	78	29	398	2.8	9.8	17.6	43.0	19.6	7.3	100.0

山陽小野田市

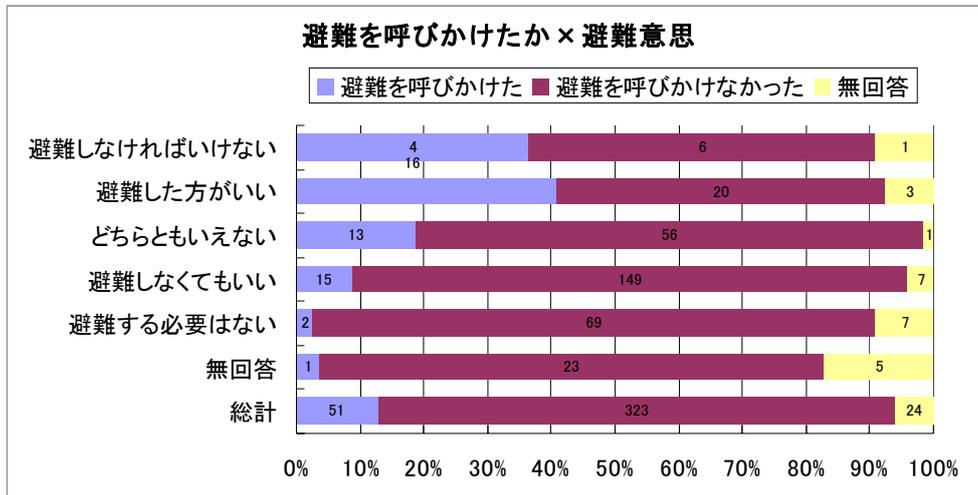
問26.避難を呼びかけたか × 問17.避難意思

	実数							構成比(%)						
	1	2	3	4	5	*	総計	1	2	3	4	5	*	総計
	避難しなければいけない	避難した方がよい	どちらともいえない	避難しなくてもよい	避難する必要はない	無回答		避難しなければいけない	避難した方がよい	どちらともいえない	避難しなくてもよい	避難する必要はない	無回答	
1 避難を呼びかけた	6	22	11	8	4	10	61	9.8	36.1	18.0	13.1	6.6	16.4	100.0
2 避難を呼びかけなかった	5	27	40	88	38	21	219	2.3	12.3	18.3	40.2	17.4	9.6	100.0
※ 無回答	1	4	2	5	2	4	18	5.6	22.2	11.1	27.8	11.1	22.2	100.0
N=298 総計	12	53	53	101	44	35	298	4.0	17.8	17.8	33.9	14.8	11.7	100.0

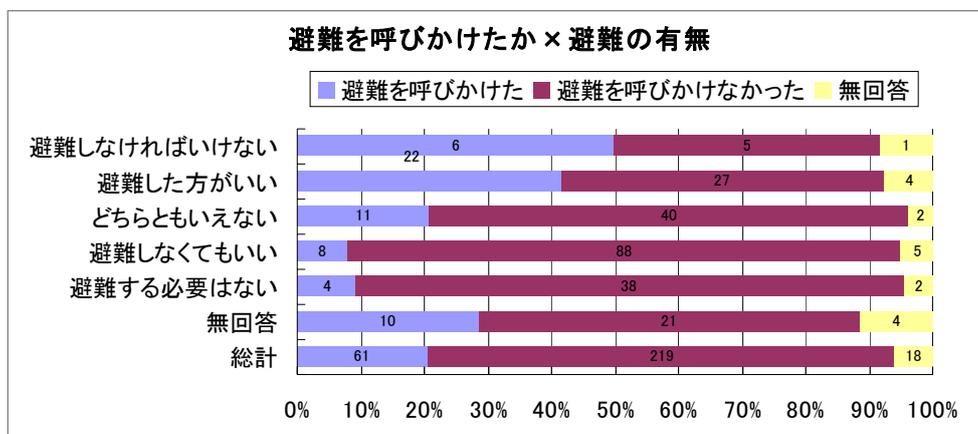
釧路市



宇部市



山陽小野田市



6) 避難のよびかけと避難の有無

三市とも、避難した人の方が、近所の人に避難を呼びかけた割合が高かった。また、釧路市と比べ、宇部市と山陽小野田市ではその割合が高くなっている。

釧路市

問25.避難を呼びかけたか × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 避難を呼びかけた	8	21	1	30	26.7	70.0	3.3	100.0
2 避難を呼びかけなかった	185	53	0	238	77.7	22.3	0.0	100.0
※ 無回答	11	12	10	33	33.3	36.4	30.3	100.0
N=301 総計	204	86	11	301	67.8	28.6	3.7	100.0

宇部市

問26.避難を呼びかけたか × 問19.避難の有無

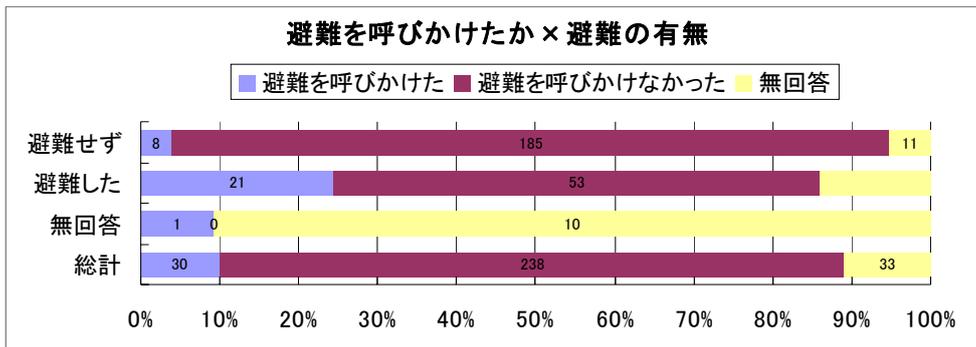
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 避難を呼びかけた	36	15	0	51	70.6	29.4	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	304	19	0	323	94.1	5.9	0.0	100.0
※ 無回答	20	2	2	24	83.3	8.3	8.3	100.0
N=398 総計	360	36	2	398	90.5	9.0	0.5	100.0

山陽小野田市

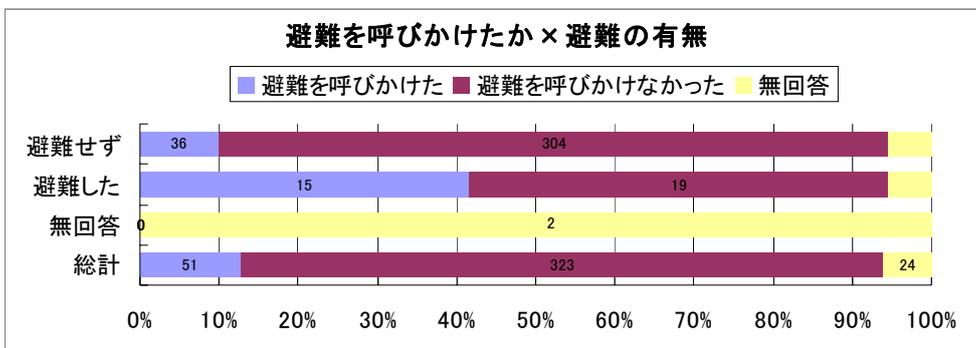
問26.避難を呼びかけたか × 問19.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難し た	無回 答	総計	避難 せず	避難し た	無回 答	総計
1 避難を呼びかけた	34	27	0	61	55.7	44.3	0.0	100.0
2 避難を呼びかけなかった	192	25	2	219	87.7	11.4	0.9	100.0
※ 無回答	12	4	2	18	66.7	22.2	11.1	100.0
N=298 総計	238	56	4	298	79.9	18.8	1.3	100.0

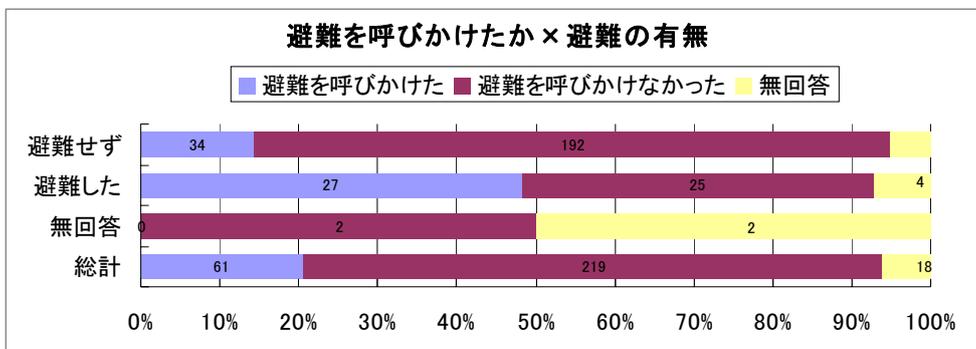
釧路市



宇部市



山陽小野田市



(10) 警報・避難勧告の認知手段と避難意思・避難行動

1) 警報認知手段と避難意思

○釧路市

「近所の人」と回答した人については、「避難しなければいけないと思った」や「避難した方がいいと思った」の割合が比較的高い。

○宇部市

回答数の少ない屋外拡声器を除くと、「携帯電話のメールサービス」と回答した人において、「避難しなければいけないと思った」や「避難した方がいいと思った」の割合が比較的高い。

○山陽小野田市

回答数の少ないインターネットや屋外拡声器を除くと、「避難しなければいけないと思った」と「避難した方がいいと思った」を合わせた割合は、テレビ、ラジオ、近所の人、広報車・消防車で同程度となっている。

釧路市

問13.津波警報認知手段(複数回答) × 問16.避難意思

	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要がある	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要がある	無回答	総計
1 テレビ	15	46	22	59	24	20	186	8.1	24.7	11.8	31.7	12.9	10.8	100.0
2 ラジオ	2	10	1	5	4	4	26	7.7	38.5	3.8	19.2	15.4	15.4	100.0
3 近所の人	3	5	1	0	1	0	10	30.0	50.0	10.0	0.0	10.0	0.0	100.0
4 広報車・消防車	8	32	11	28	9	14	102	7.8	31.4	10.8	27.5	8.8	13.7	100.0
5 屋外拡声器	3	9	4	6	6	3	31	9.7	29.0	12.9	19.4	19.4	9.7	100.0
6 有線放送	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
7 インターネット	0	1	0	0	1	0	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
9 その他	2	2	0	1	0	3	8	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	37.5	100.0
※ 無回答	0	0	0	2	0	0	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
N=301 総計	33	105	39	101	47	44	369	8.9	28.5	10.6	27.4	12.7	11.9	100.0

宇部市

問14.高潮警報認知手段(複数回答) × 問17.避難意思

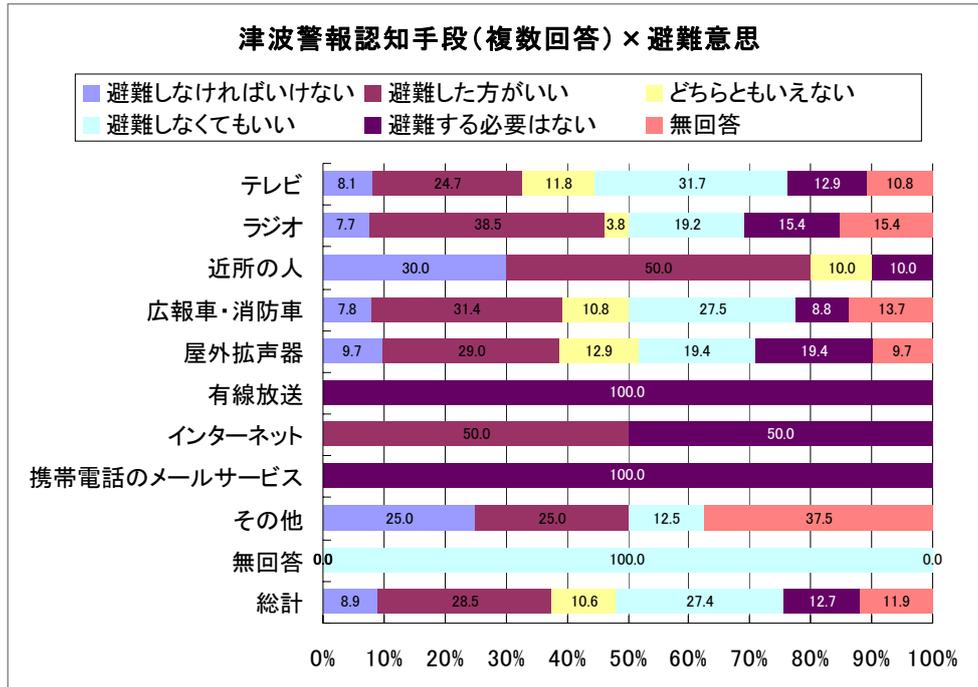
	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要がある	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要がある	無回答	総計
1 テレビ	4	14	25	58	23	14	138	2.9	10.1	18.1	42.0	16.7	10.1	100.0
2 ラジオ	1	2	10	16	3	3	35	2.9	5.7	28.6	45.7	8.6	8.6	100.0
3 近所の人	0	5	10	8	7	3	33	0.0	15.2	30.3	24.2	21.2	9.1	100.0
4 広報車・消防車	4	17	28	66	18	18	151	2.6	11.3	18.5	43.7	11.9	11.9	100.0
5 屋外拡声器	0	2	0	2	0	0	4	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
6 有線放送	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
7 インターネット	0	1	1	3	2	1	8	0.0	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	100.0
8 携帯電話のメールサービス	1	2	1	3	3	1	11	9.1	18.2	9.1	27.3	27.3	9.1	100.0
9 その他	1	3	4	4	1	0	13	7.7	23.1	30.8	30.8	7.7	0.0	100.0
※ 無回答	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
N=398 総計	11	46	79	160	57	40	393	2.8	11.7	20.1	40.7	14.5	10.2	100.0

山陽小野田市

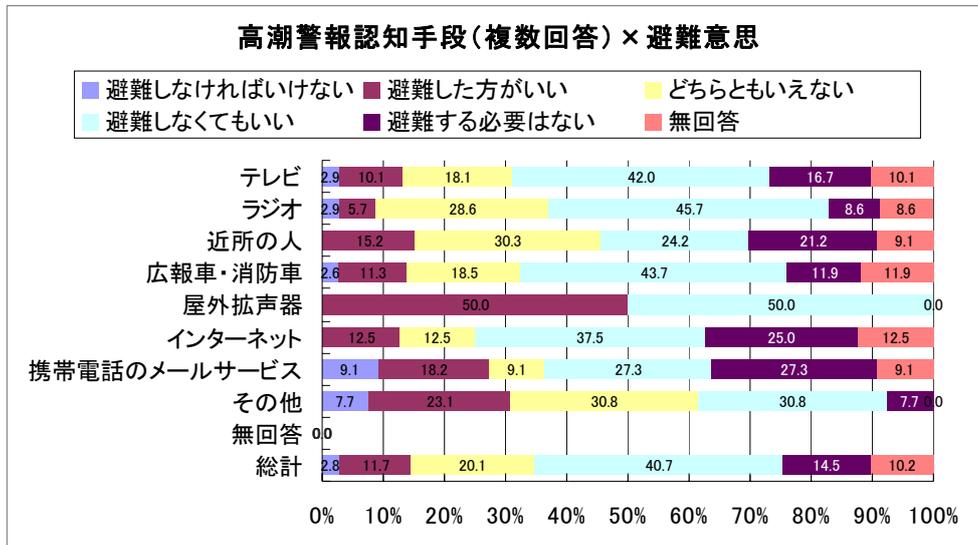
問14.高潮警報認知手段(複数回答) × 問17.避難意思

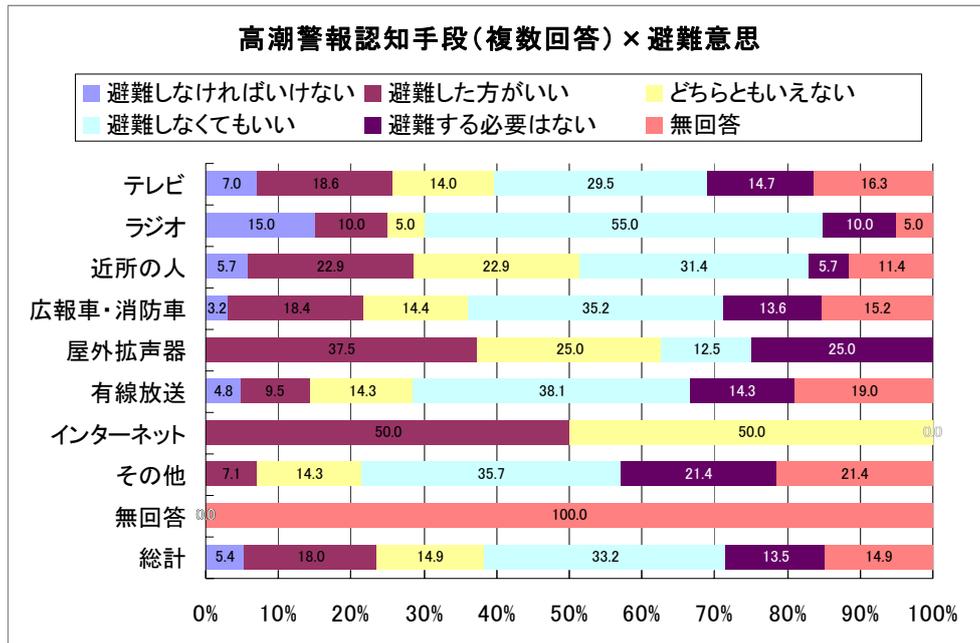
	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要がある	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要がある	無回答	総計
1 テレビ	9	24	18	38	19	21	129	7.0	18.6	14.0	29.5	14.7	16.3	100.0
2 ラジオ	3	2	1	11	2	1	20	15.0	10.0	5.0	55.0	10.0	5.0	100.0
3 近所の人	2	8	8	11	2	4	35	5.7	22.9	22.9	31.4	5.7	11.4	100.0
4 広報車・消防車	4	23	18	44	17	19	125	3.2	18.4	14.4	35.2	13.6	15.2	100.0
5 屋外拡声器	0	3	2	1	2	0	8	0.0	37.5	25.0	12.5	25.0	0.0	100.0
6 有線放送	1	2	3	8	3	4	21	4.8	9.5	14.3	38.1	14.3	19.0	100.0
7 インターネット	0	1	1	0	0	0	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
9 その他	0	1	2	5	3	3	14	0.0	7.1	14.3	35.7	21.4	21.4	100.0
※ 無回答	41	201	212	387	172	123	1136	3.6	17.7	18.7	34.1	15.1	10.8	100.0
N=298 総計	60	265	265	505	220	175	1490	4.0	17.8	17.8	33.9	14.8	11.7	100.0

釧路市



宇部市





2) 警報認知手段と避難の有無

○釧路市

「近所の人」と回答した人が、避難した割合が高い。

○宇部市

「インターネット」や「携帯のメールサービス」と回答した人が、避難した割合が比較的高い。

○山陽小野田市

回答数の少ないインターネットを除くと、テレビ、ラジオ、近所の人、広報車・消防車については、避難した割合が同程度である。

釧路市

問13.津波警報認知手段(複数回答) × 問18.避難の有無

	1 2 *			総計	1 2 *			総計
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 テレビ	124	59	3	186	66.7	31.7	1.6	100.0
2 ラジオ	14	12	0	26	53.8	46.2	0.0	100.0
3 近所の人	4	6	0	10	40.0	60.0	0.0	100.0
4 広報車・消防車	65	37	0	102	63.7	36.3	0.0	100.0
5 屋外拡声器	22	9	0	31	71.0	29.0	0.0	100.0
6 有線放送	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
7 インターネット	2	0	0	2	100.0	0.0	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
9 その他	2	6	0	8	25.0	75.0	0.0	100.0
※ 無回答	2	0	0	2	100.0	0.0	0.0	100.0
N=301 総計	237	129	3	369	64.2	35.0	0.8	100.0

宇部市

問14.高潮警報認知手段(複数回答) × 問19.避難の有無

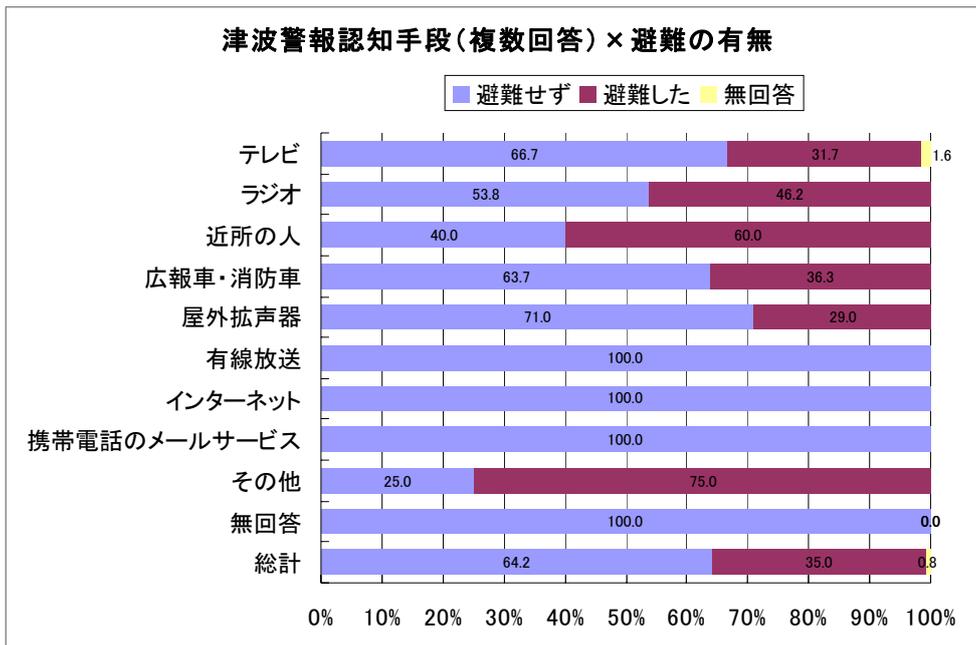
	1 2 *			総計	1 2 *			総計
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 テレビ	127	11	0	138	92.0	8.0	0.0	100.0
2 ラジオ	33	2	0	35	94.3	5.7	0.0	100.0
3 近所の人	31	2	0	33	93.9	6.1	0.0	100.0
4 広報車・消防車	138	13	0	151	91.4	8.6	0.0	100.0
5 屋外拡声器	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
6 有線放送	0	0	0	0	—	—	—	—
7 インターネット	6	2	0	8	75.0	25.0	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	9	2	0	11	81.8	18.2	0.0	100.0
9 その他	11	2	0	13	84.6	15.4	0.0	100.0
※ 無回答	0	0	0	0	—	—	—	—
N=398 総計	359	34	0	393	91.3	8.7	0.0	100.0

山陽小野田市

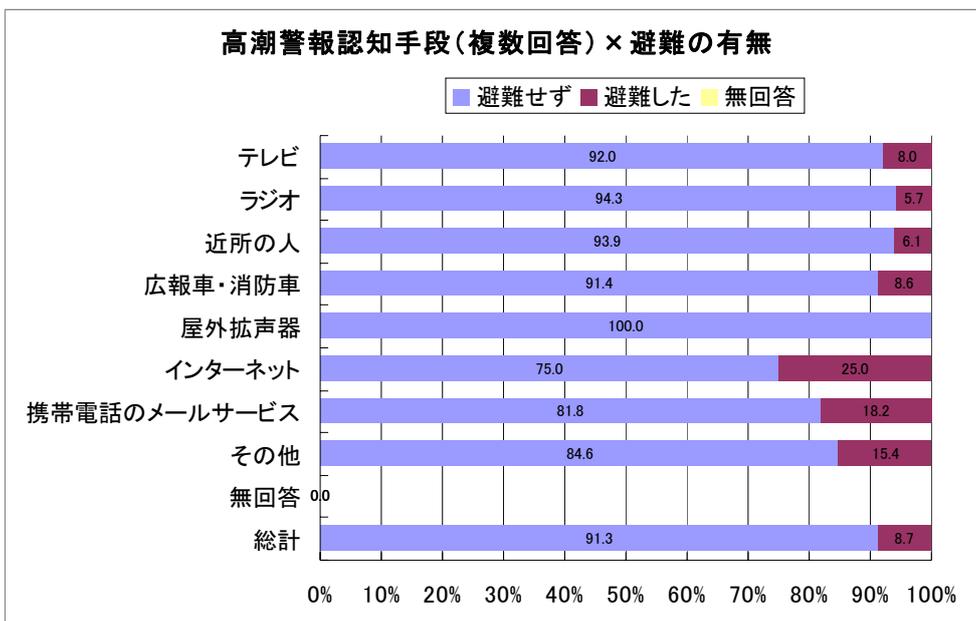
問14.高潮警報認知手段(複数回答) × 問19.避難の有無

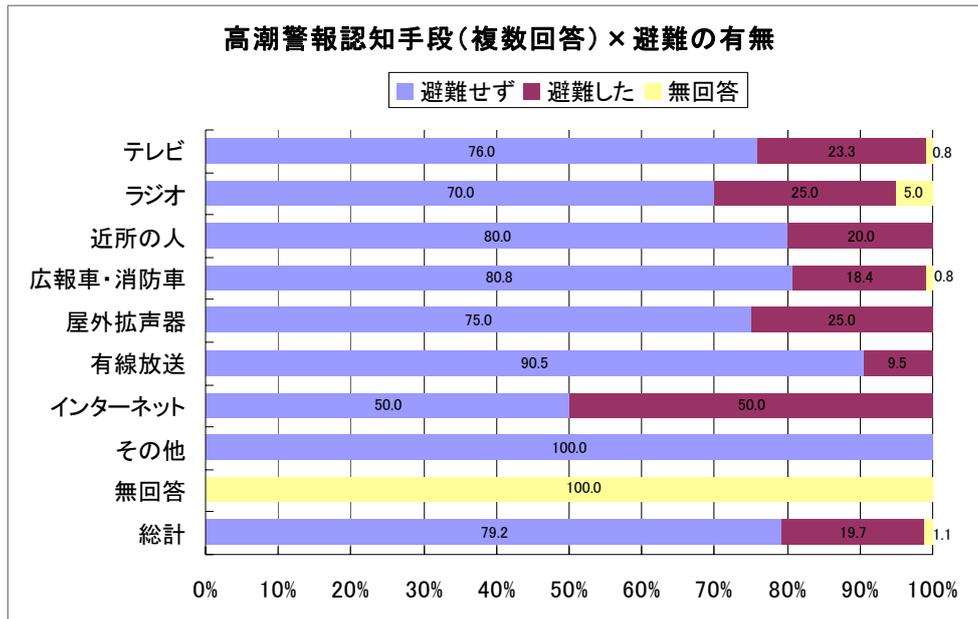
	1 2 *			総計	1 2 *			総計
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答		避難 せず	避難 した	無回 答	
1 テレビ	98	30	1	129	76.0	23.3	0.8	100.0
2 ラジオ	14	5	1	20	70.0	25.0	5.0	100.0
3 近所の人	28	7	0	35	80.0	20.0	0.0	100.0
4 広報車・消防車	101	23	1	125	80.8	18.4	0.8	100.0
5 屋外拡声器	6	2	0	8	75.0	25.0	0.0	100.0
6 有線放送	19	2	0	21	90.5	9.5	0.0	100.0
7 インターネット	1	1	0	2	50.0	50.0	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	0	0	0	0	—	—	—	—
9 その他	14	0	0	14	100.0	0.0	0.0	100.0
※ 無回答	909	210	17	1136	80.0	18.5	1.5	100.0
N=298 総計	1190	280	20	1490	79.9	18.8	1.3	100.0

釧路市



宇部市





3) 避難勧告認知手段と避難意思

○釧路市

回答数の少ない「携帯電話のメールサービス」などを除くと、「近所の人」と回答した人が、「避難しなければいけないと思った」と「避難した方がいいと思った」を合わせた割合が高くなっている。

○宇部市

回答数の少ない「屋外拡声器」を除くと、「携帯電話のメールサービス」を回答した人が、「避難しなければいけないと思った」と「避難した方がいいと思った」を合わせた割合が高くなっている。

○山陽小野田市

「屋外拡声器」と回答した人が、「避難しなければいけないと思った」と「避難した方がいいと思った」を合わせた割合が最も高くなっている。

釧路市

問15.避難勧告認知手段(複数回答) × 問16.避難意思

	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 テレビ	14	48	20	48	18	16	164	8.5	29.3	12.2	29.3	11.0	9.8	100.0
2 ラジオ	3	5	1	4	4	2	19	15.8	26.3	5.3	21.1	21.1	10.5	100.0
3 近所の人	3	6	1	0	1	0	11	27.3	54.5	9.1	0.0	9.1	0.0	100.0
4 広報車・消防車	9	30	14	35	11	12	111	8.1	27.0	12.6	31.5	9.9	10.8	100.0
5 屋外拡声器	3	11	6	9	5	3	37	8.1	29.7	16.2	24.3	13.5	8.1	100.0
6 有線放送	0	0	0	1	1	0	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
7 インターネット	0	2	0	0	1	0	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	1	0	0	0	1	0	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0
9 その他	1	1	1	0	0	2	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	100.0
※ 無回答	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
N=301 総計	34	103	43	97	42	35	354	9.6	29.1	12.1	27.4	11.9	9.9	100.0

宇部市

問16.避難勧告認知手段(複数回答) × 問17.避難意思

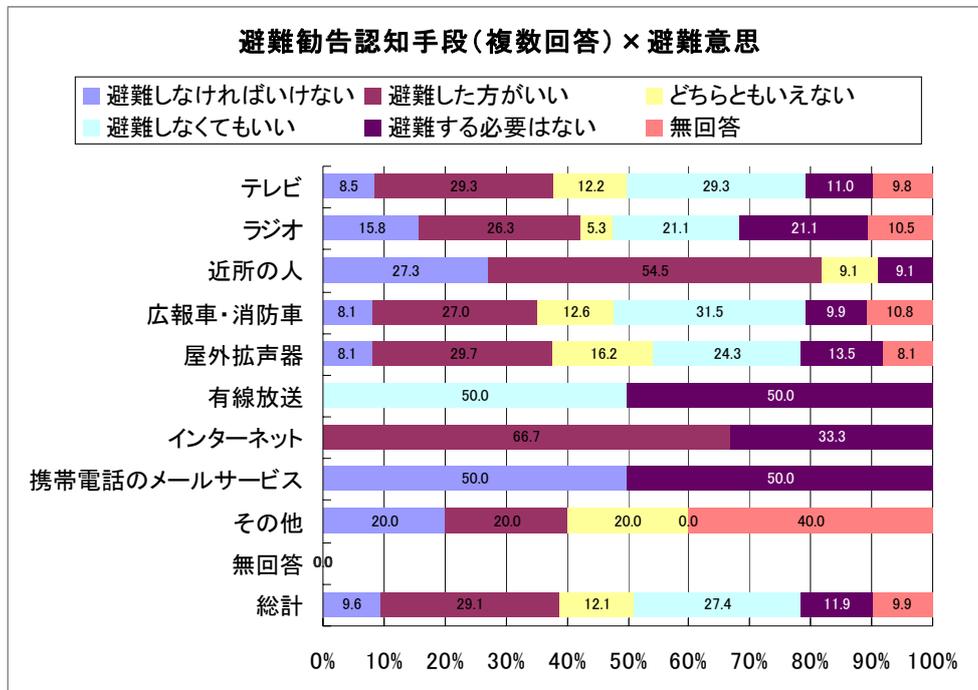
	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	総計
1 テレビ	2	12	18	48	20	10	110	1.8	10.9	16.4	43.6	18.2	9.1	100.0
2 ラジオ	1	1	8	12	3	2	27	3.7	3.7	29.6	44.4	11.1	7.4	100.0
3 近所の人	1	6	13	14	8	4	46	2.2	13.0	28.3	30.4	17.4	8.7	100.0
4 広報車・消防車	6	24	30	67	20	20	167	3.6	14.4	18.0	40.1	12.0	12.0	100.0
5 屋外拡声器	0	1	0	1	1	1	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	100.0
6 有線放送	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
7 インターネット	0	0	1	2	3	0	6	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	1	2	1	4	1	2	11	9.1	18.2	9.1	36.4	9.1	18.2	100.0
9 その他	1	3	3	15	2	0	24	4.2	12.5	12.5	62.5	8.3	0.0	100.0
※ 無回答	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	12	49	75	163	58	39	396	3.0	12.4	18.9	41.2	14.6	9.8	100.0

山陽小野田市

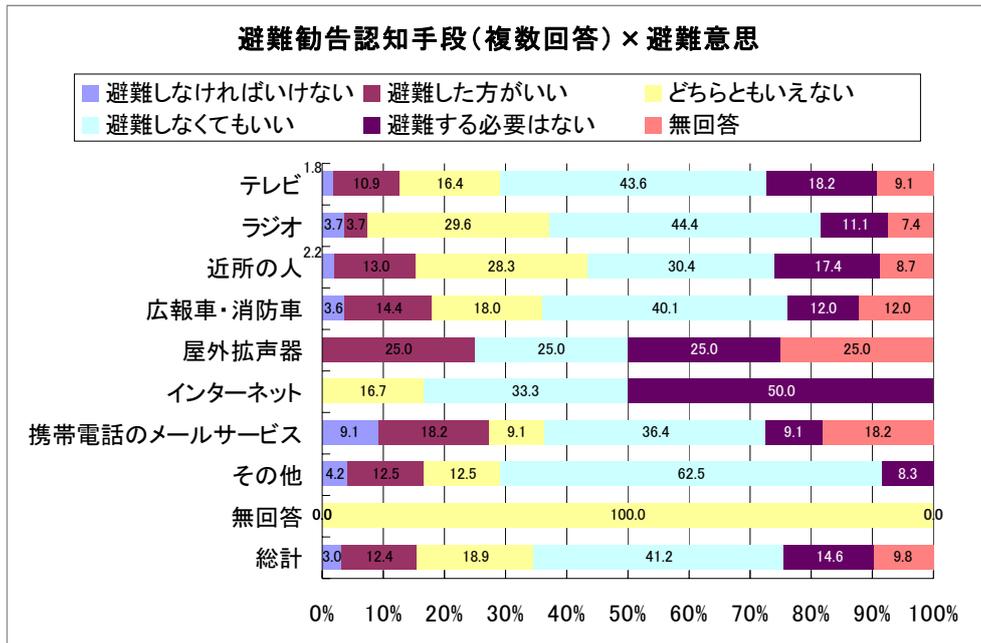
問16.避難勧告認知手段(複数回答) × 問17.避難意思

	実数						構成比(%)							
	1	2	3	4	5	*	1	2	3	4	5	*		
	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答	避難しなければいけない	避難した方がいい	どちらともいえない	避難しなくてもいい	避難する必要はない	無回答		
1 テレビ	7	15	15	31	12	13	93	7.5	16.1	16.1	33.3	12.9	14.0	100.0
2 ラジオ	3	1	2	9	3	1	19	15.8	5.3	10.5	47.4	15.8	5.3	100.0
3 近所の人	1	7	12	16	4	3	43	2.3	16.3	27.9	37.2	9.3	7.0	100.0
4 広報車・消防車	5	29	19	48	16	16	133	3.8	21.8	14.3	36.1	12.0	12.0	100.0
5 屋外拡声器	0	3	3	1	1	2	10	0.0	30.0	30.0	10.0	10.0	20.0	100.0
6 有線放送	1	2	3	10	3	2	21	4.8	9.5	14.3	47.6	14.3	9.5	100.0
7 インターネット	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
8 携帯電話のメールサービス	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9 その他	2	1	6	5	3	2	19	10.5	5.3	31.6	26.3	15.8	10.5	100.0
※ 無回答	0	0	0	0	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
N=298 総計	19	58	61	120	42	40	340	5.6	17.1	17.9	35.3	12.4	11.8	100.0

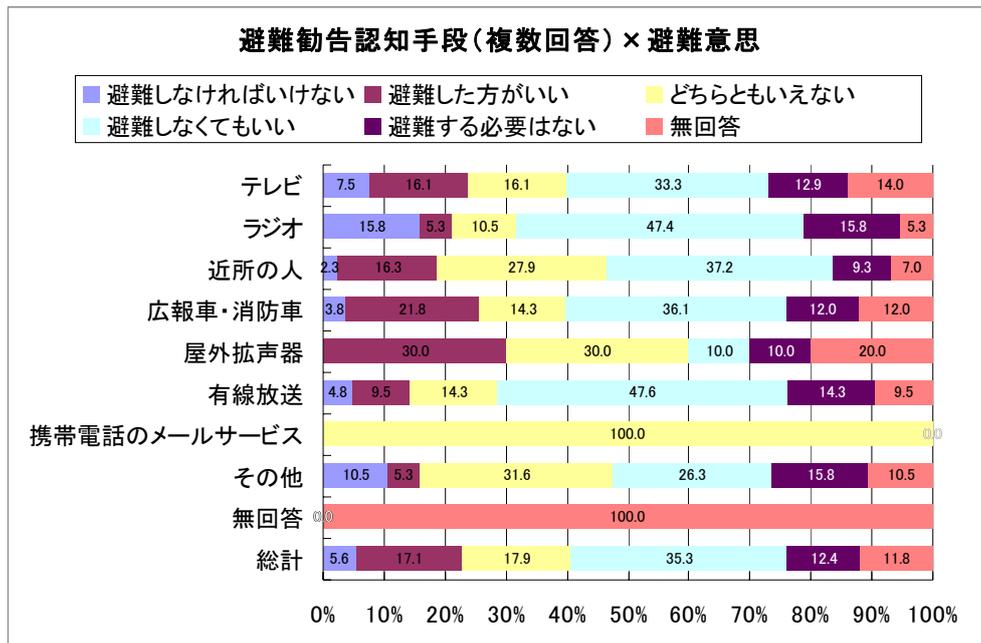
釧路市



宇部市



山陽小野田市



4) 避難勧告認知手段と避難の有無

○釧路市

「近所の人」と回答した人が、避難した割合が高かった。

○宇部市

回答数の少ない「インターネット」を除くと、「携帯電話のメールサービス」と回答した人が避難した割合が比較的高かった。

○山陽小野田市

「ラジオ」と回答した人が、避難した割合が比較的高かった。

釧路市

問15.避難勧告認知手段(複数回答) × 問18.避難の有無

	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 テレビ	104	58	2	164	63.4	35.4	1.2	100.0
2 ラジオ	11	8	0	19	57.9	42.1	0.0	100.0
3 近所の人	3	8	0	11	27.3	72.7	0.0	100.0
4 広報車・消防車	75	36	0	111	67.6	32.4	0.0	100.0
5 屋外拡声器	25	12	0	37	67.6	32.4	0.0	100.0
6 有線放送	2	0	0	2	100.0	0.0	0.0	100.0
7 インターネット	3	0	0	3	100.0	0.0	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	1	1	0	2	50.0	50.0	0.0	100.0
9 その他	2	3	0	5	40.0	60.0	0.0	100.0
※ 無回答	0	0	0	0	—	—	—	—
N=301 総計	226	126	2	354	63.8	35.6	0.6	100.0

宇部市

問16.避難勧告認知手段(複数回答) × 問19.避難の有無

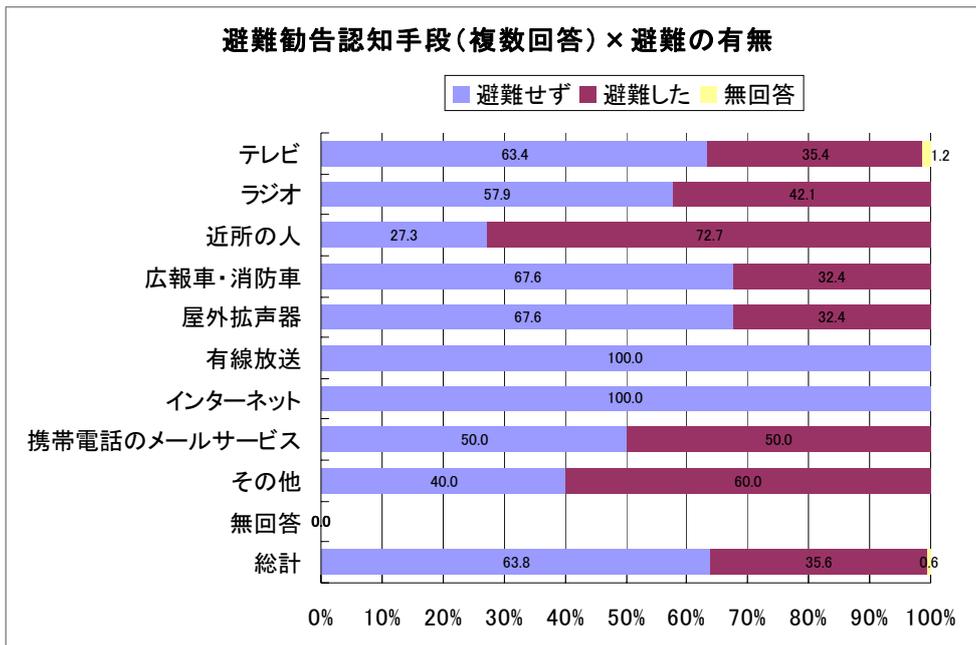
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 テレビ	104	6	0	110	94.5	5.5	0.0	100.0
2 ラジオ	25	2	0	27	92.6	7.4	0.0	100.0
3 近所の人	44	2	0	46	95.7	4.3	0.0	100.0
4 広報車・消防車	146	21	0	167	87.4	12.6	0.0	100.0
5 屋外拡声器	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
6 有線放送	0	0	0	0	—	—	—	—
7 インターネット	5	1	0	6	83.3	16.7	0.0	100.0
8 携帯電話のメールサービス	9	2	0	11	81.8	18.2	0.0	100.0
9 その他	21	3	0	24	87.5	12.5	0.0	100.0
※ 無回答	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
N=398 総計	359	37	0	396	90.7	9.3	0.0	100.0

山陽小野田市

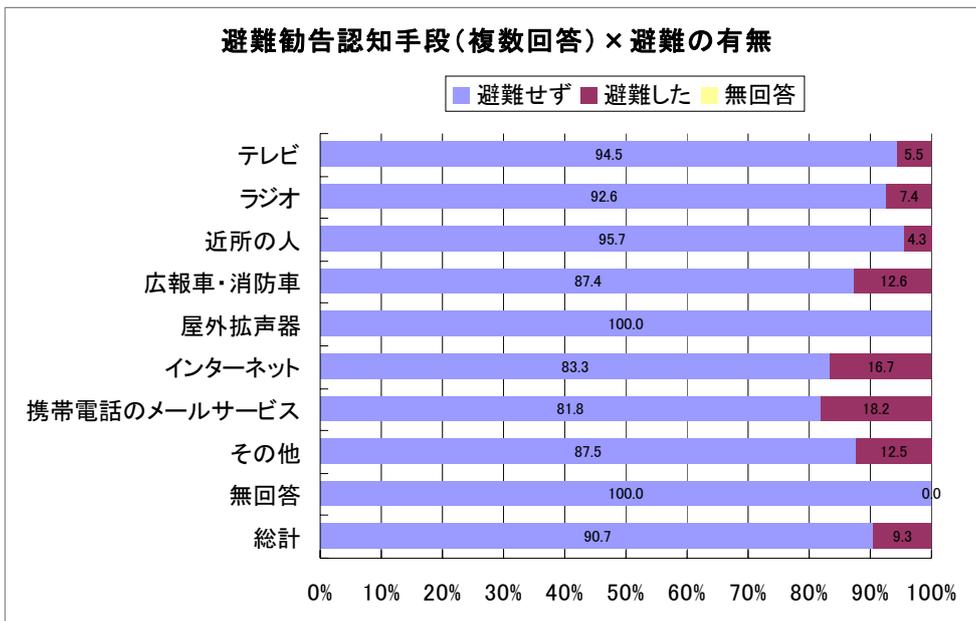
問16.避難勧告認知手段(複数回答) × 問19.避難の有無

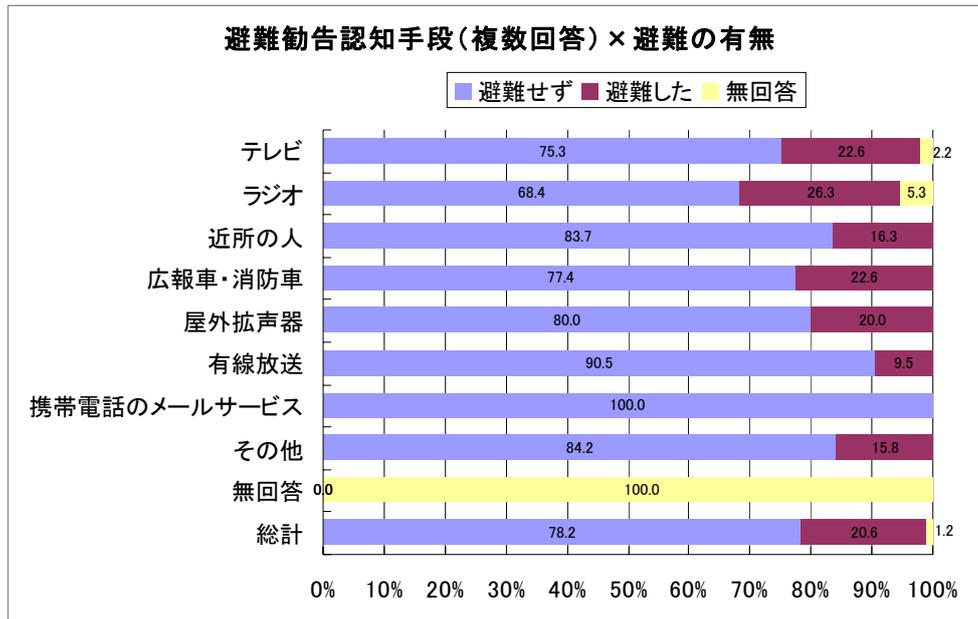
	1 2 *				1 2 *			
	実数				構成比(%)			
	避難 せず	避難 した	無回 答	総計	避難 せず	避難 した	無回 答	総計
1 テレビ	70	21	2	93	75.3	22.6	2.2	100.0
2 ラジオ	13	5	1	19	68.4	26.3	5.3	100.0
3 近所の人	36	7	0	43	83.7	16.3	0.0	100.0
4 広報車・消防車	103	30	0	133	77.4	22.6	0.0	100.0
5 屋外拡声器	8	2	0	10	80.0	20.0	0.0	100.0
6 有線放送	19	2	0	21	90.5	9.5	0.0	100.0
7 インターネット	0	0	0	0	—	—	—	—
8 携帯電話のメールサービス	1	0	0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
9 その他	16	3	0	19	84.2	15.8	0.0	100.0
※ 無回答	0	0	1	1	0.0	0.0	100.0	100.0
N=298 総計	266	70	4	340	78.2	20.6	1.2	100.0

釧路市



宇部市





(11) 防災無線施設・広報車ルートまでの距離と警報・避難勧告の認知

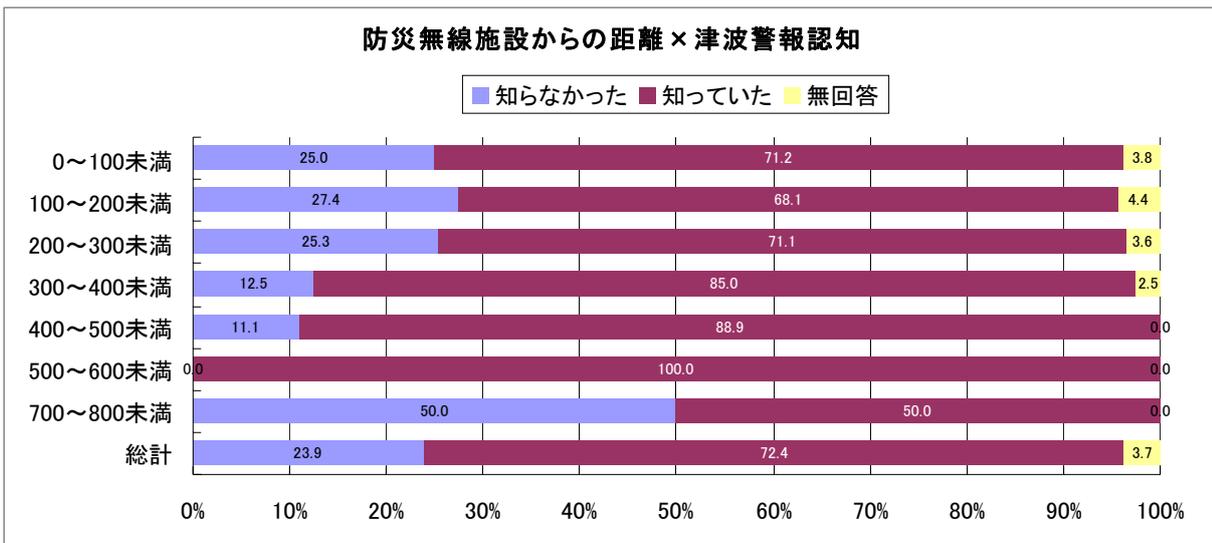
1) 防災無線施設からの距離と津波警報認知

○釧路市

釧路市の防災無線施設からの距離と津波警報の認知との間には、有意な関係はみられない。

防災無線施設からの距離 × 問12.津波警報認知

	1 2 *				1 2 *			
	実数			総計	構成比(%)			総計
	1 知らな かった	2 知って いた	* 無回 答		1 知らな かった	2 知って いた	* 無回 答	
1 0～100未満	13	37	2	52	25.0	71.2	3.8	100.0
2 100～200未満	31	77	5	113	27.4	68.1	4.4	100.0
3 200～300未満	21	59	3	83	25.3	71.1	3.6	100.0
4 300～400未満	5	34	1	40	12.5	85.0	2.5	100.0
5 400～500未満	1	8	0	9	11.1	88.9	0.0	100.0
6 500～600未満	0	2	0	2	0.0	100.0	0.0	100.0
7 600～700未満	0	0	0	0	—	—	—	—
8 700～800未満	1	1	0	2	50.0	50.0	0.0	100.0
N=301 総計	72	218	11	301	23.9	72.4	3.7	100.0



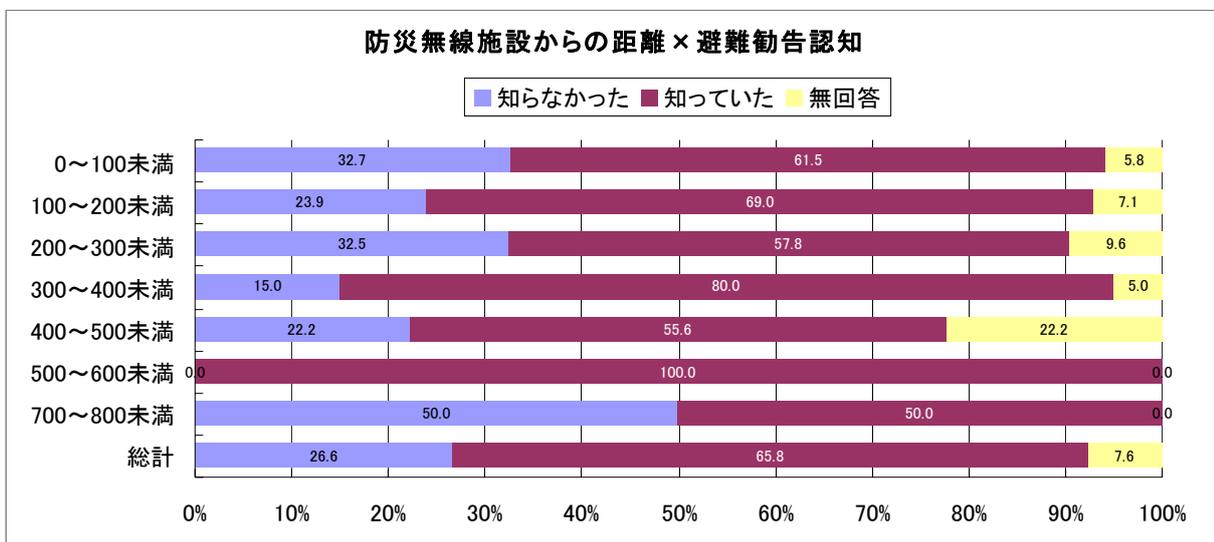
2) 防災無線施設からの距離と避難勧告認知

○釧路市

釧路市の防災無線施設からの距離と避難勧告の認知との間には、有意な関係はみられない。

防災無線施設からの距離 × 問14.避難勧告認知

	1 2 *				1 2 *			
	実数			総計	構成比(%)			総計
	1 知らな かった	2 知って いた	* 無回 答		1 知らな かった	2 知って いた	* 無回 答	
1 0～100未満	17	32	3	52	32.7	61.5	5.8	100.0
2 100～200未満	27	78	8	113	23.9	69.0	7.1	100.0
3 200～300未満	27	48	8	83	32.5	57.8	9.6	100.0
4 300～400未満	6	32	2	40	15.0	80.0	5.0	100.0
5 400～500未満	2	5	2	9	22.2	55.6	22.2	100.0
6 500～600未満	0	2	0	2	0.0	100.0	0.0	100.0
7 600～700未満	0	0	0	0	—	—	—	—
8 700～800未満	1	1	0	2	50.0	50.0	0.0	100.0
N=301 総計	80	198	23	301	26.6	65.8	7.6	100.0

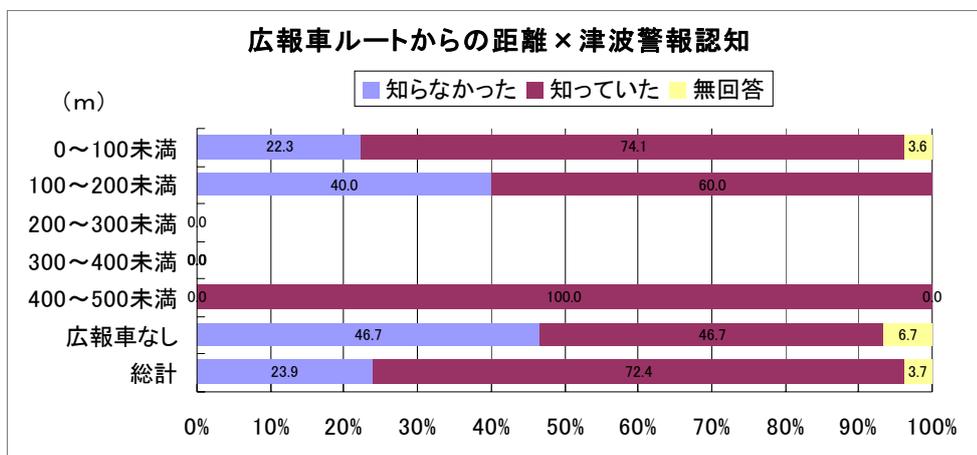


3) 広報車ルートまでの距離と津波警報認知
○釧路市

自宅から広報車ルートまでの距離と津波警報の認知との間には、有意な関係がみられない。

広報車ルートからの距離 × 問12.津波警報認知

	1 2 *				1 2 *			
	実数			総計	構成比(%)			総計
	知らな かった	知って いた	無回 答		知らな かった	知って いた	無回 答	
1 0～100未満	61	203	10	274	22.3	74.1	3.6	100.0
2 100～200未満	4	6	0	10	40.0	60.0	0.0	100.0
3 200～300未満	0	0	0	0	—	—	—	—
4 300～400未満	0	0	0	0	—	—	—	—
5 400～500未満	0	2	0	2	0.0	100.0	0.0	100.0
※ 広報車なし	7	7	1	15	46.7	46.7	6.7	100.0
N=301 総計	72	218	11	301	23.9	72.4	3.7	100.0

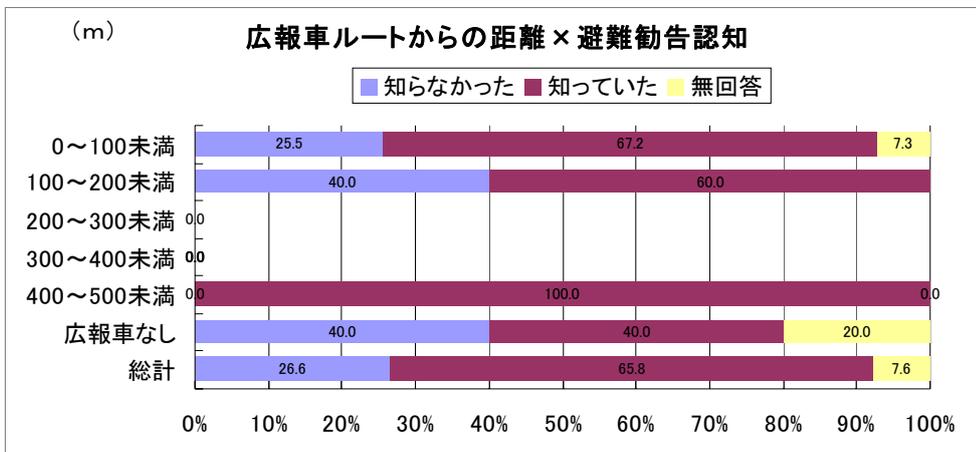


4) 広報車ルートまでの距離と避難勧告認知
○釧路市

自宅から広報車ルートまでの距離と避難勧告の認知との間には、有意な関係がみられない。

広報車ルートからの距離 × 問14.避難勧告認知

	実数				構成比(%)			
	1 知らな かった	2 知って いた	* 無回 答	総計	1 知らな かった	2 知って いた	* 無回 答	総計
1 0～100未満	70	184	20	274	25.5	67.2	7.3	100.0
2 100～200未満	4	6	0	10	40.0	60.0	0.0	100.0
3 200～300未満	0	0	0	0	—	—	—	—
4 300～400未満	0	0	0	0	—	—	—	—
5 400～500未満	0	2	0	2	0.0	100.0	0.0	100.0
※ 広報車なし	6	6	3	15	40.0	40.0	20.0	100.0
N=301 総計	80	198	23	301	26.6	65.8	7.6	100.0



(12) ハザードマップの認知と避難場所・浸水想定区域の認知

1) ハザードマップの認知と避難場所の距離

三市とも、避難場所を知らない人の割合は、ハザードマップを見たことがない人の方が明らかに高い。また、避難場所が歩いて行けない距離にあると回答した人の割合も、ハザードマップを見たことがない人の方が高い。

釧路市

問30.ハザードマップ × 問31.津波避難場所距離

	1 2 3 *				総計	1 2 3 *				総計
	実数					構成比(%)				
	歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答		歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答	
1 見たことがある	186	11	21	9	227	81.9	4.8	9.3	4.0	100.0
2 見たことがない	39	4	17	2	62	62.9	6.5	27.4	3.2	100.0
※ 無回答	6	1	0	5	12	50.0	8.3	0.0	41.7	100.0
N=301 総計	231	16	38	16	301	76.7	5.3	12.6	5.3	100.0

宇部市

問31.ハザードマップ × 問32.高潮避難場所距離

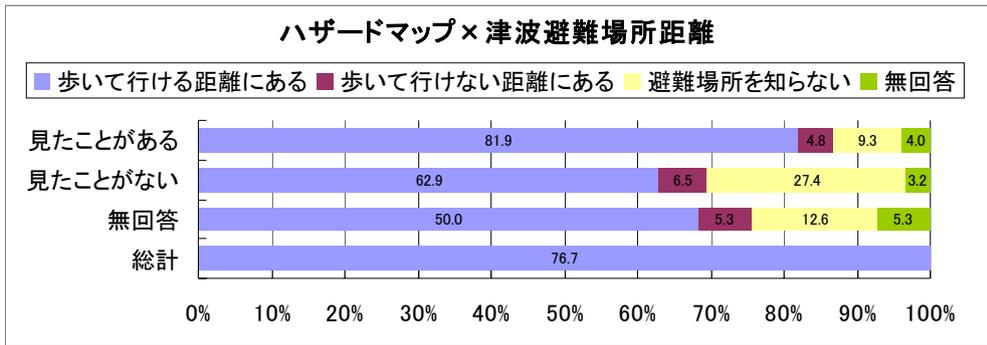
	1 2 3 *				総計	1 2 3 *				総計
	実数					構成比(%)				
	歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答		歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答	
1 見たことがある	182	25	13	5	225	80.9	11.1	5.8	2.2	100.0
2 見たことがない	94	24	34	4	156	60.3	15.4	21.8	2.6	100.0
※ 無回答	7	3	0	7	17	41.2	17.6	0.0	41.2	100.0
N=398 総計	283	52	47	16	398	71.1	13.1	11.8	4.0	100.0

山陽小野田市

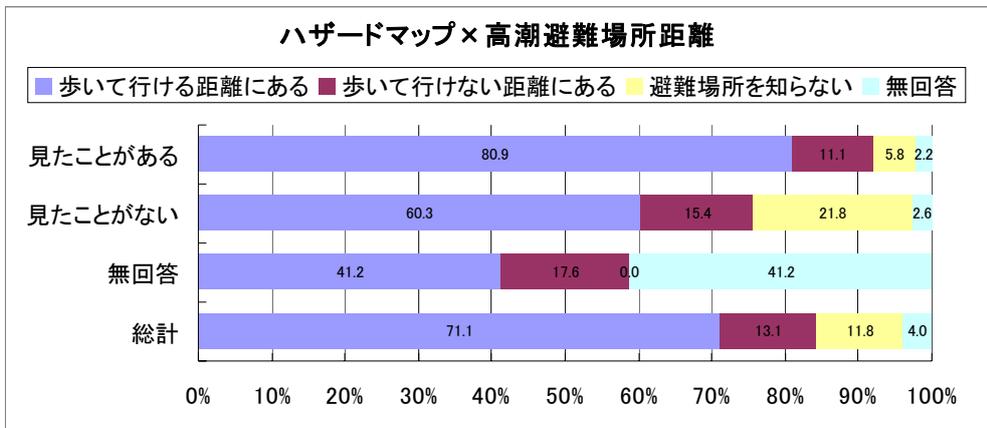
問31.ハザードマップ × 問32.高潮避難場所距離

	1 2 3 *				総計	1 2 3 *				総計
	実数					構成比(%)				
	歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答		歩いて行ける距離にある	歩いて行けない距離にある	避難場所を知らない	無回答	
1 見たことがある	152	22	3	6	183	83.1	12.0	1.6	3.3	100.0
2 見たことがない	64	22	7	5	98	65.3	22.4	7.1	5.1	100.0
※ 無回答	4	3	0	10	17	23.5	17.6	0.0	58.8	100.0
N=298 総計	220	47	10	21	298	73.8	15.8	3.4	7.0	100.0

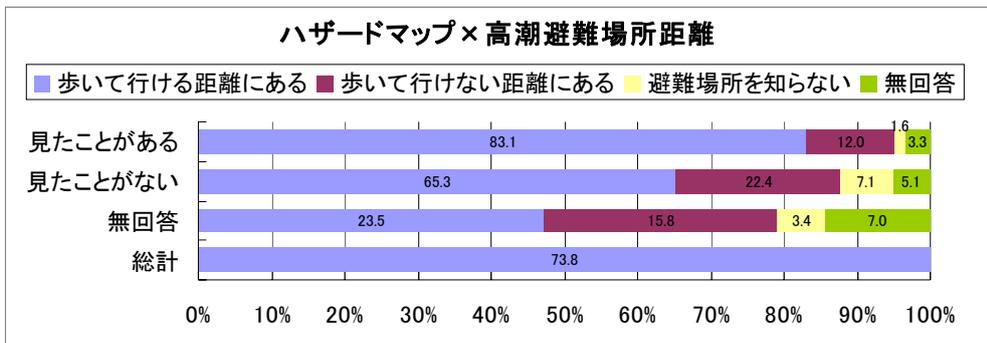
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2) ハザードマップの認知と浸水予想区域認知

三市とも、ハザードマップを見たことがない人の方が、自宅が浸水想定区域の中か外かわからない人が多い。

なお、宇部市の「防災マップ」には浸水想定区域ではなく浸水実績が示されているが、「防災マップ」を見たことがある人の6割、見たことがない人の4割が、自宅が浸水想定区域の中にあると認識している。

釧路市

問30.ハザードマップ × 問33.浸水想定区域認知

	1 2 3 *					1 2 3 *				
	実数					構成比(%)				
	自宅が浸水想定区域の中	自宅が浸水想定区域の外	自宅が区域の中か外かわからず	無回答	総計	自宅が浸水想定区域の中	自宅が浸水想定区域の外	自宅が区域の中か外かわからず	無回答	総計
1 見たことがある	188	7	26	6	227	82.8	3.1	11.5	2.6	100.0
2 見たことがない	41	4	15	2	62	66.1	6.5	24.2	3.2	100.0
※ 無回答	3	1	0	8	12	25.0	8.3	0.0	66.7	100.0
N=301 総計	232	12	41	16	301	77.1	4.0	13.6	5.3	100.0

宇部市

問31.ハザードマップ × 問33.浸水想定区域認知

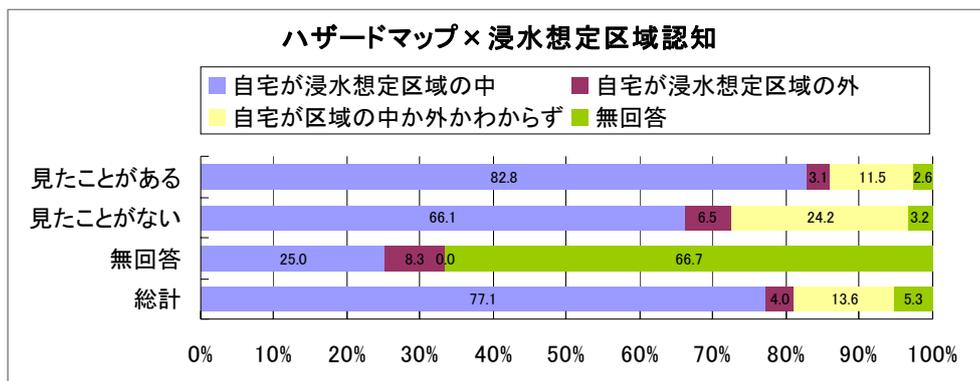
	1 2 3 *					1 2 3 *				
	実数					構成比(%)				
	自宅が浸水想定区域の中	自宅が浸水想定区域の外	自宅が区域の中か外かわからず	無回答	総計	自宅が浸水想定区域の中	自宅が浸水想定区域の外	自宅が区域の中か外かわからず	無回答	総計
1 見たことがある	139	21	58	7	225	61.8	9.3	25.8	3.1	100.0
2 見たことがない	68	11	75	2	156	43.6	7.1	48.1	1.3	100.0
※ 無回答	6	0	2	9	17	35.3	0.0	11.8	52.9	100.0
N=398 総計	213	32	135	18	398	53.5	8.0	33.9	4.5	100.0

山陽小野田市

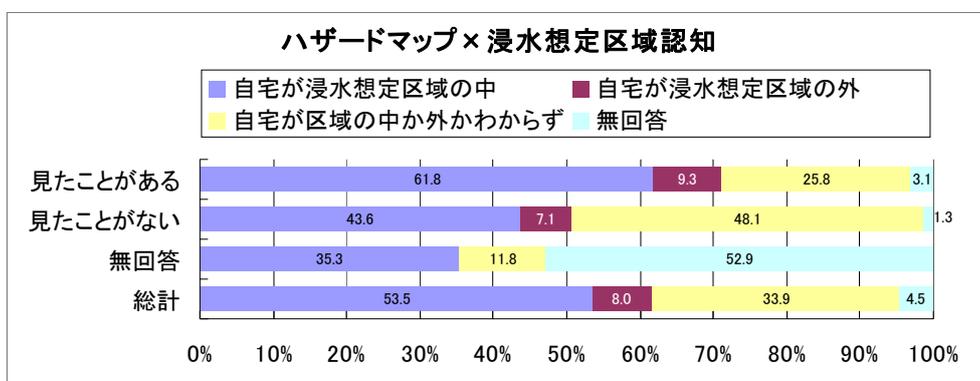
問31.ハザードマップ × 問33.浸水想定区域認知

	1 2 3 *					1 2 3 *				
	実数					構成比(%)				
	自宅が浸水想定区域の中	自宅が浸水想定区域の外	自宅が区域の中か外かわからず	無回答	総計	自宅が浸水想定区域の中	自宅が浸水想定区域の外	自宅が区域の中か外かわからず	無回答	総計
1 見たことがある	137	15	25	6	183	74.9	8.2	13.7	3.3	100.0
2 見たことがない	40	14	43	1	98	40.8	14.3	43.9	1.0	100.0
※ 無回答	4	0	2	11	17	23.5	0.0	11.8	64.7	100.0
N=298 総計	181	29	70	18	298	60.7	9.7	23.5	6.0	100.0

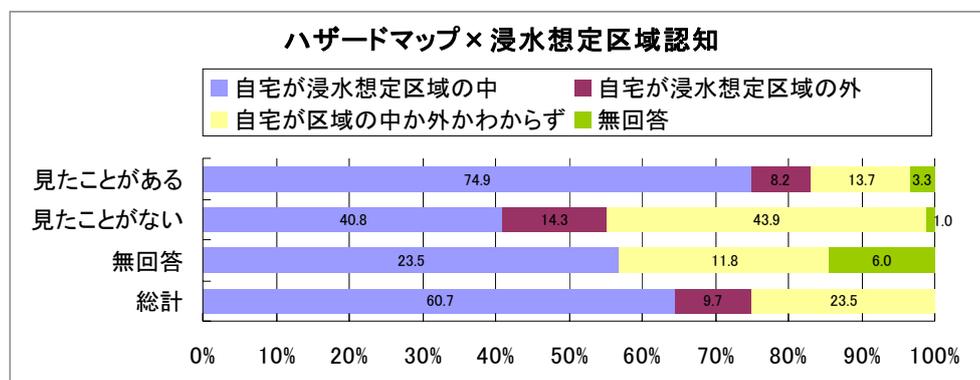
釧路市



宇部市



山陽小野田市



2.2.5 まとめ

集計結果を総括すると次のとおりである。

- ・三市とも、歩いて避難することが難しい同居者がいる世帯が約2割を占めている。
- ・住宅の形態は、釧路市では集合住宅が4割を占めたが、宇部市と山陽小野田市では一戸建てが9割以上であった。
- ・標高は、釧路市では1m未満が6割を占めたが、宇部市と山陽小野田市では1m以上が大半を占めた。
- ・海岸線からの距離は、釧路市では1000m以上が半数だが、宇部市や山陽小野田市ではそれより短くなっている。特に、山陽小野田市では、200m未満が2/3を占めていた。
- ・津波や高潮の流入が想定される河川からの距離を「水際からの距離」として釧路市と宇部市で計測したところ、釧路市では300m未満が8割を占め、宇部市でも1000m未満が9割を占めた。
- ・釧路市では、普通の地震と同じまたはそれ以上に揺れが恐かったと、6割の人が回答した。また、普通の台風と同じまたはそれ以上に風雨が恐かったと、宇部市では半数の人が、山陽小野田市では6割の人が回答した。
- ・「必ず水に浸かる」または「たぶん水に浸かる」と思った人は、釧路市と宇部市では1割未満、山陽小野田市でも1割強であった。
- ・「避難しなければ絶対助からない」または「避難しないと助からないかもしれない」と思った人は、三市とも1割未満であった。
- ・津波警報の発表を釧路市では24%の人が知っていた。また、高潮警報の発表を、宇部市では31%、山陽小野田市では26%の人が知っていた。
- ・避難勧告の発令を知っていたのは、釧路市では27%、宇部市では31%、山陽小野田市では25%であった。
- ・「避難しなければいけない」または「避難した方がいい」と思った人は、釧路市で32%、宇部市で13%、山陽小野田市では22%であった。
- ・実際に避難したのは、釧路市で3割、宇部市で1割、山陽小野田市で2割であった。
- ・近所の人から避難を呼びかけられた人は、釧路市で10%、宇部市で17%、山陽小野田市で24%であった。逆に、近所の人に避難を呼びかけた人は、釧路市で10%、宇部市で13%、山陽小野田市で21%であった。
- ・釧路市では、74%の人が津波の被災経験がなく、47%の人が津波からの避難経験がなかった。高潮の被災経験については、宇部市では39%、山陽小野田市では31%がなかった。高潮からの避難経験については、宇部市では68%、山陽小野田市では47%がなかった。
- ・防災訓練に参加したことがない人は、三市とも7割以上であった。
- ・各市のハザードマップに相当するものを見たことがある人は、釧路市で75%、宇部市で57%、山陽小野田市で61%であった。
- ・自宅が浸水想定区域内にあると認識している人は、釧路市で77%、宇部市で54%、山陽小野田市で61%であった。
- ・内閣府の全国調査と比較すると、三市とも、他人への信頼感が高い傾向が認められた。また、近所つきあいの程度や永住意向については、釧路市では全国平均をやや下回り、宇部市と山陽小野田市では全国平均と同じ程度であった。地縁的な活動に参加していない人の割合は、釧路市では半数程度、宇部市と山陽小野田市では3割程度であった。

2.3 避難意思決定要因の分析

2.3.1 概要

質問紙調査で得た回答と、標高や海岸線からの距離など回答者の位置情報を用いて、避難意思決定要因に関わる仮説を検証する。

その分析では、避難意思決定のモデルを構築し、共分散構造分析によりその検証を行う。

2.3.2 分析方法

(1)共分散構造分析の概要

共分散構造分析は、多変量解析法の一つであり、「直接観測できない潜在変数を導入し、その潜在変数と観測変数との間の因果関係を同定することにより社会現象や自然現象を理解するための統計的アプローチ」と定義されている（狩野・三浦，2007）。

共分散構造分析で使用される変数には、観測変数と潜在変数が用いられる。観測変数とは、実際に観測された変数である。一方、潜在変数とは、直接観測されない変数であり、いくつかの観測変数で表される概念として設定する。

(2)分析手順

質問紙調査データのうち、観測変数として用いた設問について全て回答したものを、分析対象サンプルとして抽出した。

釧路市では質問紙調査の各回収票において、問 2～12, 14, 16～18, 24～33, 35, 36(i), 38, 39 Aをすべて回答したものを分析対象サンプルとして抽出した。その結果、サンプル数 158, 無効数 143 となった。

宇部市では質問紙調査の各回収票において、問 2～13, 15, 17～19, 25～34, 36, 37(i), 39, 40 Aをすべて回答したものを分析対象サンプルとして抽出した。その結果、サンプル数 225, 無効数 173 となった。

山陽小野田市では質問紙調査の各回収票において、問 2～13, 15, 17～19, 25～34, 36, 37(i), 39, 40Aをすべて回答したものを分析対象サンプルとして抽出した。その結果、サンプル数 137, 無効数 161 となった。

共分散構造分析で使用したサンプル数

対象市	回収数	分析対象サンプル数	無効数
釧路市	301	158	143
宇部市	398	225	173
山陽小野田市	298	137	161

分析は以下のような手順で行った。最初に、避難意思決定に関するモデルを作成し、その中で観測変数と潜在変数を設定した。次に、質問紙調査で得られた回答と回答者の位置情報のデータを用いて因子分析を行い、潜在変数の妥当性を確認した。その後、共分散構造分析を行い、モデルの収束性と適合性を見ながらモデルの修正を行った。なお、共分散構造分析には AMOS を使用した。

共分散構造分析におけるモデルの適合性評価では、主として GFI (適合度指標 : Goodness of Fit Index), AIC (赤池の情報量基準 : Akaike's Information Criterion), RMSEA (Root Mean Error of Approximation) を用いた。

GFI は、構成したモデルが標本共分散行列または標本相関行列を説明する割合を示した指標であり、モデルが完全に標本共分散行列を説明している場合には GFI は 1 となる。一般には、0.9 以上であれば概ね母数を説明しているものと判断されている。

AIC は、真のモデルへの近さを示すものであるが、真のモデルが不明であることから、複数のモデルから 1 つを採択する際に AIC の小さい方が、真のモデルに近いと判断されるものである。

RMSEA は、一般にパラメータが多いモデルでは、決定係数等の指標が向上し、見かけ上の精度が高まる性格をもっていることから、こうした性質を排除した指標である。概ね 0.08 以下であれば、そのモデルは有意であるものとされている。

(3)変数及びモデルの設定

使用した観測変数及び潜在変数は、下表のとおりである。観測変数には、距離や建物階数、回数などの連続した変数、意思の度合いを段階的に表現した（「思う」、「やや思う」といった表現）離散型、及び 2 者択一の 2 値変数があることから、以下にデータの種別も示した。

使用した観測変数及び潜在変数（1 / 3）

潜在変数の名称	観測変数の名称	内容	データの種別
居住場所	標高	地図データから読み取った、調査票回答者の居住地の標高	連続型
	海岸線からの距離	地図データから読み取った、海岸線から自宅までの距離をデータ化した値	連続型
	水際からの距離	地図データから読み取った、高潮・津波の流入経路となる河川から自宅までの距離	連続型
	想定浸水深	ハザードマップに記載されている想定浸水深（釧路市のみ）	連続型
住宅の形態	住宅形態	一戸建てか集合住宅かの区分	離散型（2値）
	建物の階数	住んでいる住宅の階数	連続型
	住んでいる階	1日の中で最も長く過ごしている階数	連続型
資源	世帯人員	調査票回答者の世帯全体の人数	連続型
	運転者数	同居人の中で普段車を運転している人の数	連続型
	徒歩避難困難者数	同居人の中で歩いて避難することが難しい人の数	連続型
	避難場所までの距離	地図データから読み取った、自宅から避難場所までの距離	連続型
地震・風雨の恐さ	雨の恐さ	避難勧告が発令された台風時における雨の恐さ	離散型（5段階）
	風の恐さ	避難勧告が発令された台風時における風の恐さ	離散型（5段階）
	揺れの恐さ	避難勧告が発令された地震時における揺れの恐さ	離散型（5段階）
浸水に対する不安	浸水可能性の予想	避難勧告が発令された台風時または地震時に、自宅が浸水すると思ったかどうか	離散型（5段階）
	浸水深の予想	避難勧告が発令された台風時または地震時に、自宅がどれくらいの深さまで浸水すると思ったか	離散型（5段階）
	危険予想	避難勧告が発令された台風時または地震時に、避難しないと助からないと思ったかどうか	離散型（5段階）
避難意図	避難意思	避難勧告が発令された台風時または地震時に、避難しなければいけないと思ったかどうか	離散型（5段階）
	避難準備	避難勧告が発令された台風時または地震時に、避難の準備をしたかどうか	離散型（3段階）
避難行動	避難の有無	避難勧告が発令された台風時または地震時に、避難したかどうか	離散型（2値）
	避難呼びかけ（主）	避難勧告が発令された台風時または地震時に、近所の人に避難を呼びかけたかどうか	離散型（2値）

使用した観測変数及び潜在変数（2 / 3）

潜在変数の名称	観測変数の名称	内容	
避難情報	津波警報認知，高潮警報認知	避難勧告が発令された台風時または地震時に，高潮警報または津波警報が発表されたのを知っていたかどうか	離散型（2値）
	避難勧告認知	避難勧告が発令された台風時または地震時に，避難勧告が発令されたのを知っていたかどうか	離散型（2値）
	避難呼びかけ（従）	避難勧告が発令された台風時または地震時に，近所の人から避難を呼びかけられたかどうか	離散型（2値）
情報施設までの距離（釧路市のみ）	防災無線施設からの距離	地図データから読み取った，自宅から防災無線施設までの距離（釧路市のみ）	連続型
	広報車ルートからの距離	地図データから読み取った，自宅から広報車の巡回ルートまでの距離（釧路市のみ）	連続型
先行体験	津波被災経験，高潮被災経験	過去に津波または高潮で被災したことがあるかどうか	離散型（2値）
	その他の被災経験	該当する災害以外の災害を過去に経験したことがあるかどうか	離散型（2値）
	津波避難経験，高潮避難経験	該当する災害で避難した経験が過去にあるかどうか	離散型（2値）
防災への関心	防災訓練参加	地域の防災訓練への参加頻度	離散型 （5段階）
	ハザードマップ	地域で作成されているハザードマップを見たことがあるかどうか	離散型（2値）
	津波・高潮の避難場所認知	津波または高潮の被災時の避難場所が歩いて行ける距離にあるか知っているかどうか。	離散型（2値）
	浸水想定区域認知	自宅の場所が浸水想定区域内にあるか知っているかどうか	離散型（2値）
	周防灘台風の認知（過去の災害が伝承されているかどうか）	昭和17年の周防灘台風において甚大な被害があったことを知っているかどうか（宇部市，山陽小野田市のみ）	離散型（3段階）
	大正釧路川洪水の認知（過去の災害が伝承されているかどうか）	大正9年の釧路川の洪水で甚大な被害があったことを知っているかどうか。（釧路市のみ）	離散型（3段階）
ソーシャルキャピタル	他人への信頼感	一般的に人は信頼できると思うかどうか	離散型 （5段階）
	近所とのつきあい	近所の方とどの程度のつきあいをしているか	離散型 （4段階）
	地縁活動への参加状況	自治会，町内会，婦人会，老人会，青年団，子ども会等での活動状況	離散型 （7段階）
	永住意向	現在住んでいる地区に永住したいと思っているかどうか	離散型 （5段階）

(4)観測変数の因子分析

各潜在変数の観測変数について、因子分析を行った。各因子に関わる観測変数を抽出し、それらが同一の潜在変数と関係づけられているか確認した。モデルの修正においては、各潜在変数について、異なる因子と関係している観測変数を取り除いていく操作を行った。

観測変数選定のための因子分析結果（釧路市：1 / 4）

因子No. 1		因子No. 2		因子No. 3	
変数名	因子得点	変数名	因子得点	変数名	因子得点
水際からの距離	-0.177339	住宅形態	-0.254535	永住意向	-0.247823
近所とのつきあい	-0.176686	避難の有無	-0.161438	徒歩避難困難者数	-0.217811
防災無線施設からの距離	-0.081198	危険予想	-0.126977	浸水予想区域認知	-0.141069
永住意向	-0.05049	防災無線施設からの距離	-0.11959	津波避難場所認知	-0.138867
その他の被災経験有無	-0.048282	徒歩避難困難者数	-0.117045	津波避難経験有無	-0.134446
想定浸水深	-0.046791	避難呼びかけ従	-0.060055	その他の被災経験有無	-0.130261
住んでいる階	-0.045543	浸水可能性の予想	-0.036651	標高(盛土を含む)	-0.12457
広報車ルートからの距離	-0.043122	避難意思	-0.036556	避難場所までの距離	-0.124035
避難呼びかけ従	-0.020638	揺れの恐さ	-0.032147	浸水可能性の予想	-0.105208
津波警報認知	-0.015848	津波警報認知	-0.029535	防災無線施設からの距離	-0.066125
大正釧路川洪水の認知	-0.005922	住んでいる階	-0.009534	世帯人員	-0.064246
徒歩避難困難者数	-0.005026	避難場所までの距離	-0.006031	津波被災経験有無	-0.055318
建物の階数	-0.003503	水際からの距離	0.0018124	避難呼びかけ従	-0.046545
世帯人員	0.0039234	運転者数	0.0065434	揺れの恐さ	-0.031913
津波避難場所認知	0.0098812	その他の被災経験有無	0.0077752	ハザードマップ	-0.030106
運転者数	0.0219453	建物の階数	0.0157896	避難勧告認知	-0.019705
避難勧告認知	0.0260783	他人への信頼感	0.0211182	危険予想	-0.014277
標高(盛土を含む)	0.0407359	広報車ルートからの距離	0.0333333	津波警報認知	-0.013643
地縁活動参加状況	0.0453725	海岸線からの距離	0.0536862	近所とのつきあい	-0.013031
他人への信頼感	0.0463093	避難呼びかけ主	0.059199	避難呼びかけ主	-0.004245
海岸線からの距離	0.0469713	避難勧告認知	0.0644919	避難意思	-0.001487
避難場所までの距離	0.0532753	浸水深の予想	0.0748382	避難の有無	0.0028024
防災訓練参加	0.0548388	標高(盛土を含む)	0.0856624	広報車ルートからの距離	0.0082474
避難呼びかけ主	0.0551356	想定浸水深	0.0896354	大正釧路川洪水の認知	0.0082948
住宅形態	0.0676656	世帯人員	0.1054814	浸水深の予想	0.0278553
ハザードマップ	0.0721616	浸水予想区域認知	0.1228169	水際からの距離	0.0395732
津波被災経験有無	0.0879391	津波避難経験有無	0.1615349	他人への信頼感	0.060084
津波避難経験有無	0.1349126	津波被災経験有無	0.2124084	海岸線からの距離	0.0646225
浸水予想区域認知	0.1534207	避難準備	0.2302275	地縁活動参加状況	0.0678318
揺れの恐さ	0.1584411	ハザードマップ	0.2873541	運転者数	0.1016685
避難の有無	0.5234859	大正釧路川洪水の認知	0.4093734	想定浸水深	0.1032318
浸水深の予想	0.6383907	津波避難場所認知	0.4438983	避難準備	0.1141585
避難準備	0.670127	防災訓練参加	0.4593158	防災訓練参加	0.1633004
避難意思	0.7095832	永住意向	0.5058728	住宅形態	0.551896
浸水可能性の予想	0.7183875	近所とのつきあい	0.5782237	住んでいる階	0.8233035
危険予想	0.7494945	地縁活動参加状況	0.713637	建物の階数	0.8614518

<潜在変数>

避難行動
浸水に対する不安
避難意図

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

<潜在変数>

ソーシャルキャピタル
防災への関心

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

<潜在変数>

住宅の形態

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（釧路市：2 / 4）

因子No. 4	
変数名	因子得点
住宅形態	-0.104084
海岸線からの距離	-0.083179
危険予想	-0.080396
津波被災経験有無	-0.079992
ハザードマップ	-0.071538
永住意向	-0.063677
浸水予想区域認知	-0.050115
地縁活動参加状況	-0.038897
避難呼びかけ従	-0.033774
避難準備	-0.031264
避難場所までの距離	-0.023886
広報車ルートからの距離	-0.021787
近所とのつきあい	-0.02083
他人への信頼感	-0.01918
住んでいる階	-0.013499
津波避難経験有無	-0.002996
防災無線施設からの距離	-0.002011
避難呼びかけ主	-0.001437
浸水可能性の予想	0.0046297
津波警報認知	0.0048104
避難勧告認知	0.0072803
防災訓練参加	0.0146825
水際からの距離	0.0149959
避難意思	0.0263002
津波避難場所認知	0.0525509
標高(盛土を含む)	0.0558935
想定浸水深	0.0584497
避難の有無	0.0614925
建物の階数	0.0662999
浸水深の予想	0.0743592
その他の被災経験有無	0.0899427
揺れの恐さ	0.1061859
大正釧路川洪水の認知	0.1867083
徒歩避難困難者数	0.2811418
運転者数	0.8029405
世帯人員	0.8490689

<潜在変数>

資源

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

因子No. 5	
変数名	因子得点
浸水予想区域認知	-0.15222
徒歩避難困難者数	-0.142008
危険予想	-0.088573
防災訓練参加	-0.068357
建物の階数	-0.056865
標高(盛土を含む)	-0.053349
住んでいる階	-0.045436
水際からの距離	-0.040094
防災無線施設からの距離	-0.039058
浸水深の予想	-0.03681
避難準備	-0.028841
地縁活動参加状況	-0.022885
永住意向	-0.016613
津波避難場所認知	-0.010085
津波避難経験有無	-0.007394
揺れの恐さ	0.0056176
その他の被災経験有無	0.0071445
世帯人員	0.0112534
避難呼びかけ従	0.0193834
避難呼びかけ主	0.0215071
避難の有無	0.0238021
運転者数	0.0359818
海岸線からの距離	0.0399822
ハザードマップ	0.0415899
想定浸水深	0.0424776
津波被災経験有無	0.042708
避難意思	0.0529416
大正釧路川洪水の認知	0.0632959
近所とのつきあい	0.0848657
住宅形態	0.1014656
浸水可能性の予想	0.1095556
広報車ルートからの距離	0.1291872
他人への信頼感	0.1404629
避難場所までの距離	0.1559812
津波警報認知	0.7827047
避難勧告認知	0.7956828

<潜在変数>

避難情報

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

因子No. 6	
変数名	因子得点
海岸線からの距離	-0.43125
浸水予想区域認知	-0.180158
揺れの恐さ	-0.156279
避難呼びかけ従	-0.150439
浸水深の予想	-0.149455
大正釧路川洪水の認知	-0.148007
建物の階数	-0.143771
津波被災経験有無	-0.136761
他人への信頼感	-0.128219
ハザードマップ	-0.123715
住んでいる階	-0.117106
浸水可能性の予想	-0.09978
津波避難場所認知	-0.076981
永住意向	-0.067323
想定浸水深	-0.054794
世帯人員	-0.032719
広報車ルートからの距離	-0.025312
避難の有無	-0.00448
津波警報認知	0.0006814
津波避難経験有無	0.0043871
防災無線施設からの距離	0.0275864
避難準備	0.0278311
その他の被災経験有無	0.054014
避難勧告認知	0.0608863
住宅形態	0.0705715
徒歩避難困難者数	0.0783914
近所とのつきあい	0.0874037
運転者数	0.088539
避難呼びかけ主	0.0999362
水際からの距離	0.1565312
危険予想	0.1566184
地縁活動参加状況	0.2001103
避難意思	0.2173472
防災訓練参加	0.3148744
避難場所までの距離	0.555046
標高(盛土を含む)	0.620248

<潜在変数>

居住場所

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（釧路市：3 / 4）

因子No. 7	
変数名	因子得点
浸水可能性の予想	-0.197967
地縁活動参加状況	-0.17315
広報車ルートからの距離	-0.16535
防災無線施設からの距離	-0.093431
運転者数	-0.092637
住宅形態	-0.071022
避難場所までの距離	-0.066383
浸水深の予想	-0.056112
津波避難場所認知	-0.043079
津波避難経験有無	-0.036683
標高(盛土を含む)	-0.033554
住んでいる階	-0.029843
永住意向	-0.026813
ハザードマップ	0.0019742
その他の被災経験有無	0.002983
世帯人員	0.006276
避難準備	0.0122049
避難勧告認知	0.0185058
大正釧路川洪水の認知	0.0224271
建物の階数	0.0246149
海岸線からの距離	0.0346384
危険予想	0.0452788
津波警報認知	0.050163
浸水予想区域認知	0.0600301
揺れの恐さ	0.0682774
想定浸水深	0.0808076
水際からの距離	0.1100151
徒歩避難困難者数	0.1252982
避難意思	0.1470741
防災訓練参加	0.1586861
津波被災経験有無	0.2015492
他人への信頼感	0.2143625
避難の有無	0.2239426
近所とのつきあい	0.2493558
避難呼びかけ主	0.6507458
避難呼びかけ従	0.7248699

<潜在変数>

避難行動

注)斜交回転(プロマックス法)

太字:0.3以上

因子No. 8	
変数名	因子得点
海岸線からの距離	-0.446855
津波被災経験有無	-0.286248
防災訓練参加	-0.283507
浸水深の予想	-0.277495
浸水可能性の予想	-0.158144
住宅形態	-0.152466
避難呼びかけ主	-0.13966
大正釧路川洪水の認知	-0.131515
その他の被災経験有無	-0.088548
避難呼びかけ従	-0.087179
徒歩避難困難者数	-0.070983
危険予想	-0.067321
住んでいる階	-0.063294
永住意向	-0.057551
避難勧告認知	-0.038258
世帯人員	-0.035029
揺れの恐さ	-0.033662
近所とのつきあい	-0.033267
地縁活動参加状況	-0.032075
津波警報認知	-0.025133
建物の階数	-0.004905
浸水予想区域認知	0.0186471
標高(盛土を含む)	0.0214465
避難場所までの距離	0.0239318
津波避難場所認知	0.0246666
避難意思	0.0365168
運転者数	0.0932186
想定浸水深	0.1185067
水際からの距離	0.1407845
ハザードマップ	0.193926
避難準備	0.2239491
広報車ルートからの距離	0.2248633
他人への信頼感	0.2328623
避難の有無	0.2374259
津波避難経験有無	0.432111
防災無線施設からの距離	0.4847646

<潜在変数>

先行体験
防災施設までの距離

注)斜交回転(プロマックス法)

太字:0.3以上

因子No. 9	
変数名	因子得点
想定浸水深	-0.641381
津波避難経験有無	-0.1478
徒歩避難困難者数	-0.144901
住んでいる階	-0.138552
浸水予想区域認知	-0.124609
地縁活動参加状況	-0.112166
避難場所までの距離	-0.10485
津波警報認知	-0.103216
その他の被災経験有無	-0.086097
近所とのつきあい	-0.082127
危険予想	-0.055923
避難の有無	-0.049015
永住意向	-0.040412
浸水深の予想	-0.035718
世帯人員	-0.029233
津波被災経験有無	-0.014463
浸水可能性の予想	-0.010729
建物の階数	-0.00053
避難意思	0.0057117
避難呼びかけ主	0.0070938
広報車ルートからの距離	0.012307
避難準備	0.0200931
避難勧告認知	0.0206671
避難呼びかけ従	0.0216538
運転者数	0.0218629
海岸線からの距離	0.0350764
防災無線施設からの距離	0.0611457
防災訓練参加	0.0726675
大正釧路川洪水の認知	0.0743436
津波避難場所認知	0.0926527
住宅形態	0.0945145
揺れの恐さ	0.1222796
他人への信頼感	0.1267026
ハザードマップ	0.2751939
標高(盛土を含む)	0.3168654
水際からの距離	0.6279885

<潜在変数>

居住場所

注)斜交回転(プロマックス法)

太字:0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（釧路市：4 / 4）

因子No. 10	
変数名	因子得点
揺れの恐さ	-0.363418
永住意向	-0.349069
広報車ルートからの距離	-0.293904
他人への信頼感	-0.270934
津波避難経験有無	-0.244688
住んでいる階	-0.171229
危険予想	-0.098651
水際からの距離	-0.095095
建物の階数	-0.083775
避難意思	-0.080416
津波被災経験有無	-0.072022
避難勧告認知	-0.056768
津波警報認知	-0.054561
防災無線施設からの距離	-0.033767
浸水可能性の予想	-0.03301
標高(盛土を含む)	-0.029627
防災訓練参加	-0.021195
運転者数	-0.014651
海岸線からの距離	-0.001353
避難呼びかけ従	0.0055761
世帯人員	0.0121195
避難準備	0.0353524
徒歩避難困難者数	0.0366708
避難の有無	0.04092
大正釧路川洪水の認知	0.0457372
地縁活動参加状況	0.0462096
避難呼びかけ主	0.0546864
浸水深の予想	0.0588749
津波避難場所認知	0.0653905
近所とのつきあい	0.06932
住宅形態	0.1563088
想定浸水深	0.2139984
避難場所までの距離	0.2395458
ハザードマップ	0.2583982
浸水予想区域認知	0.3685387
その他の被災経験有無	0.3981556

<潜在変数>

地震・風雨の恐さ

注)斜交回転(プロマックス法)

太字:0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（宇部市：1／4）

因子No. 1		因子No. 2		因子No. 3	
変数名	因子得点	変数名	因子得点	変数名	因子得点
高潮警報認知	-0.171766	避難場所までの距離	-0.152149	水際からの距離	-0.270499
住んでいる階	-0.136117	高潮避難経験有無	-0.107211	避難の有無	-0.206256
その他の被災経験有無	-0.126909	浸水予想区域認知	-0.107204	その他の被災経験有無	-0.165375
水際からの距離	-0.123951	避難呼びかけ従	-0.067046	危険予想	-0.123936
地縁活動参加状況1	-0.110253	徒歩避難困難者数	-0.066142	高潮避難経験有無	-0.120866
永住意向	-0.109042	ハザードマップ	-0.063335	永住意向	-0.115763
避難勧告認知	-0.087991	住宅形態	-0.061215	標高(盛土を含む)	-0.115573
高潮避難場所認知	-0.084351	避難の有無	-0.058069	海岸線からの距離	-0.098343
建物の階数	-0.076538	他人への信頼感	-0.039529	周防灘台風の認知	-0.081753
海岸線からの距離	-0.052255	海岸線からの距離	-0.019758	ハザードマップ	-0.080822
周防灘台風の認知	-0.037085	永住意向	-0.002401	建物の階数	-0.037063
他人への信頼感	-0.035332	近所とのつきあい	0.0003123	浸水可能性の予想	-0.02802
風の恐さ	-0.027751	運転者数	0.0051114	地縁活動参加状況1	-0.023642
高潮被災経験有無	-0.015063	高潮避難場所認知	0.0064256	世帯人員	-0.005772
標高(盛土を含む)	-0.012448	周防灘台風の認知	0.0179098	他人への信頼感	-0.001487
雨の恐さ	-0.007369	世帯人員	0.0227164	住んでいる階	0.0016358
ハザードマップ	0.0003284	地縁活動参加状況1	0.0238715	浸水深の予想	0.0133696
世帯人員	0.0273847	高潮警報認知	0.0341742	防災訓練参加	0.0189444
運転者数	0.0277649	高潮被災経験有無	0.0351196	高潮被災経験有無	0.0207587
浸水予想区域認知	0.0651586	標高(盛土を含む)	0.0420507	避難意思	0.0253567
防災訓練参加	0.0802868	住んでいる階	0.056529	雨の恐さ	0.025655
近所とのつきあい	0.1431135	避難勧告認知	0.0589133	運転者数	0.0498256
住宅形態	0.1896188	避難意思	0.063698	風の恐さ	0.0504917
浸水深の予想	0.1977679	建物の階数	0.0954245	住宅形態	0.053125
徒歩避難困難者数	0.2030566	防災訓練参加	0.0961888	高潮避難場所認知	0.0685538
避難呼びかけ従	0.2205051	避難準備	0.0963464	近所とのつきあい	0.0888397
避難呼びかけ主	0.2343053	その他の被災経験有無	0.1303917	徒歩避難困難者数	0.1030271
避難場所までの距離	0.2371598	水際からの距離	0.1362471	避難場所までの距離	0.1086536
浸水可能性の予想	0.2748981	避難呼びかけ主	0.1565622	避難準備	0.1382909
高潮避難経験有無	0.4754318	危険予想	0.2733189	浸水予想区域認知	0.1420476
危険予想	0.5727953	浸水深の予想	0.4847445	避難呼びかけ主	0.2427097
避難準備	0.6325367	浸水可能性の予想	0.5033224	避難呼びかけ従	0.3835912
避難の有無	0.7281175	雨の恐さ	0.8704667	避難勧告認知	0.8237269
避難意思	0.8470197	風の恐さ	0.8871092	高潮警報認知	0.8242033

<潜在変数>

避難行動
避難意図

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

<潜在変数>

浸水に対する不安
地震・風雨の恐さ

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

<潜在変数>

避難情報

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（宇部市：2 / 4）

因子No. 4	
変数名	因子得点
周防灘台風の認知	-0.192975
避難呼びかけ主	-0.110629
住宅形態	-0.10209
高潮被災経験有無	-0.061106
避難呼びかけ従	-0.057982
避難意思	-0.031248
風の恐さ	-0.029207
徒歩避難困難者数	-0.023677
近所とのつきあい	-0.015903
水際からの距離	-0.012131
浸水可能性の予想	-0.008215
浸水予想区域認知	-0.006793
防災訓練参加	-0.006775
危険予想	-0.004191
高潮避難場所認知	-0.002641
住んでいる階	-0.000865
その他の被災経験有無	0.0010205
永住意向	0.0088483
避難準備	0.0093497
高潮警報認知	0.0108433
海岸線からの距離	0.0221609
標高(盛土を含む)	0.0240812
地縁活動参加状況1	0.0292335
雨の恐さ	0.0350627
避難の有無	0.043104
ハザードマップ	0.0477373
避難勧告認知	0.0577439
浸水深の予想	0.0594604
高潮避難経験有無	0.0597591
他人への信頼感	0.066758
建物の階数	0.1160306
避難場所までの距離	0.151845
世帯人員	0.8135134
運転者数	0.8481553

<潜在変数>

資源

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

因子No. 5	
変数名	因子得点
海岸線からの距離	-0.432144
水際からの距離	-0.320199
危険予想	-0.167886
住宅形態	-0.141254
高潮避難場所認知	-0.122869
ハザードマップ	-0.103088
風の恐さ	-0.075083
避難呼びかけ従	-0.07078
世帯人員	-0.047869
地縁活動参加状況1	-0.036282
避難意思	-0.03576
雨の恐さ	-0.034116
運転者数	-0.033129
近所とのつきあい	-0.023541
避難準備	0.008978
避難呼びかけ主	0.01209
避難勧告認知	0.0173999
標高(盛土を含む)	0.0265264
避難場所までの距離	0.0303948
高潮警報認知	0.0309746
避難の有無	0.0627252
建物の階数	0.0646767
徒歩避難困難者数	0.0688561
防災訓練参加	0.0759791
住んでいる階	0.0973663
他人への信頼感	0.1069188
永住意向	0.1625719
浸水可能性の予想	0.1627312
浸水予想区域認知	0.1627375
その他の被災経験有無	0.1747556
周防灘台風の認知	0.2301264
浸水深の予想	0.2373076
高潮避難経験有無	0.4168651
高潮被災経験有無	0.7044713

<潜在変数>

先行体験

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

因子No. 6	
変数名	因子得点
永住意向	-0.222322
避難準備	-0.173819
徒歩避難困難者数	-0.14419
高潮避難場所認知	-0.093074
避難場所までの距離	-0.091132
地縁活動参加状況1	-0.090427
近所とのつきあい	-0.082829
防災訓練参加	-0.053048
水際からの距離	-0.052984
浸水可能性の予想	-0.046297
避難勧告認知	-0.045651
浸水深の予想	-0.031685
周防灘台風の認知	-0.030548
避難意思	-0.021367
海岸線からの距離	-0.019219
危険予想	-0.017378
高潮警報認知	-0.013138
標高(盛土を含む)	-0.005927
その他の被災経験有無	0.0081968
高潮被災経験有無	0.0088624
世帯人員	0.0129583
運転者数	0.0221916
雨の恐さ	0.0433663
ハザードマップ	0.0480551
浸水予想区域認知	0.0501238
高潮避難経験有無	0.0535226
避難呼びかけ主	0.0736207
風の恐さ	0.0738378
避難の有無	0.0842036
他人への信頼感	0.0853739
避難呼びかけ従	0.1783744
住宅形態	0.5331071
建物の階数	0.6045299
住んでいる階	0.661453

<潜在変数>

住宅の形態

注)斜交回転(プロマックス法)
太字:0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（宇部市：3 / 4）

因子No. 7	
変数名	因子得点
海岸線からの距離	-0.62863
その他の被災経験有無	-0.307725
徒歩避難困難者数	-0.262285
水際からの距離	-0.17227
浸水深の予想	-0.140439
浸水予想区域認知	-0.13173
ハザードマップ	-0.115724
浸水可能性の予想	-0.107687
周防灘台風の認知	-0.088024
高潮避難経験有無	-0.055357
避難勧告認知	-0.034108
避難準備	-0.033966
避難意思	-0.033563
世帯人員	-0.032968
避難呼びかけ従	-0.032676
避難呼びかけ主	-0.027243
地縁活動参加状況1	-0.024298
他人への信頼感	-0.022718
雨の恐さ	-0.022467
高潮警報認知	-0.01962
住んでいる階	-0.016035
避難場所までの距離	-0.011496
防災訓練参加	0.0219022
建物の階数	0.0346938
住宅形態	0.0407011
運転者数	0.0471893
高潮被災経験有無	0.0521392
危険予想	0.0929697
近所とのつきあい	0.0998996
避難の有無	0.1003083
風の恐さ	0.1251652
永住意向	0.2093078
高潮避難場所認知	0.2404203
標高(盛土を含む)	0.6034022

<潜在変数>

居住場所

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

因子No. 8	
変数名	因子得点
水際からの距離	-0.306506
徒歩避難困難者数	-0.1804
雨の恐さ	-0.132489
避難場所までの距離	-0.129627
風の恐さ	-0.101981
高潮避難経験有無	-0.098561
その他の被災経験有無	-0.072928
避難準備	-0.070508
住宅形態	-0.068021
運転者数	-0.062956
高潮被災経験有無	-0.057283
標高(盛土を含む)	-0.053669
避難呼びかけ従	-0.036234
永住意向	-0.033848
避難意思	-0.026651
避難呼びかけ主	-0.016983
海岸線からの距離	-0.014972
避難勧告認知	-0.001065
住んでいる階	0.0038743
避難の有無	0.0194424
他人への信頼感	0.0252742
建物の階数	0.0342502
防災訓練参加	0.0610124
世帯人員	0.0828635
近所とのつきあい	0.0901073
高潮警報認知	0.1091992
地縁活動参加状況1	0.1221158
浸水可能性の予想	0.1272521
浸水深の予想	0.1402504
周防灘台風の認知	0.1956262
危険予想	0.224822
ハザードマップ	0.4637197
高潮避難場所認知	0.5032552
浸水予想区域認知	0.5370864

<潜在変数>

防災への関心

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

因子No. 9	
変数名	因子得点
防災訓練参加	-0.111596
避難の有無	-0.105528
徒歩避難困難者数	-0.099898
住宅形態	-0.097262
浸水可能性の予想	-0.071869
浸水深の予想	-0.042153
浸水予想区域認知	-0.04036
避難勧告認知	-0.032187
世帯人員	-0.021224
高潮警報認知	-0.016887
雨の恐さ	-0.002598
風の恐さ	-0.000597
危険予想	0.002844
住んでいる階	0.0217781
避難意思	0.0267732
海岸線からの距離	0.0319643
避難場所までの距離	0.047057
水際からの距離	0.0516004
高潮避難経験有無	0.0536735
高潮避難場所認知	0.0602408
運転者数	0.0609517
建物の階数	0.0656928
高潮被災経験有無	0.0817046
標高(盛土を含む)	0.0819224
地縁活動参加状況1	0.0821197
避難準備	0.1304812
その他の被災経験有無	0.1434291
避難呼びかけ主	0.1478004
ハザードマップ	0.2401588
周防灘台風の認知	0.2687838
避難呼びかけ従	0.2854729
永住意向	0.3004727
近所とのつきあい	0.5263042
他人への信頼感	0.552825

<潜在変数>

ソーシャルキャピタル

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（宇部市：4 / 4）

因子No. 10	
変数名	因子得点
避難場所までの距離	-0.178783
浸水可能性の予想	-0.14273
危険予想	-0.123359
住んでいる階	-0.091318
運転者数	-0.075448
避難呼びかけ従	-0.065084
高潮警報認知	-0.060403
水際からの距離	-0.054318
建物の階数	-0.046804
周防灘台風の認知	-0.04293
近所とのつきあい	-0.0397
標高(盛土を含む)	-0.035366
高潮被災経験有無	-0.034859
その他の被災経験有無	-0.024333
浸水深の予想	-0.022721
避難意思	-0.018462
海岸線からの距離	-0.015815
避難準備	-0.006788
永住意向	-0.00477
浸水予想区域認知	-0.000481
他人への信頼感	0.0064435
避難の有無	0.0096355
徒歩避難困難者数	0.0110493
住宅形態	0.0334197
避難勧告認知	0.0407524
風の恐さ	0.0738308
世帯人員	0.0805456
高潮避難場所認知	0.0892934
雨の恐さ	0.1080329
高潮避難経験有無	0.2064746
避難呼びかけ主	0.2196076
ハザードマップ	0.2463708
地縁活動参加状況1	0.5247025
防災訓練参加	0.5697343

観測変数選定のための因子分析結果（山陽小野田市：1 / 4）

因子No. 1		因子No. 2		因子No. 3	
変数名	因子得点	変数名	因子得点	変数名	因子得点
海岸線からの距離	-0.331789	高潮避難場所認知	-0.478742	水際からの距離	-0.510702
世帯人員	-0.316089	建物の階数	-0.308593	海岸線からの距離	-0.496047
水際からの距離	-0.315922	高潮被災経験有無	-0.272743	避難場所までの距離	-0.434614
運転者数	-0.309094	避難勧告認知	-0.260932	高潮警報認知	-0.416896
標高(盛土を含む)	-0.260691	高潮警報認知	-0.238249	ハザードマップ	-0.412094
永住意向	-0.177026	周防灘台風の認知	-0.236888	避難勧告認知	-0.364727
建物の階数	-0.161594	近所とのつきあい	-0.198704	永住意向	-0.317829
住んでいる階	-0.122702	浸水予想区域認知	-0.198238	他人への信頼感	-0.288622
徒歩避難困難者数	-0.119533	他人への信頼感	-0.186155	近所とのつきあい	-0.264502
防災訓練参加	-0.005043	ハザードマップ	-0.168476	周防灘台風の認知	-0.253018
他人への信頼感	-0.003058	標高(盛土を含む)	-0.162517	浸水予想区域認知	-0.249063
避難場所までの距離	0.0114567	住宅形態	-0.16037	地縁活動参加状況	-0.172942
地縁活動参加状況	0.0437456	永住意向	-0.152674	防災訓練参加	-0.171451
高潮避難場所認知	0.0521977	避難呼びかけ従	-0.140832	高潮被災経験有無	-0.164739
その他の被災経験有無	0.1193051	住んでいる階	-0.131321	避難呼びかけ主	-0.119337
住宅形態	0.1314188	世帯人員	-0.116884	避難準備	-0.117562
周防灘台風の認知	0.1430391	運転者数	-0.111983	徒歩避難困難者数	-0.087839
雨の恐さ	0.1593529	徒歩避難困難者数	-0.110811	高潮避難経験有無	-0.087209
風の恐さ	0.2208628	避難準備	-0.096517	住んでいる階	-0.068831
高潮警報認知	0.2436196	地縁活動参加状況	-0.077789	避難呼びかけ従	-0.048411
ハザードマップ	0.2484119	避難呼びかけ主	-0.073586	避難の有無	-0.014072
近所とのつきあい	0.2837401	防災訓練参加	-0.066971	その他の被災経験有無	0.0067458
避難勧告認知	0.3030532	高潮避難経験有無	-0.035568	運転者数	0.0116804
避難呼びかけ従	0.3694958	その他の被災経験有無	0.0405513	住宅形態	0.0213818
浸水予想区域認知	0.4013706	避難の有無	0.1479001	避難意思	0.0252572
避難呼びかけ主	0.5125308	浸水可能性の予想	0.219555	世帯人員	0.0413361
高潮被災経験有無	0.6261518	避難意思	0.2195569	高潮避難場所認知	0.0923269
高潮避難経験有無	0.6388271	浸水深の予想	0.2285679	危険予想	0.111018
避難準備	0.6515721	雨の恐さ	0.3019112	標高(盛土を含む)	0.1376535
危険予想	0.6712011	危険予想	0.3466018	浸水深の予想	0.1429251
避難の有無	0.687226	風の恐さ	0.3981855	建物の階数	0.1870773
浸水深の予想	0.7388091	避難場所までの距離	0.5412707	浸水可能性の予想	0.1948867
浸水可能性の予想	0.7473942	海岸線からの距離	0.7181159	風の恐さ	0.4412648
避難意思	0.8420206	水際からの距離	0.7521507	雨の恐さ	0.5609291

<潜在変数>

居住場所
資源
先行体験
避難情報
避難行動
避難意図
浸水に対する不安

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

<潜在変数>

住宅の形態
居住場所
地震・風雨の恐さ

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

<潜在変数>

居住場所
地震・風雨の恐さ

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（山陽小野田市：2 / 4）

因子No. 4	
変数名	因子得点
永住意向	-0.280152
近所とのつきあい	-0.264995
避難場所までの距離	-0.147758
他人への信頼感	-0.131482
住宅形態	-0.127649
避難呼びかけ従	-0.067812
高潮被災経験有無	-0.058705
避難呼びかけ主	-0.033817
周防灘台風の認知	-0.023175
避難準備	-0.000364
高潮避難経験有無	0.0083678
ハザードマップ	0.0280747
浸水深の予想	0.0363898
防災訓練参加	0.0546706
避難の有無	0.0557927
浸水予想区域認知	0.0716928
避難意思	0.0787253
高潮避難場所認知	0.0829609
浸水可能性の予想	0.1020309
その他の被災経験有無	0.1089935
危険予想	0.1091441
地縁活動参加状況	0.1161392
建物の階数	0.1197543
水際からの距離	0.1291873
徒歩避難困難者数	0.1308822
海岸線からの距離	0.1763278
標高(盛土を含む)	0.1786152
風の恐さ	0.2164131
住んでいる階	0.2263389
雨の恐さ	0.2633058
避難勧告認知	0.4924235
高潮警報認知	0.5521398
世帯人員	0.5786175
運転者数	0.6465964

因子No. 5	
変数名	因子得点
運転者数	-0.238196
避難の有無	-0.218895
世帯人員	-0.21339
高潮避難経験有無	-0.208672
避難意思	-0.152261
避難場所までの距離	-0.137094
徒歩避難困難者数	-0.119046
危険予想	-0.05583
浸水深の予想	-0.04025
浸水可能性の予想	-0.038351
その他の被災経験有無	-0.037954
高潮被災経験有無	-0.03696
住宅形態	-0.026638
避難準備	-0.020572
住んでいる階	0.0430744
建物の階数	0.0520622
水際からの距離	0.070443
高潮警報認知	0.0787573
標高(盛土を含む)	0.0882411
浸水予想区域認知	0.0922485
ハザードマップ	0.1131875
高潮避難場所認知	0.1144082
避難呼びかけ主	0.1190225
海岸線からの距離	0.1247725
避難勧告認知	0.1463531
近所とのつきあい	0.1569116
避難呼びかけ従	0.171527
地縁活動参加状況	0.2283605
周防灘台風の認知	0.2607658
他人への信頼感	0.2663146
防災訓練参加	0.2794678
永住意向	0.3896595
雨の恐さ	0.5768516
風の恐さ	0.5770324

因子No. 6	
変数名	因子得点
高潮警報認知	-0.38727
避難勧告認知	-0.36421
その他の被災経験有無	-0.309099
周防灘台風の認知	-0.122584
浸水予想区域認知	-0.104435
標高(盛土を含む)	-0.080872
危険予想	-0.076858
徒歩避難困難者数	-0.044202
浸水可能性の予想	-0.043003
浸水深の予想	-0.029511
避難場所までの距離	-0.006228
風の恐さ	-0.005187
永住意向	0.002604
他人への信頼感	0.0133918
避難意思	0.0144795
住宅形態	0.0229492
高潮避難場所認知	0.0446352
ハザードマップ	0.0711714
避難の有無	0.0853815
雨の恐さ	0.0944095
防災訓練参加	0.0990745
海岸線からの距離	0.1083274
避難準備	0.114377
水際からの距離	0.1208786
建物の階数	0.1416602
高潮避難経験有無	0.184046
高潮被災経験有無	0.1910901
避難呼びかけ従	0.1945758
運転者数	0.2374258
避難呼びかけ主	0.2377969
地縁活動参加状況	0.3016826
住んでいる階	0.3043426
近所とのつきあい	0.3245517
世帯人員	0.409891

<潜在変数>

資源

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

<潜在変数>

地震・風雨の恐さ

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

<潜在変数>

避難情報

ソーシャルキャピタル

注) 斜交回転(プロマックス法)
太字: 0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（山陽小野田市：3 / 4）

因子No. 7	
変数名	因子得点
ハザードマップ	-0.369926
浸水予想区域認知	-0.344128
建物の階数	-0.27582
住宅形態	-0.23125
高潮避難場所認知	-0.216599
浸水可能性の予想	-0.20952
水際からの距離	-0.116414
住んでいる階	-0.113335
浸水深の予想	-0.088524
高潮被災経験有無	-0.086454
海岸線からの距離	-0.077202
雨の恐さ	-0.025848
風の恐さ	-0.007896
高潮警報認知	0.000232
世帯人員	0.0017189
避難意思	0.0229613
避難場所までの距離	0.0520878
避難勧告認知	0.0530622
他人への信頼感	0.0582439
防災訓練参加	0.0736459
運転者数	0.0852424
永住意向	0.0863961
その他の被災経験有無	0.0897217
避難の有無	0.0905467
避難準備	0.0985215
地縁活動参加状況	0.1205064
避難呼びかけ従	0.1426693
近所とのつきあい	0.1480513
危険予想	0.155994
高潮避難経験有無	0.1717906
避難呼びかけ主	0.1815385
周防灘台風の認知	0.1987205
徒歩避難困難者数	0.2274929
標高(盛土を含む)	0.4079133

因子No. 8	
変数名	因子得点
防災訓練参加	-0.283705
浸水予想区域認知	-0.228796
標高(盛土を含む)	-0.207744
周防灘台風の認知	-0.198147
ハザードマップ	-0.181587
運転者数	-0.17652
浸水深の予想	-0.166754
危険予想	-0.098937
地縁活動参加状況	-0.089206
避難呼びかけ主	-0.052981
海岸線からの距離	-0.052006
浸水可能性の予想	-0.050771
高潮避難場所認知	-0.040359
永住意向	-0.004787
高潮被災経験有無	0.003042
高潮避難経験有無	0.0111399
避難意思	0.0143192
その他の被災経験有無	0.0154654
近所とのつきあい	0.0235061
雨の恐さ	0.0286201
水際からの距離	0.0315341
避難準備	0.0498378
高潮警報認知	0.0620457
世帯人員	0.0702338
避難の有無	0.0875331
住んでいる階	0.1217956
風の恐さ	0.1542734
避難場所までの距離	0.1837328
建物の階数	0.1868534
他人への信頼感	0.1879635
徒歩避難困難者数	0.1990243
住宅形態	0.2510033
避難勧告認知	0.2676355
避難呼びかけ従	0.2902441

因子No. 9	
変数名	因子得点
他人への信頼感	-0.277751
高潮避難経験有無	-0.271416
防災訓練参加	-0.263782
住宅形態	-0.261672
避難場所までの距離	-0.142155
風の恐さ	-0.140476
高潮避難場所認知	-0.137946
高潮被災経験有無	-0.137158
避難の有無	-0.131164
その他の被災経験有無	-0.125892
周防灘台風の認知	-0.119278
運転者数	-0.110278
徒歩避難困難者数	-0.104002
浸水予想区域認知	-0.084279
世帯人員	-0.068959
近所とのつきあい	-0.068264
標高(盛土を含む)	-0.067478
浸水可能性の予想	-0.060061
避難意思	-0.046911
雨の恐さ	-0.029417
水際からの距離	-0.027704
建物の階数	-0.011845
海岸線からの距離	-0.000923
永住意向	0.0109075
浸水深の予想	0.0600056
高潮警報認知	0.0781853
地縁活動参加状況	0.0905637
危険予想	0.0961274
避難勧告認知	0.102339
避難準備	0.1193798
ハザードマップ	0.1465934
住んでいる階	0.1493802
避難呼びかけ従	0.2353674
避難呼びかけ主	0.3027412

<潜在変数>

防災への関心

注) 斜交回転(プロマックス法)

太字: 0.3以上

<潜在変数>

防災への関心

住宅の形態

注) 斜交回転(プロマックス法)

太字: 0.3以上

観測変数選定のための因子分析結果（山陽小野田市：4 / 4）

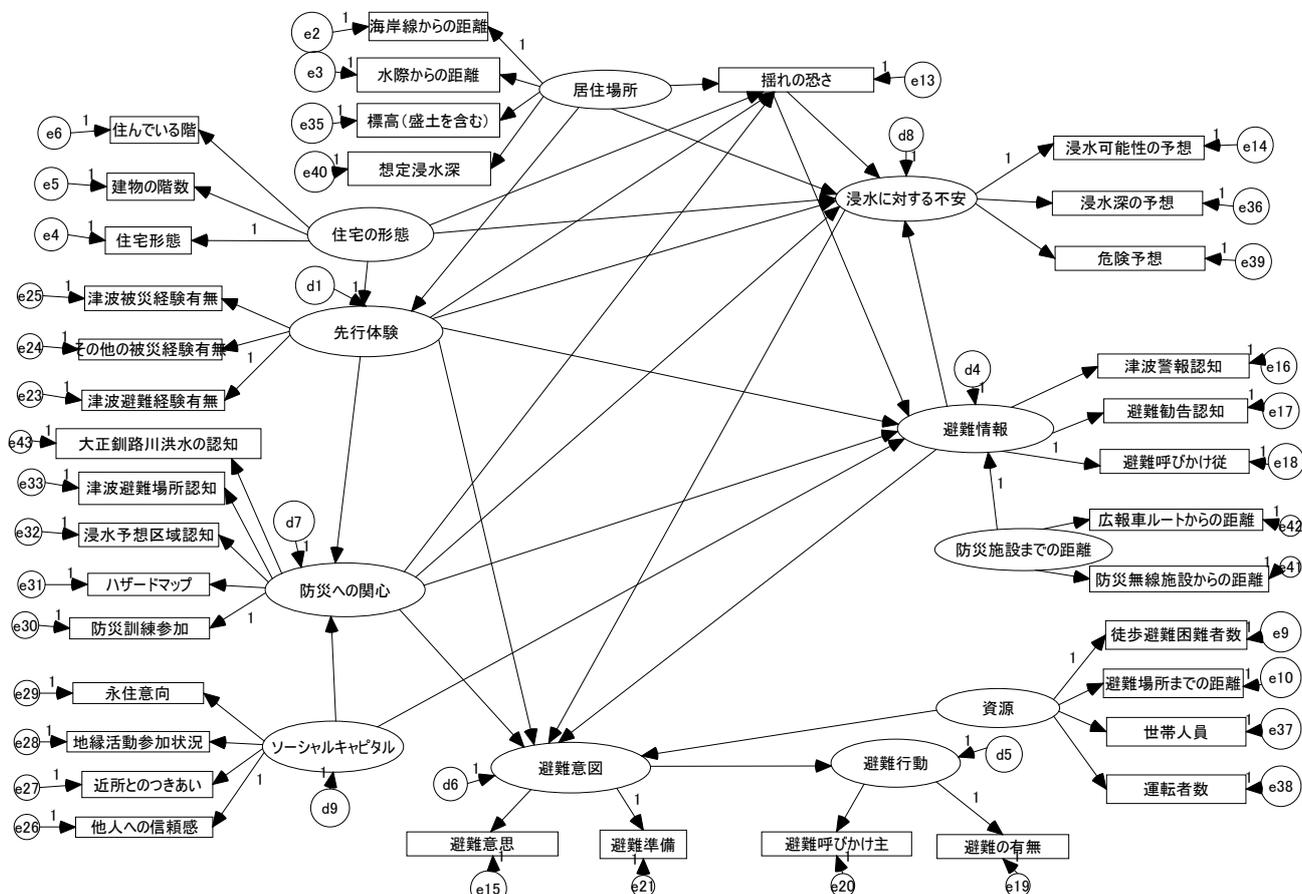
因子No. 10	
変数名	因子得点
建物の階数	-0.243477
浸水深の予想	-0.238408
地縁活動参加状況	-0.212081
浸水可能性の予想	-0.181028
避難準備	-0.165863
危険予想	-0.150144
避難場所までの距離	-0.143798
近所とのつきあい	-0.120115
避難勧告認知	-0.109822
高潮被災経験有無	-0.104114
住宅形態	-0.085168
住んでいる階	-0.082375
世帯人員	-0.065154
標高(盛土を含む)	-0.063515
永住意向	-0.062344
防災訓練参加	-0.061054
その他の被災経験有無	-0.032855
他人への信頼感	-0.030874
高潮警報認知	0.0144272
徒歩避難困難者数	0.017176
周防灘台風の認知	0.0194239
水際からの距離	0.0237763
雨の恐さ	0.0241109
運転者数	0.0631655
海岸線からの距離	0.0980818
風の恐さ	0.1003584
避難意思	0.104367
高潮避難経験有無	0.1046789
ハザードマップ	0.1076449
避難呼びかけ主	0.1258679
浸水予想区域認知	0.1289122
高潮避難場所認知	0.2409802
避難呼びかけ従	0.2669782
避難の有無	0.2927652

2.3.3 分析結果

2.3.3.1 釧路市

①モデル構築の過程

観測変数をすべて使用した仮説モデルにて分析したところ、下図のように収束が得られなかった。



仮説に基づく基本モデル（観測変数をすべて使用）

そこで、因子分析において異なる因子の影響を受けている観測変数が含まれている潜在変数に関して個別に因子分析を行い、他の観測変数と異なる因子を有するものと推察される観測変数を削除するなどによって、発散しない結果が得られる組み合わせを検討した。以下に、構成される観測変数の変更を行った潜在変数について、それぞれの検討過程を記載する。

（観測変数の検討）

最終的なモデルにおいて削除された観測変数は以下のとおりである。

- 居住場所：海岸線からの距離
- 先行体験：その他の被災経験の有無
- 防災への関心：浸水予想区域認知
- ソーシャルキャピタル：他人への信頼感
- 資源：世帯人員
- 避難情報：避難呼びかけ（従）

上記の各潜在変数を構成する観測変数に関する個別の因子分析結果は、以下のとおりである。

○ 居住場所

潜在変数「居住場所」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果をもとに共通因子を有すると判断された「想定浸水深」と「水際からの距離」を共通の潜在変数「居住場所」として共分散構造分析を行ったが発散した。そこで、他の組み合わせによる共分散構造分析を繰り返した結果、海岸線からの距離が削除された。

居住場所に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2	変数名	因子No. 3
想定浸水深	-0.380	標高(盛土を含む)	-0.401	想定浸水深	-0.340
海岸線からの距離	-0.007	想定浸水深	-0.236	海岸線からの距離	-0.095
標高(盛土を含む)	0.015	水際からの距離	-0.107	水際からの距離	-0.048
水際からの距離	0.724	海岸線からの距離	0.659	標高(盛土を含む)	0.533

○ 先行体験

潜在変数「先行体験」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果をもとに、共通の因子を有するものと判断された「津波被災経験有無」と「津波避難経験有無」を潜在変数「先行体験」の観測変数として共分散構造分析を行った結果、収束したためこの組み合わせを採用した。

先行体験に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2
その他の被災経験有無	0.005	津波被災経験有無	-0.068
津波被災経験有無	0.368	津波避難経験有無	0.055
津波避難経験有無	0.407	その他の被災経験有無	0.193

○ 防災への関心

潜在変数「防災への関心」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果及び先の全観測変数の因子分析結果をもとに、共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行った結果、全観測変数の因子分析結果の因子2を構成する各観測変数(防災訓練参加, ハザードマップ, 大正釧路川洪水の認知, 津波避難場所認知)を使用することで収束した。

防災への関心に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2	変数名	因子No. 3
浸水予想区域認知	0.011	防災訓練参加	0.063	防災訓練参加	-0.209
ハザードマップ	0.066	大正釧路川洪水の認知	0.115	津波避難場所認知	0.009
津波避難場所認知	0.349	浸水予想区域認知	0.158	大正釧路川洪水の認知	0.176
防災訓練参加	0.350	津波避難場所認知	0.420	ハザードマップ	0.257
大正釧路川洪水の認知	0.455	ハザードマップ	0.475	浸水予想区域認知	0.476

○ ソーシャルキャピタル

潜在変数「ソーシャルキャピタル」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果及び先の全観測変数の因子分析結果をもとに、共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行った結果、永住意向, 近所とのつきあい, 地縁活動参加状況が採択された(全観測変数の因子分析結果(因子2)と同じ)。

ソーシャルキャピタルに関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2
他人への信頼感	-0.020	地縁活動参加状況	-0.164
永住意向	0.515	近所とのつきあい	0.156
近所とのつきあい	0.574	永住意向	0.190
地縁活動参加状況	0.726	他人への信頼感	0.475

○ 資源

避難に関わる資源を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果をもとに共通の因子を有するものと判断された観測変数を組み合わせて、共分散構造分析を行ったが発散した。このため、試行錯誤により観測変数を組み合わせた結果、世帯人員を削除することで収束した。

資源に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2	変数名	因子No. 3
徒歩避難困難者数	-0.029068	運転者数	-0.158327	世帯人員	-0.065905
避難場所までの距離	0.0262869	避難場所までの距離	0.0952752	徒歩避難困難者数	0.0542141
世帯人員	0.7362284	世帯人員	0.2767723	運転者数	0.0583599
運転者数	0.9125769	徒歩避難困難者数	0.6372961	避難場所までの距離	0.3448208

○ 避難情報

潜在変数「避難情報」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果及び先の全観測変数の因子分析結果をもとに、共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行った結果、避難勧告認知、津波警報認知が採択された（全観測変数の因子分析結果（因子5）と同じ）。

避難情報に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2
避難呼びかけ従	0.003	津波警報認知	-0.048
避難勧告認知	0.766	避難勧告認知	0.058
津波警報認知	0.805	避難呼びかけ従	0.349

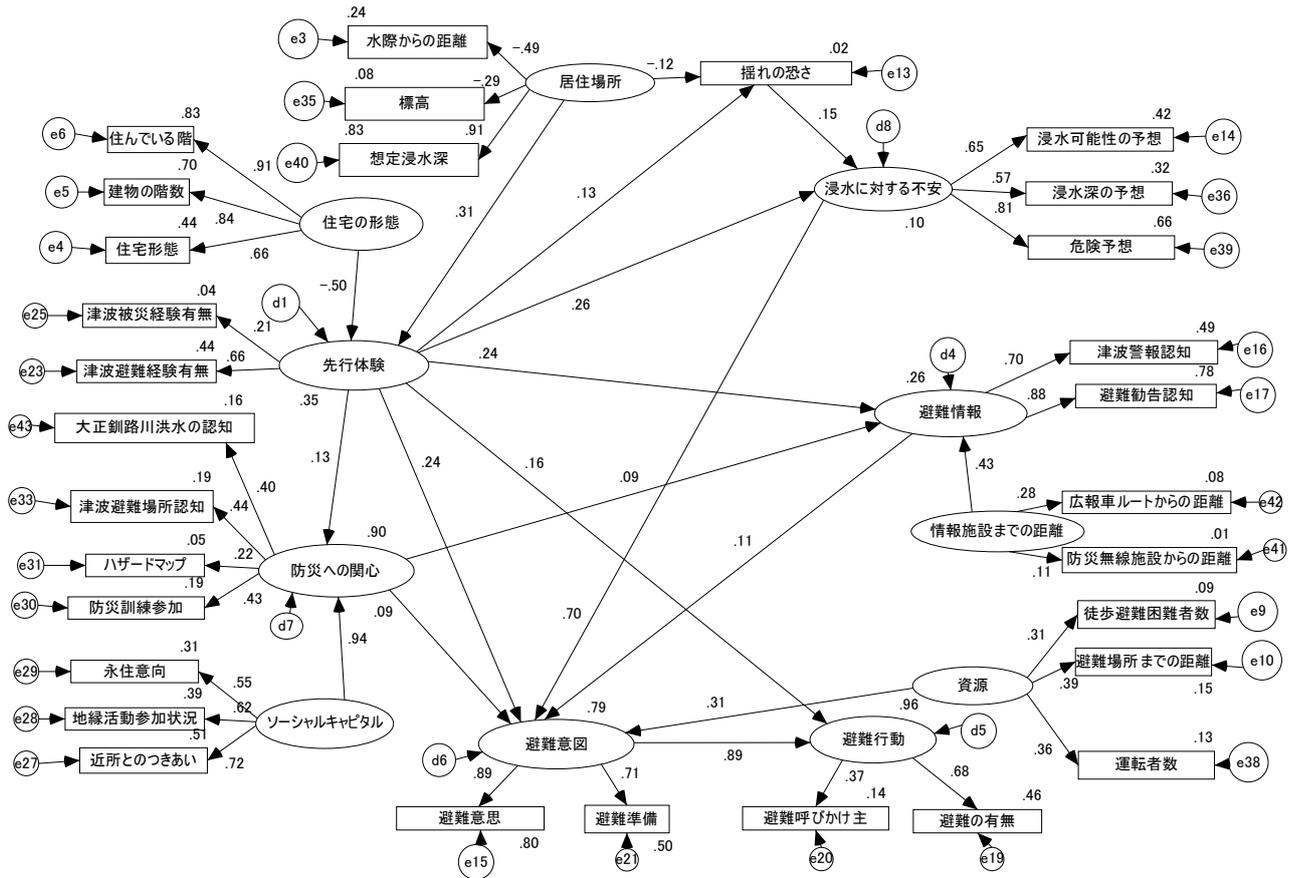
②分析結果

下図は最終的なパス図（標準化解）である。図中において、パス係数（矢印の添字）は要因間の相関を示しており、1に近いほど要因間の相関が大きい。また、決定係数（従属している潜在変数または観測変数の添字）は潜在変数の説明力を示している。○囲みのdやeは、矢印で結ばれた潜在変数または観測変数の誤差変数である。GFIとAGFIが0.9を下回っていることから、モデルの適合度は高いとはいえないが、要素間の関係は推察できると考える。

パス係数に着目すると、浸水に対する不安から避難意図へ、避難意図から避難行動へ至るパスが明瞭に現れているが、避難情報の認知は浸水に対する不安や避難意図にほとんど関係していない。浸水に対する不安が避難意図に関係している点は吉井ら(2004)の調査結果と一致するものであるが、その不安には先行体験と揺れの恐さが影響していた。また、避難のきっかけに関する回答とは異なり、津波警報や避難勧告の認知が避難行動にあまり影響していない傾向を窺うことができる。このほか、ハザードマップや避難場所の認知、防災訓練への参加経験は防災上重要ではあるが、防災への関心がそれだけで避難に繋がるものではない可能性がある。

避難意図には、浸水に対する不安のほか、先行体験や避難に関わる資源が比較的強く関係している。この結果から、被災経験や避難経験の共有、要援護者対策、近隣への避難場所整備が、避難を促進する上で重要と考えられる。

ソーシャルキャピタルは、防災への関心に大きく関係している。全ての観測変数について因子分析を別途行ったところ、他人への信頼を除くソーシャルキャピタルに関わる観測変数（地縁活動への参加、近所とのつきあい、永住意向）が、防災訓練への参加など防災への関心に関わる観測変数と同じ因子の影響を大きく受けていた。このことから、ソーシャルキャピタルの中でも地域への関わりを表す部分が、防災への関心を高めることを通じて避難情報の認知や避難を促している可能性がある。なお、ソーシャルキャピタルから防災への関心への矢印を逆にしても大きなパス係数が算出されたことから、この両者には双方向に密接な関係があるものと考えられる。

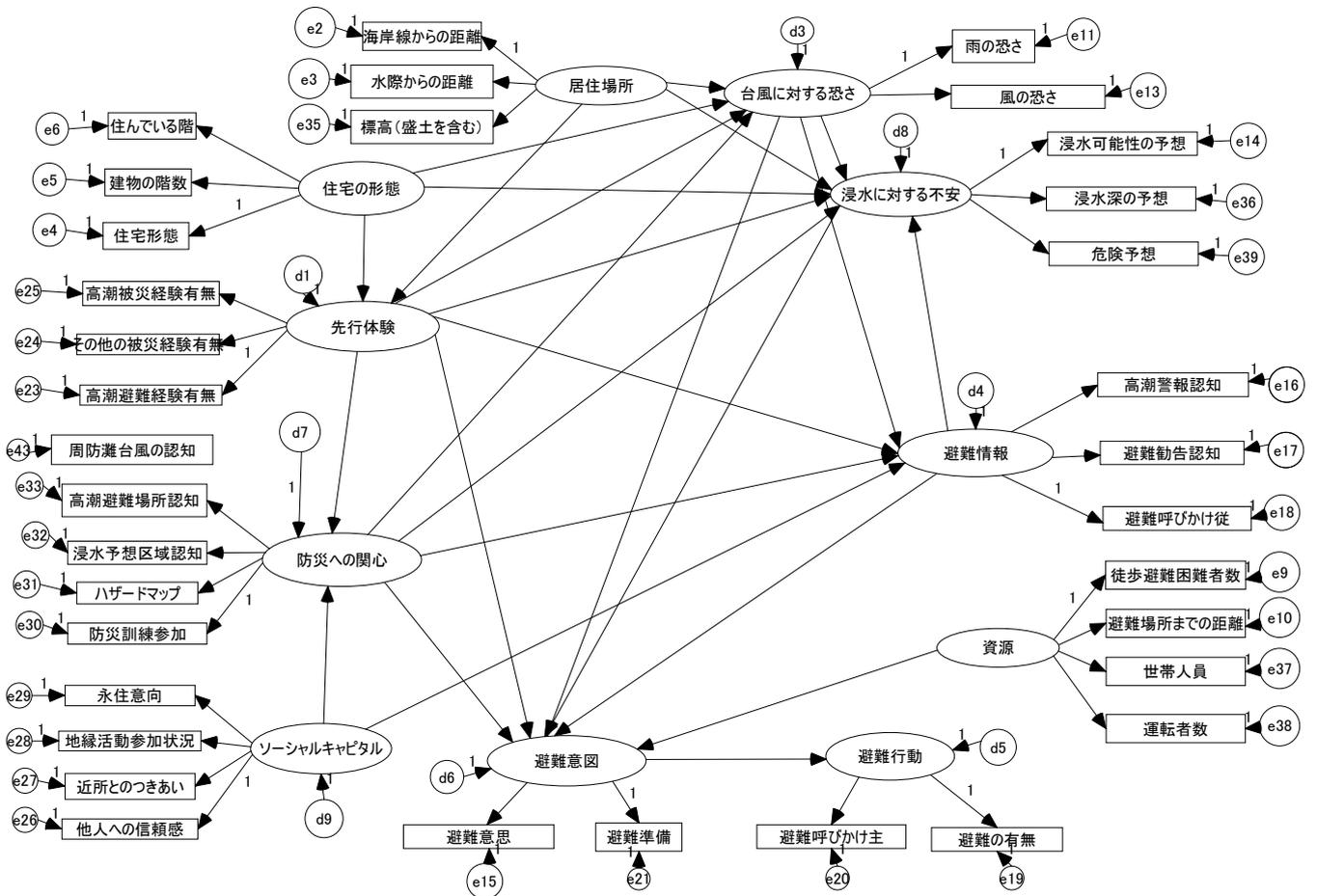


釧路市の最終モデル (GFI:0.797, AGFI:0.756, RMSEA:0.059)

2.3.3.2 山口県宇部市

①モデル構築の過程

観測変数をすべて使用した仮説モデルにて分析したところ、下図のように収束が得られなかった。



▲仮説に基づく基本モデル（観測変数をすべて使用）

釧路市での分析と同様に、発散しない結果が得られる組み合わせを検討した。以下に、構成される観測変数の変更を行った潜在変数につき、それぞれの検討過程を記載する。

（観測変数の検討）

最終的なモデルにおいて削除された観測変数は以下のとおりである。

居住場所：海岸線からの距離

先行体験：高潮被災経験有無，その他の被災経験の有無

ソーシャルキャピタル：地縁活動への参加状況

資源：運転者数，世帯人員

避難情報：避難呼びかけ（従）

上記の各潜在変数を構成する観測変数に関する個別の因子分析結果は以下のとおりである。

○ 居住場所

潜在変数「居住場所」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果をもとに共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造

析を行ったが、いずれも発散した。試行錯誤の結果、海岸線からの距離を削除することで収束した。

居住場所に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2
標高(盛土を含む)	0.108	海岸線からの距離	-0.427
海岸線からの距離	0.516	水際からの距離	0.152
水際からの距離	0.751	標高(盛土を含む)	0.702

○ 先行体験

潜在変数「先行体験」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果をもとに、共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行った結果をふまえ、高潮被災経験有無と高潮避難経験有無を残したが、先行体験から他の潜在変数へのパス係数で発散が見られた。このため、当初の仮説モデルを尊重しパスを残すため、因子1の得点が最も大きい高潮避難経験有無のみを残すことで収束した。

先行体験に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2
その他の被災経験有無	-0.002	高潮避難経験有無	-0.061
高潮被災経験有無	0.580	高潮被災経験有無	0.076
高潮避難経験有無	0.633	その他の被災経験有無	0.301

○ ソーシャルキャピタル

潜在変数「ソーシャルキャピタル」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果及び先の全観測変数の因子分析結果をもとに、共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行った結果、全観測変数の因子分析結果の因子9を構成する各観測変数（永住意向、近所とのつきあい、他人への信頼感）を使用することで収束した。

ソーシャルキャピタルに関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2	変数名	因子No. 3
地縁活動参加状況1	-0.004	近所とのつきあい	-0.066	他人への信頼感	0.008
永住意向	0.035	永住意向	0.041	近所とのつきあい	0.014
他人への信頼感	0.510	他人への信頼感	0.099	地縁活動参加状況1	0.024
近所とのつきあい	0.588	地縁活動参加状況1	0.350	永住意向	0.355

○ 資源

避難に関わる資源を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果をもとに共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行ったが、いずれの因子とも発散した。試行錯誤により、運転者数と世帯人員を削除することで収束した。

資源に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2	変数名	因子No. 3
避難場所までの距離	-0.008	運転者数	-0.161	世帯人員	-0.101
徒歩避難困難者数	0.012	避難場所までの距離	0.121	徒歩避難困難者数	0.112
運転者数	0.731	世帯人員	0.124	運転者数	0.131
世帯人員	0.895	徒歩避難困難者数	0.410	避難場所までの距離	0.408

○ 避難情報

潜在変数「避難情報」を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果及び先の全観測変数の因子分析結果をもとに、共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行った結果、避難勧告認知、津波警報認知が採択された（全観測変数の因子分析結果（因子3）と同じ）。

避難情報に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2
避難呼びかけ従	0.005	高潮警報認知	-0.081
避難勧告認知	0.764	避難勧告認知	0.138
高潮警報認知	0.877	避難呼びかけ従	0.533

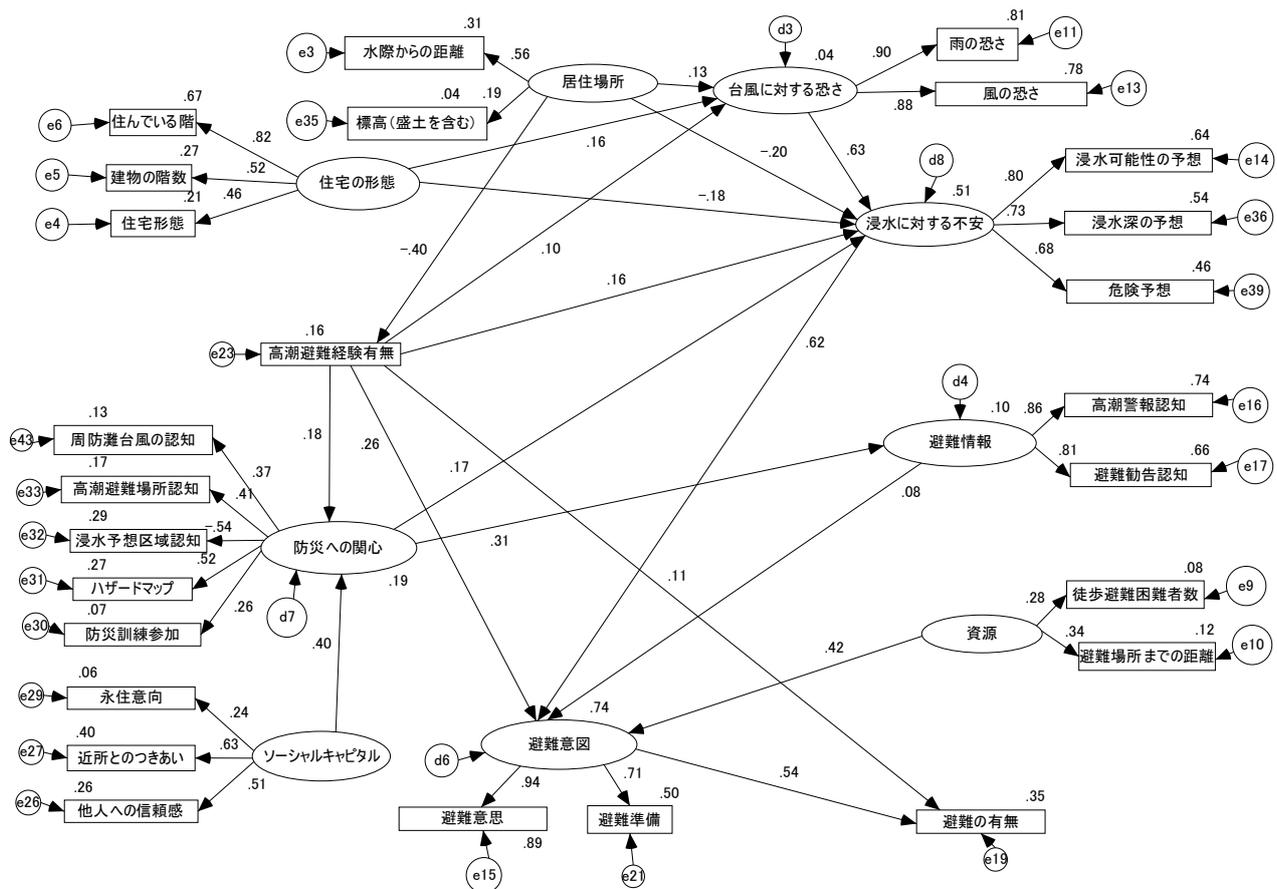
②分析結果

下図は最終的なパス図（標準化解）である。釧路市と同様に GFI と AGFI が 0.9 を下回っていることから、モデルの適合度は高いとはいえないが、要素間の関係は推察できると考える。

全体的には釧路市のパス図と類似している。パス係数に着目すると、台風に対する恐さから浸水に対する不安へ、浸水に対する不安から避難意図へ、避難意図から避難行動へ至るパスが明瞭に現れているが、避難情報の認知は浸水に対する不安や避難意図にほとんど関係していない。また、避難のきっかけに関する回答とは異なり、高潮警報や避難勧告の認知が避難行動にあまり影響していない傾向を窺うことができる。このほか、ハザードマップや避難場所の認知などの防災への関心は、避難情報の取得に関係しているものの、避難行動には大きく繋がっていない可能性がある。

避難意図には、浸水に対する不安のほか、高潮避難の経験や避難に関わる資源が比較的強く関係している。

ソーシャルキャピタルは、釧路市と同様に防災への関心に関係しているが、観測変数については地縁活動への参加状況が他人への信頼感に入れ替わっている。釧路市と比べると地縁活動への参加頻度が高いことから、防災への関心の規定要因の中で地縁活動の比重が相対的に小さい可能性がある。このほか、ソーシャルキャピタルから防災への関心への矢印を逆にしても大きなパス係数が算出されたことから、この両者には双方向に密接な関係があるものと考えられる。

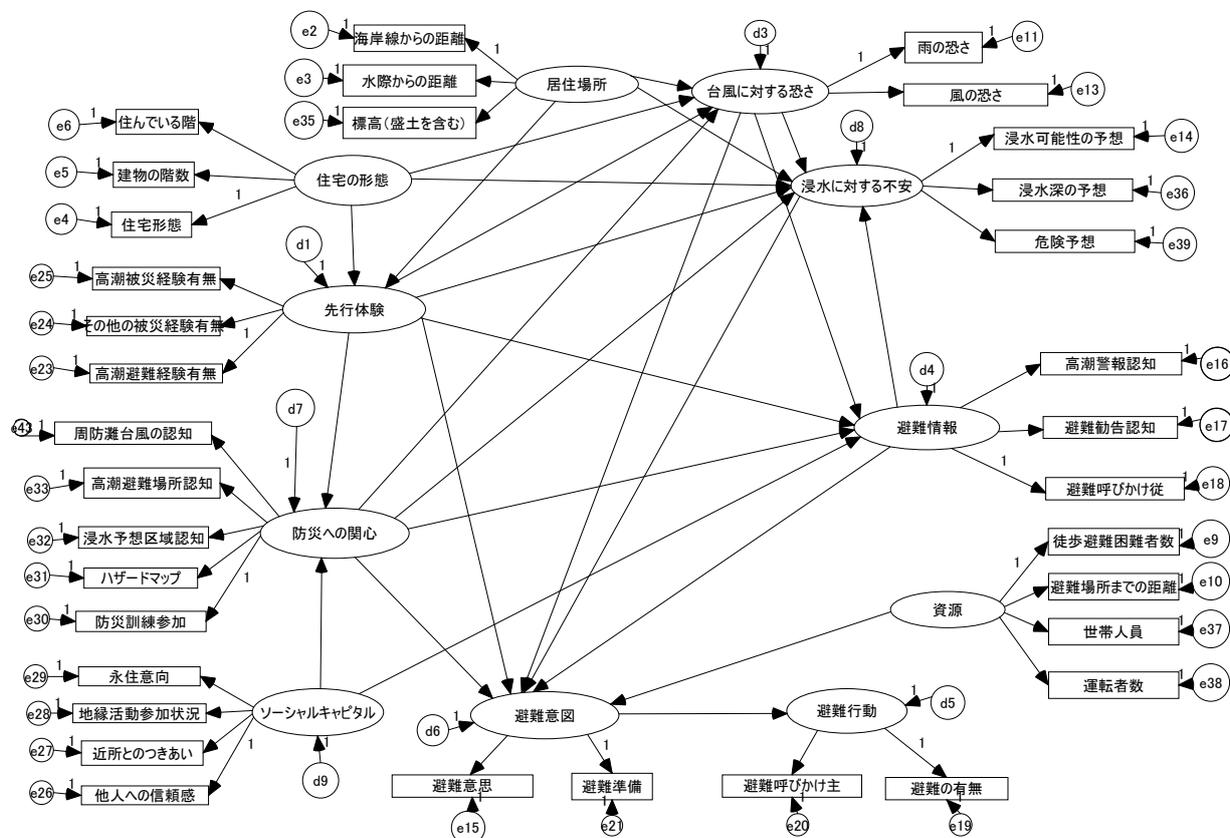


宇部市の最終モデル (GFI:0.864, AGFI:0.831, RMSEA:0.051)

2.3.3.3 山陽小野田市

①モデル構築の過程

観測変数をすべて使用した仮説モデルにて分析したところ、下図のように収束が得られなかった。



仮説に基づく基本モデル（観測変数をすべて使用）

釧路市での分析と同様に、発散しない結果が得られる組み合わせを検討した。以下に、構成される観測変数の変更を行った潜在変数につき、それぞれの検討過程を記載する。

（観測変数の検討）

最終的なモデルにおいて削除された観測変数は以下のとおりである。

居住場所：海岸線からの距離，標高

住宅の形態：建物の階数，住んでいる階，住宅形態

資源：避難場所までの距離，世帯人員

上記の各潜在変数を構成する観測変数に関する個別の因子分析結果は以下のとおりである。

○ 居住場所

山陽小野田市においては、水際からの距離は海岸線からの距離と一致しているため、水際からの距離のみを残す。この水際からの距離と標高を残した状態で共分散構造分析を行ったが、モデルが発散する結果となった。

このため、他の潜在変数へのパス係数が大きい水際からの距離を採択した。

○ 住宅の形態

潜在変数「住宅の形態」を構成する観測変数については、当初の仮説モデルのパス構造を尊重した場合、いずれも発散する結果となることから、結果としてすべての観測変数を割愛することとした。

○ 資源

避難に関わる資源を構成する観測変数について因子分析を行った結果を以下に示す。

この結果をもとに共通の因子を有するものと判断された観測変数の組み合わせによる共分散構造分析を行ったが、いずれの因子とも発散した。そこで、試行錯誤により収束した組み合わせを探索した結果、避難場所までの距離と世帯人員を削除した。

資源に関する因子分析結果

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2	変数名	因子No. 3
性別	-0.070	運転者数	-0.100	性別	-0.192
避難場所までの距離	-0.062	避難場所までの距離	-0.061	運転者数	-0.064
徒歩避難困難者数	0.094	世帯人員	0.107	世帯人員	0.029
世帯人員	0.793	性別	0.357	徒歩避難困難者数	0.114
運転者数	0.844	徒歩避難困難者数	0.392	避難場所までの距離	0.363

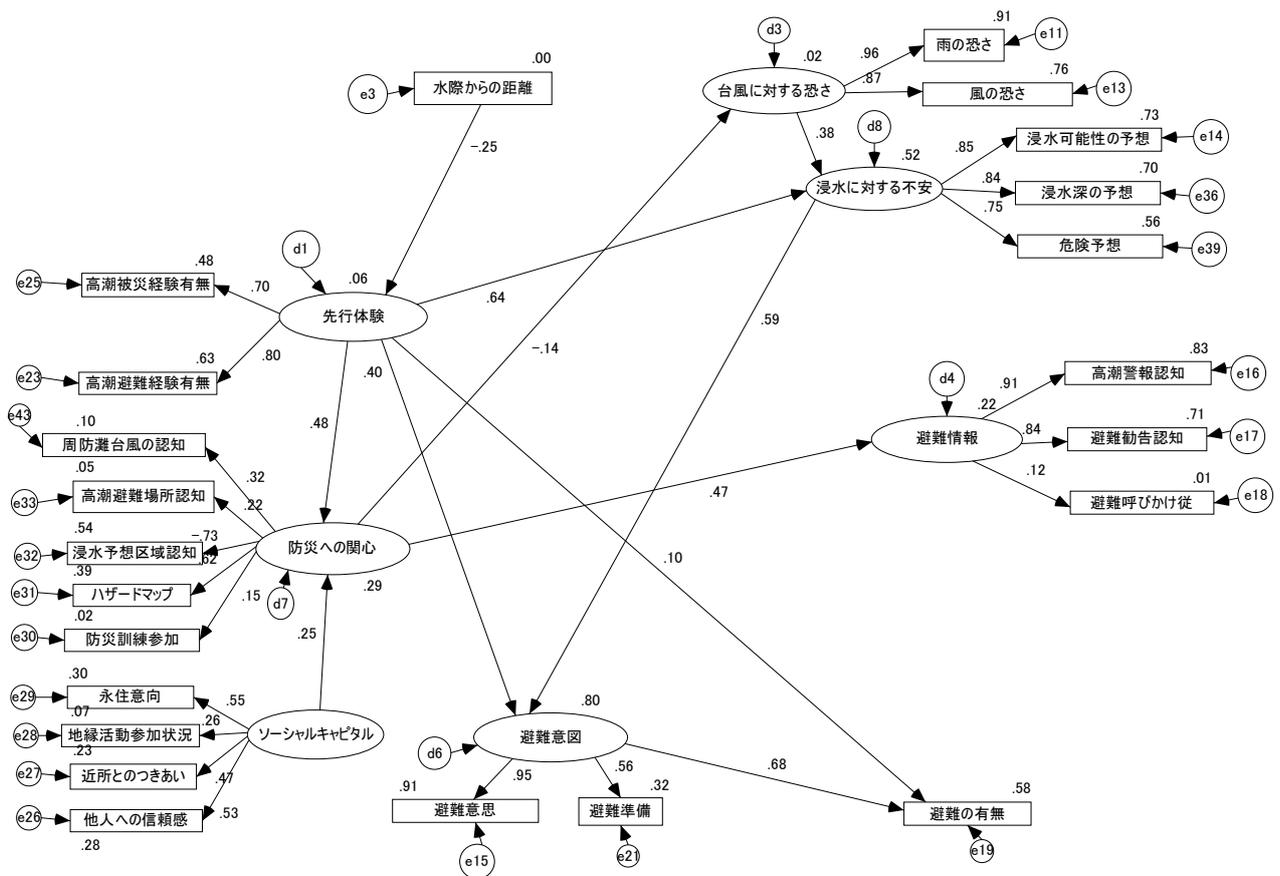
②分析結果

下図は最終的なパス図（標準化解）である。他市と同様に GFI と AGFI が 0.9 を下回っていることから、モデルの適合度は高いとはいえないが、要素間の関係は推察できると考える。

全体的には釧路市や宇部市のパス図と類似している。パス係数に着目すると、台風に対する恐さから浸水に対する不安へ、浸水に対する不安から避難意図へ、避難意図から避難行動へ至るパスが明瞭に現れているが、避難情報の認知は浸水に対する不安や避難意図に関係していない。また、避難のきっかけに関する回答とは異なり、高潮警報や避難勧告の認知が避難行動に影響していない傾向を窺うことができる。このほか、ハザードマップや避難場所の認知などの防災への関心は、避難情報の取得に関係しているものの、避難行動には大きく繋がっていない可能性がある。

避難意図には、浸水に対する不安のほか、高潮の被災経験や避難経験が比較的強く関係しているが、宇部市とは異なり、避難に関わる資源は関係していない可能性がある。避難場所までの距離が比較的短いことが関係していると考えられる。

ソーシャルキャピタルは、他市と同様に防災への関心に関係している。ただし、他市とは異なり、防災への関心に至るパス係数は先行体験よりソーシャルキャピタルの方が小さくなっている。なお、ソーシャルキャピタルから防災への関心への矢印を逆にしても大きなパス係数が算出されたことから、この両者には双方向に密接な関係があるものと考えられる。



山陽小野田市の最終モデル (GFI:0.797, AGFI:0.747, RMSEA:0.075)

2.3.4 まとめ

避難意思決定要因に関する共分散構造分析を通じて得られた主な結論は以下の通りである。

- ・浸水に対する不安が避難意図や避難行動に関係していることが、三市で確認された。
- ・浸水に対する不安に関係する要因として、釧路市では津波の被災経験・避難経験と揺れの恐さが、宇部市では主に台風に対する恐さが、山陽小野田市では高潮の被災経験・避難経験と台風に対する恐さが抽出された。
- ・三市とも、津波警報・高潮警報や避難勧告の認知は、浸水に対する不安や避難意図にほとんど関係して可能性が示唆された。
- ・ハザードマップや避難場所の認知、防災訓練への参加経験などの防災への関心は、宇部市と山陽小野田市において津波警報・高潮警報や避難勧告の認知に関係していたが、三市とも避難意図や避難行動に繋がっていない可能性が示唆された。
- ・津波や高潮の被災経験や避難経験は、三市とも避難意図・避難行動に関係している結果となった。
- ・避難に関わる資源は、釧路市と宇部市において避難意図に関係していた。
- ・ソーシャルキャピタルと防災への関心は、三市とも双方向の関係が認められた。

参考文献

- 狩野 裕, 三浦麻子: AMOS, EQS, CALIS によるグラフィカル多変量解析 (増補版), 現代数学社, 293p., 2007.
- 釧路市総務課: 500 年間隔地震津波ハザードマップ, <http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/www/contents/1141823239893/files/tunami1.pdf> など
- 内閣府国民生活局: 平成 14 年度内閣府委託調査「ソーシャルキャピタル: 豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」, http://www.npo-homepage.go.jp/data/report9_1.html, 2003.
- 吉井博明・田中 淳・中村 功・中森広道・三上俊治: 住民に対する津波避難アンケート調査, 2003 年 (平成 15 年) 十勝沖地震に関する緊急調査研究報告書 (平田直編), 21p., 2004.
- Fishbein, M. and Ajzen, I.: Belief, attitude, intention and behavior: An introduction to theory and research, <http://people.umass.edu/aizen/f&a1975.html>, 1975.
- Tatsuki, S., Hayashi, H., Zoleta-Nantes, D. B., Banba, M., Hasegawa, K., and Tamura K.: The Impact of risk perception, disaster schema, resources, intention, attitude, and norms upon risk aversive behavior among Marikina City residents: Structural equation modeling with latent variables, http://tatsuki-lab.doshisha.ac.jp/~statsuki/papers/ACEE2004/Tatsuki%20ACEE%20Paper_2003-12-15_.pdf, 2004.

3. 避難促進施策の試行と効果分析

3.1 ワークショップの概要

質問紙調査で解明された避難意思決定要因をふまえて、北海道釧路市において津波避難ワークショップを試行し、その効果を検証した。ワークショップとは、主体的に参加し、個人ではなくグループで、聴講だけでなく体験を通じて学習する形態であり、ハザードマップの単なる配布等と比べて避難促進の効果が高いと考えられる。

前章で解明された避難意思決定要因を踏まえて、図 3.1 のようにワークショップの重点事項を整理した。

- ・避難意図・行動に関係している被災経験を擬似的に得るため、市内で撮影した写真に想定津波による浸水の様子を合成した動画を作成し、ワークショップで説明する。津波の遡上状況がわかる映像は、スマトラ沖地震後に何度も目にする機会があったが、釧路市でも津波による浸水が想定されていることが一目でわかるように、釧路市民に馴染み深い釧路川の幣舞橋周辺を対象とした。また、釧路市に津波が来襲したことがあることを周知するため、多数の市民が避難した昭和 27 年の十勝沖地震などの体験談を参加者や地域で共有できるように絵としてまとめる。被災体験を絵にすることは木村・林(2004)によって行われているが、その作業をワークショップの中で行うことで、想定されている災害を自身や地域の問題として認識することに繋がると考えた。
- ・避難行動に関係していなかった津波警報や避難勧告について、その発令時の危険性について説明することで、浸水に対する不安や避難意図を高める。
- ・近所づきあいや地域活動が防災にも寄与することを理解し、その活動を促す。

なお、ワークショップの意味がわかりにくいとの指摘が自主防災会役員からあったことから、「津波からの避難に関する座談会」と称してワークショップを開催した。

ワークショップは、釧路川右岸の橋北東部地区と阿寒川河口近くの大楽毛地区において(図 3.2)、自主防災組織の協力のもと、表 3.1 のように各3回実施した。参加人数を表 3.2 に示す。

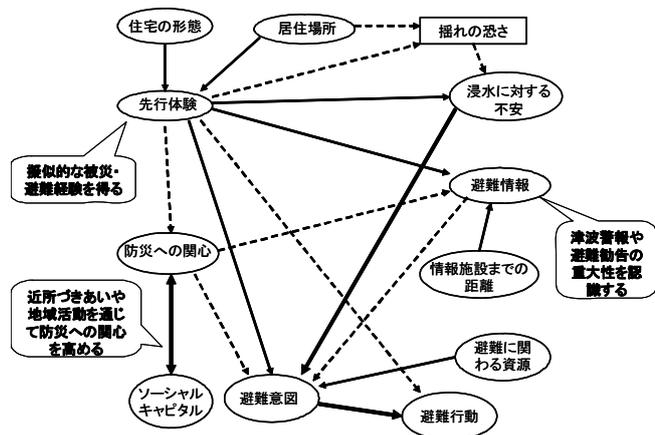


図 3.1 避難意思決定要因とワークショップの重点事項

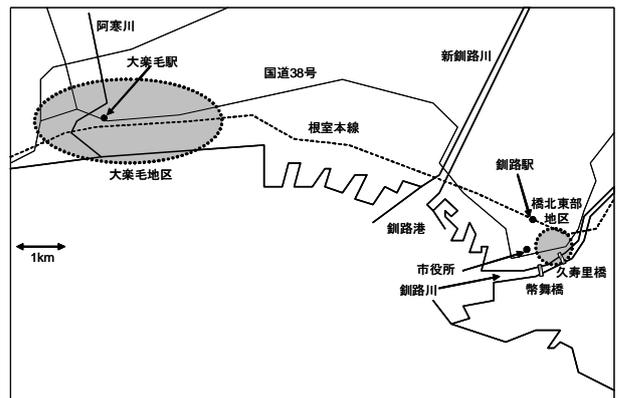


図 3.2 対象地区の位置

表 3.1 ワークショップの内容

回	内容
第1回 (2008年11月)	ワークショップの目的・構成(説明) 浸水危険性の説明(過去の津波, 浸水想定, 津波遡上動画など) 避難情報の意味説明(津波警報, 避難勧告) 2006年11月千島列島沖地震における釧路市民の避難実態(説明) 浸水想定区域および津波避難体験の地図表示(白地図(図-3)を囲んで討議)
第2回 (2009年1月)	前回ワークショップの概要説明 津波避難体験の復元画案についての討議 正常化の偏見(説明)
第3回 (2009年2月)	前回ワークショップの概要説明 津波避難体験の復元画案についての討議 避難しない理由に対応した避難必要性説明

表 3.2 ワークショップの参加者

地区	第1回	第2回	第3回
大楽毛	18人	15人(うち12人が連続参加)	15人(うち12人が連続参加)
橋北東部	27人	33人(うち18人が連続参加)	21人(うち9人が連続参加)

第1回ワークショップでは、ワークショップの目的や構成を紹介した後、昭和27年の十勝沖地震などの過去の津波、想定されている津波、津波警報や避難勧告の意味、平成18年11月の千島列島沖地震における釧路市民の避難実態について説明した。ワークショップの目的は、約500年間隔の大地震による津波が予想されている中で、家族や地域の人々が避難によって安全を確保するためにはどうすればよいのか考えることとした。過去の津波については、昭和27年の十勝沖地震の津波や避難を写真により説明するとともに、釧路に大津波が来襲したというアイヌの伝承があることを紹介し、約500年間隔の大地震が最後に発生してから既に400年が経過していることを示した。想定されている津波については、釧路市における想定地震発生後の津波高の時間的変化をアニメーションで示した北海道作成の動画を映写し、釧路市の広い範囲が津波により浸水すること、地震後にテレビで映し出される幣舞橋周辺は釧路港の防波堤の影響で津波の到達が周辺より遅れること、幣舞橋に津波が来襲するのをテレビで確認してから避難するのでは遅すぎることを説明した。また、釧路市作成の津波ハザードマップとともに、その想定浸水深で幣舞橋周辺の3か所に津波が来襲する様子を示した動画(図-3.3~5)を映写し、釧路市に津波が来襲することが想定されていることを伝えた。津波釧路市民の避難実態については、前章の結果を簡潔に説明し、確実な避難行動には避難訓練や災害頭上訓練などの体験が有効であること、ソーシャルキャピタルが防災への関心に繋がっていることから近所つきあいや地域活動は防災面でも重要であることを強調した。その後、対象地区の白地図を参加者で囲み、ハザードマップに書かれている想定浸水区域を確認し、自由に発言された津波の体験談などを白地図に記入した。ワークショップの後、その体験談の場面を事務局で白黒のスケッチを作成した。



図 3.3 津波CG（フィッシャーマンズウォーフ前）



図 3.4 津波CG（北大通）



図 3.5 津波CG（幣舞橋右岸）

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップでの議論を紹介した後、事務局で作成した体験談のスケッチを叩き台として、過去の津波の場面について話し合った。その後、図 3.6～3.7 のスライドを用いて正常化の偏見について説明し、それが避難を妨げる要因の一つになっていることを伝えた。

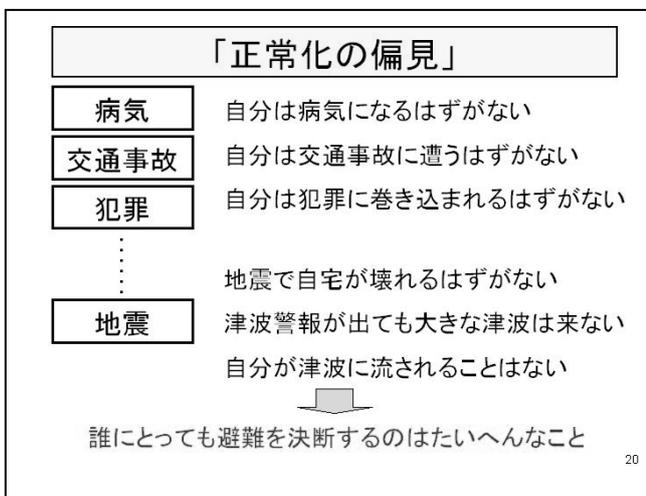


図 3.6 スライド(正常化の偏見)

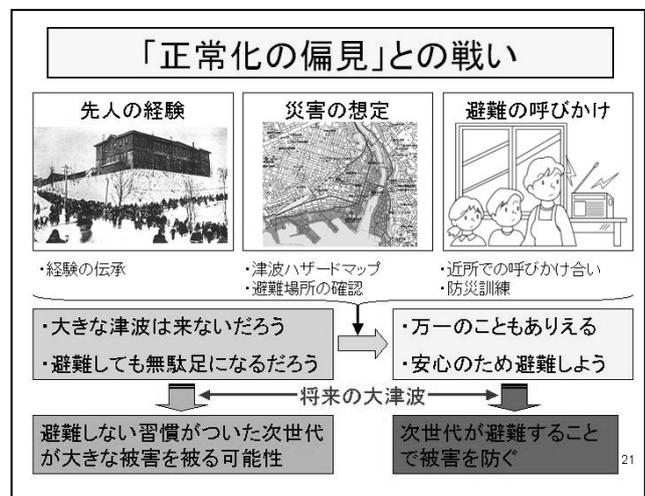


図 3.7 スライド(正常化の偏見との戦い)

第3回ワークショップでは、前回までの議論を紹介した後、その議論をふまえて作成したカラーの復元画を紹介して、最終的な確認を行った。また、表 3.3 のように、避難しない理由として「津波警報が出てもいつも大したことがない」、「高さ 1m の波ならいつも来ている」、「揺れが小さいから津波も小さい」、「テレビで様子を見ているから大丈夫」を取り上げ、それでも避難する必要性があることを説明した。

表 3.3 避難しない理由とそれらに対する説明

避難しない理由	理由に対応した説明
津波警報が出てもいつも大したことがない	<ul style="list-style-type: none"> ・地震直後の限られた時間で津波警報は発表されるため、津波警報より津波が小さい場合がありますが、逆に警報より大きな津波になる可能性もあります。 ・大きな津波は小さな津波より数が少ないため、小さな津波の印象が残りがちです。 ・予想されている 500 年間隔地震の津波は、戦後の地震と比べてはるかに大きいものです。 ・津波警報やそれに基づく避難勧告は、被害が出る可能性があることを示していることから、避難した方が安心です。
高さ 1m の波ならいつも来ている	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の波は陸に近づくと砕けて小さくなりますが、津波は陸に近づくとほど大きくなる性質があります。 ・津波は普通の波より奥行きがあるので、同じ高さでもその威力ははるかに大きく、高さ 30cm でも人を押し流す力があります。 ・津波は普通の波とは全く違うものと考えする必要があります。 ・津波が来ると人は流されてしまうので、津波が来る前に避難する必要があります。
揺れが小さいから津波も小さい	<ul style="list-style-type: none"> ・津波はある程度大きい地震でしか発生しませんが、海底がゆっくり動く地震の場合には、揺れが小さくても大きな津波が発生することがあります。 ・明治三陸地震では、震度 3 以下だったにもかかわらず、津波による死者(岩手県、宮城県、青森県)は2万人を上回りました。揺れが小さかったことが、津波からの避難を遅らせたと考えられます。 ・津波が来るかどうかは、揺れだけでは判断できないので、津波警報や避難勧告に従う必要があります。
テレビで様子を見ているから大丈夫	<ul style="list-style-type: none"> ・予想されている 500 年間隔地震では、地震から約 10 分後には海面が変動し、約 30 分後には津波の第1波が最も高くなると予想されています。 ・テレビ中継でよく映される幣舞橋は、釧路港の防波堤の内側にあるため、津波が来るのが市内で一番遅いところです。 ・30 分という限られた時間の中で、テレビで様子を見ている余裕はありますか？

3.2 大楽毛地区でのワークショップ

3.2.1 第1回ワークショップでの議論

郊外に位置する大楽毛地区では、昭和27年の十勝沖地震や昭和35年のチリ地震の体験談はなかったものの、平成6年の北海道東方沖地震などにおいて、停電によって根室本線の遮断機が降りたままになる一方、釧路空港方面に避難する車で国道38号が渋滞し、それらが避難の支障になったことが聞かれた(図3.8)。

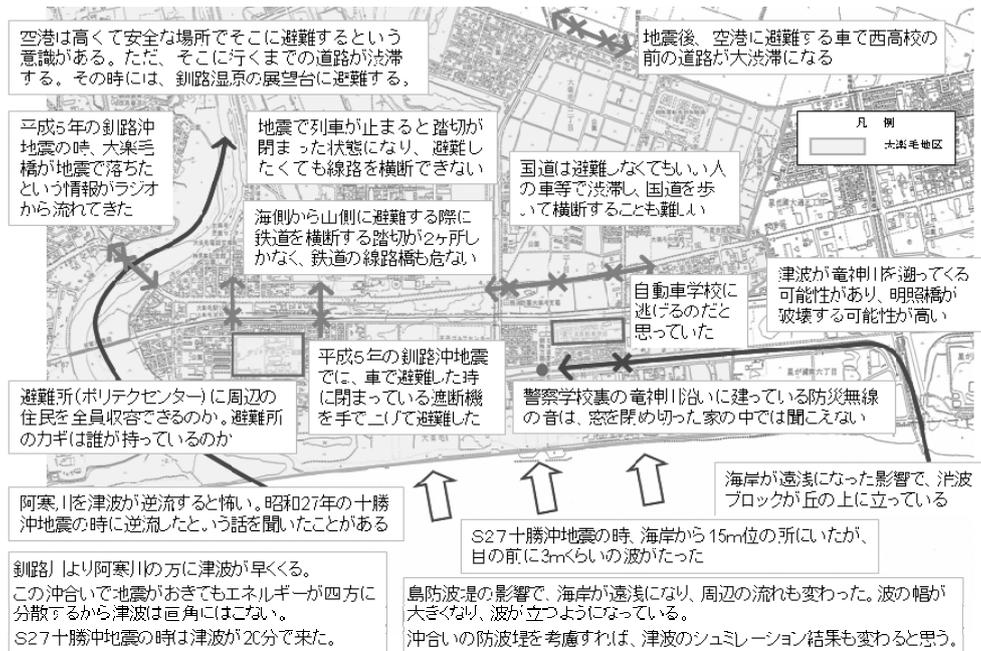


図 3.8 白地図に書き込まれた大楽毛地区の体験談

3.2.2 第2回ワークショップでの議論

ワークショップの配付資料として、第1回ワークショップで得られた体験談のうち、図3.9に示す4つの場面について白黒のスケッチ(図3.10~13)を準備した。そのスケッチをワークショップで配布し、参加者の体験と合致しているかどうか議論した。

復元画1については、当時の河口部は野原であり周辺に家はなかった、川面に氷が張っていたのではないかななどの意見が出された。復元画2については、車は連なった状態であった、3つの踏み切りはそれぞれ条件が違うので別の絵にしてほしい、この絵があれば車で国道方向に逃げるのは危険だと説明できるなどの意見が出された。復元画3については、歩行者は数人程度であった、渋滞で車が連なっていてその間に入れなかったなどの意見があった。復元画4については、厚岸町での目撃談であり、大楽毛で同様の現象があったかどうかはわからないとの指摘があった。

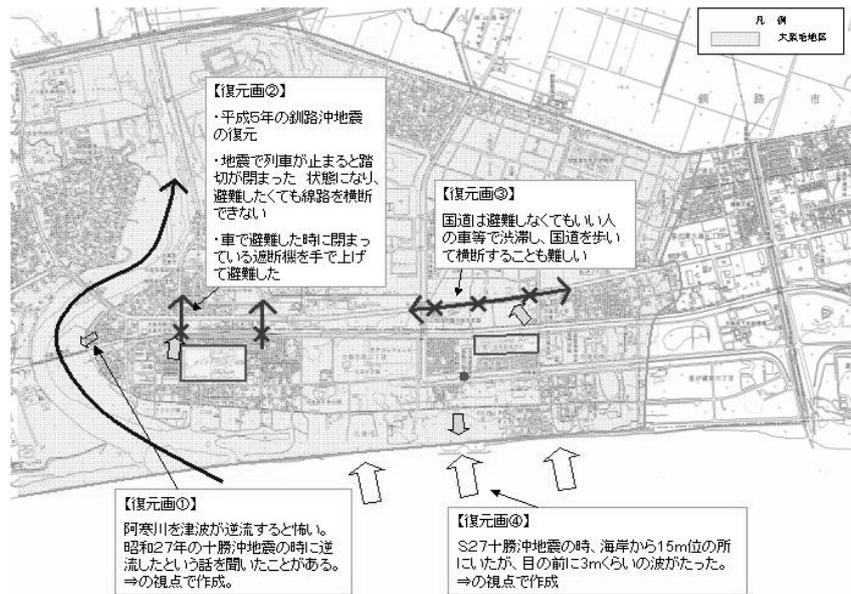


図 3.9 復元画のスケッチを作成した箇所(大楽毛地区)



図 3.10 復元画 1 のスケッチ



図 3.11 復元画 2 のスケッチ



図 3.12 復元画 3 のスケッチ

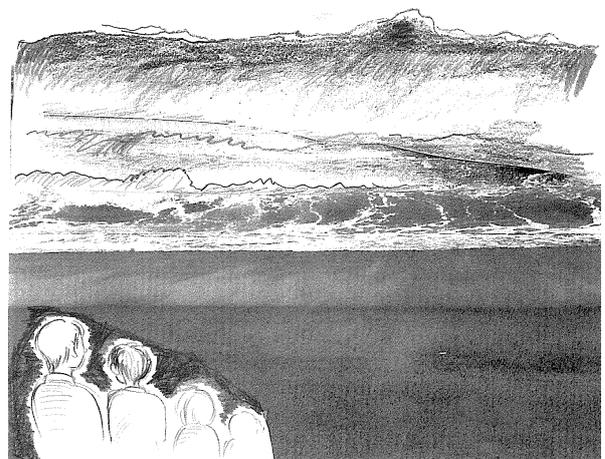


図 3.13 復元画 4 のスケッチ

3.2.3 第3回ワークショップでの議論

ワークショップの配付資料として、第2回ワークショップでの意見をふまえてカラーの復元画を準備した(最終版を巻末資料に示す)。ワークショップでは、その復元画を確認した後、この地区におけるこれからの取り組みについて議論した。主な意見は以下のとおりである。

- ・町内会で行う避難訓練で、災害図上訓練は最近始めた。いい手本があれば教えてほしい。
- ・避難訓練は毎年同じようなやりかたで、マンネリ化しており改善が必要と感じている。
- ・津波の被害や恐ろしさを体験していないので、若い人たちは災害に関して関心が低い。今日見せてもらった高さ30cmの津波の恐ろしさを感じる映像は効果がある。若い人たちに見てもらいたい。
- ・今、避難袋を持っている人も少ない。
- ・島防波堤は津波に対し整備されたものではないが、住民にとっては安心感がある。
- ・津波の恐ろしさを他の住民にいかにつまづいていくか考えないといけない。
- ・子供会に参加する子どもたちに伝えていくことは効果があるのではないか。
- ・今回の座談会で使用した映像を住民に配布することも考えられる。小学校などの教育の現場においてもらい活用してもらいたい。
- ・若い人たちの意識が変わっていくように根気よくやっていくしかない。
- ・祭のような行事には来てくれるけど、防災と聞くとなかなか来てくれない。名前が固いか？
- ・震度3くらいなら津波は来ないし避難しなくても大丈夫、という感覚を、この座談会の映像などを使って変えなるといけない。
- ・防災に関心のある大楽毛の人たちに声をかけて、この座談会で使用した映像などを多くの人に見てもらう機会を設けたい。

最後の意見を踏まえて、第3回ワークショップの1か月後に、3回のワークショップを集約した説明会が大楽毛防災推進協議会の主催で行われた。

3.3 橋北東部地区でのワークショップ

3.3.1 第1回ワークショップでの議論

古くからの市街地で集合住宅が多い橋北東部地区では、参加者が多かったため、2つのグループに無作為に分かれて議論を行い、それぞれのグループでの議論をワークショップの最後に紹介した。

Aグループ、Bグループとも、昭和27年の十勝沖地震や昭和35年のチリ地震における避難や釧路川での津波の挙動について、多数の体験談が得られた(図3.14)。また、今後の避難に関しては、津波がやって来る方向に避難場所がある、廃校となった小学校を避難場所として活用できないか、津波警報がでてでも自分の勘で逃げるか逃げないか決めるなどの意見が出された。

3.3.2 第2回ワークショップでの議論

ワークショップの配付資料として、第1回ワークショップで得られた体験談のうち、図3.15に示す7つの場面について白黒のスケッチ(図3.16~22)を準備した。そのスケッチについて、2つのグループに分かれて議論した。

復元画1については、当時の鉄橋には普段でも人が渡れるような通路、柵および退避場所があったなどの指摘があった。復元画2については、丸太はもっと長かったはず、背景の家は平屋だったなどの指摘があった。復元画3については、避難した人数は多かったなどの意見が出された。復元画4については、川の真ん中は少し水があり、それ以外は干上がり川底が見えていた、川のそばで見られるものではなかったなどの意見があった。復元画5については、建物は平屋で立派ではなかった、水深は膝くらいだった、道は細く曲がっていたなどの指摘があった。復元画6については、枠のないリヤカーに布団を載せて逃げたという体験談のほか、こんな立派な服は着ていなかったなどの指摘があった。復元画7については、船が橋桁にぶつかりひっくりかえっていた、船はほとんどが小型船だったなどの体験談があった。

3.3.3 第3回ワークショップでの議論

ワークショップの配付資料として、第2回ワークショップでの意見をふまえてカラーの復元画を準備した(最終版を巻末資料に示す)。その復元画について、2つのグループに分かれて確認した後、この地区におけるこれからの取り組みについて議論した。主な意見は以下のとおりである。

- ・若い人とか子どもは世界の津波被害の映像を見ており、この復元画ではインパクトがないのではないかと。津波の恐ろしさはわかっているのではないかと。一番大事なのは地域での取り組み。
- ・避難所は近くにあるが、無理な地域もある。避難所はもっと作るべき。この建物も多くの人がはいるとぐらぐらする、不安。
- ・津波は瞬間的だから、道路でもいいから、近くで高く安全なところに避難するということを伝えるべき。まず一番近いところに避難するというのが大切。
- ・遠くに逃げるより、高い所に逃げる。
- ・津波が来た時に、陸橋は大丈夫だろうか。
- ・近くのマンションの4~5階の踊場に上げさせてもらうことも必要。
- ・民間のマンションに避難するといってもマンションの住民の理解が必要。建物の管理のこともあり、鍵がかかっているときの対処とか考える必要がある。
- ・地域の人たちにこういうものが出来たと紹介したいので、座談会で使用した映像や資料をまとめて欲しい。

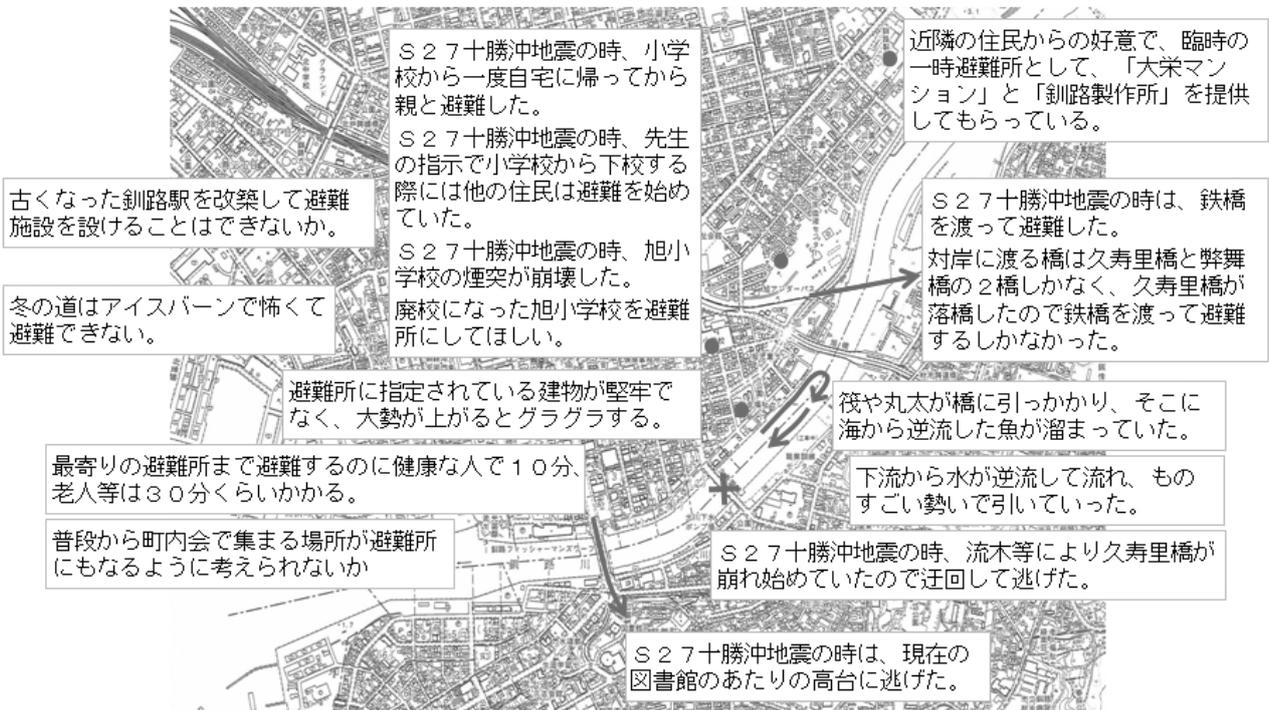
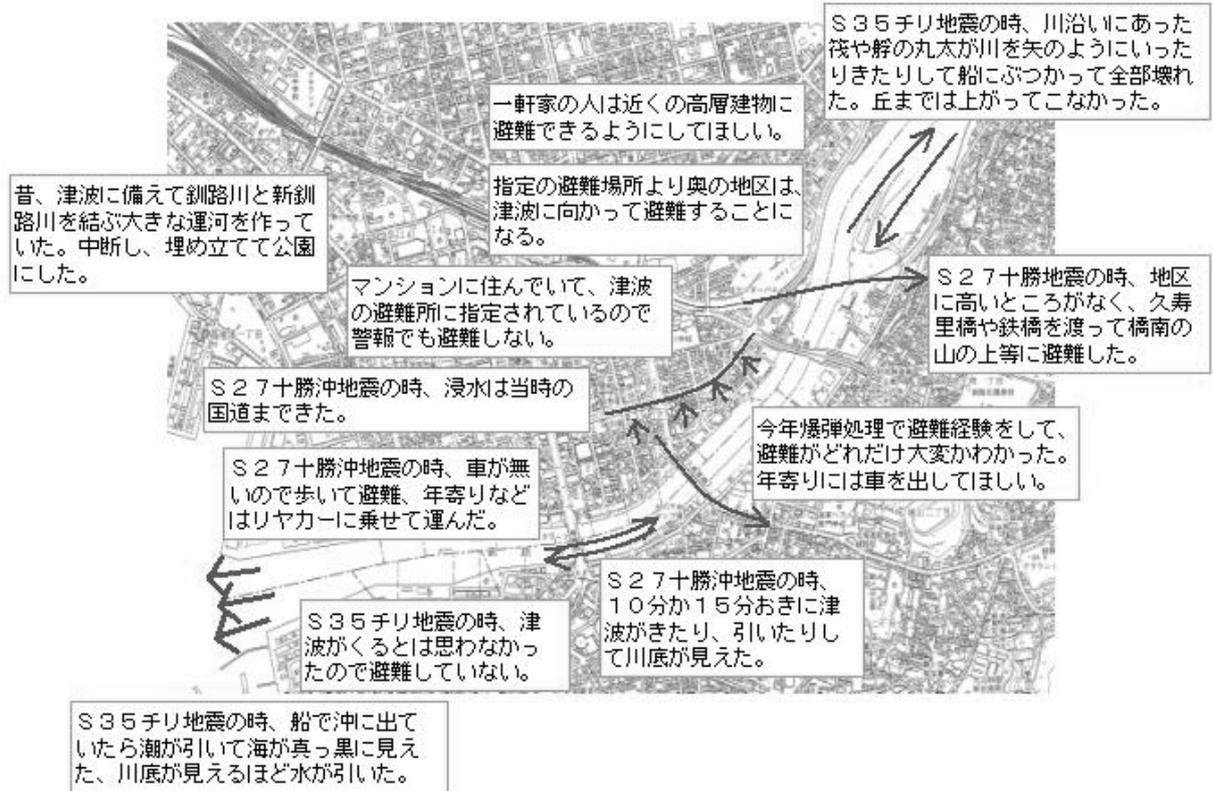


図 3.14 白地図に書き込まれた橋北東部地区の体験談(上:Aグループ, 下:Bグループ)



図 3.15 復元画のスケッチを作成した箇所(橋北東部地区)



図 3.16 復元画 1 のスケッチ



図 3.17 復元画 2 のスケッチ



図 3.18 復元画 3 のスケッチ

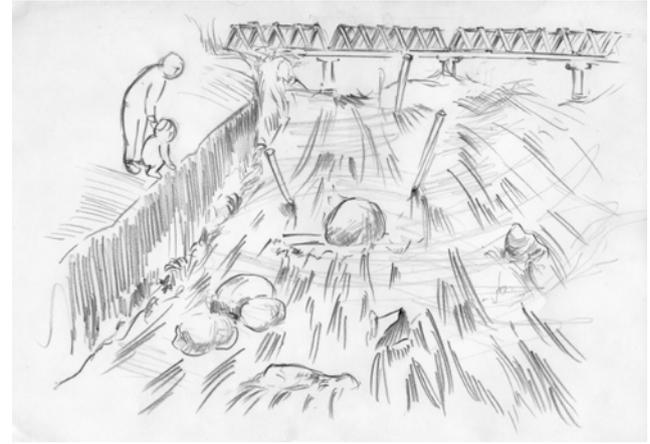


図 3.19 復元画 4 のスケッチ



図 3.20 復元画 5 のスケッチ



図 3.21 復元画 6 のスケッチ



図 3.22 復元画 7 のスケッチ

3.4 ワークショップの効果分析

避難勧告発令時の避難意向や浸水可能性の認識などを、各ワークショップ前後に質問紙を使って測定した。

質問紙では、以下の事項について尋ねた。集計においては、選択肢の2と4を「やや低い」と「やや高い」などに、選択肢の3を「どちらでもない」に置き換えている。

・浸水可能性の認識(お住まいの地区で、津波により浸水する可能性がある、あなたは思いますか?)

「可能性はかなり低い」を1,「可能性はかなり高い」を5とした5択

・避難必要性の認識(お住まいの地区で、津波の来襲が予想される場合、避難する必要があるとあなたは思いますか?)

「必要性はかなり低い」を1,「必要性はかなり高い」を5とした5択

・避難勧告発令時の避難意向(今後、津波の来襲が予想されるため避難勧告が発令されたら、あなたはどのように行動すると思いますか?)

「必ず避難しない」を1,「必ず避難する」を5とした5択

図 3.23～25 は、それぞれ浸水可能性の認識、避難必要性の認識、避難勧告発令時における避難意向について、大楽毛地区でのワークショップの前後における回答を集計したものである。第1回ワークショップの前では、浸水の可能性はかなり高い、あるいはやや高いと回答した人は約 2 割、避難の必要性はかなり高い、あるいはやや高いと回答した人は約半数、避難勧告発令時に必ず避難する、あるいは避難すると回答した人は約半数に止まっていた。各回のワークショップの前後で比較すると、ワークショップ後の方が、浸水可能性や避難必要性の認識が高くなり、避難意向も強くなっている。また、次回のワークショップまでに認識や意向はある程度元に戻るものの、ワークショップの回数を重ねるにつれて、認識や意向が向上する傾向が認められる。大楽毛地区は津波の経験者が少ない地区であり、津波遡上を現した動画や避難形態についての議論によって、必ずしも高いとは言えなかった浸水可能性の認識などが向上したものと考えられる。

図 3.26～28 は、それぞれ浸水可能性の認識、避難必要性の認識、避難勧告発令時における避難意向について、橋北東部地区でのワークショップの前後における回答を集計したものである。大楽毛地区と比べると、第1回ワークショップの前では、浸水の可能性や避難の必要性は高いと回答した人、避難勧告発令時に避難すると回答した人の割合は大きい、逆に浸水の可能性や避難の必要性はかなり低いと回答した人、避難勧告発令時に必ず避難しないと回答した人の割合も大きい。このことから、浸水可能性等の認識や避難意向がはっきりと二分化されていたと考えられる。

第1回ワークショップの前後で比較すると、ワークショップ後の方が、浸水可能性等の認識や避難意向が下がっている。白地図を囲んだ議論の中で、避難するかどうかは自分の勘で決めるなどの意見が出され、それが参加者に影響していたと考えられる。この結果をふまえて、第2回ワークショップ以降、復元画についての討議を通じてこの地区に津波が来る可能性があることを認識していただくとともに、正常化の偏見など避難の阻害要因について丁寧に説明することとした。これにより、第2回と第3回についてはワークショップ前後で避難意向が高めることができた。なお、ワークショップに3回とも参加した人の割合が小さいことから、ワークショップ全体を通じた認識や意向の変化は把握できなかった。

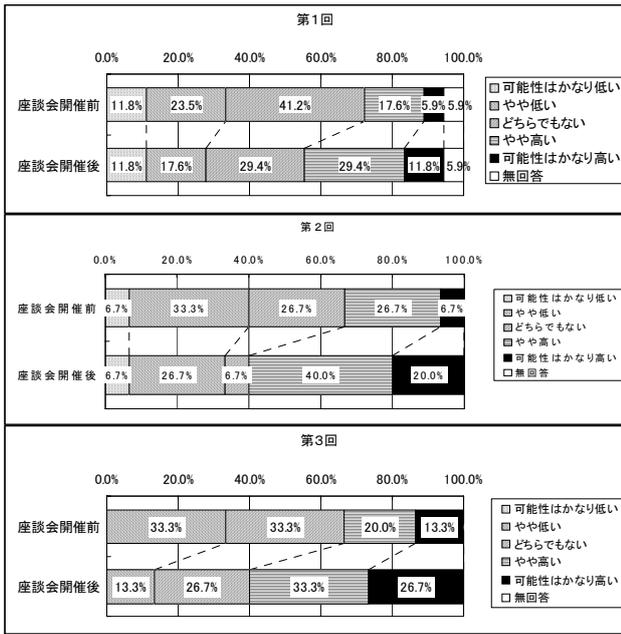


図 3.23 大楽毛地区における浸水可能性の認識

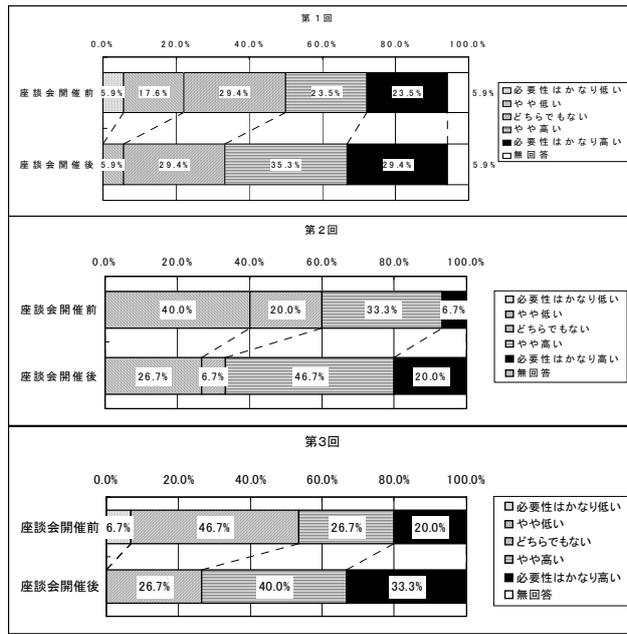


図 3.24 大楽毛地区における避難必要性の認識

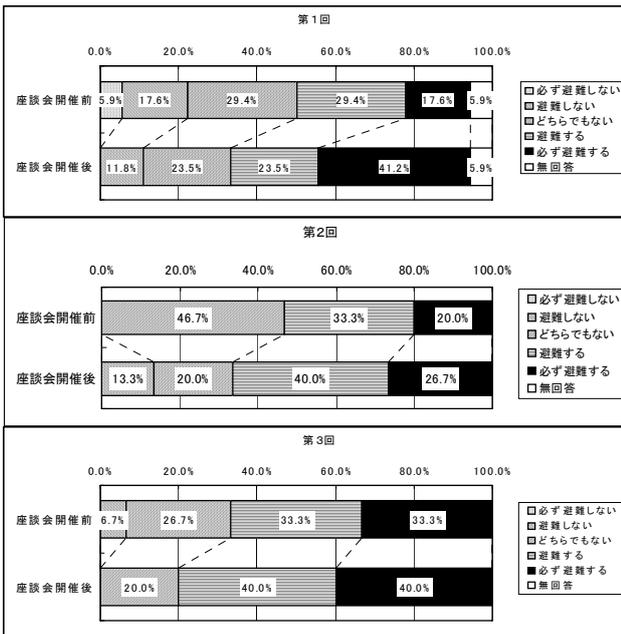


図 3.25 大楽毛地区における避難意向

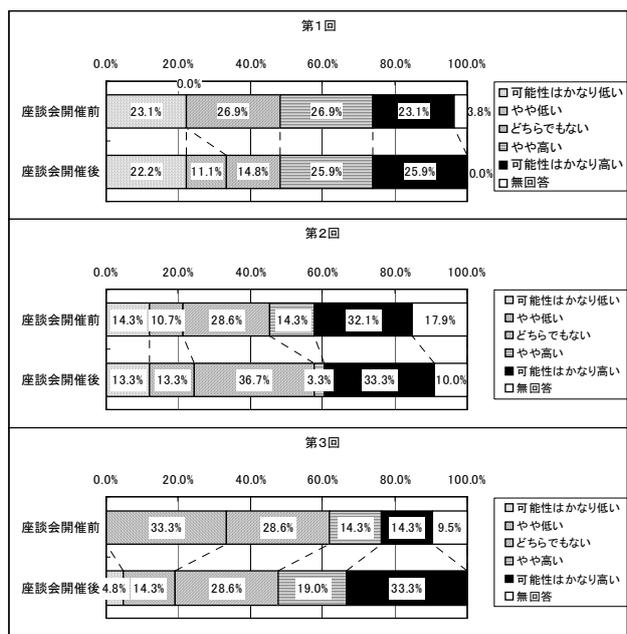


図 3.26 橋北東部地区における浸水可能性の認識

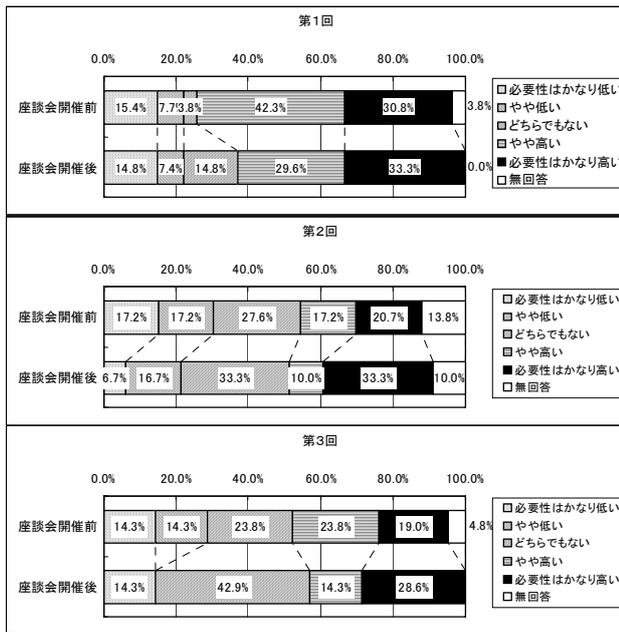


図 3.27 橋北東部地区における避難必要性の認識

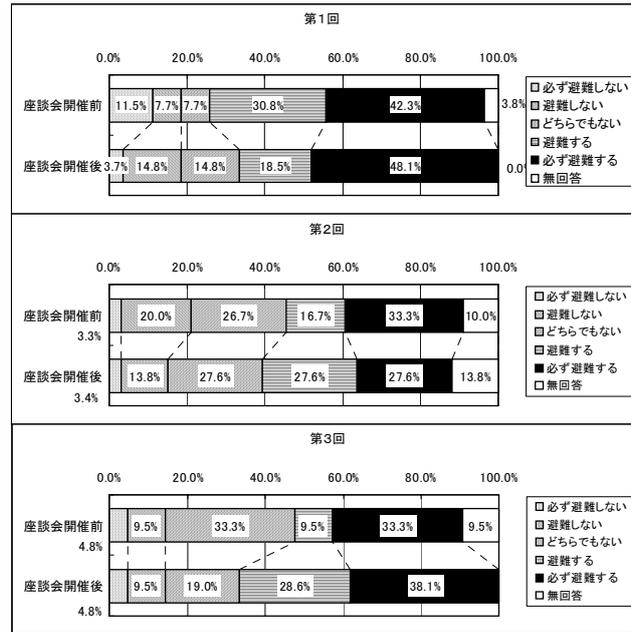


図 3.28 橋北東部地区における避難意向

3.5 まとめ

本調査で得られた主な結論は以下の通りである。

- ・対象地域での避難意思決定要因に基づいて津波からの避難に関するワークショップを企画することで、避難勧告発令時の避難意向を高めることができた。
- ・擬似的な被災・避難経験を得る方法の一つとして、想定されている津波の遡上状況を表す動画を作成するとともに、過去の津波来襲時における状況を復元画として表し、ワークショップに活用できることを確認した。
- ・ワークショップによっては参加者の避難意向を弱めてしまうが、効果分析を通じて次回の内容を改善することで所要の成果が得られることを確認した。

参考文献

木村玲玖・林 能成 (2004)：地域の被災体験を収集し共有するための手法開発 - 東南海地震と三河地震を例とした愛知県三河地域での取り組み -，東京大学地震研究所技術研究報告，No. 10，pp.12-20.
 釧路市総務課：500 年間隔地震津波ハザードマップ，[http:// www.city.kushiro.hokkaido.jp/www/contents/1141823239893/files/tunami1.pdf](http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/www/contents/1141823239893/files/tunami1.pdf) など

4. 避難意思決定要因に基づく避難促進施策の進め方

4.1 避難促進施策の方針

本調査で対象とする避難促進施策は、高潮や津波からの住民の適切な避難を促すことを目的にして、市町村や自主防災会等が住民を対象に実施する施策と定義する。

避難促進施策は、高潮や津波に備えて事前に実施するソフト対策の一つあるいはその組合せであり、高潮・津波ハザードマップの作成・配布、防災教育、避難訓練、ワークショップなどが含まれる。

避難促進施策では、その目的を達成するため、以下の事項を住民に周知することが求められる。周知とは、ハザードマップを全戸に配布することをもって達成するものではなく、全戸が知っていることを指す。

- ・想定される災害の状況(高潮や津波によりどのような災害が発生するのか?)
- ・想定される災害における避難の必要性(なぜ避難しなければいけないのか?)
- ・想定される災害における避難方法(どこに、どのように避難すればいいのか?)

高潮・津波ハザードマップの作成方法をまとめた「津波・高潮ハザードマップマニュアル」では、その作成への住民参加の必要性や、ワークショップや災害学習の有効性などが指摘されている。また、津波に対する学習教材として、宮城県気仙沼土木事務所は「津波防災学習の手引き」を作成し、出前講座等に活用している。また、津波を想定した避難訓練や災害図上訓練(DIG: Disaster Imagination Game)は各地で実施されている。

高潮・津波に関する避難促進施策は各地で行われているものであるが、その効果的な進め方について本章で整理する。

4.2 避難促進施策の要点

避難促進施策の試行結果をふまえて、避難促進施策の進め方の要点を図 4.1 のように整理した。避難促進施策の形態は、ワークショップ、防災教育、避難訓練など様々であるが、それら全体を企画する観点を取りまとめた。

最初に、対象地域の特性を把握する必要がある。干拓や築堤等の地形的な変化や都市化等の社会的な変化など、現在の地域が成り立つまでの歴史的な経緯は、対象地域の災害と大きく関係している。また、高潮、津波、洪水等の災害履歴を近世にまで遡って把握するとともに、近年における高潮等からの避難実態を確認する。さらに、自主防災組織や自治会など地域防災に関わる住民組織等の活動状況を把握する。

次に、対象地域の自治会長へのヒアリング等により、避難行動に関する課題を抽出する。課題の例としては、下記のようなものが考えられる。

- ・避難勧告が発令されても避難しない住民が多い
- ・避難場所を知らない住民が多い
- ・避難に際し援護が必要な住民がいる
- ・防災に限らず地域への住民の関心が低い

抽出された課題について、対象地域の住民を対象とした質問紙調査やヒアリング等により、避難行動に関わる実態把握を行う。把握する項目については、2章で示した質問紙調査の項目のように、避難勧告発令時の避難意思とその決定要因、想定されている高潮・津波の危険性認識、避難勧告や津波警報等の重大性の認識、防災への関心に繋がる地域活動への関心等が考えられる。

把握された避難意思決定要因に基づいて避難促進施策を企画し、その効果検証を通じて避難促進施策を改善しながら課題の解決を図る。「ワークショップで繰り返し、直接的に取り上げられた話題と、そうでない話題との間には、参加者の認識の変化の面で比較的明瞭な差が見られる」ことから(牛山ら, 2009)、参加者に伝えるべ

き事項を明確にし、それらを漏れなく避難促進施策に盛り込むことが必要である。想定されている災害を自分の問題として住民が捉えられるように、ハザードマップのような地図表示だけでなく、身近な景色に想定されている災害のイメージを表示する方法が有効である。また、施策を継続する上でソーシャルキャピタルは大きな役割を果たすと考えられることから、防災以外の面においてもソーシャルキャピタルの蓄積が求められる。さらに、過去の災害経験を非経験者が想像できるように、経験談を掘り起こし、それらを図化することも効果的である。避難促進施策の後には、参加者に伝えたかったことが伝わったかどうかを確認し、伝わっていなければ伝え方を改善する必要がある。

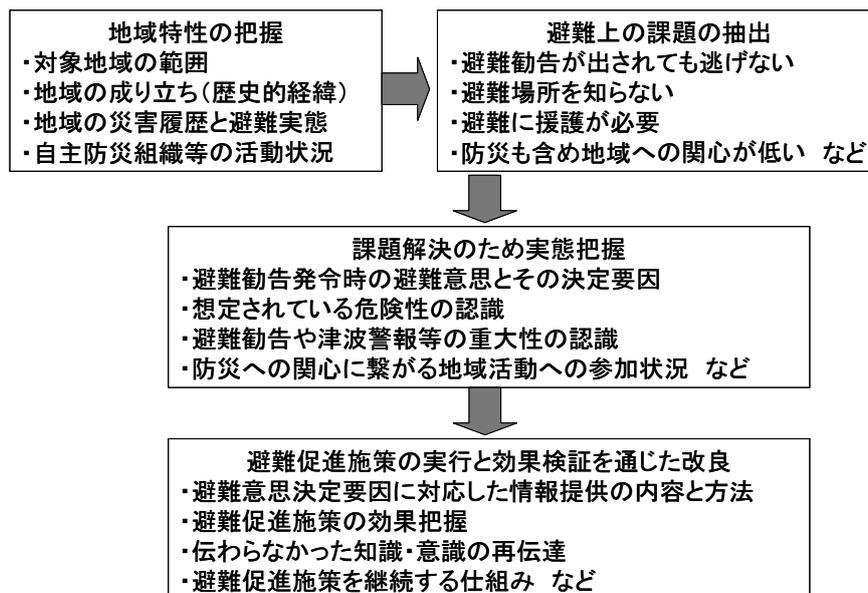


図 4.1 避難促進施策の進め方の要点

参考文献

- 牛山素行・吉田淳美・柏木紀子・佐藤聖一・佐藤庸亮：非居住者を対象とした防災ワークショップの参加者に及ぼす効果の分析，自然災害科学，Vo.27，No.24，pp.375-385，2009.
- 内閣府（防災担当）・農林水産省農村振興局・農林水産省水産庁・国土交通省河川局・国土交通省港湾局：津波・高潮ハザードマップマニュアル，128p.，2006.
- 宮城県気仙沼土木事務所：津波防災教育学習の手引き，http://www.pref.miyagi.jp/ks-doboku/kikaku/tsunami_kyouiku/tsunami_tebiki.htm，2006.

5. おわりに

本調査により得られた主な結論は以下の通りである。

- ・津波や高潮のため避難勧告が最近発令された地区の住民を対象に質問紙調査を実施し、避難勧告発令時において、浸水に対する不安が避難意図や避難行動に繋がっているものの、避難勧告等が浸水に対する不安や避難行動にあまり繋がっていなかったこと、ソーシャルキャピタルと防災への関心との間に双方向の関係があることを明らかにした。
- ・対象地域での避難意思決定要因に基づいて津波からの避難に関するワークショップを企画し、効果分析を通じて内容を改善することで、避難勧告発令時の避難意向を高めることができた。また、擬似的な被災・避難経験を得る方法の一つとして、想定されている津波の遡上状況を表す動画を作成するとともに、過去の津波来襲時における状況を復元画として表し、ワークショップに活用できることを確認した。
- ・把握避難促進施策の進め方として、避難促進施策に先立ち地域特性の把握、避難上の課題の抽出、課題解決のための実態を実施した上で、効果検証を通じて避難促進施策を改良していく方法を提案した。

謝辞：

避難意思決定要因に関する調査では、京都大学防災研究所巨大災害研究センターの林春男教授にご指導をいただくとともに、質問紙の設計について新潟大学災害復興科学センターの田村圭子教授にご助言をいただいた。質問紙調査およびワークショップの実施に際しては、釧路市総務部総務課、釧路市消防本部、宇部市総務部防災課、山陽小野田市総務部総務課のご協力をいただいた。また、釧路市連合防災推進協議会からは、独自の意識調査結果をご提供いただくとともに、地域での取り組みなどについて多くの情報をいただいた。北海道総務部危機対策局防災消防課より釧路市の地形データおよび津波想定データを提供していただいた。山口県土木建築部港湾課より宇部市及び山陽小野田市の地形データを提供していただいた。釧路市の歴史については、釧路短期大学生涯教育センターの佐藤宥紹教授からご指導をいただいた。また、質問紙調査やワークショップでは対象地域の多くの方々のご協力をいただいた。ここに記して謝意を表します。

付録 1 避難意思決定要因に関する調査の質問紙

【回答用紙】 昨年 11 月の千島列島沖地震による津波からの避難に関する調査

国土交通省国土技術政策総合研究所
河川研究部海岸研究室

- 回答に要する時間は 15 分程度です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 回答用紙は全部で 12 ページあります。1 ページ（このページ）が記入方法の説明で、2 ページ以降が質問と回答欄になります。回答はこの回答用紙の 2 ページ以降にご記入下さい。
- 原則として世帯主の方にご回答をお願いいたしますが、世帯主以外の方が回答されても結構です。
- 選択枝から回答を選ぶ質問がほとんどですが、回答を括弧内に記入するものもあります。
選択枝から回答を選ぶ質問については、以下の例のように、あてはまる回答を枠の下にある選択枝から選び、その番号に○を付けて下さい。質問によって、○を 1 つだけ付けるものと、○を 2 つ以上付けてもよいものがあります。

（回答例）

問 1 回答される方の性別について、あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

- ① 男
- 2. 女

あてはまる数字に○を付けて下さい

問 26 あなたは過去に津波の被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。（複数回答可）

- 1. 津波の被害を受けたことはない
- ② 昭和 27 年の十勝沖地震の津波で被害を受けた
- 3. 昭和 35 年のチリ地震の津波で被害を受けた
- 4. 昭和 43 年の十勝沖地震の津波で被害を受けた
- 5. 平成 5 年の十勝沖地震の津波で被害を受けた
- 6. 平成 6 年の北海道東方沖地震の津波で被害を受けた
- 7. 平成 15 年の十勝沖地震の津波で被害を受けた
- ⑧ 上記以外の津波で被害を受けた（いつ頃の地震ですか？：**平成 16 年** 頃）

あてはまる数字全てに○を付けて下さい

かつこ内には該当事項をご記入下さい

※お問い合わせ先

記入方法についてわからないことがございましたら、お手数ですが以下までお問い合わせ下さい。

株式会社〇〇 東京支社 担当：□□

〒***-*** 東京都△△

Tel：03-***-***（月～金：10～17 時）

【次のページから質問が始まります】

【ここから質問が始まります。問1～7では、あなた自身について伺います】

問1 あなたの性別について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 男
2. 女

問2 あなたと同居されている方の人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 1人 (一人でお住まいの方)
2. 2人 (二人でお住まいの方)
3. 3人 (三人でお住まいの方)
4. 4人 (四人でお住まいの方)
5. 5人 (五人でお住まいの方)
6. 6人以上 (六人以上でお住まいの方)

問3 あなたと同居されている方(あなたを含む)の中で、歩いて避難することが難しい方はおられますか。その人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

0. 0人 (歩いて避難することが難しい人はいない)
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

問4 あなたと同居されている方(あなたを含む)の中で、車をふだん運転する人はおられますか。その人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

0. 0人 (車を運転する人はいない)
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

問5 お住まいは戸建てですか、それとも集合住宅ですか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 戸建て
2. 集合住宅 (アパート、マンションなど)

問6 お住まいは何階建てですか、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 平屋 (1階建て)
2. 2階建て
3. 3階建て
4. 4階建て以上

問7 1日の中であなたはご自宅の何階で最も長く過ごされますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。(集合住宅の場合、ご自宅の階をお選び下さい)

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 1階
2. 2階
3. 3階
4. 4階
5. 5階
6. 6階以上

【千島列島沖地震が発生した昨年11月15日（水曜日）について、問8～26では伺います】

問8 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは揺れの恐さをどれくらい感じましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 今まで経験した地震の中で最も恐かった
2. 普通の地震より恐かった
3. 普通の地震と同じくらい恐かった
4. 普通の地震より恐くなかった
5. 全く恐くなかった

問9 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたのご自宅が浸水すると思いましたが。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 必ず水に浸かると思った
2. たぶん水に浸かると思った
3. どちらともいえない
4. たぶん水に浸からないと思った
5. 必ず水に浸からないと思った

問10 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたのご自宅がどれくらいの深さまで水に浸かるかもしれないと思いましたが。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 2階まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
2. 床上まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
3. 床下まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
4. ご自宅の周りが水に浸かるかもしれないと思う時があった
5. 水に浸かるかもしれないと思う時はなかった

問 11 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは命の危険性を感じましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 避難しないと絶対助からないと思った
2. 避難しないと助からないかもしれないと思った
3. どちらともいえない
4. 避難しなくてもたぶん大丈夫だと思った
5. 避難しなくても絶対大丈夫だと思った

問 12 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは津波警報が発表されたことを避難する前に知っていましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。(避難した後や後日知った方は「知らなかった」に○を付けて下さい)

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 知らなかった (問 13は無視して、問 14に進んでください)
2. 知っていた (問 13に進んでください)

問 13 津波警報の発表を知っていた方に伺います。昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは津波警報の発表を避難する前にどうやって知りましたか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. テレビ
2. ラジオ
3. 近所の人
4. 広報車・消防車
5. 屋外拡声器
6. 有線放送
7. インターネット
8. 携帯電話のメールサービス
9. その他 ()



問 14 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは避難勧告が発令されたことを避難する前に知っていましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。(避難した後や後日知った方は「知らなかった」に○を付けて下さい)

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 知らなかった (問 15は無視して、問 16に進んでください)
2. 知っていた (問 15に進んでください)

問 15 避難勧告の発令を知っていた方に伺います。昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは避難勧告の発令を避難する前にどうやって知りましたか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. テレビ
2. ラジオ
3. 近所の人
4. 広報車・消防車
5. 屋外拡声器
6. 有線放送
7. インターネット
8. 携帯電話のメールサービス
9. その他 ()



問 16 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは避難しようと思いましたが、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 避難しなければいけないと思った
2. 避難した方がいいと思った
3. どちらともいえない
4. 避難しなくてもいいと思った
5. 避難する必要はないと思った

問 17 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは避難の準備をしましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 避難場所がどこか確認し、持ち出す荷物を整理した
2. 避難場所がどこか確認したが、持ち出す荷物の整理はしなかった
3. 避難の準備をしなかった

問 18 昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたは避難しましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 避難しなかった (問 19~22は無視して、問 23に進んでください) ----- ↓ 問 23へ
2. 避難した (問 19に進んでください) ----- ↓ 問 19へ

避難しなかった方は、問 19～22 を無視して、問 23 に進んでください

問 19 避難した方に伺います。あなたはいつ頃避難しましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 11月15日の午後8時15分頃（地震直後）
2. 11月15日の午後8時30分頃（津波警報が気象庁から発表された直後）
3. 11月15日の午後8時45分頃（避難勧告が市役所から発令された直後）
4. 11月15日の午後9時頃
5. 11月15日の午後9時30分頃
6. 11月15日の午後10時頃
7. 11月15日の午後10時以降

問 20 避難した方に伺います。昨年11月15日の千島列島沖地震の時、あなたはどこに避難しましたか。避難した場所を以下に記入して下さい。

[]

(例：○○公民館、○○小学校、○○町の親族宅)

問 21 避難した方に伺います。あなたはどのような方法で避難しましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク・オートバイ
4. 自動車
5. バス・電車
6. その他 ()

↓
問 22 へ

↓
問 23 へ

問 22 避難した方に伺います。避難したきっかけは何ですか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 津波警報が発表されたことを知ったこと
2. 避難勧告が発令されたことを知ったこと
3. 近所の人から避難を呼びかけられたこと
4. 市役所・消防の人から避難を呼びかけられたこと
5. テレビやラジオで避難を呼びかけていたこと
6. 地震の揺れが大きかったこと
7. 深夜になったこと
8. その他 ()

---(避難した方は、問 23 を無視して、問 24 に進んでください。)

問 23 避難しなかった方に伺います。避難しなかった理由について、あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 大きな津波にはならないと思ったから
2. 自力での避難が無理だったから
3. 近所の人誰も避難していなかったから
4. 避難する場所がわからなかったから
5. テレビで様子を見ていたから
6. 車などの避難する足がなかったから
7. 体が不自由な家族がいるから
8. 避難するのは危険だと思ったから
9. その他 ()

問 24 昨年 1 1 月 1 5 日の千島列島沖地震の時、近所の人から避難を呼びかけられましたか。あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい)

1. 近所の人から避難を呼びかけられた
2. 近所の人から避難を呼びかけられなかった

問 25 昨年 1 1 月 1 5 日の千島列島沖地震の時、あなたは近所の人に避難を呼びかけましたか。あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい)

1. 近所の人に避難を呼びかけた
2. 近所の人に避難を呼びかけなかった

【問 26～34 では、災害に関するあなたの経験について伺います】

問 26 あなたは過去に津波の被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 津波の被害を受けたことはない
2. 昭和 27 年の十勝沖地震の津波で被害を受けた
3. 昭和 35 年のチリ地震の津波で被害を受けた
4. 昭和 43 年の十勝沖地震の津波で被害を受けた
5. 平成 5 年の釧路沖地震の津波で被害を受けた
6. 平成 6 年の北海道東方沖地震の津波で被害を受けた
7. 平成 15 年の十勝沖地震の津波で被害を受けた
8. 上記以外の津波で被害を受けた (いつ頃の地震ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 27 あなたは過去に津波以外の自然災害 (大雨、河川氾濫、山崩れ、地震、高潮) で被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 津波以外の被害を受けたことはない
2. 大雨で浸水被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
3. 川があふれて浸水被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
4. 山崩れで被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
5. 地震の揺れで被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
6. 高潮で被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 28 あなたは過去に津波のため避難したことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 津波では避難したことはない
2. 昭和 27 年の十勝沖地震の津波で避難した
3. 昭和 35 年のチリ地震の津波で避難した
4. 昭和 43 年の十勝沖地震の津波で避難した
5. 平成 5 年の釧路沖地震の津波で避難した
6. 平成 6 年の北海道東方沖地震の津波で避難した
7. 平成 15 年の十勝沖地震の津波で避難した
8. 上記以外の津波で避難した (いつ頃の地震ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 29 地域で行われている防災訓練に、あなたはどれくらい参加していますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 防災訓練に参加したことがない
2. 10年以上前に参加して以来、参加していない
3. 4～9年前に参加して以来、参加していない
4. 2～3年前に参加して以来、参加していない
5. 毎年防災訓練に参加している

問 30 昨年11月より前に市役所で配布した「くしろ安心マップ」を、あなたは見たことがありますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 見たことがある
2. 見たことがない

問 31 津波の時の避難場所をご自宅の近くにありますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 歩いて行ける距離にある (避難場所を右欄にご記入ください:)
2. 歩いて行けない距離にある (避難場所を右欄にご記入ください:)
3. 避難場所を知らない

問 32 ご自宅が津波の浸水想定区域の中にあるかどうかご存じですか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. ご自宅が浸水想定区域の中にある
2. ご自宅が浸水想定区域の外にある
3. ご自宅が浸水想定区域の中か外かわからない

問 33 大正9年の釧路川の洪水で釧路市では大きな被害が出たことを、あなたにご存じですか。あてはまるもの1つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. よく知っている
2. 聞いたことがある
3. 聞いたことがない

問 34 あなたは水害や地震に関する昔からの地域の言い伝えを聞いたことがありますか。ご存じでしたら、その概要を以下の枠内にご記入ください(1行程度でも結構です)。

[]

【問 35～39 では、地域活動について伺います】

問 35 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。あなたの考え方に近いと思うもの1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. ほとんどの人は信頼できる
2. 信頼できる人の方が多い
3. どちらともいえない
4. 信頼できない人の方が多い
5. ほとんどの人は信頼できない

問 36 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。(i)と(ii)について、次のうちから当てはまるものを1つずつ選び、その数字に○を付けて下さい。

(i)つき合いの程度

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度の最小限のつきあひしかしていない
4. つきあひは全くしていない

} どれか1つに○
を付けて下さい

(ii)つきあっている人の数

1. 近所のかかなり多くの人と面識・交流がある(概ね20人以上)
2. ある程度の人との面識・交流がある(概ね5～19人)
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある(概ね4人以下)
4. 隣の人がだれかも知らない

} どれか1つに○
を付けて下さい

問 37 あなたのお住まいの地域では、町内会・自治会や子ども会、老人会、消防団などの「地縁団体」、
「地縁活動」は盛んだと思いますか。当てはまるもの1つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 非常に盛んであると思う
2. ある程度は行われていると思う
3. ほとんど活動は行われていないと思う
4. そういった地縁団体は存在しないと思う
5. わからない

問 38 あなたは、お住まいの地区に永住したいと考えていますか。当てはまるもの1つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 永住したい
2. どちらかといえば永住したい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば永住したくない
5. 永住したくない

問 39 あなたは現在、下表のA～Dの活動をされていますか。現在の活動状況と今後の活動意向について、当てはまるものに○を付けて下さい。

	A. 地縁的な活動 (自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会等)	B. スポーツ・趣味・娯楽活動 (各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習等)	C. ボランティア・NPO・市民活動 (まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力、提言活動など)	D. その他の団体・活動 (商工会・業種組合、宗教、政治など)
現在の活動状況				
ア. 活動していない	ア	ア	ア	ア
イ. 年に数回程度	イ	イ	イ	イ
ウ. 月に1日程度	ウ	ウ	ウ	ウ
エ. 月に2～3日程度	エ	エ	エ	エ
オ. 週に1日	オ	オ	オ	オ
カ. 週に2～3日	カ	カ	カ	カ
キ. 週に4日以上	キ	キ	キ	キ
今後の活動意向				
ア. 積極的に参加したい	ア	ア	ア	ア
イ. 現状維持したい	イ	イ	イ	イ
ウ. 参加を控えたい	ウ	ウ	ウ	ウ

(太枠毎に1つずつ○を付けて下さい)

(以下は記入例です。回答は↑の枠内をお願いします。)

現在の活動状況				
ア. 活動していない	ア	ア	Ⓐ	ア
イ. 年に数回程度	Ⓘ	イ	イ	Ⓘ
ウ. 月に1日程度	ウ	Ⓚ	ウ	ウ
エ. 月に2～3日程度	エ	エ	エ	エ
オ. 週に1日	オ	オ	オ	オ
カ. 週に2～3日	カ	カ	カ	カ
キ. 週に4日以上	キ	キ	キ	キ
今後の活動意向				
ア. 積極的に参加したい	ア	ア	Ⓐ	ア
イ. 現状維持したい	Ⓘ	Ⓘ	イ	Ⓘ
ウ. 参加を控えたい	ウ	ウ	ウ	ウ

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。同封の返信用封筒に入れてご返送下さい。

【回答用紙】平成19年台風5号による高潮からの避難に関する調査

国土交通省国土技術政策総合研究所
河川研究部海岸研究室

- 回答に要する時間は15分程度です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- この回答用紙は全部で12ページあります。1ページ（このページ）が記入方法の説明で、2ページ以降が質問と回答欄になります。回答はこの回答用紙の2ページ以降にご記入下さい。
- 原則として世帯主の方にご回答をお願いいたしますが、世帯主以外の方が回答されても結構です。
- 選択枝から回答を選ぶ質問がほとんどですが、回答を括弧内に記入するものもあります。
選択枝から回答を選ぶ質問については、以下の例のように、あてはまる回答を枠の下にある選択枝から選び、その番号に○を付けて下さい。質問によって、○を1つだけ付けるものと、○を2つ以上付けてもよいものがあります。

（回答例）

問1 回答される方の性別について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

- ① 男
- 2. 女

あてはまる数字に○を付けて下さい

問27 あなたは過去に高潮の被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。（複数回答可）

- 1. 高潮の被害を受けたことはない
- 2. 昭和17年の周防灘台風の高潮で被害を受けた
- ③ 平成11年の台風18号の高潮で被害を受けた
- 4. 平成17年の台風14号の高潮で被害を受けた
- 5. 平成18年の台風13号の高潮で被害を受けた
- ⑥ 上記以外の高潮で被害を受けた（いつ頃の台風ですか？：**平成16年** 頃）

あてはまる数字全てに○を付けて下さい

かっこ内には該当事項をご記入下さい

※お問い合わせ先

記入方法についてわからないことがございましたら、お手数ですが以下までお問い合わせ下さい。

株式会社〇〇 九州支社 担当：〇〇

〒****-**** 福岡県〇〇

Tel：092-****-****（月～金：10～17時）

【次のページから質問が始まります】

【ここから質問が始まります。問1～7では、あなた自身について伺います】

問1 あなたの性別について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 男
2. 女

問2 あなたと同居されている方の人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 1人 (一人でお住まいの方)
2. 2人 (二人でお住まいの方)
3. 3人 (三人でお住まいの方)
4. 4人 (四人でお住まいの方)
5. 5人 (五人でお住まいの方)
6. 6人以上 (六人以上でお住まいの方)

問3 あなたと同居されている方(あなたを含む)の中で、歩いて避難することが難しい方はおられますか。その人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

0. 0人 (歩いて避難することが難しい人はいない)
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

問4 あなたと同居されている方(あなたを含む)の中で、車をふだん運転する人はおられますか。その人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

0. 0人 (車を運転する人はいない)
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

問5 お住まいは戸建てですか、それとも集合住宅ですか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 戸建て
2. 集合住宅 (アパート、マンションなど)

問6 お住まいは何階建てですか、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 平屋 (1階建て)
2. 2階建て
3. 3階建て
4. 4階建て以上

問7 1日の中であなたはご自宅の何階で最も長く過ごされますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。(集合住宅の場合、ご自宅の階をお選び下さい)

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 1階
2. 2階
3. 3階
4. 4階
5. 5階
6. 6階以上

【台風5号が接近した今年8月2日（木曜日）について、問8～26では伺います】

問8 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたは風の恐さをどれくらい感じましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 今まで経験した台風の中で最も恐かった
2. 普通の台風より恐かった
3. 普通の台風と同じくらい恐かった
4. 普通の台風より恐くなかった
5. 全く恐くなかった

問9 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたは雨の恐さをどれくらい感じましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 今まで経験した台風の中で最も恐かった
2. 普通の台風より恐かった
3. 普通の台風と同じくらい恐かった
4. 普通の台風より恐くなかった
5. 全く恐くなかった

問10 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたはご自宅が浸水すると思いましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 必ず水に浸かると思った
2. たぶん水に浸かると思った
3. どちらともいえない
4. たぶん水に浸からないと思った
5. 必ず水に浸からないと思った

問11 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたはご自宅がどれくらいの深さまで水に浸かるかもしれないと思いましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 2階まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
2. 床上まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
3. 床下まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
4. ご自宅の周りが水に浸かるかもしれないと思う時があった
5. 水に浸かるかもしれないと思う時はなかった

避難しなかった方は、問 20～23 を無視して、問 24 に進んでください

問 20 避難した方に伺います。あなたはいつ頃避難しましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 8月2日の午後5時頃
2. 8月2日の午後6時頃
3. 8月2日の午後7時頃
4. 8月2日の午後8時頃
5. 8月2日の午後9時頃
6. 8月2日の午後10時頃
7. 8月2日の午後11時以降

問 21 避難した方に伺います。今年の台風5号(8月2日)の接近中に、あなたはどこに避難しましたか。避難した場所を以下に記入して下さい。

[]

(例：○○公民館、○○小学校、○○町の親族宅)

問 22 避難した方に伺います。あなたはどのような方法で避難しましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク・オートバイ
4. 自動車
5. バス・電車
6. その他 ()

問 23 へ

問 24 へ

問 23 避難した方に伺います。避難したきっかけは何ですか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮警報が発表されたことを知ったこと
2. 避難勧告が発令されたことを知ったこと
3. 近所の人から避難を呼びかけられたこと
4. 市役所・消防の人から避難を呼びかけられたこと
5. テレビやラジオで避難を呼びかけていたこと
6. 風が強くなってきたこと
7. 雨が強くなってきたこと
8. 外が暗くなってきたこと
9. その他 ()

---(避難した方は、問 24 を無視して、問 25 に進んでください)

問 24 避難しなかった方に伺います。避難しなかった理由について、あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮にはならないと思ったから
2. 自力での避難が無理だったから
3. 近所の人誰も避難していなかったから
4. 避難する場所がわからなかったから
5. テレビで様子を見ていたから
6. 車などの避難する足がなかったから
7. 体が不自由な家族がいるから
8. 風雨の中を避難するのは危険だと思ったから
9. その他 ()

問 25 今年の台風5号(8月2日)の接近中に、近所の人から避難を呼びかけられましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 近所の人から避難を呼びかけられた
2. 近所の人から避難を呼びかけられなかった

問 26 今年の台風5号(8月2日)の接近中に、あなたは近所の人に避難を呼びかけましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 近所の人に避難を呼びかけた
2. 近所の人に避難を呼びかけなかった

【問 27～35 では、災害に関するあなたの経験について伺います】

問 27 あなたは過去に高潮の被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮の被害を受けたことはない
2. 昭和 17 年の周防灘台風の高潮で被害を受けた
3. 平成 11 年の台風 18 号の高潮で被害を受けた
4. 平成 17 年の台風 14 号の高潮で被害を受けた
5. 平成 18 年の台風 13 号の高潮で被害を受けた
6. 上記以外の高潮で被害を受けた (いつ頃の台風ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 28 あなたは過去に高潮以外の自然災害(大雨、河川氾濫、山崩れ、地震、津波)で被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮以外の被害を受けたことはない
2. 大雨で浸水被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
3. 川があふれて浸水被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
4. 山崩れで被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
5. 地震の揺れで被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
6. 津波で被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 29 あなたは過去に高潮のため避難したことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮では避難したことはない
2. 昭和 17 年の周防灘台風の高潮で避難した
3. 平成 11 年の台風 18 号の高潮で避難した
4. 平成 17 年の台風 14 号の高潮で避難した
5. 平成 18 年の台風 13 号の高潮で避難した
6. 上記以外の高潮で避難した (いつ頃の台風ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 30 地域で行われている防災訓練に、あなたはどれくらい参加していますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 防災訓練に参加したことがない
2. 10年以上前に参加して以来、参加していない
3. 4～9年前に参加して以来、参加していない
4. 2～3年前に参加して以来、参加していない
5. 毎年防災訓練に参加している

問 31 市役所で作成した「防災マップ」をあなたは見たことがありますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 見たことがある
2. 見たことがない

問 32 高潮の時の避難場所をご自宅の近くにありますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 歩いて行ける距離にある (避難場所を右欄にご記入ください:)
2. 歩いて行けない距離にある (避難場所を右欄にご記入ください:)
3. 避難場所を知らない

問 33 ご自宅が高潮の浸水想定区域の中にあるかどうかご存じですか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. ご自宅が浸水想定区域の中にある
2. ご自宅が浸水想定区域の外にある
3. ご自宅が浸水想定区域の中か外かわからない

問 34 昭和 17 年の周防灘台風の高潮で山口県では大きな被害が出たことを、あなたはご存じですか。あてはまるもの1つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. よく知っている
2. 聞いたことがある
3. 聞いたことがない

問 35 あなたは水害や地震に関する昔からの地域の言い伝えを聞いたことがありますか。ご存じでしたら、その概要を以下の枠内にご記入ください (1行程度でも結構です)。

【問 36～40 では、地域活動について伺います】

問 36 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。あなたの考え方に近いと思うもの 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. ほとんどの人は信頼できる | 2. 信頼できる人の方が多い |
| 3. どちらともいえない | 4. 信頼できない人の方が多い |
| 5. ほとんどの人は信頼できない | |

問 37 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。(i)と(ii)について、次のうちから当てはまるものを 1 つずつ選び、その数字に○を付けて下さい。

(i)つき合いの程度

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度の最小限のつきあしかしていない
4. つきあいは全くしていない

} どれか 1 つに○
を付けて下さい

(ii)つきあっている人の数

1. 近所はかなり多くの人と面識・交流がある (概ね 20 人以上)
2. ある程度の人との面識・交流がある (概ね 5～19 人)
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある (概ね 4 人以下)
4. 隣の人がだれかも知らない

} どれか 1 つに○
を付けて下さい

問 38 あなたのお住まいの地域では、町内会・自治会や子ども会、老人会、消防団などの「地縁団体」、
「地縁活動」は盛んだと思いますか。当てはまるもの 1 つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 非常に盛んであると思う
2. ある程度は行われていると思う
3. ほとんど活動は行われていないと思う
4. そういった地縁団体は存在しないと思う
5. わからない

問 39 あなたは、お住まいの地区に永住したいと考えていますか。当てはまるもの 1 つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 永住したい | 2. どちらかといえば永住したい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば永住したくない |
| 5. 永住したくない | |

問 40 あなたは現在、下表のA～Dの活動をされていますか。現在の活動状況と今後の活動意向について、当てはまるものに○を付けて下さい。

	A. 地縁的な活動 (自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会等)	B. スポーツ・趣味・娯楽活動 (各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習等)	C. ボランティア・NPO・市民活動 (まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力、提言活動など)	D. その他の団体・活動 (商工会・業種組合、宗教、政治など)
現在の活動状況				
ア. 活動していない	ア	ア	ア	ア
イ. 年に数回程度	イ	イ	イ	イ
ウ. 月に1日程度	ウ	ウ	ウ	ウ
エ. 月に2～3日程度	エ	エ	エ	エ
オ. 週に1日	オ	オ	オ	オ
カ. 週に2～3日	カ	カ	カ	カ
キ. 週に4日以上	キ	キ	キ	キ
今後の活動意向				
ア. 積極的に参加したい	ア	ア	ア	ア
イ. 現状維持したい	イ	イ	イ	イ
ウ. 参加を控えたい	ウ	ウ	ウ	ウ

(太枠毎に1つずつ○を付けて下さい)

(以下は記入例です。回答は↑の枠内をお願いします。)

現在の活動状況				
ア. 活動していない	ア	ア	Ⓐ	ア
イ. 年に数回程度	Ⓘ	イ	イ	Ⓘ
ウ. 月に1日程度	ウ	Ⓚ	ウ	ウ
エ. 月に2～3日程度	エ	エ	エ	エ
オ. 週に1日	オ	オ	オ	オ
カ. 週に2～3日	カ	カ	カ	カ
キ. 週に4日以上	キ	キ	キ	キ
今後の活動意向				
ア. 積極的に参加したい	ア	ア	Ⓐ	ア
イ. 現状維持したい	Ⓘ	Ⓘ	イ	Ⓘ
ウ. 参加を控えたい	ウ	ウ	ウ	ウ

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。同封の返信用封筒に入れてご返送下さい。

【回答用紙】平成19年台風5号による高潮からの避難に関する調査

国土交通省国土技術政策総合研究所
河川研究部海岸研究室

- 回答に要する時間は15分程度です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 回答用紙は全部で12ページあります。1ページ（このページ）が記入方法の説明で、2ページ以降が質問と回答欄になります。回答はこの回答用紙の2ページ以降にご記入下さい。
- 原則として世帯主の方にご回答をお願いいたしますが、世帯主以外の方が回答されても結構です。
- 選択枝から回答を選ぶ質問がほとんどですが、回答を括弧内に記入するものもあります。
- 選択枝から回答を選ぶ質問については、以下の例のように、あてはまる回答を枠の下にある選択枝から選び、その番号に○を付けて下さい。質問によって、○を1つだけ付けるものと、○を2つ以上付けてもよいものがあります。

（回答例）

問1 回答される方の性別について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

- ① 男
2. 女

あてはまる数字に○を付けて下さい

問27 あなたは過去に高潮の被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。（複数回答可）

1. 高潮の被害を受けたことはない
2. 昭和17年の周防灘台風の高潮で被害を受けた
③ 平成11年の台風18号の高潮で被害を受けた
4. 平成17年の台風14号の高潮で被害を受けた
5. 平成18年の台風13号の高潮で被害を受けた
⑥ 上記以外の高潮で被害を受けた（いつ頃の台風ですか？：平成16年頃）

あてはまる数字全てに○を付けて下さい

かっこ内には該当事項をご記入下さい

※お問い合わせ先

記入方法についてわからないことがございましたら、お手数ですが以下までお問い合わせ下さい。

株式会社〇〇 九州支社 担当：〇〇

〒****-**** 福岡県〇〇

Tel：092-****-****（月～金：10～17時）

【次のページから質問が始まります】

【ここから質問が始まります。問1～7では、あなた自身について伺います】

問1 あなたの性別について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 男
2. 女

問2 あなたと同居されている方の人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 1人 (一人でお住まいの方)
2. 2人 (二人でお住まいの方)
3. 3人 (三人でお住まいの方)
4. 4人 (四人でお住まいの方)
5. 5人 (五人でお住まいの方)
6. 6人以上 (六人以上でお住まいの方)

問3 あなたと同居されている方(あなたを含む)の中で、歩いて避難することが難しい方はおられますか。その人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

0. 0人 (歩いて避難することが難しい人はいない)
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

問4 あなたと同居されている方(あなたを含む)の中で、車をふだん運転する人はおられますか。その人数について、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

0. 0人 (車を運転する人はいない)
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

問5 お住まいは戸建てですか、それとも集合住宅ですか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 戸建て
2. 集合住宅（アパート、マンションなど）

問6 お住まいは何階建てですか、あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 平屋（1階建て）
2. 2階建て
3. 3階建て
4. 4階建て以上

問7 1日の中であなたはご自宅の何階で最も長く過ごされますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。（集合住宅の場合、ご自宅の階をお選び下さい）

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 1階
2. 2階
3. 3階
4. 4階
5. 5階
6. 6階以上

【台風5号が接近した今年8月2日（木曜日）について、問8～26では伺います】

問8 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたは風の恐さをどれくらい感じましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 今まで経験した台風の中で最も恐かった
2. 普通の台風より恐かった
3. 普通の台風と同じくらい恐かった
4. 普通の台風より恐くなかった
5. 全く恐くなかった

問9 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたは雨の恐さをどれくらい感じましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 今まで経験した台風の中で最も恐かった
2. 普通の台風より恐かった
3. 普通の台風と同じくらい恐かった
4. 普通の台風より恐くなかった
5. 全く恐くなかった

問10 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたはご自宅が浸水すると思いましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 必ず水に浸かると思った
2. たぶん水に浸かると思った
3. どちらともいえない
4. たぶん水に浸からないと思った
5. 必ず水に浸からないと思った

問11 今年の台風5号（8月2日）が接近した時、あなたはご自宅がどれくらいの深さまで水に浸かるかもしれないと思いましたか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 2階まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
2. 床上まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
3. 床下まで水に浸かるかもしれないと思う時があった
4. ご自宅の周りが水に浸かるかもしれないと思う時があった
5. 水に浸かるかもしれないと思う時はなかった

問 12 今年の台風 5 号（8 月 2 日）が接近した時、あなたは命の危険性を感じましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

(↓ あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 避難しないと絶対助からないと思った
2. 避難しないと助からないかもしれないと思った
3. どちらともいえない
4. 避難しなくてもたぶん大丈夫だと思った
5. 避難しなくても絶対大丈夫だと思った

問 13 今年の台風 5 号（8 月 2 日）の接近中に、あなたは高潮警報が発表されたことを避難する前に知っていましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。（避難した後や後日知った方は「知らなかった」に○を付けて下さい）

(↓ あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 知らなかった（問 14 は無視して、問 15 に進んでください）
2. 知っていた（問 14 に進んでください）

問 14 高潮警報の発表を知っていた方に伺います。今年の台風 5 号（8 月 2 日）の接近中に、あなたは高潮警報の発表を避難する前にどうやって知りましたか。あてはまる数字 全て に○を付けて下さい。（複数回答可）

(↓ あてはまる数字 全て に○を付けて下さい)

1. テレビ
2. ラジオ
3. 近所の人
4. 広報車・消防車
5. 屋外拡声器
6. 有線放送
7. インターネット
8. 携帯電話のメールサービス
9. その他（ ）

↓

問 15 今年の台風 5 号（8 月 2 日）の接近中に、あなたは避難勧告が発令されたことを避難する前に知っていましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。（避難した後や後日知った方は「知らなかった」に○を付けて下さい）

(↓ あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 知らなかった（問 16 は無視して、問 17 に進んでください）
2. 知っていた（問 16 に進んでください）

問 16 へ

問 17 へ

避難しなかった方は、問 20～23 を無視して、問 24 に進んでください

問 20 避難した方に伺います。あなたはいつ頃避難しましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 8月2日の午後5時頃
2. 8月2日の午後6時頃
3. 8月2日の午後7時頃
4. 8月2日の午後8時頃
5. 8月2日の午後9時頃
6. 8月2日の午後10時頃
7. 8月2日の午後11時以降

問 21 避難した方に伺います。今年の台風5号(8月2日)の接近中に、あなたはどこに避難しましたか。避難した場所を以下に記入して下さい。

[]

(例：○○公民館、○○小学校、○○町の親族宅)

問 22 避難した方に伺います。あなたはどのような方法で避難しましたか。あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク・オートバイ
4. 自動車
5. バス・電車
6. その他 ()

問 23 へ

問 24 へ

問 23 避難した方に伺います。避難したきっかけは何ですか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮警報が発表されたことを知ったこと
2. 避難勧告が発令されたことを知ったこと
3. 近所の人から避難を呼びかけられたこと
4. 市役所・消防の人から避難を呼びかけられたこと
5. テレビやラジオで避難を呼びかけていたこと
6. 風が強くなってきたこと
7. 雨が強くなってきたこと
8. 外が暗くなってきたこと
9. その他 ()

---(避難した方は、問 24 を無視して、問 25 に進んでください。)

問 24 避難しなかった方に伺います。避難しなかった理由について、あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮にはならないと思ったから
2. 自力での避難が無理だったから
3. 近所の人や誰も避難していなかったから
4. 避難する場所がわからなかったから
5. テレビで様子を見ていたから
6. 車などの避難する足がなかったから
7. 体が不自由な家族がいるから
8. 風雨の中を避難するのは危険だと思ったから
9. その他 ()

問 25 今年の台風 5 号 (8 月 2 日) の接近中に、近所の人から避難を呼びかけられましたか。あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい)

1. 近所の人から避難を呼びかけられた
2. 近所の人から避難を呼びかけられなかった

問 26 今年の台風 5 号 (8 月 2 日) の接近中に、あなたは近所の人に避難を呼びかけましたか。あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つ に○を付けて下さい)

1. 近所の人に避難を呼びかけた
2. 近所の人に避難を呼びかけなかった

【問 27～35 では、災害に関するあなたの経験について伺います】

問 27 あなたは過去に高潮の被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。(複数回答可)

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮の被害を受けたことはない
2. 昭和 17 年の周防灘台風の高潮で被害を受けた
3. 平成 11 年の台風 18 号の高潮で被害を受けた
4. 平成 17 年の台風 14 号の高潮で被害を受けた
5. 平成 18 年の台風 13 号の高潮で被害を受けた
6. 上記以外の高潮で被害を受けた (いつ頃の台風ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 28 あなたは過去に高潮以外の自然災害(大雨、河川氾濫、山崩れ、地震、津波)で被害を受けたことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮以外の被害を受けたことはない
2. 大雨で浸水被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
3. 川があふれて浸水被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
4. 山崩れで被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
5. 地震の揺れで被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
6. 津波で被害を受けたことがある (いつ頃ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 29 あなたは過去に高潮のため避難したことがありますか。あてはまる数字全てに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字全てに○を付けて下さい)

1. 高潮では避難したことはない
2. 昭和 17 年の周防灘台風の高潮で避難した
3. 平成 11 年の台風 18 号の高潮で避難した
4. 平成 17 年の台風 14 号の高潮で避難した
5. 平成 18 年の台風 13 号の高潮で避難した
6. 上記以外の高潮で避難した (いつ頃の台風ですか? : 頃)
(例: 平成○年頃、○年前)

問 30 地域で行われている防災訓練に、あなたはどれくらい参加していますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 防災訓練に参加したことがない
2. 10年以上前に参加して以来、参加していない
3. 4～9年前に参加して以来、参加していない
4. 2～3年前に参加して以来、参加していない
5. 毎年防災訓練に参加している

問 31 市役所で作成した「高潮避難地図」をあなたは見たことがありますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 見たことがある
2. 見たことがない

問 32 高潮の時の避難場所をご自宅の近くにありますか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. 歩いて行ける距離にある (避難場所を右欄にご記入ください:)
2. 歩いて行けない距離にある (避難場所を右欄にご記入ください:)
3. 避難場所を知らない

問 33 ご自宅が高潮の浸水想定区域の中にあるかどうかご存じですか。あてはまる数字1つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. ご自宅が浸水想定区域の中にある
2. ご自宅が浸水想定区域の外にある
3. ご自宅が浸水想定区域の中か外かわからない

問 34 昭和 17 年の周防灘台風の高潮で山口県では大きな被害が出たことを、あなたをご存じですか。あてはまるもの1つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字1つに○を付けて下さい)

1. よく知っている
2. 聞いたことがある
3. 聞いたことがない

問 35 あなたは水害や地震に関する昔からの地域の言い伝えを聞いたことがありますか。ご存じでしたら、その概要を以下の枠内にご記入ください (1行程度でも結構です)。

[]

【問 36～40 では、地域活動について伺います】

問 36 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。あなたの考え方に近いと思うもの 1 つに○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. ほとんどの人は信頼できる
2. 信頼できる人の方が多い
3. どちらともいえない
4. 信頼できない人の方が多い
5. ほとんどの人は信頼できない

問 37 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。(i)と(ii)について、次のうちから当てはまるものを 1 つずつ選び、その数字に○を付けて下さい。

(i)つき合いの程度

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度の最小限のつきあしかしてしていない
4. つきあいは全くしていない

} どれか 1 つに○
を付けて下さい

(ii)つきあっている人の数

1. 近所のかなり多くの人と面識・交流がある (概ね 20 人以上)
2. ある程度の人との面識・交流がある (概ね 5～19 人)
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある (概ね 4 人以下)
4. 隣の人がだれかも知らない

} どれか 1 つに○
を付けて下さい

問 38 あなたのお住まいの地域では、町内会・自治会や子ども会、老人会、消防団などの「地縁団体」、
「地縁活動」は盛んだと思いますか。当てはまるもの 1 つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 非常に盛んであると思う
2. ある程度は行われていると思う
3. ほとんど活動は行われていないと思う
4. そういった地縁団体は存在しないと思う
5. わからない

問 39 あなたは、お住まいの地区に永住したいと考えていますか。当てはまるもの 1 つを選び、その数字に○を付けて下さい。

(↓あてはまる数字 1 つに○を付けて下さい)

1. 永住したい
2. どちらかといえば永住したい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば永住したくない
5. 永住したくない

問 40 あなたは現在、下表のA～Dの活動をされていますか。現在の活動状況と今後の活動意向について、当てはまるものに○を付けて下さい。

	A. 地縁的な活動 (自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会等)	B. スポーツ・趣味・娯楽活動 (各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習等)	C. ボランティア・NPO・市民活動 (まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力、提言活動など)	D. その他の団体・活動 (商工会・業種組合、宗教、政治など)
現在の活動状況				
ア. 活動していない	ア	ア	ア	ア
イ. 年に数回程度	イ	イ	イ	イ
ウ. 月に1日程度	ウ	ウ	ウ	ウ
エ. 月に2～3日程度	エ	エ	エ	エ
オ. 週に1日	オ	オ	オ	オ
カ. 週に2～3日	カ	カ	カ	カ
キ. 週に4日以上	キ	キ	キ	キ
今後の活動意向				
ア. 積極的に参加したい	ア	ア	ア	ア
イ. 現状維持したい	イ	イ	イ	イ
ウ. 参加を控えたい	ウ	ウ	ウ	ウ

(太枠毎に1つずつ○を付けて下さい)

(以下は記入例です。回答は↑の枠内をお願いします。)

現在の活動状況				
ア. 活動していない	ア	ア	Ⓐ	ア
イ. 年に数回程度	Ⓘ	イ	イ	Ⓘ
ウ. 月に1日程度	ウ	Ⓚ	ウ	ウ
エ. 月に2～3日程度	エ	エ	エ	エ
オ. 週に1日	オ	オ	オ	オ
カ. 週に2～3日	カ	カ	カ	カ
キ. 週に4日以上	キ	キ	キ	キ
今後の活動意向				
ア. 積極的に参加したい	ア	ア	Ⓐ	ア
イ. 現状維持したい	Ⓘ	Ⓘ	イ	Ⓘ
ウ. 参加を控えたい	ウ	ウ	ウ	ウ

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。同封の返信用封筒に入れてご返送下さい。

付録2 ワークショップで作成した復元画

地域で語り継がれる津波経験 (大楽毛地区編)

平成21年3月

釧路市大楽毛地区防災推進協議会
国土交通省国土技術政策総合研究所
河川研究部海岸研究室

この資料について

- この資料は、釧路市大楽毛地区防災推進協議会と国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室が平成20年11月～平成21年2月に開催した「津波からの避難に関する座談会」においてまとめられたものです。
- この資料は、記憶が薄れつつある過去の津波の経験をまとめ、地域の方々に広く知っていただくことにより、予想されている500年間隔地震などに対する防災意識を高めることを目的として作成されました。
- この資料に掲載されている絵は、座談会での体験談に基づくものです。
- 500年間隔地震では、過去の地震を大きく上回る津波が予想されており、この資料より津波の高さや動きは大きくなります。
- この資料を用いて行う一切の行為について、この資料の制作者は何ら責任を負うものではありません。

(参考)戦後に発生した釧路の主な地震

- ・昭和27年3月4日 十勝沖地震

集合煙突の倒壊とズリ山崩壊により15人が死亡。釧路港は高さ1.5mの津波に襲われ、多数の人が避難する。

- ・昭和35年5月25日 チリ地震

津波で釧路港などの漁船が損壊し、住宅浸水などの被害を受ける。

- ・平成5年1月15日 釧路沖地震

震度6の揺れにより、釧路市で死者1人、負傷439人。

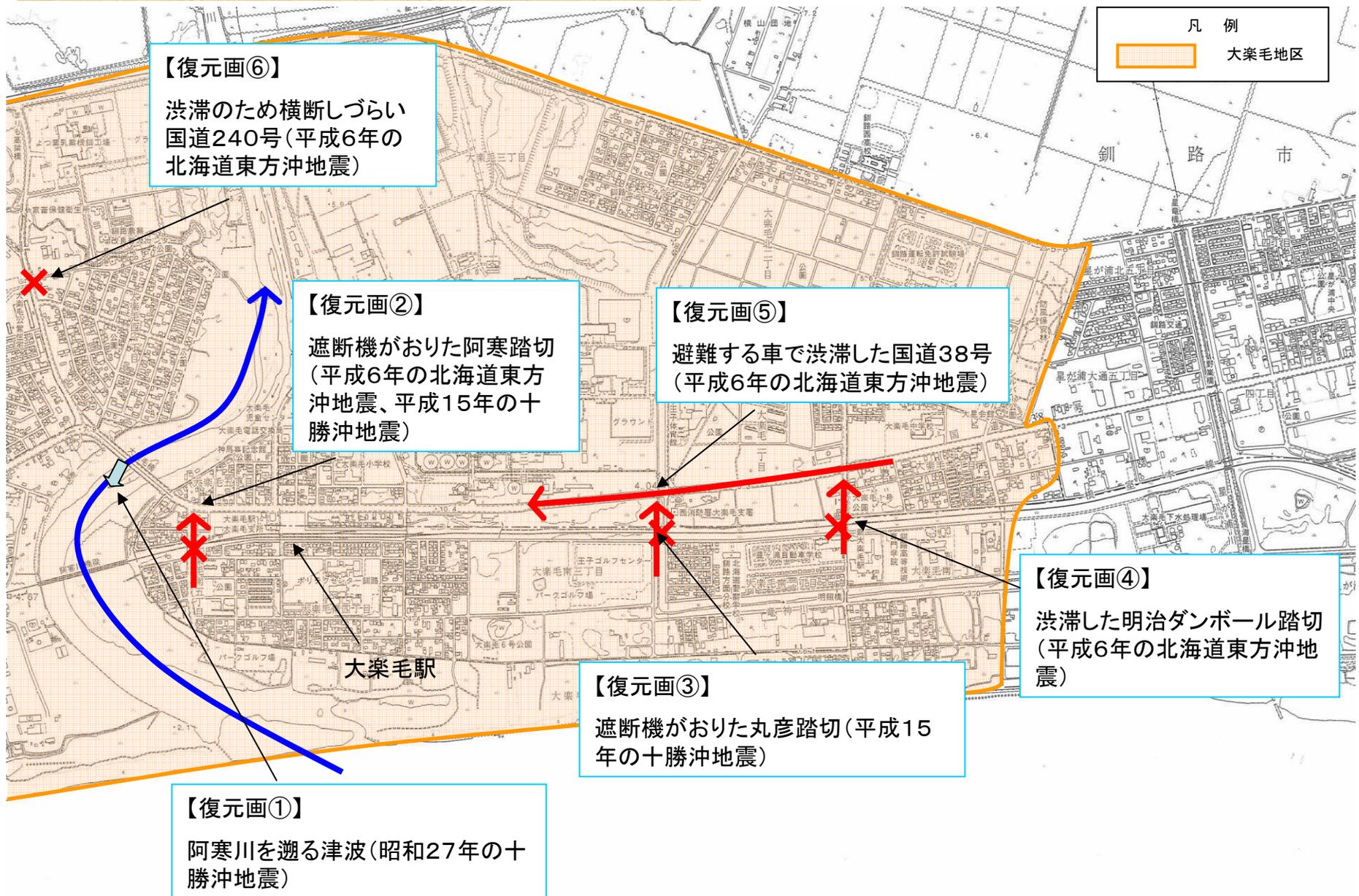
- ・平成6年10月4日 北海道東方沖地震

震度6の揺れにより、釧路市で負傷82人、住宅被害353戸。

- ・平成15年9月4日 十勝沖地震

震度5強の揺れとともに、高さ1.2mの津波を釧路で観測。

<復元画を作成した場所とその復元内容>



復元画① 阿寒川を遡る津波(昭和27年の十勝沖地震)



大楽毛橋から下流を見た様子

<体験談>

- ◆ 阿寒川を津波が逆流すると怖い。昭和27年の十勝沖地震の時に逆流したという話を聞いたことがある。
- ◆ 氷は張っていたと思われる。
- ◆ 当時の河口部は現状の形でなく、野原であった。周辺に家はなく、駅前のみ家屋があった。



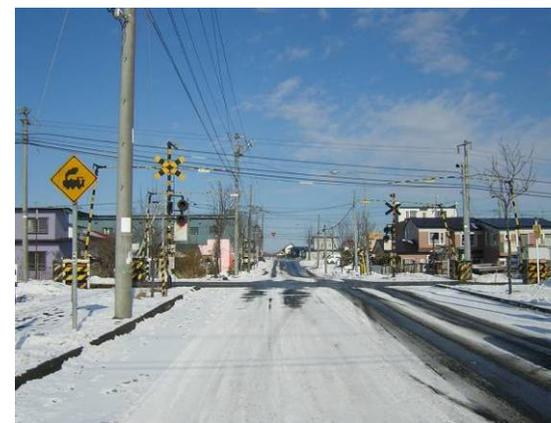
大楽毛橋から見た現在の阿寒川

復元画② 遮断機がおりた阿寒踏切(平成6年の北海道東方沖地震、平成15年の十勝沖地震)



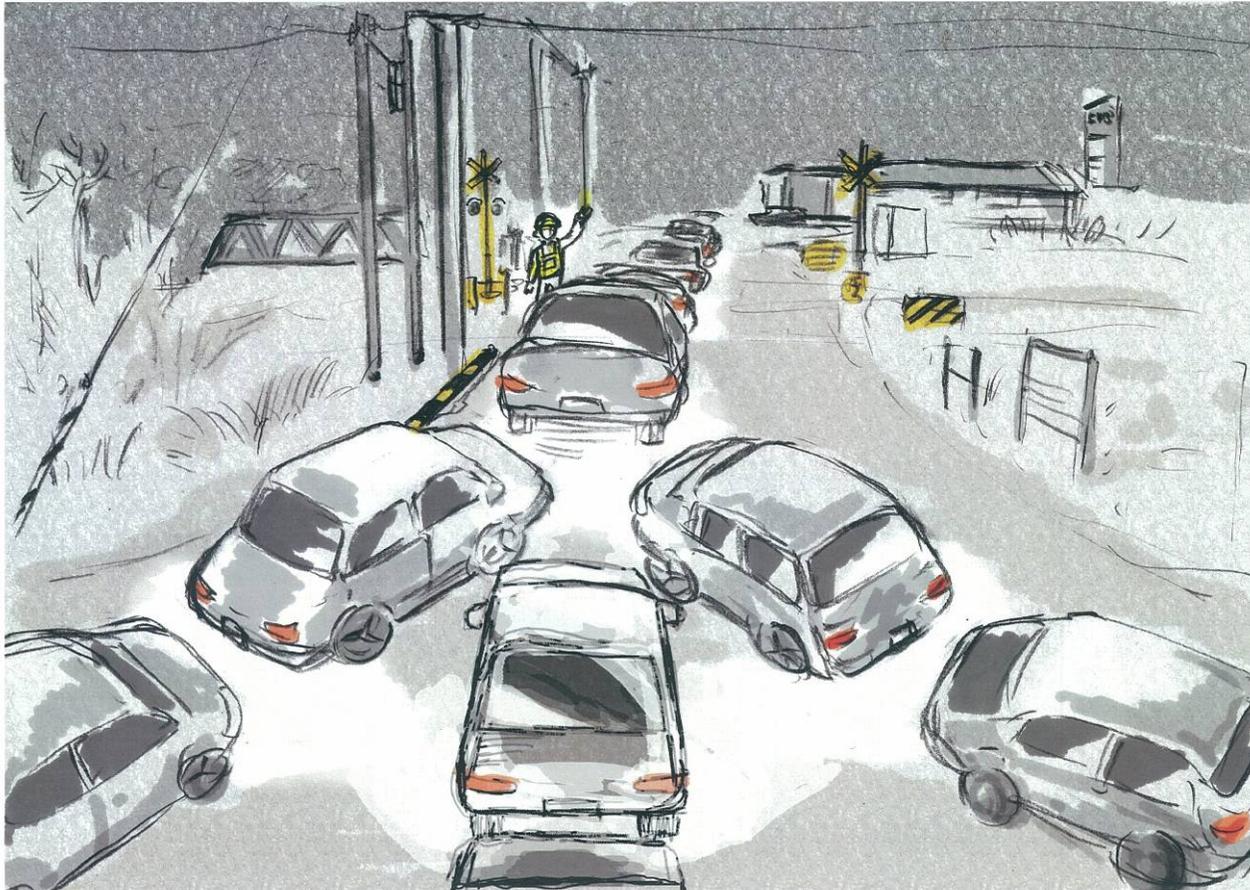
<体験談>

- ◆ 平成6年と15年の地震で、踏切が閉まった状態になり、避難したくても線路を横断できなかった。
- ◆ 車で避難した時に、閉まっている遮断機を手で上げて避難した。
- ◆ この先の国道が空港方面に避難する車で大渋滞し、前に進めなかった。
- ◆ 電車が停止すると、周辺の一連の踏み切りは閉まった状態となる。最近止まったのは二回。平成6年の地震の時は鉄橋のあたりで止まった。踏切から6mくらい進んだところ。夜の10時くらい。平成5年の時は止まっていない。
- ◆ 平成15年の時は、この地区にある3つの遮断機は全ておりた状態になった。



現在の踏切(海側から撮影)

復元画③ 遮断機がおりた丸彦踏切(平成15年の十勝沖地震)



<体験談>

- ◆ 平成15年の地震で踏切が閉まった状態になり、避難したくても線路を横断できなかった。
- ◆ 平成15年の時は、ゴルフセンターの前に夜行の特急が止まった。
- ◆ この時は、JRの保線区の人が踏切のバーを抜いてくれたので通れるようになった。
- ◆ ただし、この先の国道が空港へ避難する人で大渋滞し、前へ進めなかった。
- ◆ 下の写真の左方向から合流する車が多かった。



現在の踏切(海側から撮影)

復元画④ 渋滞した明治ダンボール踏切(平成6年の北海道 東方沖地震)



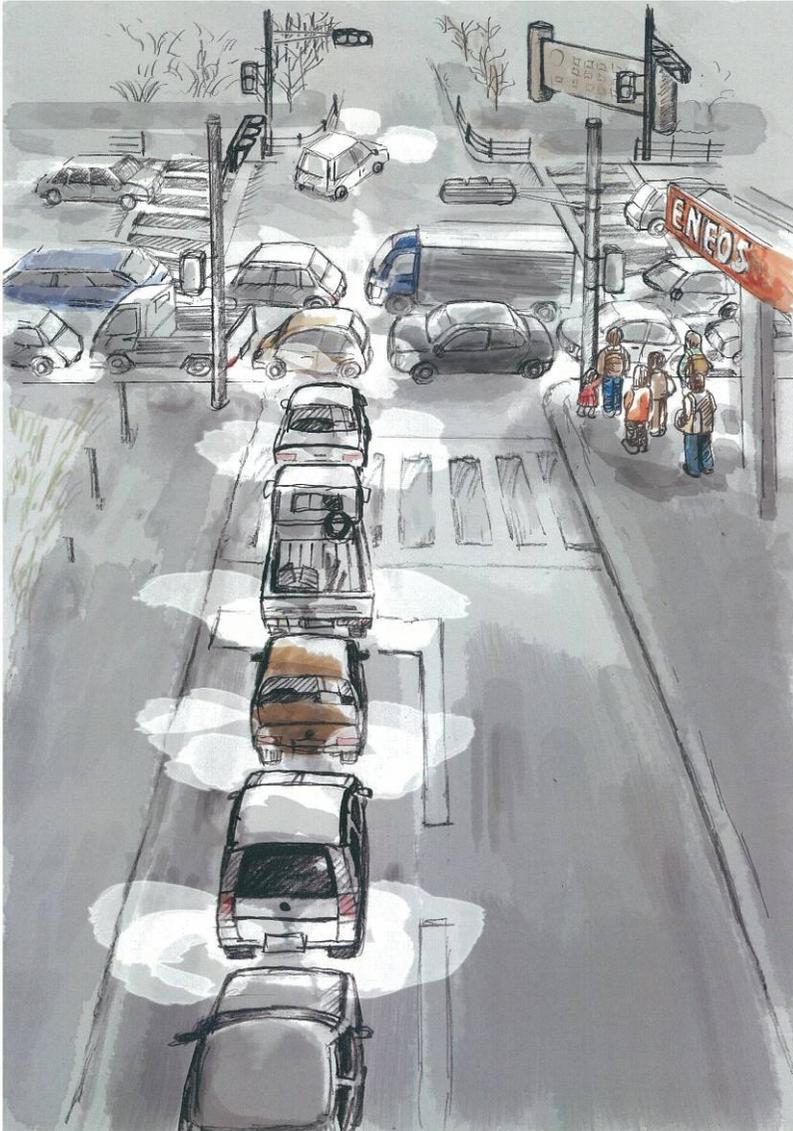
<体験談>

- ◆ 平成15年の地震で踏切が閉まった状態になり、避難したくても線路を横断できなかった。
- ◆ 車で避難した時に、閉まっている遮断機を手で上げて避難した。
- ◆ 平成6年の時は踏切は開いていたが、この先の国道が空港へ避難する車で大渋滞していたので先に進めなかった。



現在の踏切(海側から撮影)

復元画⑤ 避難する車で渋滞した国道38号 (平成6年の北海道東方沖地震)



<体験談>

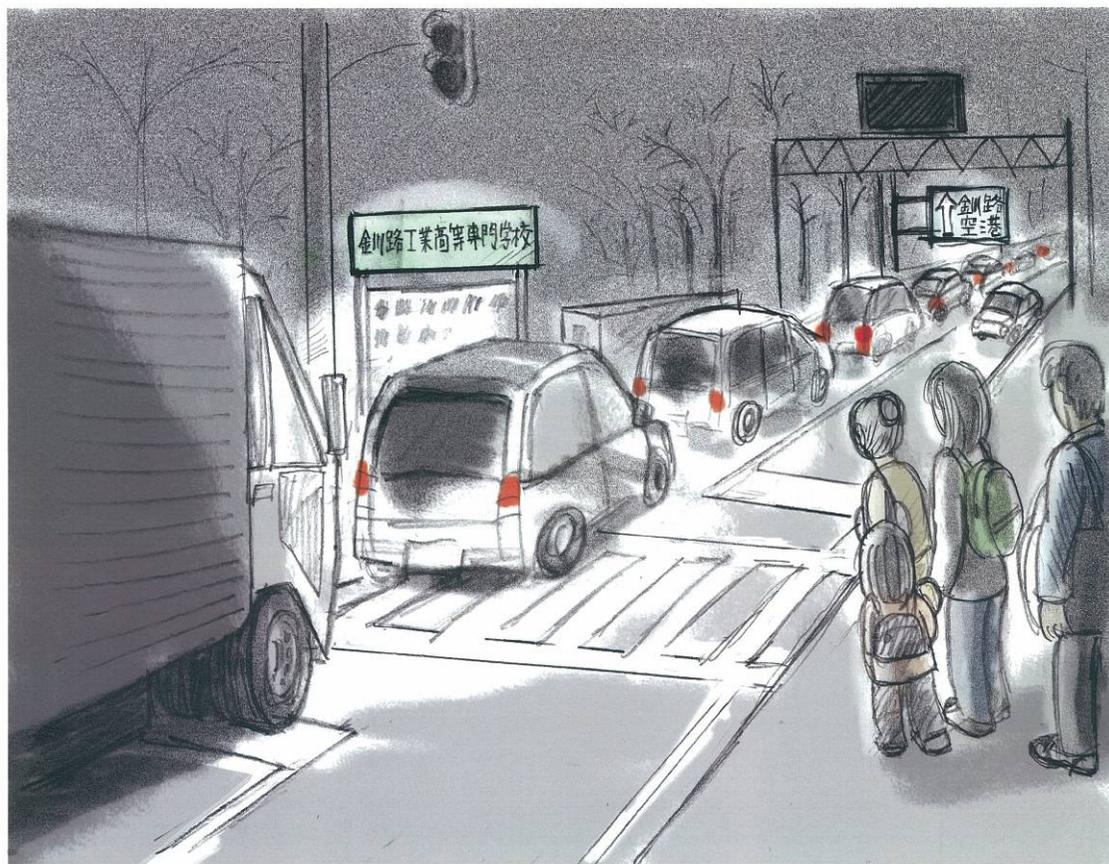
- ◆ 国道38号は空港へ避難する人の車等で大渋滞した。停電で信号が消えていたので、国道に進入することが難しく、歩いて横断することも難しかった。
- ◆ 国道に車で進入することが難しく、踏切から国道まで車が渋滞した。
- ◆ 歩いて避難する人は少なかった。
- ◆ 車は空港方向が込んでおり、反対車線はたまに車が走っている程度。交差点を左折して工場に向かう車はあった。
- ◆ 平成6年の北海道東方沖地震の時はすごい車だった。平成5年の釧路沖地震の時は全然なんともなかったが。停電にもならなかった。6年の時は1時すぎまで停電だった。
- ◆ すごいスピードというよりは、渋滞で連なっているイメージ。その間に入れない。



現在の国道(大楽毛2交差点)

海側から国道を見た様子

復元画⑥ 渋滞のため横断しづらい国道240号
(平成6年の北海道東方沖地震)



避難所前の横断歩道を渡れない様子

<体験談>

- ◆ まりも地区の避難所は、国道240号の反対側にある釧路工業高等専門学校。
- ◆ 国道240号が空港に避難する車で大渋滞すると、横断歩道を渡って避難所になかなか行けない。



現在の様子(釧路高専前)

地域で語り継がれる津波経験 (橋北東部地区編)

平成21年3月

釧路市橋北東部地区防災推進協議会
国土交通省国土技術政策総合研究所
河川研究部海岸研究室

この資料について

- この資料は、釧路市橋北東部地区防災推進協議会と国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室が平成20年11月～平成21年2月に開催した「津波からの避難に関する座談会」においてまとめられたものです。
- この資料は、記憶が薄れつつある過去の津波の経験をまとめ、地域の方々に広く知っていただくことにより、予想されている500年間隔地震などに対する防災意識を高めることを目的として作成されました。
- この資料に掲載されている絵は、座談会での体験談に基づくものです。
- 500年間隔地震では、過去の地震を大きく上回る津波が予想されており、この資料より津波の高さや動きは大きくなります。
- この資料を用いて行う一切の行為について、この資料の制作者は何ら責任を負うものではありません。

(参考)戦後に発生した釧路の主な地震

- ・昭和27年3月4日 十勝沖地震

集合煙突の倒壊とズリ山崩壊により15人が死亡。釧路港は高さ1.5mの津波に襲われ、多数の人が避難する。

- ・昭和35年5月25日 チリ地震

津波で釧路港などの漁船が損壊し、住宅浸水などの被害を受ける。

- ・平成5年1月15日 釧路沖地震

震度6の揺れにより、釧路市で死者1人、負傷439人。

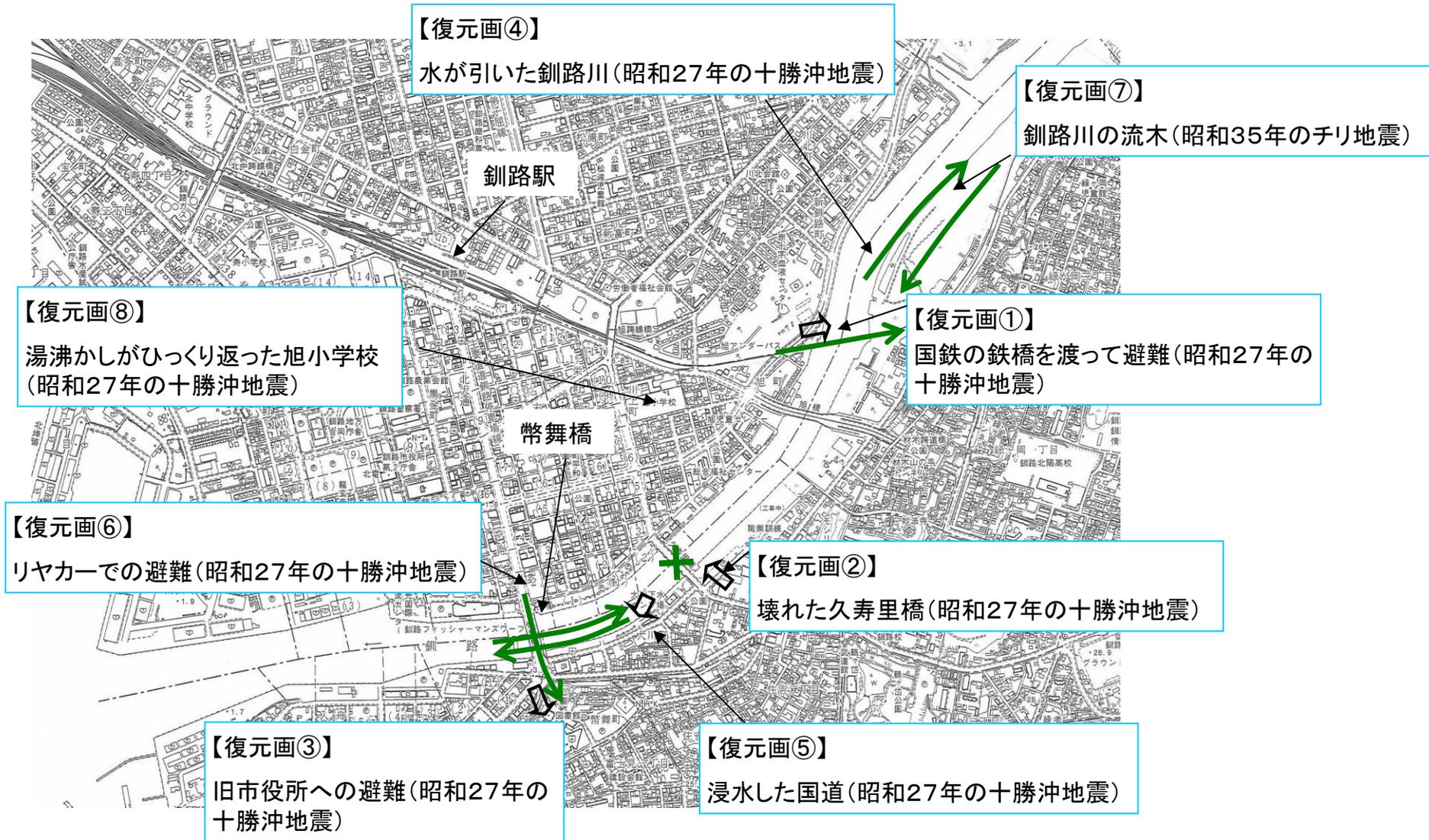
- ・平成6年10月4日 北海道東方沖地震

震度6の揺れにより、釧路市で負傷82人、住宅被害353戸。

- ・平成15年9月4日 十勝沖地震

震度5強の揺れとともに、高さ1.2mの津波を釧路で観測。

＜復元画を作成した場所と復元内容＞



復元画① 国鉄の鉄橋を渡って避難(昭和27年の十勝沖地震)



橋北(川の上流から見て右側)から対岸の高台を見た様子

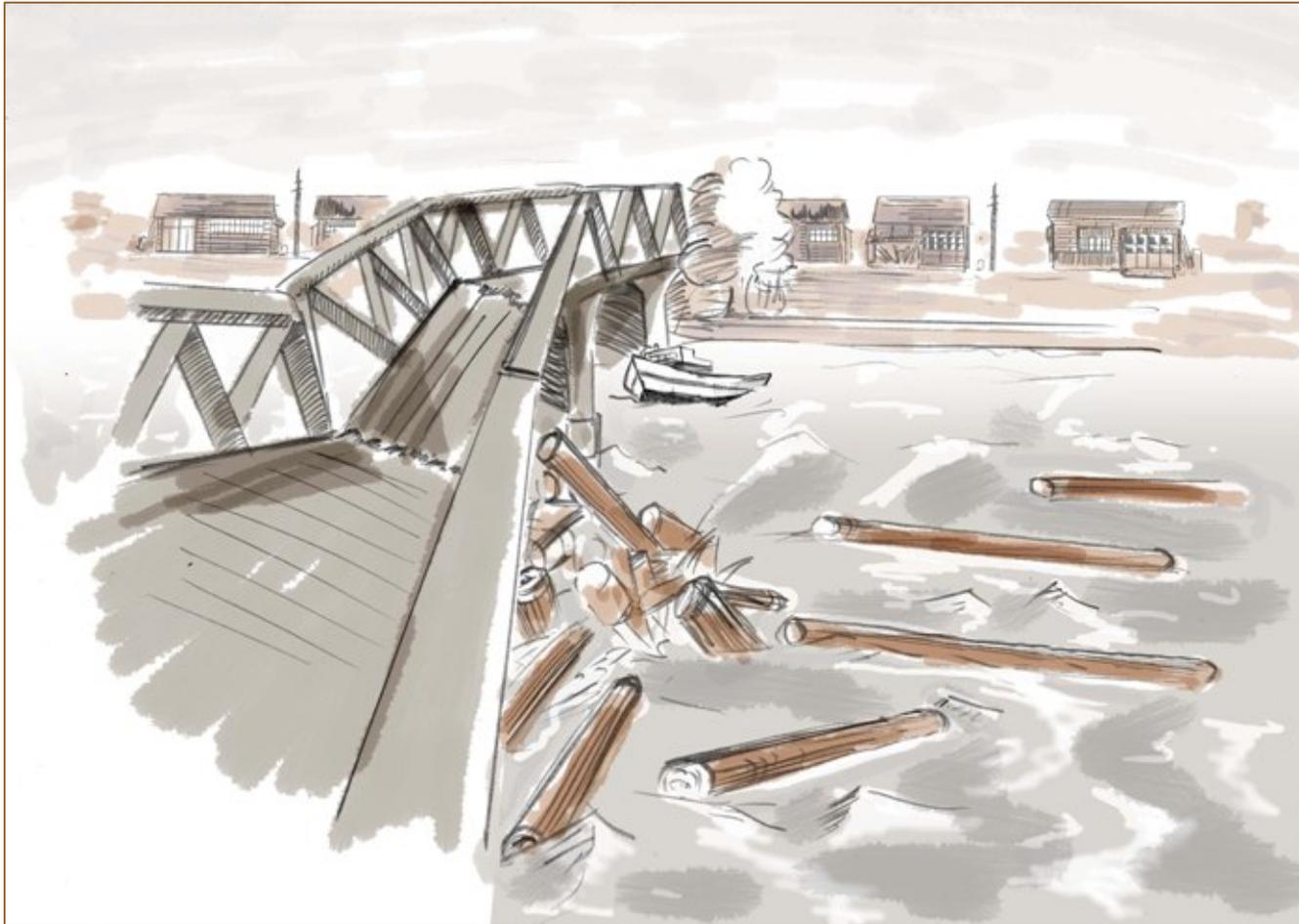
<体験談>

- ◆ 昭和27年の十勝沖地震の時は、鉄橋を渡って対岸に避難した。対岸に渡る橋は久寿里橋と弊舞橋しかなく、久寿里橋が落橋したので鉄橋を渡って避難するしかなかった。
- ◆ 当時の鉄橋は平らで、普段でも人が渡れるような通路、退避場所があった。柵は無かった。
- ◆ 3月だったので、雪が残っていた。天気はよかった。



現在の鉄橋

復元画② 壊れた久寿里橋(昭和27年の十勝沖地震)



大川町(川の上流から見て左側)から対岸を見た様子

<体験談>

- ◆ 昭和27年の十勝沖地震の時、上流の材木町から流れてきた丸太が橋にぶつかり久寿里橋が崩れ始めていたので迂回して逃げた。
- ◆ 当時の久寿里橋は木橋だった。
- ◆ 川沿いは漁師町で平屋が多かった。岸には木造の小さい船が係留されていた。



当時の面影を残すまちなみ

復元画③ 旧市役所への避難(昭和27年の十勝沖地震)



高台まで避難した人々の様子

<体験談>

- ◆ 昭和27年の十勝沖地震の時は、現在の図書館あたりの高台に逃げた。
- ◆ 幣舞公園にかなりの人だかりが出来ていた。リヤカーは、坂があったため、旧市役所まで持ち上げられなかった。
- ◆ 小学校で1500人位いた地域なので、家族を勘案すると避難者はかなりの数であった。
- ◆ 避難した人を誘導するような人はいなかった。



現在の高台

復元画④ 水が引いた釧路川(昭和27年の十勝沖地震)



国鉄の鉄橋を川の上流から見た様子

<体験談>

- ◆ 昭和27年の十勝沖地震の時、10分か15分おきに津波が来たり、引いたりして川底が見えた。
- ◆ 川の真ん中は少し水があり、それ以外は干上がり、川底(砂利・土)が見えていた。
- ◆ 国鉄の鉄橋より上流が干上がったはず。
- ◆ 岸壁になってあらず、自然な川原(草が生えている)だったため、川の近くで覗くことはできなかった。
- ◆ 川沿いには木造の木工所や造船所があった。



現在の鉄橋

復元画⑤ 浸水した国道(昭和27年の十勝沖地震)



<体験談>

- ◆ 昭和27の十勝沖地震の時、当時の国道まで浸水した。
- ◆ 建物は平屋であった。立派な建物はなかった。
- ◆ 道路は舗装されていない。砂利道。車道と歩道の区分も無かった。
- ◆ 国道44号は川反対の北側にあった(ロータリーのあたりまで)。
- ◆ 道は細く、曲がっていたイメージがある。



現在の旧国道のまちなみ

復元画⑥ リヤカーでの避難(昭和27年の十勝沖地震)



<体験談>

- ◆ 昭和27の十勝沖地震の時、車が無いので歩いて避難。年寄りなどはリヤカーに乗せて運んだ。
- ◆ 水が来る前に逃げていたから、道路に水はなかった。
- ◆ 枠のないリヤカーに布団を載せて逃げた。
- ◆ 商売をしている人の家にはリアカーがあった。
- ◆ 近所で声を掛け合って逃げていたと思うが、避難は家族単位であった。



高台に向けて避難

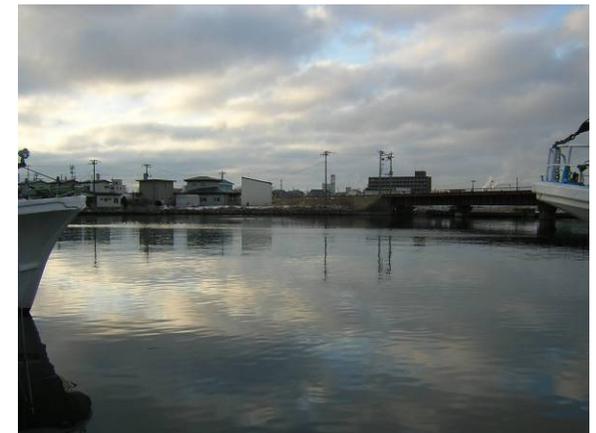
復元画⑦ 釧路川の流木(昭和35年のチリ地震)



川の上流から下流の鉄橋方向を見た様子

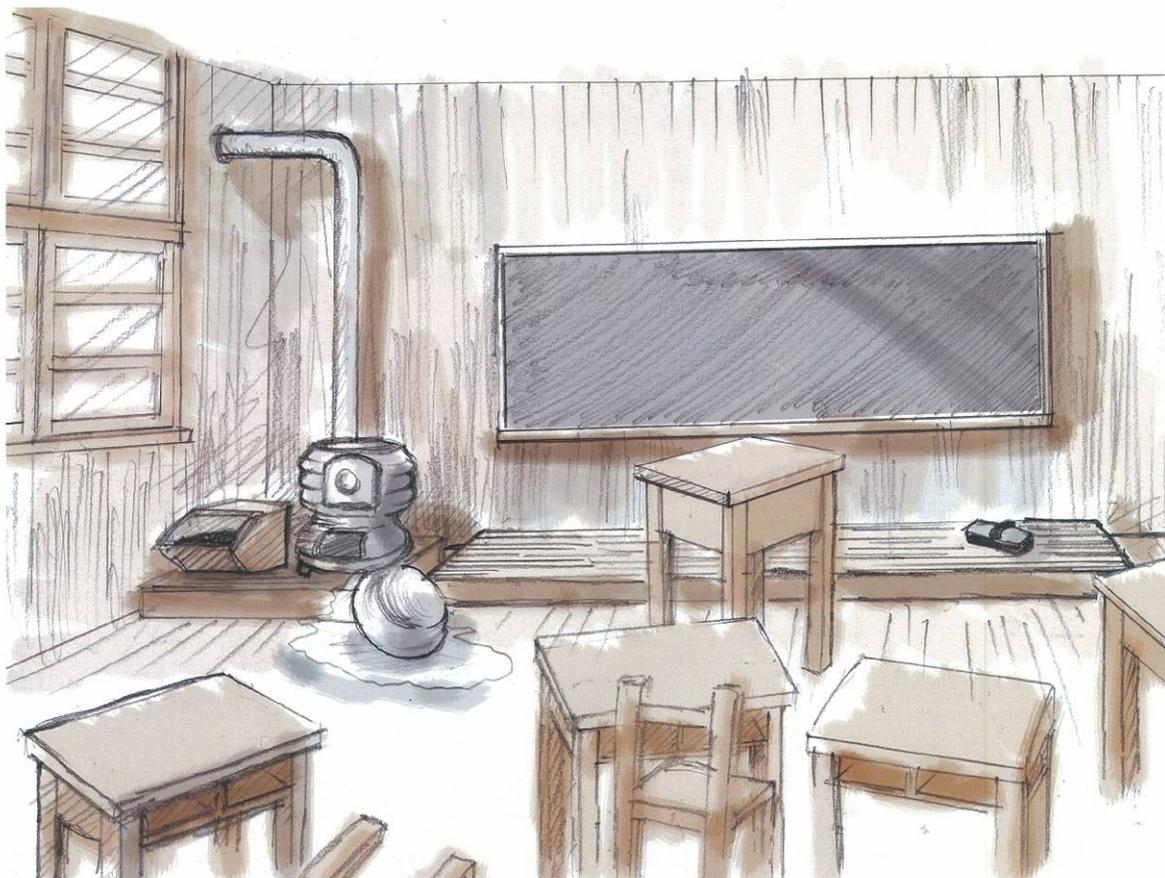
<体験談>

- ◆ 昭和35年のチリ地震の時、川沿いにあった筏や舟の丸太が川を矢のように行ったり来たりして船にぶつかって全部壊れた。丘までは上がってこなかった。
- ◆ 船が橋桁にぶつかり、ひっくりかえっていた。ものすごい大音響で、川の底を掃除しているみたいだった。
- ◆ 船はほとんどが小型船だった。
- ◆ 国鉄の鉄橋の北は壊滅的であった。
- ◆ 鉄橋あたりから水がなく、魚が川底で跳ねていた。



現在の鉄橋周辺

復元画⑧ 湯沸かしがひっくり返った旭小学校(昭和27年の十勝沖地震)



<体験談>

- ◆ 学校では石炭ストーブが中心であった。地震で上の湯沸しがひっくりかえっていた。
- ◆ 地震の時は先生の合図で一斉に校庭に逃げた。
- ◆ 集合煙突が壊れた。今は煙突を使っているところはないが。当時の小学校は確か二階建てだった。
- ◆ ストーブは窓側にあり、その横には石炭をいれた木箱があった。
- ◆ 当時の小学校は1クラス60名くらい生徒がいた。



現在の旭小学校(廃校)